看護学専攻専門科目教育要項

２０２５年度

東京科学大学医学部保健衛生学科

東京科学大学の理念

〇東京科学大学のミッション・コアバリュー

ミッション：「科学の進歩」と「人々の幸せ」とを探求し、社会とともに新たな価値を創造する

コアバリュー：常識や型にとらわれず、あらゆる知と技術を探求し、自在に融合させる一人一人の個性や想いを尊重し、豊かな創造の文化を育む自らの在り方をつねに問い続け、果敢に変革し続ける

〇東京科学大学の教育理念

「挑戦し続けるフロントランナー」と「知と癒しの匠」としての気概と人間力をあわせ持ち、「科学の進歩」と「人々の幸せ」とを探求し、社会とともに新たな価値を創造する高度専門人材を輩出する。

〇医歯学系の教育理念と養成する人材像

１．幅広い教養と豊かな感性を備えた人材

病める人と向き合う医療人として、患者の痛みが分かり患者を取り巻く様々な状況をも理解できる、豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えた人材を養成する。

２．自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人材

学業あるいは研究に当たり、常識や型にとらわれず、疑問を投げかけ、あらゆる知と技術を探求し、自在に融合させ、自ら解決する能力を持つ、独創的な研究とイノベーションを推進できる人材を養成する。

３．国際感覚と国際競争力に優れる人材

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、その情報と時間の共有化ができ、医学・医療の最尖端に挑戦し続ける人材を養成する。

医学部保健衛生学科

【教育理念】

本学科は、看護学、検査技術学の２つの専門領域における知識・技術を教授することにとどまらず、豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた医療人としての感性を有し、学際的視野にたち、自ら問題を提起し、これを解決できる能力を備えた医療人を養成します。

＜看護学専攻＞

【教育目標】

高度先進化する科学技術の基礎理解力を持ち、少子高齢化社会における保健医療・福祉等のさまざまな職種と連携して、専門職としての役割を果たす人間性豊かな人材、および教育・研究・実践の場を将来牽引し、看護学の発展と人々の幸福に寄与できる人材を育成する。

【カリキュラム・ポリシー】

東京科学大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、全学科共通科目、専門科目を系統的、段階的に学習できるように配し、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

１．幅広い教養と豊かな人間性と倫理観を涵養するために、一般教育とリベラルアーツを融合した共通教育には、学科・専攻横断的な自由選択科目を配置し、価値観の多様化する現代において看護と関連づけながら学びを深められるよう、看護に関する専門教育科目、医療と人間について学ぶ教養科目を有機的に配置する。

２．自ら問題を提起し、解決する能力を備えた、看護学の実践、教育、研究者としての基礎を培い、自己の知識や技術の向上を常に目指す研究的姿勢を身につけるために、討論、グループワーク、多職種連携教育、ラーニングマネジメントシステムやシミュレーション・ラボを活用して科目を展開するとともに、論理的思考能力、リテラシー能力、批判的思考、統合的思考、論理的思考の向上を目指して、少人数制の卒業研究ならびに統合的実践科目を配置する。

３．看護師および保健師としての知識・技術・態度を修得し、将来リーダーを担いうる資質を培うために、看護の科学的根拠となる知識からより専門性の高い各看護学の分野の科目へ、看護の対象を個人、家族、集団、地域、組織へと広げ、看護研究、看護管理へと学習を拡大していけるよう科目を配置する。

４．多職種との連携を図りながら看護の専門性を発揮できる基礎的能力の獲得を目指して、学習段階に応じた臨地実習科目をすべての学年に配置する。

５．国際的に活躍でき、医療の国際化に対応できる人材を育成することを目指して、4 年間を通じて学習できるよう語学と国際的な看護に関する科目を配置する。

６．学習成果の評価は、各授業科目のシラバスにおいて、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法を明示し、定期試験、レポート提出、講義への参加状況などに基づき、医療人として要求される専門的能力について、多面的に評価する。

【ディプロマ・ポリシー】

医学部保健衛生学科では、全学科共通科目、専門科目における講義・演習・実習を通して、学年ごとに設定された進級要件を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に、それぞれ学士(看護学)、学士（保健学)の学位を授与する。

１．幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

物事を多面的に捉えられる幅広い教養を身に付け、看護学または検査技術学の基

礎から応用に至る高い専門知識と技術を修得している。

２．医療人としての豊かな感性と人間性の形成
　多様な背景を持つ人々の主体性や価値観を理解し、豊かな感性を持って個々を尊重した関係を築くことができる医療人としての人間性が形成されている。

３．問題提起・解決能力の修得
　社会情勢の影響あるいは業務の特性によって時々刻々と変化する臨床現場の中で、問題を的確に見出し解決に向かわせる柔軟な理解力・洞察力・行動力が養われている。

４．自己学習能力・創造性の形成
　看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストを目指して学習を継続する自己学習能力を身に付け、大学院あるいは職場において診療・教育・研究・開発活動を進展させていくことができる創造性が形成されている。

５．国際性の形成
　国際情勢に関心を示し、看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストとして国際貢献に関与できる基礎学力が養われている。

卒業時到達目標は、他の医療専門職等とのチームワーク、保健医療に関わる倫理観、広く社会を捉える国際性、基盤となる高い専門性およびそれを追求する研究的姿勢を併せて養うことが重要と考える。保健衛生学科の学習を通して、保健医療の実践の場のみならず、教育・研究の場においても、人々の健康的生活に貢献し、看護学・検査技術学の発展に寄与できる医療人に成長することが期待される。

＜検査技術学専攻＞

【教育目標】

先端医療技術の進展に対応しうる学際的視野と研究能力を有する資質の高い人材および医学、保健医療における検査技術の発展とその教育・指導に従事する人材を育成する。

【カリキュラム・ポリシー】

東京科学大学の教育理念、および医学部保健衛生学科の教育理念に基づき、検査技術学専攻の教育目的を踏まえた教育目標の達成を見据え、ディプロマ・ポリシーを実現するたのカリキュラムの策定方針を以下の通り定める。

１．臨床検査技師国家試験に必要な科目を含めて、全学科共通科目および専門科目を４年間で系統的、段階的に学習できるよう配置する。

２．臨地実習、インターンシップ、他学科・他専攻との共通科目等により、チーム医療の一翼として活躍できる臨床検査技師に必要な実践的知識、技術、態度、コミュニケーション能力を修得させる。

３．国際化、情報化に対応して、英語と情報リテラシー科目は４年間に渡って継続的に学習できるように配置する。

４．全学的協力および三大学連合複合領域コース等の活用により、広い分野にわたる選択科目を開講するとともに、卒業研究等により大学院教育との連携を図る。

５．学習成果の評価は、各授業科目のシラバスにおいて、到達目標、授業計画、成績評価基準・方法を明示し、定期試験、レポート提出、講義への参加状況などに基づき、医療人として要求される専門的能力について、多面的に評価する。

【ディプロマ・ポリシー】

医学部保健衛生学科では、全学科共通科目、専門科目における講義・演習・実習を通して、学年ごとに設定された進級要件を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に、それぞれ学士(看護学)、学士（保健学)の学位を授与する。

１．幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

物事を多面的に捉えられる幅広い教養を身に付け、看護学または検査技術学の基礎から応用に至る高い専門知識と技術を修得している。

２．医療人としての豊かな感性と人間性の形成

多様な背景を持つ人々の主体性や価値観を理解し、豊かな感性を持って個々を尊重した関係を築くことができる医療人としての人間性が形成されている。

３．問題提起・解決能力の修得

社会情勢の影響あるいは業務の特性によって時々刻々と変化する臨床現場の中で、問題を的確に見出し解決に向かわせる柔軟な理解力・洞察力・行動力が養われている。

４．自己学習能力・創造性の形成

看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストを目指して学習を継続する自己学習能力を身に付け、大学院あるいは職場において診療・教育・研究・開発活動を進展させていくことができる創造性が形成されている。

５．国際性の形成

国際情勢に関心を示し、看護または臨床検査の分野におけるスペシャリストとして国際貢献に関与できる基礎学力が養われている。

卒業時到達目標は、他の医療専門職等とのチームワーク、保健医療に関わる倫理観、広く社会を捉える国際性、基盤となる高い専門性およびそれを追求する研究的姿勢を併せて養うことが重要と考える。保健衛生学科の学習を通して、保健医療の実践の場のみならず、教育・研究の場においても、人々の健康的生活に貢献し、看護学・検査技術学の発展に寄与できる医療人に成長することが期待される。

お知らせ

　授業日程は、適宜変更となります。

　最新のものは、WebClass、及びキャンパス教育支援システムより、ご確認ください。

目　次

2025年度授業計画表<<看護学専攻>>　…… 1
保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修について…… 2

【第1学年】
2025年度時間割(看護学専攻:第1学年)　…… 4
解剖学　…… 11
生化学　…… 14
病理学　…… 18
微生物学　…… 20
栄養学　…… 22
ｱｶﾃﾞﾐｯｸ･ﾘﾃﾗｼｰ　…… 24
AI･ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽのための数学　…… 26
医療とAI･ﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀ入門 …… 28
国際保健看護学Ⅰ　…… 32
看護制度論　…… 34
国際保健福祉A　…… 37
人間の健康と看護　…… 39
基盤看護学実習Ⅰ　…… 42
看護の統合と実践　…… 44
多職種連携Ⅰ　…… 47

【第2学年】
2025年度時間割(看護学専攻:第2学年)　…… 50
生理学　…… 57
薬理学Ⅰ　…… 60
薬理学Ⅱ　…… 62
病態学　…… 64
憲法 …… 68
英語Ⅱ(A)Topical Discussion(前期後半)　(Simon Whitaker) …… 70
英語Ⅱ(B)Global Connections(後期前半)　(PATRICK FOSS) …… 72
英語Ⅱ(C)ConversationⅠ(前期前半)　(Reed Jesse Ryan)　…… 74
英語Ⅱ(D)ConversationⅡ(前期後半)　(Reed Jesse Ryan)　…… 76
英語Ⅱ(C)ConversationⅠ(後期前半)　(Reed Jesse Ryan)　…… 78
保健医療福祉制度論　…… 80
健康教育学演習 …… 82
実践看護英語Ⅰ　…… 84
国際保健福祉B　…… 87
インディペンデントスタディA …… 89
基盤看護学Ⅰ　…… 92
基盤看護学Ⅱ　…… 96
基盤看護学演習Ⅰ　…… 98
基盤看護学演習Ⅱ　…… 103
基盤看護学実習Ⅱ　…… 106
フィジカルアセスメント　…… 109
成人の健康と看護　…… 112
成人看護学　…… 115
心の健康と看護Ⅰ　…… 118
心の健康と看護Ⅱ　…… 121
小児の健康と看護　…… 123
小児看護学Ⅰ　…… 126
公衆衛生看護学Ⅰ …… 129
在宅看護学Ⅰ　…… 132
多職種連携Ⅱ …… 135
災害看護学　…… 137

【第3学年】
2025年度時間割(看護学専攻:第3学年)　…… 141
疫学　…… 148
英語Ⅱ(A)Topical Discussion(後期前半)　(Simon Whitaker) …… 150
英語Ⅱ(C)ConversationⅠ(前期前半)　(Richard Knobbs) …… 152
英語Ⅱ(C)ConversationⅠ(後期前半)　(Richard Knobbs)　…… 154
英語Ⅱ(D)ConversationⅡ(前期後半)　(Richard Knobbs) …… 156
英語Ⅱ(D)ConversationⅡ(後期後半)　(Richard Knobbs)　…… 158
System-based medical terminology Ⅰ …… 160
IMRAD Format Presentation in English …… 163
卒業論文Ⅰ　…… 166
卒業論文Ⅱ　…… 169
実践看護英語Ⅱ　…… 171
国際保健福祉C　…… 174
インディペンデントスタディB…… 176
クリティカルケア看護学　…… 179
成人看護学演習　…… 182
成人･老年看護学実習Ⅰ　…… 184
緩和ケア看護学　…… 188
精神看護学演習　…… 190
精神看護学実習　…… 193
小児看護学Ⅱ　…… 196
小児看護学演習　…… 199
小児看護学実習　…… 201
性と生殖と健康と看護　…… 204
周産看護学Ⅰ　…… 206
周産看護学Ⅱ　…… 208
周産看護学演習　…… 210
周産看護学実習　…… 213
高齢者の健康と看護　…… 217
老年看護学　…… 220
老年看護学演習　…… 223
リハビリテーション看護学　…… 226
成人･老年看護学実習Ⅱ　…… 229
公衆衛生看護学Ⅱ　…… 233
在宅看護学Ⅱ　…… 235
在宅看護学演習　…… 238
在宅看護学実習　…… 241

【第4学年】
2025年度時間割(看護学専攻:第4学年) …… 247
保健統計学 …… 254
国際保健看護学Ⅱ …… 256
産業保健学 …… 259
卒業論文Ⅱ …… 261
AI 実践演習 …… 265
Learning Medical English …… 267
実践看護英語Ⅲ …… 269
国際保健福祉D …… 272
インディペンデントスタディC …… 274
地域保健看護学Ⅲ …… 277
地域保健看護学演習Ⅰ …… 280
地域保健看護学演習Ⅱ …… 283
地域保健看護学実習 …… 285
クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング …… 290
看護マネジメント学 …… 293
看護の統合と実践実習 …… 295
成人・老年看護学実習Ⅲ …… 300
緩和ケア看護学実習 …… 303
国際看護学実習 …… 305

【全学共通自由科目】
Moral and Political Philosophy for Medicine …… 308
Biosocial Research Topics …… 308
Applied Critical Thinking for Health Sciences …… 308
Fundamentals of Global Health …… 308
Leadership …… 308
Negotiation …… 308
Design Thinking …… 308
オンライン異文化交流 …… 308
医療とAI・ビッグデータ応用 …… 309
AI実践演習 …… 311
アントレプレナー教育 …… 313
疫学基礎 …… 315
生物統計学基礎 …… 316
生物統計学応用I …… 317
生物統計学応用II …… 318
臨床試験方法論基礎 …… 319
臨床試験方法論応用 …… 320
口腔疫学基礎 …… 321
疫学応用 …… 322

【学生周知事項】
湯島地区 学生周知事項(教育要項2025年度版) …… 324

【講義室一覧】
講義室等一覧 …… 330

【参 考】
主な関係規則一覧 …… 332
保健衛生学科(看護学専攻)教育課程表 …… 333
医学部保健衛生学科レポート書式(見本) …… 337
看護学専攻第3学年における臨地実習履修要件 …… 339
医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項 …… 343

２０２５年度授業計画表《看護学専攻》

第１学年		
区 分	週 数	期 間
前期授業		一部科目を除き、教養部で授業が行われる
後期授業	１５週	２０２５年９月３０日(火) ～２０２６年 １月 ９日(金)
後期試験	３週	２０２６年 １月１３日（火）～ １月３０日（金）

第２学年		
区 分	週 数	期 間
前期授業・補講	１４週	２０２５年 ４月１日(火) ～ ７月４日(金)
前期試験	３週	２０２５年 ７月７日(月)～ ７月２３日(水)
前期授業・補講	１週	２０２５年 ７月２４日(木)～ ７月２５日(金)
夏季休業		２０２５年 ７月２８日(月)～ ８月２６日（火）
後期授業	１７週	２０２５年 ８月２７日（水）～１２月１９日（金）
冬季休業		２０２５年１２月２２日(月) ～２０２６年 １月 ２日(金)
後期授業		
後期試験	２週	２０２６年 １月５日（月）～ １月１６日（金）
補講・再試期間	２週	２０２６年 １月１９日(月)～ １月３０日(金)
春季休業		２０２６年 ２月 ２日(月)～

第３学年		
区 分	週 数	期 間
前期授業	１４週	２０２５年 ４月１日(火) ～ ７月１日（火）
前期試験	２週	２０２５年 ７月２日(水)～ ７月１１日(金)
前期授業	１週	２０２５年 ７月２２日(火)～ ７月２３日(水) ※保育園実習（予定）
夏季休業		２０２５年 ７月２８日(月)～ ８月２９日（金）
後期授業	１６週	２０２５年 ９月１日（月）～１２月１９日(金)
冬季休業		２０２５年１２月２２日(月) ～２０２６年 １月 ２日(金)
後期授業	５週	２０２６年 １月 ５日（月）～ ２月 ６日（金）
後期試験		
補講・再試期間		
春季休業		２０２６年 ２月９日(月)～

第４学年		
区 分	週 数	期 間
前期授業	１２週	２０２５年 ４月１日(火) ～ ６月１３日(金)
前期試験	１週	２０２５年 ６月１７日(火) ～ ６月２０日(金)
前期授業	４週	２０２５年 ６月２４日(火)～ ７月１８日（金） ※看護の統合と実践実習（予定）
夏季休業		２０２５年 ７月２２(火)～ ８月２９日（金）
後期授業	１６週	２０２５年 ９月 １日(月) ～１２月１９日(金)
冬季休業		２０２５年１２月２２日(月) ～２０２６年 １月 ２日(金)
後期授業	２週	２０２６年 １月 ５日（月）～ １月１６日（金）
後期試験		
補講・再試期間		
春季休業		２０２６年 １月２０日(月)～

【行事】

２０２５年 ４月 ２日（水）入学式（大岡山地区）
２０２５年 ９月２６日（金）ガイダンス（１学年）
２０２５年 ７月３１日（木）～８月１日（金）オープンキャンパス
２０２５年１０月１日（水）東京科学大学創立記念日（※未定）
２０２５年１０月１４日（火）旧・東京医科歯科大学創立記念日（※未定）
２０２５年１０月１１日（土）～１２日（日）お茶の水祭（※未定）
２０２５年１０月２３日（木）解剖体追悼式 Ｎ２，ＭＴ２（築地本願寺）（※未定）
２０２６年 ３月２６日（木）卒業式

保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修について

（看護学専攻教育課程）

○　看護学専攻では、平成28年度入学者からは、保健師国家試験受験資格取得に必要な科目の履修を、選択制にすることといたしました。

　このことにより、保健師の資格取得を希望する学生は、所定の科目を履修し、その単位を修得した場合に、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できることとなります。

参照：保健衛生学科（看護学専攻）教育課程

看護師国家試験受験資格と保健師国家試験受験資格取得を選択する場合と、
看護師国家試験受験資格取得の場合の科目

【2017年度～2021年度入学者】

保健師を選択する者		
科目	単位	区分
地域保健看護学Ⅲ	2	必修
地域保健看護学演習	1	必修
地域保健看護学実習	3	必修

保健師を選択しない者		
科目	単位	区分
総合実習Ⅰ	2	必修
総合実習Ⅱ	1	必修
緩和ケア看護学Ⅱ※	1	選択
リハビリテーション看護学※	1	選択
看護心理学※	1	選択

※は３科目の中から１科目選択

【2022年度入学者～】

保健師を選択する者		
科目	単位	区分
地域保健看護学Ⅲ	2	必修
地域保健看護学演習Ⅰ	2	必修
地域保健看護学演習Ⅱ	1	必修
地域保健看護学実習	4	必修

保健師を選択しない者		
科目	単位	区分
成人・老年看護学実習Ⅲ	2	必修
緩和ケア看護学Ⅱ※１	1	選択
リハビリテーション看護学※１	1	選択
緩和ケア看護学実習※２	1	選択
国際看護学実習※２	1	選択

※1は2科目の中から１科目選択,※2は2科目の中から1科目選択

【2023年度入学者～】

保健師を選択する者		
科目	単位	区分
公衆衛生看護学Ⅲ	2	必修
公衆衛生看護学演習	3	必修
公衆衛生看護学実習	4	必修

保健師を選択しない者		
科目	単位	区分
リハビリテーション看護学	1	必修
成人・老年看護学実習Ⅲ	2	必修
総合看護学実習	1	必修

第１学年

2025時間割表（看護学専攻第1学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期1	4月1日	火																																							
前期1	4月2日	水			学部入学式	(1)						学部入学式	(2)						学部入学式	(3)																						
前期1	4月3日	木			新入生健診、四種抗体検査	(1)						新入生健診、四種抗体検査	(2)				講義室4		保健衛生学科新入生ガイダンス	(1)				登校	講義室4		保健衛生学科新入生ガイダンス	(2)			登校	講義室4									
前期1	4月4日	金			教養部オリエンテーション・ガイダンス	(1)						教養部オリエンテーション・ガイダンス	(2)						教養部オリエンテーション・ガイダンス	(3)							教養部オリエンテーション・ガイダンス	(4)						教養部オリエンテーション・ガイダンス	(5)					
前期1	4月5日	土																																						
前期1	4月6日	日																																						
前期2	4月7日	月			大岡山Day	(1)						大岡山Day	(2)						大岡山Day	(3)							大岡山Day	(4)						大岡山Day	(5)					
前期2	4月8日	火			多職種連携Ⅰ	(1)	必修					多職種連携Ⅰ	(2)	必修					多職種連携Ⅰ	(3)	必修						多職種連携Ⅰ	(4)	必修					多職種連携Ⅰ	(5)	必修				
前期2	4月9日	水																																						
前期2	4月10日	木																																						
前期2	4月11日	金																																						
前期2	4月12日	土																																						
前期2	4月13日	日																																						
前期3	4月14日	月																																						
前期3	4月15日	火																																						
前期3	4月16日	水																																						
前期3	4月17日	木																																						
前期3	4月18日	金																																						
前期3	4月19日	土																																						
前期3	4月20日	日																																						
前期4	4月21日	月																																						
前期4	4月22日	火																																						
前期4	4月23日	水																																						
前期4	4月24日	木																																						
前期4	4月25日	金																																						
前期4	4月26日	土																																						
前期4	4月27日	日																																						
前期5	4月28日	月																																						
前期5	4月29日	火	昭和の日																																						
前期5	4月30日	水																																						
前期5	5月1日	木																																						
前期5	5月2日	金																																						
前期5	5月3日	土	憲法記念日																																						
前期5	5月4日	日	みどりの日																																						
前期6	5月5日	月	こどもの日																																						
前期6	5月6日	火	振替休日																																						
前期6	5月7日	水																																						
前期6	5月8日	木																																						
前期6	5月9日	金																																						
前期6	5月10日	土																																						
前期6	5月11日	日																																						
前期7	5月12日	月																																						
前期7	5月13日	火																																						
前期7	5月14日	水																																						
前期7	5月15日	木																																						
前期7	5月16日	金																																						
前期7	5月17日	土																																						
前期7	5月18日	日																																						
前期8	5月19日	月																																						
前期8	5月20日	火																																						
前期8	5月21日	水																																						
前期8	5月22日	木																																						

2025時間割表（看護学専攻第1学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期8	5月23日	金																																						
前期8	5月24日	土																																						
前期8	5月25日	日																																						
前期9	5月26日	月																																						
前期9	5月27日	火																																						
前期9	5月28日	水																																						
前期9	5月29日	木																																						
前期9	5月30日	金																																						
前期9	5月31日	土																																						
前期9	6月1日	日																																						
前期10	6月2日	月																																						
前期10	6月3日	火																																						
前期10	6月4日	水																																						
前期10	6月5日	木																																						
前期10	6月6日	金																																						
前期10	6月7日	土																																						
前期10	6月8日	日																																						
前期11	6月9日	月																																						
前期11	6月10日	火																																						
前期11	6月11日	水																																						
前期11	6月12日	木																																						
前期11	6月13日	金																																						
前期11	6月14日	土																																						
前期11	6月15日	日																																						
前期12	6月16日	月																																						
前期12	6月17日	火																																						
前期12	6月18日	水																																						
前期12	6月19日	木																																						
前期12	6月20日	金																																						
前期12	6月21日	土																																						
前期12	6月22日	日																																						
前期13	6月23日	月																																						
前期13	6月24日	火																																						
前期13	6月25日	水																																						
前期13	6月26日	木																																						
前期13	6月27日	金																																						
前期13	6月28日	土																																						
前期13	6月29日	日																																						
前期14	6月30日	月																																						
前期14	7月1日	火																																						
前期14	7月2日	水																																						
前期14	7月3日	木																																						
前期14	7月4日	金																																						
前期14	7月5日	土																																						
前期14	7月6日	日																																						
前期15	7月7日	月																																						
前期15	7月8日	火																																						
前期15	7月9日	水																																						
前期15	7月10日	木																																						
前期15	7月11日	金																																						
前期15	7月12日	土																																						
前期15	7月13日	日																																						

2025時間割表（看護学専攻第1学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期16	7月14日	月																																						
前期16	7月15日	火																																						
前期16	7月16日	水																																						
前期16	7月17日	木																																						
前期16	7月18日	金																																						
前期16	7月19日	土																																						
前期16	7月20日	日																																						
前期17	7月21日	月	海の日																																					
前期17	7月22日	火																																						
前期17	7月23日	水																																						
前期17	7月24日	木																																						
前期17	7月25日	金																																						
前期17	7月26日	土																																						
前期17	7月27日	日																																						
前期18	7月28日	月																																						
前期18	7月29日	火																																						
前期18	7月30日	水																																						
前期18	7月31日	木			オープンキャンパス	(1)						オープンキャンパス	(2)						オープンキャンパス	(3)						オープンキャンパス	(4)						オープンキャンパス	(5)					
前期18	8月1日	金			オープンキャンパス	(6)						オープンキャンパス	(7)						オープンキャンパス	(8)						オープンキャンパス	(9)						オープンキャンパス	(10)					
前期18	8月2日	土																																						
前期18	8月3日	日																																						
前期19	8月4日	月																																						
前期19	8月5日	火																																						
前期19	8月6日	水																																						
前期19	8月7日	木																																						
前期19	8月8日	金																																						
前期19	8月9日	土																																						
前期19	8月10日	日																																						
前期20	8月11日	月	山の日																																					
前期20	8月12日	火																																						
前期20	8月13日	水																																						
前期20	8月14日	木																																						
前期20	8月15日	金																																						
前期20	8月16日	土																																						
前期20	8月17日	日																																						
前期21	8月18日	月																																						
前期21	8月19日	火																																						
前期21	8月20日	水																																						
前期21	8月21日	木																																						
前期21	8月22日	金																																						
前期21	8月23日	土																																						
前期21	8月24日	日																																						
前期22	8月25日	月																																						
前期22	8月26日	火																																						
前期22	8月27日	水																																						
前期22	8月28日	木																																						
前期22	8月29日	金																																						
前期22	8月30日	土																																						
前期22	8月31日	日																																						
前期23	9月1日	月																																						
前期23	9月2日	火																																						
前期23	9月3日	水																																						

2025時間割表（看護学専攻第1学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期23	9月4日	木																																						
前期23	9月5日	金																																						
前期23	9月6日	土																																						
前期23	9月7日	日																																						
前期24	9月8日	月																																						
前期24	9月9日	火																																						
前期24	9月10日	水																																						
前期24	9月11日	木																																						
前期24	9月12日	金																																						
前期24	9月13日	土																																						
前期24	9月14日	日																																						
前期25	9月15日	月	敬老の日																																					
前期25	9月16日	火																																						
前期25	9月17日	水																																						
前期25	9月18日	木																																						
前期25	9月19日	金																																						
前期25	9月20日	土																																						
前期25	9月21日	日																																						
前期26	9月22日	月																																						
前期26	9月23日	火	秋分の日																																					
前期26	9月24日	水																																						
前期26	9月25日	木																																						
前期26	9月26日	金										1年生ガイダンス（仮）	(1)			登校	講義室1																								
前期26	9月27日	土																																						
前期26	9月28日	日																																						
後期1	9月29日	月																																						
後期1	9月30日	火			微生物学	(1)	必修	合同	同期型																															
後期1	10月1日	水																																						
後期1	10月2日	木																																						
後期1	10月3日	金			栄養学	(1)	必修		登校	講義室1		栄養学	(2)	必修		登校	講義室1		生化学	(1)	必修	合同	登校	講義室1		生化学	(2)	必修	合同	登校	講義室1								
後期1	10月4日	土																																						
後期1	10月5日	日																																						
後期2	10月6日	月																	人間の健康と看護	(1)	必修		登校	講義室1		人間の健康と看護	(2)	必修		登校	講義室1								
後期2	10月7日	火			微生物学	(2)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(1)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(2)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(3)	必修	合同	登校	講義室1								
後期2	10月8日	水																																						
後期2	10月9日	木																																						
後期2	10月10日	金										栄養学	(3)	必修		登校	講義室1		生化学	(3)	必修	合同	登校	講義室1		生化学	(4)	必修	合同	登校	講義室1								
後期2	10月11日	土																																						
後期2	10月12日	日																																						
後期3	10月13日	月	スポーツの日																																					
後期3	10月14日	火			微生物学	(3)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(4)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(5)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(6)	必修	合同	登校	講義室1								
後期3	10月15日	水																																						
後期3	10月16日	木																																						
後期3	10月17日	金			看護制度論	(1)	必修		登校	講義室1		看護制度論	(2)	必修		登校	講義室1		解剖学	(7)	必修	合同	登校	講義室1															
後期3	10月18日	土																																						
後期3	10月19日	日																																						
後期4	10月20日	月										解剖学	(8)	必修	合同	登校	講義室1		人間の健康と看護	(3)	必修		登校	講義室1		人間の健康と看護	(4)	必修		登校	講義室1								
後期4	10月21日	火			微生物学	(4)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(9)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(10)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(11)	必修	合同	登校	講義室1								
後期4	10月22日	水																																						
後期4	10月23日	木																																						
後期4	10月24日	金			看護制度論	(3)	必修		登校	講義室1		看護制度論	(4)	必修		登校	講義室1		生化学	(5)	必修	合同	登校	講義室1		生化学	(6)	必修	合同	登校	講義室1								
後期4	10月25日	土																																						

2025時間割表（看護学専攻第1学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期4	10月26日	日																																						
後期5	10月27日	月										解剖学	(12)	必修	合同	登校	講義室1		人間の健康と看護	(5)	必修		登校	講義室1		人間の健康と看護	(6)	必修		登校	講義室1									
後期5	10月28日	火			微生物学	(5)	必修	合同	非同期型			解剖学	(13)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(14)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(15)	必修	合同	登校	講義室1									
後期5	10月29日	水																																						
後期5	10月30日	木																																						
後期5	10月31日	金			微生物学	(6)	必修	合同	登校	講義室1		栄養学	(4)	必修		登校	講義室1		生化学	(7)	必修	合同	登校	講義室1		生化学	(8)	必修	合同	登校	講義室1									
後期5	11月1日	土																																						
後期5	11月2日	日																																						
後期6	11月3日	月	文化の日																																					
後期6	11月4日	火										解剖学	(16)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(17)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(18)	必修	合同	登校	講義室1									
後期6	11月5日	水																																		海外研修報告会	(1)					
後期6	11月6日	木																																						
後期6	11月7日	金			看護の統合と実践	(1)	必修		登校	講義室1		看護の統合と実践	(2)	必修		登校	講義室1		生化学	(9)	必修	合同	登校	講義室1		生化学	(10)	必修	合同	登校	講義室1									
後期6	11月8日	土																																						
後期6	11月9日	日																																						
後期7	11月10日	月										基盤看護学実習Ⅰ	(1)	必修		登校	講義室1		人間の健康と看護	(7)	必修		登校	講義室1		人間の健康と看護	(8)	必修		登校	講義室1									
後期7	11月11日	火			微生物学	(7)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(19)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(20)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(21)	必修	合同	登校	講義室1									
後期7	11月12日	水																																						
後期7	11月13日	木																																						
後期7	11月14日	金			看護の統合と実践	(3)	必修		登校		情報検索室	看護の統合と実践	(4)	必修		登校		情報検索室	病理学	(1)	必修	合同	登校	講義室1		病理学	(2)	必修	合同	登校	講義室1									
後期7	11月15日	土																																						
後期7	11月16日	日																																						
後期8	11月17日	月			病理学	(3)	必修	合同	登校	講義室1		病理学	(4)	必修	合同	登校	講義室1		看護制度論	(5)	必修		登校	講義室1		看護制度論	(6)	必修		登校	講義室1									
後期8	11月18日	火			微生物学	(8)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(22)	必修	合同	登校	講義室1		解剖学	(23)	必修	合同	登校	講義室1																	
後期8	11月19日	水																																						
後期8	11月20日	木																																						
後期8	11月21日	金										栄養学	(5)	必修		登校	講義室1		国際保健看護学Ⅰ	(1)	必修		同期型			国際保健看護学Ⅰ	(2)	必修		同期型										
後期8	11月22日	土																																						
後期8	11月23日	日	秋分の日																																					
後期9	11月24日	月	振替休日																																					
後期9	11月25日	火			生化学	(11)	必修	合同	同期型										生化学	(12)	必修	合同	同期型			生化学	(13)	必修	合同	同期型									
後期9	11月26日	水																																						
後期9	11月27日	木																																						
後期9	11月28日	金										栄養学	(6)	必修		登校	講義室1		国際保健看護学Ⅰ	(3)	必修		登校	講義室1		国際保健看護学Ⅰ	(4)	必修		登校	講義室1									
後期9	11月29日	土																																						
後期9	11月30日	日																																						
後期10	12月1日	月			病理学	(5)	必修	合同	登校	講義室1		病理学	(6)	必修	合同	登校	講義室1		看護制度論	(7)	必修		登校	講義室4		看護制度論	(8)	必修		登校	講義室4									
後期10	12月2日	火																	看護の統合と実践	(5)	必修		登校	講義室1		看護の統合と実践	(6)	必修		登校	講義室1									
後期10	12月3日	水																																						
後期10	12月4日	木																																						
後期10	12月5日	金										栄養学	(7)	必修		登校	講義室1		国際保健看護学Ⅰ	(5)	必修		登校	講義室1		国際保健看護学Ⅰ	(6)	必修		登校	講義室1									
後期10	12月6日	土																																						
後期10	12月7日	日																																						
後期11	12月8日	月			生化学	(14)	必修	合同	登校	講義室1		生化学	(15)	必修	合同	登校	講義室1		看護の統合と実践	(7)	必修		登校	講義室4		看護の統合と実践	(8)	必修		登校	講義室4									
後期11	12月9日	火			基盤看護学実習Ⅰ	(2)	必修			講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(3)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(4)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(5)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(6)	必修		登校	講義室4	実習室1,2
後期11	12月10日	水																																						
後期11	12月11日	木																																						
後期11	12月12日	金			基盤看護学実習Ⅰ	(7)	必修		登校	講義室1	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(8)	必修		登校	講義室1	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(9)	必修		登校	講義室1	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(10)	必修		登校	講義室1	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(11)	必修		登校	講義室1	実習室1,2
後期11	12月13日	土																																						
後期11	12月14日	日																																						
後期12	12月15日	月			基盤看護学実習Ⅰ	(12)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(13)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(14)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(15)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(16)	必修		登校	講義室4	実習室1,2
後期12	12月16日	火			基盤看護学実習Ⅰ	(17)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(18)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(19)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(20)	必修		登校	講義室4	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(21)	必修		登校	講義室4	実習室1,2

2025時間割表（看護学専攻第1学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期12	12月17日	水																																						
後期12	12月18日	木																																						
後期12	12月19日	金			基盤看護学実習Ⅰ	(22)	必修		登校	講義室1	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(23)	必修		登校	講義室1	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(24)	必修		登校	講義室1	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(25)	必修		登校	講義室1	実習室1,2	基盤看護学実習Ⅰ	(26)	必修		登校	講義室1	実習室1,2
後期12	12月20日	土																																						
後期12	12月21日	日																																						
後期13	12月22日	月		冬休み																																				
後期13	12月23日	火		冬休み																																				
後期13	12月24日	水		冬休み																																				
後期13	12月25日	木		冬休み																																				
後期13	12月26日	金		冬休み																																				
後期13	12月27日	土																																						
後期13	12月28日	日																																						
後期14	12月29日	月																																						
後期14	12月30日	火																																						
後期14	12月31日	水																																						
後期14	1月1日	木	元日																																					
後期14	1月2日	金																																						
後期14	1月3日	土																																						
後期14	1月4日	日																																						
後期15	1月5日	月			国際保健看護学Ⅰ	(7)	必修		登校	講義室1									病理学	(7)	必修	合同	登校	講義室1		病理学	(8)	必修	合同	登校	講義室1									
後期15	1月6日	火																																						
後期15	1月7日	水																																						
後期15	1月8日	木																																						
後期15	1月9日	金										栄養学	(8)	必修		登校	講義室1		国際保健看護学Ⅰ	(8)	必修		登校	講義室1		国際保健看護学Ⅰ	(9)	必修		登校	講義室1									
後期15	1月10日	土																																						
後期15	1月11日	日																																						
後期16	1月12日	月	成人の日																																					
後期16	1月13日	火			後期定期試験	(1)						後期定期試験	(2)						後期定期試験	(3)						後期定期試験	(4)						後期定期試験	(5)					
後期16	1月14日	水																																						
後期16	1月15日	木																																						
後期16	1月16日	金			後期定期試験	(6)						後期定期試験	(7)						後期定期試験	(8)						後期定期試験	(9)						後期定期試験	(10)					
後期16	1月17日	土																																						
後期16	1月18日	日																																						
後期17	1月19日	月			後期定期試験	(11)						後期定期試験	(12)						後期定期試験	(13)						後期定期試験	(14)						後期定期試験	(15)					
後期17	1月20日	火			後期定期試験	(16)						後期定期試験	(17)						後期定期試験	(18)						後期定期試験	(19)						後期定期試験	(20)					
後期17	1月21日	水																																						
後期17	1月22日	木																																						
後期17	1月23日	金			補講・再試	(1)						補講・再試	(2)						補講・再試	(3)						補講・再試	(4)						補講・再試	(5)					
後期17	1月24日	土																																						
後期17	1月25日	日																																						
後期18	1月26日	月			補講・再試	(6)						補講・再試	(7)						補講・再試	(8)						補講・再試	(9)						補講・再試	(10)					
後期18	1月27日	火			補講・再試	(11)						補講・再試	(12)						補講・再試	(13)						補講・再試	(14)						補講・再試	(15)					
後期18	1月28日	水																																						
後期18	1月29日	木																																						
後期18	1月30日	金			補講・再試	(16)						補講・再試	(17)																											
後期18	1月31日	土																																						
後期18	2月1日	日																																						
後期19	2月2日	月																																						
後期19	2月3日	火																																						
後期19	2月4日	水																																						
後期19	2月5日	木																																						
後期19	2月6日	金																																						

2025時間割表（看護学専攻第1学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期19	2月7日	土																																						
後期19	2月8日	日																																						
後期20	2月9日	月																																						
後期20	2月10日	火																																						
後期20	2月11日	水	建国記念の日																																					
後期20	2月12日	木																																						
後期20	2月13日	金																																						
後期20	2月14日	土																																						
後期20	2月15日	日																																						
後期21	2月16日	月																																						
後期21	2月17日	火																																						
後期21	2月18日	水																																						
後期21	2月19日	木																																						
後期21	2月20日	金																																						
後期21	2月21日	土																																						
後期21	2月22日	日																																						
後期22	2月23日	月	天皇誕生日																																					
後期22	2月24日	火																																						
後期22	2月25日	水																																						
後期22	2月26日	木																																						
後期22	2月27日	金																																						
後期22	2月28日	土																																						
後期22	3月1日	日																																						
後期23	3月2日	月																																						
後期23	3月3日	火																																						
後期23	3月4日	水																																						
後期23	3月5日	木																																						
後期23	3月6日	金																																						
後期23	3月7日	土																																						
後期23	3月8日	日																																						
後期24	3月9日	月																																						
後期24	3月10日	火																																						
後期24	3月11日	水																																						
後期24	3月12日	木																																						
後期24	3月13日	金																																						
後期24	3月14日	土																																						
後期24	3月15日	日																																						
後期25	3月16日	月																																						
後期25	3月17日	火																																						
後期25	3月18日	水																																						
後期25	3月19日	木																																						
後期25	3月20日	金	春分の日																																					
後期25	3月21日	土																																						
後期25	3月22日	日																																						
後期26	3月23日	月																																						
後期26	3月24日	火																																						
後期26	3月25日	水																																						
後期26	3月26日	木																																						
後期26	3月27日	金																																						
後期26	3月28日	土																																						
後期26	3月29日	日																																						
	3月30日	月																																						
	3月31日	火																																						

時間割番号	012005A				
科目名	解剖学			科目ID	MN-130500-L
担当教員	星 治, 藤代 瞳, 佐藤 昇, 原田 理代, 秋田 恵一, 阪上 洋行, 髙橋 元子[HOSHI Osamu, FUJISHIRO Hitomi, SATO Noboru, HARADA Masayo, AKITA Keiichi, SAKAGAMI Hiroyuki, , TAKAHASHI Motoko]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Anatomy

【科目責任者】星 治

主な講義場所

授業明細を参照

授業の目的、概要等

解剖学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で，医学の最も基礎的な領域である。

授業の到達目標

からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について，基本的な構造を理解することを目標とする。さらに，看護学を学ぶためにあたって必要な内容を講義するだけでなく，実物観察により理解を深めることも重視する。到達目標は以下の通りである。

1)解剖学の概念、人体の基本的な構成要素を理解する。

2)組織学のあらましを理解する。人体の解剖学的方向用語を理解する。

3)骨組織の基本構造、骨の発生を理解する。頭蓋の構造を理解する。

4)脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格の基本的な構造を理解する。

5)筋の形態と構造、頭部の筋の構造を理解する。

6)胸腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋の構造を理解する。

7)鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭の基本的な構造を理解する。

8)気管、気管支、肺の基本的な構造を理解する。

9)発生学の基本的な概念を理解する。

10)心臓の構造、刺激伝導系の構造を理解する。

11)肺循環と体循環の違いを理解する。動脈系、静脈系、リンパ管系の基本的な構造を理解する。

12)血管の種類とその基本的な構造を理解する。

13)腎臓の基本的な構造を理解する。

14)尿管、膀胱、尿道の基本的な構造を理解する。

15)精巣と精巣上体、精管、卵巣、卵管、子宮の基本的な構造を理解する。

16)各種の内分泌器官の基本的な構造を理解する。

17)消化管全般の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃のそれぞれの基本的な構造を理解する。

18)小腸、大腸のそれぞれの基本的な構造を理解する。

19)肝臓、胆嚢、膵臓のそれぞれの基本的な構造を理解する。

20)神経系の構成要素とそれらの基本的な構造を理解する。

21)中枢神経系・末梢神経系のなりたちと、それぞれの基本的な構造を理解する。

22)眼球とその付属器の基本的な構造を理解する。

23)平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚の基本的な構造を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/7	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	解剖学総論Ⅰ	解剖学とは何か、人体の構成単位、器官と系統、	星 治	解剖学の概念、人体の基本的な構成要素を理解する。
2	10/7	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	解剖学総論Ⅱ	細胞と組織、人体の方向用語	星 治	組織学のあらましを理解する。人体の解剖学的方向用語を理解する。
3	10/7	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	骨格系Ⅰ	骨組織、骨の発生、骨の連結、頭蓋	藤代 瞳	骨組織の基本構造、骨の発生を理解する。頭蓋の構造を理解する。
4	10/14	10:45-12:25	保健衛生学	骨格系Ⅱ	脊柱、胸郭、上肢の骨	藤代 瞳	脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格の基

			科講義室1		格、下肢の骨格		本的な構造を理解する。
5	10/14	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	筋系Ⅰ	筋の形態と構造、頭部の筋	星 治	筋の形態と構造、頭部の筋の構造を理解する。
6	10/14	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	筋系Ⅱ	胸腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋	星 治	胸腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋の構造を理解する。
7	10/17	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	呼吸器系Ⅰ	鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭	星 治	鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭の基本的な構造を理解する。
8	10/20	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	呼吸器系Ⅱ	気管、気管支、肺	星 治	気管、気管支、肺の基本的な構造を理解する。
9	10/21	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	生殖器系(男性、女性)	精巣と精巣上体、精管、卵巣、卵管、子宮	秋田 恵一	精巣と精巣上体、精管、卵巣、卵管、子宮の基本的な構造を理解する。
10	10/21	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	泌尿器系Ⅰ	腎臓	星 治	腎臓の基本的な構造を理解する。
11	10/21	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	泌尿器系Ⅱ	尿管、膀胱、尿道	星 治	尿管、膀胱、尿道の基本的な構造を理解する。
12	10/27	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	循環器系Ⅰ	心臓の構造、刺激伝導系	佐藤 昇, 星 治	心臓の構造、刺激伝導系の構造を理解する。
13	10/28	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	発生学	発生学:ヒトの発生、受精から出生までのあらまし	原田 理代	発生学の基本的な概念を理解する。
14	10/28	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	循環器系Ⅱ	肺循環と体循環、動脈系、静脈系、リンパ管系	星 治	肺循環と体循環の違いを理解する。動脈系、静脈系、リンパ管系の基本的な構造を理解する。
15	10/28	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	循環器系Ⅲ	血管の構造	星 治	血管の種類とその基本的な構造を理解する。
16	11/4	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	内分泌系	内分泌器官	秋田 恵一	各種の内分泌器官の基本的な構造を理解する。
17	11/4	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	神経系Ⅰ	神経系の構成	阪上 洋行, 星 治	神経系の構成要素とそれらの基本的な構造を理解する。
18	11/4	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	神経系Ⅱ	中枢神経系・末梢神経系	阪上 洋行, 星 治	中枢神経系・末梢神経系のなりたちと、それぞれの基本的な構造を理解する。
19	11/11	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	消化器系Ⅰ	消化管の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃	星 治, 髙橋 元子	消化管全般の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃のそれぞれの基本的な構造を理解する。
20	11/11	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	消化器系Ⅱ	小腸、大腸	星 治	小腸、大腸のそれぞれの基本的な構造を理解する。
21	11/11	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	消化器系Ⅲ	肝臓、胆嚢、膵臓	星 治	肝臓、胆嚢、膵臓のそれぞれの基本的な構造を理解する。
22	11/18	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	感覚器系Ⅰ	眼球とその付属器	藤代 瞳	眼球とその付属器の基本的な構造を理解する。
23	11/18	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	感覚器系Ⅱ	平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚	藤代 瞳	平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚の基本的な構造を理解する。

授業方法

対面授業。一部アクティブラーニングを実施する。

授業内容

人体を各系統に分け，それらを構成する各器官の形態と構造について講義し，基礎的な人体解剖学の概念を修得できるように努める。一部演習も行う。

成績評価の方法

小テストの成績(10%)、学期末筆記試験の成績(90%)により総合的に評価する。一部，英文による出題もある。

成績評価の基準

学期末筆記試験の成績が 100 点満点で 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

指定の教科書を事前に読み込むこと。特に，講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

試験の受験資格

授業時間数の 3 分の 2 以上出席した場合に定期試験を受験することができる。出席の扱いは以下の通り

同期型の場合:講義を最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする

非同期の場合:webclass での確認テストで 60 点以上だった場合を出席とする

教科書

解剖学／秋田，恵一, 1962-,星，治,秋田恵一，星治 著:医歯薬出版，2019.1

参考書

藤田恒夫:入門人体解剖学 南江堂

牛木辰男:入門組織学 南江堂

他科目との関連

人体の様々な病態を理解するためには，からだの構造の基本的な知識が必要である。このため，解剖学は他の多くの科目と関連している。特に，生理学，病理学，病態学とは密接な関連がある。

履修上の注意事項

時間数が限られているので，予習，復習することが必要である。

連絡先(メールアドレス)

星 治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp

藤代 瞳:fujishiro.aps@tmd.ac.jp

オフィスアワー

星 治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。

湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012008A				
科目名	生化学			科目ID	MN-131400-L
担当教員	鈴木　喜晴[SUZUKI Nobuharu]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Biochemisty

【科目責任者】鈴木喜晴

主な講義場所

保健衛生学科講義室 1、zoom による遠隔授業(同期型)

授業の目的、概要等

生化学は生体に関するあらゆる学問の基礎と言っても過言ではない。長い歴史の過程で数多くの関連知見が得られ、現在も目覚ましい科学技術の発展と共に、生化学は進歩し続けている。本講義では、特に生体高分子の構造、反応、機能に着目し、細胞や組織、個体レベルでの生命現象の理解を深めることを目的とする。また、様々な生化学に関わる最新の基礎研究にも触れ、当該研究分野の現状を学ぶ。さらに、英語による解説ビデオ等から、当該分野における国際的な重要性についても理解を深める。アクティブラーニングとして、各章の終わりに演習問題を行い習得度を確認する。

授業の到達目標

1)基礎的な物質や現象の用語とその意味を理解・習得する。

2)1の内容を体系的に理解し、設問に対し、口頭または記述で説明できる。

3)関連分野での基礎研究や臨床研究に応用できる実践的な知識を身につける。

4)1～3の内容を体系的に理解した上で、より専門的な研究内容について考察・議論できる。

各章での具体的な目標は以下の通りである。

1章:細胞の構造と構成要素について理解する。生化学における化学、物理学、遺伝学、進化論の基礎を理解する。

2章:水の分子レベルでの性質と機能を学ぶ。

3章:アミノ酸の種類と性質を理解し整理する。タンパク質の一次構造を学ぶ。

4章:タンパク質の二次構造、三次構造、四次構造を理解する。

5章:タンパク質の相互作用とその評価方法を学ぶ。

6章:触媒としての酵素の機能をエネルギー論や基質特異性から学ぶ。

7章:糖質の構造と機能を理解する。糖質の同定法や機能解析法を学ぶ。

8章:核酸の構造と機能を理解する。核酸の同定法や機能解析法(PCR など)を学ぶ。

9章:脂質の構造と機能を理解する。脂質の同定法や機能解析法を学ぶ。

10章:高エネルギーリン酸化合物や生物学的酸化還元反応を担う分子について学ぶ。

11章:解糖、糖新生、ペントースリン酸経路の仕組みを学ぶ。

12章:解糖と糖新生の協調的調節機構を学ぶ。グリコーゲンの代謝(分解と合成)の仕組みを理解する。

13章:クエン酸回路の仕組みを学ぶ。

14章:脂質の異化(β酸化反応)を理解する。

15章:アミノ酸の異化について学ぶ。

16章:ミトコンドリアでの電子伝達経路の仕組みを学ぶ。

17章:脂肪酸の生合成経路を理解する。

18章:アミノ酸やアミノ酸派生体、ヌクレオチドの生合成経路を学ぶ。

19章:各種ホルモンの分泌器官、性質、作用を整理・理解する。

20章:遺伝子、染色体、ゲノムの構造を学ぶ。

21章: DNA の複製、修復、組換えの仕組みを学ぶ。

22章: RNA の種類と合成経路、機能を整理・理解する。

23章:タンパク質の合成経路の仕組みを学ぶ。

24章:遺伝子発現調節の概要と詳細を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/3	13:30–15:10	保健衛生学科講義室1	オリエンテーション／ 1章 生化学の基礎	本講義についての説明／ 1章 細胞の基礎;化学の基礎;遺伝学の基礎;進化論の基礎	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
2	10/3	15:25–17:05	保健衛生学科講義室1	2章 水／ 3章 アミノ酸、ペプチドおよびタンパク質	2章 水系における弱い相互作用;水、弱酸、弱塩基のイオン化;生物系の pH 変化に対する緩衝作用;反応物としての水;生物の水環境への適合性／ 3章 アミノ酸;ペプチドとタンパク質;タンパク質研究法;タンパク質の構造 一次構造	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
3	10/10	13:30–15:10	保健衛生学科講義室1	4章 タンパク質の三次元構造／ 5章 タンパク質の機能	4章 タンパク質構造の概念;タンパク質の二次構造;タンパク質の三次構造と四次構造;タンパク質の変性とフォールディング／ 5章 リガンドに対するタンパク質の可逆的結合;タンパク質とリガンドの間の相補的相互作用	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
4	10/10	15:25–17:05	保健衛生学科講義室1	6章 酵素	6章 酵素の発見;酵素の作用機構;酵素反応速度論による作用機構の研究;酵素反応の例;調節酵素	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
5	10/24	13:30–15:10	保健衛生学科講義室1	7章 糖質と糖鎖生物学／ 8章 ヌクレオチドと核酸	7章 単糖と二糖;多糖;複合糖質:プロテオグリカン、糖タンパク質、スフィンゴ糖脂質;情報分子としての糖質:シュガーコード;糖質研究／ 8章 基本事項;核酸の構造;核酸の化学;ヌクレオチドの他の機能	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
6	10/24	15:25–17:05	保健衛生学科講義室1	9章 脂質	9章 貯蔵脂質;膜に存在する構造脂質;シグナル分子、補因子および色素としての脂質;脂質研究	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
7	10/31	13:30–15:10	保健衛生学科講義室1	10章 生体エネルギー論と生化学反応のタイプ／ 11章 解糖、糖新生およびペントースリン酸経路	10章 ホスホリル基転移と ATP;生物学的な酸化還元反応／ 11章 解糖;解糖への供給経路;嫌気的条件下でのピルビン酸代謝運命:発酵;糖新生;グルコース酸化のペントースリン酸経路	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
8	10/31	15:25–17:05	保健衛生学科講義室1	12章 代謝調節の原理	12章 解糖と糖新生の協調的調節;動物におけるグリコーゲン代謝;グリコーゲンの合成と分解の協調的調節	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
9	11/7	13:30–15:10	保健衛生学科講義室1	13章 クエン酸回路／	13章 アセチル CoA(活性酢酸)の生成;クエン酸回路の反応;クエン酸回路の調節／	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】対面講義／小テスト／口頭試問

				14 章 脂肪酸の異化	14 章 脂肪の消化、動員および運搬;脂肪酸の酸化;ケトン体		【事前学習】講義資料予習
10	11/7	15:25–17:05	保健衛生学科講義室 1	15 章 アミノ酸の酸化と尿素の生成	15 章 アミノ酸の代謝運命;窒素排泄と尿素回路;アミノ酸の分解経路	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】対面講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
11	11/25	08:50–10:30	遠隔授業（同期型）	16 章 酸化的リン酸化	16 章 ミトコンドリアにおける呼吸鎖;ATP 合成;酸化的リン酸化の調節;ミトコンドリア遺伝子:その起源と変異の影響	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
12	11/25	13:30–15:10	遠隔授業（同期型）	17 章 脂質の生合成／ 18 章 アミノ酸、ヌクレオチドおよび関連分子の生合成	17 章 脂肪酸とエイコサノイドの生合成;トリアシルグリセロールの生合成;膜リン脂質の生合成;コレステロール、ステロイド、イソプレノイドの生合成／ 18 章 アミノ酸の生合成;アミノ酸に由来する分子;ヌクレオチドの生合成と分解	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
13	11/25	15:25–17:05	遠隔授業（同期型）	19 章 哺乳類の代謝のホルモンによる調節と統合／ 20 章 遺伝子と染色体	19 章 ホルモン:多様な機能のための多様な構造;インスリンと糖尿病／ 20 章 染色体の成分;DNA のスーパーコイル形成;染色体の構造	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
14	12/8	08:50–10:30	保健衛生学科講義室 1	21 章 DNA 代謝／ 22 章 RNA 代謝	21 章 DNA 複製;DNA 修復;DNA 組換え／ 22 章 RNA の DNA 依存的合成;RNA プロセシング;RNA 依存的な RNA と DNA の合成	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習
15	12/8	10:45–12:25	保健衛生学科講義室 1	23 章 タンパク質代謝／ 24 章 遺伝子発現調節	23 章 遺伝暗号;タンパク質合成;タンパク質のターゲティングと分解／ 24 章 遺伝子発現調節の原理;真核生物における遺伝子発現調節	鈴木 喜晴	【到達目標】1)、2)、3)、4) 【学習方法】遠隔講義／小テスト／口頭試問 【事前学習】講義資料予習

授業方法

対面授業／同期授業:講義スライドや資料、ビデオを用いて解説しながら進める。本講義は主に参考書1、2「レーニンジャーの新生化学（上、下）」に沿って「授業の到達目標」の下に進めて行く。アクティブラーニングとして、各章の終わりに演習問題を行い理解度を確認する。その他講義内容に応じて、口頭での設問や考えを問う等のアクティブラーニングも活用する。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

1）学期末試験の成績

2）講義中の章末演習問題の成績

3）出席状況

「成績評価の基準」を参照。

成績評価の基準

合計回数の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。

章末演習問題:3 問中 2 問以上正解で 1 点×21 章[初日（10 月 3 日）の講義分は適用しない]=21 点

出席点:出席 1 回で 0.6 点×15=9 点

期末筆記試験（本試験）:70 点

合計:100 点

＊期末試験後、平均点、最高点、最低点を考慮して、点数配分に多少の変更があり得る。
上記に従い、60 点以上で合格とする。60 点未満の場合、再試験(筆記試験)を行い、60 点以上で合格とする。学期末試験には英語の問題を 10%程度出題する。

準備学習等についての具体的な指示

毎回講義の前に WebClass から講義資料をダウンロードし、参考書等も利用して準備学習を行うこと。本講義は主に参考書1、2「レーニンジャーの新生化学(上、下)」に沿って「授業の到達目標」の下に進めて行くが、各自の学習目的(例:国家試験対策等)、レベルに合わせて、自主学習用の参考書を各自で選択すること。
また、本科目は、高校や教養部の生物・化学の内容をある程度修得していることを前提とした専門科目である。生化学をより専門とする検査技術学専攻との合同科目であることも理解して頂く必要がある。そのため、その修得度に達していない受講者は、自主的に学習し、講義内容を理解できるよう努力する必要がある。

試験の受験資格

期末に筆記試験を行う。試験の受験資格は、対面講義または同期型講義(zoom)の合計回数の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。遅刻や早退となる際は、必ず科目責任者にメールで連絡し、理由を説明すること。勘案すべき事情がある場合(体調不良や公共交通機関の遅れ、zoom の際のインターネット環境等)は、出席として認める。それ以外の遅刻や早退は出席回数を 0.5 回とする。但し、講義時間の半分以上の遅刻・早退は欠席とする。受験資格の出席数(3 分の 2 以上)が足りない場合は、その旨科目責任者にメールで連絡をして、理由を説明すること。

参考書

レーニンジャーの新生化学 : 生化学と分子生物学の基本原理[上]／レーニンジャー, ネルソン, コックス [著],川嵜敏祐 監修,中山和久 編集,Lehninger, Albert L,Nelson, David Lee, 1942−,Cox, Michael M,川嵜, 敏祐, 1941−,中山, 和久, 1959−,:廣川書店, 2019
レーニンジャーの新生化学 : 生化学と分子生物学の基本原理[下]／レーニンジャー, ネルソン, コックス [著],川嵜敏祐 監修,中山和久 編集,Lehninger, Albert L,Nelson, David Lee, 1942−,Cox, Michael M,川嵜, 敏祐, 1941−,中山, 和久, 1959−,:廣川書店, 2019
生化学／石堂一巳 著,石堂, 一巳,:南江堂, 2022
臨床生化学／宮澤恵二編,宮澤, 恵二,:メディカ出版, 2023

他科目との関連

分子生物学, 細胞生物学、生理学、遺伝学、栄養化学などと関連する。

履修上の注意事項

講義資料、講義動画、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外への譲渡、SNS やインターネット上での公開を禁ずる。

備考

前年度と同様に章末演習問題を設けることで、アクティブラーニングと講義の予習を促す。

連絡先(メールアドレス)

鈴木 喜晴 : nsuzbb@tmd.ac.jp

オフィスアワー

鈴木 喜晴 : オフィスアワーは特に定めない 3 号館 16 階

時間割番号	012011A				
科目名	病理学			科目ID	MN-131500-L
担当教員	副島　友莉恵, 岩渕　英里奈[SOEJIMA Yurie, IWABUCHI Erina]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Pathology

【科目責任者】副島　友莉恵

主な講義場所　3 号館 18 階 保健衛生学科講義室1

授業の目的、概要等

病理学とは疾病の本態を解析、解明するにあたり必要な学問であり、基礎と臨床との両者にまたがった医学・医療の基本となる分野である。本講義では、病理学総論として疾病病変の基礎を理解し、臨床応用への基盤を作っていただきたい。

授業の到達目標

1) 疾病病変の共通の変化、病態の本質、その病因を系統的に把握し説明できる。
2) 疾病の本態を理解し、医学・医療の基本的知識・思考を習得することを目標とする。
3) 教科書の基本的用語に併記してある英語を読み書きできる。
4) 第 1 回:病気の原因(病因)と疾患との関係を理解する。
5) 第 2 回:様々な炎症のメカニズム、感染症による炎症を理解する。
6) 第 3 回:免疫現象、アレルギーのメカニズムを理解する。
7) 第 4 回:局所、全身の様々な循環障害を理解する。
8) 第 5 回:主な物質代謝障害について理解する。
9) 第 6 回:先天異常、放射線による障害と細胞変化、老化と老年病について理解する。
10)第 7,8 回:腫瘍の本態と病態、代表的な悪性腫瘍について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/14	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	病理学概要、病因論、退行性病変ほか	病理学の概要、病因、退行性病変、進行性病変	副島　友莉恵	【到達目標】1),2),3),4) 【学習方法】対面授業 【その他】講義後に確認テスト
2	11/14	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	炎症、感染症	炎症、感染症	副島　友莉恵	【到達目標】1),2),3),5) 【学習方法】対面授業 【その他】講義後に確認テスト
3	11/17	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	免疫と免疫異常	免疫、自己免疫疾患	副島　友莉恵	【到達目標】1),2),3),6) 【学習方法】対面授業 【その他】講義後に確認テスト
4	11/17	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	循環障害	局所・全身の循環障害	岩渕　英里奈	【到達目標】1),2),3),7) 【学習方法】対面授業 【その他】講義後に確認テスト
5	12/1	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	物質代謝障害	物質代謝障害	副島　友莉恵	【到達目標】1),2),3),8) 【学習方法】対面授業 【その他】講義後に確認テスト
6	12/1	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	先天異常、放射線病理学、老化	先天異常、放射線病理学、老化と老年病	副島　友莉恵	【到達目標】1),2),3),9) 【学習方法】対面授業 【その他】講義後に確認テスト
7	1/5	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	腫瘍病理総論1	良性腫瘍と悪性腫瘍、がんの発生・進展機序、原因	副島　友莉恵	【到達目標】1),2),3),10) 【学習方法】対面授業 【その他】講義後に確認テスト
8	1/5	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	腫瘍病理総論2	主要ながん、前がん病変、がんの組織型、転移	副島　友莉恵	【到達目標】1),2),3),10) 【学習方法】対面授業 【その他】講義後に確認テスト

授業方法

〇対面授業

・配布資料は事前に WebClass で公開する。

・毎講義後に Webclass で確認テストを行いアクティブラーニングを実施する。

・質問はメールや WebClass を利用し対応する。重要な内容については授業の際、全員に伝える。

本講義は検査技術学専攻との合同講義である。

授業内容

授業スケジュールに各回の内容を示す。

成績評価の方法

1)筆記試験

　筆記試験の約 10%に英語の問題を出題する。

2)WebClass での確認テスト

成績評価の基準

評価は筆記試験(80%)、確認テスト(20%)とし、60%以上を合格とする。また、この点数を本科目の評価とする。合格点に満たないものは再試験を実施し、60%以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学で基本的な人体の構造と形態を学習済みのものとして扱う。

配布資料は各自で WebClass よりダウンロードしておくこと。

試験の受験資格

2/3(6 回)以上の出席をもって受験資格とする。出欠の確認はカードリーダーで行う。特別な事情で授業に参加できない場合は、授業前に科目責任者または保健衛生教務グループにメールで連絡をすること。緊急の場合には電話でもよいがその後メールすること。連絡ができないような特別な場合にはその限りではない。以上の十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じて講義録画視聴やレポート提出により出席を代替することがあるので、指示に従うこと。

教科書

病理学／大橋健一著者代表,大橋, 健一(病理学),谷澤, 徹,藤原, 正親,柴原, 純二,:医学書院, 2021

参考書

スタンダード病理学／沢辺元司, 長坂徹郎編,沢辺, 元司,長坂, 徹郎,大西, 俊造,梶原, 博毅,神山, 隆一,:文光堂, 2015

メディックメディア社の「病気が見える」シリーズはビジュアルであり、病態の理解に役立つので推薦する。

他科目との関連

病理学は医学・医療の基本となる分野であり、解剖学など基礎的な科目から臨床的な科目とも密接に関連している。

履修上の注意事項

講義資料は著作権があるため、履修登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

昨年度の授業評価アンケートを踏まえ授業は対面とし、講義スライドを理解しやすくする。

参照ホームページ

授業で用いた資料は WebClass で公開するので自学自習に役立てること。

連絡先(メールアドレス)

副島　友莉恵:soejima.mp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

副島　友莉恵:オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールで連絡すること。

3 号館 16 階

時間割番号	012012A				
科目名	微生物学			科目ID	MN-130600-L
担当教員	齋藤　良一, 具　芳明[SAITO Ryoichi, GU Yoshiaki]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Medical　microbiology

【科目責任者】齋藤　良一

主な講義場所

対面授業:時間割で示された場所

遠隔授業(同期・非同期):Zoom

授業の目的、概要等

感染症の原因である微生物および微生物とその宿主(特に人間)との相互関係に関する学問である医学微生物学について学ぶ。また人間をとりまく環境中の微生物についても学習する。

授業の到達目標

学生はこの講義を通して医学微生物学の基礎的知識を修得できる。

1)微生物の構造や細菌の代謝、遺伝、微生物の消毒、滅菌方法について説明できる。

2)微生物の病原因子や宿主の感染防御機構、感染症治療と予防・感染制御について説明できる。

3)医学微生物学の領域で問題となる主な病原微生物(細菌、真菌、ウイルス、寄生虫)とそれらが関わる感染症について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/30	08:50-10:30	遠隔授業(同期型)	微生物学総論(1)	微生物学の概念と歴史, 微生物細胞の形態と構造, 微生物の分類・命名	齋藤　良一	【到達目標】1) 【学習方法】対面講義、質疑応答 【事後課題】WebClass 上での小テスト
2	10/7	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	微生物学総論(2)	大腸菌の生理と生化学	齋藤　良一	【到達目標】1) 【学習方法】対面講義、質疑応答 【事後課題】WebClass 上での小テスト
3	10/14	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	微生物学総論(3)	細菌の増殖・生残・死滅, 滅菌と消毒	齋藤　良一	【到達目標】1) 【学習方法】対面講義、質疑応答 【事後課題】WebClass 上での小テスト
4	10/21	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	微生物学総論(4)	微生物の遺伝, 環境と微生物	齋藤　良一	【到達目標】1) 【学習方法】対面講義、質疑応答 【事後課題】WebClass 上での小テスト
5	10/28	08:50-10:30	遠隔授業(非同期型)	微生物と免疫	免疫, 微生物の病原因子, 宿主の感染に対する抵抗性	長谷川　温彦	【到達目標】2) 【学習方法】遠隔講義 【事後課題】WebClass 上での小テスト
6	10/31	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	感染症学総論(1)	主な病原微生物(ウイルス)と感染症	齋藤　良一	【到達目標】3)【学習方法】対面講義、質疑応答 【事後課題】WebClass 上での小テスト
7	11/11	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	感染症学総論(2)	主な病原微生物(細菌と真菌)と感染症	齋藤　良一	【到達目標】3) 【学習方法】対面講義、質疑応答 【事後課題】WebClass 上での小テスト
8	11/18	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	感染制御、化学療法	化学療法, 感染症の予防とコントロール	具　芳明	【到達目標】2) 【学習方法】対面講義、質疑応答 【事後課題】WebClass 上での小テスト

授業方法

対面授業および遠隔授業(同期型):WebClass で事前配布した資料をもとに講義し、質疑応答やグループ討論、小テスト等を行う。

遠隔授業(非同期型):WebClass で配布された動画資料を視聴後、WebClass 上で小テストに解答し、各自で講義内容の理解度を確認する。

授業内容

医学微生物学全般(細菌学、ウイルス学、真菌学、免疫学)にわたる基礎的な事項について講義を行う。感染症に関してもその概略を述べる。一部で分子生物学的手法を用いた先進的な微生物の特性や動態解析についても概説する。

成績評価の方法

定期試験成績(85 点)、課題提出状況・成績(10 点)および出席状況・授業態度(5 点)により総括的評価(100 点満点)を行う。定期試験は多肢選択問題で構成され、基本的な専門用語を英語で示す問題も一部に含まれる。

成績評価の基準

「成績評価の方法」に示した項目の合計が 60 点以上の場合を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

講義前に事前配布資料で予習し、関連する内容は教科書でも学習すること。

試験の受験資格

本学の試験規則を満たす者。但し、出席管理は以下のように行う。

・遠隔授業(同期型):zoom のアクセス時間と講義中に行う小テストや質疑応答等により判断する。講義開始 30 分以上経過後のアクセスは欠席とみなす。

・対面授業:出席管理システム(カードタッチ)で判断する。講義開始 30 分以上の遅刻は欠席とみなす。

なお、遠隔授業(非同期型)に変更となった場合は動画視聴時間と小テストの提出を踏まえて判断する。

教科書

微生物学／南嶋洋一 [ほか著],南嶋, 洋一,吉田, 真一,永淵, 正法,齋藤, 光正,大野, 真治,:医学書院, 2022

参考書

イラストでわかる微生物学超入門 : 病原微生物の感染のしくみ／齋藤光正著,齋藤, 光正,:南山堂, 2023

微生物学・感染看護学 : 微生物から感染防止を考える／岡田忍, 小池和子, 白澤浩編,岡田, 忍,小池, 和子(医学),白澤, 浩,:医歯薬出版, 2021

他科目との関連

免疫学、生化学、病理学、公衆衛生学などの科目と密接な関係を持っている。

履修上の注意事項

微生物学の範囲は広く講義時間数は限られているので、毎回出席することが大切である。また講義内容の復習や講義で詳しく触れなかった事項も自主学習し、単元ごとに知識の定着を図って欲しい。講義・実習に関わる資料は全て著作物であり、著作権の関係上、外部に流出することの無いように十分気を付けること。

備考

前年度の授業評価結果を踏まえ、 今年度も引き続き丁寧に指導・教育できる体制を整える。

連絡先(メールアドレス)

齋藤　良一:r-saito.mi@tmd.ac.jp

具　芳明:yogu.cid@tmd.ac.jp

オフィスアワー

齋藤　良一:随時(必ず事前に連絡を入れること)

具　芳明:毎週月曜日 14-16 時　毎週金曜日 14-16 時　M&D タワー17 階 N-1702　統合臨床感染症学分野教授室

時間割番号	012013A				
科目名	栄養学			科目ID	MN-131600-L
担当教員	廣岡 佳代, 腰本 さおり[HIROOKA Kayo, KOSHIMOTO Saori]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Nutritional Sciences

【科目責任者】廣岡 佳代

【科目担当】腰本 さおり

授業の目的、概要等

栄養学の基礎を学ぶことを目的とする。健康増進、疾病予防に寄与する栄養の役割を理解し、エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を学ぶ。また、妊娠や発育、加齢などの変化に応じたライフステージ栄養管理の考え方を習得し、糖尿病、腎臓病など病態の特徴に基づいた適切な栄養管理の重要性を理解する。さらに、現代社会における食糧や栄養の問題点に着目し、健康増進・疾病予防の観点から、問題解決のための洞察力を養う。 グループワークを活用したアクティブラーニングとして行う。

授業の到達目標

1)炭水化物・タンパク質・脂質の代謝と生理的意義を説明できる

2)ビタミン・ミネラルの過剰症と欠乏症について説明できる

3)国民健康・栄養調査からみた、現代社会における食生活の問題に対応し、必要な政策を創ることができる

4)成長や加齢の発達段階に応じた栄養状態ついて理解し、栄養相談の場面をシュミレートできる

5)糖尿病、腎臓病、脂質異常症、嚥下機能低下における栄養療法を理解し、適切な対応ができる

6)高尿酸血症、膵炎、褥瘡、肝硬変、心不全における栄養療法を理解し、適切な対応ができる

7)「日本人の食事摂取基準」と実際の食事内容を比較し、栄養バランスを分析・評価できる

8)栄養ケアにおける多職種との連携およびチーム医療の必要性を理解できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/3	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	基礎栄養(1)	炭水化物・タンパク質・脂質の消化吸収と関連する食品	廣岡 佳代, 腰本 さおり	【到達目標】1) 【学習方法】対面講義/グループ討論 【復習】リフレクションシート回答
2	10/3	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	基礎栄養(2)	ビタミン・ミネラルの過剰症と欠乏症および関連する食品	腰本 さおり	【到達目標】2) 【学習方法】対面講義/グループ討論 【復習】リフレクションシート回答
3	10/10	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	公衆栄養	国民健康・栄養調査からみた我が国の現状	腰本 さおり	【到達目標】3) 【学習方法】対面講義/グループ討論 【復習】リフレクションシート回答
4	10/31	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	ライフステージ栄養	幼児期、成長期、成人期、妊娠期、老年期のライフステージに応じた栄養管理の必要性	腰本 さおり	【到達目標】4) 【学習方法】対面講義/グループ討論 【復習】リフレクションシート回答
5	11/21	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	病態栄養(1)	糖尿病、腎臓病、脂質異常症、嚥下機能低下の食事療法の基本と治療食の特徴	腰本 さおり	【到達目標】5) 【学習方法】対面講義/グループ討論 【復習】リフレクションシート回答
6	11/28	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	病態栄養(2)	高尿酸血症、膵炎、褥瘡、肝硬変、心不全腎の食事療法の基本と治療食の特徴	腰本 さおり	【到達目標】6) 【学習方法】対面講義/グループ討論 【復習】リフレクションシート回答
7	12/5	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	日本人の食事摂取基準	「日本人の食事摂取基準2020」を用いた栄養バランスの評価	腰本 さおり	【到達目標】7) 【学習方法】対面講義/グループ討論 【復習】リフレクションシート回答

8	1/9	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	栄養ケアとチーム医療	食・栄養に関連したチーム医療の必要性	腰本 さおり	【到達目標】 8) 【学習方法】 対面講義/グループ討論 【復習】 リフレクションシート回答

授業方法

講義形式の授業に加え、学生同士のグループディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション等アクティブラーニングを実施する。

授業内容

栄養素の消化・吸収の機序を復習した後、糖尿病、腎臓病、脂質異常症、高血圧症等に対する栄養療法と治療食の特徴を学習する。また、出生からエンドオブライフまでの成長段階に応じた食形態の変化を理解する。実際に、自分の食事を栄養価計算し、食事摂取基準値と比較することにより栄養バランスを分析・評価する手法を習得する。さらに、人生の食の意味についてグループディスカッションを行うことにより、食生活の多様性や食と QOL の関連性を考察する。

成績評価の方法

1)定期試験:6割(一部には英語の問題を含める)→試験が 60 点だった場合、6 割×60 点=36 点

2)課題レポート:2割→評価が C(60 点)だった場合、2 割×60 点=12 点

3)平常点:2割(出席とグループディスカッションへの参加度)→全出席で 2 割満点=20 点

成績評価の基準

1)定期試験:栄養評価の意義、栄養素の生理機能および各病態の栄養療法の理解度を評価。満点なら 60 点

2)課題レポート:論文形式「背景」「目的」「結果」「考察」「結論」になっていること。食事の栄養価計算が正確で将来起こりうる疾病との関連や改善点について考察されていること、さらに社会的背景(社会経済や生活環境)など視野を広げて現代社会における食生活が考察されていることを評価。満点なら 20 点

3)平常点:グループディスカッションで積極的に意見交換し発表するチーム力を評価。満点なら 20 点

成績は上記3つの合計点で評価する。総合点が 60 点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

・炭水化物、タンパク質、脂質の代謝に関係する消化酵素やホルモンについて理解し、ビタミンやミネラルの過剰症・欠乏症について復習しておくこと。

・患者さんが食事や栄養のことで、どのような悩みを抱えているのか考え、さらに、食を取り巻く社会的背景や世界の食糧事情にも関心を持って臨むこと。

・自分の食事の栄養価計算を行うため、毎日の食生活の問題点を振り返っておくこと。

・対面やブレイクアウトルームのディスカッションでは、積極的に発言しコミュニケーション能力を高めること。

試験の受験資格

1. 2/3 以上の出席 (出席管理システムで確認する)

2. Webclass に出席票(リフレクションペーパー)が期日までに提出されていること、授業参加状況は内容で確認する。

参考書

看護栄養学 第 5 版／編者 尾岸恵三子 他:医歯薬出版, 2022

臨床栄養学／編者 上原誉志夫 他:第一出版, 2025

糖尿病食事療法のための食品交換表 第 7 版／日本糖尿病学会 編著:文光堂, 2013

日本食品成分表 2025 八訂 栄養計算ソフト・電子版付／医歯薬出版 編, 2025

日本人の食事摂取基準(2025 年版)／監修 佐々木敏:第一出版, 2025

他科目との関連

生理学, 生化学の知識を応用するものであり, それらの知識を整理しておく必要がある。また、栄養状態は治療や予後に影響を及ぼす要因であり、本講義にとどまらず、各病態を学ぶ際にも食事摂取や栄養の吸収状態を把握し、発展させて学ぶ必要がある。

備考

・グループディスカッションと発表の時間を確保し、論理的思考力、コミュニケーション能力を高める。

・基礎的な栄養学に加えて、実臨床に役立つ発展的な栄養管理を学ぶ。

連絡先(メールアドレス)

廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

3 号館 18 階 在宅・緩和ケア看護学分野

時間割番号	012290				
科目名	アカデミック・リテラシー			科目ID	MN-131900-L
担当教員	木谷　真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

【科目責任者】木谷　真紀子

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
別表 1-6)優れた芸術作品に触れて完成を高める
別表 1-7)人間の心への理解を高める
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる
別表 3-2)自らの考えを的確に伝えるための基本的名文章表現能力を身につける

主な講義場所

国府台キャンパスにて対面で実施予定。

授業の目的、概要等

「アカデミック・リテラシー」は、調査力・思考力・表現力・コミュニケーション能力を総合的に向上させ、高校までの学習に対する受動的な意識から、大学生の主体的な学びの意識へと早期に転換させることを目指した取り組みである。「文章表現リテラシー」「情報活用リテラシー」「口頭表現リテラシー」で構成され、大学生活や今後に向け、調査、分析、考察し、論理的文章として書き、またアカデミックプレゼンテーションやディスカッションなどをする能力を身につけることを目標とする。
三つに分けて改めて記す。
1情報活用リテラシー　：　レポートや論文などアカデミックな論理的文章の執筆や、発表のために必要で正確な情報を収集し、活用できるようになる。
2文章表現リテラシー　：　複数の文献を用いて 3000 字以上の論理的文章が書けるようになる。
3口頭表現リテラシー　：　PPT を用いたアカデミックプレゼンテーションができるようになる。

授業の到達目標

1情報活用リテラシー
・研究倫理の観点から、情報収集のために必要なリテラシーを身につける
・複数の情報を比較して、情報を精査する視点を得ることができるようになる
2文章表現リテラシー
・論理的に展開するための定型に則った文章を書けるようになる
・自ら問いを立て、調査やデータに基いた考察分析ができるようになる
3口頭表現リテラシー
・論理的に展開するためのを身につけることができる
・定型に則った明解なプレゼンテーションができるようになる

授業方法

文章表現、情報活用、口頭表現の三種類の内容で構成し、担当者が講義を行う。受講者には、課題の執筆や口頭発表、ディスカッションなどを課す。アクティブラーニング形式で行うため、出席し、能動的な態度で臨むこと。

授業内容

1. ガイダンス
・リテラシー授業、今後の課題について説明
・自己紹介文執筆、提出(400 字)
・文献検索と引用法について
2. 情報活用Ⅰ、文章表現Ⅰ
書評とディスカッションへの記事提出
優れた自己紹介文の紹介、メールの書き方、論理的文章の型や、レポートの描き方など説明。この授業で書く 3000 字のレポートについての説明。

3. 情報活用Ⅱ、口頭表現Ⅰ、文章表現Ⅱ
ディスカッションで提出した記事について、他紙、全国紙、地方紙などを提出、記事内容の比較分析。情報倫理・研究倫理の要点について Zoom 講義で説明。
ディスカッションについての説明の後、新聞記事に基づいたディスカッション
提出した記事から引用した論理的文章の提出。
4. 情報活用Ⅲ、文章表現Ⅲ
記事の比較分析、ディスカッションを通して考えたことなどを提出。書評記事を提出。
前回の文章の返却。それに基づいた説明。
5. 文章表現Ⅳ、口頭表現Ⅱ
第 4 回で提出した書評を引用し書籍を紹介する文章の提出。
アカデミックプレゼンテーションの型、スライドの作成方法など説明。
ブックトークについての説明。
6. 口頭表現Ⅲ
第 4 回で提出した書籍の、PPT を用いたブックトークの実施。
7. 文章表現Ⅴ、情報活用Ⅳ
この授業で書く 3000 字のレポートについてのテーマの決定。
自分のテーマに基づく、アンケート、インタビューの実施について。
アンケート項目の検討と提出。

成績評価の方法

情報活用の課題 20%、文章表現の課題 50%、口頭表現 20%、
期末コメントシート 10%

成績評価の基準

(授業開始前)授業内容を把握し、学期を通して扱う書評と、ディスカッションのテーマとしたい記事を探し、初回授業で提出する。
(授業開始後)シラバスに則った課題を遅れることなく提出する。

準備学習等についての具体的な指示

与えられた課題に取り組み、〆切を遅れず提出すること。

試験の受験資格

授業内の課題を提出し、3 分の 2 以上の授業に出席していること。

教科書

授業内で指示。

参考書

授業内で指示。

他科目との関連

グローバル教養総合講座「情報活用」。また本講義で学んだアカデミック・リテラシーを、他の授業でいかす。

履修上の注意事項

「アカデミック・リテラシー」そのものを身につける授業であるため、生成 AI などの使用が認められた場合は、厳しく対応する。 課題は遅れることなく提出すること。授業には能動的に臨むこと。

連絡先(メールアドレス)

木谷 真紀子 : makiko.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木谷 真紀子 :月、金曜 12:20～13:30 管理研究棟 2 階
※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

時間割番号	012300				
科目名	AI・データサイエンスのための数学			科目ID	MN-132000-L
担当教員	中林　潤[NAKABAYASHI Jun]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Mathematics for AI and Data Sciences

【科目責任者】中林　潤

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：別表 2-1).4-2).4-3).4-4).4-5)

主な講義場所

同期型遠隔授業と講義動画のオンデマンド配信

授業の目的、概要等

数論など数学の基本から始めて，微積分や代数・行列など基礎数学について学び，AI やデータサイエンスを習得するために必要な数理リテラシーを身につける。

授業の到達目標

数論や微積分，代数，行列などを理解し，AI・データサイエンスを習得するのに必要な数学的基礎知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1	9/18	10:45-11:30	
2	9/18	11:40-12:25	
3	9/25	10:45-11:30	
4	9/25	11:40-12:25	
5	10/2	10:45-11:30	
6	10/2	11:40-12:25	
7	10/9	08:50-09:35	
8	10/9	09:45-10:30	
9	10/9	10:45-11:30	
10	10/9	11:40-12:25	
11	10/23	08:50-09:35	
12	10/23	09:45-10:30	
13	11/6	08:50-09:35	
14	11/6	09:45-10:30	
15	11/20	08:50-09:35	
16	11/20	09:45-10:30	
17	12/4	08:50-09:35	
18	12/4	09:45-10:30	
19	12/18	08:50-09:35	
20	12/18	09:45-10:30	
21	1/14	08:50-09:35	
22	1/14	09:45-10:30	
23	1/15	08:50-09:35	
24	1/15	09:45-10:30	
25	1/21	08:50-09:35	
26	1/21	09:45-10:30	
27	1/22	08:50-09:35	
28	1/22	09:45-10:30	
29	1/29	10:45-11:30	
30	1/29	11:40-12:25	

授業方法

授業の前半にスライドを使って講義を行い，後半に課題の演習を行う。

授業内容

数論，微積分，変分，代数，行列，確率，統計

成績評価の方法

出席状況＋授業中の態度＋授業内課題(40%)，最終レポートの点数(60%)を勘案して総合的に評価する。期末試験の筆記試験は行わない。

成績評価の基準

「東京科学大学全学共通科目履修規則」に従う

準備学習等についての具体的な指示

特に準備学習は不要である。授業後半の課題をしっかり行い，毎回の講義内容を身につけることが重要である。授業中に疑問が生じた場合，その場で質問して解消しておく。

試験の受験資格

講義全体の 2/3 以上の出席。出席は授業内の課題の提出で確認する。

参考書

Python で体感!医療と AI はじめの一歩 ： 糖尿病・乳がん・残存歯のデータ、肺の X 線画像を使って機械学習・深層学習を学ぶ体験型入門書／宮野，悟,中林，潤,木下，淳博,須藤，毅顕,宮野悟 監修,中林潤，木下淳博，須藤毅顕 編集:羊土社，2024.9

他科目との関連

「医療と AI・ビッグデータ入門」の講義を理解し，実習を行うための基礎知識となる。

連絡先(メールアドレス)

中林　潤:nakab.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林　潤:月曜～金曜

A.M.10:00 – P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階　教官研究室—9

時間割番号	012310				
科目名	医療とAI・ビッグデータ入門			科目ID	MN-132100-L
担当教員	宮野 悟, 中林 潤, 髙橋 邦彦, 坂内 英夫, 清水 秀幸, 朱 欣, 石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治, 木下 淳博, 森田 久美子, 土田 優美, 河原 智樹, 竹内 康雄, 角 勇樹, 平川 晃弘, 須藤 毅顕[MIYANO Satoru, NAKABAYASHI Jun, TAKAHASHI Kunihiko, BANNAI Hideo, SHIMIZU Hideyuki, SHU Kin, ISHIMARU Miho, CAO Ridan, TABATA Kanji, KINOSHITA Atsuhiro, MORITA Kumiko, TSUCHIDA Yumi, KAWAHARA Tomoki, TAKEUCHI Yasuo, SUMI Yuki, HIRAKAWA Akihiro, SUDO Takeaki]				
開講時期	2025年度後期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Introduction to AI and Big Data in Health Sciences

【科目責任者】宮野 悟

【科目担当】中林 潤

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2−1)

主な講義場所

同期型遠隔授業

授業の目的、概要等

今後のデジタル社会の基礎知識として捉えられている数理・データサイエンス・AIの基礎的素養を習得する。

なぜ、数理・データサイエンス・AIを学ぶのか、社会でどのように活用され新たな価値を生んでいるのかという全体像の把握と、健康・医療分野でのAIの活用事例を学ぶ。

将来的に保健医療分野におけるAI技術研究を自ら進めるもしくは企業等の技術者と共同でAI技術開発を推進する機会を得た際に必要となる素養を習得する。

授業の到達目標

・社会で起きている変化を理解し、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を説明できる。

・AIを活用した新しいビジネス/サービスを説明できる

・どんなデータが集められ、どう活用されているかを説明できる。

・データ・AIを活用するために使われている技術を概説できる。

・データ・AIを活用することによって、どの様な価値が生まれているかを説明できる。

・データ・AI利活用における最新動向(ビジネスモデル、テクノロジー)を説明できる。

・データ利活用プロセスを体験し、データを解析して考察できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/16	10:45−11:30	遠隔授業(同期型)	講義1:次世代研究者・医療者の環境と姿	次世代研究者・医療者の環境と姿	宮野 悟, 中林 潤, 曹 日丹, 田畑 寛治	次世代の研究者と医療者について説明できる
2	10/16	11:40−12:25	遠隔授業(同期型)	講義2:生物統計学概論〜医療における意思決定のために〜	生物統計概論	髙橋 邦彦, 曹 日丹, 石丸 美穂, 田畑 寛治	医療における意思決定のために必要な生物統計の知識を得る
3	10/23	10:45−11:30	遠隔授業(同期型)	講義3 講義3:AIのこれからと富士通の取り組み	外部講師によるAIの利活用について	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	AIの社会実装と利活用について知識を得る
4	10/23	11:40−12:25	遠隔授業(同期型)	講義4:AI倫理について	AI倫理	江花 有亮, 石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	AI倫理について理解できる
5	10/30	10:45−11:30	遠隔授業(同期型)	講義5:データ科学アルゴリズム概論	データ科学アルゴリズム概論	坂内 英夫, 曹 日丹, 石丸 美穂, 田畑 寛治	データ科学アルゴリズムについて説明できる
6	10/30	11:40−12:25	遠隔授業(同期型)	演習1:python基礎1	pythonの復習	曹 日丹, 石丸 美穂, 田畑 寛治	
7	11/6	10:45−11:30	遠隔授業(同期型)	講義6:AIを用いた医療画像と信号処理	医療画像・信号処理に適用されるAI技術の基礎と代表的	朱 欣, 石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	

					なAIモデルを学ぶ。さらに、実例を用いてAI技術の学習・開発方法を紹介する。		
8	11/6	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	演習2:python基礎2	pythonの復習	曹 日丹, 石丸 美穂, 田畑 寛治	pythonのデータ型とリストの概念、制御構文について復習できる
9	11/13	10:45–11:30	遠隔授業（同期型）	講義7:AI・データサイエンスを学んで次世代の医療を切り開こう	AI・データサイエンスを学んで次世代の医療を切り開こう	清水 秀幸, 曹 日丹, 石丸 美穂, 田畑 寛治	AI・データサイエンスの医療への関わりについて説明できる
10	11/13	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	演習3:python基礎3	関数、モジュール、パッケージ、ライブラリ	曹 日丹, 石丸 美穂, 田畑 寛治	pythonの関数、モジュール、パッケージ、ライブラリ等の概念について理解できる
11	11/20	10:45–11:30	遠隔授業（同期型）	演習4:python基礎4	配列概念、多次元配列、ファイル操作	曹 日丹, 石丸 美穂, 田畑 寛治	pythonのnumpyライブラリ、配列概念、多次元配列について理解できる
12	11/20	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	演習5:python基礎5	データ読み込み	曹 日丹, 石丸 美穂, 田畑 寛治	pythonでデータフレーム（csvファイル）を読み込める
13	11/27	10:45–11:30	遠隔授業（同期型）	演習6:python基礎6	データフレーム取り扱い	曹 日丹, 石丸 美穂, 田畑 寛治	pythonで実際にデータクレンジングを行える
14	11/27	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	演習7:python基礎7	データ可視化	曹 日丹, 石丸 美穂, 田畑 寛治	pythonでデータの可視化を行える
15	12/4	10:45–11:30	遠隔授業（同期型）	演習のための講義1:機械学習概論1	機械学習（回帰分析）の概念の解説	清水 秀幸	回帰分析の概念について理解できる
16	12/4	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	演習8:回帰分析1	線形回帰分析	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	pythonで実際に線形回帰分析を行える
17	12/11	10:45–11:30	遠隔授業（同期型）	演習9:回帰分析2	線形回帰分析	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	pythonで実際に線形回帰分析を行える
18	12/11	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	演習10:回帰分析3	ロジスティック回帰分析	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	pythonで実際にロジスティック回帰分析を行える
19	12/18	10:45–11:30	遠隔授業（同期型）	演習11:回帰分析4	ロジスティック回帰分析	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	pythonで実際にロジスティック回帰分析を行える
20	12/18	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	演習のための講義2:機械学習概論2	機械学習（教師あり学習）の概念の解説	清水 秀幸	教師あり機械学習の概念について理解できる
21	1/8	10:45–11:30	遠隔授業（同期型）	演習12:教師あり機械学習1	教師あり学習（サポートベクターマシン）	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	pythonでサポートベクタマシンを行える
22	1/8	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	演習13:教師あり機械学習2	教師あり学習（決定木）	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	pythonで決定木分析を行える
23	1/14	10:45–11:30	遠隔授業（同期型）	演習14:教師あり機械学習3	教師あり学習（ランダムフォレスト）	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	pythonでランダムフォレストを行える
24	1/14	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	演習のための講義3:深層学習概論	深層学習の概念の解説	清水 秀幸	深層学習の概念について理解できる
25	1/15	10:45–11:30	遠隔授業	演習15 深層学習1	深層学習の基礎	石丸 美穂, 曹 日丹,	pythonで深層学習を行

			(同期型)			田畑 寛治	う方法を理解する
26	1/15	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	演習 16 深層学習 2	深層学習の結果の可視化	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	python で深層学習の結果を可視化する
27	1/21	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	演習 17 深層学習 3	画像の読み込みと前処理	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	python で画像の読み込みと前処理を行える
28	1/21	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	演習 18 深層学習 4	深層学習モデルの設計	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	python で画像の深層学習モデルを設計できる
29	1/22	08:50-09:35	遠隔授業 (同期型)	演習 19 深層学習 5	肺レントゲンでの深層学習	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	python で肺レントゲン写真を用いて深層学習を行える
30	1/22	10:45-11:30	遠隔授業 (同期型)	まとめの演習	機械学習と深層学習についての課題	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	自分で学習モデルを設計することができる
31	1/22	11:40-12:25	遠隔授業 (同期型)	まとめの演習	機械学習と深層学習についての課題	石丸 美穂, 曹 日丹, 田畑 寛治	

授業方法

・前半は講義、後半は自分の PC で演習を行う。

授業内容

AI・数理・データサイエンスに関する概論講義、実習

社会におけるデータ・AI 利活用に関する講義:

社会に起きている変化、社会で活用されているデータ、データ・AI の活用領域、データ・AI 利活用のための技術、データ・AI 利活用の現場、データ・AI 利活用の最新動向など

データ解析実習:

データハンドリング、機械学習など

成績評価の方法

・本科目では試験を実施せず、各講義および演習後の課題によって成績評価を行う。すべての課題を期限内に提出すれば、80 点以上の成績を得ることができます。

・最終回終了時までに、以下の授業評価アンケートに回答していることを成績評価の前提とする。本科目では、学生の授業評価を基に、講義内容や演習内容の見直しを行う。

以前の授業評価にて「動画が WebClass にアップされるので課題をやる際に手順やプログラミングの仕方を忘れてしまっても何度も授業を見返すことが出来たのでよかった。」との意見が複数あったので、授業の録画は、できる限り授業当日のうちにアップロードし、1 週間の学習期間を確実に確保できるようにする。また、「与えられたコードを実行するだけなのは簡単で楽だったけれど、もう少し授業時間内に学生自身がやる作業があったほうがいいと思う。」との意見があったので、一部の演習コードは学生自身が手を動かして書くようにする。

◯「N1 教務係等からのお知らせ 2025」の「N1 2025「医療と AI・ビッグデータ入門」授業評価」

成績評価の基準

・課題をすべて期限内に提出し、提出課題により本科目の到達目標を全て達成したと判断された場合は、科目の評点を 80 点以上とする。

・課題が提出されない場合は、当該授業を欠席として扱うのみならず、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。

・期限内に提出された課題、および期限後に再提出された課題は 100 点満点で、期限後に初めて提出された課題は 79 点満点で評価する。

・WebClass 上で提出された課題のみを評価対象とし、個別メール等で送られた課題は原則受け付けない。

準備学習等についての具体的な指示

・webclass にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること。

試験の受験資格

・講義のコマは webclass 上の課題の提出をもって出席とみなす。

・演習のコマは授業最後に与える課題の提出をもって出席とみなす。

・webclass の必修 IT 基礎研修のスタートアップ編および情報セキュリティ編を受講しテストに合格していることを単位取得の条件とする。

参考書

Python で体感！ 医療と AI はじめの一歩／宮野 悟,中林 潤,木下 淳博,須藤 毅顕,宮野 悟 監修,中林 潤 編集,木下 淳博 編集,須藤 毅顕 編集:羊土社

・東京大学のデータサイエンティスト育成講座 : Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修,塚本邦尊, 山田典一, 大澤文

孝 著,中山, 浩太郎,塚本, 邦尊,山田, 典一,大沢, 文孝, 1973-,:マイナビ出版, 2019

・データサイエンスの基礎／濵田悦生著 ; 狩野裕編,濵田, 悦生,狩野, 裕,講談社サイエンティフィク,:講談社, 2019

・Python3 スキルアップ教科書/辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博/技術評論社

・みんなの Python 第4版/柴田淳/SB Creative

・新しい人工知能の教科書/多田智史、石井一夫/翔泳社

・いちばんやさしいディープラーニング入門教室/谷岡広樹、廉鑫/ソーテック社

・医療 AI とディープラーニングシリーズ 医用画像ディープラーニング入門 /藤田広志/オーム社

他科目との関連

・情報処理、数学、統計学の授業内容と密接に関わる。 履修上の注意事項 ・グループ演習および課題提出を行うので、対面授業の選択学生を含めて参加者は PC 持参を原則とする。

備考

・実習では 1 人 1 台のコンピュータを使用する。

・事前に WebClass の資料『事前資料』に目を通しておくこと

連絡先(メールアドレス)

中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp

木下 淳博:kinoshita-emdv@tmd.ac.jp

曹 日丹:caoemdv@tmd.ac.jp

須藤 毅顕:t-sudo.ioe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林 潤:月曜～金曜

A.M.10:00 – P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

木下 淳博:金 16:00－17:00 3 号館 5 階 教育メディア開発学分野

曹 日丹:毎週木曜日 AM.10:00-PM.5:00 10 号館 3 階 301 室

須藤 毅顕:毎週火曜日 AM.11:00-PM.5:00 湯島キャンパス 1 号館東 3 階 教育メディア開発学分野研究室

時間割番号	012099				
科目名	国際保健看護学Ⅰ			科目ID	MN-131200-L
担当教員	近藤 暁子, 駒形 朋子[KONDO Akiko, KOMAGATA Tomoko]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:International Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】 近藤 暁子

授業の目的、概要等

健康に関する国際的な組織や概念、諸外国の健康問題の状況と、医療制度や医療・保健・看護制度について学ぶ。学生同士のディスカッションや情報交換の機会持つことで国内外の医療/健康問題について考えを深める。海外で活動経験のある講師の話を聞き、異文化について理解し、異文化を持つ対象に対する活動の意義について学ぶ。グループごとに興味のある異文化を選び、学生が主体的に共同して学び、英語で他者に分かるようにプレゼンする方法を学ぶ。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

世界的な健康に関する組織や概念、諸外国の医療や看護の現状、国際貢献の必要性を理解する。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

異文化を持つ人々の健康問題と看護の役割についてについて考えて説明することができる。

3. 問題提起・解決能力の修得

様々な性的嗜好を持つ人々に対し、偏見をなくし理解する姿勢を身に着ける。

4. 自己学習能力・創造性の形成

受け身ではなく、グループワークにより、学生同士で共同して主体的に自己学習できる能力を身に着ける。

5. 国際性の形成

海外留学について興味を持つ。

異文化や違う価値観について関心を持ち、学んだことを英語で発表することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/21	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	概論	国際保健看護学概論	近藤 暁子	世界的な健康に関する組織や概念、諸外国の医療や看護の現状、国際貢献の必要性を理解する・講義及びディスカッション
2	11/21	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	対象の特性に合わせたケア	LGBT について(英語)	近藤 暁子	様々な性的嗜好を持つ人々に対し、偏見をなくし理解する姿勢を身に着ける・講義及びディスカッション　大学院生平井寛季による講義。
3	11/28	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	開発途上国の現状を知る	低所得国における看護の現状と国際医療協力活動①	駒形 朋子	世界的な健康に関する組織や概念、諸外国の医療や看護の現状、国際貢献の必要性を理解する・講義及びディスカッション
4	11/28	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	開発途上国の現状を知る	低所得国における看護の現状と国際医療協力活動②(英語)	駒形 朋子	異文化を持つ人々の健康問題と看護の役割についてについて考えて説明することができる・講義及びディスカッション
5	12/5	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	異文化理解	米国留学について(英語)	鈴木 はるの	海外留学について興味を持つ・講義及びディスカッション
6	12/5	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	異文化理解	異文化について調べる	近藤 暁子	受け身ではなく、グループワークにより、学生同士で共同して主体的に自己学習できる能力を身に着ける・グループワーク
7	1/5	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	異文化理解	異文化について調べる	近藤 暁子	受け身ではなく、グループワークにより、学生同士で共同して主体的に自己学習できる能力を身に着ける・グループワーク
8	1/9	13:30-15:10	保健衛生学	異文化理	モンゴル文化/外国	近藤 暁子	外国人看護師および海外留学について興味を

			科講義室1	解	人看護師としての経験について		持つ・講義及びディスカッション
9	1/9	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	異文化理解	調べた異文化の発表(英語)	近藤 暁子	異文化や違う価値観について関心を持ち、学んだことを英語で発表することができる。

授業方法

1) 本科目は講義、グループディスカッション、演習を交えて行う。一部の講義は英語で行う。

2) 本科目はアクティブラーニング方式で行い、講義でも教員が一方的に話すのではなく、学生の発言や意見交換を推奨する。回答内容は評価影響しないので、積極的に自分の意見を述べるようにすること。なお、自発的な発言者がない場合はランダムに指名し、発言を求めることがある。

3) 興味のある異文化について 5, 6 名でグループ学習を行い、まとめたものを英語で発表する。

授業ごとにWebClassから感想を提出する。学生はその日に学んだこと、印象に残ったことや質問等を記述する。授業開始時の出欠確認と感想の提出を持って、その日の出席とする。

授業内容 授業明細参照

成績評価の方法

参加度(20%)、WHO の役割の日本語訳(10%)、毎回の講義の感想 (15%)、 異文化についてのプレゼンテーション(35%) 最終レポート(20%)

1) 参加度(20%):出席状況、授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められないので、ネット環境の良い場所から、早めに ZOOM に接続することを勧める。

2) WHO の役割の日本語訳(10%):内容を正確に理解しているか。翻訳された日本語の表現力も評価する。

3) 日々の講義の感想 (15%):講義の翌日 24 時までにWebClassに講義の感想を提出する。その回の目標が達成できているかどうか評価する。

4) 異文化についてのプレゼンテーション(35%):グループごと興味のある異文化について 1 つ選ぶ。1.異文化の紹介、2. その文化を持つ対象に対する必要な看護ケアについてまとめ、グループごとにパワーポイントを作成して英語で発表する。1 人少なくとも 1 つのスライドは発表を担当すること。

5) 最終レポート:「国際保健看護学 I」の講義で学んだことをもとに国際看護に関連する卒業までの目標とその目標を達成する方法について (英語で A4 1 ページ以内にまとめる)。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。

出席については、ZOOM の場合は、ZOOM の履歴及び点呼時返答も確認する。ネット環境などやむを得ず、ZOOM の接続や返答ができなかった場合には原則翌日までに教員にメールで連絡すること。

合計点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

WHO http://www.who.int/en/ と JICA https://www.jica.go.jp/ の役割について学習して来ること。

試験の受験資格 試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

参考書 国際看護学入門 第2版/医学書院/日本国際看護学会(2020 年発行)

他科目との関連 英語科目、国際保健福祉、実践看護英語 I/II/III、国際保健看護学 II

履修上の注意事項

ZOOM での接続は時間がかかる場合があるので、5 分前には行うこと。 やむを得ず欠席する場合は教員に連絡すること。 本科目において異文化感受性能力を向上させることを目標とするため、授業の初回及び最終日に異文化感受性能力に関する調査を実施する。しかし、その回答内容は成績とは無関係である。

備考 <学生からのコメント>

・最後に英語での発表があったが、途中まで英語でのディスカッションがあまりなかったので、英語を使う機会がもっとあった方が良かったかなと感じた。→英語が苦手な学生がいるかもしれないのですが、様子を見て、もう少し講義内で英語でディスカッションする機会と増やします。

・授業内でプレゼンの練習や用意が終わらず、休みを返上してみんなでやる感じになってしまったので、授業内で時間を確保していただけると良いと思った。→1コマ準備の時間を追加しました(1月5日)。

連絡先(メールアドレス) 近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。 国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

時間割番号	012097				
科目名	看護制度論			科目ID	MN-131000-L
担当教員	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 後藤 友美, 土屋 あゆみ[KASHIWAGI Masayo, KAMEDA Norihiro, TASHIRO Risa, GOTOH Tomomi, TSUCHIYA Ayumi]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Lecture on Nursing Policy and Systems

【科目責任者】柏木 聖代

主な講義場所

保健衛生学講義室1(3号館18階)

授業の目的、概要等

看護制度論では、看護職の法的位置づけと看護実践の特徴を知り、看護の機能と役割を理解するための基礎的知識を養うことを目的とする。看護職を規定する法令(保健師助産師看護師法、看護師等の人材確保の促進に関する法律、等)を社会的・歴史的背景を含め概説する。具体的な内容としては、法令で定められる看護職の職能(看護師、保健師、助産師)ごとの看護業務の特徴、看護教育制度、上級看護実践を規定する制度、ヘルスケアシステム全体の大きな枠組みから捉えた多様な看護実践、看護職員確保に向けた政策動向が含まれる。今後看護学を学んでいく上での基盤となる知識、考え方を身につけることを目指すものである。

授業の到達目標

ここで示される到達目標は、あくまでも合格に達するレベルである。この科目では、歴史的背景や社会情勢の変化を含めたヘルスケアシステム全体の枠組みにおける看護職の法的位置づけと役割・機能について基礎的知識を修得することを目指す。関連する法令や制度をただ単に暗記するのではなく、得た知識をもとに、専門職としての看護職とは何かについて学生自ら考える姿勢を身につけることが求められる。

1)歴史的経緯を含め、ヘルスシステムにおける看護制度の位置付けを理解できる。保健師助産師看護師法(保助看法)の内容について、看護業務の特徴を踏まえ理解するとともに、課題について考察することができる。

2) ヘルスケアシステムとその中での看護職の位置付け、役割、機能、法令等で規定される配置基準について説明することができる。

3) 看護教育制度、上級看護実践を規定する制度について、制度ができた経緯を踏まえ理解できる。

4)職能団体の 1 つである日本看護協会の役割・活動内容の実際について、具体例を挙げて述べることができる

5)国の政策立案過程、厚生労働省の看護系技官の役割・活動内容の実際について、具体例を挙げて述べることができる。

6)世界保健機構(WHO)における政策立案過程、ナーシングオフィサーの役割・活動内容、日本と WHO との関係について理解できる。

7)看護関連の法・制度について、国民・看護職・病院経営等の多角的な視点で討議し、課題を整理し、対応策について考えることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/17	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	・看護制度論概論 ・看護を規定する法律	・オリエンテーション ・看護制度について歴史的経緯を含め概説する ・保健師助産師看護師法(保助看法)の内容について看護業務の特徴を踏まえ、概説する	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】1) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー、小テスト
2	10/17	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	・ヘルスケアシステムの概念と看護職の位置づけ、様々な看護活動・看護実践	・ヘルスケアシステム全体の枠組みと、看護職の位置づけ、役割と機能、法令等で規定される配置基準も含めて概説する	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】2) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー、小テスト
3	10/24	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	・看護教育制度 ・上級看護実践を規定する制度	・看護教育制度について概説する ・上級看護実践を規定する制度について概説する	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】3) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー、小テスト

4	10/24	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際①	政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際として、職能団体の活動を紹介する	土屋 あゆみ, 柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】4) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー
5	11/17	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際②	政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際として、厚生労働省看護系技官の活動を紹介する	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 後藤 友美	【到達目標】5) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー
6	11/17	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	医療・看護提供めぐる諸課題と看護制度・看護政策①	看護に関連した様々な法・制度について、国民・看護職・病院経営等の多角的な視点で討議し、課題を整理する	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】7) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー、小テスト
7	12/1	13:30-15:10	保健衛生学科講義室4	政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際③	政策立案に携わる看護職の役割・活動内容の実際として、世界保健機構(WHO)職員の活動を紹介する 【非常勤講師】穴見翠先生	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】6) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー
8	12/1	15:25-17:05	保健衛生学科講義室4	医療・看護提供めぐる諸課題と看護制度・看護政策②	看護に関連した様々な法・制度について、国民・看護職・病院経営等の多角的な視点で討議した内容について発表する	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】7) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー、最終レポート

授業方法

授業は以下のように行う。

1)授業には、授業明細に示された範囲について、事前に教科書や関連書籍等にて自己学習予習をしてから臨むことが必要である。事前課題としてレポート,動画視聴を課す場合もあるので、Webclass をよく確認すること。

2)講義:講義は事前課題の内容理解を前提とした上で、各回の中で重要なこと、発展的なこと、ディスカッションを中心に行う。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass に挙げておくので活用すること。講義内では学生の理解を深めるため、グループワーク等のアクティブラーニングを取り入れるので、積極的に参加すること。

3)小テスト:講義後の課題として、既習内容について webclass で記述式もしくは選択式のテストを行う(実施日については初回講義時に示す)。

4)リアクションペーパー:講義時に配布する用紙に自由記述する。記入済み用紙は授業終了後に回収する。講義内容についての質問や疑問、感想、または直接関係ないことでもよい。記述内容について、回答できるものについては、次回以降の講義時に回答する。講義の質向上に向けての非常に重要な情報となるため、回答がない場合も、学籍番号と氏名を記入の上、提出すること。

授業内容

授業明細を参照のこと

成績評価の方法

次の 4 つの項目で評価を行う。なお、小テストについては、英単語が含まれることや英文による問題もありえる。

1)出席状況、参加状況(15%):出席回数だけでなく、授業内での発言やアクティブラーニングへの参加態度を含めて評価する。

2)授業中の小テスト(30%):小テストの合計点による。

3)グループワーク課題(15%):グループワークへの取り組み状況や発表資料の内容を考慮した合計評価による。

4)個人課題・最終レポート(40%):示された課題について、知識の羅列ではなく、学習内容を元に考察した自身の考えを系統立てて具体的に記述すること。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。小テストは、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とし、それを上回る場合には加点される。提出物は、提出期限が守られ、かつ、授業中に示す基準を守っているかどうかが評価基準となる。なお、合格した場合、リアクションペーパーでの重要な質問や指摘があった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

到達目標や授業明細の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業にのぞむことが求められる。書籍、インターネット等での事前事後学習の他、日ごろからマスメディア等において看護職をめぐる諸課題について情報収集し、自分なりの考えを持つよう心掛けることが重要である。

試験の受験資格

本科目では期末筆記試験は実施しない。Webclass で実施される小テストについては、期日を過ぎての回答は認めない。

教科書

看護関係法規 : 看護職の責任と法的根拠を学ぶ／田中幸子, 野村陽子編,田中, 幸子(看護学),野村, 陽子,:南江堂, 2020
:現代社

参考書

看護職者のための政策過程入門 : 制度を変えると看護が変わる!／見藤隆子, 石田昌宏, 大串正樹, 北浦暁子, 伊勢田暁子 執筆,見藤, 隆子, 1932-,石田, 昌宏,大串, 正樹,:日本看護協会出版会, 2017
看護管理学習テキスト／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,増野, 園惠,:日本看護協会出版会, 2022
看護管理学習テキスト／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,秋山, 智弥,:日本看護協会出版会, 2022
看護管理学習テキスト／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,手島, 恵, 1958-,:日本看護協会出版会, 2022
看護管理学習テキスト／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,勝原, 裕美子, 1962-,:日本看護協会出版会, 2022
看護管理学習テキスト／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,Kanai-Pak, Masako,:日本看護協会出版会, 2022
看護管理学習テキスト／井部俊子 監修,井部, 俊子, 1947-,増野, 園惠,:日本看護協会出版会, 2022
その他テーマに関連した参考図書を随時紹介

他科目との関連

看護制度論は、これから看護を学ぶ学生がまず理解しなければならない概論的科目であり、「人間の健康と看護」、「基盤看護学実習Ⅰ」、「看護の統合と実践Ⅰ」、「保健医療福祉制度論」と密接な関係にある。また、本科目で修得する知識ならびに学生各自が考察した看護の役割と機能は、全ての専門科目を学ぶ上での礎となる。

履修上の注意事項

1)授業中にスクリーン、zoom 等の画面を撮影することを禁止する　2)講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する　3)授業日時・内容・実施方法(場所)が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと。

備考

質問がある場合には、他学生の理解の支援にもなるので、積極的に授業中もしくはリアクションペーパーを活用して積極的に行うことが望ましい。

連絡先(メールアドレス)

柏木　聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp　3 号館 18 階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室

オフィスアワー

柏木　聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012090				
科目名	国際保健福祉 A			科目 ID	MN-190700-Z
担当教員	近藤 暁子, 谷口 麻希, 川上 明希, 廣岡 佳代, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志[KONDO Akiko, TANIGUCHI Maki, KAWAKAMI Aki, HIROOKA Kayo, OZASA Yuka, YUMOTO Yoshie, YAGO Satoshi]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare A

【科目責任者】国際看護開発学　近藤暁子

主な講義場所

海外短期研修プログラム　研修機関先

＜夏期＞

- ウーロンゴン大学(オーストラリア)
- マヒドン大学(タイ)
- 台湾国防医学院

＜春期＞

- ワシントン大学(米国)

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

1)研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。

2)1)で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。

2)海外研修報告会において、1)で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/23	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等)	谷口 麻希, 近藤 暁子, 川上 明希, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志, 廣岡 佳代	実施されるプログラムの内容を理解し、参加のための準備を開始する。
2	11/5	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	国際保健福祉	海外研修報告会	谷口 麻希, 近藤 暁子, 川上 明希, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志, 廣岡 佳代	海外研修を通じた体験学習を行う。

授業方法

事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加(プレゼンテーションの実施等)

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

上記合計点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格である。

準備学習等についての具体的な指示

・実践看護英語 I/II/III を受講することを参加要件とする（事前に受講していない場合は必ず事後に受講すること）。
・渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること
・学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること
・派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

海外短期研修プログラムへの参加となる。
参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。
海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

他科目との関連

国際保健福祉，実践看護英語，国際保健看護学 I/II

履修上の注意事項

・ 4 月 23 日に開催される合同オリエンテーションに参加すること ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと（プログラムにより参加要件を確認すること） ・ 実践看護英語 I/II/III を受講することが必須である ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い
・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること
保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他
・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
学生評価に基づく改善点
■ワクチン接種など、昨年度も必要だったものなどは早めに連絡してほしかった。実習の忙しい時期に慌てて行うことになってしまった。
→直前にならないと予定が決まらないことも少なからずあり、申し訳ありません。
■プログラム参加者は指導教員と参加が認められた学生のみで良いと思った。
→そのようにします。
■アメリカの学部の看護学生との交流ができたらもっと面白かったと思う。
→で看護の学生はとても忙しいようなのですが、きるだけ交流できるようお願いします。

連絡先（メールアドレス）

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp
谷口 麻希:taniguchi.maki@tmd.ac.jp
川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F
小笹 由香:yuka.bec@tmd.ac.jp
矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F
湯本 淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F
廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。
国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）
谷口 麻希:毎週水曜日 AM9:30-10:30 医学部3号館 18 階 精神保健看護学分野 研究室2
川上 明希:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
小笹 由香:平日 10:00-17:00 3 号館 17 階 ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ看護学研究室
事前にメールでアポイント取ってください。
湯本 淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
3 号館 18 階 在宅・緩和ケア看護学分野

時間割番号	012095				
科目名	人間の健康と看護			科目ID	MN-130800-L
担当教員	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙[KASHIWAGI Masayo, KAMEDA Norihiro, TASHIRO Risa]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Human health and nursing

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

3 号館 18 階講義室 1

授業の目的、概要等

看護学の基盤となる主な概念について学ぶとともに、「看護とは何か」を歴史的や世界的に展望する。さらに、看護の役割や機能、看護活動の基本的過程の理解を通じて、看護・看護学を考える基盤を形成し、看護実践の基礎力を培う。

授業の到達目標

1)看護とは何か、看護が看護学に発展した経緯を説明できる。

2)看護の対象である人間と人間の生活に影響する健康、環境について述べることができる。

3)看護の発展の歴史と看護の本質とは何かにを説明できる。

4)看護の役割と機能について、具体例を挙げて説明することができる。

5)看護理論をもとに、事例や身近な経験の理解や看護実践のアプローチを考えることができる。

6)看護実践の科学的な方法としての看護過程の基本的な要素について説明できる。

7)看護に関連する倫理的課題を分析するための、基本的な原則、概念について理解できる。

8)看護サービスの質について具体的に考え、述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/6	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 1	オリエンテーション 看護と看護学	看護の歴史的変遷と様々な理論家による看護の捉え方、看護職能団体による看護の定義を学習し、看護の本質とは何かについて考える	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】1) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー
2	10/6	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 1	看護の主要概念	看護の主要概念である人間、健康、環境について学習する	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】2) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー
3	10/20	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 1	看護の本質	対話を通じて、看護の本質観取を行う	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】3) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー
4	10/20	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 1	看護の役割と機能	看護におけるケアとは何か、看護の役割と機能について学習する	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】4) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー
5	10/27	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 1	看護の理論と看護実践への活用	主要な看護理論と看護実践への活用について学習する	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】5) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー
6	10/27	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 1	看護実践の構造と方法	看護実践の科学的な方法としての看護過程の基本的な要素について学習する	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】6) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー

7	11/10	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	看護に関連する倫理的課題	看護に関連する倫理的課題について学習する	柏木 聖代,亀田 典宏,田代 理沙	【到達目標】7) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー
8	11/10	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	看護サービスの質保証	サービスとしての看護、看護サービス提供の場、看護サービスの質について学習する。	柏木 聖代,亀田 典宏,田代 理沙	【到達目標】8) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】リアクションペーパー、最終レポート

授業方法

授業内容は学びの進度によって変更する場合がある。
ディスカッションを交えて進めていくため、積極的に参加すること。

成績評価の方法

1.出席状況・参加状況(40%):出席回数だけでなく、授業内での発言やアクティブラーニングへの参加態度を含めて評価する。同期型授業の場合、授業開始時の出席確認(呼名)および最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とみなす。
2.ミニレポート(20%):授業内容の理解状況を評価する。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。
3.最終レポート(40%):示された課題について、授業内で示した知識の羅列ではなく、学習内容を元に考察した自身の考えを系統立てて具体的に記述すること。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す項目の成績の合計により評価を行う。授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とし、それを上回る場合には加点される。提出物は、提出期限が守られ、かつ、授業中に示す基準を守っているかどうかが評価基準となる。なお、合格した場合、リアクションペーパーでの重要な質問や指摘があった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

到達目標や授業明細の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業にのぞむことが求められる。該当範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。毎回講義後に関連したミニレポートを書いてもらうので、理解できなかった事柄はテキストだけでなく、様々な文献等を活用して自分で調べ、解決しておくこと。調べても解決できなかった事は、何がわからなかったのかを明確にして、ミニレポートに記載すること。

試験の受験資格

本科目では期末筆記試験は実施しない。

教科書

看護学原論 : 看護の本質的理解と創造性を育むために／高橋照子編集,高橋, 照子,:南江堂, 2020
看護の基本となるもの／ヴァージニア・ヘンダーソン 著,湯槇ます, 小玉香津子 訳Henderson, Virginia, 1897-1996,湯槇, ます, 1904-1991,小玉, 香津子, 1936-,:日本看護協会出版会, 2016
看護覚え書(第8版)／フロレンス・ナイチンゲール 著・文・その他,湯槇 ます 翻訳,薄井 坦子 翻訳,小玉 香津子 翻訳,田村 眞 翻訳,小南 吉彦 翻訳,フロレンス・ナイチンゲール,湯槇 ます,薄井 坦子,小玉 香津子,田村 眞,小南 吉彦,:現代社, 2023-01-06

参考書

系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護学概論／茂野, 香おる,:医学書院, 2020
看護学概論 第 7 版／志自岐 康子 編集,松尾 ミヨ子 編集,習田 明裕 編集,志自岐 康子,松尾 ミヨ子,習田 明裕,:メディカ出版, 2021-12-01
看護理論 : 看護理論 21 の理解と実践への応用／筒井真優美 編集,筒井, 真優美, 1949-,:南江堂, 2019
看護理論家の業績と理論評価／筒井真優美編集,筒井, 真優美,:医学書院, 2020
NURSING TEXTBOOK SERIES 看護学概論第 5 版 看護追求へのアプローチ／田中 幸子 編集,田中 幸子,:医歯薬出版, 2021-12-15
オレム看護論 : 看護実践における基本概念／ドロセア E. オレム著 ; 小野寺杜紀訳,Orem, Dorothea E.,小野寺, 杜紀,:医学書院, 2005
ケアの本質 : 生きることの意味／メルトン・メイヤロフ,田村真,向野宣之,メルトン・メイヤロフ,田村真,向野宣之,:ゆみる出版, 1997
看護倫理 : よい看護・よい看護師への道しるべ／小西恵美子編集,小西, 恵美子,:南江堂, 2021

履修上の注意事項

1)授業中にスクリーン、zoom 等の画面を撮影することを禁止する 2)講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する 3)授業日時・内容・実施方法(場所)が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメー

ルアドレスに事前に転送設定しておくこと

備考

看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために，柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験，社会体験を踏まえ，幅広い分野の書物に触れ，社会情勢にも関心を持つことが望ましい。講義中にスクリーンの撮影をすることを禁止する。講義資料や動画などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。質問がある場合には、他学生の理解の支援にもなるので、積極的に授業中もしくはミニレポートを活用して積極的に行うことが望ましい。

連絡先（メールアドレス）

柏木　聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp　3 号館 18 階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室

オフィスアワー

柏木　聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012096				
科目名	基盤看護学実習Ⅰ			科目ID	MN-170900-E
担当教員	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙[KASHIWAGI Masayo, KAMEDA Norihiro, TASHIRO Risa]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Eaely Exposure Practice

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

看護実習室1・2(3号館17階)、東京科学大学病院

オリエンテーション:保健衛生講義室 1(3号館18階)

授業の目的、概要等

専門科目の学習初期段階に、本学病院において看護活動の見学や入院患者との関わりを通して、看護の機能と役割を理解する。専門知識の少ない時期に医療の場に触れることで、患者と同じように生活者としての視点から患者の療養環境の実際を知り、看護師として全人的なかかわりができるための基礎的能力を培う。また、他職種の活動内容や多職種連携の実際を知ることで看護の専門性の理解につなげる。

また、自律的な実習への参加を通して、専門職の一員としての態度と素養を養うことを目的とする。本科目で体験した内容から形成された患者像や看護観は、2 年次以降、看護を必要とする対象への看護や看護技術について学ぶための礎となる。

授業の到達目標

1)大学病院の機能および本学大学病院の理念と病院組織の概要を説明できる。

2)本学大学病院看護部の理念と基本方針を説明できる。

3)看護師と共に行動しながら看護活動の場を見学し、看護の機能と役割について考察できる。

4)生活者としての視点から、入院患者の療養環境の特徴(病院・病床の構造上の特徴含む)を考察できる。

5)他職種の活動や多職種連携の実際を見学し、看護の専門性について考察できる。

6)学生間で体験を共有し、討議できる。

7)臨床場面における看護学学習者としての姿勢や態度を示すことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/10	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 1	実習オリエンテーション	実習オリエンテーション	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 7) 【学習方法】講義・グループワーク 【事前・事後課題】実習要項参照
2-6	12/9	08:50-18:55	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 1)-7) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
7-11	12/12	08:50-18:55	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 保健衛生学科講義室 1	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 1)-7) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
12-16	12/15	08:50-18:55	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 1)-7) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
17-21	12/16	08:50-18:55	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 1)-7) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
22-26	12/19	08:50-18:55	看護学実習室 1, 看護学実習室 2,	詳細については実習要項参	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏,	【到達目標】 1)-7) 【学習方法】実習

			保健衛生学科講義室1	照		田代 理沙	【事前・事後課題】実習要項参照

授業方法

〔実習期間〕

11 月 10 日 3 限にオリエンテーション、12 月 9,12,15,16,19 日に 5 日間の学内および病院実習を行う。詳細については実習要項参照

授業内容

詳細については、後日配布する実習要項に提示する。

成績評価の方法

基盤看護学実習Ⅰの評価は、以下 2 つの項目により行われる。実習への出席は評価を行うための最低条件であるため、成績評価には加味しない。ただし、以下の 2 項目は互いに連動するので注意すること。

1)実習記録:最終的に提出する実習記録の内容を考慮して評価する。

2)実習態度および参加状況:実習中やグループワーク、質疑応答での活発な発言などの積極的な参加態度や、身だしなみや時間厳守、約束事を守れているかなどの実習態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下 2 つの項目で、総合的に評価する。

1)実習記録(40%)

実習記録が提出期限までに、実習要項に書かれた正しい方法で提出さていた場合に評価を行う。

記録物は敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。また実習記録は感想文や実習中に行ったことの経時記録を求めてはいない。そのため、学んだ内容について、自身で感じたことや考えたことを具体的に記載した内容を評価する。

2)実習態度および参加状況(60%)

基盤看護学実習Ⅰでは積極的な参加が求められる。そのため、グループワークへの積極的な参加や質疑応答などで活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。また専門職としての一員ならびに看護を学ぶ学習者としての態度を示すことも実習目標であるため、身だしなみを整える、時間厳守する、約束事を守るなどを行えている場合にも加点する。

準備学習等についての具体的な指示

「人間の健康と看護」「看護制度論」で学んだ知識を基に、実習病院における病院の機能や組織の概要、看護部の理念、目標、組織、看護体制、看護制度などについて事前に調べておくこと。

試験の受験資格

本科目では試験を実施しない。成績評価を行うためには、すべての実習日程に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも実習期間の 3／4 以上の出席が必要である。1 日の実習時間のうち、3／4 以上の時間を参加することで出席とする。また遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2 回で 1 日の欠席とみなす。

詳細は実習要項参照。

他科目との関連

基盤看護学実習Ⅰでは、本学大学病院看護部長や病棟看護師長から講義を受け、病院の理念・機能、看護部の理念・看護体制、病棟看護の実際を知る。また、医療現場において患者や看護師、他医療職種と接することで、生活者の視点から看護の実際について体験する。1 年生後期の「人間の健康と看護」、「看護制度論」、「癒しのケア論」と密接な関係にある。また本科目での体験した内容から形成された患者像や看護観は、2 年生の「基盤看護学Ⅰ」、「基盤看護学Ⅱ」、「基盤看護学演習Ⅰ・Ⅱ」、「基盤看護学実習Ⅱ」において看護を必要とする対象への看護や看護技術について学ぶための礎になる。多くのことを生活者の視点から見聞し、感じるとともに、考えた内容を記録やディスカッションにより深めることが重要となる。

履修上の注意事項

1)実習要項を良く熟読し、実習に参加すること。 2)時間を厳守し、実習生にふさわしい態度を持ち、身だしなみを整えて実習に臨むこと。 3)実習の場は医療の場のため、態度・言葉遣いなどにも注意すること。 4)実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールや Web サイト、SNS などでインターネット上に発信しないこと。 ※その他詳細は実習要項を参照すること。

備考

新型コロナウイルス等の感染症拡大状況等、諸般の事情により実習内容が変更になる場合がある。Webclass や学内メールでのアナウンスを各自確認すること。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012410				
科目名	看護の統合と実践			科目ID	MN-131800-L
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子, 澁川 穂積, 濱本 千春, 森 みさ子[SASAKI Yoshiko, IMAZU Yoko, SHIBUKAWA Hozumi, HAMAMOTO Chiharu, MORI Misako]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名 : Integration of acquaintances for nursing practice Ⅰ

【科目責任者】佐々木 吉子

主な講義場所

3 号館 18 階保健衛生学科講義室 1、7 階講義室 4、図書館情報検索室にて対面で行う。

授業の目的、概要等

本科目では、看護専門職に必要とされる知識・技術・態度について考え、看護学を、短期的、長期的な自身の学修およびキャリアプランを検討することを目的とする。そのため、ロールモデルとなりうる、多様な領域で活躍する看護職や協働する他職種から、実践経験やキャリアパスについて講義を受けるとともに、その内容に基づいて学生主体の積極的なディスカッションを行う。また、研究を通してよりよい実践にしていくことの意義を理解し、そのための基盤となる知識や技術を身につける。そのため、素朴な疑問を研究的視点から捉える姿勢や、情報検索の方法を学び、看護やその関連領域に関する情報を収集・統合する能力を養い、自身のキャリアプランについて考察する。本科目は、三大学連合複合領域コースの看護学以外の領域を専攻する学生の受講も歓迎し、多様な立場から看護を捉えディスカッションに参加することを期待する。

授業の到達目標

1）多様な看護職・医療職としての実践例やキャリアパスを知り、看護の仕事の責務と発展性について考え、ディスカッションで積極的に意見を述べるとともに、自身の考えを記述することができる。

2）看護実践および看護学の発展のために必要な情報の検索・統合の方法を身につけ、研究的視点から問いを立て、目的に応じて情報収集を行うことができる。

3）専門職として質の高い看護実践を行うために必要な知識・技術・態度について考え、看護とは何かを探究することができ、自身のキャリアプランについてレポートにまとめることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/7	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 1	看護の多様性と可能性、キャリアパス	オリエンテーション 看護の多様性と可能性、キャリアパス、EBN のステップ	佐々木 吉子	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事後学習】リフレクションシート
2	11/7	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 1	看護実践とエビデンス①	文献の読み方とまとめ方	今津 陽子	【到達目標】2) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前学習】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
3	11/14	08:50-10:30	情報検索室 1	看護学における資料・文献の収集方法	検索エンジンと方法・文献整理ツール	澁川 穂積, 今津 陽子	【到達目標】2) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前学習】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
4	11/14	10:45-12:25	情報検索室 1	実践に活かすための文献活用	実践に活かすための文献活用	澁川 穂積, 今津 陽子	【到達目標】2) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前学習】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
5	12/2	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 1	看護のキャリアパス①	看護職としてのキャリア(大学病院助産師、看護師)	佐々木 吉子, 今津 陽子	【到達目標】1),3) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前学習】アンケート 【事後学習】リフレクションシート

6	12/2	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	看護のキャリアパス②	スペシャリストと看護管理者①(病院)	森 みさ子, 佐々木 吉子	【到達目標】1),3) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前学習】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
7	12/8	13:30-15:10	保健衛生学科講義室4	看護のキャリアパス③	スペシャリストと看護管理者②(訪問看護ステーション)	濱本 千春, 今津 陽子	【到達目標】1),3) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前学習】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
8	12/8	15:25-17:05	保健衛生学科講義室4	看護のキャリアパス④	起業	佐々木 吉子	【到達目標】1),3) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前学習】アンケート 【事後学習】リフレクションシート

授業方法

講義形式の授業に加えて、各回のテーマに基づき、学生間でのグループワーク、プレゼンテーション、全体でのディスカッションを行う。

本科目では、指定する授業回においては、その学習効果を高めるため、事前課題と事後課題を設定する。事前課題は、講師から提示された事前課題や、当該授業に対する関心や講師への質問について、当該授業の前回授業の翌日の 13:00 までに WebClass より提出する。また、事後課題は、当該講義の内容から考察したことや自身の今後の課題について振り返り、授業を通して得た学びをまとめ、授業の翌日の 13:00 までに WebClass より提出する。

授業内容

別紙、授業明細の通り

成績評価の方法

本科目の評価は、出席状況、各回の事前課題と事後課題、授業への参加姿勢、最終レポートにより総合的に評価する。

最終レポートは、本授業で学んだことを踏まえて、現時点で、自身が考える自身のキャリアについて 1200 字程度で記述する。必ず 3 件以上の文献を引用し、引用した文献の出典を明記する。(インターネットからの情報は、URL と閲覧日を記載する)。2025 年 12 月 23 日(火)13:00 までに、WebClass より提出する。

事前・事後課題、最終レポートの提出が遅れた場合、必ず担当教員に別途メールで連絡すること。

成績評価の基準

成績評価の割合については、以下評価基準に従う。

1)出席状況 10%(全出席で 10 点満点、1 回欠席するごとに 1 点減点する)

2)事前課題 10%(全回遅延なく提出で 10 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

3)参加姿勢 20%(授業中の態度、発言等の積極性、グループワークでの貢献などを、10 点満点で評価する)

4)ピア評価 10%(他の参加者からの評価を 10 点満点で評価する。)

5)事後課題 20%(全回遅延なく提出で 20 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

6)最終レポート 40%(遅延なく提出で 40 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

＊事前課題、事後課題、最終レポートの記載内容の評価は以下の基準に照らして行う。

A(100%):授業内容を発展させ、課題に対して期待を超える記述ができている。最終レポートについては、課題に応じたテーマが設定され、明瞭かつ一貫性・論理的が保たれており、文字数、文献の引用方法など規定に沿っている。

B(80%):授業内容を理解し、目標に相応する意見や考察が記載できている。

C(60%):課題に対して、容認可能な記述ができている。

D(40%):課題に対しての記述ができていない。授業内容と関係が薄いか、不適切な記述となっている。

E(0%):未提出

＊グループワークの参加姿勢については、グループメンバー間でのピア評価を参考にする。ピア評価の基準は別途授業で指示する。

以上の評価指標に基づき、合計点が 60 点以上の場合に合格とし、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

一部の単元では準備学習を必要とする。事前に連絡を行うため、確認すること。

試験の受験資格

次のすべてが、最終レポートを受理する要件となる。

全8回の授業のうち6回以上の授業に出席し、設定された事前課題および事後課題を期限までに提出していること。Zoom での出席は講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合とする。

グループワークやディスカッションが設定された授業では、自身の考えを述べたり、他の参加者の発表を傾聴して意見を述べたりするな

ど、参加の様子が認められること。
特別に勘案すべき事情があって課題が提出できない場合や、授業への参加ができない場合は、課題の締切日もしくは授業が始まる前までに、科目担当教員にメールで連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと判断された場合は、この限りではない。配慮されるべき理由で欠席する場合に限り、別途課題を課すなどの対応をおこなうことがある。

教科書

授業について必要な書籍等があれば連絡する。

他科目との関連

「看護の統合と実践」は、他の看護の専門分野と密接なかかわりを持つ。今回学んだ内容は、今後学習予定の看護学の各科目と、将来的に関連付けられていくことが望ましい。

履修上の注意事項

内容・日時・場所については変更が生じうるので教務係や担当教員からの連絡を確認すること。　　講義中のスクリーンの撮影、ZOOM 授業における画面のスクリーンショットを禁止する。WebClass に掲示した講義資料、参考資料は、担当者の許可を得ない限り受講登録者以外に公開することを禁止する。

備考

授業最終日（12 月 8 日）から、科目についてのアンケートが WebClass でできるようになっている。このアンケートに回答しない場合は、本科目の合否が WebClass に表示されない。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp　3 号館 19 階
今津　陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp　3 号館 18 階

オフィスアワー

佐々木　吉子:平日　AM.9:30-PM.5:30 3 号館 19 階　災害・クリティカルケア看護学分野教授室
今津　陽子:平日　AM.10:00-PM.5:00 3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

時間割番号	012420				
科目名	多職種連携Ⅰ			科目ID	MN-171700-L
担当教員	田中 真琴, 廣山 奈津子, 松長 麻美, 今津 陽子[TANAKA Makoto, HIROYAMA Natsuko, MATSUNAGA Asami, IMAZU Yoko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	1	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Interprofessional Collaboration Ⅰ

【科目責任者】看護学専攻主任 田中真琴

主な講義場所

MD タワー1F 鈴木章夫記念講堂ほか(状況により変更の可能性あり)

授業の目的、概要等

医療・歯科医療において活躍する保健・医療・福祉の専門職について知り、共通する職業倫理や仕事に対する姿勢、多職種連携の重要性を学び、それぞれの将来像を共有する。患者の講演をとおして医療系大学初学者の自覚を持つ。医学部歯学部の 1 年生として、自らの知識や価値観を他学科の学生に共有することができる。また、他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。演習活動を行う中で、協働を実現するために自らの役割を果たすことができる。

授業の到達目標

1. 本学初学年の学生として、自らの知識や価値観を、他学科の学生に共有することができる。
2. 本学初学年の学生として、他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。
3. 他学科学生との演習活動の中で、協働を実現するために、自らの役割を果たすことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/8	08:50-10:20	鈴木章夫記念講堂	・オリエンテーション ・教員講演	・実習オリエンテーション ・学科専攻紹介	田中 真琴, 廣山 奈津子, 松長 麻美, 今津 陽子	到達目標 1.2.3 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する
2	4/8	10:45-12:25	鈴木章夫記念講堂	・講義 ・グループワーク 1 ・質疑応答 1 1	・チームビルディング ・自己紹介、学科専攻紹介 ・学科専攻に関する質疑応答	田中 真琴, 廣山 奈津子, 松長 麻美, 今津 陽子	到達目標 1.2.3 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する
3	4/8	13:30-15:10	鈴木章夫記念講堂	・患者講師講演 ・グループワーク 2	・多職種協働の大切さ ・講演を踏まえたグループディスカッション	田中 真琴, 廣山 奈津子, 松長 麻美, 今津 陽子	到達目標 1.2.3 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する
4	4/8	15:25-17:05	鈴木章夫記念講堂	・質疑応答 2 ・グループワーク 3 ・総括	・講演とグループワークを踏まえた質疑応答 ・実習全体を踏まえたグループディスカッション ・実習のまとめ	田中 真琴, 廣山 奈津子, 松長 麻美, 今津 陽子	到達目標 1.2.3 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する

授業方法

講義、演習(グループワーク)

医学部歯学部の全学科全専攻の 1 年生が参加し、グループに分かれて討論を行う。

成績評価の方法

成績はグループワークへの参加態度(50%)、レポート等の提出物(50%)により評価する。

出席状況、授業態度を総合評価に加味する。

○ 出席: カードーリーダー(学生証)、チューターによる確認

○ 実習への参加度: チューターによる評価

○ グループワーク課題: 実習で使用した A4 用紙、えんたくん用紙を実習終了直後に講堂内で提出
○ 個人課題: WebClass で 4 月 15 日(火)23 時 59 分までに提出

成績評価の基準

・合計点数が 60%以上のものを合格とする。
参加態度は、司会や書記を務め、積極的に発言しただけではなく、グループメンバーの話しやすい雰囲気を作るなど、聞く姿勢も評価の対象となる。
期日までに提出された課題を採点対象とし、講演で聞いた内容やグループワークで話し合った内容が含まれているか、自分自身の考えが描かれているかについて授業の到達目標の達成度に応じて採点する。

準備学習等についての具体的な指示

資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自視聴すること。課題の提出を WebClass にて行うこと。

試験の受験資格

試験は行わない。
・出席を基本とし、演習に参加する。出席: カードーリーダー(学生証)、チューターによる確認
・演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

:幻冬舎, 2020.11

参考書

他人の悩みはひとごと、自分の悩みはおおごと。 : #なんで僕に聞くんだろう。／幡野, 広志, 1983-,幡野広志 著:幻冬舎, 2020.11
チームが機能するとはどういうことか : 「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ／Edmondson, Amy C,野津, 智子,エイミー・C・エドモンドソン 著,野津智子 訳:英治出版, 2014.5
WHO 患者安全カリキュラムガイド多職種版

他科目との関連

多職種連携Ⅱ、看護の統合と実践実習の導入科目である。

履修上の注意事項

積極的に参加すること。課題を提出すること。

備考

東京科学大学に入学した医歯学系学生1年全員が参加する科目である。前年度授業評価アンケート好評のため大きな変更はない

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

第２学年

2025時間割表（看護学専攻第2学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期1	4月1日	火																																						
前期1	4月2日	水																																						
前期1	4月3日	木			成人の健康と看護	(1)	必修		登校	講義室1		成人の健康と看護	(2)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(1)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(2)	必修		非同期型	講義室1									
前期1	4月4日	金										病態学	(1)	必修	合同	登校	講義室1		基盤看護学Ⅰ	(1)	必修		登校	講義室1		基盤看護学Ⅱ	(1)	必修		登校	講義室1									
前期1	4月5日	土																																						
前期1	4月6日	日																																						
前期2	4月7日	月		（自）インディペンデントスタディA	生理学	(1)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(2)	必修	合同	登校	講義室1		基盤看護学Ⅰ	(2)	必修		登校	講義室1		成人の健康と看護	(3)	必修		登校	講義室1									
前期2	4月8日	火																	公衆衛生看護学Ⅰ	(1)	必修		登校	講義室1		公衆衛生看護学Ⅰ	(2)	必修		登校	講義室1									
前期2	4月9日	水			実践看護英語Ⅰ	(1)	自由		同期型																															
前期2	4月10日	木																	心の健康と看護Ⅰ	(3)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(4)	必修		登校	講義室1		憲法	(1)	自由		非同期型		
前期2	4月11日	金			生理学	(3)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(4)	必修	合同	登校	講義室1		基盤看護学演習Ⅰ	(1)	必修		登校		実習室1	基盤看護学Ⅰ	(3)	必修		登校		実習室1								
前期2	4月12日	土																																						
前期2	4月13日	日																																						
前期3	4月14日	月		（自）インディペンデントスタディA	病態学	(2)	必修	合同	登校	講義室1		成人の健康と看護	(4)	必修		登校	講義室1		基盤看護学演習Ⅰ	(2)	必修		登校		実習室1	基盤看護学演習Ⅰ	(3)	必修		登校		実習室1								
前期3	4月15日	火																	公衆衛生看護学Ⅰ	(3)	必修		登校	講義室1		公衆衛生看護学Ⅰ	(4)	必修		登校	講義室1									
前期3	4月16日	水																																						
前期3	4月17日	木			基盤看護学Ⅱ	(2)	必修		登校	講義室1		基盤看護学Ⅱ	(3)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(5)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(6)	必修		登校	講義室1		憲法	(2)	自由		非同期型		
前期3	4月18日	金			実践看護英語Ⅰ	(2)	自由		登校	講義室2		**移動時間**	(1)						基盤看護学演習Ⅰ	(4)	必修		登校	講義室1	実習室1・2	基盤看護学演習Ⅰ	(5)	必修		登校	講義室1	実習室1・2								
前期3	4月19日	土																																						
前期3	4月20日	日																																						
前期4	4月21日	月		（自）インディペンデントスタディA	生理学	(5)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(6)	必修	合同	登校	講義室1																			憲法	(3)	自由		非同期型		
前期4	4月22日	火																	公衆衛生看護学Ⅰ	(5)	必修		登校	講義室1		公衆衛生看護学Ⅰ	(6)	必修		登校	講義室1									
前期4	4月23日	水																																		海外研修オリエンテーション	(1)					
前期4	4月24日	木			小児の健康と看護	(1)	必修		登校	講義室1		小児の健康と看護	(2)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(7)	必修		非同期型	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(8)	必修		登校	講義室1		憲法	(4)	自由		非同期型		
前期4	4月25日	金										成人の健康と看護	(5)	必修		登校	講義室1		基盤看護学Ⅰ	(4)	必修		登校		実習室1	基盤看護学演習Ⅰ	(6)	必修		登校		実習室1								
前期4	4月26日	土																																						
前期4	4月27日	日																																						
前期5	4月28日	月																																		憲法	(5)	自由		非同期型		
前期5	4月29日	火	昭和の日																																					
前期5	4月30日	水		（自）インディペンデントスタディA	実践看護英語Ⅰ	(3)	自由		同期型																															
前期5	5月1日	木																																		実践看護英語Ⅰ	(4)	自由		同期型		
前期5	5月2日	金																																		実践看護英語Ⅰ	(5)	自由		登校	講義室2	
前期5	5月3日	土	憲法記念日																																					
前期5	5月4日	日	みどりの日																																					
前期6	5月5日	月	こどもの日																																					
前期6	5月6日	火	振替休日																																					
前期6	5月7日	水		（自）インディペンデントスタディA	生理学	(7)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(8)	必修	合同	登校	講義室1																									
前期6	5月8日	木			小児の健康と看護	(3)	必修		登校	講義室1		小児の健康と看護	(4)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(9)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(10)	必修		登校	講義室1									
前期6	5月9日	金										病態学	(3)	必修		非同期型	講義室1		基盤看護学Ⅰ	(5)	必修		登校	講義室1										実践看護英語Ⅰ	(6)	自由		登校	講義室2	
前期6	5月10日	土																																						
前期6	5月11日	日																																						
前期7	5月12日	月		（自）インディペンデントスタディA	基盤看護学Ⅰ	(6)	必修		登校		実習室1・2	基盤看護学Ⅰ	(7)	必修		登校		実習室1・2	生理学	(9)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(10)	必修	合同	登校	講義室1		憲法	(6)	自由		非同期型		
前期7	5月13日	火			病態学	(4)	必修		登校	講義室1									公衆衛生看護学Ⅰ	(7)	必修		同期型			公衆衛生看護学Ⅰ	(8)	必修		同期型										
前期7	5月14日	水			成人の健康と看護	(6)	必修		登校	講義室1		成人の健康と看護	(7)	必修		登校	講義室1																								
前期7	5月15日	木																	心の健康と看護Ⅰ	(11)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(12)	必修		登校	講義室1		憲法	(7)	自由		非同期型		
前期7	5月16日	金			実践看護英語Ⅰ	(7)	自由		登校	講義室2		**移動時間**	(2)						基盤看護学Ⅱ	(4)	必修		登校	講義室1		基盤看護学Ⅱ	(5)	必修		登校	講義室1									
前期7	5月17日	土																																						
前期7	5月18日	日																																						
前期8	5月19日	月		（自）インディペンデントス	生理学	(11)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(12)	必修	合同	登校	講義室1		フィジカルアセスメント	(1)	必修		登校		実習室1	フィジカルアセスメント	(2)	必修		登校		実習室1	憲法	(8)	自由		非同期型		
前期8	5月20日	火			病態学	(5)	必修	合同	登校	講義室1		病態学	(6)	必修	合同	登校	講義室1		フィジカルアセスメント	(3)	必修		登校		実習室2	フィジカルアセスメント	(4)	必修		登校		実習室2								
前期8	5月21日	水			生理学	(13)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(14)	必修	合同	登校	講義室1																								
前期8	5月22日	木																	基盤看護学演習Ⅰ	(7)	必修		登校		実習室1	基盤看護学演習Ⅰ	(8)	必修		登校		実習室1								

2025時間割表（看護学専攻第2学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期8	5月23日	金		タディA	多職種連携Ⅱ	(1)	必修					多職種連携Ⅱ	(2)	必修					多職種連携Ⅱ	(3)	必修					多職種連携Ⅱ	(4)	必修					多職種連携Ⅱ	(5)	必修				
前期8	5月24日	土																																						
前期8	5月25日	日																																						
前期9	5月26日	月		（自）インディペンデントスタディA	病態学	(7)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(15)	必修	合同	登校	講義室1																憲法	(9)	自由		非同期型		
前期9	5月27日	火										成人の健康と看護	(8)	必修		登校	講義室1		基盤看護学演習Ⅰ	(9)	必修		登校		実習室1	基盤看護学Ⅰ	(8)	必修		登校		実習室1							
前期9	5月28日	水																																						
前期9	5月29日	木			病態学	(8)	必修		非同期型	講義室1		病態学	(9)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(13)	必修		登校	講義室1		心の健康と看護Ⅰ	(14)	必修		登校	講義室1							
前期9	5月30日	金																	小児の健康と看護	(5)	必修		登校	講義室1		小児の健康と看護	(6)	必修		登校	講義室1		実践看護英語Ⅰ	(8)	自由		登校	講義室2	
前期9	5月31日	土																																						
前期9	6月1日	日																																						
前期10	6月2日	月		（自）インディペンデントスタディA	病態学	(10)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(16)	必修	合同	登校	講義室1		フィジカルアセスメント	(5)	必修		登校		実習室2	フィジカルアセスメント	(6)	必修		登校		実習室1	憲法	(10)	自由		非同期型		
前期10	6月3日	火										成人の健康と看護	(9)	必修		登校	講義室1		基盤看護学演習Ⅰ	(10)	必修		登校		実習室1・2	基盤看護学演習Ⅰ	(11)	必修		登校		実習室1・2							
前期10	6月4日	水			病態学	(11)	必修	合同	登校	講義室1		病態学	(12)	必修	合同	登校	講義室1																						
前期10	6月5日	木																	心の健康と看護Ⅰ	(15)	必修		登校	講義室1								憲法	(11)	自由		非同期型		
前期10	6月6日	金			実践看護英語Ⅰ	(9)	自由		登校	講義室2									小児の健康と看護	(7)	必修		登校	講義室1		小児の健康と看護	(8)	必修		登校	講義室1		実践看護英語Ⅰ	(10)	自由		登校	講義室2	
前期10	6月7日	土																																						
前期10	6月8日	日																																						
前期11	6月9日	月		（自）インディペンデントスタディA	病態学	(13)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(17)	必修	合同	登校	講義室1		健康教育学演習	(1)	必修		登校	講義室1		健康教育学演習	(2)	必修		登校	講義室1		憲法	(12)	自由		非同期型		
前期11	6月10日	火			成人の健康と看護	(10)	必修		登校	講義室1		成人の健康と看護	(11)	必修		登校	講義室1																						
前期11	6月11日	水																																						
前期11	6月12日	木																	基盤看護学演習Ⅰ	(12)	必修		登校		実習室1・2	基盤看護学演習Ⅰ	(13)	必修		登校		実習室1・2							
前期11	6月13日	金			病態学	(14)	必修		登校	講義室1		病態学	(15)	必修	合同	登校	講義室1		基盤看護学Ⅱ	(6)	必修		登校	講義室1		基盤看護学Ⅱ	(7)	必修		登校	講義室1								
前期11	6月14日	土																																						
前期11	6月15日	日																																						
前期12	6月16日	月		（自）インディペンデントスタディA	病態学	(16)	必修	合同	非同期型			病態学	(17)	必修		非同期型																							
前期12	6月17日	火																																						
前期12	6月18日	水			病態学	(18)	必修	合同	登校	講義室1		病態学	(19)	必修	合同	登校	講義室1																						
前期12	6月19日	木																	基盤看護学演習Ⅰ	(14)	必修		登校		実習室1・2	基盤看護学演習Ⅰ	(15)	必修		登校		実習室1・2	憲法	(13)	自由		非同期型		
前期12	6月20日	金			成人の健康と看護	(12)	必修		登校	講義室1		成人の健康と看護	(13)	必修		登校	講義室1		健康教育学演習	(3)	必修		登校	講義室1		健康教育学演習	(4)	必修		登校	講義室1								
前期12	6月21日	土																																						
前期12	6月22日	日																																						
前期13	6月23日	月		（自）インディペンデントスタディA	生理学	(18)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(19)	必修	合同	登校	講義室1																憲法	(14)	自由		非同期型		
前期13	6月24日	火										病態学	(20)	必修	合同	登校	講義室1		健康教育学演習	(5)	必修		登校	講義室1		健康教育学演習	(6)	必修		登校	講義室1							
前期13	6月25日	水																																						
前期13	6月26日	木																	基盤看護学実習Ⅱ	(1)	必修		同期型															
前期13	6月27日	金										成人の健康と看護	(14)	必修		登校	講義室1																						
前期13	6月28日	土																																						
前期13	6月29日	日																																						
前期14	6月30日	月		（自）インディペンデントスタディA	生理学	(20)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(21)	必修	合同	登校	講義室1		フィジカルアセスメント	(7)	必修		登校		実習室1,2	フィジカルアセスメント	(8)	必修		登校		実習室1,2	憲法	(15)	自由		非同期型		
前期14	7月1日	火			病態学	(21)	必修		登校	講義室1		病態学	(22)	必修		登校	講義室1		健康教育学演習	(7)	必修		登校	講義室1		健康教育学演習	(8)	必修		登校	講義室1								
前期14	7月2日	水																																						
前期14	7月3日	木			基盤看護学Ⅱ	(8)	必修		登校		実習室1	基盤看護学演習Ⅰ	(16)	必修		登校		実習室1	成人の健康と看護	(15)	必修		登校	講義室1															
前期14	7月4日	金			生理学	(22)	必修	合同	登校	講義室1		生理学	(23)	必修	合同	登校	講義室1		病態学	(23)	必修		登校	講義室1		病態学	(24)	必修		登校	講義室1								
前期14	7月5日	土																																						
前期14	7月6日	日																																						
前期15	7月7日	月			前期定期試験	(1)						前期定期試験	(2)						前期定期試験	(3)						前期定期試験	(4)						前期定期試験	(5)					
前期15	7月8日	火			前期定期試験	(6)						前期定期試験	(7)						前期定期試験	(8)						前期定期試験	(9)						前期定期試験	(10)					
前期15	7月9日	水			前期定期試験	(11)						前期定期試験	(12)																									
前期15	7月10日	木			前期定期試験	(13)						前期定期試験	(14)						前期定期試験	(15)						前期定期試験	(16)						前期定期試験	(17)					
前期15	7月11日	金			前期定期試験	(18)						前期定期試験	(19)						前期定期試験	(20)						前期定期試験	(21)						前期定期試験	(22)					
前期15	7月12日	土																																						
前期15	7月13日	日																																						

2025時間割表（看護学専攻第2学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期16	7月14日	月			前期定期試験	(23)						前期定期試験	(24)						前期定期試験	(25)						前期定期試験	(26)						前期定期試験	(27)					
前期16	7月15日	火			前期定期試験	(28)						前期定期試験	(29)						前期定期試験	(30)						前期定期試験	(31)						前期定期試験	(32)					
前期16	7月16日	水			前期定期試験	(33)						前期定期試験	(34)																									
前期16	7月17日	木			前期定期試験	(35)						前期定期試験	(36)						前期定期試験	(37)						前期定期試験	(38)						前期定期試験	(39)					
前期16	7月18日	金			前期定期試験	(40)						前期定期試験	(41)						前期定期試験	(42)						前期定期試験	(43)						前期定期試験	(44)					
前期16	7月19日	土																																						
前期16	7月20日	日																																						
前期17	7月21日	月	海の日																																					
前期17	7月22日	火			前期定期試験	(45)						前期定期試験	(46)						前期定期試験	(47)						前期定期試験	(48)						前期定期試験	(49)					
前期17	7月23日	水			前期定期試験	(50)						前期定期試験	(51)																									
前期17	7月24日	木			基盤看護学演習Ⅰ	(17)	必修	試験	登校		実習室1・2・3・4・5	基盤看護学演習Ⅰ	(18)	必修	試験	登校		実習室1・2・3・4・5	基盤看護学演習Ⅰ	(19)	必修	試験	登校		実習室1・2・3・4・5	基盤看護学演習Ⅰ	(20)	必修	試験	登校		実習室1・2・3・4・5							
前期17	7月25日	金			基盤看護学演習Ⅰ	(21)	必修	試験	登校		実習室1・2・3・4・5	基盤看護学演習Ⅰ	(22)	必修	試験	登校		実習室1・2・3・4・5	基盤看護学演習Ⅰ	(23)	必修	試験	登校		実習室1・2・3・4・5	基盤看護学演習Ⅰ	(24)	必修	試験	登校		実習室1・2・3・4・5							
前期17	7月26日	土																																						
前期17	7月27日	日																																						
前期18	7月28日	月																																						
前期18	7月29日	火																																						
前期18	7月30日	水																																						
前期18	7月31日	木			オープンキャンパス	(1)						オープンキャンパス	(2)						オープンキャンパス	(3)						オープンキャンパス	(4)						オープンキャンパス	(5)					
前期18	8月1日	金			オープンキャンパス	(6)						オープンキャンパス	(7)						オープンキャンパス	(8)						オープンキャンパス	(9)						オープンキャンパス	(10)					
前期18	8月2日	土																																						
前期18	8月3日	日																																						
前期19	8月4日	月																																						
前期19	8月5日	火																																						
前期19	8月6日	水																																						
前期19	8月7日	木																																						
前期19	8月8日	金																																						
前期19	8月9日	土																																						
前期19	8月10日	日																																						
前期20	8月11日	月	山の日																																					
前期20	8月12日	火																																						
前期20	8月13日	水																																						
前期20	8月14日	木																																						
前期20	8月15日	金																																						
前期20	8月16日	土																																						
前期20	8月17日	日																																						
前期21	8月18日	月																																						
前期21	8月19日	火																																						
前期21	8月20日	水																																						
前期21	8月21日	木																																						
前期21	8月22日	金																																						
前期21	8月23日	土																																						
前期21	8月24日	日																																						
後期1	8月25日	月																																						
後期1	8月26日	火																																						
後期1	8月27日	水			基盤看護学実習Ⅱ	(2)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(3)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(4)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(5)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(6)	必修		登校		実習室1,2,3,4
後期1	8月28日	木			基盤看護学実習Ⅱ	(7)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(8)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(9)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(10)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(11)	必修		登校		実習室1,2,3,4
後期1	8月29日	金			基盤看護学実習Ⅱ	(12)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(13)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(14)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(15)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(16)	必修		登校		実習室1,2,3,4
後期1	8月30日	土																																						
後期1	8月31日	日																																						
後期2	9月1日	月			基盤看護学実習Ⅱ	(17)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(18)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(19)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(20)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(21)	必修		登校		実習室1,2,3,4
後期2	9月2日	火			基盤看護学実習Ⅱ	(22)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(23)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(24)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(25)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(26)	必修		登校		実習室1,2,3,4
後期2	9月3日	水			基盤看護学実習Ⅱ	(27)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(28)	必修		登校		実習室1,2,3,4																								

2025時間割表（看護学専攻第2学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期2	9月4日	木			基盤看護学実習Ⅱ	(29)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(30)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(31)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(32)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(33)	必修		登校		実習室1,2,3,4
後期2	9月5日	金			基盤看護学実習Ⅱ	(34)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(35)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(36)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(37)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(38)	必修		登校		実習室1,2,3,4
後期2	9月6日	土																																				
後期2	9月7日	日																																				
後期3	9月8日	月			基盤看護学実習Ⅱ	(39)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(40)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(41)	必修		登校		実習室1,2,3,4														
後期3	9月9日	火			基盤看護学実習Ⅱ	(42)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(43)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(44)	必修		登校		実習室1,2,3,4	基盤看護学実習Ⅱ	(45)	必修		登校		実習室1,2,3,4							
後期3	9月10日	水																																				
後期3	9月11日	木																																				
後期3	9月12日	金																																				
後期3	9月13日	土																																				
後期3	9月14日	日																																				
後期4	9月15日	月	敬老の日																																			
後期4	9月16日	火																																				
後期4	9月17日	水																																				
後期4	9月18日	木																																				
後期4	9月19日	金																																				
後期4	9月20日	土																																				
後期4	9月21日	日																																				
後期5	9月22日	月																																				
後期5	9月23日	火	秋分の日																																			
後期5	9月24日	水																																				
後期5	9月25日	木																																				
後期5	9月26日	金																																				
後期5	9月27日	土																																				
後期5	9月28日	日																																				
後期6	9月29日	月		（自）インディペンデントスタディA	病態学	(25)	必修		登校	講義室4		病態学	(26)	必修		登校	講義室4																							
後期6	9月30日	火																	小児看護学Ⅰ	(1)	必修		同期型			小児看護学Ⅰ	(2)	必修		同期型									
後期6	10月1日	水																																				
後期6	10月2日	木																	基盤看護学演習Ⅱ	(1)	必修		登校	講義室1		基盤看護学演習Ⅱ	(2)	必修		登校	講義室1								
後期6	10月3日	金			成人看護学	(1)	必修		登校	講義室4		成人看護学	(2)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(1)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(2)	必修		登校	講義室4								
後期6	10月4日	土																																				
後期6	10月5日	日																																				
後期7	10月6日	月		（自）インディペンデントスタディA	病態学	(27)	必修		登校	講義室4		病態学	(28)	必修		登校	講義室4		災害看護学	(1)	必修		登校	講義室4		災害看護学	(2)	必修		登校	講義室4								
後期7	10月7日	火																	小児看護学Ⅰ	(3)	必修		登校	講義室4		小児看護学Ⅰ	(4)	必修		登校	講義室4								
後期7	10月8日	水																																				
後期7	10月9日	木																	基盤看護学演習Ⅱ	(3)	必修		登校		実習室1	基盤看護学演習Ⅱ	(4)	必修		登校		実習室1							
後期7	10月10日	金			成人看護学	(3)	必修		登校	講義室4		成人看護学	(4)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(3)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(4)	必修		登校	講義室4								
後期7	10月11日	土																																				
後期7	10月12日	日																																				
後期8	10月13日	月	1ポーラの日																																			
後期8	10月14日	火		（自）インディペンデントスタディA	病態学	(29)	必修		登校	講義室4		病態学	(30)	必修		登校	講義室4		在宅看護学Ⅰ	(1)	必修		登校	講義室4		在宅看護学Ⅰ	(2)	必修		登校	講義室4								
後期8	10月15日	水																																				
後期8	10月16日	木																	基盤看護学演習Ⅱ	(5)	必修		登校		実習室2	基盤看護学演習Ⅱ	(6)	必修		登校		実習室2							
後期8	10月17日	金			成人看護学	(5)	必修		登校	講義室4		成人看護学	(6)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(5)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(6)	必修		登校	講義室4								
後期8	10月18日	土																																				
後期8	10月19日	日																																				
後期9	10月20日	月		（自）インディペンデントスタディA	在宅看護学Ⅰ	(3)	必修		登校	講義室4		在宅看護学Ⅰ	(4)	必修		登校	講義室4		災害看護学	(3)	必修		登校	講義室4		災害看護学	(4)	必修		登校	講義室4								
後期9	10月21日	火																																				
後期9	10月22日	水																																				
後期9	10月23日	木			【仮】解剖体追悼式	(1)																																		
後期9	10月24日	金			成人看護学	(7)	必修		登校	講義室4		成人看護学	(8)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(7)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(8)	必修		登校	講義室4								
後期9	10月25日	土																																				

2025時間割表（看護学専攻第2学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期9	10月26日	日																																						
後期10	10月27日	月		（自）インディペンデントスタディA	在宅看護学Ⅰ	(5)	必修		登校	講義室4		在宅看護学Ⅰ	(6)	必修		登校	講義室4		災害看護学	(5)	必修		登校	講義室4		災害看護学	(6)	必修		登校	講義室4										
後期10	10月28日	火																																						
後期10	10月29日	水																																						
後期10	10月30日	木			薬理学Ⅰ	(1)	必修	合同	登校	講義室1		薬理学Ⅰ	(2)	必修	合同	登校	講義室1		病態学	(31)	必修		登校	講義室4		病態学	(32)	必修		登校	講義室4										
後期10	10月31日	金																	保健医療福祉制度論	(9)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(10)	必修		登校	講義室4										
後期10	11月1日	土																																						
後期10	11月2日	日																																						
後期11	11月3日	月	文化の日																																					
後期11	11月4日	火		（自）インディペンデントスタディA															基盤看護学演習Ⅱ	(7)	必修		登校		実習室1,2	基盤看護学演習Ⅱ	(8)	必修		登校		実習室1,2									
後期11	11月5日	水																																			海外研修報告会	(1)					
後期11	11月6日	木			薬理学Ⅰ	(3)	必修	合同	登校	講義室1		薬理学Ⅰ	(4)	必修	合同	登校	講義室1		病態学	(33)	必修		非同期型	講義室1		病態学	(34)	必修		非同期型	講義室1										
後期11	11月7日	金			成人看護学	(9)	必修		登校	講義室4		成人看護学	(10)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(11)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(12)	必修		登校	講義室4										
後期11	11月8日	土																																						
後期11	11月9日	日																																						
後期12	11月10日	月		（自）インディペンデントスタディA	在宅看護学Ⅰ	(7)	必修		登校	講義室4		在宅看護学Ⅰ	(8)	必修		登校	講義室4		災害看護学	(7)	必修		登校	講義室4		災害看護学	(8)	必修		登校	講義室4										
後期12	11月11日	火																																						
後期12	11月12日	水																																						
後期12	11月13日	木			薬理学Ⅰ	(5)	必修	合同	登校	講義室1		薬理学Ⅰ	(6)	必修	合同	登校	講義室1		小児看護学Ⅰ	(5)	必修		登校	講義室4		小児看護学Ⅰ	(6)	必修		登校	講義室4										
後期12	11月14日	金			成人看護学	(11)	必修		登校	講義室4		成人看護学	(12)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(13)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(14)	必修		登校	講義室4										
後期12	11月15日	土																																						
後期12	11月16日	日																																						
後期13	11月17日	月		（自）インディペンデントスタディA	在宅看護学Ⅰ	(9)	必修		登校	講義室4		在宅看護学Ⅰ	(10)	必修		登校	講義室4		在宅看護学Ⅰ	(11)	必修		登校	講義室4																	
後期13	11月18日	火			成人看護学	(13)	必修		登校	講義室4		成人看護学	(14)	必修		登校	講義室4																								
後期13	11月19日	水																																						
後期13	11月20日	木			薬理学Ⅰ	(7)	必修	合同	登校	講義室1		薬理学Ⅰ	(8)	必修	合同	登校	講義室1		小児看護学Ⅰ	(7)	必修		登校	講義室1		小児看護学Ⅰ	(8)	必修		登校	講義室1										
後期13	11月21日	金										成人看護学	(15)	必修		登校	講義室4		心の健康と看護Ⅱ	(1)	必修		登校		M&Dタワー2F 共用講義室1	心の健康と看護Ⅱ	(2)	必修		登校		M&Dタワー2F 共用講義室1									
後期13	11月22日	土																																						
後期13	11月23日	日	秋分の日																																					
後期14	11月24日	月	振替休日																																					
後期14	11月25日	火		（自）インディペンデントスタ																																						
後期14	11月26日	水																																						
後期14	11月27日	木			薬理学Ⅱ	(1)	必修	合同	登校		M&Dタワー2F 共用講義室A	薬理学Ⅱ	(2)	必修	合同	登校		M&Dタワー2F 共用講義室A																								
後期14	11月28日	金			病態学	(35)	必修		登校	講義室4		病態学	(36)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(15)	必修		登校	講義室4		保健医療福祉制度論	(16)	必修		登校	講義室4										
後期14	11月29日	土																																						
後期14	11月30日	日																																						
後期15	12月1日	月		（自）インディペンデントスタディA	在宅看護学Ⅰ	(12)	必修		登校	講義室4		在宅看護学Ⅰ	(13)	必修		登校	講義室4																								
後期15	12月2日	火																																						
後期15	12月3日	水																																						
後期15	12月4日	木			薬理学Ⅱ	(3)	必修	合同	登校	講義室1		薬理学Ⅱ	(4)	必修	合同	登校	講義室1		病態学	(37)	必修		登校	講義室4		病態学	(38)	必修		登校	講義室4										
後期15	12月5日	金			病態学	(39)	必修		登校	講義室4		病態学	(40)	必修		登校	講義室4		心の健康と看護Ⅱ	(3)	必修		登校	講義室4		心の健康と看護Ⅱ	(4)	必修		登校	講義室4										
後期15	12月6日	土																																						
後期15	12月7日	日																																						
後期16	12月8日	月		（自）インディペンデントスタディA	在宅看護学Ⅰ	(14)	必修		登校	講義室4		在宅看護学Ⅰ	(15)	必修		登校	講義室4																								
後期16	12月9日	火																																						
後期16	12月10日	水																																						
後期16	12月11日	木			薬理学Ⅱ	(5)	必修	合同	登校	講義室1		薬理学Ⅱ	(6)	必修	合同	登校	講義室1																								
後期16	12月12日	金																	心の健康と看護Ⅱ	(5)	必修		登校	講義室4		心の健康と看護Ⅱ	(6)	必修		登校	講義室4										
後期16	12月13日	土																																						
後期16	12月14日	日																																						
後期17	12月15日	月		（自）インディ																																					
後期17	12月16日	火																	薬害講演（仮）	(1)			登校	講義室1		薬害講演（仮）	(2)			登校	講義室1										

2025時間割表（看護学専攻第2学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期17	12月17日	水		デンタルスタディA																																			
後期17	12月18日	木			薬理学 II	(7)	必修	合同	登校	講義室1		薬理学 II	(8)	必修	合同	登校	講義室1																								
後期17	12月19日	金																	心の健康と看護 II	(7)	必修		登校	講義室4		心の健康と看護 II	(8)	必修		登校	講義室4								
後期17	12月20日	土																																						
後期17	12月21日	日																																						
後期18	12月22日	月																																						
後期18	12月23日	火																																						
後期18	12月24日	水																																						
後期18	12月25日	木																																						
後期18	12月26日	金																																						
後期18	12月27日	土																																						
後期18	12月28日	日																																						
後期19	12月29日	月																																						
後期19	12月30日	火																																						
後期19	12月31日	水																																						
後期19	1月1日	木	元日																																					
後期19	1月2日	金																																						
後期19	1月3日	土																																						
後期19	1月4日	日																																						
後期20	1月5日	月			後期定期試験	(1)						後期定期試験	(2)						後期定期試験	(3)						後期定期試験	(4)						後期定期試験	(5)					
後期20	1月6日	火			後期定期試験	(6)						後期定期試験	(7)						後期定期試験	(8)						後期定期試験	(9)						後期定期試験	(10)					
後期20	1月7日	水			後期定期試験	(11)						後期定期試験	(12)																										
後期20	1月8日	木			後期定期試験	(13)						後期定期試験	(14)						後期定期試験	(15)						後期定期試験	(16)						後期定期試験	(17)					
後期20	1月9日	金			後期定期試験	(18)						後期定期試験	(19)						後期定期試験	(20)						後期定期試験	(21)						後期定期試験	(22)					
後期20	1月10日	土																																						
後期20	1月11日	日																																						
後期21	1月12日	月	成人の日																																					
後期21	1月13日	火			後期定期試験	(23)						後期定期試験	(24)						後期定期試験	(25)						後期定期試験	(26)						後期定期試験	(27)					
後期21	1月14日	水			後期定期試験	(28)						後期定期試験	(29)																										
後期21	1月15日	木			後期定期試験	(30)						後期定期試験	(31)						後期定期試験	(32)						後期定期試験	(33)						後期定期試験	(34)					
後期21	1月16日	金			後期定期試験	(35)						後期定期試験	(36)						後期定期試験	(37)						後期定期試験	(38)						後期定期試験	(39)					
後期21	1月17日	土																																						
後期21	1月18日	日																																						
後期22	1月19日	月			補講・再試	(1)						補講・再試	(2)						補講・再試	(3)						補講・再試	(4)						補講・再試	(5)					
後期22	1月20日	火			補講・再試	(6)						補講・再試	(7)						補講・再試	(8)						補講・再試	(9)						補講・再試	(10)					
後期22	1月21日	水			補講・再試	(11)						補講・再試	(12)																										
後期22	1月22日	木			補講・再試	(13)						補講・再試	(14)						補講・再試	(15)						補講・再試	(16)						補講・再試	(17)					
後期22	1月23日	金			補講・再試	(18)						補講・再試	(19)						補講・再試	(20)						補講・再試	(21)						補講・再試	(22)					
後期22	1月24日	土																																						
後期22	1月25日	日																																						
後期23	1月26日	月			補講・再試	(23)						補講・再試	(24)						補講・再試	(25)						補講・再試	(26)						補講・再試	(27)					
後期23	1月27日	火			補講・再試	(28)						補講・再試	(29)						補講・再試	(30)						補講・再試	(31)						補講・再試	(32)					
後期23	1月28日	水			補講・再試	(33)						補講・再試	(34)																										
後期23	1月29日	木			補講・再試	(35)						補講・再試	(36)						補講・再試	(37)						補講・再試	(38)						補講・再試	(39)					
後期23	1月30日	金			補講・再試	(40)						補講・再試	(41)																										
後期23	1月31日	土																																						
後期23	2月1日	日																																						
後期24	2月2日	月																																						
後期24	2月3日	火																																						
後期24	2月4日	水																																						
後期24	2月5日	木																																						
後期24	2月6日	金																																						

2025時間割表（看護学専攻第2学年）

…全学科・専攻共通

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期24	2月7日	土																																						
後期24	2月8日	日																																						
後期25	2月9日	月																																						
後期25	2月10日	火																																						
後期25	2月11日	水	建国記念の日																																					
後期25	2月12日	木																																						
後期25	2月13日	金																																						
後期25	2月14日	土																																						
後期25	2月15日	日																																						
後期26	2月16日	月																																						
後期26	2月17日	火																																						
後期26	2月18日	水																																						
後期26	2月19日	木																																						
後期26	2月20日	金																																						
後期26	2月21日	土																																						
後期26	2月22日	日																																						
後期27	2月23日	月	天皇誕生日																																					
後期27	2月24日	火																																						
後期27	2月25日	水																																						
後期27	2月26日	木																																						
後期27	2月27日	金																																						
後期27	2月28日	土																																						
後期27	3月1日	日																																						
後期28	3月2日	月																																						
後期28	3月3日	火																																						
後期28	3月4日	水																																						
後期28	3月5日	木																																						
後期28	3月6日	金																																						
後期28	3月7日	土																																						
後期28	3月8日	日																																						
後期29	3月9日	月																																						
後期29	3月10日	火																																						
後期29	3月11日	水																																						
後期29	3月12日	木																																						
後期29	3月13日	金																																						
後期29	3月14日	土																																						
後期29	3月15日	日																																						
後期30	3月16日	月																																						
後期30	3月17日	火																																						
後期30	3月18日	水																																						
後期30	3月19日	木																																						
後期30	3月20日	金	春分の日																																					
後期30	3月21日	土																																						
後期30	3月22日	日																																						
後期31	3月23日	月																																						
後期31	3月24日	火																																						
後期31	3月25日	水																																						
後期31	3月26日	木																																						
後期31	3月27日	金																																						
後期31	3月28日	土																																						
後期31	3月29日	日																																						
	3月30日	月																																						
	3月31日	火																																						

時間割番号	012007				
科目名	生理学			科目ID	MN-230300-L
担当教員	星 治, 藤代 瞳, 広田 亨, 木村 英二[HOSHI Osamu, FUJISHIRO Hitomi, Tohru Hirota, KIMURA Eiji]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Physiology

【科目責任者】星 治

主な講義場所

授業明細を参照

授業の目的、概要等

生理学は人体の各構成要素の機能がどのようなメカニズムで発現し，全体として統合されているかを追求する学問である。

授業の到達目標

人体の各構成要素の機能の基本的事項を，解剖学の知識を基盤に理解することを目標とする。正常な人体の機能を理解することは，疾病による人体の機能の変化を理解する上でも，看護学を修得する上でも重要なことである。到達目標は以下の通りである。

1)生理学の基本的な概念を説明できる。

2)体液の基本的な区分とその調節のメカニズムを説明できる。

3)血液の基本的な成分を説明できる。

4)血液型について説明できる。止血の基本的な機序を説明できる。生体防御機構の基本的な事項を説明できる。

5)心臓の機能と循環器系の調節のしくみを説明できる。

6)循環器系の基本的な検査(血圧測定、心電図)を説明できる。

7)呼吸器の機能について説明できる。呼吸器系の基本的な検査を説明できる。

8)消化液の作用、栄養吸収について説明できる。腸管の運動の種類について説明できる。肝臓の基本的な働きを説明できる。

9) 筋肉の分類とその機能を説明できる。

10) 糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝の基本的な事項を説明できる。

11) 体温調節のメカニズムを説明できる。

12) 腎臓の機能と尿の生成のメカニズムを説明できる。

13) 各種ホルモンの作用について説明できる。

14) 精子形成について説明できる。

15) 排卵、受精、着床、妊娠と分娩に関する基本的事項について説明できる。

16) 神経生理、活動電位、神経線維の種類、興奮の伝達、シナプスについて、それぞれ基本的な事項を説明できる。

17) 大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄のそれぞれの基本的な機能を説明できる。

18) 体性神経系、自律神経の基本的な機能について説明できる。

19) 感覚の一般的性質の基本的な事項を説明できる。視覚の生理学的基本的事項を説明できる。

20) 聴覚、平衡感覚、味覚に関する生理学的な基本的な事項を説明できる。

21) 体細胞の細胞分裂の調節を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/7	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	総論	生理学の概念、意義	星 治	生理学の基本的な概念を説明できる。
2	4/7	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	体液	体液とその調節	星 治	体液の基本的な区分とその調節のメカニズムを説明できる。
3	4/11	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	血液と生体防御1	血液とその成分、リンパ液、組織液	星 治	血液の基本的な成分を説明できる。
4	4/11	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	血液と生体防御2	血液型、止血機構、生体防御	星 治	血液型について説明できる。止血の基本的な機序について説明できる。生体防御機構の基本的な事項を説明できる。
5	4/21	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	循環の生理(1)	心臓の機能、循環器系の調節のしくみ	星 治	心臓の機能と循環器系の調節のしくみを説明できる。

6	4/21	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	循環の生理(2)	循環器系の基本検査	星 治	循環器系の基本的な検査(血圧測定、心電図)について説明できる。
7	5/7	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	呼吸の生理	呼吸器の機能、呼吸の調節、呼吸器系の検査	星 治	呼吸器の機能について説明できる。呼吸器系の基本的な検査について説明できる。
8	5/7	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	消化と吸収	消化液の作用、栄養吸収と水分吸収、腸管運動、肝臓のはたらき	星 治	消化液の作用、栄養吸収について説明できる。腸管の運動の種類について説明できる。肝臓の基本的な働きについて説明できる。
9	5/12	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	筋肉の機能	筋肉の分類とその機能 骨格筋収縮のしくみ	星 治	筋肉の分類とその機能について説明できる。
10	5/12	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	体温調節	体温、熱の産生、放熱、発汗のしくみ	星 治	体温調節のメカニズムについて説明できる。
11	5/19	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	内分泌の機能(1)	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治	各種ホルモンの作用について説明できる。
12	5/19	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	栄養と代謝	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	藤代 瞳,星 治	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝の基本的な事項を説明できる。 エネルギー代謝、基礎代謝の基本的な事項を説明できる。
13	5/21	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	生殖機能(1)	男性生殖機能(精子形成)	藤代 瞳	精子形成について説明できる。
14	5/21	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	生殖機能(2)	女性生殖機能(排卵、受精、着床)、妊娠と分娩	藤代 瞳	排卵、受精、着床、妊娠と分娩に関する基本的事項について説明できる。
15	5/26	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	内分泌の機能(2)	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治	各種ホルモンの作用について説明できる。
16	6/2	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	神経、シナプス	神経生理の基礎、活動電位、神経線維の種類、興奮の伝達、シナプス	星 治	神経生理、活動電位、神経線維の種類、興奮の伝達、シナプスについて、それぞれ基本的な事項を説明できる。
17	6/9	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	神経系の機能(1)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄	星 治	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄のそれぞれの基本的な機能について説明できる。
18	6/23	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	尿の生成と排泄(1)	腎臓の機能と尿の生成	木村 英二,星 治	腎臓の機能と尿の生成のメカニズムを説明できる。
19	6/23	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	尿の生成と排泄(2)	腎臓の機能と尿の生成	木村 英二,星 治	腎臓の機能と尿の生成のメカニズムを説明できる。
20	6/30	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	神経系の機能(2)	体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治	体性神経系、自律神経の基本的な機能について説明できる。
21	6/30	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	感覚の生理(1)	感覚の一般的性質、視覚	星 治	感覚の一般的性質の基本的な事項を説明できる。視覚の生理学的基本的事項を説明できる。
22	7/4	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	感覚の生理(2)	聴覚、平衡感覚、味覚	星 治	聴覚、平衡感覚、味覚に関する生理学的な基本的な事項を説明できる。
23	7/4	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	細胞の分裂	体細胞分裂	広田 亨,星 治	体細胞の細胞分裂の調節について説明できる。

授業方法

対面授業。一部アクティブラーニングを実施する。

授業内容

生体の機能は基本的機能と高次機能に大別される。基本的機能は動物と植物の両者に共通に認められる機能で，呼吸，血液循環，消化と吸収，代謝，排泄，内分泌等の生体の維持に関する機能がこれに属する。一方，高次機能は動物において発達，特殊化した機能を意味し，運動，神経，感覚等がこれに属する。これらの生体の機能について順次，要点を講義する。また、一部演習も行う。

成績評価の方法

小テストの成績(10%)、学期末筆記試験の成績(90%)により総合的に評価する。一部，英文による出題もある。

成績評価の基準

学期末筆記試験の成績が 100 点満点で 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

指定の教科書を事前に読むこと。特に，講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。

試験の受験資格

授業時間数の 3 分の 2 以上出席した場合に定期試験を受験することができる。出席の扱いは以下の通り

同期型の場合:講義を最初から最後まで参加しているログが確認できた場合を出席とする

非同期の場合:webclass での確認テストで 60 点以上だった場合を出席とする

教科書

人体の構造と機能／上田，晃,内田，さえ,鍵谷，方子,原田，彰宏,上田晃，内田さえ，鍵谷方子，原田彰宏 著:医歯薬出版，2023.11

参考書

本郷利憲，廣重力，豊田順一，熊田衛 編集:標準生理学，医学書院

他科目との関連

人体の構造を理解した上で，それらのさまざまな機能を理解するのが生理学である。生理学は，解剖学と表裏一体をなすとともに，薬理学，生化学，栄養学，病態学等と密接な関係がある

履修上の注意事項

時間数が限られているため，講義に関連した領域について自習することが必要である。

連絡先(メールアドレス)

星　治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp

藤代　瞳:fujishiro.aps@tmd.ac.jp

オフィスアワー

星　治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。

湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012009				
科目名	薬理学Ⅰ			科目ID	MN-230500-L
担当教員	廣岡 佳代, 永田 将司[HIROOKA Kayo, NAGATA Masashi]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Pharmacology Ⅰ

【科目責任者】看護学専攻 在宅・緩和ケア看護学分野 廣岡佳代

【科目担当】永田 将司

授業の目的、概要等

薬理学は、化学物質(薬物)と生体(個体～分子レベルを含む)との間で起こる選択的な相互作用を研究する学問である。どの視点から相互作用を考えるかによって、以下の 2 つに分けられる。①薬力学:薬物が生体に及ぼす生化学的・生理学的作用(薬理作用)を調べる。②薬物動態学:生体が薬物の吸収や分布・代謝、排泄に及ぼす影響を調べる。これらについて深い知識を有することは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。

授業の到達目標

1)薬物とは何かについて説明できる。
2)薬物の使用目的について説明できる。
3)薬物の体内での動きについて説明できる。
4)代表的な感染症治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。
5)代表的な抗がん薬を列挙し、作用機構を説明できる。
6)代表的な免疫治療薬を列挙し、作用機構を説明できる。
7)代表的な抗アレルギー・抗炎症薬を列挙し、作用機構を説明できる。
8)末梢での神経活動に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/30	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	薬理学を学ぶにあたって、薬理学の基礎知識(1)	薬理学とは何か、薬による病気の治療、薬が作用するしくみ	永田 将司, 廣岡 佳代	【到達目標】1-3) 【学習方法】対面講義
2	10/30	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	薬理学の基礎知識(2)	薬の体内挙動	永田 将司	【到達目標】1-3) 【学習方法】対面講義
3	11/6	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	薬理学の基礎知識(3)・看護業務に必要な薬の知識	薬物相互作用、薬効の個人差に影響する因子、薬物使用の有益性と危険性、薬と法律、薬に関する単位、処方せん、添付文書	永田 将司	【到達目標】1-3) 【学習方法】対面講義
4	11/6	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	抗感染症薬	感染症治療に関する基礎事項、抗感染症薬各論、特殊な感染症の治療薬、感染症の治療における問題点	永田 将司	【到達目標】4) 【学習方法】対面講義
5	11/13	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	抗がん薬	がん治療に関する基礎事項、抗がん薬各論	永田 将司	【到達目標】5) 【学習方法】演習(小テスト)、対面講義 【事前学習】1-4 回の復習
6	11/13	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	免疫治療薬	免疫系の基礎知識、免疫抑制薬、免疫増強薬・予防接種薬	永田 将司	【到達目標】6) 【学習方法】対面講義
7	11/20	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	抗アレルギー・抗炎症薬	抗ヒスタミン薬と抗アレルギー薬、炎症と抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬、片頭痛治療薬	永田 将司	【到達目標】7) 【学習方法】演習(小テスト)、対面講義 【事前学習】5-6 回の復習

8	11/20	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	末梢での神経活動に作用する薬物	神経系による情報伝達、自律神経系作用薬、交感神経作用薬、副交感神経作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬	永田 将司	【到達目標】8) 【学習方法】対面講義

授業方法

対面授業を行う。

講義は教科書に沿って進めるので、必ず教科書を持参すること。

また、アクティブラーニングを取り入れ、5、7 回目の講義冒頭に Webclass を用いて課題演習(小テスト)を行う。講義中に解説を行いフィードバックする。

成績評価の方法

薬理学ⅠとⅡを総合して、授業中に行う小テスト、筆記試験および出欠状況に基づき評価する。なお、筆記試験問題の一部は英語で出題する。

成績評価の基準

筆記試験(80 点)＋小テスト(20 点)および出欠状況に基づき評価する。本試験で 59 点未満の場合、再試験を行う。再試験でも 59 点未満となった場合は次年度再履修が必要である。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学・生理学・病理学をよく復習しておくこと。

試験の受験資格

薬理学Ⅰ(8 回)とⅡ(8 回)をまとめて一つの試験を行う。

全 16 回中 11 回以上出席したものに受験資格を認める。

教科書

薬理学／吉岡充弘 [ほか著],吉岡, 充弘,泉, 剛,井関, 健,横式, 尚司,菅原, 満,:医学書院, 2022

備考

2024 年度の授業評価では大きな改善を求める点はなかったが、引き続き、アクティブラーニング(小テスト)を取り入れた能動的な学習ができる授業を行う。

連絡先(メールアドレス)

廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

永田 将司:mna-mpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

3 号館 18 階 在宅・緩和ケア看護学分野

永田 将司:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること

時間割番号	012010				
科目名	薬理学Ⅱ			科目ID	MN-230600-L
担当教員	廣岡　佳代, 永田　将司[HIROOKA Kayo, NAGATA Masashi]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Pharmacology Ⅱ

【科目責任者】看護学専攻 在宅・緩和ケア看護学分野　廣岡佳代

【科目担当】永田　将司

授業の目的、概要等

薬理学は、化学物質(薬物)と生体(個体～分子レベルを含む)との間で起こる選択的な相互作用を研究する学問である。どの視点から相互作用を考えるかによって、以下の 2 つに分けられる。①薬力学:薬物が生体に及ぼす生化学的・生理学的作用(薬理作用)を調べる。②薬物動態学:生体が薬物の吸収や分布・代謝、排泄に及ぼす影響を調べる。これらについて深い知識を有することは、適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。

授業の到達目標

1)中枢神経系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。
2)心臓・血管系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。
3)呼吸器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。
4)消化器・生殖器系に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。
5)物質代謝に作用する代表的な薬物を列挙し、作用機構を説明できる。
6)代表的な皮膚科用薬・眼科用薬を列挙し、作用機構を説明できる。
7)漢方薬と西洋薬の違いや、漢方薬の副作用について説明できる。
8)代表的な消毒薬を列挙し、その特徴を説明できる。
9)新薬開発までの道のりを説明できる。日本国内で発生した代表的な薬害事例を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/27	08:50-10:30	共用講義室 2	中枢神経系に作用する薬物(1)	中枢神経系のはたらきと薬物、全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬	永田　将司, 廣岡　佳代,	【到達目標】1) 【学習方法】演習(小テスト)、対面講義 【事前学習】薬理学Ⅰ 7-8 回の復習
2	11/27	10:45-12:25	共用講義室 2	中枢神経系に作用する薬物(2)	抗精神病薬、気分障害治療薬、パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬	永田　将司	【到達目標】1) 【学習方法】対面講義
3	12/4	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 1	心臓・血管系に作用する薬物(1)	抗高血圧薬、狭心症治療薬、心不全治療薬	永田　将司	【到達目標】2) 【学習方法】演習(小テスト)、対面講義 【事前学習】1-2 回の復習
4	12/4	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 1	心臓・血管系に作用する薬物(2)	抗不整脈薬、利尿薬、脂質異常症治療薬、血液に作用する薬物	永田　将司	【到達目標】2) 【学習方法】対面講義
5	12/11	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 1	呼吸器系に作用する薬物	呼吸器系に作用する薬物	永田　将司	【到達目標】3) 【学習方法】演習(小テスト)、対面講義 【事前学習】3-4 回の復習
6	12/11	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 1	消化器・生殖器系に作用する薬物、物質代謝に作用する薬	消化器系に作用する薬物、生殖器・泌尿器系に作用する薬物、ホルモンと	永田　将司	【到達目標】4,5) 【学習方法】対面講義

				物	ホルモン拮抗薬、治療薬としてのビタミン、		
7	12/18	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 1	皮膚科用薬・眼科用薬、漢方薬、消毒薬	皮膚に使用する薬物、眼科用薬、漢方医学の基礎知識、漢方薬各論　消毒薬とは、消毒薬の種類と応用、消毒薬の適応	永田　将司	【到達目標】6-8) 【学習方法】演習(小テスト)、対面講義 【事前学習】5-6 回の復習
8	12/18	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 1	臨床薬理学	医薬品の開発、副作用と薬害	永田　将司	【到達目標】9) 【学習方法】対面講義

授業方法

対面授業を行う。

講義は教科書に沿って進めるので、必ず教科書を持参すること。

また、アクティブラーニングを取り入れ、1、3、5、7 回目の講義冒頭に Webclass を用いて課題演習(小テスト)を行う。講義中に解説を行いフィードバックする。

成績評価の方法

薬理学ⅠとⅡを総合して、授業中に行う小テスト、筆記試験および出欠状況に基づき評価する。なお、筆記試験問題の一部は英語で出題する。

成績評価の基準

筆記試験(80 点)＋小テスト(20 点)および出欠状況に基づき評価する。本試験で 59 点未満の場合、再試験を行う。再試験でも 59 点未満となった場合は次年度再履修が必要である。

準備学習等についての具体的な指示

解剖学・生理学・病理学をよく復習しておくこと。

試験の受験資格

薬理学Ⅰ(8 回)とⅡ(8 回)をまとめて一つの試験を行う。

全 16 回中 11 回以上出席したものに受験資格を認める。

教科書

薬理学／吉岡充弘 [ほか著],吉岡, 充弘,泉, 剛,井関, 健,横式, 尚司,菅原, 満,:医学書院, 2022

備考

2024 年度の授業評価では大きな改善を求める点はなかったが、引き続き、アクティブラーニング(小テスト)を取り入れた能動的な学習ができる授業を行う。

連絡先(メールアドレス)

廣岡　佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

永田　将司:mna-mpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

廣岡　佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

3 号館 18 階　在宅・緩和ケア看護学分野

永田　将司:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること

時間割番号	012014				
科目名	病態学			科目ID	MN-231000-L
担当教員	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子[MATSUZAKI Masayo, OZASA Yuka, HIROYAMA Natsuko]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2	単位数	5
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Clinical　Medicine

【科目責任者】松﨑　政代

主な講義場所

・対面での授業または遠隔授業(同期または非同期)

・講義, グループワーク等

授業の目的、概要等

看護学では様々な健康障害をもつ人々に対する看護支援の方法を習得する。それを実現するためには、そのような健康障害をもたらす病態・疾病についての基礎知識を有することが必須である。病態学では，主として成人期における臓器・器官別の様々な病態について、その発症機序と症候・診断・治療の概要を学ぶ。成人期に照準を合わせたこの病態学の基礎知識は，異なる発達段階にある人々の病態を学ぶ上でも基本となるものである。

授業の到達目標

1. 診断・治療の基本的考え方について理解できる
2. 内科的，または外科的に治療を要する主要疾患について，器官系統別の自然経過，病態について理解できる
3. 内科的，または外科的に治療を要する主要疾患について，検査・診断および治療の概要を理解できる
4. 内科的，または外科的に治療を要する主要疾患に対する治療の概要を理解できる
5. 割り当てられた疾患に関する病態，その症候・機序，診断法と治療等について，わかりやすく説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	オリエンテーション 内科疾患総論1	・病態学の考え方と看護における意義　・内科学の概要および内科的診断・治療の基本的考え方	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子, 赤座　実穂	【到達目標】1,2,3,4 【学習方法】対面による講義　・小テスト
2	4/14	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	内科疾患総論2	・病態学の考え方と看護における意義　・内科学の概要および内科的診断・治療の基本的考え方	角　勇樹	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
3	5/9	10:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	放射線診断	放射線による画像診断の意義と方法	立石　宇貴秀	【到達目標】2,3,4 【学習方法】非同期型講義・小テスト
4	5/13	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	循環器内科①	循環器疾患の病態とその症候・機序，診断法と治療	笹野　哲郎	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
5	5/20	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	眼科疾患総論	眼球疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	高橋　洋如	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
6	5/20	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	皮膚科疾患総論	皮膚疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	並木　剛	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
7	5/26	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	耳鼻咽喉科学分野	耳鼻咽喉科領域疾患の病態とその症候・機序，診断法，手術療法	堤　剛	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
8	5/29	08:50-10:30	遠隔授業(非同期型)	麻酔科①	手術麻酔	内田　篤治郎	【到達目標】2,3,4 【学習方法】非同期型講義・小テスト
9	5/29	10:45-12:25	遠隔授業(非	血管外科	血管疾患の病態とその症	工藤　敏文	【到達目標】2,3,4

			同期型)		候・機序, 診断法, 手術療法		【学習方法】非同期型講義・小テスト
10	6/2	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	代謝疾患総論	内分泌疾・代謝疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	小宮 力	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
11	6/4	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	外科学総論	外科学総論	山本 雄大	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
12	6/4	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	整形外科疾患総論	四肢骨・関節疾患、外傷、脊椎疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	王 耀東	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
13	6/9	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	腎疾患総論	腎疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	須佐 紘一郎	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
14	6/13	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	腎代替療法	腎代替療法	飯盛 聡一郎	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
15	6/13	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	形成外科疾患総論	形成・美容外科総論	森 弘樹	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
16	6/16	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	アレルギー疾患総論	アレルギーの仕組み, 食物アレルギー, アナフィラキシー等	遠藤 順治	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
17	6/16	10:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	呼吸器外科	肺疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	分島 良	【到達目標】2,3,4 【学習方法】非同期型講義・小テスト
18	6/18	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	乳腺疾患総論	乳房疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	石場 俊之	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
19	6/18	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	婦人科疾患総論	婦人科疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	平光 史朗	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
20	6/24	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	消化器疾患総論	消化器疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	松沢 優	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
21-22	7/1	08:50-12:25	保健衛生学科講義室1	呼吸器内科①②	呼吸器疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	角 勇樹	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
23	7/4	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	消化器内科(肝胆膵)	消化器疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	柿沼 晴	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
24	7/4	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	まとめ	疾患に関するグループ発表	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	【到達目標】2,3,4,5 【学習方法】対面による講義, 発表・確認テスト
25	9/29	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	循環器内科②	循環器疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	笹野 哲郎	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
26	9/29	10:45-12:25	遠隔授業(非同期型)	肝胆膵外科	肝・胆・膵疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手	伴 大輔	【到達目標】2,3,4 【学習方法】非同期型講義・小テスト

					術療法		
27	10/6	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	麻酔科②	ペインクリニック	大畑 めぐみ	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
28	10/6	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	胃外科	胃疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	奥野 圭祐	【到達目標】2,3,4 【学習方法】zoom による講義・小テスト
29-30	10/14	08:50-12:25	保健衛生学科講義室4	神経内科①②	神経系疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	赤座 実穂	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
31	10/30	13:30-15:10	遠隔授業(非同期型)	大腸肛門外科	下部消化管疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	山本 雄大	【到達目標】2,3,4 【学習方法】非同期型講義・小テスト
32	10/30	15:25-17:05	遠隔授業(非同期型)	泌尿器科	男性生殖器と尿路疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	石川 雄大	【到達目標】2,3,4 【学習方法】非同期型講義・小テスト
33	11/6	13:30-15:10	遠隔授業(非同期型)	食道外科	食道疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	小郷 泰一	【到達目標】2,3,4 【学習方法】非同期型講義・小テスト
34	11/6	15:25-17:05	遠隔授業(非同期型)	血液内科	血液疾患の病態とその症候・機序, 診断法と治療	山本 正英	【到達目標】2,3,4 【学習方法】非同期型講義・小テスト
35	11/28	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	放射線治療	放射線による治療の意義と方法		【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
36	11/28	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	膠原病内科	膠原病の病態と症候・機序, 診断法と治療	保田 晋助	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
37	12/4	13:30-15:10	保健衛生学科講義室4	心臓血管外科	心臓疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	藤原 立樹	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
38	12/4	15:25-17:05	遠隔授業(非同期型)	頭頸部外科	中枢神経系疾患の病態とその症候・機序, 診断法, 手術療法	朝蔭 孝宏	【到達目標】2,3,4 【学習方法】非同期型講義・小テスト
39	12/5	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	脳神経外科	脳神経外科の治療を要する病態, 診断法, 治療法	原 祥子	【到達目標】2,3,4 【学習方法】対面による講義・小テスト
40	12/5	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	まとめ	疾患に関するグループ発表	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	【到達目標】2,3,4,5 【学習方法】対面による講義, 発表・確認テスト

授業方法

対面での講義に加え、WebClass による非同期型講義、ZOOM 等による同期型講義、グループワーク、プレゼンテーションを実施する。
(注)予定担当者は、講師の異動や救急業務に伴い講師名・講義日時・講義形態の変更が生じる場合がある。

授業内容

授業明細参照

成績評価の方法

・期末筆記試験受験資格は, 授業への出席が 3 分の 2 以上である
1. 期末筆記試験(筆記試験の一部に英語の問題を出題)
2. 授業中および前後の課題への取り組み(グループワーク, WebClass による小テスト, 授業後小レポートの提出, および, それらの内容など)

3. 授業への出席状況(対面, zoom:5 分以上は遅刻, 30 分以上は欠席, 非同期は視聴および確認テストの実施が確認できた場合に出席とみなす), 参加態度で評価する。授業に欠席したものは、原則として欠席回の小テスト等の該当課題提出を認めない。

成績評価の基準

総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

1. 筆記試験(65%)

2. 授業中および前後の課題への取り組み(15%)

3. 授業への出席状況, 参加態度(20%)

詳細は初回授業で説明する。

準備学習等についての具体的な指示

参考書の該当箇所や講師から事前に指示があった内容について予習をして臨むこと

参考書

臨床病態学 : 看護のための臨床病態学 第 5 版／浅野嘉延, 吉山直樹編,浅野, 嘉延,吉山, 直樹,:南山堂, 2023

臨床外科看護総論 第 11 版／矢永勝彦, 高橋則子編 ; 矢永勝彦 [ほか] 執筆,矢永, 勝彦,高橋, 則子,芦塚, 修一,石田, 祐一,衛藤, 謙,:医学書院, 2017

標準外科学 第 16 版／北野正剛, 坂井義治監修, 田邉稔, 池田徳彦, 大木隆生編集,北野, 正剛,田邉, 稔(外科学),池田, 徳彦,坂井, 義治,:医学書院, 2022

病気がみえる vol.1 消化器 第 6 版／医療情報科学研究所,医療情報科学研究所 編集:メディックメディア, 2020

病気がみえる vol.2 循環器 第 5 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2021

病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第 5 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2019

病気がみえる vol.4 呼吸器 第 3 版 ／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

病気がみえる vol.5 血液 第 3 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2023

病気がみえる vol.6 免疫・膠原病・感染症 第 2 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

病気がみえる vol.7 脳・神経 第 2 版／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2017

病気がみえる vol.8 腎・泌尿器

病気がみえる vol.9 婦人科・乳腺外来

病気がみえる vol.11 運動器・整形外科

病気がみえる vol.12 眼科

病気がみえる vol.13 耳鼻咽喉科

病気がみえる vol.14 皮膚科

他科目との関連

看護の対象となる人々の疾患や障害を理解するためには, 解剖学, 生理学, 病理学の知識を基盤にして病態を理解する必要がある。病態学では, 単なる知識の集積にとどまらず, これら専門基礎科目で学習した事柄を関連づけて考えることが重要である。

履修上の注意事項

授業日程, 内容は変更することがある。その際には授業中または WebClass にて変更内容を周知する。

連絡先(メールアドレス)

松﨑 政代:matsuzaki.masayo@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松﨑 政代:毎週火曜日 PM.0:00-PM.4:00 3 号館 19 階 松﨑教授室

時間割番号	012240				
科目名	憲法			科目ID	MN-493500-L
担当教員	月野木 ルミ, 飛田 綾子, [TSUKINOKI Rumi, TOBITA Ayako,]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2～4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Constitutional Law

【科目責任者】:月野木 ルミ

主な講義場所 ・遠隔講義

授業の目的、概要等

この授業では、日本国憲法の保障する人権の内容や、国会、内閣、裁判所の統治機構についての基本知識を教授する。この際、生存権の保障や外国人の人権、地方自治などのテーマを、著名な裁判例を多く取り上げながら日本国憲法の全体像、各国憲法や日本の戦後史についても言及する。また、表現の自由の規制の是非、成年後見人制度の問題点、立法・行政・司法の権力分立の課題、日本の平和主義のあり方などのテーマを、憲法の基礎知識を踏まえて考察し、説明できる力を身につける。

授業の到達目標

1)日本国憲法の保障する人権の内容や、国会、内閣、裁判所の統治機構についての基本知識を身につける。

2)死刑制度の是非、表現の自由の規制の是非、成年後見人制度の問題点、立法・行政・司法の権力分立の課題、日本の平和主義のあり方などのテーマを、憲法の基礎知識を踏まえて考察し、説明できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/10	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	思想・良心の自由／信教の自由	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
2	4/17	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	ガイダンス 授業の目的、進め方、参考文献の紹介／憲法の存在意義／人身の自由(適正手続について・死刑制度の是非)	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
3	4/21	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	国務請求権(国家賠償請求権)／成年後見人制度について	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
4	4/24	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	経済的自由(職業選択の自由、財産権)	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
5	4/28	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	社会権(生存権・教育を受ける権利、労働基本権)	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
6	5/12	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	表現の自由	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
7	5/15	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	学問の自由(科学技術と生命倫理の関係など)／幸福追求権	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
8	5/19	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	法の下の平等(夫婦別姓・再婚禁止期間の判例など)	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
9	5/26	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	基本的人権のまとめ(外国人の人権、憲法の適用範囲の問題など)	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
10	6/2	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	日本憲法史／天皇制	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
11	6/5	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	平和主義(憲法 9 条の解釈・平和安全法制の概要など)	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等

12	6/9	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	統治機構 権力分立／国会(国会議員の憲法上の位置づけ、衆参両院の役割分担など)	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
13	6/19	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	内閣(内閣総理大臣の権限強化の是非など)	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
14	6/23	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	裁判所(裁判員制度・司法の独立など)／違憲審査制度	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等
15	6/30	17:15-18:55	遠隔授業(非同期型)	憲法	地方自治(住民の権利など)／憲法改正	月野木 ルミ, 飛田 綾子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】非同期ビデオ 【その他】事後課題レポート、リフレクション等

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングの形式を取り入れた形式で、適時、自分自身の考えをレポートにまとめる機会を設け、学びを深める予定です。

成績評価の方法

適宜実施する確認テストとレポートで総合評価します。

成績評価の基準

総合得点の 60―69%を C、70-79%B、80%以上を A とする。

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認してください。特に復習に重点をおくこと。死刑制度の是非から、国際貢献のありかたなど、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える習慣を身につけて下さい。

試験の受験資格

授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者

参考書

教養としての憲法入門／神野潔編著,神野, 潔,:弘文堂, 2016

憲法学読本〔第 4 版〕／安西 文雄,巻 美矢紀,宍戸 常寿,安西 文雄 著・文・その他,巻 美矢紀 著・文・その他,宍戸 常寿 著・文・その他:有斐閣, 2024.12

憲法判例 50! 第 3 版／上田, 健介, 1974-,尾形, 健,片桐, 直人, 1977-,上田健介, 尾形健, 片桐直人 著:有斐閣, 2023.4

論点日本国憲法 : 憲法を学ぶための基礎知識／安念,潤司 [ほか] 編著,安念, 潤司,小山, 剛,青井, 未帆,宍戸, 常寿,山本, 龍彦,:東京法令出版, 2014

憲法 第8版／芦部, 信喜, 1923-1999,高橋, 和之, 1943- 憲法,芦部信喜 著:岩波書店, 2023.9

憲法講話 : 24 の入門講義 第二版／長谷部, 恭男, 1956-,長谷部恭男 著:有斐閣, 2022.2

他科目との関連

憲法は, 保健福祉行政論、看護制度論、公衆衛生看護学関連科目と関連した科目である。 本科目は、養護教諭Ⅱ種免許取得に必要な科目である。

履修上の注意事項

①webclass のアクセス記録と各回の確認小テストで評価します。 ②原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。 ③授業に関する質問応答の機会として、講義開講期間中にwecbclassにQ&A機能を設けますので、積極的に利用ください。

備考

2024 年度の科目評価において授業内容については特段改善意見が寄せられなかったため、前年度と同様の授業編成とする。

連絡先(メールアドレス)

月野木 ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

飛田 綾子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

オフィスアワー

月野木 ルミ:メールにてアポイントを取ること。 3 号館 19 階

飛田 綾子:教養教務・支援掛までお問い合わせ下さい。

時間割番号	012231a				
科目名	英語Ⅱ(A)Topical Discussion			科目ID	MN-495300-L
担当教員	WHITAKER SIMON[WHITAKER SIMON]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

英文名:English Ⅱ

【科目責任者】畔柳 和代

【科目担当者】WHITAKER SIMON

・曜日・時間:水曜 3 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

A course focused on in-depth discussion of contemporary social topics which affect everyone, from AI and social media to new or growing health and environmental challenges. We will consider a small set of such topics from different angles. You will continuously work on and develop important skills like those of open and impromptu discussion. You will also be building up and consolidating vocabulary, and even your own ideas, as we explore points of connection between these topical debates and the often-overlapping ways they can be approached.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English

様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる

To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English

英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む)

To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting

国際的な場面で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる

以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。

2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。

3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/4	13:30-14:15	遠隔授業(同期型)	Class 1	Half-length session. Introduction to course and introducing each other.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom Meeting ID: 954 9201 1266 Password: a8G8J4
2-3	6/11	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 2, Class 3	Topic 1. First tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上

4-5	6/18	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Further group discussion around topic 1.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上
6-7	6/25	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Topic 2. Second tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上
8-9	7/2	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Further group discussion around topic 2.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上
10-11	7/9	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Topic 3. Third tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上
12-13	7/16	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Further group discussion around topic 3.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上
14-15	7/23	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion of topics covered + further areas of study/consideration.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-15: Skills Instruction and Continuous Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Participation: 50%, Presentations: 30%. Discussion contributions: 20%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

WHITAKER SIMON:whitaker.simon@tmd.ac.jp

オフィスアワー

WHITAKER SIMON:水・木曜日 12 時 30 分～13 時 管理研究棟 3 階 ウィタカー研究室

時間割番号	012232				
科目名	英語Ⅱ(B)Global Connections			科目ID	MN-493800-L
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:English Ⅱ

【科目責任者】畔柳和代

【科目担当者】PATRICK FOSS

・曜日・時間:水曜 3 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

While it is important for medical professionals in Japan to study and understand issues specific to their own country, it is also crucial to remember that we are all part of a global community as well. Learning about problems or innovations in other contexts can lead to greater respect and empathy and may spark ideas concerning ways we can better help others or even ourselves. This course will examine societal and healthcare-related challenges being faced in various countries through the perspectives of people from those countries.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English

様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる

To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English

英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む)

To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting

国際的な場面で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる

以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。

2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。

3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/17	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Orientation	Introduction to course	PATRICK FOSS	Active learning/seminar Zoom Meeting ID: 953 5579 1316 Passcode: DaXf3P
2	9/24	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Discussion 1	Listening and speaking activities	PATRICK FOSS	Active learning/seminar Zoom 同上
3	10/1	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Discussion 2	Listening and speaking activities	PATRICK FOSS	Active learning/seminar Zoom 同上

4	10/8	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Discussion 3	Listening and speaking activities	PATRICK FOSS	Active learning/seminar Zoom 同上
5	10/15	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Discussion 4	Listening and speaking activities	PATRICK FOSS	Active learning/seminar Zoom 同上
6	10/22	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Discussion 5	Listening and speaking activities	PATRICK FOSS	Active learning/seminar Zoom 同上
7	10/29	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Discussion 6	Listening and speaking activities	PATRICK FOSS	Active learning/seminar Zoom 同上
8	11/5	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Discussion 7	Listening and speaking activities	PATRICK FOSS	Active learning/seminar Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-15: Skills Instruction and Continuous Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Active and thoughtful participation: 80%　Group discussion: 20%

再評価:　再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第 6 条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

PATRICK　FOSS:foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

PATRICK　FOSS:毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:00

管理研究棟　2階　フォス研究室

時間割番号	012233				
科目名	英語Ⅱ(C)Conversation Ⅰ(前期)			科目ID	MN-493900-L
担当教員	Reed Jesse Ryan[Reed Jesse Ryan]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:English Ⅱ

【科目責任者】畔柳 和代

【科目担当者】Reed Jesse Ryan

・曜日・時間:水曜 3 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

English Ⅱ, "Conversation Ⅰ" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。

2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。

3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/9	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 1	Intro to Conversation I 初日は 45 分。	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom Meeting ID: 996 7533 5624 Passcode: 8yjN7g
2	4/16	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
3	4/23	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4	4/30	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
5	5/7	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
6	5/14	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

7	5/21	13:30–15:10	遠隔授業（同期型）	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar Zoom 同上
8	5/28	13:30–15:10	遠隔授業（同期型）	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation I 評価: Attendance & Participation: 50% Homework: 10% English Interview: 15%

Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目（1単位）は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先（メールアドレス）

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水 12:30–13:00 管理研究棟3階 畔柳研究室

時間割番号	012234				
科目名	英語Ⅱ(D)Conversation Ⅱ(前期)			科目ID	MN-494100-L
担当教員	Reed Jesse Ryan[Reed Jesse Ryan]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:English Ⅱ

【科目責任者】畔柳 和代

【科目担当者】Reed Jesse Ryan

・曜日・時間:水曜 3 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

English Ⅱ "Conversation Ⅱ" (Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。

2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。

3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/4	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 1	Intro to Conversation Ⅱ 初日は 45 分。	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom Meeting ID: 964 8984 3696 Passcode: E1pyEw
2	6/11	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
3	6/18	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4	6/25	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
5	7/2	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

6	7/9	13:30–15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
7	7/16	13:30–15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8	7/23	13:30–15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation Ⅱ 評価:Attendance & Participation: 40%　Homework: 10%　English Interview: 25%　Discussion Test: 25%

再評価:　再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:水　12:30–13:00 管理研究棟3階 畔柳研究室

時間割番号	012235				
科目名	英語Ⅱ(C)Conversation Ⅰ(後期)			科目ID	MN-494000-L
担当教員	Reed Jesse Ryan[Reed Jesse Ryan]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:English Ⅱ

【科目責任者】畔柳 和代

【科目担当者】Reed Jesse Ryan

・曜日・時間:水曜 3 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

English Ⅱ, "Conversation Ⅰ" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。

2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。

3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/17	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 1	Intro to Conversation I 初日は 45 分。	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom Meeting ID: 910 7998 5389 Passcode: 8J6NP7
2	9/24	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
3	10/1	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
4	10/8	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
5	10/15	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
6	10/22	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。

7	10/29	13:30–15:10	遠隔授業（同期型）	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
8	11/5	13:30–15:10	遠隔授業（同期型）	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation I 評価: Attendance & Participation: 50% Homework: 10% English Interview: 15%

Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第 6 条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目（1単位）は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先（メールアドレス）

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水 12:30–13:00 管理研究棟3階 畔柳研究室

時間割番号	012018				
科目名	保健医療福祉制度論			科目ID	MN-231500-L
担当教員	森田 久美子, 青木 利江子, 青木 利江子[MORITA Kumiko, AOKI Rieko, Rieko Aoki]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Health Education

【科目責任者】森田 久美子

主な講義場所 保健衛生学科講義室1

授業の目的、概要等 健康教育の実践に必要なさまざまな理論・技術について、演習を通じて習得する。

授業の到達目標

健康教育は、小児から高齢者まで、さまざまな対象に行われるものであり、その手法も教育する場や人数、対象者の理解度により柔軟に対応していく必要がある。そのため、しっかり理論を学んだ上で、グループワーク・デモンストレーションを行い、健康教育の基本的な技術を身につける。

<各回の到達目標>

1)健康教育の目的、対象、手法を理解し説明できる。

2)健康教育の理論について理解し、説明できる。

3)健康教育において、テーマの選定から計画、実施、評価の一連の流れを理解し説明できる。

4)健康教育の計画書の立案ができる。

5)健康教育に必要な媒体の考案・作成ができる。

6)設定したテーマにあった健康教育のデモ発表ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法その他
1-2	10/3	13:30-17:05	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「総論・健康と公衆衛生」社会・家族の変化、人口動態、人口静態、超少子高齢化の現状と社会保障の重要性・今後の課題、感染対策、地球環境の保護 他	森田 久美子	【到達目標】1) 【学習方法】対面授業
3-4	10/10	13:30-17:05	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「公的介護保険制度」介護保険の目的・仕組・現状、制度改正の変遷、介護認定、介護予防・介護給付の違い、介護の専門職種、保険料の地域格差、利用負担、低所得者の負担軽減、高額介護サービス費、介護報酬他	森田 久美子	【到達目標】2) 【学習方法】対面授業
5-6	10/17	13:30-17:05	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「児童福祉制度・障害者福祉制度」児童福祉の歴史、少子化対策、保育所・学童保育の整備、社会的養護の種類、児童虐待、1人親家族の支援、障害者の自立支援サービスの種類と利用負担、共生社会の実現、就労支援、各優遇制度 他	青木 利江子, 森田 久美子	【到達目標】3) 【学習方法】対面授業
7-8	10/24	13:30-17:05	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「高齢者福祉制度」介護保険以外の生活支援、入所施設の種類、自治体独自の制度、虐待の現状他	森田 久美子	【到達目標】4) 【学習方法】対面授業
9-10	10/31	13:30-17:05	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「公的年金制度」障害年金・遺族年金・老齢年金、公的年金の課題、各種年金基金他	青木 利江子, 森田 久美子	【到達目標】5) 【学習方法】対面授業
11-12	11/7	13:30-17:05	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「雇用保険・労災」雇用状況、労働力・失業率の動向、雇用保険のしくみ、業務災害補償制度、労災保険の対象者・保険料、労災の認定基準 他	森田 久美子	【到達目標】6) 【学習方法】対面授業

13-14	11/14	13:30-17:05	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「公的医療保険制度・医療体制の整備」日本の医療保険の特徴、歴史、職業別の健康保険制度、保険料と国庫負担、高額療養費制度、診療報酬、長寿医療制度、傷病・出産手当、医療体制、過剰病床問題他	青木 利江子, 森田 久美子	【到達目標】7) 【学習方法】対面授業
15-16	11/28	13:30-17:05	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「災害時の保健医療福祉」災害時に必要な対応、居住地域の災害対策、災害要配慮者対策など、グループディスカッションすることで、日本の制度を見直す視点にする。	青木 利江子, 森田 久美子	【到達目標】8) 【学習方法】対面授業

授業方法　対面授業

講義では、適宜グループでディスカッション、アクティブラーニングを行う。ディスカッションをもとに内容をまとめ、グループごとに発表をしてもらうので積極的に参加すること。

授業内容　授業スケジュールを参照

成績評価の方法　レポート 70%、プレゼンテーション 30%により評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。なお、リアクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい。

試験の受験資格

授業に 2/3 以上出席し、かつ演習に関連する課題を全て提出したものに試験(レポート)の受験資格を与える。

なお、特別に勘案すべき事情があり指示を達成できない場合には、その事情とともに締切期日が過ぎる前に科目責任者にメールで連絡をすること。なお、緊急の場合には電話で連絡しても良いが、その後メールすること。連絡ができないような特別な事情がある場合にはその限りではない。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどで対応することとする。

教科書

・Educational Video Online　地域看護活動とヘルスプロモーション/
　続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、
　2007・2008/2013・2014
・DVD 続・地域看護活動とヘルスプロモーション　第 1 巻　公衆衛生看護活動に
　おける健康教育、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2013

参考書

・松本千明著:健康行動理論の基礎, 医歯薬出版株式会社
・畑　栄一、土井由利子編:行動科学　健康づくりのための理論と応用
・国民衛生の動向
・佐々木明子、井原一成編:新体系　看護学全書　健康支援と社会保障制度②公衆衛生学,
　メヂカルフレンド社

他科目との関連

健康教育では、専門的知識を一般の人々にも理解できる内容・言葉に置き換えて教育するので、すでに履修してきた保健・看護の各専門分野の知識をしっかり習得していることが必要である。また、病院内だけではなく地域で健康教育を行うことも多いので、地域保健看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・演習との関連が強い。保健師コース選択者は健康教育学演習で学んだことを、地域保健看護学実習で実践することもある。

履修上の注意事項

演習の課題に主体的に取り組み、発表や討議を通して、学習を深めることを期待する。学生の積極的な参加を望む。

備考

前年度からの改善点:

事前課題を出すときには、メール等で周知する。

ハイフレックス講義時のトラブルが出来るだけないように、事前に十分確認する。

連絡先(メールアドレス)　森田 久美子: morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー　森田 久美子: 10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012061A				
科目名	健康教育学演習			科目ID	MN-254400-S
担当教員	森田　久美子[MORITA Kumiko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Health　Education

【科目責任者】森田　久美子

主な講義場所

保健衛生学科講義室4

授業の目的、概要等

健康教育の実践に必要なさまざまな理論・技術について、演習を通じて習得する。

授業の到達目標

健康教育は、小児から高齢者まで、さまざまな対象に行われるものであり、その手法も教育する場や人数、対象者の理解度により柔軟に対応していく必要がある。そのため、しっかり理論を学んだ上で、グループワーク・デモンストレーションを行い、健康教育の基本的な技術を身につける。

＜各回の到達目標＞

1)健康教育の目的、対象、手法を理解し説明できる。

2)健康教育の理論について理解し、説明できる。

3)健康教育において、テーマの選定から計画、実施、評価の一連の流れを理解し説明できる。

4)健康教育の計画書の立案ができる。

5)健康教育に必要な媒体の考案・作成ができる。

6)設定したテーマにあった健康教育のデモ発表ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	6/9	13:30-17:05	保健衛生学科講義室1	・総論 構成的エンカウンターの体験、講義 動機づけ面接法 他　・健康教育の理論と展開方法	森田　久美子	【到達目標】1)2) 【学習方法】対面授業
3-4	6/20	13:30-17:05	保健衛生学科講義室1	・個人を対象とした健康教育の実際　・集団を対象とした健康教育の実際	森田　久美子	【到達目標】1)2) 【学習方法】対面授業
5-6	6/24	13:30-17:05	保健衛生学科講義室1	グループワーク:　健康教育実施のための情報収集、テーマ設定、計画書・媒体の作成	森田　久美子	【到達目標】3)4)5) 【学習方法】対面授業
7-8	7/1	13:30-17:05	保健衛生学科講義室1	健康教育発表会、まとめ	森田　久美子	【到達目標】6) 【学習方法】対面授業

授業方法

・対面授業

講義では、適宜グループでディスカッション、アクティブラーニングを行う。ディスカッションをもとに内容をまとめ、グループごとに発表をしてもらうので積極的に参加すること。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

レポート 70%、プレゼンテーション 30%により評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。なお、リアクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい。

試験の受験資格

授業に 2/3 以上出席し、かつ演習に関連する課題を全て提出したものに試験(レポート)の受験資格を与える。

なお、特別に勘案すべき事情があり指示を達成できない場合には、その事情とともに締切期日が過ぎる前に科目責任者にメールで連絡をすること。なお、緊急の場合には電話で連絡しても良いが、その後メールすること。連絡ができないような特別な事情がある場合にはその限りではない。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどで対応することとする。

教科書

・Educational Video Online　地域看護活動とヘルスプロモーション/
　続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、
　2007・2008/2013・2014
・DVD 続・地域看護活動とヘルスプロモーション　第 1 巻　公衆衛生看護活動に
　おける健康教育、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2013

参考書

・松本千明著:健康行動理論の基礎, 医歯薬出版株式会社
・畑　栄一、土井由利子編:行動科学　健康づくりのための理論と応用
・国民衛生の動向
・佐々木明子、井原一成編:新体系　看護学全書　健康支援と社会保障制度②公衆衛生学,
　メヂカルフレンド社

他科目との関連

健康教育では、専門的知識を一般の人々にも理解できる内容・言葉に置き換えて教育するので、すでに履修してきた保健・看護の各専門分野の知識をしっかり習得していることが必要である。また、病院内だけではなく地域で健康教育を行うことも多いので、地域保健看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・演習との関連が強い。保健師コース選択者は健康教育学演習で学んだことを、地域保健看護学実習で実践することもある。

履修上の注意事項

演習の課題に主体的に取り組み、発表や討議を通して、学習を深めることを期待する。学生の積極的な参加を望む。

備考

・前年度からの改善点
グループワークの時間が足りないという意見があったので、グループワークの時間を長めにとるようにする。

連絡先(メールアドレス)

森田　久美子　:　morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

森田　久美子　:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012086				
科目名	実践看護英語 I			科目 ID	MN-292800-L
担当教員	近藤 暁子, 新津 晃右, Kor Patrick, Diana De, Jonathan Corliss, [KONDO Akiko, NIITU Kousuke, DIANA De , Corliss Jonathan]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practicum of English for Nursing I

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

ZOOM、講義室 2

授業の目的、概要等

異文化や看護、健康、医療に関連する概念について英語で学ぶ。バーチャルリアリティーやオンライン学習システムを使用して海外の学生と交流する。様々な文化についての記事を読み、海外の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。日本の文化を理解し、日本文化以外を持つ対象に説明したり、ディスカッションする。また、日本の医療システムを理解し、海外の医療システムとの違いを理解する。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

異文化を理解し、看護への応用について考察できる。日本文化/医療システムについて理解を深め、説明できる。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。

3. 問題提起・解決能力の修得

ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。

4. 自己学習能力・創造性の形成

ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。

5. 国際性の形成

海外の教員、学生及び留学生と建設的なディスカッションを行うことで、英語でのコミュニケーションに慣れ、雰囲気に影響されず、自ら躊躇なく発言できるようなコミュニケーション能力を身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/9	08:50-10:30	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Orientation	近藤 暁子, 新津 晃右	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
2	4/18	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	異文化理解	virtual empathy museum (VEM)	近藤 暁子	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
3	4/30	08:50-10:30	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Supporting the older people with cognitive impairment: Research and Education	Kor Patrick	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
4	5/1	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Cultural Safety: Promoting Diversity in SIM-based	Diana De, 近藤 暁子	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システ

					Learning		ムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
5	5/2	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Group discussion about VEM using Virtual Reality (VR)	近藤 暁子	ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。
6	5/9	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Focus group discussion about VR activity with UK students	近藤 暁子	ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。
7	5/16	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	自文化理解	Presentation and discussion about Japanese culture and medical system	近藤 暁子	異文化を理解し、看護への応用について考察できる。日本文化/医療システムについて理解を深め、説明できる。
8	5/30	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Cultures of Death and Dying	Jonathan Corliss, 近藤 暁子	ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。
9	6/6	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Presentation about what they learned in this course.	近藤 暁子	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
10	6/6	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Cultures of Nursing	近藤 暁子, Jonathan Corliss	海外の教員、学生及び留学生と建設的なディスカッションを行うことで、英語でのコミュニケーションに慣れ、躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。。

授業方法

講義と演習すべて英語で実施する。

講義室、オンライン・バーチャルリアリティを併用し、海外の学生や教員、留学生と交流する。

授業内容

1) バーチャル・リアリティおよびオンラインシステムを使用して英国の大学の学生と交流する。

2) ワシントン大学の教員の米国看護事情について講義およびディスカッションを行う。

3) 香港の教員の講義およびディスカッションを行う。

4) 英国の教員の講義により文化的安全性について学ぶ。

5) ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする。

6)文化/医療システムのプレゼンテーションを行ってディスカッションする。

成績評価の方法

全体的参加度:30%、Virtual Empathy Museum の presentation and discussion:30%、自文化/医療システムのプレゼンテーション:20%、final presentation: 20%

1) 参加度:授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められない(30%)。

2) Virtual Empathy Museum を視聴してグループでポスターを作成し、英国の大学の学生とバーシャル・リアリティーを使用してライブでディスカッションする(30%)。

3)日本の医療/文化に関する内容を調べて留学生に対して発表して質疑応答する(30%)

4) 自文化プレゼンテーション:日本の文化の 1 つを取り上げ、英語でプレゼンテーションし、留学生とディスカッションを行う(20%)。

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格である。

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed／Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle：LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書

Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer

他科目との関連

国際保健看護学Ⅰ,国際保健看護学Ⅱ, 国際保健福祉

履修上の注意事項

ZOOM 使用時講義中は原則画面を ON にすること。　指定された記事を読んで分からない単語を調べてくること。

備考

昨年度の学生評価より

■zoom　ではなくて対面を増やすべきだと思う。⇒対面の日を増やしました。

■話しやすい環境づくり

■グループワークの時に発言する生徒としない生徒の差が顕著だったため、そのような

グループが多い場合は進行役の生徒を決めても良いのではと思った⇒進行訳の学生を決めたり、留学生にサポートしてもらいます。

■グループに分かれてのディスカッションで、これから行われることを知っているのが

一部の人のみに限られていたのが分かりにくかった。事前にディスカッションの内容

などについて伝えてもらえれば事前に調べたりなど準備ができて良いと思う。

⇒事前に課題をお伝えするようにします。

■出席確認方法が不明瞭な他、たまに一方向すぎるときがあり、参加している感じがし

ませんでした。

⇒こちらもいろいろ皆さんが発言しやすい方法を考えますが、皆さんからも授業中に積極的な発言や他の学生が発言しやすい雰囲気づくりに協力お願いします。

連絡先(メールアドレス)

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

時間割番号	012082				
科目名	国際保健福祉 B			科目 ID	MN-292700-Z
担当教員	近藤 暁子, 谷口 麻希, 川上 明希, 廣岡 佳代, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志[KONDO Akiko, TANIGUCHI Maki, KAWAKAMI Aki, HIROOKA Kayo, OZASA Yuka, YUMOTO Yoshie, YAGO Satoshi]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare B

【科目責任者】国際看護開発学　近藤暁子

主な講義場所

海外短期研修プログラム　研修機関先

＜夏期＞

- ウーロンゴン大学(オーストラリア)
- マヒドン大学(タイ)
- 台湾国防医学院

＜春期＞

- ワシントン大学(米国)

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

1)研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。

2)1)で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。

2)海外研修報告会において、1)で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/23	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等)	谷口 麻希, 近藤 暁子, 川上 明希, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志, 廣岡 佳代	実施されるプログラムの内容を理解し、参加のための準備を開始する。
2	11/5	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	国際保健福祉	海外研修報告会	谷口 麻希, 近藤 暁子, 川上 明希, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志, 廣岡 佳代	海外研修を通じた体験学習を行う。

授業方法

事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加(プレゼンテーションの実施等)

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

上記合計点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格である。

準備学習等についての具体的な指示

・実践看護英語 I/II/III を受講することを参加要件とする（事前に受講していない場合は必ず事後に受講すること）。
・渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること
・学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること
・派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

海外短期研修プログラムへの参加となる。
参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。
海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

他科目との関連

国際保健福祉，実践看護英語，国際保健看護学 I/II

履修上の注意事項

・ 4 月 23 日に開催される合同オリエンテーションに参加すること ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと（プログラムにより参加要件を確認すること） ・ 実践看護英語 I/II/III を受講することが必須である ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い
・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること
保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他
・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
学生評価に基づく改善点
■ワクチン接種など、昨年度も必要だったものなどは早めに連絡してほしかった。実習の忙しい時期に慌てて行うことになってしまった。
→直前にならないと予定が決まらないことも少なからずあり、申し訳ありません。
■プログラム参加者は指導教員と参加が認められた学生のみで良いと思った。
→そのようにします。
■アメリカの学部の看護学生との交流ができたらもっと面白かったと思う。
→で看護の学生はとても忙しいようなのですが、きるだけ交流できるようお願いします。

連絡先（メールアドレス）

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp
谷口 麻希:taniguchi.maki@tmd.ac.jp
川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F
小笹 由香:yuka.bec@tmd.ac.jp
矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F
湯本 淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F
廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。
国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）
谷口 麻希:毎週水曜日 AM9:30-10:30 医学部3号館 18 階 精神保健看護学分野 研究室2
川上 明希:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
小笹 由香:平日 10:00-17:00 3 号館 17 階 ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ看護学研究室
事前にメールでアポイント取ってください。
湯本 淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
3 号館 18 階 在宅・緩和ケア看護学分野

時間割番号	012100				
科目名	インディペンデントスタディ A			科目 ID	MN-293000-S
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Independent study A

【科目責任者】田中　真琴

【担当教員】専攻主任、学年担任

主な講義場所

履修者と日程調整を行い、保健衛生学科講義室 1～4、実習室 1～5 などで対面、あるいは zoom で実施するかを決定する。

授業の目的、概要等

人口の高齢化、自然災害、新型感染症パンデミック等、変化し続ける医療や看護を取り巻く状況に応じて、看護実践や研究を発展させ続けていくために、適切な方法で情報を探求しそれらを分析・統合して新たな知見を得ることは、看護職者に求められる重要や役割の一つである。学生自らが、受け入れ先組織・企業等を探し、受け入れ先と授業内容を作り上げ、得られた情報を分析・統合して、将来の状況変化に対応しながら、クリエイティブで柔軟な思考力に基づいて看護実践や研究を発展させていくために必要な知識やスキルの習得や向上を目指す。

授業の到達目標

1. 学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等を探し、適切な学習計画を立てることができる。

2. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合するための知識・スキルを獲得する。

3. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合した結果を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/14	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題1	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標 1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等 ＊授業日程は仮であり、個別に設定する
2	5/12	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題2	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標 1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等 ＊授業日程は仮であり、個別に設定する
3	6/9	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題3	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標 1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等 ＊授業日程は仮であり、個別に設定する
4	6/30	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題4	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標 1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等 ＊授業日程は仮であり、個別に設定する
5	9/8	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題5	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標 1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等 ＊授業日程は仮であり、個別に設定する
6	10/6	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題6	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標 1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等 ＊授業日程は仮であり、個別に設定する

7	11/10	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題7	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加にもとづく情報の分析・統合	田中 真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等 ＊授業日程は仮であり、個別に設定する
8	12/1	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題8	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加にもとづく情報の分析・統合・まとめ	田中 真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等 ＊授業日程は仮であり、個別に設定する

授業方法

各学生が興味・関心を寄せる課題に基づいて、学生自らが担当教員と相談の上、個別に具体的な学習目標・学習計画を作成し、主体的に学習する。

1. 履修登録後は、以下のように行う。

①履修を希望する学生は、インデペンデントスタディとして取り組みたい課題について、科目担当教員(学年担任、専攻主任)と相談し、その課題の進め方を決める。

②当該学生は、インデペンデントスタディ学習計画書(様式)(学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む)を作成し、その内容について、受け入れ先機関および指導教員の助言・指導を受ける。学習計画書の内容・期間は、1 単位に相当するものであること。

③作成されたインデペンデントスタディ学習計画書について、科目担当教員(学年担任)が内容等を確認し当該科目として十分であると認められた場合に受講開始となる。

2. 授業方法

①インデペンデントスタディ学習計画書にしたがって、受け入れ先組織・企業等において、学生が興味・関心を寄せる課題に関する学習を進める。

②学習終了後、学んだ内容について情報を分析・統合し、報告書を作成し、科目担当教員(学年担任、専攻主任)へ提出する。

※本科目では、受け入れ先組織・企業等を探す際に、ベンチャー・スタートアップを利用することも可能である。

ベンチャー・スタートアップにリストアップされた会社に関するエントリーシートを学生が閲覧し、自らの関心と合致する企業があれば、ベンチャー・スタートアップ担当教員、科目担当教員(学年担任、専攻主任)等と相談の上、ベンチャー・スタートアップのルールに則って当該企業に連絡する。受入れ先組織・企業等候補の担当者と面談などを行った後、両者の合意が得られた場合マッチング成立となる。

授業内容

学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加、得られた情報の分析・統合

(例:医療・介護施設、企業、ベンチャー企業、ボランティア活動など)

成績評価の方法

以下の点について成績評価を行う。

1)参加状況・活動計画の立案状況(40%)

2)受入れ先組織等での活動状況(10%)

3)活動報告会での発表、報告書の提出状況・内容:学習目標の到達状況(50%)

＊受け入れ先からの詳細なフィードバックを得ることが難しいため報告会等で評価に重点をおく

成績評価の基準

60 点未満:不合格、60-100 点:合格

準備学習等についての具体的な指示

・各学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織・企業等について、各自で情報を探索しておくこと。

・学習計画書の作成と計画内容の実現に必要な受入れ先等に関する情報収集を適切に行う。

・各学生が興味・関心を寄せる課題に関する知識やスキルの習得に努める。

・学外組織において学習を行うことから、本学学生および看護を学ぶ者として適確な行動をとれるよう、コミュニケーション力、社会人としての行動や態度等に関する知識やスキルを身に着けておくこと。

・学外組織で学習を行うことから、学習計画に則って学習が進んでいることを、適宜、指導教員に報告する行動を身に着けておくこと。

試験の受験資格

試験は実施しない。

教科書

なし

参考書

なし

他科目との関連

学生が興味・関心を寄せる課題によって関連の深い科目は異なる。

履修上の注意事項

1)学生が興味・関心を寄せる課題にもとづく科目であるため、他の科目とは異なり、内容も受入れ先も受講者ごとに異なる。 2)受入れ先組織・企業等から重要な情報(個人情報を含む)の持ち出しをしないこと。 3)学習は、学生自らが指導教員と共に立てた学習計画に則って進めること。 4)受入れ先での学習期間中は、指導教員に進捗状況や学習上の困難等を、適宜報告・相談すること。 5)受入れ先担当者、指導教員や科目担当教員の指示に従って、学習を進めること。授業日時・内容(順序等)は変更することがある。

備考

授業スケジュール(授業明細)は、科目の特性上、仮での記載しており、実際とは異なる。

履修者と日程調整を行い、保健衛生学科講義室 1～4、実習室 1～5 などで対面、あるいは zoom で実施するかを決定する。

前年度授業評価アンケート好評のため大きな変更はない

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴 : tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴 : オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012019A				
科目名	基盤看護学Ⅰ			**科目ID**	MN-233100-L
担当教員	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 渡邊 洋子, 瀬戸 さやか, 山田 由香理, 吉田 直美, 伊藤 奏, LIAO SHIN RU[KASHIWAGI Masayo, KAMEDA Norihiro, TASHIRO Risa, WATANABE Yoko, SETO Sayaka, YAMADA Yukari, YOSHIDA Naomi, ITO Kanade, LIAO SHIN RU]				
開講時期	2025 年度前期	**対象年次**	2	**単位数**	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Fundamental Nursing Ⅰ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

遠隔授業(非同期もしくは同期型)もしくは

保健衛生学講義室1(3号館18階)および看護実習室1・2(3号館17階)

授業の目的、概要等

基盤看護学Ⅰでは、1 年次の「人間の健康と看護」で学んだ看護の主要概念をもとに、専門職者としての科学的根拠に基づいた看護実践能力を形成するための基盤となる知識を身につけることを目的とする。看護師の役割として「療養上の世話(日常生活援助)」と「診療の補助業務」があるが、本科目では主に療養上の世話(日常生活援助)を中心に、看護技術の科学的根拠となる基本的な知識および技術についての学びを深める。

看護技術を単なる知識と技術としてとらえるのではなく、対象の問題を解決していくために行う思考と行動の過程(看護過程)の一連として位置づけ、また、最新の科学的根拠に基づく看護実践を目指す。そのためには、人体の構造と機能を理解したうえで、看護の受け手である対象を理解する必要がある。加えて、看護の役割を理解し、看護技術を行う上で必要な情報を観察し、得た情報からアセスメントするための知識・思考力を養う必要がある。教科書に記載されている基本的知識は事前学習により学習し、論理的に考える習慣を普段から身につけておくことが必要となる。

授業の到達目標

ここで示される達成目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。療養上の世話(日常生活援助)を中心に、専門職者として提供する看護技術の科学的根拠となる基本的な知識を習得し、知識に基づき思考できるようになることを目指す。

本科目に共通する到達目標は、看護援助の意義と対象の生活との関連について説明できること、必要な情報からのアセスメントや看護上の問題、安全・安楽・自立の観点からみた対象のニーズを具体的に説明できることである。

具体的な到達目標は以下の通りである。

1)看護専門職としての接遇・コミュニケーション方法について理解できる。

2)病床環境の整備方法を説明できる。

3)医療安全の基本的な考え方と制度上の仕組みを理解し、リスクマネジメントにおける看護師の役割を説明できる。

4)入院患者の運動の意義や身体各部の構造に合わせた運動への援助方法を説明できる。

5)人体の構造と機能を理解したうえで、生命維持の徴候を客観的に観察し, 正確な情報を収集する方法を説明できる。

6) 入院患者における食事の意義と栄養補給について説明ができる。嚥下機能の評価ができる。

7) 身体の清潔の意義や身体各部の構造と機能に基づいた清潔への援助方法を説明できる。

8) 口腔機能を理解し、適切な口腔ケア方法を説明できる。

9) 感染予防, Infection Control の実際を学び、科学的根拠に基づいた感染防御方法について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	コミュニケーション	オリエンテーション　看護専門職としての接遇・コミュニケーション方法について学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 1) 【学習方法】講義・グループディスカッション 【事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
2	4/7	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	環境	病床環境の整備方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 2) 【学習方法】講義・グループディスカッション

							【事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
3	4/11	15:25-17:05	看護学実習室 1	安全・運動 身体の観察	・医療事故の現状、患者の権利と責務を踏まえ、看護援助における安全や安楽を確保について概説する。 ・運動の意義を踏まえ、運動の援助が必要な対象への看護について学ぶ。 ・生命維持の兆候な客観的な情報収集について学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 3),4),5) 【学習方法】非同期授業、指定期日までに動画視聴および確認テストでの合格を得る 【事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
4	4/25	13:30-15:10	看護学実習室 1	食生活	食生活の意義と栄養補給を踏まえ食生活の援助が必要な対象への看護について学ぶ。 WebClass に資料がある。	瀬戸 さやか, 柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 6) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】 WebClass 掲示資料参照のこと
5	5/9	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 1	身体の清潔	身体を清潔にする意義を踏まえ、身体の構造と機能に基づく清潔への看護援助を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 7) 【学習方法】非同期授業、指定期日までに動画視聴および確認テストでの合格を得る 【事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
6-7	5/12	08:50-12:25	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	口腔ケア	対象の口腔状態に応じた口腔ケアの準備と口腔ケアを実践する。口腔保健学科との多職種連携教育を行う。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 鈴木 瞳, 吉田 直美, 伊藤 奏, LIAO SHIN RU, 山田 由香理	【到達目標】 8) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】 WebClass 掲示資料参照のこと
8	5/27	15:25-17:05	看護学実習室 1	感染看護	感染予防、Infection Control の実際と看護援助における感染防御策について学ぶ。本学病院看護部・感染制御部による授業。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 9) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】 WebClass 掲示資料参照のこと

授業方法

授業方法

授業は以下のように行う。

1)講義前には当該講義内容に関して、教科書・参考書を用い、事前学習をして臨むことが必須である。

2)講義・演習は、看護援助の意義、健康障害のある人に対する援助と看護の役割、援助を行うのに必要な情報とアセスメントを中心に行う。講義・演習全体を通して、知識をもとに患者や看護師の「安全・安楽・自立」に基づき考えるだけでなく、考えた内容を他者に説明できるようにしておくこと。講義・演習に必要な資料は講義前に WebClass にアップするため、随時確認すること。

3)講義・演習で得た知識を基に、「基盤看護学演習Ⅰ」中の連動する看護技術についての実施計画書(演習時の事前・事後課題に該当)を作成すること(詳細は初回授業時に説明する)。単なる手順書ではなく、講義内容を振り返りながら、看護援助の目的や根拠について論理的に考えることが必要な内容となる。

4)同期型授業:講義中には小グループやペアによるディスカッションなどのアクティブラーニングを交えて進めていく。そのため、学生自身が教科書や事前学習で得た基本的知識をもとに思考し、主体的に講義に臨むことが必要である。

5)非同期型授業:指定期日(Webclass 資料)までに動画を視聴の上、確認テストを受け、既定の合格点を取得することで出席をみなす。確認テストの受験がない場合、また、既定の合格点に達していない場合は、欠席とみなす。

6)本科目の内容は連動して行われる「基盤看護学演習Ⅰ」「基盤看護学Ⅱ」と密接に関連付けられている。講義で得た知識が演習における実践での科学的根拠となるだけでなく、看護過程における思考と行動の連動を果たす基盤となる。
7)事前・事後レポートを課す場合には、詳細は WebClass に掲示する(WebClass 上での提出となる)。時間を過ぎるとアクセスできなくなるため、ゆとりをもって取り組み、提出すること。提出期限を過ぎたレポートは基本的には評価しない。Excel、Word、それらの PDF 変換などの基本的なマイクロソフトのオフィス機能については、事前に自己学習しておくこと。

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。
4月に Webclass で配布する基盤看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

基盤看護学Ⅰの評価は、以下 3 つの項目により行われる。
1)筆記試験および Webclass での確認テスト:講義全般の日常生活援助について知識を問う試験を行う。なお試験問題の約 20%に英語の問題を出題するため、教科書や講義資料に英語併記してある基本的な用語を学習しておくこと。
2)事前・事後課題:基本的な知識、学生自身の考えや思考など課題で問われた内容について適切に記述されているかどうかを判断する。
3)出席・参加態度・参加状況:出席回数(ただし、2／3 以上の出席がない場合には、評価の対象外となるので注意すること)、講義中のアクティブラーニング、質疑応答での活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下 3 つの項目で行い、各項目の成績の合計により評価を行う。1、2、3 の項目の評価は、それぞれ 50%、35%、15%とする。
1)筆記試験および Webclass での確認テスト
筆記試験(100 点満点)を 30 点に換算する、Webclass 確認テスト(100 点満点)は合格点の 80 点を超えた場合に加点とし、20 点×4 回分の合計点を 20 点に換算する。
2)事前・事後課題
事前・事後課題は提出期限までに、オリエンテーションで示した方法で提出された場合に評価を行う。
課題内では、敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。必要時、引用文献・参考文献リストを付記すること。誤字脱字、指定された字数の 8 割以下である場合には、減点とする。問われたこと(知識、科学的根拠に基づく論理的な文章展開、自身の考えや思考)に対して、適切な内容が反映されている必要がある。期限を過ぎた課題は評価しないので注意すること。事前事後課題の評価基準は、各課題 5 点満点、全課題の合計点を最終的に 35 点満点に換算する。詳細は、オリエンテーションで提示するルーブリックを参照すること。
2)出席・参加態度・参加状況:
積極的な参加が求められる。そのため、グループワークへの積極的な参加や質疑応答などで活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。webclass に掲載されている参考資料の授業前の閲覧状況は、事前自己学習として参加態度に反映する。また、非同期授業の場合は、別途指定する期間までの視聴および小テストでの 8 割以上の取得にて出席とみなす。出席回数は、出席回数が 5 回以上の場合に加点となる(出席回数 6 回 2 点、7 回 4 点、8 回 7 点)。参加態度・参加状況は、8 点満点で、上記の加点内容が見られた場合に、各授業 1 点の加点とする。
上記により算定された最終評価点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格となる。

準備学習等についての具体的な指示

1)各講義内容を確認し、当該範囲の教科書や資料を基に事前学習をして講義に臨むこと。
2)各講義に必要な配布資料がある場合は、事前に WebClass にアップするため、各自で確認しダウンロードしておくこと。
3)各講義の事前・事後課題は期間を設けて WebClass にアップする。各自でダウンロードし、指示された方法で提出すること。
※詳細はオリエンテーションで示す。

試験の受験資格

本科目の試験を受験するためには、全ての講義に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも全体の 2／3 以上の出席を必要とする。

教科書

看護が見える vol1. 基礎看護学／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018
看護が見える vol2. 臨床看護技術／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

参考書

看護技術プラクティス : 医療安全と感染管理をふまえた／竹尾恵子監修,竹尾, 恵子,:学研メディカル秀潤社, 2015
看護が見える vol. 3 フィジカルアセスメント／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2019
看護が見える vol. 4 看護過程の展開／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2020

写真でわかる基礎看護技術アドバンス : 基礎的な看護技術を中心に!／吉田, みつ子,本庄, 恵子,:インターメディカ, 2020
写真でわかる臨床看護 1 アドバンス 注射・検査に関する看護技術を中心に!／本庄, 恵子,吉田, みつ子,:インターメディカ, 2020
フィジカルアセスメントの根拠がわかる!機能障害からみたからだのメカニズム／清村紀子, 工藤二郎編集,清村, 紀子,工藤, 二郎,:医学書院, 2014
根拠から学ぶ基礎看護技術／江口正信編著,江口, 正信,:サイオ出版, 2015
基礎看護技術 : 看護過程のなかで技術を理解する／香春知永, 齋藤やよい編集,香春, 知永,齋藤, やよい,:南江堂, 2018
その他、テーマに関連した参考図書を随時紹介する。

他科目との関連

本科目と「基盤看護学演習Ⅰ」、「基盤看護学演習Ⅱ」、「基盤看護学Ⅱ」、「基盤看護学実習Ⅱ」は密接に関係しており、それぞれの科目で学んだ知識や技術を応用して考えることが必要となる。 1 年次に学んだ「人間の健康と看護」、「基盤看護学実習Ⅰ」などの看護に関連した諸理論などでの学びや体験を振り返り、本科目で応用することが必要となる。また、本科目はこれから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基盤となる。

履修上の注意事項

1)授業中にスクリーン、zoom 等の画面を撮影することを禁止する 2)講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する 3)授業日時・内容・実施方法(場所)が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと

備考

看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために、柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012020A				
科目名	基盤看護学Ⅱ			科目ID	MN-233200-L
担当教員	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙[KASHIWAGI Masayo, KAMEDA Norihiro, TASHIRO Risa]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Fundamental Nursing Ⅲ

【科目責任者】柏木聖代

授業の目的、概要等

看護は、健康問題に対する人間の反応を的確に捉え、その人にとってよりよい反応を導き出すよう援助する働きである。本科目では、根拠に基づいた看護を実践するための方法論の 1 つである、看護過程の概念と展開方法を学ぶ。

授業の到達目標

本科目では、病気をもつ人の健康課題に取り組み、援助する過程における知識を学生が獲得することが目標である。具体的には、看護実践における看護者の姿勢を理解し、看護の対象者の健康に関する情報を、既習の知識に基づいて批判的に解釈し、看護の対象者の健康について全体論的な視点から説明する。そして、看護の対象者の健康に資するための看護援助を説明、一部実践・評価できるようになることを目指す。

1) 看護実践における看護師の思考過程を説明できる。

2) 看護過程の構成要素を説明できる。ゴードンの機能的健康パターンを用いて、対象の反応を捉えることができる。

3) 看護観察について主観的情報と客観的情報が区別できる。機能的健康パターンごとに提示した事例のアセスメントを実践できる。

4) 機能的健康パターンごとのアセスメントを統合し、看護問題を抽出できる。NANDA-Ⅰの看護診断の構造が理解できる。

5) 抽出された各看護問題について、目標を立て、各目標を達成するための援助計画を立案できる。

6-7) 援助計画の実践にむけ、事例のアセスメントから援助計画までを振り返り、必要な修正ができる。

8) 立案した援助計画の一部を実施し、評価することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	看護過程の定義	看護過程とは何か、背景と特徴 看護過程と問題解決方法(POS)との関係	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】1) 【学習方法】講義、グループディスカッション 【事後課題】あり
2	4/17	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	看護過程の構成要素(1)主観的・客観的情報、アセスメント	看護過程の構成要素-看護の観察における主観的情報と客観的情報、アセスメント	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】2) 【学習方法】講義、グループディスカッション 【事後課題】あり
3	4/17	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	看護過程の構成要素(2)アセスメント、統合	看護過程の構成要素-分析、アセスメント、統合	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】3) 【学習方法】講義、グループディスカッション 【事後課題】あり
4	5/16	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	看護過程の構成要素(3)問題抽出、看護診断	看護過程の構成要素-問題抽出と看護診断	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】4) 【学習方法】講義、グループディスカッション 【事後課題】あり
5	5/16	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	看護過程の構成要素(4)計画立案	看護過程の構成要素-目標(成果)と計画立案	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】5) 【学習方法】講義、グループディスカッション 【事後課題】あり
6-7	6/13	13:30-17:05	保健衛生学科講義室1	看護過程の展開計画立案まで	事例に基づく看護過程の展開-計画立案まで	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】6),7) 【学習方法】講義、グループ演習 【事後課題】あり
8	7/3	08:50-10:30	看護学実	看護過程の構成	看護過程の構成要素-実施、	柏木 聖代,	【到達目標】8)

			習室1	要素(5)実施・評価	記録(目的と種類)、問題の達成評価　※基盤看護学演習1と統合した形式で実施	亀田　典宏, 田代　理沙	【学習方法】講義、グループ演習 【事後課題】あり

授業方法

授業は以下のように行う。

1)授業には、授業明細に示された範囲について、事前に教科書や関連書籍等にて自己学習予習をしてから臨むことが必要である。事前課題としてレポートや動画視聴を課す場合もあるので、Webclass をよく確認すること。

2)講義:講義は事前課題の内容理解を前提とした上で、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass に挙げておくので活用すること。講義内では学生の理解を深めるため、グループワーク等のアクティブラーニングを取り入れるので、積極的に参加すること。

3)授業終了後、授業で行った課題を回収し、次の授業でフィードバックを行う。

授業内容　授業明細参照

成績評価の方法

次の項目で総合的に評価を行う。

1)出席状況、参加状況:出席回数だけでなく、授業内での発言やアクティブラーニングへの参加態度を含めて評価する。同期型遠隔授業の場合、授業開始時の出席確認(呼名)および最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合に出席とみなす。

2)課題レポートの提出状況・内容。特別な理由なく提出期限を過ぎた場合は未提出とする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。提出物は、提出期限が守られ、かつ、授業中に示す基準を守っているかどうかが評価基準となる。

準備学習等についての具体的な指示

1)講義日程を確認し、当該範囲のテキスト、動画等を確認し、講義に臨むこと。

2)事例による演習は、個人での看護展開をもとにグループワークで進めるため、指定日までに各自で看護展開を行うこと。

試験の受験資格　本科目では定期試験は実施しない。

教科書

看護が見える vol.4 看護過程の展開／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2020

NANDA-I 看護診断 : 定義と分類／T.ヘザー・ハードマン, 上鶴重美, カミラ・タカオ・ロペス 原書編集,上鶴重美 訳,Herdman, T. Heather,上鶴, 重美, 1961-,Takao Lopes, Camila,:医学書院, 2021

参考書

ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断／江川隆子編集,江川, 隆子,:ヌーヴェルヒロカワ, 2019

ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 : よくわかる機能的健康パターン : 11 の機能的健康パターン／マージョリー・ゴードン 著,江川隆子 監訳,早野真佐子 訳,Gordon, Marjory,江川, 隆子, 1946-,早野, 真佐子, 1951-,:照林社, 2006

アセスメント覚え書ゴードン機能的健康パターンと看護診断／マージョリー・ゴードン著 ; 上鶴重美訳,Gordon, Marjory,上鶴, 重美,:医学書院, 2009

看護過程の解体新書／石川ふみよ執筆,石川, ふみよ,:学研メディカル秀潤社, 2015

他科目との関連

既習の専門知識と技術を看護実践の一連のプロセスの中に活かせるよう、これまで学習したすべての看護専門科目をよく理解しておくこと。特に、「人間の健康と看護」「基盤看護学実習Ⅰ」「基盤看護学Ⅰ」「基盤看護学Ⅱ」「基盤看護学演習Ⅰ」「基盤看護学実習Ⅱ」と密接な関係にある。また、本科目で修得する知識ならびに学生各自が考察した看護の役割と機能は、全ての専門科目を学ぶ上での礎となる。

履修上の注意事項

講義中にスクリーンの撮影をすることを禁止する。講義資料や動画などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。講義と事例による演習を並行して行う。

備考

本科目は、あらゆる看護実践の基盤となる思考プロセスの学習であり, グループワークに積極的に参加することで, 理解を深めること。

連絡先(メールアドレス)

柏木　聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp　3 号館 18 階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室

オフィスアワー

柏木　聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012021A				
科目名	基盤看護学演習Ⅰ			科目ID	MN-253300-S
担当教員	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理[KASHIWAGI Masayo, KAMEDA Norihiro, TASHIRO Risa, YAMADA Yukari]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Fundamental Nursing Ⅰ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

看護実習室1・2(3号館17階)ほか

授業の目的、概要等

基盤看護学演習Ⅰでは、「人間の健康と看護」で学んだ看護の主要概念や、「基盤看護学Ⅰ」で学ぶ看護援助の知識をもとに、専門職者としての科学的根拠に基づいた看護実践能力を形成するための基盤となる知識と技術を身につけることを目的とする。本科目では主に日常生活援助を中心に、対象の基本的ニーズを充足するための科学的根拠に基づく看護技術についての学びを深める。また、自律的な演習への準備・参加を通して、専門職の一員としての態度と素養を養うことを目的とする。

看護技術は、看護実践の場で看護の提供者(看護者)と受け手(対象)との相互作用によって、個別性のある看護援助となる。そのため演習中には学生相互に看護者と対象の役割を取りながら、具体的な看護技術を習得する。本科目では看護技術を単なる手順として学ぶことを目的としていない。看護過程の手段としての看護技術の提供について、実施目的、その方法を取る科学的拠をもとに、対象の個別性に応じた看護援助の基盤を形成することを重視している。そのためには、既習の知識をもとに、看護を提供する上での基盤となる「安全」「安楽」「自立」に基づき看護技術を実践するため、教科書にあるような基本的知識は事前学習により学習して臨むことが必須である。また、学生の主体的な学びを重要視するため、教科書および Webclass の資料・動画を視聴した上で、根拠に基づく実施手順を事前に自己学習で十分イメージトレーニングした上で、授業当日、グループ内で実施方法・根拠・患者体験をディスカッションしながら手技習得を目指す。

授業の到達目標

ここで示される達成目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。日常生活援助を中心に、専門職者として個別性に応じた科学的根拠に基づく看護技術の基盤を形成することを目指す。

本科目に共通する到達目標は、①看護技術を行う目的を具体的に述べられる、②必要な情報からのアセスメントや看護上の問題、対象のニーズについて「安全」「安楽」「自立」に基づき具体的に述べられる、③目的に適した物品や方法を選択し、準備・実践できることである。加えて、科学的根拠を追及する姿勢を養い、知識を活用して考えながら行動するための基本的な技能と専門職の一員としての自律的かつ倫理的な態度を身につけることである。

具体的な到達目標は以下の通りである。

1) 清潔なクローズドベッドおよびオープンベッドを作成できる。
2) 身体各部の構造に合わせた安全・安楽な方法で体位変換し、安楽な体位に整えることができる。
3) 身体各部の構造に合わせた安全・安楽な方法で移乗(移乗後のポジショニング含む)の援助を実施できる。
4) 身体各部の構造に合わせた安全・安楽な方法で移送の援助を実施できる。
5) 生命の兆候を客観的に観察する方法を説明できる。正しい方法で呼吸、体温、血圧、脈拍、SpO2 を測定できる。
6) 適切な方法・ポジショニングで食事介助を実施できる。
7) 清潔・不潔の概念に基づき、臥床患者の寝衣交換を安全・安楽に実施できる。
8) 清潔・不潔の概念に基づき、臥床患者のシーツ交換を安全・安楽に実施できる。
9) 適切な方法・タイミングで感染予防対策を実施できる。
10) 身体各部位の構造・機能に基づいた全身清拭、手足浴、洗髪、陰部洗浄を実施できる。羞恥心に配慮して安全・安楽な床上排泄の援助を実施できる。
11) 前期を通して学んだ看護技術について、基盤看護学Ⅰ・Ⅱの知識・技術を応用しながら、看護過程の展開における看護介入に位置付けて、対象のアセスメントおよび科学的根拠に基づく適切な方法を用いて実施できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/11	13:30-15:10	看護学実習室1	ベッドメーキング	病床環境を整えるための方法とベッドメーキングの方法を実践する。	柏木 聖代, 亀田 典宏,	【到達目標】1) 【学習方法】グループ演習

					WebClass に資料がある。	田代 理沙, 山田 由香理	【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
2-3	4/14	13:30-17:05	看護学実習室 1	体位変換・良肢位・移乗	安楽な体位の保持と体位変換の基本を、ボディメカニクスに基づき実践する。安全・安楽に対象を移乗する方法を、ボディメカニクスに基づき実践する。 WebClass に資料がある。 【非常勤講師】大熊 淳志 先生	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】 2)3) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
4	4/18	13:30-15:10	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	移送	安全・安楽に対象を移送する方法を、ボディメカニクスに基づき実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】 4) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
5	4/18	15:25-17:05	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	バイタルサインの測定	生命の徴候を客観的に観察し，情報を収集する方法として、呼吸・体温・血圧・脈拍測定・経皮的酸素飽和度測定の方法を実践する。加えて測定値の示す意味とその変動条件について学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 5) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
6	4/25	15:25-17:05	看護学実習室 1	食事介助	対象の自立度に応じた食事の準備と食事介助を実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 6) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
7	5/22	13:30-15:10	看護学実習室 1	寝衣交換	床上臥床の患者への安全・安楽な衣服着脱の援助方法を実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】 7) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
8	5/22	15:25-17:05	看護学実習室 1	シーツ交換	床上臥床の患者への安全・安楽なシーツ交換の援助方法を実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 8) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
9	5/27	13:30-15:10	看護学実習室 1	感染予防対策	適切な方法・タイミングで感染予防対策を実践する。病院看護部・感染制御部による演習。WebClass に資料がある。 【非常勤講師】渡邊由香先生、鶴岡広美先生	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 9) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
10-11	6/3	13:30-17:05	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	清潔ケア（全身清拭）	床上臥床患者へ安全・安楽に清拭を実施する方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。 ※第 10－15 回の内容は、ローテーションするのでグループにより順序が異なることに留意する。詳細は Webclass 資料	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】 10) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
12-13	6/12	13:30-17:05	看護学実習室 1, 看護学実習室 2	清潔ケア（手足浴、洗髪）	床上臥床患者へ安全・安楽に手足浴・洗髪を実施する方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。 ※第 10－15 回の内容は、ローテーションするのでグループにより順序が異なることに留意する。詳細は Webclass 資料	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】 10) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと

14-15	6/19	13:30-17:05	看護学実習室1, 看護学実習室2	排泄ケア (陰部洗浄・床上排泄・おむつ交換)	床上臥床患者へ安全・安楽・羞恥心に配慮した排泄ケアを学ぶ。WebClassに資料がある。 ※第10－15回の内容は、ローテーションするのでグループにより順序が異なることに留意する。詳細はWebclass資料	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】10) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass掲示資料参照のこと
16	7/3	10:45-12:25	看護学実習室1	基礎看護実践力グループワーク	看護過程の展開に位置付く看護介入として、習得した看護技術を実践する。細は後日提示される資料を確認すること。※基盤看護学Ⅲの第8回と統合した形式で実施	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】11) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass掲示資料参照のこと
17-18	7/24	08:50-12:25	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4, 看護学実習室5	基礎看護実践力(実技試験)	看護過程の展開に位置付く看護介入として、習得した看護技術を評価する。細は後日提示される資料を確認すること。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】11) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass掲示資料参照のこと
19-20	7/24	13:30-17:05	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4, 看護学実習室5	基礎看護実践力(実技試験)	看護過程の展開に位置付く看護介入として、習得した看護技術を評価する。細は後日提示される資料を確認すること。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】11) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass掲示資料参照のこと
21-22	7/25	08:50-12:25	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4, 看護学実習室5	基礎看護実践力(実技試験)	看護過程の展開に位置付く看護介入として、習得した看護技術を評価する。細は後日提示される資料を確認すること。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】11) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass掲示資料参照のこと
23-24	7/25	13:30-17:05	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4, 看護学実習室5	基礎看護実践力(実技試験)	看護過程の展開に位置付く看護介入として、習得した看護技術を評価する。細は後日提示される資料を確認すること。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】11) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass掲示資料参照のこと

授業方法

授業は以下のように行う。詳細は「基盤看護学Ⅰ」でのオリエンテーションで示す。

1)演習前には当該演習内容に関して、教科書や Webclass 資料・動画、その他資料を用いて自己学習を行い、根拠に基づく標準手順書を各自作成して臨むことが必須である。

2)演習は小グループ単位に分かれて進める。そのため、各学生が教科書や事前学習で得た基本的知識をもとに思考し、主体的に臨むことが必要である。必要物品の準備を行い、実施に適した環境と患者を整え、実践し原状復帰するまでを各自が作成した標準手順書に沿って行う。実際に実践したうえで得た気づきや修正事項を、グループで共有しながら標準手順書に朱書きで追加していくこと。また、事後課題として、実践中の課題や不明点について調べたことを青字で標準手順書に追加する。事前準備を行わずに演習に臨むと他学生の学習の妨げになるため、必ず十分な準備の下参加すること。演習に必要な資料は演習前に WebClass にアップするため、随時確認する。標準手順書の指定フォームは WebClass より各自ダウンロードする。朱・青書き等による修正版の手順書は期日までに WebClass 上に提出すること(事後課題として評価)。

また、演習時は必ずユニフォームと実習靴を着用し、身だしなみを整えること。開始前に身だしなみの確認を行う。また、演習 1 週間前から健康調査を行い、所定の健康調査票に記載すること(当日必ず持参すること、持参忘れや必要事項の記載漏れの場合には、演習への参加を認めない場合がある)。演習に使用する物品には各自が自宅から持参する物品もあるため、WebClass にアップする演習スケジュールを事前に確認し準備すること。

3)本科目の内容は連動して行われる「基盤看護学Ⅰ・Ⅱ」と密接に関連付けられている。講義中に考え、討議した内容が本科目の基盤となる。

4)標準手順書以外の事前・事後課題がある場合には、WebClass にて掲示され、WebClass 上での提出となる。時間を過ぎるとアクセスでき

なくなるため、ゆとりをもって取り組み、提出すること。提出期限を過ぎた課題は基本的には評価しない。
5)本科目の時間内にすべての看護技術の到達目標を達成することは難しい。演習時間内にできなかった項目や繰り返しの演習を必要とする項目に関しては、積極的に自主練習することにより、目標達成を目指す。

授業内容

日時および内容は変更する場合がある。
4月に Webclass で配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

基盤看護学演習Ⅰの評価は、以下 4 つの項目により行われる。
1)基礎看護実践力評価:看護過程の展開に位置付く看護介入として、習得した看護技術の到達レベルを評価する。事前に示された患者情報を基に、看護過程の展開の一連として、看護問題・目標に対する日常生活援助を立案する。科学的根拠に基づき、適切な物品と方法を選択して、看護技術を実施する。詳細は後日提示される資料を確認すること。試験実施日:7 月 25 日・26 日 1-4 限(各日のいずれかの時間帯に割り当てられるので予定を空けておくこと)。
2)各看護技術の標準手順書:演習前の事前課題として、各看護技術の実施計画書(目的、アセスメント、根拠に基づく実施手順など)を作成すること。各自が立てた実施計画書を基に演習を実施し、看護師・患者役を体験した上で感じたことやグループ内での討議の結果を踏まえ、計画書の内容に朱書きで加筆・修正を行う。また、事後の自己学習として、実践中の課題や不明点について調べたことを青字で標準手順書に追加する(事後課題に相当)。看護技術は実践を通して得る気づきが重要であり、実施計画書への加筆修正により言語化することが重要となる。完成した計画書は「基盤看護実習Ⅱ」における看護計画に基づく看護実践の際の基礎資料となる。事前提出、事後提出それぞれについて、指定する期日までに Webclass に提出すること。
3)事前・事後課題:課題内では、敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。必要時、引用文献・参考文献リストを付記すること。誤字脱字、指定された字数の 8 割以下である場合には、減点とする。問われたこと(知識、科学的根拠に基づく論理的な文章展開、自身の考えや思考)に対して、適切な内容が反映されている必要がある。期限を過ぎた課題は評価しないので注意すること。
4)出席回数、参加態度:出席回数(ただし)、演習への準備状況、身だしなみ、演習中、質疑応答などでの活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下 4 項目で行い、各項目の成績の合計により評価を行う。1)～4)の項目の評価は、それぞれ 25%、60%、10%、10%とする。
1)基礎看護実践力評価
患者情報に沿ってアセスメントした看護問題に対する看護計画として立案した日常生活援助技術に対して、到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。到達目標を達成するためには、繰り返しの自主練習による習得を必要とする。評価基準は 6 月 27 日の実習オリエンテーションに合わせて実施する試験説明時に配布する評価表を参照すること(25 点満点)。
2)各看護技術の標準手順書(事前・事後課題)
各看護技術の実施計画書において、目的、アセスメント、根拠に基づく実施手順など必要項目が網羅されていない場合、演習後の加筆・修正が行われていない場合は減点となる。教科書・講義資料・参考書・学術論文など自ら根拠に基づく看護技術方法を論理的に記述出来ている場合には加点となる。期限を過ぎて提出された計画書は評価の対象とならないので、提出期限を注意すること。手順書は 1 つの課題に対して、5 点満点で合計点を 60 点に換算する(提示される課題数は 10 課題程度)。
3)標準手順書以外の事前・事後課題
課題内では、敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。必要時、引用文献・参考文献リストを付記すること。誤字脱字、指定された字数の 8 割以下である場合には、減点とする。問われたこと(知識、科学的根拠に基づく論理的な文章展開、自身の考えや思考)に対して、適切な内容が反映されている必要がある。期限を過ぎた課題は評価しないので注意すること。1 課題 5 点満点で評価し、合計点を 10 点に換算する。
4)参加態度および参加状況
基盤看護学演習Ⅰでは、学生自身が目的に応じたその時に最適な援助方法を、学生同士の話し合いと実践をしながら組み立てる必要がある。演習への積極的な参加や活発な発言など主体的な態度が見られた場合には 3 点の加点をする。Webclass に掲載されている参考資料・動画を授業前までに閲覧している場合には 7 点を加点する。
上記により算定された最終評価点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格となる。

準備学習等についての具体的な指示

1)各演習内容を確認し、当該範囲の教科書や資料、動画を基に事前学習をして臨むこと。事前課題の詳細は Webclass 資料参照。
2)各演習に必要な配布資料がある場合は、事前に WebClass にアップするため、各自で確認しダウンロードしておくこと。
3)各演習の事前・事後課題は期間を設けて WebClass にアップする。各自でダウンロードし、指示された方法で提出すること。
※詳細はオリエンテーションで示す。

試験の受験資格

本科目の試験を受験するためには、全ての講義に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも全体の 2／3 以上の出席を必要とする。

教科書

看護が見える vol.1 臨床看護技術基礎看護技術／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

看護が見える vol.2 臨床看護技術臨床看護技術／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

参考書

基盤看護学Ⅰの参考図書を参照すること。

テーマに関連した参考図書を随時紹介する。

他科目との関連

本科目と「基盤看護学Ⅰ」、「基盤看護学Ⅱ」、「基盤看護学演習Ⅱ」、「基盤看護学実習Ⅱ」は密接に関係しており、それぞれの科目で学んだ知識や技術を応用して考えることが必要となる。 1 年次に学んだ「人間の健康と看護」、「基盤看護学実習Ⅰ」などの看護に関連した諸理論などでの学びや体験を振り返り、本科目で応用することが必要となる。また、本科目はこれから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基盤となる。

履修上の注意事項

1)授業中にスクリーン、zoom 等の画面を撮影することを禁止する 2)講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する 3)授業日時・内容・実施方法(場所)が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと

備考

看護学の基盤となる理論や概念を踏まえ科学的根拠に基づく看護技術を学ぶため、柔軟な思考力と考えたことを演習で実践する力が必要となる、これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物や研究論文に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012022A				
科目名	基盤看護学演習Ⅱ			科目ID	MN-253400-S
担当教員	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 吉岡 純希, 山田 由香理[KASHIWAGI Masayo, KAMEDA Norihiro, TASHIRO Risa, YOSHIOKA Junki, YAMADA Yukari]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Fundamental Nursing Ⅱ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

看護実習室1・2(3号館17階)ほか

授業の目的、概要等

基盤看護学演習Ⅱでは、1 年次の「人間の健康と看護」で学んだ看護の主要概念や、基盤看護学Ⅰ・Ⅱ・基盤看護学演習Ⅰ・基盤看護学実習Ⅰで学んだ知識や技術をもとに、専門職者としての科学的根拠に基づいた看護実践能力を形成するための基盤となる知識と技術を身につけることを目的とする。本科目では主に診療の補助を中心に、対象の基本的ニーズを充足するための科学的根拠に基づく看護技術について、シミュレーターを用いて学びを深める。また、新たな看護技術の体験を通し、ケアイノベーションについて学ぶ。科目全体における自律的な演習への準備・参加を通して、専門職の一員としての態度と素養を養うことを目的とする。

看護技術は、看護実践の場で看護の提供者(看護者)と受け手(対象)との相互作用によって、個別性のある看護援助となる。そのため演習中には学生相互に看護者と対象の役割を取りながら、具体的な看護技術を習得する。本科目では看護技術を単なる手順として学ぶことを目的としていない。看護技術の実施目的、その方法を取る科学的拠をもとに、対象の個別性に応じた看護援助の基盤を形成することを重視している。そのためには、既習の知識をもとに、看護を提供する上での基盤となる「安全」「安楽」「自立」に基づき看護技術を実践するため、教科書にあるような基本的知識は事前学習により学習して臨むことが必須である。また、学生の主体的な学びを重要視するため、教科書およびWebclassの資料・動画を視聴した上で、根拠に基づく実施手順を事前に自己学習で十分イメージトレーニングした上で、授業当日、グループ内で実施方法・根拠・患者体験をディスカッションしながら手技習得を目指す。

授業の到達目標

ここで示される達成目標は、あくまでも試験に合格するレベルである。診療の補助を中心に、専門職者として個別性に応じた科学的根拠に基づく看護技術の基盤を形成することを目指す。

本科目に共通する到達目標は、看護技術を行う目的を具体的に述べられる、必要な情報からのアセスメントや看護上の問題、対象のニーズについて「安全」「安楽」「自立」に基づき具体的に述べられる、目的に適した物品や方法を選択し、準備・実践できることである。加えて、科学的根拠を追及する姿勢を養い、知識を活用して考えながら行動するための基本的な技能と態度を身に着けることである。

具体的な到達目標は以下の通りである。

1) 新たな看護技術としてデジタルアートを制作・体験し、ケアイノベーションについて理解できる。
2) 安全管理対策の意義を理解し、適切な方法で針の取り扱いおよび無菌操作を実施できる。
3) 検査時の看護師の役割を踏まえて、安全な静脈採血をシミュレートできる。
4) 排泄に関するアセスメントに基づき、羞恥心に配慮して安全・安楽に一時的導尿をシミュレートできる。
5) 安全で確実な与薬(筋肉注射・点滴)を実施する方法をシミュレートできる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	10/2	13:30-17:05	保健衛生学科講義室1	デジタルアート	デジタルアートの制作や患者体験をする。WebClassに資料がある。	吉岡 純希, 柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】1) 【学習方法】同期型講義・グループ演習 【事前・事後課題】WebClass掲示資料参照のこと
3	10/9	13:30-15:10	看護学実習室2	医療安全・無菌操作	針刺し事故予防など医療安全対策および無菌操作を実践する。本学大学病院看護部・感染制御部による授業。 WebClassに資料がある。【非常勤講師】渡邊由香、鶴岡広美	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】2) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass掲示資料参照のこと

4	10/9	15:25-17:05	看護学実習室1	無菌操作・一時的導尿	無菌操作を踏まえて、モデルを用いて一時的導尿を実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】4) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
5-6	10/16	13:30-17:05	看護学実習室2	採血	採血における看護師の役割を踏まえ、モデルを用いて末梢静脈血採血を実践する。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】3) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと
7-8	11/4	13:30-17:05	看護学実習室1, 看護学実習室2	注射法	安全・安楽に留意してモデルを用いて筋肉内注射を実践する。 無菌操作を踏まえた末梢静脈点滴の与薬準備・実施方法を学ぶ。 WebClass に資料がある。	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 山田 由香理	【到達目標】5) 【学習方法】グループ演習 【事前・事後課題】WebClass 掲示資料参照のこと

授業方法

授業は以下のように行う。詳細は「基盤看護学Ⅰ」でのオリエンテーションで示す。

1)演習前には当該演習内容に関して、教科書や Webclass 資料・動画、その他資料を用いて自己学習を行い、根拠に基づく標準手順書を各自作成して臨むことが必須である。

2)演習は小グループ単位に分かれて進める。そのため、各学生が教科書や事前学習で得た基本的知識をもとに思考し、主体的に臨むことが必要である。必要物品の準備を行い、実施に適した環境と患者を整え、実践し原状復帰するまでを各自が作成した標準手順書に沿って行う。実際に実践したうえで得た気づきや修正事項を、グループで共有しながら標準手順書に朱書きで追加していくこと。また、事後課題として、実践中の課題や不明点について調べたことを青字で標準手順書に追加する。事前準備を行わずに演習に臨むと他学生の学習の妨げになるため、必ず十分な準備の下参加すること。演習に必要な資料は演習前に WebClass にアップするため、随時確認する。標準手順書の指定フォームは WebClass より各自ダウンロードする。朱・青書き等による修正版の手順書は期日までに WebClass 上に提出すること(事後課題として評価)。

また、演習時は必ずユニフォームと実習靴を着用し、身だしなみを整えること。開始前に身だしなみの確認を行う。また、演習 1 週間前から健康調査を行い、所定の健康調査票に記載すること(当日必ず持参すること、持参忘れや必要事項の記載漏れの場合には、演習への参加を認めない場合がある)。演習に使用する物品には各自が自宅から持参する物品もあるため、WebClass にアップする演習スケジュールを事前に確認し準備すること。

3)本科目の内容は、基盤看護学Ⅰ・Ⅱ、基盤看護学演習Ⅰ、基盤看護学実習Ⅱと密接に関連付けられている。当該科目の講義・演習・実習中に考え、討議した内容が本科目の基盤となる。

4)標準手順書以外の事前・事後課題がある場合には、WebClass にて掲示され、WebClass 上での提出となる。時間を過ぎるとアクセスできなくなるため、ゆとりをもって取り組み、提出すること。提出期限を過ぎた課題は基本的には評価しない。

5)本科目の時間内にすべての看護技術の到達目標を達成することは難しい。演習時間内にできなかった項目や繰り返しの演習を必要とする項目に関しては、積極的に自主練習することにより、目標達成を目指す。

授業内容 日時および内容は変更する場合がある。

基盤看護学Ⅰのオリエンテーションで配布する基盤看護学開講科目日程表を参照のこと。

成績評価の方法

基盤看護学演習Ⅱの評価は、以下 4 つの項目により行われる。

1)筆記試験:期末に実施される筆記試験の得点とする。

2)各看護技術の標準手順書:演習前の事前課題として、各看護技術の実施計画書(目的、アセスメント、根拠に基づく実施手順など)を作成すること。各自が立てた実施計画書を基に演習を実施し、看護師・患者役を体験した上で感じたことやグループ内での討議の結果を踏まえ、計画書の内容に朱書きで加筆・修正を行う。また、事後の自己学習として、実践中の課題や不明点について調べたことを青字で標準手順書に追加する(事後課題に相当)。看護技術は実践を通して得る気づきが重要であり、実施計画書への加筆修正により言語化することが重要となる。事前提出、事後提出それぞれについて、指定する期日までに Webclass に提出すること。

3)事前・事後課題:課題内では、敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。必要時、引用文献・参考文献リストを付記すること。誤字脱字、指定された字数の 8 割以下である場合には、減点とする。問われたこと(知識、科学的根拠に基づく論理的な文章展開、自身の考えや思考)に対して、適切な内容が反映されている必要がある。期限を過ぎた課題は評価しないので注意すること。

4)出席回数、参加態度:出席回数(ただし)、演習への準備状況、身だしなみ、演習中、質疑応答などでの活発な発言などの積極的な参加態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下 4 つの項目で行い、各項目の成績の合計により評価を行う。1)～4)の項目の評価は、それぞれ 30%、45%、5%、20%

とする。
1)筆記試験
学期末の筆記試験(100 点満点)を 30 点に換算する。
2)各看護技術の標準手順書
各看護技術の実施計画書において、目的、アセスメント、根拠に基づく実施手順など必要項目が網羅されていない場合、演習後の加筆・修正が行われていない場合は減点となる。教科書・講義資料・参考書・学術論文など自ら根拠に基づく看護技術方法を論理的に記述出来ている場合には加点となる。期限を過ぎて提出された計画書は評価の対象とならないので、提出期限を注意すること。各課題 5 点満点(4-5 課題程度)とし、合計点を 45 点に換算する。
3)事前・事後課題
課題内では、敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。必要時、引用文献・参考文献リストを付記すること。誤字脱字、指定された字数の 8 割以下である場合には、減点とする。問われたこと(知識、科学的根拠に基づく論理的な文章展開、自身の考えや思考)に対して、適切な内容が反映されている必要がある。期限を過ぎた課題は評価しないので注意すること。事前・事後課題は各課題 5 点満点とし、合計点を 5 点に換算する。
4)参加態度および参加状況
基盤看護学演習Ⅱでは、学生自身が目的に応じたその時に最適な援助方法を、学生同士の話し合いと実践をしながら組み立てる必要がある。演習への積極的な参加や活発な発言など主体的な態度が見られた場合には 10 点加点する。参加態度には、webclass 上の資料への期日までのアクセスや閲覧がある場合には 10 点を加味する。
上記により算定された最終評価点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格となる。

準備学習等についての具体的な指示
1)各演習内容を確認し、当該範囲の教科書や資料、動画を基に事前学習をして臨むこと。
2)各演習に必要な配布資料がある場合は、事前に WebClass にアップするため、各自で確認しダウンロードしておくこと。
3)各演習の事前・事後レポートは期間を設けて WebClass にアップする。各自でダウンロードし、指示された方法で提出すること。
※詳細はオリエンテーションで示す。

試験の受験資格　本科目の試験を受験するためには、全ての講義に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも全体の 2／3 以上の出席を必要とする。

教科書　看護が見える vol.2 臨床看護技術／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

参考書
看護が見える vol.1 基礎看護技術／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018
看護が見える vol.3 フィジカルアセスメント／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2019
看護が見える vol.4 看護過程の展開／医療情報科学研究所 編集,医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2020
看護技術プラクティス : 医療安全と感染管理をふまえた／竹尾恵子監修,竹尾, 恵子,:学研メディカル秀潤社, 2015
注射・検査に関する看護技術を中心に!／本庄, 恵子,吉田, みつ子,:インターメディカ, 2020
フィジカルアセスメントの根拠がわかる!機能障害からみたからだのメカニズム／清村紀子, 工藤二郎編集,清村, 紀子,工藤, 二郎,:医学書院, 2014
根拠から学ぶ基礎看護技術／江口正信編著,江口, 正信,:サイオ出版, 2015
テーマに関連した参考図書を随時紹介する。

他科目との関連
本科目と「基盤看護学Ⅱ」、「基盤看護学演習Ⅰ」、「基盤看護学Ⅲ」、「基盤看護学実習Ⅱ」は密接に関係しており、それぞれの科目で学んだ知識や技術を応用して考えることが必要となる。 既習の解剖学、生理学、薬理学などの基礎科目や、1 年次に学んだ専門科目も密接に関連しているため、それらの学びを振り返っておくこと。 また、本科目はこれから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基盤となる。

履修上の注意事項　1)授業中にスクリーン、zoom 等の画面を撮影することを禁止する　2)講義資料等を受講者以外に配布・公開することを禁止する　3)授業日時・内容・実施方法(場所)が変更になる場合には、Webclass にて周知するので、Webclass からの連絡をオンタイムで確認できるメールアドレスに事前に転送設定しておくこと

備考　看護学の基盤となる理論や概念を踏まえ科学的根拠に基づく看護技術を学ぶため、柔軟な思考力と考えたことを演習で実践する力が必要となる、これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物や研究論文に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。

連絡先(メールアドレス)　柏木　聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp　3 号館 18 階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室

オフィスアワー　柏木　聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012023A				
科目名	基盤看護学実習Ⅱ			科目ID	MN-273500-E
担当教員	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙, 土橋 真紀, 山田 由香理[KASHIWAGI Masayo, KAMEDA Norihiro, TASHIRO Risa, TSUCHIHASHI Maki, YAMADA Yukari]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Fundamental Nursing Ⅱ

【科目責任者】柏木聖代

主な講義場所

看護実習室1・2(3号館17階)、東京科学大学病院

授業の目的、概要等

本科目では、患者への日常生活援助技術を中心にした看護過程を実際の臨床現場において展開することで、既習の知識・技術を統合して看護実践の場面に適用し, 看護の理論と実践を結び付けて理解できる能力を養う。医療を受ける人々と取り巻く環境を理解し、個別性を考慮した看護実践の基礎を学ぶ。本科目での経験・学びは、3 年次以降に行われる領域別看護実習を展開するための基盤となる。

また、自律的な実習への参加を通して、専門職の一員としての態度と倫理的な判断の素養を養うことを目的とする。

授業の到達目標

1)受け持ち患者を全人的に捉え、日常生活援助を中心とした看護過程を展開できる。

(1)看護師が対象をどのような視点でとらえているのか説明できる。

(2)対象の個別性を重視した看護目標を立案できる。

(3)対象のニーズを捉え、基本的な看護技術(日常生活援助)を実践できる。

(4)看護実践を通して、対象の看護目標の評価を行い、今後の看護目標に活かすことができる。

(5)指導看護師および教員の助言の基、臨床推論・臨床判断の基本的な考え方を知り、実践できる。

2)臨床場面における看護師としての倫理的な姿勢、態度を模倣できる。

(1)事故を予防し安全を促進する責任を説明できる。

(2)感染防止の実際を討論できる。

(3)生命の尊厳とプライバシー保護の方法と重要性を説明できる。

3)医療の場で働く他職種の活動を知り、看護の専門性をふまえた連携について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/26	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	実習オリエンテーション	実習オリエンテーション	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 1)-3) 【学習方法】同期型講義・グループワーク 【事前・事後課題】実習要項参照
2-6	8/27	08:50-18:55	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 1)-3) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
7-11	8/28	08:50-18:55	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 1)-3) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
12-16	8/29	08:50-18:55	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 1)-3) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
17-21	9/1	08:50-18:55	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	詳細については実習要項参照	詳細については実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】 1)-3) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照

22-26	9/2	08:50-18:55	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	詳細については 実習要項参照	詳細については 実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】1)-3) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
27-28	9/3	08:50-12:25	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	詳細については 実習要項参照	詳細については 実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】1)-3) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
29-33	9/4	08:50-18:55	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	詳細については 実習要項参照	詳細については 実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】1)-3) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
34-38	9/5	08:50-18:55	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	詳細については 実習要項参照	詳細については 実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】1)-3) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
39-41	9/8	08:50-15:10	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	詳細については 実習要項参照	詳細については 実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】1)-3) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照
42-45	9/9	08:50-17:05	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	詳細については 実習要項参照	詳細については 実習要項参照	柏木 聖代, 亀田 典宏, 田代 理沙	【到達目標】1)-3) 【学習方法】実習 【事前・事後課題】実習要項参照

授業方法

6 月 26 日(木)3 限にオリエンテーションを実施し、8 月 27 日―9 月 9 日(土日除く)に実習を行う。
詳細については実習要項参照。

授業内容

詳細については、後日配布する実習要項に提示する。

成績評価の方法

基盤看護学実習Ⅱの評価は、以下 3 つの項目により行われる。実習への出席は評価を行うための最低条件であるため、成績評価には加味しない。ただし、以下 3 項目は独立した評価項目ではなく、互いに連動していることに注意すること。

1)実習記録(40%):最終的に提出する看護過程や実習記録の内容を考慮して評価する。

2)病棟での実践(40%):病棟での実習参加状況や、患者の個別性に応じた看護ケアの実践状況などを評価する。

3)態度および参加状況(20%):実習中やグループワーク、質疑応答での活発な発言などの積極的な参加態度や、身だしなみや時間厳守、約束事を守れているかなどの実習態度を評価する。

成績評価の基準

成績評価は、以下 3 つの項目で、総合的に評価する。各評価項目の詳細については、実習要項参照。

1)実習記録

実習記録が提出期限までに、実習要項に書かれた正しい方法で提出されていた場合に評価を行う。

記録物は敬体(ですます調)ではなく常体(である調)を使用する必要がある。また実習記録は感想文や実施した看護援助の列挙を求めてはいない。そのため、実習中に実施した内容や実地指導者からの助言などから学んだことや、自身で感じたことや考えたことを具体的に記載した内容を評価する。

2)病棟での実践

病棟での看護実践について、目的に応じた物品や援助方法を選択できているか、実地指導者や指導教員からのアドバイスを次の看護援助に活かせているかなどを評価する。

3)実習態度および参加状況

基盤看護学実習Ⅱでは積極的な参加が求められる。そのため、実習やグループワークへの積極的な参加や質疑応答などで活発な発言など主体的な態度が見られた場合には加点する。また看護を学ぶ学習者としての態度を示すことも実習目標であるため、身だしなみを整

える、時間厳守する、約束事を守るなどを行えている場合にも加点する。

準備学習等についての具体的な指示

1)実習要項を熟読し、基盤看護学実習Ⅱの目的・目標を理解すること。

2)基盤看護学Ⅰおよび基盤看護学演習Ⅰで学習した看護および看護技術、基盤看護学Ⅱで学習した看護過程について、実習初日までに復習しておくこと。

3)夏休み期間中の実習室の使用を認める(要申請)ので、各自で十分に練習を行うこと。ただし、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大状況に伴う本学活動制限に準拠する。

試験の受験資格

本科目への参加は、「人間の健康と看護」、「基盤看護学実習Ⅰ」、「基盤看護学Ⅰ」、「基盤看護学Ⅱ」、「基盤看護学演習Ⅰ」の単位を修得したものに限る。

本科目では試験を実施しない。成績評価を行うためには、すべての実習日程に出席することが学生としての基本となるが、少なくとも実習期間の 3／4 以上の出席が必要である。1 日の実習時間のうち、3／4 以上の時間を参加することで出席とする。また遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2 回で 1 日の欠席とみなす。

詳細は実習要項参照。

教科書

基盤看護学Ⅰ・Ⅱの教科書を参照のこと

参考書

基盤看護学Ⅰ・Ⅱの参考書を参照のこと

他科目との関連

これまでに学んだ基盤看護学等の知識・技術を実際の医療場面に活用し発展させる実習であるため、これまで学んだ内容と密接な関係にある。特に基盤看護学Ⅰ、基盤看護学演習Ⅰでの知識や技術、基盤看護学Ⅱでの看護過程に関する知識は、実習を行う上で必ず必要となるため、十分に振り返っておくこと。

履修上の注意事項

1)実習要項を良く熟読し、実習に参加すること。 2)時間を厳守し、実習生にふさわしい態度を持ち、身だしなみを整えて実習に臨むこと。 3)実習の場は医療の場のため、態度・言葉遣いなどにも注意すること。 4)実習中に得た患者の情報は、絶対に電子メールや Web サイト、SNS などでインターネット上に発信しないこと。 ※その他詳細は実習要項を参照すること。

備考

実習要項を良く熟読し、実習に参加すること。

新型コロナウイルス感染症などの新興感染症の発生・まん延状況により、実習形式・内容が一部変更となる場合がある。Webclass からのメール受信をよく確認すること。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012105				
科目名	フィジカルアセスメント			科目ID	MN-253600-S
担当教員	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 田中 真琴, 松﨑 政代, 小笹 由香, 川上 明希, 川本 祐子, 矢郷 哲志, 廣山 奈津子, 梅田 亜矢, 荒井 直美[OGATA Yasuko, SASAKI Miki, YUMOTO Yoshie, TANAKA Makoto, MATSUZAKI Masayo, OZASA Yuka, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO Yuko, YAGO Satoshi, HIROYAMA Natsuko, UMEDA Aya, ARAI Naomi]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Physical assessment

【科目責任者】緒方 泰子

主な講義場所

・対面または遠隔授業(同期型または非同期型)で行う。

・講義室 1、実習室 1、2、その他

＊各講義担当者の指示に従うこと

授業の目的、概要等

対象の心身の健康問題・状態を適切に査定し必要な看護を提供することは、看護師に求められる重要な役割の一つである。 解剖学の知識等を基盤として、新生児期、小児期、成人・老年期それぞれの時期における、身体診査技術やアセスメントの視点・考え方を理解すること、新生児から成人・老年期までのフィジカルアセスメントの基本的考え方および基本手技を統合し演習を通じて身につけること、を目的とする。

概要:

対象の健康上の問題を査定・評価するために、身体診査技術(問診・視診・触診・打診・聴診)について学習し演習を行う。授業内容/スケジュールに示されているように、各回の授業内容に応じた事前課題・事後レポート等が課されることがあるので、受講者は、各回の担当教員の指示に従って、事前学習・復習を行い、授業の到達目標を達成できるように取り組む。

授業の到達目標

1)新生児期・小児期・成人期・老年期における、対象の健康障害・機能障害・発達における課題等をアセスメントするための知識について述べることができる。(1～8)

2)解剖学等の知識を基に、新生児期・小児期・成人期・老年期にある対象の身体的・精神的・社会的特徴を視野に入れながら、フィジカルアセスメントの基本的手技を正しく行える。(1～8)

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/19	13:30-15:10	看護学実習室 1	フィジカルアセスメント(1)	・フィジカルアセスメントとは ・成人・老年期のフィジカルアセスメント 1　腹部(消化器)	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 荒井 直美	【到達目標】1)、2) 【学習方法】演習
2	5/19	15:25-17:05	看護学実習室 1	フィジカルアセスメント(2)	・成人・老年期のフィジカルアセスメント 2　頭・頚部	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 荒井 直美	【到達目標】1)、2) 【学習方法】演習
3	5/20	13:30-15:10	看護学実習室 2	フィジカルアセスメント(3)	・成人・老年期のフィジカルアセスメント 3　胸部(循環器,呼吸器)	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 梅田 亜矢	【到達目標】1)、2) 【学習方法】演習
4	5/20	15:25-17:05	看護学実習室 2	フィジカルアセスメント(4)	・成人・老年期のフィジカルアセスメント 4　胸部(循環器,呼吸器)	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 梅田 亜矢	【到達目標】1)、2) 【学習方法】演習
5	6/2	13:30-15:10	看護学実習室 2	フィジカルアセスメント(5)	・小児のフィジカルアセスメント	岡光 基子, 矢郷 哲志	【到達目標】1)、2) 【学習方法】演習
6	6/2	15:25-17:05	看護学実習室 1	フィジカルアセスメント(6)	・成人・老年期のフィジカルアセスメント 5　神経系	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 荒井 直美	【到達目標】1)、2) 【学習方法】演習
7	6/30	13:30-15:10	看護学実習室 1, 看護学実	フィジカルアセスメント(7)	母子のフィジカルアセスメント 1	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】演習

			習室2				
8	6/30	15:25-17:05	看護学実習室1,看護学実習室2	フィジカルアセスメント(8)	母子のフィジカルアセスメント2	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】演習

授業方法

・対面での授業または遠隔授業(同期または非同期)

・講義、演習・グループワーク等のアクティブラーニングを学生自らが行う。

授業内容

授業明細の通り

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

2)授業への参加態度(授業の事前・事後課題の提出等を含む)

3)期末テスト

成績評価の基準

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況(20%)

・出席とは、対面授業への参加や、遠隔授業への参加を指す。(試験の受験資格参照)

・全出席で 20 点満点とする。

2)授業への参加態度(課題の期限内提出等を含む)(20%)

・演習やグループワーク等の実施状況や参加度合いを評価する。

3)期末テスト(60%)

※上記1)～3)の配分を基本に総合的に評価する。授業の事前・事後課題等の提出物や webClass の確認テスト等の期限を守らない場合、減点の対象となる。繰り返し提出期限を過ぎる場合は、成績評価の対象としない。総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

1)授業に関して事前課題が提示される場合があるため、各回の担当教員の指示に従うこと。

2)授業中、講義と演習とが行われるが、新生児期・小児期・成人期・老年期ごとの対象の特徴に応じたフィジカルアセスメントの方法等の知識を理解した上で実技を行うこと。実技では、フィジカルアセスメントの対象が人間(受講者同士等)の場合も、人形に対して行う場合も、対象が人間であると仮定して、必要なコミュニケーションをとり尊厳に配慮しながら行うこと。

3)授業中にミニテストを行う場合があるため、各回の担当教員の指示に従うこと。

4)授業後にリフレクションペーパー等の事後課題の提出を求める場合があるため、各回の担当教員の指示に従うこと。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2／3 以上出席していること。

※出席とは、「対面授業あるいは遠隔授業(同期型)」の場合:①授業の最初から最後まで参加している場合であって、②リフレクションペーパーの提出が必要な講義においてはリフレクションペーパーを提出した場合をいう。「遠隔授業(非同期型)」の場合:WebClass で授業を受講し確認テストが提出された場合であって、②リフレクションペーパーの提出が必要な講義においてはリフレクションペーパーを提出した場合を出席とする。

＊各講義担当者の指示に従うこと

教科書

フィジカルアセスメント完全ガイド／藤崎郁執筆,藤崎, 郁,伴, 信太郎,:学研メディカル秀潤社, 2017

参考書

こどものフィジカル・アセスメント／土井まつ子, 椙山委都子, 仲井美由紀編集,土井, まつ子,椙山, 委都子,仲井, 美由紀,小野田, 千枝子,:金原出版, 2001

フィジカルアセスメントガイドブック : 目と手と耳でここまでわかる／山内豊明 著,山内, 豊明, 1959-,:医学書院, 2011

実践!高齢者のフィジカルアセスメント : 手技と事例で学ぶ : 老化を理解して、異常を見逃さない!／角濱春美著 ; 大西基喜医学監修・著, 角濱, 春美,大西, 基喜,:メディカ出版, 2017

他科目との関連

「解剖学」の復習をしておくこと。

履修上の注意事項

1)演習の際には、実習着を着用すること。 2)授業中の入退室は認めない。 3)原則として欠席は認めない。 4)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 講義資料等を、受講登録者以外に公開することを禁止する。 5)授業日時・内容(順序等)は変更することがある。

備考

・質問等がある場合は、事前にアポイントを取った上で下記の教員を訪問すること。

科目全体:緒方泰子(yogata.gh@t@tmd.ac.jp)

・各教員に質問がある場合等は、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

・2024 年度の授業評価を踏まえ以下の点を改善する。

1. 授業資料・事前課題について予習に取り組めるよう余裕を持って提示する。
2. 服装や必要な物品の指示は、明確に事前伝達を行うよう改善する。
3. 講義の形態(座学、演習)を考慮し、学習が最適に行えるような講義環境を工夫する。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

松﨑 政代:matsuzaki.masayo@tmd.ac.jp

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F

小笹 由香:yuka.bec@tmd.ac.jp

廣山 奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F

佐々木 美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp 3 号館 15F

湯本 淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F

川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

田中 真琴:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

松﨑 政代:毎週火曜日 PM.0:00-PM.4:00 3 号館 19 階 松﨑教授室

川上 明希:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

小笹 由香:平日 10:00-17:00 3 号館 17 階 ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ看護学研究室

事前にメールでアポイント取ってください。

廣山 奈津子:平日 AM10:00 -PM4:00 3 号館 15 階 リプロダクティブヘルス看護学分野 研究室2

メールでアポイントメントを取ってから来てください。

佐々木 美樹:オフィスアワーは特に定めないが, 事前にアポイントをとった上で訪問すること。

湯本 淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

川本 祐子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントを取った上で訪問すること。

時間割番号	012024A				
科目名	成人の健康と看護			科目ID	MN-233700-L
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 佐々木 吉子, 藤原 紀子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO Yuko, SASAKI Yoshiko, FUJIWARA Noriko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Adult Nursing (Principles)

【科目責任者】田中 真琴

主な講義場所

対面授業または Zoom による同期型授業

授業の目的、概要等

成人看護学は, 成人の健康と看護, 成人看護学で構成している。そのうち、成人と健康と看護は成人期にある人々の特徴を理解し、外科的治療および内科的治療を必要とする患者の急性期から回復期、慢性期、終末期にいたる疾病段階にある人々に対して必要な看護の原則について講義、グループワーク、課題発表を通して学ぶ。これを通して、健康障害のある患者の看護を身体系統別に理解する上での基礎的知識を養う。

授業の到達目標

1. 成人期にある人々の特徴を理解できる。
2. 成人期の健康問題とその影響、成人の健康生活を促す看護を理解できる。
3. 各健康レベル(急性期, 回復期・慢性期、終末期など)に応じた患者の特徴および看護を理解できる。
4. 慢性病患者の特徴と看護について理解できる。
5. 手術を受ける患者の心身の特徴と看護について理解できる。
6. 手術看護の役割を理解できる。
7. 術後の心身の変化と看護について理解できる。
8. 救急医療システムと看護の役割について理解できる。
9. がん患者の治療と特徴、看護について理解できる。
10. 退院調整活動に関して理解できる。
11. 終末期にある患者への看護の役割について理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	成人看護学概論(1)	オリエンテーション・成人期の特徴と成人各期の理解	田中 真琴	【到達目標】1,2 【学習方法】講義, グループ討議 【事前, 事後学習】WebClass 事後テスト
2	4/3	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	成人看護学概論(2)	成人の健康問題と健康生活を促す看護	田中 真琴	【到達目標】2,3 【学習方法】講義, グループ討議 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト
3	4/7	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	慢性病患者の看護(1)	慢性病の動向、慢性病患者の特徴の理解	田中 真琴	【到達目標】4 【学習方法】講義, グループ討議 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト
4	4/14	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	慢性病患者の看護(2)	慢性病患者の生活支援方法とQOLについて(消化器疾患を抱える患者をとりあげて)	田中 真琴	【到達目標】4 【学習方法】講義, グループ討議 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト
5	4/25	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	手術患者の看護(1) (総論・術前の看護)	手術を受ける患者の心身の特徴と術前における看護の実際	川上 明希	【到達目標】5 【学習方法】講義, グループ討議 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト

6	5/14	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	慢性病患者の看護(3)	患者理解とセルフマネージメントを支える看護	田中 真琴	【到達目標】4 【学習方法】グループ発表. 講義 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト
7	5/14	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	手術患者の看護(2)(術中の看護)	手術室看護師の役割と看護の実際	川上 明希	【到達目標】6 【学習方法】講義, グループ討議 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト
8	5/27	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	手術患者の看護(3)(術後の看護①)	術後急性期における看護(観察、全人的アセスメント、合併症予防、回復促進のためのケアについて)	川本 祐子	【到達目標】7 【学習方法】講義, グループ討議 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト
9	6/3	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	手術患者の看護(4)(術後の看護②)	術後回復期における看護(後障害への適応に向けた看護の役割と家族支援について)	川本 祐子	【到達目標】7 【学習方法】講義, グループ討議 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト
10	6/10	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	救急看護	本邦における救急医療システムと看護の役割	佐々木 吉子	【到達目標】8 【学習方法】講義 【事前, 事後学習】WebClass 事後レポート
11	6/10	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	がん看護(1)	がん患者を取り巻く諸問題と看護の展望	田中 真琴	【到達目標】9 【学習方法】講義, グループ討議 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト
12	6/20	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	がん看護(2)	がんの治療の特徴(特に化学療法と放射線療法)と治療の伴うさまざまな問題、看護支援について	田中 真琴	【到達目標】8 【学習方法】グループ発表, 講義 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト
13	6/20	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	退院支援(1)	退院調整活動の理解:基礎編	川上 明希	【到達目標】10 【学習方法】講義, グループ討論 【事前, 事後学習】WebClass 事前, 事後テスト
14	6/27	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	退院支援(2)	退院調整活動の実際:応用編	川上 明希	【到達目標】10 【学習方法】講義, グループ討論 【事前, 事後学習】WebClass 事前課題, 事後レポート
15	7/3	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	終末期看護	終末期にある患者や家族の様子や看護支援について	藤原 紀子	【到達目標】11 【学習方法】講義, グループ討論 【事前, 事後学習】WebClass 事後レポート

授業方法

講義、グループワーク、課題発表、講義前後の課題

授業内容

授業明細参照

成績評価の方法

1. 学期末筆記試験
2. 個人レポート

3. 授業中および前後の課題への取り組み（グループワーク、小テスト、授業後レポートの内容など）
4. 授業への出席状況、参加態度
で評価する。
・筆記試験の受験資格は、授業への出席が 3 分の 2 以上である。
・筆記試験の一部に英語の問題を出題する。
・授業に欠席したものは、原則として欠席回の該当課題提出を認めない

成績評価の基準

総合得点が 60 点以上の者を合格とする。
1. 学期末筆記試験（90%）
2. 個人レポート（10%）
3. 授業中および前後の課題への取り組み（減点方式）
4. 授業への出席状況、参加態度（減点方式）
詳細は初回授業で説明する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に教科書等に目を通し、事前課題がある場合は提出すること。

教科書

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学総論（第 16 版）／小松浩子他：医学書院, 2022
臨床外科看護総論　第 12 版／池上, 徹, 消化器外科学,高橋, 則子：医学書院, 2023.1

参考書

周手術期看護論（第 3 版）／雄西智恵美, 秋元典子 編集,：ヌーヴェルヒロカワ, 2014
周術期の臨床判断を磨く : 手術侵襲と生体反応から導く看護／鎌倉やよい, 深田順子 著,：医学書院, 2008
術中/術後の生体反応と急性期看護／竹内, 登美子,竹内登美子編著：医歯薬出版, 2019.8
テーマによる参考図書の紹介

履修上の注意事項

解剖・生理学, 病態学を習得のこと。

備考

・その他
授業日程、内容は変更することがある。その際には授業中または WebClass にて変更内容を周知する。

連絡先（メールアドレス）

田中　真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F
川上　明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp　3 号館 17F
佐々木　吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp　3 号館 19 階
川本　祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

田中　真琴:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
川上　明希:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
佐々木　吉子:平日　AM.9:30-PM.5:30 3 号館 19 階　災害・クリティカルケア看護学分野教授室
川本　祐子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントを取った上で訪問すること。

時間割番号	012025A				
科目名	成人看護学			科目ID	MN-233800-L
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 矢富 有見子, 梅田 亜矢, 花出 正美, 小坂 志保, 植田 満美子, 鵜沢 久美子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO Yuko, Yumiko Yatomi, UMEDA Aya, HANADE Masami, KOSAKA Shiho, UEDA Mamiko, UZAWA Kumiko]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Adult Health Nursing

【科目責任者】田中 真琴

主な講義場所

対面授業, 遠隔授業(Zoom, 非同期型)

授業の目的、概要等

既習の病態学および成人の健康と看護をもとに, 身体系統別の健康障害を有する成人期にある人々を理解し,それらの人々に対しての具体的な看護支援方法を、講義、事例検討、討論等を通して学ぶ。

授業の到達目標

各疾患を抱える患者の観察の視点を捉えて対象が抱える問題を考え, それに対する看護を検討することができる.

1～2 回目:脳神経系に障害のある患者の看護について理解できる

3～4 回目:呼吸器系に障害のある患者の看護について理解できる

5～6 回目:循環器系に障害のある患者の看護について理解できる

7～8 回目:事例患者の観察, アセスメントをとおして患者を包括的に捉え, 患者が抱える問題をグループワークで明らかにする

9 回目:運動器系に障害のある患者の看護について理解できる

10 回目:膠原病・難病患者の看護について理解できる

11～12 回目:腎疾患患者、内分泌・代謝系に障害のある患者の看護について理解できる

13 回目:泌尿器系, 女性生殖器系に障害のある患者の看護について理解できる

14 回目:感覚器系に障害のある患者の看護について理解できる

15 回目:7 回目, 8 回目でのグループワークの成果を発表し, フィードバックを得る

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/3	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	脳神経系障害患者の看護(1)		田中 真琴	【到達目標】1～2 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事前, 事後課題
2	10/3	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	脳神経系障害患者の看護(2)		田中 真琴	【到達目標】1～2 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事前, 事後課題
3	10/10	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	呼吸器系障害患者の看護(1)	(1)基礎編	矢富 有見子	【到達目標】3～4 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事後課題
4	10/10	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	呼吸器系障害患者の看護(2)	(2)実践編	矢富 有見子	【到達目標】3～4 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事後課題
5	10/17	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	循環器系障害患者の看護(1)	(1)急性期看護	梅田 亜矢	【到達目標】5～6 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事後課題
6	10/17	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	循環器系障害患者の看護(2)	(2)回復期・慢性期看護	梅田 亜矢	【到達目標】5～6 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事後課題
7	10/24	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	事例を用いた疾患を抱える患者の理		川上 明希, 田中 真琴	【到達目標】7～8 回目 【学習方法】講義, グループ討論

				解(1)			【事前学習】事前, 事後課題
8	10/24	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	事例を用いた疾患を抱える患者の理解(2)		川上 明希, 田中 真琴	【到達目標】7～8 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事前, 事後課題
9	11/7	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	運動器疾患患者の看護		植田 満美子	【到達目標】9 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事後課題
10	11/7	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	膠原病・難病患者の看護		鵜沢 久美子	【到達目標】10 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事後課題
11	11/14	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	泌尿器系障害患者の看護　女性生殖器系障害患者の看護		川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】13 回目 【学習方法】非同期授業 【事前学習】事前, 事後課題
12	11/14	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	感覚器障害患者の看護		花出 正美	【到達目標】15 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事後課題
13	11/18	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	腎障害患者の看護 内分泌・代謝系障害患者の看護		小坂 志保	【到達目標】11～12 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事後課題
14	11/18	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	腎障害患者の看護 内分泌・代謝系障害患者の看護		小坂 志保	【到達目標】11～12 回目 【学習方法】講義, グループ討論 【事前学習】事後課題
15	11/21	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	事例を用いた疾患を抱える患者の理解(3)		川上 明希, 田中 真琴	【到達目標】14 回目 【学習方法】グループ発表 【事前学習】事後課題

授業方法

講義、グループワーク、講義前後の課題

授業内容

授業明細参照

成績評価の方法

1. 学期末筆記試験
2. 授業中および前後の課題への取り組み(グループワーク、小テスト、授業後レポートの内容など)
3. 授業への出席状況、参加態度

で評価する。

・筆記試験の受験資格は、授業への出席が 3 分の 2 以上である。

・筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

・出席していない回の該当課題の提出は原則認めない。

成績評価の基準

総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

1. 学期末筆記試験(90%)
2. 事例への取組(10%)
3. 授業中および前後の課題への取り組み(減点方式)
4. 授業への出席状況、参加態度(減点方式)

詳細は初回授業で説明する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に参考図書に目を通し、事前課題がある場合は提出すること。

参考書

疾患別看護過程の展開(第 6 版)／石川ふみよ, 高谷真由美監修,石川, ふみよ,高谷, 真由美,:学研メディカル秀潤社, 2020

エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図／山本則子編集,山本, 則子,阿部, 俊子,:中央法規出版, 2014
臨床病態学 : 看護のための／浅野, 嘉延,吉山, 直樹,浅野嘉延, 吉山直樹編:南山堂, 2020.3.
成人看護学総論／小松浩子 [ほか] 著,小松, 浩子,:医学書院, 2018
臨床外科看護総論 第 12 版／池上, 徹, 消化器外科学,高橋, 則子:医学書院, 2023.1
看護がみえる／医療情報科学研究所,医療情報科学研究所 編集:メディックメディア, 2020.6
テーマによる参考図書の紹介

他科目との関連

前期での成人の健康と看護および解剖・生理学, 病態学の授業資料や教科書等を参照し、内容をよく理解しておくこと。

履修上の注意事項

解剖学, 生理学, 病態学, 薬理学との知識を統合させながら, 講義内容の理解に努めること。

備考

その他
授業日程, 内容は変更することがある. 授業中または WebClass にて周知する.

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F
川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F
川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
川上 明希:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
川本 祐子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントを取った上で訪問すること。

時間割番号	012026A				
科目名	心の健康と看護Ⅰ			科目ID	MN-233900-L
担当教員	谷口 麻希, 松長 麻美, 長沼 洋一, 竹内 崇, 田村 赳紘, 三木 崇弘, 治徳 大介, 岡田 幸之, 稲次 基希, 渡辺 純一, 小林 七彩, 塩澤 拓亮, 中村 啓信[TANIGUCHI Maki, MATSUNAGA Asami, NAGANUMA Yoichi, TAKEUCHI Takashi, TAMURA Takehiro, MIKI Takahiro, JITOKU Daisuke, OKADA Takayuki, INAJI Motoki, WATANABE Junichi, KOBAYASHI Nanase, SHIOZAWA Takuma, NAKAMURA Hironobu]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Mental Health and Psychiatric Nursing Ⅰ

【科目責任者】谷口 麻希

主な講義場所

対面授業(保健衛生学講義室1(3 号館 18 階))、WebClass 上での動画講義(オンデマンド)

授業の目的、概要等

精神看護実践の前提となる、精神看護の理論、精神疾患の病態、精神科診断学、治療学等の精神医学・看護の基礎知識を習得する。司法精神医療等、精神医療の関連領域における治療の理論や方法について理解する。精神医療・精神保健福祉における歴史、法律、制度、施策に関する知識を習得し、わが国における課題について考察する。これらの内容を看護学の視点から再考し、看護職の役割や看護援助への活用について考察する。

授業の到達目標

1. 精神看護における心身のアセスメント・ケア、心理社会的療法や家族支援の方法に関する基礎知識を身につける。
2. 精神医療と精神科看護の歴史について理解を深め、わが国の精神保健福祉をめぐる法律、制度、施策の実際や課題について説明できる。
3. 精神的な機能の障害を精神医学的な疾患論、障害学、診断学に基づいて評価する方法、薬物療法について説明できる。
4. 司法精神医学における精神疾患の評価と精神鑑定について学び、司法精神医療の制度や治療について説明できる。
5. 症状や疾患各期における看護援助の特徴や実施方法について説明できる。
6. 精神保健医療チームにおける看護職の役割について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	精神看護とは:理論と実践	精神看護における理論と実践方法(概論)、精神看護における対象理解	谷口 麻希	【到達目標】1【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
2	4/3	15:25-17:05	遠隔授業(非同期型)	精神医療の歴史と精神科看護の歴史と法制度	精神医療の歴史、精神障害者の人権とアドボカシー、精神保健福祉法と関連法規の概要(入院制度を含む)	長沼 洋一	【到達目標】2【学習方法】WebClassでの講義動画視聴、確認テスト、リフレクティブレポートの提出
3	4/10	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	統合失調症の診断と治療	統合失調症の診断と治療	田村 赳紘	【到達目標】3【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
4	4/10	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	気分障害の診断と治療	うつ状態と躁状態、気分障害の症状、診断、治療	小林 七彩	【到達目標】3【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
5	4/17	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	神経症性障害、ストレス関連性障害、身体表現性障害およびパーソナリティ障害の診断と治療	神経症性障害の概念、不安障害、強迫性障害、解離性転換性障害、身体表現性障害/パーソナリティ障害の症状、診断、治療	中村 啓信	【到達目標】3【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
6	4/17	15:25-17:05	保健衛生学科	小児期に発症す	発達障害・素行障害の症	三木 崇弘	【到達目標】3【学習方法】講義、ディ

			講義室1	る行動・情緒障害の診断と治療	状、診断、治療、支援の方法		スカッション 、リフレクティブレポートの提出
7	4/24	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	器質性精神障害の診断と治療	意識障害・せん妄による精神症状、健忘その他の認知障害、身体疾患による精神症状、診断、治療	竹内 崇	【到達目標】3 【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
8	4/24	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	てんかんの診断と治療	てんかん発作の病態と診断、治療、てんかん性精神障害に対する介入	稲次 基希	【到達目標】3 【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
9	5/8	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	物質関連障害および嗜癖性障害群の診断と治療	物質使用障害、ギャンブル障害、ゲーム障害の症状、診断、治療	治徳 大介	【到達目標】3 【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
10	5/8	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	精神科の薬物療法	向精神薬の薬理作用と副作用	田村 赳紘	【到達目標】3 【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
11	5/15	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	司法精神医学・看護	精神障害に起因する司法的問題、精神疾患の評価と精神鑑定の概要、司法精神医療の制度と治療	岡田 幸之	【到達目標】4 【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
12	5/15	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	病態や症状に応じた看護(1)	幻覚・妄想状態、抑うつ・躁状態、自閉・意欲低下・認知機能障害、不安、心的外傷の理解と看護、物質依存・行動嗜癖の理解と看護	松長 麻美	【到達目標】1、5 【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
13	5/29	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	病態や症状に応じた看護(2)	身体的な訴えのアセスメントと看護、服薬指導と副作用のアセスメントと看護、自傷・自殺に対する看護	塩澤 拓亮	【到達目標】1、5 【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
14	5/29	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	病期に応じた精神科看護実践	急性期・回復期・慢性期における看護援助、行動制限のあり方および実施方法	渡辺 純一	【到達目標】5 【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出
15	6/5	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	看護と心理社会的アプローチ	心理社会的療法(心理教育、認知行動療法、SSTなど)の理論と方法	松長 麻美	【到達目標】6 【学習方法】講義、ディスカッション 、リフレクティブレポートの提出

授業方法

授業は以下の方法で行う。

講義:講義は対面授業とオンデマンドの動画講義(第 2 回目)により実施する。様々な精神疾患、精神障害、それらへの看護ケアに関する内容をオムニバス形式で取り上げる。講義資料は、講義前に Webclass にて配布するので、各自手元に用意すること。

授業中のグループワーク:実践的な内容について、グループワークを行うことがある。

確認テスト:オンデマンドの講義については、Webclass 上での動画講義受講後、Webclass 上で確認テストを実施する。動画を最後まで視聴した上で、確認テストを完了した者を出席とみなす。

リフレクティブレポート:各回の授業終了後、授業で学んだことや感想等を WebClass の指定の場所に提出すること。リフレクティブレポートに対して、WebClass にてコメントを掲示することがある。

授業中、教員と学生との間でのディスカッション、グループワーク等により、アクティブラーニングを実施する。

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

次の 3 つの方法により評価する。

1.筆記試験(60%):授業で学習した重要な事項について選択式問題形式で出題する。授業で取り上げた内容に関する過去の看護師国家試験問題についても、出題範囲に含まれる。筆記試験の成績は、例えば筆記試験(100 点満点)の結果が 70 点である場合、その得点の 60%である、60%×70 点= 42 点が成績となる。

2.授業への参加状況(20%):出席、授業中の質問により総合的に評価する。オンデマンド講義の場合は、確認テストへの回答をもって出席とする。

3.リフレクティブレポート(20%):レポート提出状況、レポートの内容により評価する(最大 300 字)。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

教科書の該当箇所について予習をして臨むこと。既習の関連する他科目(主に薬理学)の授業を復習しておくこと。

試験の受験資格

授業の参加(2/3 以上)を必要とする。オンデマンド講義の場合は、動画の視聴と確認テストの両方を持って出席とする。

遅刻および早退は 2 回で欠席 1 回とカウントする。なお、講義時間の 2/3 以上出席していない場合は欠席とみなす。

教科書

精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア 改訂第3版／萱間真美, 稲垣中 編集:南江堂, 2022.1

精神看護学Ⅱ 地域・臨床で活かすケア 改訂第3版／萱間, 真美, 196 萱間真美, 稲垣中 編集:南江堂, 2022.1

病態・治療論[12] 精神疾患(改訂第 2 版)／加藤温, 森真喜子 編集:南光堂, 2024

参考書

授業内で適宜提示する。

他科目との関連

心の健康と看護Ⅱ、精神看護学演習、精神看護学実習と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の心の健康と看護Ⅰのコースに適宜資料をアップするので参照すること。講義中にスクリーンの撮影をするのを禁止する。オンデマンド講義の動画、講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

・臨床現場での具体的事例を提示しつつ、学生の理解を促進できるように授業を構成する。

・精神医学に関する講義の前後(第1回、第 12 回、第 13 回)に、精神障害や薬物療法に関する概要を整理するなどして、学生の理解を促す。なお、当事者とのコミュニケーション等については、精神看護学演習にて実践的に学習する。

・リフレクティブレポートは、講義内容を自らの経験や考えに関連づけ、実践的な理解や自己洞察を深めることを目的としている。締め切りは、講義日の 23:59 までとする。締め切りを過ぎたレポートは、原則受け付けないので注意すること。

連絡先(メールアドレス)

谷口 麻希:taniguchi.maki@tmd.ac.jp

塩澤 拓亮:shiozawa.takuma@tmd.ac.jp

松長 麻美:asamim.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

谷口 麻希:毎週水曜日 AM9:30-10:30 医学部3号館 18 階 精神保健看護学分野 研究室2

塩澤 拓亮:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください。(3号館19階 未来創成ナーシングリサーチセンター)

松長 麻美:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 15 階精神保健看護学分野研究室)。

時間割番号	012037B				
科目名	心の健康と看護Ⅱ			科目ID	MN-234600-L
担当教員	谷口 麻希, 松長 麻美, 塩澤 拓亮, 松岡 裕美, 金子 慈史, 宮本 有紀, 山口 創生, 松本 俊彦[TANIGUCHI Maki, MATSUNAGA Asami, SHIOZAWA Takuma, MATSUOKA Hiromi, KANEKO Yoshifumi, MIYAMOTO Yuki, YAMAGUCHI Sosei, MATSUMOTO Toshihiko]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Mental Health and Psychiatric Nursing Ⅱ

【科目責任者】 谷口 麻希

主な講義場所　対面授業(医学部 3 号館 7 階 保健衛生学講義室 4)

授業の目的、概要等

様々な精神的健康問題に関する社会状況と支援方法について理解する。地域で生活する精神障害を有する人の健康や生活の質の向上を支援するために必要な社会資源に関する基礎知識を習得する。精神保健医療福祉システムの中で看護職が担う役割について考察する。

授業の到達目標

1. 地域精神保健福祉の状況や地域で生活する精神障害者に対する具体的な支援方法について説明できる。
2. リカバリーを促進する支援のあり方について説明できる。
1) 地域精神保健をめぐる社会状況や精神障害者の地域生活について理解を深め、退院促進や地域定着支援について説明できる。地域における多職種連携による支援の実際と、看護師が行う支援と役割について説明できる。
2) 精神疾患の早期支援について説明できる。
3) リエゾン精神看護について学び、精神看護専門看護師の役割やリエゾンチーム医療の活動内容について説明できる。
4) 精神科デイケアにおける援助、就労支援、様々な社会資源について説明できる。
5) トラウマが患者の反応や患者-看護師関係に与える影響について理解し、トラウマに配慮した看護ケアの方法について説明することができる。
6) 精神科訪問看護、精神科アウトリーチについて理解し、看護師の役割や支援内容について説明できる。
7) スティグマの定義やその影響、課題について理解し、スティグマの影響を考慮した支援について説明できる。
8) アディクションや自傷について理解を深め、実際の支援について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/21	13:30-15:10	共用講義室 1	地域精神保健看護総論	地域精神保健看護とは、地域包括ケア、精神障害と生活障害、地域支援をめぐる課題、多職種連携	谷口 麻希	【到達目標】1, 2-1) 【学習方法】講義、ディスカッション、リフレクティブレポートの提出
2	11/21	15:25-17:05	共用講義室 1	精神科早期支援	早期介入、Youth Mental Health, メンタルヘルスリテラシー	塩澤 拓亮	【到達目標】1, 2-2) 【学習方法】講義、ディスカッション、リフレクティブレポートの提出
3	12/5	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	リエゾン精神医学・看護	リエゾン精神医学・看護の概要、身体疾患患者における精神的な問題と介入、リエゾン精神看護専門看護師の役割	松岡 裕美	【到達目標】1, 2-3) 【学習方法】講義、ディスカッション、リフレクティブレポートの提出
4	12/5	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 4	社会復帰支援	社会資源、精神科デイケアの理念と活動、就労支援	金子 慈史	【到達目標】1, 2-4) 【学習方法】講義、ディスカッション、リフレクティブレポートの提出
5	12/12	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	看護におけるトラウマインフォームドケア	トラウマインフォームドケアの定義、トラウマに配慮した看護ケア	宮本 有紀	【到達目標】1, 2-5) 【学習方法】講義、ディスカッション、リフレクティブレポートの提出
6	12/12	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 4	精神科アウトリーチによる支援の実際	精神科訪問看護、精神科アウトリーチにおける看護師の支援の実際と役割	松長 麻美	【到達目標】1, 2-6) 【学習方法】講義、ディスカッション、リフレクティブレポートの提出

7	12/19	13:30-15:10	保健衛生学科講義室4	精神疾患とスティグマ	スティグマの定義、スティグマの構造およびその影響、アンチスティグマ	山口 創生	【到達目標】1, 2-7) 【学習方法】講義、ディスカッション、リフレクティブレポートの提出
8	12/19	15:25-17:05	保健衛生学科講義室4	アディクションの理解と支援	アディクションの要因、支援の実際(治療プログラム、自助グループなど)	松本 俊彦	【到達目標】1, 2-8) 【学習方法】講義、ディスカッション、リフレクティブレポートの提出

授業方法　授業は以下の方法で行う。

1. 講義:対面授業とする。様々な精神的健康問題に関する内容をオムニバス形式で取り上げる。講義資料は、講義前に Webclass にて配布するので、各自手元に用意すること。授業中、教員と学生との間でのディスカッション、グループワークにより、アクティブラーニングを実施する。

2. リフレクティブレポート:各回の授業終了後、授業で学んだことや感想を WebClass の指定の場所に提出すること。(質問は、基本的に講義中に行うことが望ましい。)

授業内容　別表参照

成績評価の方法

次の 3 つの方法により評価する。

1.筆記試験(60%):授業で学習した重要な事項について選択式問題形式で出題する。授業で取り上げた内容に関する過去の看護師国家試験問題についても、出題範囲に含まれる。筆記試験の成績は、例えば筆記試験(100 点満点)の結果が 70 点である場合、その得点の 60%である、60%×70 点= 42 点が成績となる。

2.授業への参加状況(20%):出席、授業中の質問により総合的に評価する。オンデマンド講義の場合は、確認テストへの回答をもって出席とする。

3.リフレクティブレポート(20%):レポート提出状況、レポートの内容により評価する。

成績評価の基準　上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

教科書の該当箇所について予習をして臨むこと。既習の関連する他科目(主に心の健康と看護 I)の授業を復習しておくこと。精神障害を有する人の理解を深めるために、体験記を読んでおくことを奨励する。

試験の受験資格

授業の参加(2/3 以上)を必要とする。オンデマンド講義の場合は、動画の視聴と確認テストの両方を持って出席とする。

遅刻および早退は 2 回で欠席 1 回とカウントする。なお、講義時間の 2/3 以上出席していない場合は欠席とみなす。

教科書

精神看護学 I こころの健康と地域包括ケア改訂第 3 版／萱間真美, 稲垣中 編集:南江堂, 2022.1

精神看護学 II 地域・臨床で活かすケア改訂第 3 版／萱間真美, 稲垣中 編集:南江堂, 2022.1

参考書　授業内で適宜提示する。

他科目との関連

心の健康と看護 I で学習した精神疾患の症状や治療方法に関する知識を基に、さまざまな場における精神保健看護の支援のあり方について学ぶ。また、実際の支援計画の立案や実践については、精神看護学演習、精神看護学実習と関連する。

履修上の注意事項

WebClass の心の健康と看護 II のコースに適宜資料をアップするので参照すること。 講義資料、参考資料などは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。また、講義中にスクリーン等の撮影をすることはできない。

備考

リフレクティブレポートは、講義内容を自らの経験や考えに関連づけ、実践的な理解や自己洞察を深めることを目的としている。締め切りは、講義日の 23:59 までとする。締め切りを過ぎたレポートは、原則受け付けないので注意すること。

連絡先(メールアドレス)

谷口 麻希:taniguchi.maki@tmd.ac.jp

塩澤 拓亮:shiozawa.takuma@tmd.ac.jp

松長 麻美:asamim.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

谷口 麻希:毎週水曜日 AM9:30-10:30 医学部3号館 18 階 精神保健看護学分野 研究室2

塩澤 拓亮:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください。(3号館19階 未来創成ナーシングリサーチセンター)

松長 麻美:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 15 階精神保健看護学分野研究室)。

時間割番号	012027A				
科目名	小児の健康と看護			科目ID	MN-234000-L
担当教員	佐藤 伊織, 矢郷 哲志, 小出 由紀子[SATO Iori, YAGO Satoshi, KOIDE Yukiko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Child life and Nursing

【科目責任者】 佐藤 伊織

主な講義場所

保健衛生学講義室1(3号館18階)または Zoom

授業の目的、概要等

小児は常に成長・発達過程にある存在であり, 大人とは質的に異なる面がある。小児の特徴を生涯発達(life span development)の視点から理解し, また, 学校保健の視点から成長期にある幼児, 児童, 生徒, 学生の健康の保持増進をはかるための, 学校教育および学校保健管理活動について, 講義, 討論, 演習などを通して学習する。

授業の到達目標

到達目標は、以下のとおりである。

1)子ども観の変遷, 小児保健統計, ヘルスプロモーションの概念について説明できる

2)小児看護で用いられる理論について説明できる

3)乳児期の形態, 運動, 精神的発達、生活について説明できる

4)幼児期の形態, 運動, 精神的発達, 生活について説明できる

5)学校保健の目的, 対象, 内容, 方法, 学校保健法について説明できる

6)学校保健管理の実際(健康診断・相談, 生活・環境管理, 学校安全)について説明できる

7)学童期の形態, 運動, 精神的発達, 生活について説明できる

8)思春期の形態, 運動, 精神的発達, 生活について説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/24	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	子どもとは, 小児の健康	子ども観の変遷, 小児保健統計, ヘルスプロモーション	佐藤 伊織	【到達目標】1) 【学習方法】アクティブラーニング:ディスカッション, リアクションペーパー 【事前学習】教科書の熟読:第1章 小児看護学で用いられる概念と理論
2	4/24	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	小児看護で用いられる理論	エリクソンの自我発達理論, ボウルヴィのアタッチメント理論など	矢郷 哲志	【到達目標】2) 【学習方法】アクティブラーニング:ディスカッション, リアクションペーパー 【事前学習】教科書の「小児看護で用いられる理論」に関連する箇所を熟読する
3	5/8	08:50-10:30	保健衛生学科講義室1	乳児期の成長・発達	乳児期の運動・精神的発達, 日常生活, 健康問題の特徴	矢郷 哲志	【到達目標】3) 【学習方法】アクティブラーニング:ディスカッション, リアクションペーパー 【事前学習】WebClass 動画視聴／教科書の熟読:第2章 子どもの成長・発達と看護 第1, 2節
4	5/8	10:45-12:25	保健衛生学科講義室1	幼児期の成長・発達	幼児期の運動・精神的発達, 日常生活, 健康問題の特徴	佐藤 伊織	【到達目標】4) 【学習方法】アクティブラーニング:ディスカッション, リアクションペーパー 【事前学習】教科書の熟読:第2章 子どもの成長・発達と看護 第3節
5	5/30	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	学校保健総論	学校保健の目的, 対象, 内容,	小出 由紀子	【到達目標】5) 【学習方法】アクティブラーニング:ディスカッ

					方法, 学校保健法		ション, 演習(ロールプレイ), リアクションペーパー 【事前学習】教科書の熟読:第2章 子どもの成長・発達と看護 第4節
6	5/30	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	学校保健管理の実際	健康診断・相談, 生活・環境管理, 学校安全	小出 由紀子	【到達目標】6) 【学習方法】アクティブラーニング:ディスカッション, 演習(ロールプレイ), リアクションペーパー 【事前学習】教科書の熟読:第2章 子どもの成長・発達と看護 第4節
7	6/6	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	学童期の成長・発達	学童期の運動・精神的発達, 日常生活, 健康問題の特徴	矢郷 哲志	【到達目標】7) 【学習方法】アクティブラーニング:ディスカッション, リアクションペーパー 【事前学習】教科書の熟読:第2章 子どもの成長・発達と看護 第4節
8	6/6	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	思春期の成長・発達	思春期の運動・精神的発達, 日常生活, 健康問題の特徴	佐藤 伊織	【到達目標】8) 【学習方法】アクティブラーニング:ディスカッション, リアクションペーパー 【事前学習】教科書の熟読:第2章 子どもの成長・発達と看護 第5節

授業方法

子どもの成長発達の理解, 子どもをとりまく環境と生活の理解と支援を学ぶために, また, 学校保健の理念と実践, 技法を学ぶため, 以下の講義内容を編成する。

講義に加え, グループディスカッションや演習などアクティブラーニングを行う。

講義毎に, 講義内容に関する質問や疑問, 学び, 感想などをリアクションペーパーに記載し、講義終了後に WebClass の指示された箇所に提出する(オンライン講義の場合には、Zoom のチャット機能を用いる)。リアクションペーパーに記載された質問に関しては、講義中または WebClass において、個別またはクラス全体に対して回答する。

講義資料は、講義開始前に WebClass 上に掲載するので講義前に必ず目を通しておくこと。閲覧期限を設定するため期限内に必ず確認すること。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容を示してある。

成績評価の方法

小児の健康と看護の評価は、以下の 4 項目によって総合的に行う。

1)定期試験(70%):全体で 6 割以上の得点を必須とする

2)課題レポート(10%)

3)リアクションペーパー(10%)

4)講義への参加状況(10%)

原則として、2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は, 受験資格を失うので注意すること。尚, 試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は, 授業の到達目標に達しているかを評価し, そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

本科目の到達目標, 授業内容を理解し, 事前学習を行った上で講義に臨むことが求められる。講義資料, 事前課題, 学習に必要な情報を WebClass に掲載するので, 各自ダウンロード等をして準備し, 事前に目を通しておくこと。初回の授業でレポート課題を提示する。事前課題がある場合にはそれに従うこと。

試験の受験資格

次のすべてが、前期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

・授業日程の 3 分の 2 以上の出席が認められたもの
・講義への参加状況は、リアクションペーパーで記載された内容で確認する
・遠隔講義（同期型）の場合の出席は、講義開始時から終了時まで参加しているログが確認でき、講義中のグループワークへの参加が確認できたもの
・課された課題を提示された期限までに提出したもの
特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、講義に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに講義の始まる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、緊急の場合には電話でも良いが、その後、メールにて改めて連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。
これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1):小児の発達と看護 第 7 版／中野綾美編:メディカ出版, 2023
ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2):小児看護技術 第 5 版／中野 綾美編:メディカ出版, 2023

他科目との関連

「小児の健康と看護」は，各発達段階の形態的，機能的，心理・社会的特徴について学習するため，「解剖学」，「生理学」など他の専門科目と密接な関りを持つ。

履修上の注意事項

WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。

備考

2024 年度の授業評価を踏まえ，アクティブラーニングのさらなる活用，リアクションペーパーを記載する時間の確保，質問への丁寧な対応などを継続する。

連絡先（メールアドレス）

佐藤 伊織:sato.iori@tmd.ac.jp
矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F

オフィスアワー

佐藤 伊織:平日（月～金）9:10～16:45 3 号館 19 階教授室

時間割番号	012028A				
科目名	小児看護学Ⅰ			科目ID	MN-232400-L
担当教員	佐藤 伊織, 矢郷 哲志, 岡本 健太郎, 小野 真, 梶原 道子, 石井 卓, 村田 知佐恵[SATO Iori, YAGO Satoshi, OKAMOTO Kentaro, ONO Makoto, KAJIWARA Michiko, ISHII Taku, MURATA Chisae]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Pediatric Nursing Ⅰ

【科目責任者】 佐藤 伊織

主な講義場所

保健衛生学講義室4(3号館7階), 講義室1(3号館18階)又は Zoom

授業の目的、概要等

多様化しつつある子どもの環境および生活の中で, 小児看護は発達と健康を支援するための知識・技術が幅広く求められている。小児特有の疾患を理解し, 必要な看護ケアと技術を講義, 討論などを通して学習する。

授業の到達目標

到達目標は、以下のとおりである。

1)小児看護の特徴, 医療システム, 病気・入院による子どもと家族の反応について説明できる

2)小児の呼吸器疾患, 循環器疾患の病態と治療について説明できる

3)小児の外科系疾患, 消化器疾患の病態と治療について説明できる

4)周手術期にある小児と家族への看護の要点について説明できる

5)小児の血液・腫瘍性疾患, アレルギー疾患, 免疫疾患の病態と治療について説明できる

6)小児の内分泌・代謝性疾患, 運動器疾患の病態と治療について説明できる

7)1型糖尿病, 慢性腎臓病をもつ小児の生活, 看護の要点について説明できる

8)小児がんをもつ小児の生活, 看護の要点について説明できる, 小児のエンド・オブ・ライフケアについて説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/30	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	小児看護の対象と役割	小児看護とは(小児と医療システム)／小児を取り巻く環境Ⅰ:病気・ン入院による子どもと家族の反応	佐藤 伊織	【到達目標】1) 【学習方法】アクティブラーニング:討論, リアクションペーパー 【事前・事後課題】教科書の熟読:小児の発達と看護 第3章 健康障害をもつ子ども・家族への看護 第1節
2	9/30	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	小児疾患論(1)	呼吸器疾患, 循環器疾患, 感染症	石井 卓	【到達目標】2) 【学習方法】アクティブラーニング:討論, リアクションペーパー 【事前・事後課題】教科書の熟読:小児臨床看護各論 第6, 7, 8 章
3	10/7	13:30-15:10	保健衛生学科講義室4	小児疾患論(2)	小児外科, 消化器疾患	岡本 健太郎	【到達目標】3) 【学習方法】アクティブラーニング:討論, リアクションペーパー 【事前・事後課題】教科書の熟読:小児臨床看護各論 第9章
4	10/7	15:25-17:05	保健衛生学科講義室4	急性疾患をもつ小児の看護	周手術期にある小児と家族の看護(外科系疾患)		【到達目標】4) 【学習方法】アクティブラーニング:討論, リアクションペーパー 【事前・事後課題】教科書の熟読:小児の発達と看護 第3章 健康障害をもつ子ども・家族への看護 第6節

5	11/13	13:30-15:10	保健衛生学科講義室4	小児疾患論(4)	血液・腫瘍性疾患, アレルギー疾患, 免疫疾患	梶原 道子	【到達目標】5) 【学習方法】アクティブラーニング:討論, リアクションペーパー 【事前・事後課題】教科書の熟読:小児臨床看護各論 第5, 10, 11章
6	11/13	15:25-17:05	保健衛生学科講義室4	小児疾患論(3)	内分泌・代謝性疾患, 神経, 運動器疾患	小野 真	【到達目標】6) 【学習方法】アクティブラーニング:討論, リアクションペーパー 【事前・事後課題】教科書の熟読:小児臨床看護各論 第3, 4, 14章
7	11/20	13:30-15:10	保健衛生学科講義室1	慢性疾患をもつ小児の看護(1)	1型糖尿病, 慢性腎臓病をもつ小児と家族の看護	矢郷 哲志	【到達目標】7) 【学習方法】アクティブラーニング:討論, リアクションペーパー, 動画視聴 【事前・事後課題】教科書の熟読:小児臨床看護各論 第3, 12章
8	11/20	15:25-17:05	保健衛生学科講義室1	慢性疾患をもつ小児の看護(2)	小児がんをもつ小児と家族の看護, エンド オブ ライフケア	佐藤 伊織 矢郷 哲志	【到達目標】8) 【学習方法】アクティブラーニング:討論, リアクションペーパー, 動画視聴 【事前・事後課題】教科書の熟読:小児臨床看護各論 第11章

授業方法

小児特有の疾患を理解し, 看護実践に必要な知識とスキルを習得するために, 以下の講義内容を編成する。
講義に加え, グループディスカッションや演習などアクティブラーニングを行う。
講義毎に, 講義内容に関する質問や疑問, 学び, 感想などをリアクションペーパーに記載し、講義終了後に WebClass の指示された箇所に提出する(オンライン講義の場合には、Zoom のチャット機能を用いる)。リアクションペーパーに記載された質問に関しては、講義中または WebClass において、個別またはクラス全体に対して回答する。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容を示してある。

成績評価の方法

小児看護学Ⅰの評価は, 以下の4項目によって総合的に行う。
1)定期試験(80%):全体で6割以上の得点を必須とする
2)リアクションペーパー(10%)
3)授業への参加状況(10%)
原則として, 2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は, 受験資格を失うので注意すること。尚, 試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は, 授業の到達目標に達しているかを評価し, そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

本科目の到達目標, 授業内容を理解し, 事前学習を行った上で講義に臨むことが求められる。講義資料, 事前課題, 学習に必要な情報を WebClass に掲載するので, 各自ダウンロード等をして準備し, 事前に目を通しておくこと。事前課題がある場合にはそれに従うこと。

試験の受験資格

次のすべてが、前期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。
・授業日程の3分の2以上の出席が認められたもの
・講義への参加状況は、リアクションペーパーで記載された内容で確認する
・遠隔講義(同期型)の場合の出席は、講義開始時から終了時まで参加しているログが確認でき、講義中のグループワークへの参加が確認できたもの
・課された課題を提示された期限までに提出したもの
特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、講義に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過

ぎる前、ならびに講義の始まる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、緊急の場合には電話でも良いが、その後、メールにて改めて連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。
これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 (第 14 版)／奈良間 美保他:医学書院, 2020
ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1):小児の発達と看護 第 7 版／中野綾美編:メディカ出版, 2023

他科目との関連

「小児看護学Ⅰ」は,「小児の健康と看護」で学んだ健康な小児の理解を基に, 小児の疾患, 小児看護の各論について学習する。「解剖学」「生理学」「小児の健康と看護」で学習した小児の形態的, 機能的, 心理・社会的特徴について知識を習得していることが必要である。

履修上の注意事項

WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。

備考

2024 年度の授業評価を踏まえ, アクティブラーニングのさらなる活用, リアクションペーパーを記載する時間の確保, 質問への丁寧な対応などを継続していく。

連絡先(メールアドレス)

佐藤 伊織:sato.iori@tmd.ac.jp
矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F

オフィスアワー

佐藤 伊織:平日(月～金)9:10～16:45 3 号館 19 階教授室

時間割番号	012360				
科目名	公衆衛生看護学Ⅰ			科目ID	MN-234700-L
担当教員	月野木 ルミ, 森田 久美子, 鹿島田 祐子, 鹿島田 祐子[TSUKINOKI Rumi, MORITA Kumiko, KASHIMADA Yuko, KASHIMADA Yuko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Community Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】:月野木 ルミ

主な講義場所

・保健衛生学講義室 1(3 号館 18 階)

・遠隔授業(Zoom 同期型)ほか

授業の目的、概要等

公衆衛生看護学Ⅰは, 人々の健康課題やそれに関連する生活上の課題を, 総合的に達成し, 解決するための基盤となるものである。地域看護・公衆衛生看護は, 地域の健康課題の把握に基づき, 家庭や地域社会で生活する人々を対象とし, 健康の保持・増進, 疾病の予防, 健康回復と悪化の予防, リハビリテーションなど地域における活動の基盤となる。現在行われている地域看護・公衆衛生看護に関係する諸制度を, 歴史や実際の活動の学習を通して考える。地域の特性を把握した上で, ライフサイクル, 健康レベル, 疾病のプロセスに合わせたセルフケアに基づく, 看護の方法の選択と, 諸機関との協働で組織的に展開するための活動についてグループワークなどを活用したアクティブラーニングを含む一連の講義から習得する。

授業の到達目標

1)「1～8 回」地域看護・公衆衛生看護活動の目的, 活動の成立要件, 活動のすすめ方の基本的なプロセスを理解する。

2)「1～8 回」ヘルスケアシステムにおける地域看護・公衆衛生看護の機能を理解する。

3)「5～6 回」地域看護・公衆衛生看護活動の法律・歴史を理解し, 今後の活動について考えられる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/8	13:30-17:05	保健衛生学科講義室 1	公衆衛生看護学Ⅰ(総論)	地域看護・公衆衛生看護の定義と目的、方法	月野木 ルミ	【到達目標】1)、2) 【学習方法】対面講義 【その他】事後課題レポート
3	4/15	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 1	公衆衛生看護学Ⅰ(総論)	市町村における保健師活動	乾 愛	【到達目標】1)、2) 【学習方法】遠隔講義 【その他】事前学習(教科書精読)他
4	4/15	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 1	公衆衛生看護学Ⅰ(総論)	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開		【到達目標】1)、2) 【学習方法】遠隔講義、課題発表、グループ討論、成果共有 【その他】小レポート
5-6	4/22	13:30-17:05	保健衛生学科講義室 1	公衆衛生看護学Ⅰ(総論)	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田 久美子	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】対面講義 【その他】事前学習(教科書他精読)他
7-8	5/13	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	公衆衛生看護学Ⅰ(総論)	地域保健・福祉行政と看護活動の展開	月野木 ルミ, 鹿島田 祐子	【到達目標】1)、2) 【学習方法】遠隔講義、課題発表、グループ討論、グループワーク 【その他】課題レポート

授業方法

講義形式の授業に加え、グループワーク、グループ討論などのアクティブラーニングを取り入れるほか、事例や統計資料を活用した学習展開を学生が主体的に行う。

授業内容

授業は以下の方法で行う。

1.講義:事前または講義開始時に示す資料を基づく講義(対面・遠隔同期型)を行う。

2.グループワーク:グループに分かれ事前または授業中に示す課題について討議し、その結果を学生間で共有する。また学習成果をまとめて、個人、グループ単位で提出する。
3.課題レポート:事前に示す課題について、資料収集・整理の上、考察を加え提出する。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。
1)出席状況
・対面授業への出欠、Zoom ログイン記録から確認する参加状況。
2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度
・授業中の取り組みや反応を評価するため、原則 Zoom のカメラはオンとする。
・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加状況を評価する。
3)課題レポート
・レポートの期限内提出状況・内容により評価する。課題提出は、期限以降は受け付けない
4)定期試験 3　※教科書や配布資料等に記載された英語(単語や文章)、授業内容に関連する過去の国家試験問題も出題範囲とする。

成績評価の基準

1)出席状況(遅刻、欠席は減点)
2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度(10%)
3)課題レポート(20%)
4)期末テスト(70%)
上記 1)～4)の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う内容について教科書や参考書の当該箇所や資料を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて資料などを用いて振り返ることが望ましい。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2／3 以上出席していること。

教科書

公衆衛生看護学／和泉, 京子,上野, 昌江,和泉京子, 上野昌江 編集:中央法規出版, 2025.1
(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第 1 巻 地域看護学概論／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2007
(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第 3 巻 ヘルスプロモーションの展開／清水洋子他監修:丸善出版株式会社, 2007
(DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2014

参考書

国民衛生の動向 2024/2025(第 71 巻第 9 号)／厚生労働統計協会／編集,:厚生労働統計協会, 2024
最新公衆衛生看護学 第3版／宮崎, 美砂子,北山, 三津子,春山, 早苗,田村, 須賀子,宮﨑美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子 編集:日本看護協会出版会, 2024.2
新版 保健師業務要覧 第 4 版 2024 年版／井伊, 久美子,勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951-,井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編:日本看護協会出版会, 2024.2
実践ヘルスプロモーション:precede-proceed モデルによる企画と評価／ローレンス・W.グリーン、マーシャル・W.クロイター 著、 神馬征峰 訳:医学書院, 2005
公衆衛生看護学概論 第 6 版 (標準保健師講座)／標, 美奈子,:医学書院, 2022
最新保健学講座 1 公衆衛生看護学概論／金川克子 編:メヂカルフレンド社, 2015
衛生行政大要 改訂第 24 版:日本公衆衛生協会, 2016
地域看護学／福島道子 著,福島, 道子,:オーム社, 2007
地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド : 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案／佐伯和子編著,佐伯, 和子,:医歯薬出版, 2018
公衆衛生看護学／上野, 昌江,和泉, 京子,上野昌江, 和泉京子 編集:中央法規出版, 2021.12

他科目との関連

公衆衛生看護学Ⅰは, 基礎看護学や臨床看護学の各科目との関連領域でもあり両者の相違や関連も明らかにする。また、地域保健看護学Ⅱ、Ⅲ、演習、実習の基盤となる科目である。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示

に従い確認すること。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。
備考 2024 年度の科目評価において、対面でのディスカッションの希望があったため、対面学習を増やした。また保健師の活動の実際としてより一般的な活動から学ぶことができるよう、授業内容を再構成した。
連絡先(メールアドレス) 月野木 ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月野木 ルミ:メールにてアポイントを取ること。 3 号館 19 階

時間割番号	012029A				
科目名	在宅看護学Ⅰ			科目ID	MN-234100-L
担当教員	福井 小紀子, 菅野 雄介, 中野 眞樹子, 谷口 由紀子, 福田 裕子, 廣岡 佳代, 坂野 朋未, 増田 翼[FUKUI Sakiko, KANNO Yusuke, NAKANO Makiko, TANIGUCHI Yukiko, FUKUDA Yuko, HIROOKA Kayo, SAKANO Tomomi, MASUDA Tsubasa]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Home Care Nursing Ⅰ

【科目責任者】福井 小紀子

主な講義場所

講義室 4

授業の目的、概要等

地域・在宅看護における対象と基盤となる概念、在宅療養者の病期や症状、暮らし方に応じて展開する在宅看護実践、地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置付けと役割について理解する。

授業の到達目標

①地域・在宅看護における基盤となる概念や制度、サービス体系について説明できる。

②地域包括ケアシステムにおける多職種連携について説明できる。

③地域在宅看護における安全と健康危機管理について説明できる。

④療養の場の移行について理解し、地域・在宅看護の視点で説明できる。

⑤成人または小児の在宅療養者の病期や疾患、治療などの特徴を理解し、地域・在宅看護の視点で説明できる。

⑥在宅療養者の家族の健康課題について理解し、地域・在宅看護の視点で説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/14	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	在宅看護学Ⅰ	総論_地域・在宅看護における基盤となる概念	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】① 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート
2	10/14	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 4	在宅看護学Ⅰ	総論_地域・在宅看護実践をめぐる制度の概要	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】① 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート
3	10/20	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 4	在宅看護学Ⅰ	総論_在宅療養者を取り巻く環境の理解と健康課題	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】①② 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート
4	10/20	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 4	在宅看護学Ⅰ	総論_地域ケアシステムにおける多職種連携	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】①② 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート
5	10/27	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 4	在宅看護学Ⅰ	各論_地域・在宅看護における サービス体系の理解(看護小規模多機能型居宅介護等)	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 福田 裕子	【到達目標】④ 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート
6	10/27	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 4	在宅看護学Ⅰ	各論_在宅療養者のいる家族の理解と健康課題	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】⑥ 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート
7	11/10	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 4	在宅看護学Ⅰ	各論_病期に応じた在宅療養者への看護(慢性期・高齢者)	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】⑤ 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート
8	11/10	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 4	在宅看護学Ⅰ	各論_病期に応じた在宅療養者への看護(終末期)	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】⑤ 【学習方法】講義 【事後学習】リフレクションシート

9	11/17	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	各論 症状・疾患・治療に応じた地域・在宅看護(がん、薬物療法、手術療法、放射線療法)	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】⑤ 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート
10	11/17	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	各論 症状・疾患・治療に応じた地域・在宅看護(精神疾患)	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 中野 眞樹子	【到達目標】⑤ 【学習方法】講義 【事後学習】リフレクションシート
11	11/17	13:30-15:10	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	各論 症状・疾患・治療に応じた地域・在宅看護(医療的ケア児)	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 谷口 由紀子	【到達目標】⑤ 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート
12	12/1	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	各論 在宅療養生活を支える看護(摂食嚥下、口腔ケア等)	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 増田 翼	【到達目標】⑤ 【学習方法】講義 【事後学習】リフレクションシート
13	12/1	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	各論 症状・疾患・治療に応じた地域・在宅看護(心不全・呼吸不全)	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】⑤ 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート
14	12/8	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	各論 地域・在宅看護におけるコミュニケーション・意思決定支援	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】③ 【学習方法】講義 【事後学習】リフレクションシート
15	12/8	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	地域・在宅看護の総括	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未	【到達目標】①②③④⑤⑥ 【学習方法】講義、全体討議 【事後学習】リフレクションシート

授業方法

対面授業を予定している。新規感染症の蔓延や講師の都合等により対面授業が困難と判断した場合は、同期型授業または非同期型授業に切り替える。また、授業では、アクティブラーニングも含め双方向で活発な議論ができるように教授スタイルを工夫する予定である。

授業内容

授業内容は、授業スケジュールに提示している。

1)授業は、重要なこと、発展的なことを中心に教授する。授業資料は、授業前に WebClass に掲載を予定している。学生は、授業前に資料を確認し、教科書や参考書も含め予習と復習を行うこと。

2)リアクションペーパーは、授業の理解度や質疑などを含む項目で構成され、講義ごとに作成し WebClass で管理する。学生は、授業終了後、リアクションペーパーを作成し期限までに提出すること。

成績評価の方法

在宅看護学Ⅰは、以下の3つの項目で評価を行う。

1)定期試験(80%):授業の目的と目標の達成度を把握するために、基本的な知識と応用を問う問題を出題する。また、英文による問題も出題する。

2)授業態度(20%):授業に取り組む姿勢、出席状況、リアクションペーパーの内容や提出状況等を評価の対象とする。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60 点以上を合格、59 点以下を不合格)により評価を行い、合否を判断する。なお、リアクションペーパーにおいて、授業で教授した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

達成目標や授業内容の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業に臨むことが求められる。WebClass にあらかじめ授業資料や課題、学習に必要情報をアップロードするので、各自ダウンロード等し、講義までに目を通しておくこと。

課題を取り組むにあたり、不明点や疑問点が生じた場合は、要点を整理し明確にしてから授業に臨むこと。

※授業態度や姿勢について、授業で教授する内容の他、在宅看護の教科書や参考書、他の科目で関連のある資料やテキスト等を用いて、予習と復習を行い、学びを深めていくことを求める。

※厚生労働省の「見える化」システム、日本医師会の地域医療情報システム等を用いて地域における保健医療福祉の現状を把握しておくことが望ましい。

試験の受験資格

次のすべてが、後期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

授業日程の3分の2以上の出席が認められた者に試験受験資格を与える。

授業参加状況は、授業中の態度や課題に取り組む姿勢、リアクションペーパーに記載された内容等で確認する。授業で課題が提示された場合は、期限までに提出すること。

教科書

地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

参考書

写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川, 真喜子,:インターメディカ, 2020

他科目との関連

本科目は、3年次に学習する在宅看護学Ⅱ、在宅看護学演習、在宅看護学実習の基礎となる科目である。そのため、2年次に履修および単位取得していることが進級に必要である。

備考

2024 年度の授業では、地域で活躍する外部講師を招き、医療や介護現場の実際や経験談も踏まえ教授頂き、学生の学習が深まったことが評価されていた。2025 年度も外部講師から教授頂く機会を設け、全講義を通して在宅看護学Ⅱの目標に到達できるように調整した。

連絡先(メールアドレス)

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

坂野 朋未:sakano.tomomi@tmd.ac.jp

廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

菅野 雄介:ykanno.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井 小紀子:毎週木曜日 PM13:00-16:10 3 号館 19 階福井教授室

廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

3 号館 18 階 在宅・緩和ケア看護学分野

菅野 雄介:毎週月曜日 12-13 時、3 号館 19 階在宅・緩和ケア看護学分野研究室

時間割番号	012430				
科目名	多職種連携Ⅱ			科目ID	MN-274800-L
担当教員	田中 真琴, 川本 祐子, 小笹 由香, 今津 陽子[TANAKA Makoto, KAWAMOTO Yuko, OZASA Yuka, IMAZU Yoko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	2	単位数	0.5
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名: Interprofessional Collaboration Ⅱ

【科目責任者】看護学専攻主任 田中真琴

主な講義場所

鈴木章夫記念講堂

授業の目的、概要等

医療・歯科医療において活躍する保健・医療・福祉の専門職について知り、共通する職業倫理や仕事に対する姿勢、多職種連携の重要性を学び、それぞれの将来像を共有する。患者の講演をとおして患者の気持ちを想像し、患者や利用者、家族、地域の重要な課題について議論する。他学科学生との協働学習を通して、自他の役割や思考・行為・感情・価値観を踏まえて協働する学生同士での信頼関係を構築し、時に生じる葛藤にも適切に対応し、互いの意見交換を円滑に進めるために必要な課題を認識することを目指す。

授業の到達目標

1. 自らの知識や価値観を、他学科の学生に共有することができる。
2. 他学科学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。
3. 自らの価値観や言動について、他学科の学生との関係性の中で、相対化できる。
4. 自分の職種の役割を他職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。
5. 病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。
6. 他学科学生との演習活動の中で、円滑な協働を進めるために、自らの役割を果たすことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/23	08:50-10:20	鈴木章夫記念講堂	・オリエンテーション ・グループワーク1 ・講演 第1部	・実習オリエンテーション ・自己紹介、学科専攻紹介 ・AYA 世代について	田中 真琴, 今津 陽子, 小笹 由香, 川本 祐子	到達目標 1-6 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する
2	5/23	10:45-12:25	鈴木章夫記念講堂	・講演 第2部 ・グループワーク2	・AYA 世代の闘病 ・講演を踏まえたグループディスカッション	田中 真琴, 今津 陽子, 小笹 由香, 川本 祐子	到達目標 1-6 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する
3	5/23	13:30-15:00	鈴木章夫記念講堂	・講義 ・グループワーク3	・多職種連携について ・仮想シナリオを用いたグループディスカッション	田中 真琴, 今津 陽子, 小笹 由香, 川本 祐子	到達目標 1-6 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する
4	5/23	15:25-17:05	鈴木章夫記念講堂	・発表会 ・グループワーク4 ・総括	・患者を支える多職種連携 ・実習全体を踏まえたグループディスカッション ・実習のまとめ	田中 真琴, 今津 陽子, 小笹 由香, 川本 祐子	到達目標 1-6 グループワークを実施する・参加態度、レポートにより評価する

授業方法

演習(講義、討論)

医学部歯学部での取り組み(医・歯・口工:3 年、看護・検査・口衛:2 年)で、グループに分かれて討論を行う。

課題の提出を WebClass にて行うこと。

授業内容

授業スケジュールを参照

成績評価の方法

成績はピア評価・チューター評価によるグループワークへの参加態度(50%)、レポート等の提出物(50%)により評価する。

出席: カードーリーダー(学生証)、チューターによる確認。
参加度: チューターによる評価、ピア評価(下記 WebClass「個人課題」に含まれる)。

成績評価の基準

・合計点数が 60%以上のものを合格とする。
・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
参加態度は、司会や書記を務め、積極的に発言しただけではなく、グループメンバーの話しやすい雰囲気を作るなど、聞く姿勢も評価の対象となる。
期日までに提出された課題を採点対象とし、講演で聞いた内容やグループワークで話し合った内容が含まれているか、自分自身の考えが描かれているかについて授業の到達目標の達成度に応じて採点する。

準備学習等についての具体的な指示

事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。E-learning(Web Class)を連絡等に利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。

試験の受験資格

試験は実施しない
・出席を基本とし、演習に参加する。出席: カードーリーダー(学生証)、チューターによる確認。
・演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

へこんでも : 25 歳ナツコの明るいガン闘病記／多和田, 奈津子, 1972-,多和田奈津子 著:新潮社, 2002.4
・総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究(厚労科研)文献番号 201708005A
・がんノート (URL: https://gannote.com/)

他科目との関連

多職種連携Ⅰを基盤とし、看護の統合と実践実習の基礎となる科目である。

履修上の注意事項

積極的に参加すること。レポートを提出すること。

備考

旧カリキュラムのチーム医療導入を基礎とし、新カリキュラムにおいてさらに発展させた科目である。前年度授業評価アンケート好評のため大きな変更はない

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012113				
科目名	災害看護学			科目ID	MN-234300-L
担当教員	佐々木 吉子, 植木 穣, 今津 陽子, 濱舘 陽子, 髙村 ゆ希, 山﨑 範子, 藤村 麻衣子[SASAKI Yoshiko, UEKI Yutaka, IMAZU Yoko, HAMADATE Yoko, Takamura, YAMASAKI Noriko, FUJIMURA Maiko]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

Disaster Nursing

【科目責任者】佐々木 吉子

主な講義場所

3 号館 7 階保健衛生学科講義室 4 での対面授業を基本とする。

授業の目的、概要等

1.災害発生に備えた心構えと看護の方法を学び、平常時から地域全体で備えるとともに、被災時に被災地域や被災者に必要な看護に必要な知識やスキルを学ぶ。そのため、災害の定義、災害の種類、災害サイクル、災害対応に関連する主要な法律、地域防災計画、支援体制などについて理解するとともに、災害サイクルの各期において、看護職に期待される役割と対応について、過去の災害事例や発生が懸念されている大災害などを想定して討論する。

2.災害時の安全なケア環境の提供や、医療ニーズや特別な配慮が必要な被災者の把握と資源を結びつける方法、予防的活動の進め方、支援者のセルフケアについて修得する。さらに、平時における災害への備えのあり方や具体的方法について理解する。

授業の到達目標

1)災害の定義、災害の種類、災害サイクル、災害に関連する主要な法律、地域防災計画、支援体制について理解できる。

2)災害時の医療救護活動のフェーズ(超急性期、急性期、亜急性期、慢性期、静穏期)と各期の看護について理解できる。

3)自然災害による被災状況や放射線災害が及ぼす健康影響について把握する方法を理解できる。

4)災害時の医療救護活動の基本である CSCATTT(Command and Control,Safety,Communication,Assessment,Triage,Treatment,Transport)について理解できる。

5)国内外の災害時の保健医療における、多職種チームの機能、被災地域の人々や多職種との連携・協働の必要性や方法を理解できる。

6)災害周期の変化に対応しながら、救護所、避難所、福祉避難所、仮設住宅、被災した医療施設、在宅等)おける、安全なケア環境の整備、生活援助技術、身体的・精神的健康管理について理解できる。

7)災害時に特別に配慮が必要な人々の理解と具体的な看護援助について理解できる。

8)被災者、救護者のストレスと心のケアについて理解できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/6	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	災害看護の概要	オリエンテーション、災害および災害看護の定義、災害看護の歴史、災害に伴う生活・健康問題と、フェーズに応じた災害時の保健医療活動の原則	佐々木 吉子	【到達目標】1),2) 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リフレクションシート
2	10/6	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 4	災害時の医療	災害時の疾病構造と医療救護活動の原則と実際(災害対策本部、多職種連携、DMAT 活動)、医療機関が被災した時の対応	植木 穣	【到達目標】4),5) 【学習方法】講義、全体討論 【事前課題】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
3	10/20	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	災害時の看護(1)	自然災害時の被災者の生活・健康問題の特徴とアセスメント方法、避難所・仮設住宅における看護活動、支援者へのケア	今津 陽子	【到達目標】6) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前課題】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
4	10/20	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 4	災害時の看護(2)	災害時における人道支援	髙村 ゆ希	【到達目標】5) 【学習方法】講義、全体討論 【事前課題】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
5	10/27	13:30-15:10	保健衛生	災害時の	特別な配慮を必要とする人々(病気や	今津 陽子	【到達目標】7)

			学科講義室4	看護(3)	障がいのある人、高齢者、妊産婦、外国人)への看護		【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前課題】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
6	10/27	15:25-17:05	保健衛生学科講義室4	海外における災害支援活動	国際緊急援助隊の活動	山﨑 範子	【到達目標】5) 【学習方法】講義、全体討論 【事前課題】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
7	11/10	13:30-15:10	保健衛生学科講義室4	平常時における災害対策(1)	地域、企業、学校等における自然災害への備え(避難所、帰宅困難者一時滞在施設)	濱舘 陽子	【到達目標】2),5) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前課題】アンケート 【事後学習】リフレクションシート
8	11/10	15:25-17:05	保健衛生学科講義室4	平常時における災害対策(2)	人為災害、複合災害(テロ、マスギャザリング、放射線災害等)への備え	佐々木 吉子, 藤村 麻衣子	【到達目標】3),8) 【学習方法】講義、全体討論、グループ討論 【事前課題】アンケート 【事後学習】リフレクションシート

授業方法

本科目では、指定する授業回においては、その学習効果を高めるため、事前課題と事後課題を設定する。事前課題は、講師から提示された事前課題や、当該授業に対する関心や講師への質問について、当該授業の前回授業の翌日の 13:00 までに WebClass より提出する。また、事後課題は、当該講義の内容から考察したことや自身の今後の課題について振り返り、授業を通して得た学び、講師への質問をまとめ、授業の翌日の 13:00 までに WebClass より提出する。

授業内容

1.オリエンテーション、災害および災害看護の定義、災害看護の歴史、災害に伴う生活・健康問題と、フェーズに応じた災害時の保健医療活動の原則

2.災害時の疾病構造と医療救護活動の原則と実際(災害対策本部、多職種連携、DMAT 活動)、医療機関が被災した時の対応

3.自然災害時の被災者の生活・健康問題の特徴とアセスメント方法、避難所・仮設住宅における看護活動、支援者へのケア

4.災害時における人道支援

5.特別な配慮を必要とする人々(がん患者、障がいのある人、高齢者、妊産婦、外国人)への看護

6.国際緊急援助隊の活動

7.地域、企業、学校等における自然災害への備え(避難所、帰宅困難者一時滞在施設)

8.人為災害、複合災害(テロ、マスギャザリング、放射線災害等)への備え

成績評価の方法

本科目の評価は、出席状況、各回の事前課題と事後課題、授業への参加姿勢、最終レポートにより総合的に評価する。

最終レポートは、本授業で学んだことを踏まえて、災害対応や対策上の課題を1つ取り上げ、解決に向けた提案を含めて1200字程度で記述する。必ず 3 件以上の文献を引用し、引用した文献の出典を明記する。(インターネットからの情報は、URL と閲覧日を記載する)。2025 年 11 月 24 日(月)13:00 までに、WebClass より提出する。

事前・事後課題、最終レポートの提出が遅れる・遅れた場合、必ず担当教員に別途メールで連絡すること。

成績評価の基準

1)出席状況 10%(全出席で 10 点満点、1 回欠席するごとに 1 点減点する)

2)参加姿勢 10%(授業中の態度、発言等の積極性、グループワークでの貢献などを、10 点満点で評価する)

3)事前課題 10%(全回遅延なく提出で 10 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

4)事後課題 30%(全回遅延なく提出で 30 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

5)最終レポート 40%(遅延なく提出で 40 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

＊事前課題、事後課題、最終レポートの記載内容の評価は以下の基準に照らして行う。

A(100%):授業内容を発展させ、課題に対して期待を超える記述ができている。最終レポートについては、課題に応じたテーマが設定され、明瞭かつ一貫性・論理的が保たれており、文字数、文献の引用方法など規定に沿っている。

B(80%):授業内容を理解し、目標に相応する意見や考察が記載できている。

C(60%):課題に対して、容認可能な記述ができている。

D(40%):課題に対しての記述ができていない。授業内容と関係が薄いか、不適切な記述となっている。
E(0%):未提出
以上の評価指標に基づき、合計点が 60 点以上の場合に合格とし、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

各授業の事前課題は、1 週間前までに WebClass で提示するので、確認し準備すること。

試験の受験資格

次のすべてが、最終レポートを受理する要件となる。
全8回の授業のうち6回以上の授業に出席し、設定された事前課題および事後課題を期限までに提出していること。Zoom での出席は講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合とする。
グループワークやディスカッションが設定された授業では、自身の考えを述べたり、他の参加者の発表を傾聴して意見を述べたりするなど、参加の様子が認められること。
特別に勘案すべき事情があって課題が提出できない場合や、授業への参加ができない場合は、課題の締切日もしくは授業が始まる前までに、科目担当教員にメールで連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと判断された場合は、この限りではない。配慮されるべき理由で欠席する場合に限り、別途課題を課すなどの対応をおこなうことがある。

教科書

教科書は指定しない。授業について必要な書籍等があれば連絡する。

他科目との関連

4 年次開講の「看護の統合と実践実習」のなかで、本授業での学修を踏まえて災害看護実習を行う。

履修上の注意事項

講義中のスクリーンの撮影、ZOOM 授業における画面のスクリーンショットを禁止する。WebClass に掲示した講義資料、参考資料は、担当者の許可を得ない限り受講登録者以外に公開することを禁止する。

備考

授業最終日(11 月 10 日)から、科目についてのアンケートが WebClass でできるようになっている。このアンケートに回答しない場合は、本科目の合否が WebClass に表示されない。

連絡先(メールアドレス)

佐々木　吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp　3 号館 19 階
今津　陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp　3 号館 18 階

オフィスアワー

佐々木　吉子:平日　AM.9:30-PM.5:30 3 号館 19 階　災害・クリティカルケア看護学分野教授室
今津　陽子:平日　AM.10:00-PM.5:00 3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

第３学年

2025時間割表（看護学専攻第3学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期1	4月1日	火		（必修）System-based medical terminology I		性と生殖と健康と看護	(1)	必修		登校	講義室2		性と生殖と健康と看護	(2)	必修		登校	講義室2		高齢者の健康と看護	(1)	必修		登校	講義室2		高齢者の健康と看護	(2)	必修		登校	講義室2								
前期1	4月2日	水																																						
前期1	4月3日	木				在宅看護学Ⅱ	(1)	必修		登校	講義室2		在宅看護学Ⅱ	(2)	必修		登校	講義室2		周産看護学Ⅰ	(1)	必修		登校	講義室2		周産看護学Ⅱ	(1)	必修		登校	講義室2								
前期1	4月4日	金											緩和ケア看護学	(1)	必修		登校	講義室2		クリティカルケア看護学	(1)	必修		登校	講義室2		クリティカルケア看護学	(2)	必修		登校	講義室2								
前期1	4月5日	土																																						
前期1	4月6日	日																																						
前期2	4月7日	月		（必修）System-based medical terminology I	（自）インディペンデントスタディB	老年看護学演習	(1)	必修		登校		実習室1	老年看護学演習	(2)	必修		登校		実習室1	精神看護学演習	(1)	必修		登校	講義室2		精神看護学演習	(2)	必修		登校	講義室2								
前期2	4月8日	火				周産看護学Ⅰ	(2)	必修		登校	講義室2		周産看護学Ⅱ	(2)	必修		登校	講義室2		成人看護学演習	(1)	必修		登校		実習室1,2,3,4,5	成人看護学演習	(2)	必修		登校		実習室1,2,3,4,5								
前期2	4月9日	水				実践看護英語Ⅱ	(1)	自由		同期型																														
前期2	4月10日	木				在宅看護学Ⅱ	(3)	必修		登校	講義室2		在宅看護学Ⅱ	(4)	必修		登校	講義室2		小児看護学Ⅱ	(1)	必修		登校	講義室2		小児看護学Ⅱ	(2)	必修		登校	講義室2		憲法	(1)	自由		非同期型		
前期2	4月11日	金																																						
前期2	4月12日	土																																						
前期2	4月13日	日																																						
前期3	4月14日	月		（必修）System-based medical terminology I	（自）インディペンデントスタディB	高齢者の健康と看護	(3)	必修		登校	講義室2		高齢者の健康と看護	(4)	必修		登校	講義室2		リハビリテーション看護学	(1)	選択		登校	講義室2		リハビリテーション看護学	(2)	選択		登校	講義室2								
前期3	4月15日	火				周産看護学Ⅰ	(3)	必修		登校	講義室2		性と生殖と健康と看護	(3)	必修		登校	講義室2		老年看護学演習	(3)	必修		登校	講義室2	実習室1	老年看護学演習	(4)	必修		登校	講義室2	実習室1							
前期3	4月16日	水											周産看護学Ⅰ	(4)	必修		登校	講義室2																				
前期3	4月17日	木				在宅看護学Ⅱ	(5)	必修		登校	講義室2		在宅看護学Ⅱ	(6)	必修		登校	講義室2		周産看護学Ⅱ	(3)	必修		登校	講義室2		周産看護学Ⅱ	(4)	必修		登校	講義室2		憲法	(2)	自由		非同期型		
前期3	4月18日	金				実践看護英語Ⅱ	(2)	自由		登校	講義室2		クリティカルケア看護学	(3)	必修		登校	講義室2		公衆衛生看護学Ⅱ	(1)	必修		登校	講義室4		公衆衛生看護学Ⅱ	(2)	必修		登校	講義室4								
前期3	4月19日	土																																						
前期3	4月20日	日																																						
前期4	4月21日	月		（必修）System-based medical terminology I	（自）インディペンデントスタディB	高齢者の健康と看護	(5)	必修		登校	講義室2		高齢者の健康と看護	(6)	必修		登校	講義室2		緩和ケア看護学	(2)	必修		登校	講義室2		リハビリテーション看護学	(3)	選択		登校		実習室1	憲法	(3)	自由		非同期型		
前期4	4月22日	火				性と生殖と健康と看護	(4)	必修		登校	講義室2		性と生殖と健康と看護	(5)	必修		登校	講義室2		成人看護学演習	(3)	必修		登校		実習室1,2,3,4,5	成人看護学演習	(4)	必修		登校		実習室1,2,3,4,5							
前期4	4月23日	水											周産看護学Ⅰ	(5)	必修		登校	講義室2														海外研修オリエンテーション	(1)					
前期4	4月24日	木				在宅看護学Ⅱ	(7)	必修		登校	講義室2		在宅看護学Ⅱ	(8)	必修		登校	講義室2		周産看護学Ⅰ	(6)	必修		登校	講義室2		周産看護学演習	(1)	必修		登校	講義室2		憲法	(4)	自由		非同期型		
前期4	4月25日	金				高齢者の健康と看護	(7)	必修		登校	講義室2		クリティカルケア看護学	(4)	必修		登校	講義室2		公衆衛生看護学Ⅱ	(3)	必修		登校	講義室2		公衆衛生看護学Ⅱ	(4)	必修		登校	講義室2								
前期4	4月26日	土																																						
前期4	4月27日	日																																						
前期5	4月28日	月																																			憲法	(5)	自由		非同期型		
前期5	4月29日	火	昭和の日																																						
前期5	4月30日	水		（必修）System-based medical	（自）インディペンデントスタディB	実践看護英語Ⅱ	(3)	自由		同期型																												実践看護英語Ⅱ	(4)	自由		同期型		
前期5	5月1日	木																																			実践看護英語Ⅱ	(5)	自由		登校	講義室2	
前期5	5月2日	金																																						
前期5	5月3日	土	憲法記念日																																						
前期5	5月4日	日	みどりの日																																						
前期6	5月5日	月	こどもの日																																						
前期6	5月6日	火	振替休日																																						
前期6	5月7日	水		（必修）System-based medical	（自）インディペンデントスタディB																																						
前期6	5月8日	木				在宅看護学Ⅱ	(9)	必修		登校	講義室2		在宅看護学Ⅱ	(10)	必修		登校	講義室2		周産看護学Ⅰ	(7)	必修		登校	講義室2		周産看護学Ⅱ	(5)	必修		登校	講義室2								
前期6	5月9日	金				高齢者の健康と看護	(8)	必修		登校	講義室2		クリティカルケア看護学	(5)	必修		登校	講義室2																		実践看護英語Ⅱ	(6)	自由		登校	講義室2	
前期6	5月10日	土																																						
前期6	5月11日	日																																						
前期7	5月12日	月		（必修）System-based medical terminology I	（自）インディペンデントスタディB	老年看護学	(1)	必修		登校	講義室2		老年看護学	(2)	必修		登校	講義室2		リハビリテーション看護学	(4)	選択		登校	講義室2		リハビリテーション看護学	(5)	選択		登校	講義室2		憲法	(6)	自由		非同期型		
前期7	5月13日	火				緩和ケア看護学	(3)	必修		登校	講義室2		緩和ケア看護学	(4)	必修		登校	講義室2		老年看護学演習	(5)	必修		登校	講義室2	実習室1	老年看護学演習	(6)	必修		登校	講義室2	実習室1							
前期7	5月14日	水																																						
前期7	5月15日	木				在宅看護学Ⅱ	(11)	必修		登校	講義室2		在宅看護学Ⅱ	(12)	必修		登校	講義室2		小児看護学演習	(1)	必修		登校	講義室2	実習室2,3	小児看護学演習	(2)	必修		登校	講義室2	実習室2,3	憲法	(7)	自由		非同期型		
前期7	5月16日	金				実践看護英語Ⅱ	(7)	自由		登校	講義室2										公衆衛生看護学Ⅱ	(5)	必修		同期型			公衆衛生看護学Ⅱ	(6)	必修		同期型									
前期7	5月17日	土																																						
前期7	5月18日	日																																						
前期8	5月19日	月		（必修）System-based medical termin	（自）インディペンデントス	老年看護学	(3)	必修		非同期型			老年看護学	(4)	必修		登校	講義室2		精神看護学演習	(3)	必修		登校	講義室2		精神看護学演習	(4)	必修		登校	講義室2		憲法	(8)	自由		非同期型		
前期8	5月20日	火				緩和ケア看護学	(5)	必修		登校	講義室2		緩和ケア看護学	(6)	必修		登校	講義室2		周産看護学演習	(2)	必修		登校		実習室1,2,3	周産看護学演習	(3)	必修		登校		実習室1,2,3							
前期8	5月21日	水																																						
前期8	5月22日	木				疫学	(1)	必修		登校	講義室2		疫学	(2)	必修		登校	講義室2		小児看護学Ⅱ	(3)	必修		登校	講義室2		小児看護学Ⅱ	(4)	必修		登校	講義室2								

2025時間割表（看護学専攻第3学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期8	5月23日	金		ology I	タディB	成人看護学演習	(5)	必修		登校	講義室2		クリティカルケア看護学	(6)	必修		登校	講義室2		在宅看護学演習	(1)	必修		登校	講義室2	実習室2,4	在宅看護学演習	(2)	必修		登校	講義室2	実習室2,4									
前期8	5月24日	土																																							
前期8	5月25日	日																																							
前期9	5月26日	月		(必修) System-based medical terminology I	(自）インディペンデントスタディB	老年看護学	(5)	必修		登校	講義室2		老年看護学	(6)	必修		登校	講義室2		精神看護学演習	(5)	必修	講義室2,3	登校			リハビリテーション看護学	(6)	選択		登校	講義室2		憲法	(9)	自由		非同期型		
前期9	5月27日	火				周産看護学 II	(6)	必修		登校	講義室2		周産看護学 II	(7)	必修		登校	講義室2		在宅看護学 II	(13)	必修		登校	講義室2		在宅看護学 II	(14)	必修		登校	講義室2									
前期9	5月28日	水																																							
前期9	5月29日	木				クリティカルケア看護学	(7)	必修		登校	講義室2		在宅看護学 II	(15)	必修		登校	講義室2		小児看護学演習	(3)	必修		登校	講義室2	実習室2,3	小児看護学演習	(4)	必修		登校	講義室2	実習室2,3									
前期9	5月30日	金				在宅看護学演習	(3)	必修		登校	講義室2	実習室2,4	在宅看護学演習	(4)	必修		登校	講義室2	実習室2,4	周産看護学 I	(8)	必修		登校	講義室2		周産看護学演習	(4)	必修		登校	講義室2		実践看護英語 II	(8)	自由		登校	講義室2	
前期9	5月31日	土																																							
前期9	6月1日	日																																							
前期10	6月2日	月		(必修) System-based medical terminology I	(自）インディペンデントスタディB	老年看護学	(7)	必修		登校	講義室2		老年看護学	(8)	必修		登校	講義室2		緩和ケア看護学	(7)	必修		登校	講義室2		緩和ケア看護学	(8)	必修		登校	講義室2		憲法	(10)	自由		非同期型		
前期10	6月3日	火				性と生殖と健康と看護	(6)	必修		登校	講義室2		性と生殖と健康と看護	(7)	必修		登校	講義室2		老年看護学演習	(7)	必修		登校	講義室2		老年看護学演習	(8)	必修		登校	講義室2									
前期10	6月4日	水																																							
前期10	6月5日	木				疫学	(3)	必修		登校	講義室2		疫学	(4)	必修		登校	講義室2		周産看護学演習	(5)	必修		登校	講義室2		周産看護学 II	(8)	必修		登校	講義室2		憲法	(11)	自由		非同期型		
前期10	6月6日	金				実践看護英語 II	(9)	自由		登校	講義室2									公衆衛生看護学 II	(7)	必修		同期型			公衆衛生看護学 II	(8)	必修		同期型			実践看護英語 II	(10)	自由		登校	講義室2	
前期10	6月7日	土																																							
前期10	6月8日	日																																							
前期11	6月9日	月		(必修) System-based medical terminology I	(自）インディペンデントスタディB	老年看護学	(9)	必修		登校	講義室2		老年看護学	(10)	必修		登校	講義室2		リハビリテーション看護学	(7)	選択		登校		実習室1	リハビリテーション看護学	(8)	選択		登校		実習室1	憲法	(12)	自由		非同期型		
前期11	6月10日	火											クリティカルケア看護学	(8)	必修		登校	講義室2		成人看護学演習	(6)	必修		登校		実習室1,2,3,4,5	成人看護学演習	(7)	必修		登校		実習室1,2,3,4,5									
前期11	6月11日	水																																							
前期11	6月12日	木				疫学	(5)	必修		登校	講義室2		疫学	(6)	必修		登校	講義室2		小児看護学 II	(5)	必修		登校	講義室2		小児看護学 II	(6)	必修		登校	講義室2									
前期11	6月13日	金				在宅看護学演習	(5)	必修		登校	講義室2	実習室2,4	在宅看護学演習	(6)	必修		登校	講義室2	実習室2,4	小児看護学演習	(5)	必修		登校	講義室2		性と生殖と健康と看護	(8)	必修		登校	講義室2									
前期11	6月14日	土																																							
前期11	6月15日	日																																							
前期12	6月16日	月		(必修) System-based medical terminology I	(自）インディペンデントスタディB	老年看護学	(11)	必修		登校	講義室2		老年看護学	(12)	必修		登校	講義室2		精神看護学演習	(6)	必修		登校	講義室2																	
前期12	6月17日	火				老年看護学	(13)	必修		登校	講義室2		老年看護学	(14)	必修		登校	講義室2																								
前期12	6月18日	水																																							
前期12	6月19日	木				疫学	(7)	必修		登校	講義室2		疫学	(8)	必修		登校	講義室2		小児看護学演習	(6)	必修		登校	講義室2		小児看護学演習	(7)	必修		登校	講義室2		憲法	(13)	自由		非同期型		
前期12	6月20日	金				在宅看護学演習	(7)	必修		登校	講義室2	実習室2,4	在宅看護学演習	(8)	必修		登校	講義室2	実習室2,4	小児看護学 II	(7)	必修		登校	講義室2		小児看護学 II	(8)	必修		登校	講義室2									
前期12	6月21日	土																																							
前期12	6月22日	日																																							
前期13	6月23日	月		(必修) System-based medical terminology I	(自）インディペンデントスタディB	老年看護学演習	(9)	必修		登校		実習室1	老年看護学演習	(10)	必修		登校		実習室1	成人看護学演習	(8)	必修		登校		実習室1,2,3,4,5	成人看護学演習	(9)	必修		登校		実習室1,2,3,4,5	憲法	(14)	自由		非同期型		
前期13	6月24日	火				小児看護学演習	(8)	必修		登校	講義室2		保育園実習オリエンテーション各園	(1)						保育園実習オリエンテーション各園	(2)						保育園実習オリエンテーション各園	(3)						保育園実習オリエンテーション各園	(4)					
前期13	6月25日	水											成人看護学演習	(10)	必修		登校	講義室1																					
前期13	6月26日	木				老年看護学	(15)	必修		登校	講義室2		老年看護学	(16)	必修		登校	講義室2		周産看護学演習	(6)	必修		登校		実習室1,2,5	周産看護学演習	(7)	必修		登校		実習室1,2,5	周産看護学演習	(8)	必修		登校		実習室2
前期13	6月27日	金				保育園実習オリエンテーション各園	(5)						保育園実習オリエンテーション各園	(6)						保育園実習オリエンテーション各園	(7)						保育園実習オリエンテーション各園	(8)						保育園実習オリエンテーション各園	(9)					
前期13	6月28日	土																																							
前期13	6月29日	日																																							
前期14	6月30日	月		(必修) System-based medical terminology I																精神看護学演習	(7)	必修		登校	講義室2		精神看護学演習	(8)	必修		登校	講義室2		憲法	(15)	自由		非同期型		
前期14	7月1日	火																																							
前期14	7月2日	水				前期定期試験	(1)						前期定期試験	(2)						前期定期試験	(3)						前期定期試験	(4)						前期定期試験	(5)					
前期14	7月3日	木				前期定期試験	(6)						前期定期試験	(7)						前期定期試験	(8)						前期定期試験	(9)						前期定期試験	(10)					
前期14	7月4日	金				前期定期試験	(11)						前期定期試験	(12)						前期定期試験	(13)						前期定期試験	(14)						前期定期試験	(15)					
前期14	7月5日	土																																							
前期14	7月6日	日																																							
前期15	7月7日	月		(必修) System-based medical terminology I		前期定期試験	(16)						前期定期試験	(17)						前期定期試験	(18)						前期定期試験	(19)						前期定期試験	(20)					
前期15	7月8日	火				前期定期試験	(21)						前期定期試験	(22)						前期定期試験	(23)						前期定期試験	(24)						前期定期試験	(25)					
前期15	7月9日	水				前期定期試験	(26)						前期定期試験	(27)						前期定期試験	(28)						前期定期試験	(29)						前期定期試験	(30)					
前期15	7月10日	木				前期定期試験	(31)						前期定期試験	(32)						前期定期試験	(33)						前期定期試験	(34)						前期定期試験	(35)					
前期15	7月11日	金				前期定期試験	(36)						前期定期試験	(37)						前期定期試験	(38)						前期定期試験	(39)						前期定期試験	(40)					
前期15	7月12日	土																																							
前期15	7月13日	日																																							

2025時間割表（看護学専攻第3学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期16	7月14日	月																																							
前期16	7月15日	火																																							
前期16	7月16日	水																																							
前期16	7月17日	木																																							
前期16	7月18日	金																																							
前期16	7月19日	土																																							
前期16	7月20日	日																																							
前期17	7月21日	月	海の日																																						
前期17	7月22日	火				保育園実習	(1)						保育園実習	(2)						保育園実習	(3)						保育園実習	(4)						保育園実習	(5)					
前期17	7月23日	水				保育園実習	(6)						保育園実習	(7)						保育園実習	(8)						保育園実習	(9)						保育園実習	(10)					
前期17	7月24日	木																																							
前期17	7月25日	金																																							
前期17	7月26日	土																																							
前期17	7月27日	日																																							
前期18	7月28日	月																																							
前期18	7月29日	火																																							
前期18	7月30日	水																																							
前期18	7月31日	木				オープンキャンパス	(1)						オープンキャンパス	(2)						オープンキャンパス	(3)						オープンキャンパス	(4)						オープンキャンパス	(5)					
前期18	8月1日	金				オープンキャンパス	(6)						オープンキャンパス	(7)						オープンキャンパス	(8)						オープンキャンパス	(9)						オープンキャンパス	(10)					
前期18	8月2日	土																																							
前期18	8月3日	日																																							
前期19	8月4日	月																																							
前期19	8月5日	火																																							
前期19	8月6日	水																																							
前期19	8月7日	木																																							
前期19	8月8日	金																																							
前期19	8月9日	土																																							
前期19	8月10日	日																																							
前期20	8月11日	月	山の日																																						
前期20	8月12日	火																																							
前期20	8月13日	水																																							
前期20	8月14日	木																																							
前期20	8月15日	金																																							
前期20	8月16日	土																																							
前期20	8月17日	日																																							
前期21	8月18日	月																																							
前期21	8月19日	火																																							
前期21	8月20日	水																																							
前期21	8月21日	木																																							
前期21	8月22日	金																																							
前期21	8月23日	土																																							
前期21	8月24日	日																																							
前期22	8月25日	月																																							
前期22	8月26日	火																																							
前期22	8月27日	水																																							
前期22	8月28日	木																																							
前期22	8月29日	金																																							
前期22	8月30日	土																																							
前期22	8月31日	日																																							
後期1	9月1日	月			（自）インディペンデント	臨地実習	(1)						臨地実習	(2)						臨地実習	(3)						臨地実習	(4)						臨地実習	(5)					
後期1	9月2日	火				臨地実習	(6)						臨地実習	(7)						臨地実習	(8)						臨地実習	(9)						臨地実習	(10)					
後期1	9月3日	水				臨地実習	(11)						臨地実習	(12)						臨地実習	(13)						臨地実習	(14)						臨地実習	(15)					

2025時間割表（看護学専攻第3学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期1	9月4日	木			インスタディB	臨地実習	(16)						臨地実習	(17)						臨地実習	(18)						臨地実習	(19)						臨地実習	(20)					
後期1	9月5日	金				臨地実習	(21)						臨地実習	(22)						臨地実習	(23)						臨地実習	(24)						臨地実習	(25)					
後期1	9月6日	土																																							
後期1	9月7日	日																																							
後期2	9月8日	月			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(26)						臨地実習	(27)						臨地実習	(28)						臨地実習	(29)						臨地実習	(30)					
後期2	9月9日	火				臨地実習	(31)						臨地実習	(32)						臨地実習	(33)						臨地実習	(34)						臨地実習	(35)					
後期2	9月10日	水				臨地実習	(36)						臨地実習	(37)						臨地実習	(38)						臨地実習	(39)						臨地実習	(40)					
後期2	9月11日	木				臨地実習	(41)						臨地実習	(42)						臨地実習	(43)						臨地実習	(44)						臨地実習	(45)					
後期2	9月12日	金				臨地実習	(46)						臨地実習	(47)						臨地実習	(48)						臨地実習	(49)						臨地実習	(50)					
後期2	9月13日	土																																							
後期2	9月14日	日																																							
後期3	9月15日	月	敬老の日																																						
後期3	9月16日	火			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(51)						臨地実習	(52)						臨地実習	(53)						臨地実習	(54)						臨地実習	(55)					
後期3	9月17日	水				臨地実習	(56)						臨地実習	(57)						臨地実習	(58)						臨地実習	(59)						臨地実習	(60)					
後期3	9月18日	木				臨地実習	(61)						臨地実習	(62)						臨地実習	(63)						臨地実習	(64)						臨地実習	(65)					
後期3	9月19日	金				臨地実習	(66)						臨地実習	(67)						臨地実習	(68)						臨地実習	(69)						臨地実習	(70)					
後期3	9月20日	土																																							
後期3	9月21日	日																																							
後期4	9月22日	月				臨地実習	(71)						臨地実習	(72)						臨地実習	(73)						臨地実習	(74)						臨地実習	(75)					
後期4	9月23日	火	秋分の日																																						
後期4	9月24日	水			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(76)						臨地実習	(77)						臨地実習	(78)						臨地実習	(79)						臨地実習	(80)					
後期4	9月25日	木				臨地実習	(81)						臨地実習	(82)						臨地実習	(83)						臨地実習	(84)						臨地実習	(85)					
後期4	9月26日	金				臨地実習	(86)						臨地実習	(87)						臨地実習	(88)						臨地実習	(89)						臨地実習	(90)					
後期4	9月27日	土																																							
後期4	9月28日	日																																							
後期5	9月29日	月			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(91)						臨地実習	(92)						臨地実習	(93)						臨地実習	(94)						臨地実習	(95)					
後期5	9月30日	火				臨地実習	(96)						臨地実習	(97)						臨地実習	(98)						臨地実習	(99)						臨地実習	(100)					
後期5	10月1日	水				臨地実習	(101)						臨地実習	(102)						臨地実習	(103)						臨地実習	(104)						臨地実習	(105)					
後期5	10月2日	木				臨地実習	(106)						臨地実習	(107)						臨地実習	(108)						臨地実習	(109)						臨地実習	(110)					
後期5	10月3日	金				臨地実習	(111)						臨地実習	(112)						臨地実習	(113)						臨地実習	(114)						臨地実習	(115)					
後期5	10月4日	土																																							
後期5	10月5日	日																																							
後期6	10月6日	月			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(116)						臨地実習	(117)						臨地実習	(118)						臨地実習	(119)						臨地実習	(120)					
後期6	10月7日	火				臨地実習	(121)						臨地実習	(122)						臨地実習	(123)						臨地実習	(124)						臨地実習	(125)					
後期6	10月8日	水				臨地実習	(126)						臨地実習	(127)						臨地実習	(128)						臨地実習	(129)						臨地実習	(130)					
後期6	10月9日	木				臨地実習	(131)						臨地実習	(132)						臨地実習	(133)						臨地実習	(134)						臨地実習	(135)					
後期6	10月10日	金				臨地実習	(136)						臨地実習	(137)						臨地実習	(138)						臨地実習	(139)						臨地実習	(140)					
後期6	10月11日	土																																							
後期6	10月12日	日																																							
後期7	10月13日	月	リポート作成																																						
後期7	10月14日	火			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(141)						臨地実習	(142)						臨地実習	(143)						臨地実習	(144)						臨地実習	(145)					
後期7	10月15日	水				臨地実習	(146)						臨地実習	(147)						臨地実習	(148)						臨地実習	(149)						臨地実習	(150)					
後期7	10月16日	木				臨地実習	(151)						臨地実習	(152)						臨地実習	(153)						臨地実習	(154)						臨地実習	(155)					
後期7	10月17日	金				臨地実習	(156)						臨地実習	(157)						臨地実習	(158)						臨地実習	(159)						臨地実習	(160)					
後期7	10月18日	土																																							
後期7	10月19日	日																																							
後期8	10月20日	月			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(161)						臨地実習	(162)						臨地実習	(163)						臨地実習	(164)						臨地実習	(165)					
後期8	10月21日	火				臨地実習	(166)						臨地実習	(167)						臨地実習	(168)						臨地実習	(169)						臨地実習	(170)					
後期8	10月22日	水				臨地実習	(171)						臨地実習	(172)						臨地実習	(173)						臨地実習	(174)						臨地実習	(175)					
後期8	10月23日	木				臨地実習	(176)						臨地実習	(177)						臨地実習	(178)						臨地実習	(179)						臨地実習	(180)					
後期8	10月24日	金				臨地実習	(181)						臨地実習	(182)						臨地実習	(183)						臨地実習	(184)						臨地実習	(185)					
後期8	10月25日	土																																							

2025時間割表（看護学専攻第3学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期8	10月26日	日																																								
後期9	10月27日	月			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(186)						臨地実習	(187)						臨地実習	(188)						臨地実習	(189)						臨地実習	(190)									
後期9	10月28日	火				臨地実習	(191)						臨地実習	(192)						臨地実習	(193)						臨地実習	(194)						臨地実習	(195)									
後期9	10月29日	水				臨地実習	(196)						臨地実習	(197)						臨地実習	(198)						臨地実習	(199)						臨地実習	(200)									
後期9	10月30日	木				臨地実習	(201)						臨地実習	(202)						臨地実習	(203)						臨地実習	(204)						臨地実習	(205)									
後期9	10月31日	金				臨地実習	(206)						臨地実習	(207)						臨地実習	(208)						臨地実習	(209)						臨地実習	(210)									
後期9	11月1日	土																																								
後期9	11月2日	日																																									
後期10	11月3日	月	文化の日																																								
後期10	11月4日	火			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(211)						臨地実習	(212)						臨地実習	(213)						臨地実習	(214)						臨地実習	(215)									
後期10	11月5日	水				臨地実習	(216)						臨地実習	(217)						臨地実習	(218)						臨地実習	(219)						臨地実習	(220)									
後期10	11月6日	木				臨地実習	(221)						臨地実習	(222)						臨地実習	(223)						臨地実習	(224)						臨地実習	(225)									
後期10	11月7日	金				臨地実習	(226)						臨地実習	(227)						臨地実習	(228)						臨地実習	(229)						臨地実習	(230)									
後期10	11月8日	土																																								
後期10	11月9日	日																																									
後期11	11月10日	月			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(231)						臨地実習	(232)						臨地実習	(233)						臨地実習	(234)						臨地実習	(235)									
後期11	11月11日	火				臨地実習	(236)						臨地実習	(237)						臨地実習	(238)						臨地実習	(239)						臨地実習	(240)									
後期11	11月12日	水				臨地実習	(241)						臨地実習	(242)						臨地実習	(243)						臨地実習	(244)						臨地実習	(245)									
後期11	11月13日	木				臨地実習	(246)						臨地実習	(247)						臨地実習	(248)						臨地実習	(249)						臨地実習	(250)									
後期11	11月14日	金				臨地実習	(251)						臨地実習	(252)						臨地実習	(253)						臨地実習	(254)						臨地実習	(255)									
後期11	11月15日	土																																								
後期11	11月16日	日																																									
後期12	11月17日	月			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(256)						臨地実習	(257)						臨地実習	(258)						臨地実習	(259)						臨地実習	(260)									
後期12	11月18日	火				臨地実習	(261)						臨地実習	(262)						臨地実習	(263)						臨地実習	(264)						臨地実習	(265)									
後期12	11月19日	水				臨地実習	(266)						臨地実習	(267)						臨地実習	(268)						臨地実習	(269)						臨地実習	(270)									
後期12	11月20日	木				臨地実習	(271)						臨地実習	(272)						臨地実習	(273)						臨地実習	(274)						臨地実習	(275)									
後期12	11月21日	金				臨地実習	(276)						臨地実習	(277)						臨地実習	(278)						臨地実習	(279)						臨地実習	(280)									
後期12	11月22日	土																																								
後期12	11月23日	日	秋分の日																																								
後期13	11月24日	月	振替休日																																								
後期13	11月25日	火			（自）インディペンデントスタ	臨地実習	(281)						臨地実習	(282)						臨地実習	(283)						臨地実習	(284)						臨地実習	(285)									
後期13	11月26日	水				臨地実習	(286)						臨地実習	(287)						臨地実習	(288)						臨地実習	(289)						臨地実習	(290)									
後期13	11月27日	木				臨地実習	(291)						臨地実習	(292)						臨地実習	(293)						臨地実習	(294)						臨地実習	(295)									
後期13	11月28日	金				臨地実習	(296)						臨地実習	(297)						臨地実習	(298)						臨地実習	(299)						臨地実習	(300)									
後期13	11月29日	土																																								
後期13	11月30日	日																																									
後期14	12月1日	月			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(301)						臨地実習	(302)						臨地実習	(303)						臨地実習	(304)						臨地実習	(305)									
後期14	12月2日	火				臨地実習	(306)						臨地実習	(307)						臨地実習	(308)						臨地実習	(309)						臨地実習	(310)									
後期14	12月3日	水				臨地実習	(311)						臨地実習	(312)						臨地実習	(313)						臨地実習	(314)						臨地実習	(315)									
後期14	12月4日	木				臨地実習	(316)						臨地実習	(317)						臨地実習	(318)						臨地実習	(319)						臨地実習	(320)									
後期14	12月5日	金				臨地実習	(321)						臨地実習	(322)						臨地実習	(323)						臨地実習	(324)						臨地実習	(325)									
後期14	12月6日	土																																								
後期14	12月7日	日																																									
後期15	12月8日	月			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習	(326)						臨地実習	(327)						臨地実習	(328)						臨地実習	(329)						臨地実習	(330)									
後期15	12月9日	火				臨地実習	(331)						臨地実習	(332)						臨地実習	(333)						臨地実習	(334)						臨地実習	(335)									
後期15	12月10日	水				卒業論文Ⅰ	(1)	必修	卒論発表会(講義室1,2)	登校		ZOOM併用有	卒業論文Ⅰ	(2)	必修	卒論発表会(講義室1,2)	登校		ZOOM併用有	卒業論文Ⅰ	(3)	必修	卒論発表会(講義室1,2)	登校		ZOOM併用有	卒業論文Ⅰ	(4)	必修	卒論発表会(講義室1,2)	登校		ZOOM併用有	卒業論文Ⅰ	(5)	必修	卒論発表会(講義室1,2)	登校		ZOOM併用有
後期15	12月11日	木				臨地実習	(336)						臨地実習	(337)						臨地実習	(338)						臨地実習	(339)						臨地実習	(340)									
後期15	12月12日	金				臨地実習	(341)						臨地実習	(342)						臨地実習	(343)						臨地実習	(344)						臨地実習	(345)									
後期15	12月13日	土																																								
後期15	12月14日	日																																									
後期16	12月15日	月			（自）インディ	臨地実習	(346)						臨地実習	(347)						臨地実習	(348)						臨地実習	(349)						臨地実習	(350)									
後期16	12月16日	火				臨地実習	(351)						臨地実習	(352)						臨地実習	(353)						臨地実習	(354)						臨地実習	(355)									

2025時間割表（看護学専攻第3学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期16	12月17日	水			（自）インディペンデントスタディB	卒業論文Ⅰ	(6)	必修		非同期型			卒業論文Ⅰ	(7)	必修		非同期型																							
後期16	12月18日	木				臨地実習	(356)						臨地実習	(357)						臨地実習	(358)						臨地実習	(359)						臨地実習	(360)					
後期16	12月19日	金				臨地実習	(361)						臨地実習	(362)						臨地実習	(363)						臨地実習	(364)						臨地実習	(365)					
後期16	12月20日	土																																							
後期16	12月21日	日																																							
後期17	12月22日	月																																							
後期17	12月23日	火																																							
後期17	12月24日	水																																							
後期17	12月25日	木																																							
後期17	12月26日	金																																							
後期17	12月27日	土																																							
後期17	12月28日	日																																							
後期18	12月29日	月																																							
後期18	12月30日	火																																							
後期18	12月31日	水																																							
後期18	1月1日	木	元日																																						
後期18	1月2日	金																																							
後期18	1月3日	土																																							
後期18	1月4日	日																																							
後期19	1月5日	月																																							
後期19	1月6日	火																																							
後期19	1月7日	水				卒業論文Ⅰ	(8)	必修		登校		情報検索室	卒業論文Ⅰ	(9)	必修		登校		情報検索室																							
後期19	1月8日	木																																							
後期19	1月9日	金																																							
後期19	1月10日	土																																							
後期19	1月11日	日																																							
後期20	1月12日	月	成人の日																																						
後期20	1月13日	火			（自）インディペンデントスタディB	卒業論文Ⅱ	(1)	必修					卒業論文Ⅱ	(2)	必修					臨地実習補習期間	(1)						臨地実習補習期間	(2)						臨地実習補習期間	(3)					
後期20	1月14日	水				卒業論文Ⅰ	(10)	必修		同期型			卒業論文Ⅰ	(11)	必修		同期型																							
後期20	1月15日	木				臨地実習補習期間	(4)						臨地実習補習期間	(5)						臨地実習補習期間	(6)						臨地実習補習期間	(7)						臨地実習補習期間	(8)					
後期20	1月16日	金				臨地実習補習期間	(9)						臨地実習補習期間	(10)						臨地実習補習期間	(11)						臨地実習補習期間	(12)						臨地実習補習期間	(13)					
後期20	1月17日	土																																							
後期20	1月18日	日																																							
後期21	1月19日	月			（自）インディペンデントスタディB	臨地実習補習期間	(14)						臨地実習補習期間	(15)						臨地実習補習期間	(16)						臨地実習補習期間	(17)						臨地実習補習期間	(18)					
後期21	1月20日	火				卒業論文Ⅱ	(3)	必修					卒業論文Ⅱ	(4)	必修					臨地実習補習期間	(19)						臨地実習補習期間	(20)						臨地実習補習期間	(21)					
後期21	1月21日	水				卒業論文Ⅰ	(12)	必修		同期型			卒業論文Ⅰ	(13)	必修		同期型																							
後期21	1月22日	木				臨地実習補習期間	(22)						臨地実習補習期間	(23)						臨地実習補習期間	(24)						臨地実習補習期間	(25)						臨地実習補習期間	(26)					
後期21	1月23日	金				臨地実習補習期間	(27)						臨地実習補習期間	(28)						臨地実習補習期間	(29)						臨地実習補習期間	(30)						臨地実習補習期間	(31)					
後期21	1月24日	土																																							
後期21	1月25日	日																																							
後期22	1月26日	月																																							
後期22	1月27日	火				卒業論文Ⅱ	(5)	必修					卒業論文Ⅱ	(6)	必修																										
後期22	1月28日	水																																							
後期22	1月29日	木																																							
後期22	1月30日	金																																							
後期22	1月31日	土																																							
後期22	2月1日	日																																							
後期23	2月2日	月																																							
後期23	2月3日	火				卒業論文Ⅱ	(7)	必修					卒業論文Ⅱ	(8)	必修																										
後期23	2月4日	水																																							
後期23	2月5日	木																																							
後期23	2月6日	金																																							

2025時間割表（看護学専攻第3学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

	日付	曜日	祝日情報	その他	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期23	2月7日	土																																								
後期23	2月8日	日																																								
後期24	2月9日	月																																								
後期24	2月10日	火																																								
後期24	2月11日	水	建国記念の日																																							
後期24	2月12日	木																																								
後期24	2月13日	金																																								
後期24	2月14日	土																																								
後期24	2月15日	日																																								
後期25	2月16日	月																																								
後期25	2月17日	火																																								
後期25	2月18日	水																																								
後期25	2月19日	木																																								
後期25	2月20日	金																																								
後期25	2月21日	土																																								
後期25	2月22日	日																																								
後期26	2月23日	月	天皇誕生日																																								
後期26	2月24日	火																																								
後期26	2月25日	水																																								
後期26	2月26日	木																																								
後期26	2月27日	金																																								
後期26	2月28日	土																																								
後期26	3月1日	日																																								
後期27	3月2日	月																																								
後期27	3月3日	火																																								
後期27	3月4日	水																																								
後期27	3月5日	木																																								
後期27	3月6日	金																																								
後期27	3月7日	土																																								
後期27	3月8日	日																																								
後期28	3月9日	月																																								
後期28	3月10日	火																																								
後期28	3月11日	水																																								
後期28	3月12日	木																																								
後期28	3月13日	金																																								
後期28	3月14日	土																																								
後期28	3月15日	日																																								
後期29	3月16日	月																																								
後期29	3月17日	火																																								
後期29	3月18日	水																																								
後期29	3月19日	木																																								
後期29	3月20日	金	春分の日																																								
後期29	3月21日	土																																								
後期29	3月22日	日																																								
後期30	3月23日	月																																								
後期30	3月24日	火																																								
後期30	3月25日	水																																								
後期30	3月26日	木																																								
後期30	3月27日	金																																								
後期30	3月28日	土																																								
後期30	3月29日	日																																								
	3月30日	月																																								
	3月31日	火																																								

時間割番号	012031				
科目名	疫学			科目ID	MN-330100-L
担当教員	柏木 聖代, 横山 徹爾[KASHIWAGI Masayo, Tetsuji Yokoyama]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Epidemiology

【科目責任者】柏木 聖代

【科目担当】横山 徹爾

授業の目的、概要等

疫学は, 人間集団を対象にして, 疾病, 異常, 障害, さらに, 健康の頻度(率)の分布を記述し, これらの状態を規定している因子を研究する学問である。一言でいうと, 集団レベルで, 原因不明の疾病の原因を追求する学問である。

授業の到達目標

1.疫学の概要と、有病率・罹患率・死亡率等の疾病頻度の指標を説明できる。(総論 1)

2.記述疫学の方法と長所・短所、用いる指標、証拠能力について説明できる。(総論 1)

3.症例・対照研究、コホート研究、介入研究の方法と長所・短所、用いる指標、証拠能力について説明できる。(総論 2,3)

4.観察研究における交絡の意味と、因果関係に関する Hill の判断基準を説明できる。(総論 4)

5.循環器疾患の動向とリスク因子について説明できる。(各論 1)

6.がんの動向とリスク因子について説明できる。(各論 2)

7.環境が健康に与える影響を疫学的に考察できる。(各論 3)

8.健康課題解決のための疫学研究を提案できる。 (演習)

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/22	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	総論 1	疫学の概要、疾病頻度の測定	横山 徹爾	疫学の概要と、有病率・罹患率・死亡率等の疾病頻度の指標を説明できる。(講義)
2	5/22	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	総論 2	記述疫学、横断研究、生態学的研究	横山 徹爾	記述疫学の方法と長所・短所、用いる指標、証拠能力について説明できる。(講義)
3	6/5	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	総論 3	症例・対照研究、コホート研究、介入研究	横山 徹爾	症例・対照研究、コホート研究、介入研究の方法と長所・短所、用いる指標、証拠能力について説明できる。(講義)
4	6/5	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	総論 4	因果関係の推理、交絡変数の調整	横山 徹爾	観察研究における交絡の意味と、因果関係に関する Hill の判断基準を説明できる。(講義)
5	6/12	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	各論 1	循環器疾患の疫学	横山 徹爾	循環器疾患の動向とリスク因子について説明できる。(講義)
6	6/12	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	各論 2	がんの疫学	横山 徹爾	がんの動向とリスク因子について説明できる。(講義)
7	6/19	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	各論 3	環境問題と疫学	横山 徹爾	環境が健康に与える影響を疫学的に考察できる。(講義)
8	6/19	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	演習	健康問題の解決	横山 徹爾	健康課題解決のための疫学研究を提案できる。 (演習)

授業方法

対面授業とし、講義とグループワーク演習を行う。講義時は学生間でのディスカッションを随時行い、グループワーク演習時は各グループで疫学研究計画を立案する。

授業内容

総論では, 疫学の原理と方法に関する基礎的知識を学習する。各論では, わが国における生活習慣病対策や疫学研究等を材料にして, 疫学方法論の知識を深める。演習では, 具体的な事例を題材にして, 健康問題の発見, 当該健康問題の原因追及, 予防対策の樹立, 予防対策の実施, 予防対策の評価をシミュレーションし, 疫学の応用あるいは公衆衛生活動のあり方を学習する。

成績評価の方法

筆記試験8割(80 点満点), グループワーク演習の課題レポート2割(20 点満点)により評価する。

成績評価の基準

筆記試験, グループワーク演習の課題レポートで採点し, 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

循環器疾患, がん, 感染症, その他一般的な疾患の定義, 症状, 診断, 治療, 予防の概要を知っておくことが大切である。統計学の入門レベル, 例えば, 平均値, 標準偏差, 平均値の差の検定, 率の差の検定, 相関係数の算出とその意義ぐらいを習得しておくことは必須である。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2/3 以上以上出席していること。

出席は、講義を最初から最後まで参加していることが確認出来た場合とする。

教科書

演習問題で学ぶ疫学／横山, 徹爾,横山徹爾 著:南山堂, 2024.8

参考書

はじめて学ぶやさしい疫学 : 日本疫学会標準テキスト／日本疫学会監修,日本疫学会,:南江堂, 2024(4 月予定)

空間疫学への招待 : 疾病地図と疾病集積性を中心として／丹後俊郎, 横山徹爾, 高橋邦彦著,丹後, 俊郎,横山, 徹爾,高橋, 邦彦 ,:朝倉書店, 2007

疫学入門演習 : 原理と方法／田中, 平三, 1940-,田中平三 著:南山堂, 1998.1

他科目との関連

衛生学・公衆衛生学の基礎的学問である。保健統計学は, 疫学的研究の手段として利用される。疫学の考え方, 疫学で使われる手法は卒業論文, 学位論文などの研究にも密接に結びついている。

履修上の注意事項

教科書は必携

備考

2024 年度の授業評価では特に改善が必要な点はなかったが、例年の通り、例題を用いて理解を深められるよう工夫した講義を行い、最後に各グループで疫学研究計画を立案して知識の定着を図る。

連絡先(メールアドレス)

柏木 聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp 3 号館 18 階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室

オフィスアワー

柏木 聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012237				
科目名	英語Ⅱ(A)Topical Discussion			科目ID	MN-495400-L
担当教員	WHITAKER SIMON[WHITAKER SIMON]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

英文名:English Ⅱ

【科目責任者】畔柳 和代

【科目担当者】WHITAKER SIMON

・曜日・時間:火曜 3 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

A course focused on in-depth discussion of contemporary social topics which affect everyone, from AI and social media to new or growing health and environmental challenges. We will consider a small set of such topics from different angles. You will continuously work on and develop important skills like those of open and impromptu discussion. You will also be building up and consolidating vocabulary, and even your own ideas, as we explore points of connection between these topical debates and the often-overlapping ways they can be approached.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

To be able to productively engage in activities in a cross-cultural environment by collaborating with people from different cultural backgrounds in English

様々な文化的背景を持つ仲間と協働し、生産的に業務に貢献・遂行できる

To be able to utilize critical thinking skills (including productively making and responding to counterarguments) and lateral thinking skills in English

英語でクリティカルシンキングやラテラルシンキングスキルを活用できる(健全で建設的な反論およびそれへの対応を含む)

To be able to productively engage in academic and professional activities using English in an international setting

国際的な場面で、英語を使い、学問的および専門的な活動に生産的に貢献することができる

以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。

2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。

3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/16	13:30-14:15	遠隔授業(同期型)	Class 1	Half-length session. Introduction to course and introducing each other.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom Meeting ID: 977 5443 9596 Password: 7uUJBD
2-3	9/30	13:30-15:10	遠隔授業	Class 2,	Topic 1. First tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking

			(同期型)	Class 3			+ Seminar Zoom 同上
4-5	10/7	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 4, Class 5	Further group discussion around topic 1.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上
6-7	10/14	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 6, Class 7	Topic 2. Second tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上
8-9	10/21	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 8, Class 9	Further group discussion around topic 2.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上
10-11	10/28	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Topic 3. Third tutor-led discussion.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上
12-13	11/4	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Further group discussion around topic 3.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上
14-15	11/11	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion of topics covered + further areas of study/consideration.	WHITAKER SIMON	Active learning/speaking + Seminar Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-15: Skills Instruction and Continuous Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Participation: 50%, Presentations: 30%, Discussion contributions: 20%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

WHITAKER SIMON:whitaker.simon@tmd.ac.jp

オフィスアワー

WHITAKER SIMON:水・木曜日 12 時 30 分～13 時 管理研究棟 3 階 ウィタカー研究室

時間割番号	012238				
科目名	英語Ⅱ(C)Conversation Ⅰ(前期)			科目ID	MN-495500-L
担当教員	Richard Knobbs[Richard Knobbs]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

英文名:English Ⅱ

【科目責任者】畔柳 和代

【科目担当者】Richard Knobbs

・曜日・時間:火曜 3 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

English Ⅱ, "Conversation Ⅰ" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。

2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。

3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/1	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 1	Intro to Conversation I 初回は 45 分	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 943 6033 9568 Passcode: SWP8cL
2	4/8	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
3	4/15	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4	4/22	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
5	5/13	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
6	5/20	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

7	5/27	13:30–15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar Zoom 同上
8	6/3	13:30–15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation I 評価: Attendance & Participation: 50% Homework: 10% English Interview: 15%

Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第 6 条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水 12:30–13:00 管理研究棟3階 畔柳研究室

時間割番号	012239				
科目名	英語Ⅱ(C)Conversation Ⅰ(後期)			科目ID	MN-495600-L
担当教員	Richard Knobbs[Richard Knobbs]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

英文名:English Ⅱ

【科目責任者】畔柳 和代

【科目担当者】Richard Knobbs

・曜日・時間:火曜 3 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

English Ⅱ, "Conversation Ⅰ" is a course for students who want to improve their spoken English skills. The course focuses on practical conversational abilities, and students will engage in interviews, role-playing, and group discussions on a variety of topics. The course prioritizes vocabulary development, effective public speaking, and the development of confidence in expressing opinions, even in imperfect English. The course aims to create an active and supportive learning environment, emphasizing not only the improvement of English skills but also the use of those skills in real-world situations.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。

2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。

3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/16	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 1	Intro to Conversation I 初回は 45 分	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 940 2154 9948 Passcode: MaQg3t
2	9/30	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
3	10/7	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
4	10/14	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
5	10/21	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
6	10/28	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。

7	11/4	13:30–15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。
8	11/11	13:30–15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar, Zoom 同上。

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation I 評価: Attendance & Participation: 50% Homework: 10% English Interview: 15%

Discussion Test: 25%

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水 12:30–13:00 管理研究棟3階 畔柳研究室

時間割番号	01223a				
科目名	英語Ⅱ(D)Conversation Ⅱ(前期)			科目ID	MN-495700-L
担当教員	Richard Knobbs[Richard Knobbs]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

英文名:English Ⅱ

【科目責任者】畔柳 和代

【科目担当者】Richard Knobbs

・曜日・時間:火曜 3 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

English Ⅱ "Conversation Ⅱ" (Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。

2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。

3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/10	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 1	Intro to Conversation Ⅱ 初回は 45 分	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 945 2743 3874 Passcode: vvvcG1
2	6/17	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
3	6/24	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4	7/1	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
5	7/8	13:30-15:10	遠隔授業	Class 8,	Discussion/Presentation	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar,

			(同期型)	Class 9	Practice		Zoom 同上
6	7/15	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
7	7/22	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8	7/29	13:30-15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation Ⅱ 評価:Attendance & Participation: 40% Homework: 10% English Interview: 25% Discussion Test: 25

再評価: 再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水 12:30-13:00 管理研究棟3階 畔柳研究室

時間割番号	01223b				
科目名	英語Ⅱ(D)Conversation Ⅱ(後期)			科目ID	MN-495800-L
担当教員	Richard Knobbs[Richard Knobbs]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

英文名:English Ⅱ

【科目責任者】畔柳 和代

【科目担当者】Richard Knobbs

・曜日・時間:火曜 3 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

English Ⅱ "Conversation Ⅱ" (Improving Conversational Proficiency) is an advanced course designed for students aiming to refine their spoken English skills. Students will actively engage in extensive discussions, interviews, and group discussion tasks, fostering a higher level of language proficiency, cultural adaptability, and effective communication. The course places a strong emphasis on vocabulary expansion, advanced public speaking techniques, and the continued cultivation of confidence in expressing opinions, even within the complexities of the English language. Evaluation methods include individual interviews, group discussions, and reflective homework assignments. The objective is to create a stimulating and encouraging learning environment, helping students to not only excel in language proficiency but also to develop the application of advanced English skills in diverse real-world contexts.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、この授業の到達目標を概ね達成したレベル(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。

2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。

3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	11/18	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 1, 初回は45分	Intro to Conversation Ⅱ, Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom ID: 998 4022 9987 Passcode: DaaC6A
2	11/25	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 2, Class 3	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
3	12/2	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 4, Class 5	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
4	12/9	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 6, Class 7	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
5	12/16	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	Class 8, Class 9	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

6	1/6	13:30–15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 10, Class 11	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
7	1/13	13:30–15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 12, Class 13	Discussion/Presentation Practice	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上
8	1/20	13:30–15:10	遠隔授業 (同期型)	Class 14, Class 15	Discussion Test	Richard Knobbs	Active Learning, Seminar, Zoom 同上

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Class 1: Orientation

Classes 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Classes 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

Conversation Ⅱ 評価:Attendance & Participation: 40%　Homework: 10%　English Interview: 25%　Discussion Test: 25%

再評価:　再評価はありません。

成績評価の基準

「東京科学大学学修規程第6条」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語Ⅱ」の各科目(1単位)は、45 分×15 コマです。科目ごとに成績がつきます。試験が実施される場合、受験資格があるのは、原則としてその科目に3分の2以上出席した者です。「英語Ⅱ」では再評価は行いません。

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:水　12:30–13:00 管理研究棟3階 畔柳研究室

時間割番号	012250				
科目名	System-based medical terminology Ⅰ			科目ID	MN-334400-L
担当教員	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS[KONDO Akiko, JANELLE RENEE MOROSS]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:System-based medical terminology Ⅰ

【科目責任者】近藤 暁子

【科目担当】JANELLE RENEE MOROSS

科目コマ数: 15

必要自習時間:30 時間

授業形態:オンデマンド

医学用語は、研究論文や最新の手順を理解するために必要です。このコースでは、基本的な人間の臓器系に関連する医学用語を独学で学習します。

WebClass コースに配信される課題

WebClass の指定のコースにオンデマンドの課題が提供される。当該課題を定められた期間内に履修すること。

Lessons 1 and 2: Basics of Medical Terminology

Lessons 3 and 4: Color, Size, Axis, Regions

Lessons 5 and 6: Cardiovascular System

Lessons 7 and 8: Respiratory System

Lessons 9 and 10: Gastrointestinal System

Lessons 11 and 12: Head and Neck

Lessons 13 and 14: Oncology Terminology

Lesson 15: Final exam

主な講義場所

このコースには講義はありません。学習はすべて WebClass で行われます。

オンデマンド

授業の目的、概要等

オンデマンド教材(読書課題と演習)を通じて英語で医学用語を学び、その後、東京科学大学のイントラネットシステム(WebClass)で提供される語彙クイズでスキルをテストします。これらの演習を通じて、学生は英語と日本語の医学用語の知識と英語の理解力を向上させます。

授業の到達目標

コース終了時には、学生は医学用語の 3 つの主要部分、接頭辞/語源/接尾辞、および対象とするシステムで最も一般的な医学用語を使用する方法を理解します。

医学教育のためのモデルコアカリキュラムの基礎を満たすことを目標としています。

PS: 問題解決、

PS-01: 基礎医学

PS-02: 人体のシステム

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/8	17:15-18:55	オンデマンド	医学用語の基礎	オンデマンドの読書課題	JANELLE RENEE MOROSS	医学用語がどのように構成されているかを理解する。
2	4/14	17:15-18:55	オンデマンド	医学用語の基礎(続き)	オンデマンドの理解度チェックと語彙クイズ	JANELLE RENEE MOROSS	WebClass で提供される単語リストに基づいた記事理解クイズと語彙クイズで構成される多肢選択クイズ。
3	4/21	17:15-18:55	オンデマンド	色/大きさ/軸/領域	オンデマンドの読書課題	JANELLE RENEE MOROSS	割り当てられたトピックの基本的な接頭辞、語根、接尾辞を理解し

							ます。
4	4/30	17:15-18:55	オンデマンド	色/大きさ/軸/領域(続き)	オンデマンドの理解度チェックと語彙クイズ	JANELLE RENEE MOROSS	WebClass で提供される単語リストに基づいた記事理解クイズと語彙クイズで構成される多肢選択クイズ。
5	5/12	17:15-18:55	オンデマンド	心臓血管系	オンデマンドの読書課題	JANELLE RENEE MOROSS	割り当てられたトピックの基本的な接頭辞、語根、接尾辞を理解します。
6	5/19	17:15-18:55	オンデマンド	心臓血管系(続き)	オンデマンドの理解度チェックと語彙クイズ	JANELLE RENEE MOROSS	WebClass で提供される単語リストに基づいた記事理解クイズと語彙クイズで構成される多肢選択クイズ。
7	5/26	17:15-18:55	オンデマンド	呼吸器系	オンデマンドの読書課題	JANELLE RENEE MOROSS	割り当てられたトピックの基本的な接頭辞、語根、接尾辞を理解します。
8	6/2	17:15-18:55	オンデマンド	呼吸器系(続き)	オンデマンドの理解度チェックと語彙クイズ	JANELLE RENEE MOROSS	WebClass で提供される単語リストに基づいた記事理解クイズと語彙クイズで構成される多肢選択クイズ。
9	6/9	17:15-18:55	オンデマンド	消化器系	オンデマンドの読書課題	JANELLE RENEE MOROSS	割り当てられたトピックの基本的な接頭辞、語根、接尾辞を理解します。
10	6/16	17:15-18:55	オンデマンド	消化器系(続き)	オンデマンドの理解度チェックと語彙クイズ	JANELLE RENEE MOROSS	WebClass で提供される単語リストに基づいた記事理解クイズと語彙クイズで構成される多肢選択クイズ。
11	6/23	17:15-18:55	オンデマンド	目、耳、鼻、喉	オンデマンドの読書課題	JANELLE RENEE MOROSS	割り当てられたトピックの基本的な接頭辞、語根、接尾辞を理解します。
12	6/30	17:15-18:55	オンデマンド	目、耳、鼻、喉(続き)	On-demand comprehension check and vocabulary quiz	JANELLE RENEE MOROSS	WebClass で提供される単語リストに基づいた記事理解クイズと語彙クイズで構成される多肢選択クイズ。
13	7/7	17:15-18:55	オンデマンド	腫瘍学用語	オンデマンドの読書課題	JANELLE RENEE MOROSS	割り当てられたトピックの基本的な接頭辞、語根、接尾辞を理解します。
14	7/14	17:15-18:55	オンデマンド	腫瘍学用語(続き)	オンデマンドの理解度チェックと語彙クイズ	JANELLE RENEE MOROSS	WebClass で提供される単語リストに基づいた記事理解クイズと語彙クイズで構成される多肢選択クイズ。
15	7/21	17:15-18:55	オンデマンド	期末テスト	WebClass での期末試験	JANELLE RENEE MOROSS	複数選択、単語リスト 1 ～ 7

授業方法

オンデマンドの講義、読書課題、それに続く演習とクイズを東京科学大学のイントラネットシステム WebClass で実施します。

授業内容

医療従事者に必要な基本的な医学用語をオンデマンドで学習します。

各モジュールは 2 週間で構成されています:

1) オンデマンドの読み書き

2) オンデマンドの理解度チェックと語彙クイズ

成績評価の方法

成績は、オンデマンドのコース コンテンツを視聴/読み、期限までに語彙クイズと演習を完了したかどうかに基づいて決定されます。さらに、学習内容の理解度をテストする最終試験が実施されます。

成績評価の基準

セクションクイズ: 40%

期末試験: 60%

学生の成績は、以下に示すように 5 段階評価 (A+、A、B、C、または D) で評価されます。D は不合格となり、単位は付与されません。

A+: 100–90 / 当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した

A : 89–80 / 当該科目の到達目標を全て達成した

B : 79–70 / 当該科目の到達目標を概ね達成した

C : 69–60 / 当該科目の到達目標のうち最低限を達成した

D : 59–0 / 当該科目の到達目標を達成していない

準備学習等についての具体的な指示

オンデマンドの講義を聴いたり、記事を読んだり、新しい用語を調べて学んだりした後、次の週に演習と理解度テストを行います。最終試験は、コースの最後に Science Tokyo のイントラネット システムで 100 問の多肢選択式テストで、このコースの 7 つの語彙リストにある医学用語の理解度をテストします。

試験の受験資格

期末試験は指定された期間内に WebClass で実施されます。

教科書

WebClass に資料(授業で必要なマテリアル等)を提示する。

備考

各モジュールを期限内に完了するにご注意

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

JANELLE RENEE MOROSS:ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

時間割番号	012270				
科目名	IMRAD Format Presentation in English			科目ID	MN-495900-L
担当教員	近藤 暁子, JANELLE RENEE MOROSS[KONDO Akiko, JANELLE RENEE MOROSS]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	3～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:IMRAD Format Presentation in English

【科目責任者】近藤 暁子

【科目担当者】JANELLE RENEE MOROSS

科目コマ数: 10

必要自習時間:30 時間

授業形態:オンデマンド

IMRaD 形式は研究発表の執筆と発表の標準であり、この形式を学ぶことで研究論文や発表をよりよく理解し、執筆できるようになります。

Lesson 1: Presentation and Slide Basics

宿題:読書課題・Based on the research article provided, create one A4 page research presentation outline.

提出: Upload one A4 page research presentation outline to WebClass before the deadline.

Lesson 2: Overview of IMRaD Structure

宿題:読書課題・小テスト

Lesson 3: Introduction Section

宿題:読書課題・小テスト

Lesson 4:Introduction (slide creation)

宿題:Based on the reading and research article provided, create one Introduction and one Background slide

提出: Upload one Introduction and one background slide to WebClass before the deadline.

Lesson 5: Methods Section

宿題:読書課題・小テスト

Lesson 6: Methods (slide creation)

宿題:Based on the reading and research article provided, create 1-2 Methods slide(s).

提出: Upload Methods slide(s) to WebClass before the deadline.

Lesson 7: Results Section

宿題:読書課題・小テスト

Lesson 8: Results (slide creation)

宿題:Based on the reading and research article provided, create 1-2 Results slide(s).

提出: Upload Results slide(s) to WebClass before the deadline.

Lesson 9: Discussion Section

宿題:読書課題・小テスト

Lesson 10: Discussion (slide creation)

宿題:Based on the reading and research article provided, create one Discussion slide.

提出: Upload Discussion slide to WebClass before the deadline.

主な講義場所

このコースには講義はありません。学習はすべて WebClass で行われます。

オンデマンド

授業の目的、概要等

このコースでは、オンデマンドの教材と演習を使用して、研究論文の執筆と発表の基本的な IMRaD 構造 (導入、方法、結果、考察) を学生に教えます。学生は読解テストと理解テストを受け、5 つの課題を提出します。

授業の到達目標

学生は、研究論文の執筆や発表で使われる基本的な IMRAD 構造を理解し、活用します。

医学教育のためのモデルコアカリキュラムのセクション RE: 研究目標を満たすことを目的としています。

授業方法

オンデマンドの読書課題、クイズ、宿題は、サイエンス東京のイントラネットシステム WebClass で提供されます。

*課題とクイズにはそれぞれ完了期限があります。

Week 1

Presentation and Slide Design Basics

Based on the research article provided, create one A4 page research presentation outline

読書課題・ 提出: Outline

Week 2

Overview of IMRaD Structure Style

On-demand reading and comprehension check

読書課題・小テスト

Week 3

Introduction Section

On-demand reading and comprehension check

読書課題・小テスト

Week 4

Introduction Section: slide creation

Based on the reading and research article provided, create one Introduction and one Background slide

提出: Introduction and background slides

Week 5

Methods Section

On-demand reading and comprehension check

読書課題・小テスト

Week 6

Methods Section: slide creation

Based on the reading and research article provided, create 1-2 Methods slides

提出: Methods slide

Week 7

Results Section

On-demand reading and comprehension check

読書課題・小テスト

Week 8

Results Section: slide creation

Based on the reading and research article provided, create 1-2 Results slides

提出: Results slide

Week 9

Discussion Section

On-demand reading and comprehension check

読書課題・小テスト

Week 10

Discussion Section: slide creation

Based on the reading and research article provided: Create a Discussion slide

提出: Discussion slide

授業内容

IMRaD 形式の各セクション、導入、方法、結果、考察は、その週の記事で説明されます。

学生は記事を読み、理解度チェックのクイズを完了し、締め切りまでにそのセクションの課題を提出する必要があります。

成績評価の方法

成績は、期限内にオンデマンドの宿題を完了したことと、各主要セクションの理解度テストに基づいて評価されます。研究スライドは、レッスン 1 で示されたガイドラインと、提供された研究記事の正しい解釈に基づいて評価されます。

成績評価の基準

オンデマンド課題: 80%

小テスト: 20%

学生の成績は、以下に示すように 5 段階評価 (A+、A、B、C、または D) で評価されます。D は不合格となり、単位は付与されません。

A+: 100–90 / 当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した

A : 89–80 / 当該科目の到達目標を全て達成した

B : 79–70 / 当該科目の到達目標を概ね達成した

C : 69–60 / 当該科目の到達目標のうち最低限を達成した

D : 59–0 / 当該科目の到達目標を達成していない

準備学習等についての具体的な指示

オンデマンドコンテンツを読み、理解度テストを実施し、期限までに宿題を提出します。

試験の受験資格

期末試験はありません。

教科書

WebClass に資料(授業で必要なマテリアル等)を提示する。

履修上の注意事項

各モジュールを期限内に完了するにご注意

備考

このコースで学んだことを研究論文の議論、執筆、プレゼンテーションに積極的に活用して、知識とコミュニケーションを向上させましょう。

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

JANELLE RENEE MOROSS:ご予約をご希望の場合は、双方の都合のよい時間をご相談するためにメールをお送りください。

時間割番号	012033				
科目名	卒業論文Ⅰ			科目ID	MN-330400-L
担当教員	近藤 暁子, 澁川 穂積[KONDO Akiko, SHIBUKAWA Hozumi]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Thesis Ⅰ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

ZOOM/情報検索室

授業の目的、概要等

研究の基礎知識、研究の倫理、量的研究・質的研究、研究計画書の書き方の基本について学ぶ。実際データベースを使用して興味のある研究テーマに関する文献検索を行い、4 年次の卒業論文Ⅱに向けた準備を行う。英語の論文を読むことで英語論文に慣れ、日本国内のことのみならず、世界的に視野を広げることを目指す。4 年生の卒業論文発表会を聴講することで、1 年後の目標を明確にする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

日本語の論文のみならず、英語の論文を読むことで視野を広げ、英語論文に慣れる。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

看護・保健専門職における研究の意義と必要性を理解する。看護の質の向上のためにはどのような研究が必要か判断できる。

3. 問題提起・解決能力の修得

看護実践としてルチンで行われていることに対し、その意義やエビデンスに基づく看護実践であるか分析・評価し、先行研究からの情報も踏まえ、看護研究テーマとして取り上げることができる。

4. 自己学習能力・創造性の形成

4 年次の卒業論文の進め方を理解し、研究テーマを絞り、テーマに沿った方法を検討するプロセスを理解する。研究を行いたい分野を決め、関連する文献をまとめ、研究計画書を作成することができる。

5. 国際性の形成

日本国内のことのみならず、英語論文も読んで世界的にどのような先行研究が行われ、どのような看護研究が必要かを考え、判断することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-5	12/10	08:50-18:55	保健衛生学科講義室 2, 保健衛生学科講義室 1	卒論発表会聴講	卒論発表会聴講	近藤 暁子	4 年次の卒業論文の進め方を理解し、研究テーマを絞り、テーマに沿った方法を検討するプロセスを理解することができる。・聴講
6-7	12/17	08:50-12:25	遠隔授業(非同期型)	卒業論文Ⅱのオリエンテーション	卒業論文Ⅱのオリエンテーション	近藤 暁子	自分の興味のある内容から、卒論Ⅱの分野選択について考えることができる・聴講
8	1/7	08:50-10:30	情報検索室 1	看護研究の基礎知識	看護研究とは何か 看護研究の種類、方法の特徴	近藤 暁子	看護・保健専門職における研究の意義と必要性を理解する・講義
9	1/7	10:45-12:25	情報検索室 1	看護研究の基礎知識	文献検索の意義と方法 PubMed CINAHAL での検索方法	近藤 暁子, 澁川 穂積	データベースを使用して文献検索が行える・講義及び演習
10	1/14	08:50-10:30	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	臨床での研究の意義/研究の倫理	近藤 暁子	臨床での研究の意義/研究の倫理を理解する・講義
11	1/14	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	質的研究	近藤 暁子	質的研究の手法について概要を理解できる・講義
12	1/21	08:50-10:30	遠隔授業(同期型)	看護研究の基礎知識	量的研究	近藤 暁子	量的研究の手法について概要を理解できる・講義

13	1/21	10:45-12:25	遠隔授業 (同期型)	研究計画書	研究計画書の書き方	近藤 暁子	研究計画書の書き方について学ぶ。講義及び演習

授業方法

講義、文献検索演習、4 年生の卒論発表会への参加も含む。

本科目はアクティブラーニング方式で行い、講義は教員が一方的に話すのではなく、適宜学生に質問する。この回答内容により評価は行わないので、積極的に自分の意見を述べるようにすること。自発的な発言者がない場合は名簿からランダムに指名する。

講義の際、卒業生が卒業論文をもとに雑誌に発表した論文(日本語・英語)を例として取り上げながら、論文の読解方法、研究テーマの絞り方、研究計画書の書き方、論文の書き方を学ぶ。

臨床で勤務している看護師の講義を聞き、臨床研究の意義と関連について理解する。

毎回授業日に学んだこと、印象に残ったこと等の感想をWecClassに入力する。授業開始時の出欠確認とWebClassへの感想の提出を持ってその日の出席とする。

12 月 10 日は 4 年生の卒業論文発表会に出席し、1 年後に自分が発表することを想定し、目標を明確にする。

12 月 17 日は 4 年生の卒業論文Ⅱの分野を決める方法についてのオリエンテーションを行う。WebClass にて必ず視聴すること(非同期授業)。

授業内容

看護研究の基本、研究と実践との関連、研究計画書の書き方、文献検索

成績評価の方法

参参加度・学習態度(30%)、講義の感想(30%)、最終課題(40%)

1) 参加度・学習態度(30%):出席状況、授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。遅延証明がある場合にも 45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認めにくいのでネット環境の良い場所から受講すること。

2) 4 年生の卒業論文発表会の聴講(1-2 回)、各講義(5-10 回)で学んだこと及び感想について、翌日の 24 時までに WebClass に入力する。

3) 最終課題 40%:「自分の興味のあるテーマに関する研究領域で明らかになっていることと明らかになっていないことをまとめ、研究テーマを絞る」 指定の書式に①興味のある研究領域の概要、②その領域の先行研究で明らかになっていること、③先行研究で明らかになっていないこと、④卒業論文Ⅱで明らかにしたいテーマ、⑤文献リストを書いて提出する。(提出期限:2 月 4 日 24 時 課題提出遅れ(1 日につき-1 点))

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。

出席については、ZOOM の場合は、ZOOM の履歴及び点呼時返答も確認する。ネット環境などやむを得ず、ZOOM の接続や返答ができなかった場合には原則翌日までに教員にメールで連絡すること。

合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

講義で紹介する英語論文はすべて読んで分からない単語など調べること。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

参考書

看護研究サポートブック : 研究計画書がラクラク完成!／足立, はるゑ,足立はるゑ 著:メディカ出版, 2022.12

よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 : 看護研究のエキスパートをめざして／グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江編著,グレッグ, 美鈴,麻原, きよみ,横山, 美江,大森, 純子,萱間, 真美,大久保, 功子,吉岡, 京子,河井, 伸子,岡本, 玲子,:医歯薬出版, 2016

よくわかる看護研究の進め方・まとめ方／横山美江編 ; 大木秀一 [ほか] 著,横山, 美江,大木, 秀一,岡本, 悦司,亀井, 智子,長島, 俊輔,樋口, 京子,彦, 聖美,深井, 喜代子,若村, 智子,:医歯薬出版, 2017

黒田裕子の看護研究 Step by Step／黒田裕子 著,黒田, 裕子, 1954-,:医学書院, 2023

黒田裕子の看護研究 Step by Step 第 6 版 医学書院 2023 ISBN:4260052659

看護研究サポートブック第 5 版 足立はるゑ著 MC メディカ出版 2022 ISBN:978-4840481366

よくわかる質的研究の進め方・まとめ方第 2 版 : 看護研究のエキスパートをめざして／グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江 編著:医歯薬出版, 2016 ISBN:4263236769

よくわかる看護研究の進め方・まとめ方 第 3 版／横山美江 編,:医歯薬出版, 2017 ISBN:978-4-263-23690-1

履修上の注意事項

ZOOM での接続は時間がかかる場合があるので、5 分前には行うこと。 やむを得ず欠席する場合は教員に連絡すること。

備考

1月7日の情報検索室は暖房を使用できないため、カイロの持参など防寒対策をして出席することを奨励します。

＜学生彼のコメント＞

・zoom での授業が多かったため難しいと思うが、周囲と話し合ったりする場面が設けられるとより授業内容の理解にも繋がると感じた→学生同士でディスカッションする時間を取ります。

連絡先（メールアドレス）

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）

時間割番号	012062A				
科目名	卒業論文Ⅱ			科目ID	MN-460800-S
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	3～4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Thesis Ⅱ

【科目責任者】看護学専攻主任　田中 真琴

【担当教員】看護先進科学専攻教授・准教授・講師・助教全員

主な講義場所

所属分野の研究室等（配置分野の教員の指示に従う）

所属分野の決定を受けた後，所属分野の教員に研究指導場所等の確認を取ること。

授業の目的、概要等

選択したテーマに沿って、指導教員から個々に具体的な研究指導を受ける。

指導教員のもとで研究を行い、論文にまとめる。

別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』を参照のこと。

授業の到達目標

看護・保健に関する研究のプロセスを経験することを通じて、論文の読み方、研究の進め方、論文のまとめ方、発表の仕方等の基本的知識・技術等を習得することを目的とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	到達目標・学習方法・その他
1	1/13	08:50-10:30	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
2	1/13	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
3	1/20	08:50-10:30	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
4	1/20	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
5	1/27	08:50-10:30	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
6	1/27	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
7	2/3	08:50-10:30	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
8	2/3	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する

授業方法

同期授業/非同期授業も含め、所属分野の方針にしたがって研究を行う。ゼミ形式など双方向型の授業形態とし、学生のプレゼンテーション、ディスカッションに基づくアクティブラーニングする。

授業内容

・所属分野の教員の指導のもと、学生が主体的に研究活動を行う。

・日時：授業開始から卒論発表会までの間の時間割に提示された日時を基本とするが、各所属分野ごとに曜日や時間を変更して行うことがあるため、各所属分野で提示された日時に従うこと。

・所属分野毎に定めたスケジュールによる。

成績評価の方法

別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』の評価及び単位認定を参照のこと。

研究指導を担当した各分野長が、研究発表までの過程を評価し、最終的に専攻主任が成績を認定する。

研究発表までの取り組み状況、卒業研究論文（本文および抄録）と卒業研究発表で評価する。

1)研究活動への取り組み状況
・各所属分野でのゼミに 2/3 以上出席しない場合は、卒業研究論文の提出を認めない
2)卒業研究論文
・卒業研究論文本文と抄録を提出する。
・形　式 :別紙(卒業論文フォーム)の規定に従う。
・期限までに提出のない者には単位を認定しない。
3)卒業研究発表
・1人につき発表5分, 討論4分程度。
・Power Point を使用した口頭発表を行う。

成績評価の基準

所属分野の指導教員(分野長)が研究発表、卒業研究論文提出までの過程(以下 1)2)3))を、総合的に評価する。
1)研究活動への取り組み状況
2)卒業研究論文
3)卒業研究発表
評価基準は以下のとおりとする。
90～100 点: 科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
80～89 点: 当該科目の到達目標を全て達成した
70～79 点: 当該科目の到達目標を概ね達成した
60～69 点: 当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
0～59 点: 当該科目の到達目標を達成していない
※別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』の評価基準を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示

卒業論文Ⅰで学習した研究概説、研究倫理、文献検索方法について復習をしておくこと。

試験の受験資格

試験は実施しない

教科書

特に指定しない。

参考書

APA 論文作成マニュアル／アメリカ心理学会,前田, 樹海, 1965-,江藤, 裕之, 1963-,アメリカ心理学会 著,前田樹海, 江藤裕之 訳:医学書院, 2023.2
看護研究 : 原理と方法／D.F.ポーリット, C.T.ベック 著,近藤潤子 監訳,後藤桂子, 新道幸恵, 松岡恵, 高木廣文, 羽山由美子 訳.:医学書院, 2010
大学院のシラバス「看護学研究法特論」で挙げた書籍も参考にすることを推奨する。

他科目との関連

全ての科目で学んだことを応用するため、全ての科目と関連する。

備考

・保健衛生学科看護学の各分野に配属され、当該分野において、教授・准教授・講師・助教が指導教員(研究指導の責任者)となり、教員全員が指導にあたる。
・指導する学生数は原則として教授4名、准教授3名、講師2名、助教 1 名とする。
・分野配属は、学生の希望調査に基づき行われるが、各分野の受け入れ人数を鑑み、3年次前期までの成績(GPA)順で希望が優先される。
・各分野のゼミ開催日時は、時間割に記載された曜日や時間と異なる場合があるため、配属された分野のスケジュールを確認すること。
これまでの授業評価を踏まえ、状況が許す限り、対面でのゼミを取り入れる等、学生が相談しやすい体制をつくる。不明点等があれば、適宜、配属分野の教員に相談すること。

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴 : tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴 : オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012087				
科目名	実践看護英語Ⅱ			科目ID	MN-392900-L
担当教員	近藤 暁子, 新津 晃右, Kor Patrick, Diana De, Jonathan Corliss, [KONDO Akiko, NIITU Kousuke, DIANA De , Corliss Jonathan]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practicum of English for Nursing Ⅱ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

ZOOM、講義室 2

授業の目的、概要等

異文化や看護、健康、医療に関連する概念について英語で学ぶ。オンライン学習システムを使用して海外の学生と交流する。様々な文化についての記事を読み、海外の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。日本の文化を理解し、日本文化以外を持つ対象に説明したり、ディスカッションする。また、日本の医療システムを理解し、海外の医療システムとの違いを理解する。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

異文化を理解し、看護への応用について考察できる。日本文化/医療システムについて理解を深め、説明できる。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。

3. 問題提起・解決能力の修得

ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。

4. 自己学習能力・創造性の形成

ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。

5. 国際性の形成

海外の教員、学生及び留学生と建設的なディスカッションを行うことで、英語でのコミュニケーションに慣れ、雰囲気に影響されず、自ら躊躇なく発言できるようなコミュニケーション能力を身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/9	08:50-10:30	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Orientation	近藤 暁子, 新津 晃右	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
2	4/18	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	異文化理解	virtual empathy museum (VEM)	近藤 暁子	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
3	4/30	08:50-10:30	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Supporting the older people with cognitive impairment: Research and Education	Kor Patrick	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
4	5/1	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Cultural Safety: Promoting Diversity in SIM-based	Diana De, 近藤 暁子	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システ

					Learning		ムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
5	5/2	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Group discussion about VEM	近藤 暁子	ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。
6	5/9	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Focus group discussion about activity with UK students	近藤 暁子	ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。
7	5/16	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	自文化理解	Presentation and discussion about Japanese culture and medical system	近藤 暁子	異文化を理解し、看護への応用について考察できる。日本文化/医療システムについて理解を深め、説明できる。
8	5/30	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Cultures of Death and Dying	Jonathan Corliss, 近藤 暁子	ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。
9	6/6	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Presentation about what they learned in this course.	近藤 暁子	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
10	6/6	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Cultures of Nursing	近藤 暁子, Jonathan Corliss	海外の教員、学生及び留学生と建設的なディスカッションを行うことで、英語でのコミュニケーションに慣れ、躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。。

授業方法

講義と演習すべて英語で実施する。

講義室、オンラインを併用し、海外の学生や教員、留学生と交流する。

授業内容

1) オンラインシステムを使用して英国の大学の学生と交流する。

2) ワシントン大学の教員の米国看護事情について講義およびディスカッションを行う。

3) 香港の教員の講義およびディスカッションを行う。

4) 英国の教員の講義により文化的安全性について学ぶ。

5) ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする。

6)文化/医療システムのプレゼンテーションを行ってディスカッションする。

成績評価の方法

全体的参加度:30%、Virtual Empathy Museum の presentation and discussion:30%、自文化/医療システムのプレゼンテーション:20%、final presentation: 20%

1) 参加度:授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められない(30%)。

2) Virtual Empathy Museum を視聴してグループでポスターを作成し、英国の大学の学生とオンラインを通じてライブでディスカッションする(30%)。

3)日本の医療/文化に関する内容を調べて留学生に対して発表して質疑応答する(30%)

4) 自文化プレゼンテーション:日本の文化の 1 つを取り上げ、英語でプレゼンテーションし、留学生とディスカッションョンを行う(20%)。

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格である。

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed／Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle：LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書

Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer

他科目との関連

国際保健看護学Ⅰ,国際保健看護学Ⅱ, 国際保健福祉

履修上の注意事項

ZOOM 使用時講義中は原則画面を ON にすること。　指定された記事を読んで分からない単語を調べてくること。

備考

昨年度の学生評価より

■zoom　ではなくて対面を増やすべきだと思う。⇒対面の日を増やしました。

■話しやすい環境づくり

■グループワークの時に発言する生徒としない生徒の差が顕著だったため、そのような

グループが多い場合は進行役の生徒を決めても良いのではと思った⇒進行訳の学生を決めたり、留学生にサポートしてもらいます。

■グループに分かれてのディスカッションで、これから行われることを知っているのが

一部の人のみに限られていたのが分かりにくかった。事前にディスカッションの内容

などについて伝えてもらえれば事前に調べたりなど準備ができて良いと思う。

⇒事前に課題をお伝えするようにします。

■出席確認方法が不明瞭な他、たまに一方向すぎるときがあり、参加している感じがし

ませんでした。

⇒こちらもいろいろ皆さんが発言しやすい方法を考えますが、皆さんからも授業中に積極的な発言や他の学生が発言しやすい雰囲気づくりに協力お願いします。

連絡先(メールアドレス)

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

時間割番号	012083				
科目名	国際保健福祉 C			科目 ID	MN-392800-Z
担当教員	近藤 暁子, 谷口 麻希, 川上 明希, 廣岡 佳代, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志[KONDO Akiko, TANIGUCHI Maki, KAWAKAMI Aki, HIROOKA Kayo, OZASA Yuka, YUMOTO Yoshie, YAGO Satoshi]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare C

【科目責任者】国際看護開発学　近藤暁子

主な講義場所

海外短期研修プログラム　研修機関先

＜夏期＞

- ウーロンゴン大学(オーストラリア)
- マヒドン大学(タイ)
- 台湾国防医学院

＜春期＞

- ワシントン大学(米国)

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

1)研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。

2)1)で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。

2)海外研修報告会において、1)で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/23	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等)	谷口 麻希, 近藤 暁子, 川上 明希, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志, 廣岡 佳代	実施されるプログラムの内容を理解し、参加のための準備を開始する。
2	11/5	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	国際保健福祉	海外研修報告会	谷口 麻希, 近藤 暁子, 川上 明希, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志, 廣岡 佳代	海外研修を通じた体験学習を行う。

授業方法

事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加(プレゼンテーションの実施等)

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

- 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
- 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
- 研修報告会における発表状況
- 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

上記合計点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格である。

準備学習等についての具体的な指示

・実践看護英語 I/II/III を受講することを参加要件とする（事前に受講していない場合は必ず事後に受講すること）。
・渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること
・学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること
・派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

海外短期研修プログラムへの参加となる。
参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。
海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

他科目との関連

国際保健福祉，実践看護英語，国際保健看護学 I/II

履修上の注意事項

・ 4 月 23 日に開催される合同オリエンテーションに参加すること ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと（プログラムにより参加要件を確認すること） ・ 実践看護英語 I/II/III を受講することが必須である ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い
・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること
保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他
・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
学生評価に基づく改善点
■ワクチン接種など、昨年度も必要だったものなどは早めに連絡してほしかった。実習の忙しい時期に慌てて行うことになってしまった。
→直前にならないと予定が決まらないことも少なからずあり、申し訳ありません。
■プログラム参加者は指導教員と参加が認められた学生のみで良いと思った。
→そのようにします。
■アメリカの学部の看護学生との交流ができたらもっと面白かったと思う。
→で看護の学生はとても忙しいようなのですが、きるだけ交流できるようお願いします。

連絡先（メールアドレス）

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp
谷口 麻希:taniguchi.maki@tmd.ac.jp
川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F
小笹 由香:yuka.bec@tmd.ac.jp
矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F
湯本 淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F
廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。
国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）
谷口 麻希:毎週水曜日 AM9:30-10:30 医学部3号館 18 階 精神保健看護学分野 研究室2
川上 明希:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
小笹 由香:平日 10:00-17:00 3 号館 17 階 ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ看護学研究室
事前にメールでアポイント取ってください。
湯本 淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
3 号館 18 階 在宅・緩和ケア看護学分野

時間割番号	012101				
科目名	インディペンデントスタディB			科目ID	MN-393000-S
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Independent study B

【科目責任者】田中　真琴

【担当教員】専攻主任、学年担任

授業の目的、概要等

人口の高齢化、自然災害、新型感染症パンデミック等、変化し続ける医療や看護を取り巻く状況に応じて、看護実践や研究を発展させ続けていくために、適切な方法で情報を探求しそれらを分析・統合して新たな知見を得ることは、看護職者に求められる重要や役割の一つである。学生自らが、受け入れ先組織・企業等を探し、受け入れ先と授業内容を作り上げ、得られた情報を分析・統合して、将来の状況変化に対応しながら、クリエイティブで柔軟な思考力に基づいて看護実践や研究を発展させていくために必要な知識やスキルの習得や向上を目指す。

授業の到達目標

1. 学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等を探し、適切な学習計画を立てることができる。
2. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合するための知識・スキルを獲得する。
3. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合した結果を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/14	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題1	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
2	5/12	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題2	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
3	6/9	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題3	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
4	6/30	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題4	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
5	9/8	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題5	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
6	10/6	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題6	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
7	11/10	13:30-15:10	未定	学生が興味・関	適切な情報が得られる	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画

				心を寄せる課題7	組織や企業等における活動への参加にもとづく情報の分析・統合		学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
8	12/1	13:30–15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題8	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加にもとづく情報の分析・統合・まとめ	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画 学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する

授業方法

各学生が興味・関心を寄せる課題に基づいて、学生自らが担当教員と相談の上、個別に具体的な学習目標・学習計画を作成し、主体的に学習する。

1. 履修登録後は、以下のように行う。
   ①履修を希望する学生は、インデペンデントスタディとして取り組みたい課題について、科目担当教員(学年担任、専攻主任)と相談し、その課題の指導に適する指導教員を決める。(指導教員は原則、看護学専攻の専任教員とする。)
   ②当該学生は、インデペンデントスタディ学習計画書(様式)(学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む)を作成し、その内容について、受け入れ先機関および指導教員の助言・指導を受ける。学習計画書の内容・期間は、1単位に相当するものであること。
   ③作成されたインデペンデントスタディ学習計画書について、科目担当教員(学年担任)が内容等を確認し当該科目として十分であると認められた場合に受講開始となる。
2. 授業方法
   ①インデペンデントスタディ学習計画書にしたがって、受け入れ先組織・企業等において、学生が興味・関心を寄せる課題に関する学習を進める。
   ②学習終了後、学んだ内容について情報を分析・統合し、報告書を作成し、科目担当教員(学年担任、専攻主任)へ提出する。

※本科目では、受け入れ先組織・企業等を探す際に、ベンチャー・スタートアップを利用することも可能である。
ベンチャー・スタートアップにリストアップされた会社に関するエントリーシートを学生が閲覧し、自らの関心と合致する企業があれば、ベンチャー・スタートアップ担当教員、科目担当教員(学年担任、専攻主任)等と相談の上、ベンチャー・スタートアップのルールに則って当該企業に連絡する。受入れ先組織・企業等候補の担当者と面談などを行った後、両者の合意が得られた場合マッチング成立となる。

授業内容

学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加、得られた情報の分析・統合
(例:医療・介護施設、企業、ベンチャー企業、ボランティア活動など)

成績評価の方法

以下の点について成績評価を行う。
1)参加状況・活動計画の立案状況(40%)
2)受入れ先組織等での活動状況(10%)
3)活動報告会での発表、報告書の提出状況・内容:学習目標の到達状況(50%)
＊受け入れ先からの詳細なフィードバックを得ることが難しいため報告会等で評価に重点をおく

成績評価の基準

60点未満:不可、60–69:C、70–79:B、80–89:A、90点以上:A＋

準備学習等についての具体的な指示

・各学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織・企業等について、各自で情報を探索しておくこと。
・学習計画書の作成と計画内容の実現に必要な受入れ先等に関する情報収集を適切に行う。
・各学生が興味・関心を寄せる課題に関する知識やスキルの習得に努める。
・学外組織において学習を行うことから、本学学生および看護を学ぶ者として適確な行動をとれるよう、コミュニケーション力、社会人としての行動や態度等に関する知識やスキルを身に着けておくこと。
・学外組織で学習を行うことから、学習計画に則って学習が進んでいることを、適宜、指導教員に報告する行動を身に着けておくこと。

試験の受験資格

試験は実施しない。

教科書

なし

参考書

なし

他科目との関連

学生が興味・関心を寄せる課題によって関連の深い科目は異なる。

履修上の注意事項

1)学生が興味・関心を寄せる課題にもとづく科目であるため、他の科目とは異なり、内容も受入れ先も受講者ごとに異なる。 2)受入れ先組織・企業等から重要な情報(個人情報を含む)の持ち出しをしないこと。 3)学習は、学生自らが指導教員と共に立てた学習計画に則って進めること。 4)受入れ先での学習期間中は、指導教員に進捗状況や学習上の困難等を、適宜報告・相談すること。 5)受入れ先担当者、指導教員や科目担当教員の指示に従って、学習を進めること。授業日時・内容(順序等)は変更することがある。

備考

授業スケジュール(授業明細)は、科目の特性上、仮での記載しており、実際とは異なる。

履修者と日程調整を行い、保健衛生学科講義室 1～4、実習室 1～5 などで対面、あるいは zoom で実施するかを決定する。

前年度授業評価アンケート好評のため大きな変更はない

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴 : tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴 :オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012034A				
科目名	クリティカルケア看護学			科目ID	MN-333100-L
担当教員	佐々木 吉子, 荒井 知子, 山中 源治, 山形 泰士, 石塚 紀美, 田山 聡子, 今津 陽子[SASAKI Yoshiko, ARAI Tomoko, YAMANAKA Motoharu, YAMAGATA Hiroshi, ISHIZUKA Kazumi, TAYAMA Satoko, IMAZU Yoko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

Critucal Care Nursing

【科目責任者】佐々木 吉子

主な講義場所

3 号館 8 階保健衛生学科講義室 2 での対面授業

授業の目的、概要等

生命が脅かされるような、重症外傷、重篤な疾病(感染症を含む)、侵襲的な治療などにより、クリティカルな状況にある患者の身体的・心理的・社会的な特徴について理解するとともに、これらのアセスメントに必要な、知識やスキル、援助技術を修得する。そのため、生命の危機状態にある患者における生体反応や心理的反応のメカニズム、社会との相互作用について、それらの観察技術やアセスメント方法について学ぶ。また、状態の悪化を防ぎ、回復を促進するための看護ケア方法、治療撤退や終末期における援助について、エキスパートによる講義、シミュレーションやディスカッションを通して学ぶ。さらに、患者の家族の特徴や、家族が経験する苦悩について理解し、必要な家族ケアについて学ぶ。

授業の到達目標

1.クリティカルな状況にある人の身体的・心理的・社会的特徴について理解できる。

2.クリティカルな状況にある人の心身の状態についてアセスメントするために必要な知識とスキルを修得する。

3.クリティカルな状況にある人の状態の悪化を防ぎ、回復を促進するための看護ケア方法、治療撤退、臓器移植、終末期における援助について理解できる。

4.生命の危機状態にある患者の家族の心理的特徴や経験する倫理的な課題を理解し、必要な支援を考えることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 2	クリティカルケア看護の概要	オリエンテーション、クリティカルな状況にある人の身体的・心理的・社会的特徴	佐々木 吉子	【到達目標】1) 【学習方法】講義、全体討論、リフレクションシート
2	4/4	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 2	重症患者のアセスメント(1)	重症患者の全身管理に必要な観察技術とアセスメント方法	荒井 知子	【到達目標】2) 【学習方法】講義、全体討論、事前課題、リフレクションシート
3	4/18	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	クリティカルケア看護の実際(1)	生命維持装置とともに生きる人と家族への援助	山中 源治	【到達目標】2)3)4) 【学習方法】講義、全体討論、事前課題、リフレクションシート
4	4/25	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	重症患者のアセスメント(2)	重症患者の栄養状態の評価と看護援助	今津 陽子	【到達目標】2) 3) 【学習方法】講義、全体討論、事前課題、リフレクションシート
5	5/9	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	クリティカルケア看護の実際(2)	クリティカルケア領域におけるチーム医療と看護師の役割	山形 泰士	【到達目標】3)4) 【学習方法】講義、全体討論、事前課題、リフレクションシート
6	5/23	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	クリティカルケア看護の実際(3)	代理意思決定を行う家族への援助	石塚 紀美	【到達目標】2)3)4) 【学習方法】講義、全体討論、事前課題、リフレクションシート
7	5/29	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	クリティカルケア看護の実際(4)	クリティカルケア領域における治療撤退、臓器移植、終末期の看護	田山 聡子	【到達目標】2)3)4) 【学習方法】講義、全体討論、事前課題、リフレクションシート

8	6/10	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	クリティカルケア看護の実際(5)	外傷患者の看護	佐々木 吉子	【到達目標】2)3)4) 【学習方法】講義、全体討論、事前課題、リフレクションシート

授業方法

本授業では、講義室での対面授業とし、それぞれ、講義、グループワーク、全体ディスカッションを行う。

本科目では、指定する授業回においては、その学習効果を高めるため、事前課題と事後課題を設定する。事前課題は、講師から提示された事前課題や、当該授業に対する関心や講師への質問について、当該授業の前回授業の翌日の 13:00 までに WebClass より提出する。また、事後課題は、当該講義の内容から考察したことや自身の今後の課題について振り返り、授業を通して得た学び、講師への質問をまとめ、授業の翌週月曜日(当該日が祝日の場合は火曜日)の 13:00 までに WebClass より提出する。

授業内容

1.オリエンテーション、クリティカルな状況にある人の身体的・心理的・社会的特徴

2.重症患者の全身管理に必要な観察技術とアセスメント方法

3.重症患者の栄養状態の評価と看護援助

4.生命維持装置とともに生きる人と家族への援助

5.クリティカルケア領域におけるチーム医療と看護師の役割

6.外傷患者の看護

7.代理意思決定を行う家族への援助

8.クリティカルケア領域における治療撤退、臓器移植、終末期の看護

成績評価の方法

本科目の評価は、出席状況、各回の事前課題と事後課題、授業への参加姿勢、最終レポートにより総合的に評価する。

最終レポートは、本授業で学んだことを踏まえて、クリティカルケア領域における患者・家族の特徴的な看護上の課題を 1 つ取り上げ、課題と考える理由と解決に向けた提案を 1200 字程度で記述する。レポートには独自のタイトルをつけ、必ず 3 件以上の文献を引用し、引用した文献の出典を明記する。(インターネットからの情報は、URL と閲覧日を記載する)。提出期限:2025 年 6 月 24 日(火)13:00 までに、WebClass より提出する。

事前・事後課題、最終レポートの提出が遅れる・遅れた場合、必ず担当教員に別途メールで連絡すること。

成績評価の基準

1)出席状況 10%(全出席で 10 点満点、1 回欠席するごとに 1 点減点する)

2)事前課題 10%(全回遅延なく提出で 10 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

3)参加姿勢 10%(授業中の態度、発言等の積極性、グループワークでの貢献などを、10 点満点で評価する)

4)事後課題 30%(全回遅延なく提出で 30 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

5)最終レポート 40%(遅延なく提出で 40 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

＊事前課題、事後課題、最終レポートの記載内容の評価は以下の基準に照らして行う。

A(100%):授業内容を発展させ、課題に対して期待を超える記述ができている。最終レポートについては、課題に応じたテーマが設定され、明瞭かつ一貫性・論理的が保たれており、文字数、文献の引用方法など規定に沿っている。

B(80%):授業内容を理解し、目標に相応する意見や考察が記載できている。

C(60%):課題に対して、容認可能な記述ができている。

D(40%):課題に対しての記述ができていない。授業内容と関係が薄いか、不適切な記述となっている。

E(0%):未提出

以上の評価指標に基づき、合計点が 60 点以上の場合に合格とし、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

各授業の事前課題は、1 週間前までに WebClass で提示するので、確認し準備すること。

試験の受験資格

次のすべてが、最終レポートを受理する要件となる。

全8回の授業のうち6回以上の授業に出席し、設定された事前課題および事後課題を期限までに提出していること。Zoom での出席は講義を最初から最後まで参加しているログが確認出来た場合とする。

グループワークやディスカッションが設定された授業では、自身の考えを述べたり、他の参加者の発表を傾聴して意見を述べたりするなど、参加の様子が認められること。

特別に勘案すべき事情があって課題が提出できない場合や、授業への参加ができない場合は、課題の締切日もしくは授業が始まる前までに、科目担当教員にメールで連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと判断された場合は、この限りではない。配慮されるべき理由で欠席する場合に限り、別途課題を課すなどの対応をおこなうことがある。

教科書

教科書は指定しない。授業について必要な書籍等があれば連絡する。

参考書

参考となる書籍や資料については、授業中に適宜紹介する。

他科目との関連

4 年次開講の「看護の統合と実践実習」のなかで、本授業での学修を踏まえてクリティカルケア看護実習を行う。

履修上の注意事項

講義中のスクリーンの撮影を禁止する。WebClass に掲示した講義資料、参考資料は、担当者の許可を得ない限り受講登録者以外に公開することを禁止する。

備考

授業最終日（6 月 10 日）から、科目についてのアンケートが WebClass でできるようになっている。このアンケートに回答しない場合は、本科目の合否が WebClass に表示されない。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp　3 号館 19 階

今津　陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp　3 号館 18 階

オフィスアワー

佐々木　吉子:平日　AM.9:30-PM.5:30 3 号館 19 階　災害・クリティカルケア看護学分野教授室

今津　陽子:平日　AM.10:00-PM.5:00 3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

時間割番号	012035				
科目名	成人看護学演習			科目ID	MN-350600-S
担当教員	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 青木 春恵, 侭田 悦子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO Yuko, AOKI Harue, Etsuko Mamada]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Adult Health Nursing

【科目責任者】田中 真琴

主な講義場所

基本的に看護学実習室(3号館17階)、講義室 2 での対面授業で行い、事前課題等で非同期型授業を用いる。

授業の目的、概要等

成人看護学の一部として 3 年次に, 既習の病態および成人看護学の講義内容と関連づけて, 成人期にあり, 急性, 慢性に経過する健康障害を有する人々に適用される看護の問題解決の思考過程および手技的技術を, 患者体験を含めて段階的に修得する。

授業の到達目標

2 年次での学習を基礎に、下記内容を習得し、臨地実習が円滑に展開できるようにする。

1. 授業構成、技術演習、看護過程の進め方について理解して進められる。
2. 体液管理の基礎と創傷ケアについて理解し、実践できる。看護過程のグループ討論ができる。
3. 術後観察・術後離床方法を理解し、基礎的な技術を実践できる。
4. 看護過程前半部分を発表し討論できる。
5. 回復促進・悪化予防のケアである吸引と血糖管理について理解し、基礎的な技術を実践できる。看護計画を完成させ、事例発表の準備を完了できる。
6. 技術試験で看護技術を適切に行うことができる。
7. 看護過程後半部分を発表し討論できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/8	13:30-17:05	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 看護学実習室 5	技術演習・看護過程演習	成人看護学演習オリエンテーション 技術演習:輸液管理・創傷ケア 看護過程:様式 1,2 の作成	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1,2 【学習方法】授業, グループ討論 【事前, 事後学習】WebClass 事前課題, 事後レポート
3-4	4/22	13:30-17:05	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 看護学実習室 5	技術演習・看護過程演習	技術演習:術後観察・術後離床・車いす移乗 看護過程:様式 4,5 の作成, 発表準備	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1,3 【学習方法】技術演習, グループ討論 【事前, 事後学習】WebClass 事前課題, 事後レポート
5	5/23	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	看護過程発表・演習	看護過程:前半部分(様式 5 まで)の成果発表、教員からの総評	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】4 【学習方法】発表, 教員からのフィードバック 【事前, 事後学習】WebClass 事後レポート
6-7	6/10	13:30-17:05	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 看護学実習室 5	技術演習・看護過程演習	技術演習:吸引・血糖管理 看護過程:様式 6 の完成, 発表準備	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 青木 春恵	【到達目標】1,5 【学習方法】技術演習, グループ討論 【事前, 事後学習】WebClass 事前課題, 事後レポート
8-9	6/23	13:30-17:05	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4, 看護学実習室 5	技術試験		田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子, 青木 春恵	【到達目標】6 【学習方法】技術試験, 評価者からのフィードバック 【事前, 事後学習】WebClass 事前課題

10	6/25	10:45-12:25	保健衛生学科 講義室 1	看護過程発表	看護過程:後半部分 (様式 6)の成果発表、 教員からの総評	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】7 【学習方法】発表, 教員からのフィードバック 【事前, 事後学習】WebClass 事後レポート

授業方法　講義、グループワーク、課題発表、技術演習、授業前後の課題

授業内容　授業日程、内容は変更することがある。

成績評価の方法

1. 学期末筆記試験
2. 看護過程の内容
3. 技術試験
4. 授業への出席状況、演習に臨む身だしなみや態度、小テスト、小レポートの提出状況など

で評価する。

・筆記試験の受験資格は、授業への出席が 3 分の 2 以上である。

・筆記試験の一部に英語の問題を出題する。

・授業に欠席したものは原則として欠席回の該当課題の提出を認めない

成績評価の基準　総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

1. 学期末筆記試験(50%)
2. 看護過程の内容(12%)
3. 技術試験(20%)
4. 授業後小レポート(18%)
5. 授業への出席状況、演習に臨む身だしなみや態度、課題の提出状況など(減点方式)

で評価する。　詳細は初回授業で説明する。

準備学習等についての具体的な指示

事前学習の資料については WebClass にアップするので目を通し, 学習して演習に臨むこと。

参考書

術中/術後の生体反応と急性期看護／竹内, 登美子,竹内登美子編著:医歯薬出版, 2019.8

周術期の臨床判断を磨く／鎌倉, やよい, 1951-,深田, 順子, 1965-,鎌倉やよい, 深田順子 著:医学書院, 2023.2

看護のための臨床病態学／浅野, 嘉延,吉山, 直樹,浅野嘉延, 吉山直樹 編集:南山堂, 2023.4

周手術期看護論(第 3 版)／雄西智恵美, 秋元典子 編集,:ヌーヴェルヒロカワ, 2014

臨床外科看護総論 第 12 版／池上, 徹, 消化器外科学,髙橋, 則子:医学書院, 2023.1

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論(第 16 版)／小松浩子他:医学書院, 2022

疾患別看護過程の展開(第6版)／石川ふみよ, 高谷真由美監修,石川, ふみよ,高谷, 真由美,:学研メディカル秀潤社, 2020

看護がみえる／医療情報科学研究所,医療情報科学研究所 編集:メディックメディア, 2020.6

看護がみえる vol.1 基礎看護技術／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

看護がみえる vol.2 臨床看護技術／医療情報科学研究所,:メディックメディア, 2018

テーマによる参考図書の紹介

他科目との関連

・基盤看護学に引き続き, 他の発達段階にある人々に対する看護技術および問題解決過程の基本となり, 臨地実習(成人看護学実習)を円滑に行う上で必須の科目であるので, 積極的に正確に学ぶ態度が必要である。

履修上の注意事項

・技術演習に関しては学内での演習であるが, 臨地実習と同じ心構えで臨み, 服装, 態度には充分注意すること。事前学習ならびに復習を心がけること　・授業内容の変更等については授業中または WebClass にて周知する

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F

川本 祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

川上 明希:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

川本 祐子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントを取った上で訪問すること。

時間割番号	012036A				
科目名	成人・老年看護学実習Ⅰ			科目ID	MN-373200-E
担当教員	田中　真琴, 川上　明希, 川本　祐子[TANAKA Makoto, KAWAKAMI Aki, KAWAMOTO Yuko]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Adult Health Nursing Clinical Practicum　Ⅰ

【科目責任者】田中　真琴

主な講義場所

本学病院の実習病棟および手術室、実習室、講義室(詳細は実習要項参照)

授業の目的、概要等

さまざまな健康段階にある成人・老年期の入院患者を1名以上受け持ち，その疾病・治療経過を踏まえながら患者の全人的理解に努め，既習の知識・技術の統合あるいは新たな学習により，必要な看護を指導者とともに実践し，評価することを学ぶ。

授業の到達目標

1)患者の健康・機能障害を理解し，援助する。
(1)健康・機能障害の原因・誘因を理解する。
(2)患者の自覚症状・他覚症状を把握する。
(3)健康状態を系統的に観察する。
(4)患者の望む療養生活や治療法の選択を理解し，適切な援助をする。
(5)行われる検査・治療・処置の目的と内容を理解する。
(6)患者が検査・治療・処置を適切に受けられるように援助する。
2)生命が脅かされている場合には，生命維持・回復のための看護活動ができる。
3)　異常の予防・早期発見・機能回復のための援助をする。
(1)予測される悪化因子を指摘する。
(2)悪化の徴候を早期に発見し，予防的な看護活動を行う。
(3)機能回復のための適切な看護活動を行う。
4)健康・機能障害に伴う日常生活上の制限に対し，援助を行う。
(1)患者・家族が機能障害をどのように受けとめているかを把握する。
(2)日常生活上の制限を身体的・心理的・社会的側面に沿って理解する。
(3)日常生活上の制限をできるだけ軽減するように援助する。
(4)患者の症状，苦痛を和らげるような援助を行う。
(5)患者の心理的・社会的問題を把握する。
(6)患者の心理的・社会的問題の解決への援助をする。
(7)自己管理を阻害する因子を指摘する。
(8)自己管理ができるように援助する。
(9)患者に必要な社会的資源を列挙する。
(10)日常生活の制約上の家族の心理的・社会的問題を把握する。
(11)家族の心理的・社会的問題の解決への援助をする。
5)リハビリテーション期における援助を行う。
(1)リハビリテーション訓練が円滑に受けられるように援助する。
(2)病棟内の日常生活でリハビリテーション訓練内容や成果を活用した援助をする。
6)在宅療養・社会復帰に向けての援助を行う。
(1)患者に適した退院後の日常生活目標を設定する。
(2)退院後の生活目標に向けて，適切な援助を行う。
7)医療チームにおける看護師の役割を理解する。
(1)医師，その他の関係職種の役割を理解する。
(2)チームにおける看護師の役割を理解する。
8)以上に関して患者個別の問題を看護過程を用いて実践する。
(1)情報収集する。

(2)収集した情報を分析，統合し，看護診断する。
(3)具体的な目標を設定する。
(4)目標達成のための看護活動を計画する。
(5)計画した看護活動を実践する。
(6)展開した看護過程を評価する。
9)看護専門職としてふさわしい態度を身につける。
(1)看護技術の一般的手順と原則をふまえ，患者の個別性を加味し，実施においては十分な復習と準備を行う。
(2)患者の援助においては常に安全と安楽を考慮する。
(3)患者の持てる力を生かした援助方法を考える。
(4)情報収集を看護援助に生かすとともに，看護援助をしながら情報収集をする。
(5)援助を提供する側・される側の視点から，のぞましい手順や方法を考え，実践する。
(6)グループメンバー間で互いに協調しながら実習に臨む。
(7)看護とは何かを考え，学究的態度(文献活用・事例検討)で実習する。
(8)丁寧で親切な接遇を心がける。
(9)連絡・報告には責任をもつ。
(10)受け持ち看護師や指導者に相談し，助言やコメントを積極的に得ようと努める。
(11)看護援助の実践に先立ち，患者の了解ならびに受け持ち看護師との連絡・調整を行う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-5	9/16	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習，非同期授業，対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
6-10	9/17	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習，非同期授業，対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
11-15	9/18	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習，非同期授業，対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
16-20	9/19	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習，非同期授業，対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
21-25	9/22	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習，非同期授業，対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
26-30	9/24	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習，非同期授業，対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
31-35	9/25	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習，非同期授業，対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
36-40	9/26	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習，非同期授業，対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
41-45	9/29	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習，非同期授業，対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
46-50	9/30	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習，非同期授業，対面授業 【その他】詳細については実習要項参照

51-55	10/2	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
56-60	10/3	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
61-65	11/4	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
66-70	11/5	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
71-75	11/6	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
76-80	11/7	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
81-85	11/10	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
86-90	11/11	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
91-95	11/13	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
96-100	11/14	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
101-105	11/17	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
106-110	11/18	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
111-115	11/20	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
116-120	11/21	08:50-18:55	その他(保・成人看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅰ	詳細については実習要項参照	田中 真琴, 川上 明希, 川本 祐子	【到達目標】1)～9) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照

授業方法

病棟や手術室での臨地実習、学内実習、非同期授業における、情報収集・アセスメント・実践・評価・リフレクション・ディスカッションを組み合わせたアクティブラーニング（詳細は実習要項参照）

授業内容

各種オリエンテーション、病棟実習における看護過程の展開と実践・評価、カンファレンス、手術室見学実習、まとめの会など（詳細は実習要項参照）

成績評価の方法

健康管理含め、医療専門職として適切な姿勢、行動がとれることを重視する。

下記項目について総合的に評価する。

1)病棟実習:身だしなみ・態度・言葉遣い、患者・家族の全人的理解、病態や治療の理解、看護過程の立案・実践・評価、実習記録、チームへの貢献状況

2)手術室見学実習:レポート

3)まとめの会:積極性やチームへの貢献状況

4)出席状況や課題提出状況

成績評価の基準

成績評価の方法に示す項目について総合的に評価し、総合得点が 60 点以上の者を合格とする(90 点以上:A+、80-89 点:A、70-79 点:B、60-69 点:C、60 点未満:不合格)。なお、4 分の 3 以上の出席がない場合には、単位認定できない。

準備学習等についての具体的な指示

看護実践に必要な基礎技術を復習すること。

看護過程について復習すること。

手術室の構造や手術室看護師の役割について既習内容を復習して臨むこと。

受け持ち患者の疾患や治療、病態、看護支援方法、社会資源他、看護過程の展開と実践に必要な知識を予習して臨むこと。

試験の受験資格

実習科目のため試験は実施しない

参考書

系統看護学講座　臨床外科看護総論／池上, 徹, 消化器外科学,髙橋, 則子:医学書院, 2023.1

系統看護学講座　成人看護学総論／小松, 浩子, 1955-:医学書院, 2022.1

看護がみえる／医療情報科学研究所,医療情報科学研究所　編集:メディックメディア, 2020.6

履修上の注意事項

実習要項や WebClass に掲載される資料・動画の内容をよく理解すること

備考

・健康管理を含め、医療専門職として適切な姿勢、行動がとれることを重視する。

・実習要項を精読したうえで実習に臨むこと。

・患者の個人情報を取り扱うため、実習記録や実習資料の記載・保管・廃棄を適切に行うこと。

・ソーシャルメディア等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(エックス、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

参照ホームページ

WebClass に実習要項や実習記録の様式等を掲載する

連絡先(メールアドレス)

田中　真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

川上　明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp　3 号館 17F

川本　祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

田中　真琴:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

川上　明希:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

川本　祐子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントを取った上で訪問すること。

時間割番号	012330				
科目名	緩和ケア看護学			科目ID	MN-334500-L
担当教員	廣岡　佳代[HIROOKA Kayo]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:palliative Care　I

【科目責任者】廣岡　佳代

主な講義場所

対面(もしくは、ZOOM)による授業を実施する。

授業の目的、概要等

がん、非がん疾患をもつ患者の全人的な苦痛を解決するための緩和ケアの知識を習得する。緩和ケアにおける家族ケア、意思決定支援、倫理的な問題、多職種連携、看護師の役割について理解する。

授業の到達目標

1)がん、非がん疾患をもつ患者の身体症状、精神症状、社会的・スピリチュアルな問題を理解し、全人的な苦痛を解決するための緩和ケアの知識を習得する。

2)がん、非がん疾患などをもちながら生活する人の家族の状況、および、家族や遺族への支援を理解できる。

3)様々な場(病院、在宅、施設)における緩和ケアを理解できる。

4)緩和ケアにおける意思決定支援、倫理的な問題、多職種連携、看護師の役割について理解を深める。

5)終末期ケアについて学習することにより、自らの生と死について考えることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/4	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	緩和ケア・終末期ケアの概論	廣岡　佳代	【到達目標】1)2)3)4)5)　【学習方法】グループ討議 【事前学習】講義該当箇所の教科書等を読む
2	4/21	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	緩和ケアにおける意思決定支援	廣岡　佳代, 浅海　くるみ	【到達目標】1)3)　【学習方法】グループ討議 【事前学習】講義該当箇所の教科書等を読む
3	5/13	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	家族・遺族支援	廣岡　佳代, 福田　裕子	【到達目標】1)4)　【学習方法】グループ討議 【事前学習】講義該当箇所の教科書等を読む
4	5/13	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	緩和ケアにおけるチーム医療、ケアする人へのケア	廣岡　佳代, 岩倉　俊子	【到達目標】1)3)4)　【学習方法】グループ討議 【事前学習】講義該当箇所の教科書等を読む
5	5/20	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	病院における緩和ケア、症状マネジメント	廣岡　佳代, 野里　洵子	【到達目標】1)2)3)5)　【学習方法】グループ討議 【事前学習】講義該当箇所の教科書等を読む
6	5/20	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	在宅ホスピスの緩和ケア	廣岡　佳代	【到達目標】1)2)3)4)5)　【学習方法】グループ討議 【事前学習】講義該当箇所の教科書等を読む
7	6/2	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	在宅ホスピスにおける医学的管理①	廣岡　佳代, 平原　佐斗司	【到達目標】1)2)3)4)　【学習方法】グループ討議 【事前学習】講義該当箇所の教科書等を読む
8	6/2	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	在宅ホスピスにおける医学的管理②	廣岡　佳代, 平原　佐斗司	【到達目標】1)2)3)4)　【学習方法】グループ討議 【事前学習】講義該当箇所の教科書等を読む

授業方法

グループディスカッションを活用したアクティブラーニングを実施する。

講義:各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。必要に応じでグループディスカッションを取り入れ、理解を深める。講義の資料については、講義前に PDF を Web Class にあげておくので授業前に必ず目を通しておく。

リアクションペーパー:Web Classに提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

1)がん、非がん疾患の患者が経験する全人的苦痛と緩和ケアを理解する。

2)在宅におけるがん患者、非がん患者の終末期ケアの実際、在宅における医学的管理について理解する。

3)緩和ケアにおける意思決定支援、倫理的な問題、多職種連携、看護師の役割について理解を深める。

4)家族や遺族が持つ苦痛、家族や遺族への支援について理解する。

5)緩和ケアのおけるチームケアの実際を理解する。

成績評価の方法

以下の項目について、総合的に評価を行う。

1)出席状況:30%

2)課題への取り組み姿勢:20%

※ 原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

※ 授業中の発言状況、グループディスカッション、プレゼンテーションへの責任ある参加度合い。

3)期末試験:50%

成績評価の基準

課題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。なお、リアクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。欠席については、減点の対象になることがある。出席、総合得点が 60 点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

がん看護、緩和ケア、終末期ケア等に関する書籍(手記・概説・実践報告等)を検索し、関心のある本少なくとも 1 冊は熟読して置くこと。

試験の受験資格

1. 2/3 以上の出席 (出席管理システムで確認する)

2. Webclass に出席票(リフレクションペーパー)が期日までに提出されていること、授業参加状況は内容で確認する。

教科書

緩和ケア 第 3 版 (ナーシング・グラフィカ 成人看護学 6)／宮下 光令 (編集), 森田 達也 (監修), 高橋 理智 (監修):メディカ出版, 2021

参考書

絵でみるターミナルケア : 人生の最期を豊かに生き抜く人へのかぎりない援助／佐藤 禮子 (監修), 浅野 美知恵 (編集):学研メディカル秀潤社, 2015

終末期看護:エンド・オブ・ライフ・ケア (新体系看護学全書)／田村恵子 (著):メヂカルフレンド社, 2021

訪問看護が支える 在宅ターミナルケア／一般社団法人 全国訪問看護事業協会 (編集):日本看護協会出版会, 2021

他科目との関連

母性看護・小児看護・成人看護・高齢者看護の発達段階別看護領域全てに関連する。3 年次までの講義および実習で体験した終末期看護の内容を統合させて学習する。

履修上の注意事項

積極的に講師や学生同士で疑問や考えについて話し合い、理解を深め、自身の課題を見出せるように取り組むこと。 1)授業中にスクリーン・Zoom 等の撮影をすることを禁止する。 2)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 3)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

備考

2024 年度の授業評価をもとに、2025 年度も授業目的等の達成に向け丁寧かつ実践に基づく講義を行う。

連絡先(メールアドレス)

廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

3 号館 18 階 在宅・緩和ケア看護学分野

時間割番号	012038				
科目名	精神看護学演習			科目ID	MN-350900-S
担当教員	松長 麻美, 谷口 麻希, 塩澤 拓亮[MATSUNAGA Asami, TANIGUCHI Maki, SHIOZAWA Takuma]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Psychiatric Nursing Semina

【科目責任者】 松長 麻美

主な講義場所

対面授業(保健衛生学講義室 2(3 号館 8 階)・実習室 3・4(3 号館 17 階))

※新型コロナウイルス感染症拡大時は、大学の感染対策レベルに応じて、対面から Zoom に変更することがある。

授業の目的、概要等

演習を通じて精神看護の実践に必要な援助の理論と方法を習得する。精神障害を有する人における精神疾患と生活障害との関連について、セルフケアモデルやストレングスモデルによりアセスメントし、必要な看護援助を考案する。援助的な対人関係を構築する技術を身につけ、精神障害を有する人の回復、成長、自立を支援するための知識と技術を身につける。グループワークを通して、他者と協働して学習する能力を養う。

授業の到達目標

・セルフケアモデルに基づき、精神疾患を有する患者の状態をアセスメントできる。
・精神疾患を有する人に対する看護援助の方法を理解し、看護計画を立案できる。
・援助的対人関係とは何か理解し、患者・看護師関係を評価する方法を説明できる。
1 回目:精神看護の目的と機能について理解を深め、生物・心理・社会モデルに基づく
アセスメント方法を説明することができる。
2 回目:精神保健サービスユーザーの視点も交えて、精神看護におけるリカバリー指向の支援のあり方について考えることができる。
3 回目:精神看護実践における重要なモデルについて理解し、説明することができる。
4 回目:精神看護における援助関係構築やコミュニケーション技法に関する理論を理解し、
自分自身のコミュニケーションスタイルについて振り返り、コミュニケーションを
看護実践に活かす方法を説明することができる。
5-7 回目:模擬事例を用いて、看護援助に必要な情報を収集できる。生物・心理・社会モデル
やセルフケアモデルに基づき患者の状態をアセスメントし、看護計画を立案できる。
8 回目:精神看護における看護過程展開について理解を深め、精神看護学実習に必要な知識
と技術を整理することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/7	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 2	精神看護の目的と機能	精神的健康の維持と増進、精神看護の役割と機能、生物・心理・社会モデル、精神保健医療福祉の現状と課題	松長 麻美	【到達目標】 1) 【学習方法】ディスカッション 【備考】 リフレクティブレポートの提出
2	4/7	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 2	精神看護における支援を考える	リカバリー、精神保健サービス	塩澤 拓亮, 松長 麻美, 山田 悠平	【到達目標】 2) 【学習方法】ディスカッション 【備考】 リフレクティブレポートの提出
3	5/19	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 2	精神看護実践における主要な概念・モデル	リカバリー、セルフケアモデル、ストレングスモデル	松長 麻美	【到達目標】 3) 【学習方法】ディスカッション 【備考】 リフレクティブレポートの提出
4	5/19	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 2	援助的な対人関係の構築	患者・看護師関係とコミュニケーション、プロセスレコードの活用	塩澤 拓亮	【到達目標】 4) 【学習方法】ディスカッション、グループワーク 【備考】 リフレクティブレポートの提出

5	5/26	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	模擬事例を用いた看護過程の演習(1)	ペーパーペイシェントを用いた看護展開演習のオリエンテーション	松長 麻美, 塩澤 拓亮	【到達目標】5) 【学習方法】ディスカッション、グループワーク 【備考】リフレクティブレポートの提出
6	6/16	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	模擬事例を用いた看護過程の演習(2)	精神看護における情報収集とアセスメント:グループワーク	松長 麻美, 塩澤 拓亮	【到達目標】5) 【学習方法】ディスカッション、グループワーク 【備考】 リフレクティブレポートの提出
7	6/30	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	模擬事例を用いた看護過程の演習(3)	看護計画の発表	松長 麻美, 塩澤 拓亮	【到達目標】5) 【学習方法】発表、ディスカッション グループワーク 【備考】 リフレクティブレポートの提出
8	6/30	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	演習のまとめ、実習オリエンテーション	事例演習のまとめ、精神看護学実習のオリエンテーション	谷口 麻希, 塩澤 拓亮, 松長 麻美, 山田 悠平	【到達目標】5) 【学習方法】ディスカッション 【備考】 リフレクティブレポートの提出

授業方法

1. 講義:対面での講義・演習により実施する。講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。教科書に記載してある基本的な内容は自己学習とする。講義資料は、講義前に Webclass にて配布するので、各自ダウンロードして準備しておくこと。

2. グループワーク:実践的な内容について、グループワークを行う。グループワークを実施する前に個人で課題に取り組み、グループワークでは課題の共有、ディスカッション、発表、質疑応答を行う。

3. リフレクティブレポート:各回の授業終了後、授業で学んだことや感想、質問等を WebClass の指定の場所に提出すること。質問に対しては、次回の授業で説明するか、WebClass にて回答を掲示する。

授業中、教員と学生との間でのディスカッションやグループワークにより、アクティブラーニングを実施する。

授業内容

授業計画参照

成績評価の方法

次の 3 つの方法により評価する。

1. グループワーク参加状況・発表内容(60%):グループワークでの貢献、発表内容、質疑応答の内容により総合的に評価する。精神看護学演習の成績の 60%をグループワーク参加状況・発表内容により評価する。

2. 授業への参加状況(20%):出席、授業中の質問等により総合的に評価する。精神看護学演習の成績の 20%を授業への参加状況により評価する。

3. リフレクティブレポート(20%):出席した授業のリフレクティブレポート提出状況、およびその内容により評価する。精神看護学演習の成績の 20%をリフレクティブレポートにより評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

教科書の該当箇所について予習をして臨むこと。関連する他科目(主に心の健康と看護Ⅰ・Ⅱ)の授業を復習しておくこと。

試験の受験資格

全講義回数の 2/3 以上の授業の出席を必要とする。

遅刻および早退は 2 回で欠席 1 回とカウントする。なお、講義時間の 2/3 以上出席していない場合は欠席とみなす。

教科書

精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア改訂第 3 版／萱間真美, 稲垣中 編集:南江堂, 2022.1

精神看護学Ⅱ 地域・臨床で活かすケア改訂第 3 版／萱間真美, 稲垣中 編集:南江堂, 2022.1

参考書

ストレングスモデル : リカバリー志向の精神保健福祉サービス／Rapp, Charles A,Goscha, Richard J,田中, 英樹, 1948-,チャールズ・A・ラップ, リチャード・J・ゴスチャ 著,田中英樹 監訳:金剛出版, 2014.1

援助技法としてのプロセスレコード : 自己一致からエンパワメントへ／宮本真巳編著,宮本, 真巳,:精神看護出版, 2003

自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード : プロセスレコードが書ける、読める、評価できる本／長谷川雅美編著,長谷川, 雅美,:日総

研出版, 2020

オレムのセルフケアモデル事例を用いた看護過程の展開／宇佐美しおり, 鈴木啓子, Patricia Underwood 共著,宇佐美, しおり,鈴木, 啓子,Underwood, Patricia R.,:ヌーヴェルヒロカワ, 2007

入職 1 年目から現場で活かせる!こころが動く医療コミュニケーション読本／中島, 俊,中島俊 著:医学書院, 2023.8

他科目との関連

心の健康と看護 I、心の健康と看護 II で学習した精神疾患の症状や治療方法に関する知識を基に、精神症状のアセスメント、看護計画の立案方法について学ぶ。

履修上の注意事項

WebClass の精神看護学演習のコースに適宜資料をアップするので参照すること。

備考

学生の進行・理解状況に応じてグループワークの時間を設定し、学生間で十分なディスカッションができるようにする。

昨年度のアンケートの結果を踏まえたコメント:グループワークは全てのグループが発表を前提として準備すること。また、リフレクティブレポートは、講義内容を自らの経験や考えに関連づけ、実践的な理解や自己洞察を深めることを目的としている。締め切りは、講義日の 23:59 までとする。締め切りを過ぎたレポートは、原則受け付けないので注意すること。

連絡先(メールアドレス)

松長 麻美:asamim.pn@tmd.ac.jp

谷口 麻希:taniguchi.maki@tmd.ac.jp

塩澤 拓亮:shiozawa.takuma@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松長 麻美:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 15 階精神保健看護学分野研究室)。

谷口 麻希:毎週水曜日 AM9:30-10:30 医学部3号館 18 階 精神保健看護学分野 研究室2

塩澤 拓亮:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください。(3号館19階 未来創成ナーシングリサーチセンター)

時間割番号	012039				
科目名	精神看護学実習			科目ID	MN-371000-E
担当教員	谷口 麻希, 松長 麻美, 塩澤 拓亮[TANIGUCHI Maki, MATSUNAGA Asami, SHIOZAWA Takuma]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Psychiatric and Mental Health Nursing

【科目責任者】谷口 麻希

主な講義場所

大学病院精神科病棟、精神科医療機関、地域精神保健福祉施設等

授業の目的、概要等

精神障害者に対する理解を深め、自己理解および対人関係を構築、発展させるプロセスを通して、精神看護実践の基本的能力を修得する。地域施設において、地域で生活する精神障害者の社会参加の実態にふれることを通じて、精神障害と生活状況との関連についての理解を深めながら、精神障害者の地域生活支援の方法について学ぶ。また、精神障害者の地域生活の質の向上と社会参加の支援に向けて看護師が担うべき役割について学修する。

授業の到達目標

1) 患者の発病までの経過や現在の状態について、生物学的・心理学的・社会学的側面から理解し、精神状態がセルフケア行動に及ぼす影響をアセスメントすることができる。

2) 患者のリカバリー(自己実現に向けた生き方)およびストレングスへの理解を深め、患者の地域における自立と社会参加についての視点を看護計画に反映することができる。

3) 患者ー看護師(学生)関係の構築を図り、看護計画を立案、必要な看護援助の実施・評価・修正を行うことができる。

4) 患者との間で体験した対人関係についてプロセスレコードで振り返りを行い、自己の対人関係の特徴を知り、自分自身の言動が患者に及ぼす影響について認識を深め、自己の持味を生かしながら援助的な対人関係の構築を図ることができる。

5) 患者への病棟での支援と地域での支援を関連させて考え、様々な社会資源や、支援者の役割について理解を深めることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	9/1	08:30-16:00	大学院特別講義室	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 5) 【学習方法】グループワーク
2	9/2	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 5) 【学習方法】グループワーク
3	9/4	08:30-16:00	大学院特別講義室	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 5) 【学習方法】地域施設実習
4	9/5	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 5) 【学習方法】地域施設実習
5	9/8	08:30-16:00	保健衛生学科講義室3	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 5) 【学習方法】地域施設実習
6	9/9	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 5) 【学習方法】地域施設実習
7	9/11	08:30-16:00	保健衛生学科講義室1	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 5) 【学習方法】グループワーク、プレゼンテーション
8	10/6	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
9	10/7	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
10	10/9	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
11	10/10	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習

12	10/17	08:30-16:00	保健衛生学科講義室2	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】グループワーク、プレゼンテーション
13	10/20	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
14	10/21	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
15	10/23	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
16	10/24	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
17	10/31	08:30-16:00	保健衛生学科講義室2	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】グループワーク、プレゼンテーション
18	11/27	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
19	11/28	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
20	12/1	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
21	12/2	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
22	12/5	08:30-16:00	保健衛生学科講義室2	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】グループワーク、プレゼンテーション
23	12/8	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
24	12/9	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
25	12/11	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
26	12/12	08:30-16:00	その他(保・精神保健看護学分野)	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】病棟実習
27	12/19	08:30-16:00	大学院特別講義室	精神看護学実習	詳細については実習要項参照	谷口 麻希, 松長 麻美 塩澤 拓亮	【到達目標】 1)-5) 【学習方法】グループワーク、プレゼンテーション

授業方法

実習は以下の方法で行う。

1. 精神科病棟において入院されている患者1名を受け持ち、関わりを発展させるとともに、患者の状態のアセスメント、看護計画の立案、実施、評価、修正を行う。

2. 患者との体験を振り返り、自己理解、患者理解を深めるため、「プロセスレコード」を用い、看護場面の再構成を行う。

3. 地域施設において、地域で生活する精神障害者やスタッフと関わり、地域生活や社会参加の実態にふれる。

4. 毎日、実習指導者、教員、学生が参加するカンファレンスを行い、実習で学んだこと、疑問などについて他者と討論、共有、検討し、理解を深める。

5. 各クールの実習最終日は、学内にて、実習全体の振り返り、学びの共有を行う。

実習中、カンファレンスにおいて、学びの共有、ディスカッションを行い、学生間の相互作用、実習指導者及び教員・学生間でのアクティブラーニングを実施する。

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

次の 3 つの方法により評価する。

1. 実習への出席状況・参加態度(20%):出席、日々の具体的な活動状況、カンファレンスへの参加状況等により評価する。精神看護学実習の成績の 20%を実習への出席状況・参加態度により評価する。

2. 実習への取り組み(60%):患者との関係性の構築、患者理解及び患者の状態のアセスメント、看護計画の立案・実施・評価、プロセスレコードを用いての自己理解、実習目標への到達度、学生の自己評価により評価する。精神看護学実習の成績の 60%を実習への取り組みにより評価する。

3. 記録物・レポート(20%):記録提出状況、記録の内容により評価する。精神看護学実習の成績の 20%を記録物・レポートにより評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。なお、実習中、受け持ち患者の疾患等に関して事前課題(レポート)への追記などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

事前課題(レポート)を課す。課題の内容、提出方法は教員の指示に従うこと。

試験の受験資格

単位認定に必要な出席時間は、実習時間(祝日は含まない)の3/4以上とする。

教科書

精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア改訂第 3 版／萱間真美, 稲垣中 編集:南江堂, 2022.1

精神看護学Ⅱ 地域・臨床で活かすケア改訂第 3 版／萱間真美, 稲垣中 編集:南江堂, 2022.1

参考書

自己理解・対象理解を深めるプロセスレコード : プロセスレコードが書ける、読める、評価できる本／長谷川雅美:日総研出版, 2020

ストレングスモデル : リカバリー志向の精神保健福祉サービス／Rapp, Charles A,Goscha, Richard J,田中, 英樹, 1948-,チャールズ・A・ラップ, リチャード・J・ゴスチャ 著,田中英樹 監訳:金剛出版, 2014.1

他科目との関連

精神看護学、地域精神看護学、精神看護学演習と関連する。

履修上の注意事項

1) 個人情報の管理に留意し、実習で知り得た患者の情報を無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディアに発信してはならない。個人を特定されうる個人情報は、記録やメモ帳に記載しないこと。メモ帳は紛失しないように注意、工夫すること。

2) やむを得ず遅刻や欠席をしなくてはならないことが予めわかっている場合は、前日までに連絡すること。遅刻・欠席の連絡が当日の朝になる場合は、担当教員の携帯電話およびメールアドレスに連絡すること。

備考

1) 実習指導者と連携を取りつつ、学生の学習状況に応じてさらに効果的な実習が行えるよう実施していく。

2) 祝日や学内行事に伴い実習日程が変更になることがある。実習オリエンテーションで正式な日程を伝える。

連絡先(メールアドレス)

谷口 麻希:taniguchi.maki@tmd.ac.jp

塩澤 拓亮:shiozawa.takuma@tmd.ac.jp

松長 麻美:asamim.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

谷口 麻希:毎週水曜日 AM9:30-10:30 医学部3号館 18 階 精神保健看護学分野 研究室2

塩澤 拓亮:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください。(3号館19階 未来創成ナーシングリサーチセンター)

松長 麻美:事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください(3 号館 15 階精神保健看護学分野研究室)。

時間割番号	012040				
科目名	小児看護学Ⅱ			科目ID	MN-331100-L
担当教員	佐藤 伊織, 矢郷 哲志, 鈴木 征吾, 熊谷 祐美, 権守 礼美, 岩﨑 美奈子, 村瀬 有紀子[SATO Iori, YAGO Satoshi, SUZUKI Seigo, KUMAGAI Yumi, GONNOKAMI Ayami, IWASAKI Minako, MURASE Yukiko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Pediatric Nursing Ⅱ

【科目責任者】 佐藤 伊織

主な講義場所

保健衛生学講義室2(3号館8階)又は Zoom

授業の目的、概要等

小児看護学の実践に必要な基礎的知識, アセスメント技術, さらには, 小児を取り巻く保健・医療・福祉の最新の動向に触れながら, 様々な健康問題や障害をもつ小児と, きょうだい児を含めたその家族を理解し, 求められる看護支援について考察する。

なお, この授業は小児看護学演習と組み合わせて行う。

授業の到達目標

到達目標は、以下のとおりである。

1)小児及び家族のアセスメントの方法, ツール, 留意点について説明できる

2)小児の発達アセスメントの方法を理解し, シュミレートすることができる

3)虐待の予防と発見における看護師の役割と看護の要点について説明できる

4)障害をもつ小児と家族の生活と看護の要点について説明できる

5)退院支援、小児科外来における看護師の役割と看護の要点について説明できる

6)疾患をもつ小児の家族およびきょうだい児への看護の要点について説明できる

7)疾患をもつ小児と家族への心理社会的支援の要点について、チャイルド・ライフ・スペシャリストの視点から理解し説明できる

8)疾患をもつ小児と家族への心理社会的支援の要点について、小児専門看護師, ファシリティドッグ ハンドラーの視点から理解し説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/10	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	小児のアセスメント(1)	小児の観察技術, アセスメントツールの活用	佐藤 伊織	【到達目標】1) 【学習方法】アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
2	4/10	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	小児のアセスメント(2)	子どもの発達のアセスメント	岩﨑 美奈子	【到達目標】2) 【学習方法】アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー 【事前・事後学習】教科書の熟読:小児の発達と看護 第2章 子どもの成長・発達と看護 第6節
3	5/22	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	健康障害をもつ子ども・家族への看護(1)	子どもの虐待:虐待の予防と発見	佐藤 伊織 矢郷 哲志	【到達目標】3) 【学習方法】アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー 【事前・事後学習】教科書の熟読:小児の発達と看護 第3章 健康障害をもつ子ども・家族への看護 第10節
4	5/22	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	健康障害をもつ子ども・家族への看護(2)	健康障害をもつ子どもの家族およびきょうだい児への支援	鈴木 征吾	【到達目標】4) 【学習方法】アクティブラーニング:討論、リアクションペーパー
5	6/12	13:30-15:10	保健衛生	健康障害をもつ子ども・	退院支援及び小児	矢郷 哲志	【到達目標】5)

			学科講義室2	家族への看護(3)	科外来における子どもと家族への看護		【学習方法】アクティブラーニング：討論、リアクションペーパー 【事前・事後学習】教科書の熟読：小児の発達と看護 第3章 健康障害をもつ子ども・家族への看護 第7節
6	6/12	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	健康障害をもつ子ども・家族への看護(4)	障がいをもつ小児の在宅における看護	熊谷 祐美	【到達目標】6) 【学習方法】アクティブラーニング：討論、リアクションペーパー 【事前・事後学習】別途指示する
7	6/20	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	健康障害をもつ子ども・家族への看護(5)	慢性疾患を持つ小児の心理社会的支援ーチャイルド・ライフ・スペシャリストの実践ー	村瀬 有紀子	【到達目標】7) 【学習方法】アクティブラーニング：討論、リアクションペーパー 【事前学習】チャイルド・ライフ・スペシャリストの役割、活動内容について調べる
8	6/20	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	健康障害をもつ子ども・家族への看護(6)	慢性疾患を持つ小児の心理社会的支援ー子どもと家族の QOLー	権守 礼美	【到達目標】8) 【学習方法】アクティブラーニング：討論、リアクションペーパー

授業方法

「小児の健康と看護」,「小児看護学Ⅰ」において学習した小児看護の実践に必要な基本的知識，技術の上に積み重ねる構成で，小児看護実践に必要な知識及び最新の小児看護学の動向を学習する事を目的としている。演習，グループ・ワークを中心とした小児看護学演習と組み合わせて，自ら学び，実践に活用できる技能を習得する。講義の他，グループディスカッションや演習などアクティブラーニングを行う。講義毎に，講義内容に関する質問や疑問，学び，感想などをリアクションペーパーに記載し，講義終了後に WebClass の指示された箇所に提出する(オンライン講義の場合には、Zoom のチャット機能を用いる)。リアクションペーパーに記載された質問に関しては、講義中または WebClass において、個別またはクラス全体に対して回答する。

授業内容

授業スケジュールに各回の授業内容を示してある。

成績評価の方法

小児看護学Ⅱの評価は，以下の4項目によって総合的に行う。

1)定期試験(80%)：全体で6割以上の得点を必須とする

2)リアクションペーパー(10%)

3)授業への参加状況(10%)

原則として，2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は，受験資格を失うので注意すること。尚，試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は，授業の到達目標に達しているかを評価し，そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

本科目の到達目標，授業内容を理解し，事前学習を行った上で講義に臨むことが求められる。講義資料，事前課題，学習に必要な情報を WebClass に掲載するので，各自ダウンロード等をして準備し，事前に目を通しておくこと。事前課題がある場合にはそれに従うこと。

試験の受験資格

次のすべてが、前期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

・授業日程の 3 分の 2 以上の出席が認められたもの

・講義への参加状況は、リアクションペーパーで記載された内容で確認する

・遠隔講義(同期型)の場合の出席は、講義開始時から終了時まで参加しているログが確認でき、講義中のグループワークへの参加が確認できたもの

特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、講義に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過

ぎる前、ならびに講義の始まる前までに科目責任者または医学教務係にメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、緊急の場合には電話でも良いが、その後、メールにて改めて連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。
これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 (第 14 版)／奈良間 美保他:医学書院, 2020
ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1):小児の発達と看護 第 7 版／中野 綾美他:メディカ出版, 2023
ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2):小児看護技術 第 5 版／中野 綾美他:メディカ出版, 2023
2年時に購入済みのものを使用する。

他科目との関連

「小児看護学Ⅱ」は,「小児の健康と看護」,「小児看護学Ⅰ」,「小児看護学演習」,「在宅看護学Ⅰ」などの他の専門科目と密接な関連がある。

履修上の注意事項

WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。

備考

2024 年度の授業評価を踏まえ, アクティブラーニングのさらなる活用, リアクションペーパーを記載する時間の確保, 質問への丁寧な対応などを継続する。

連絡先(メールアドレス)

佐藤 伊織:sato.iori@tmd.ac.jp
矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F

オフィスアワー

佐藤 伊織:平日(月～金)9:10～16:45 3 号館 19 階教授室

時間割番号	012109				
科目名	小児看護学演習			科目ID	MN-354200-S
担当教員	佐藤 伊織, 矢郷 哲志[SATO Iori, YAGO Satoshi]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Pediatric Nursing

【科目責任者】 佐藤 伊織

主な講義場所　保健衛生学講義室2(3号館8階), 看護学実習室2・3(3号館17階)又は Zoom

授業の目的、概要等

基本的な小児看護学技術の習得を図る。また、小児の成長発達を踏まえて, 日常生活援助の要点や遊びの意義などについて理解を深める。さらに, グループワークを通して, 主な小児疾患の病態生理を理解し, 健康障害を持つ小児とその家族の身体的・精神的・社会的変化を多用な視点から捉えながら, 求められる看護を考察することで, 小児看護学領域における看護の思考過程を学習する。

なお, この授業は小児看護学Ⅱと組み合わせて行う。

授業の到達目標　到達目標は、以下のとおりである。

1)日常生活における子どもと家族への支援(抱っこ, 食事, 更衣, 排泄, 清潔等)に関する知識を理解し, 基本的手技を正しく行うことができる。

2)検査や処置に関する看護技術とケア(身体計測, バイタルサイン測定など)に関する知識を理解し, 基本的手技を正しく行うことができる。

3)事例に基づいて, 疾患の病態生理, 治療, 検査, 処置, 成長発達, 看護技術及び留意点を理解し, 看護過程を展開することができる。

4):事例について、グループワークを通して学習した内容を適切な方法で発表し, 質疑応答・ディスカッションを通して理解を深めることができる。

5):保育園実習の目的, 目標, スケジュール, 注意事項について説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	5/15	13:30-17:05	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2, 看護学実習室3	日常生活における子どもと家族への支援	抱っこ, 食事, 更衣, 排泄, 清潔など	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	【到達目標】1) 【学習方法】事前・事後課題, アクティブラーニング:討論, グループワーク, リアクションペーパー 【事前・事後学習】別途指示する
3-4	5/29	13:30-17:05	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2, 看護学実習室3	検査や処置に関する看護技術とケア	身体計測, バイタルサイン測定, 輸液管理など	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	【到達目標】2) 【学習方法】事前・事後課題, アクティブラーニング:討論, グループワーク, リアクションペーパー 【事前・事後学習】別途指示する
5	6/13	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	ペーパーペーシェント	オリエンテーション	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	【到達目標】3) 【学習方法】事前・事後課題, アクティブラーニング:TBL 【事前・事後学習】別途指示する
6-7	6/19	13:30-17:05	保健衛生学科講義室2	ペーパーペーシェント	グループワーク(関連図, 看護計画の立案),発表	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	【到達目標】4) 【学習方法】事前・事後課題, アクティブラーニング:TBL 【事前・事後学習】別途指示する
8	6/24	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	保育園実習オリエンテーション	保育園実習に関するオリエンテーション	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	【到達目標】5) 【学習方法】オリエンテーション, 動画視聴　※6月25日午後又は6月28日に各園での保育園実習オリエンテーションを行う(日程は別途指示する)

授業方法

チーム基盤型学習(TBL)を用いて子どもの生活と看護について考え、学習する。技術演習は、小児の特性や看護技術に関する事前課題の内容を踏まえて実施するため、事前学習と事前課題の提出が必須である。小児特有の疾患を持つ事例を用いたグループワークを通して，成長発達，疾患の病態生理，家族背景などを学習，アセスメントし，看護過程を展開しながら，看護計画を立案する。各グループの学習成果を発表し，ディスカッションする。

授業内容　授業スケジュールに各回の授業内容を示してある。

成績評価の方法

小児看護学演習の評価は，以下の3項目によって総合的に行う。

1)定期試験(50%):全体で 6 割以上の得点を必須とする

2)事前課題・発表資料・発表内容(20%)

3)出席・演習への参加態度(30%)

原則として，2/3 以上出席した場合に成績評価の対象とする。指示に従わない場合は，受験資格を失うので注意すること。尚，試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価に示す各項目の成績の合計により評価する。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

本科目の到達目標，授業内容を理解し，事前学習を行った上で講義に臨むことが求められる。講義資料，事前課題，学習に必要な情報を WebClass に掲載するので，各自ダウンロード等をして準備し，事前に目を通しておくこと。事前事後課題がある場合にはそれに従うこと。

試験の受験資格

次のすべてが、前期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

・授業日程の 3 分の 2 以上の出席が認められたもの

・演習に関連する課題を期限内にすべて提出したもの

・遠隔講義(同期型)の場合の出席は、講義開始時から終了時まで参加しているログが確認でき、講義中のグループワークへの参加が確認できたもの

特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や、講義に参加できない場合には、その事情とともに、締め切り期日が過ぎる前、ならびに講義の始まる前までに科目責任者または保健衛生教務グループにメールのように日時の記録が残る形で連絡することを必須とする。なお、緊急の場合には電話でも良いが、その後、メールにて改めて連絡すること。連絡ができないような特別な事情があったと後で判断された場合には、その限りではない。

これらの十分な対応が行われていたと判断された場合には、事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

≪系統看護学講座 専門分野Ⅱ≫ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 (第 14 版)／奈良間 美保他:医学書院，2020

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(1):小児の発達と看護 第 7 版／中野 綾美他:メディカ出版，2023

ナーシング・グラフィカ 小児看護学(2):小児看護技術 第 5 版／中野 綾美他:メディカ出版，2023

演習に必要な資料は開講時に配布する。

教科書は，2年時に購入済みのものを継続して使用する。

他科目との関連

「小児看護学演習」は，これまでの小児看護学の学習を統合して，実技および看護過程を展開して小児看護学実習で活用できる知識と技術を整理する科目であるため，「小児の健康と看護」「小児看護学Ⅰ」「小児看護学Ⅱ」で学んだ知識の応用と実践が必要となる。

履修上の注意事項

技術演習に関しては，臨地実習と同じ心構えで臨み，服装，態度には充分留意すること。演習、グループワークを基本とした授業なので，自己学習・出席・演習に臨む態度を重視する。WebClass の該当コースに適宜資料をアップするので参照すること。事前課題を課す場合がある。

備考　2024 年度の授業評価を踏まえ，対面で安全かつ効果的は技術演習・グループワークを実践できるように，指導方法の検討，環境整備を継続して行っていく。

連絡先(メールアドレス)

佐藤 伊織:sato.iori@tmd.ac.jp

矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F

オフィスアワー　佐藤 伊織:平日(月～金)9:10～16:45 3 号館 19 階教授室

時間割番号	012042				
科目名	小児看護学実習			科目ID	MN-371300-E
担当教員	佐藤 伊織, 矢郷 哲志[SATO Iori, YAGO Satoshi]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Pediatric Nursing

【科目責任者】 佐藤 伊織

主な講義場所 指定された実習施設, 実習室2(3号館17階)

授業の目的、概要等 小児と家族に対する実際のケアを通して, 発達する小児の特徴を理解する。また, 健康障害をもつ小児を全人的に理解する。さらに, 対象とその家族の必要としている援助は何かを理解し, 小児看護を実践するための基礎的能力と技術・態度を養う。

授業の到達目標

本実習は, 小児看護学学内実習と保育園実習, および病棟での臨床実習から構成される。

(1) 小児看護学学内実習

目的:小児看護に必要なスキルを習得する。

目標:

1)小児看護に必要な技術を習得する。

2)小児, 特に言葉を持たない発達段階における子どもとのコミュニケーション方法を理解し, 習得する。

(2)臨地実習(保育園実習)

目的:健康な小児の日常生活行動を実際の保育活動を通して学び, 成長・発達の特徴を把握する。

目標:

1)子どもの成長・発達, および生活を理解する。

2)子どもと家族の支援に必要な基本的な観察技術を習得する。

3)小児の生活における保健行動, 健康管理の概要を知る。

(3)臨床実習(病棟実習)

目的:疾病あるいは障害を持つ小児に接する体験を通して, 小児の特徴を理解し, 小児とその家族の必要としている援助を考え, 実施する。

目標:

1)疾病、あるいは健康障害をもつ小児およびその家族との治療的関係のあり方を学ぶ。

2)健康障害が, 小児およびその家族に及ぼす影響を理解する。

3)健康障害をもつ小児と家族への看護のために, 対象を理解し, 必要な援助を行う能力を養う。

4)小児をとりまく医療, 保健, 福祉の連携の中で小児看護の役割を理解する。

(4)学生に期待するもの

1)既習の学習を統合して, 実際の場面で遭遇する問題・課題に積極的に取り組む。

2)実習期間中, 各自の学習目標を明確にし, それに向かって意欲的に取り組む。

3)小児のケアに際しては特に安全に対する配慮を行う。

4)実習期間中は自己の健康管理に注意する。

5)感染源とならないために, 抗体価検査を必ず受けること。また必要に応じて予防接種
を受ける等の対策が推奨される。

6)スタッフの一員であり, かつ学習する者としての自覚と責任をもって行動する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	7/22	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
5-8	7/23	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
9-12	9/12	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照

13-16	10/6	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
17-20	10/7	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
21-24	10/8	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
25-28	10/9	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
29-32	10/10	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
33-36	10/14	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
37-40	10/15	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
41-44	10/16	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
45-48	10/17	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
49-52	10/20	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
53-56	10/21	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
57-60	10/22	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
61-64	10/23	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
65-68	10/24	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
69-72	10/27	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
73-76	10/28	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
77-80	10/29	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
81-84	10/30	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
85-88	10/31	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
89-92	11/25	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
93-96	11/26	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
97-100	11/27	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
101-104	11/28	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
105-108	12/1	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
109-1	12/2	08:50-17:05	その他(保・小児・家	小児看護	詳細については実習要	佐藤 伊織 矢郷 哲志	詳細については実習要

12			族発達看護学分野)	学実習	項参照		項参照
113-116	12/3	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
117-120	12/4	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
121-124	12/5	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
125-128	12/8	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
129-132	12/9	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
133-136	12/11	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
137-140	12/12	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
141-144	12/15	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
145-148	12/16	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
149-152	12/17	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
153-156	12/18	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照
157-160	12/19	08:50-17:05	その他(保・小児・家族発達看護学分野)	小児看護学実習	詳細については実習要項参照	佐藤 伊織, 矢郷 哲志	詳細については実習要項参照

授業内容　詳細については実習要項を参照

成績評価の方法　病棟実習及び保育園実習において、以下の項目について総合的に評価する。

1)出席状況・実習に臨む態度(20%):出席、日々の取り組み・態度・積極性、カンファレンスへの参加状況等により評価する。

2)実習の内容(60%):患児・家族の理解、関係性の構築、状態のアセスメント、看護過程の展開、看護実践等により評価する。

3)記録物・課題レポート(20%):記録の提出状況、記録・レポートの内容により評価する。

成績評価の基準

成績評価の方法に示す各項目について総合的に評価する(60 点未満:不合格、60-69 点:C、70-79 点:B、80-89 点:A、90 点以上:A+)。実習の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認された場合に合格とする。なお、4 分の 3 以上の出席がない場合には、単位認定ができない。遅刻・欠席は減点の対象になることがある。

準備学習等についての具体的な指示

小児の健康と看護, 小児看護学Ⅰ, 小児看護学Ⅱ, 小児看護学演習の学習で用いた資料を見直し, 小児の発達, 小児疾患の病態生理と看護, 小児看護技術について復習をした上で実習に臨むことが求められる。WebClass 上に, 実習で用いる資料, 実習記録などを掲載するため, 事前に必ず目を通すこと。

備考　エックス等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(エックス、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

2024 年度の授業評価を踏まえ, ひとりひとりの学生にとって安心・安全な環境で学習が行えるよう, 指導体制及び実習環境の整備を継続して行っていく。

連絡先(メールアドレス)

佐藤　伊織:sato.iori@tmd.ac.jp

矢郷　哲志:sycfn@tmd.ac.jp　3 号館 18F

オフィスアワー　佐藤　伊織:平日(月～金)9:10～16:45　3 号館 19 階教授室

時間割番号	012043A				
科目名	性と生殖と健康と看護			科目ID	MN-333400-L
担当教員	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子[MATSUZAKI Masayo, OZASA Yuka, HIROYAMA Natsuko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Sexuality, Reproduction, Life and Nursing

【科目責任者】松崎　政代

主な講義場所　3 号館 保健衛生学講義室 2

授業の目的、概要等

母性の特性を理解した上で、母性看護の概念、機能と役割、女性を取り巻く現況と動向を理解する。母性看護の対象のライフサイクルの各期の発達段階と課題を理解し、健康維持・増進、疾病予防を図ることを目標に看護の必要性を考える。

授業の到達目標

1)周産看護学の概念・特性を述べることができる。(①)

2)日本及び海外の母子保健の現状と課題、政策について理解し、政策を検討できる。(②⑥)

3)女性を取り巻く政策・法律・社会資源の概要を述べられる。(②⑥)

4)DV の現状とその看護について理解できる。(⑤)

5)不妊・不育に関する現状と課題について理解できる(④)

6)性暴力によって起こりうる健康問題や急性期医療・ケアについて理解できる。(⑥)

7) LGBTQ+の基礎知識や医学的な問題について説明することができる。(⑦)

8) 出生前診断を取り巻く状況を理解し、求められるケアを述べられる。(③)

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/1	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	性と生殖と健康と看護	母性看護学の概要（ガイダンス)、 母性の概念、母性看護の特性	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	【到達目標】1) 【学習方法】講義 【その他】リフレクションペーパー
2	4/1	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	性と生殖と健康と看護	母性看護に関連する組織と法律、働く女性の母子保健	松﨑　政代	【到達目標】3) 【学習方法】講義 【その他】リフレクションペーパー
3	4/15	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	性と生殖と健康と看護	出生前診断の現状と課題と看護ケア	小笹　由香	【到達目標】8) 【学習方法】講義 【その他】リフレクションペーパー
4	4/22	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	性と生殖と健康と看護	ジェンダーの課題と看護	小笹　由香	【到達目標】4) 【学習方法】講義・グループ討論 【その他】リフレクションペーパー
5	4/22	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	性と生殖と健康と看護	DV の現状と看護(デート DV) 性暴力被害者の看護	廣山　奈津子	【到達目標】4)6) 【学習方法】講義・グループ討論 【その他】リフレクションペーパー
6	6/3	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	性と生殖と健康と看護	日本及び海外の母子保健の現状、社会のニーズと母性看護の役割	松﨑　政代	【到達目標】2) 【学習方法】講義・グループ討論 【その他】リフレクションペーパー
7	6/3	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	性と生殖と健康と看護	セクシャルマイノリティと医療	笠原　士織	【到達目標】7) 【学習方法】講義・グループ討論 【その他】リフレクションペーパー
8	6/13	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 2	性と生殖と健康と看護	養子縁組と里親制度	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	【到達目標】3) 【学習方法】講義 【その他】リフレクションペーパー

授業方法

講義、　グループワークやリフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング

授業内容

周産期における女性の心身、社会的な背景などについて広くとらえ、ケアにおける課題を考えられるようなテーマで講義を実施する。

成績評価の方法

毎回の講義後のレスポンスシート、学期末試験で評価する。欠席、遅刻早退については、交通機関などの遅延、その他理由を申し出ることにより、考慮する。

90点以上でA＋、80点以上でA,70点以上でB、60点以上でCとする。

試験内容は，講義で話した内容および，該当する教科書の範囲から

学期末テストでは，母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては，英語での出題もあるので学習しておくこと。

成績評価の基準

60 点以上で合格とする。

90 点以上でA＋，80 点以上A，70 点以上B，60 点以上Cとする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。また、この科目の基盤として、他領域で学んだ看護過程の展開や関連図についての知識が必要である。再度、その点について復習をしておくこと。また、関連する臨床のガイドラインなどにも目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

対面：2/3 以上の出席

ZOOM：指定された時間のアクセス記録および画面にて顔面画像 on

教科書

母性看護学概論 ； ウィメンズヘルスと看護／渡邊浩子，板倉敦夫，松﨑政代編集,渡邊，浩子,板倉，敦夫,松﨑，政代,：メヂカルフレンド社，2022

新体系看護学全書／渡邊，浩子,板倉，敦夫,松﨑，政代,：メヂカルフレンド社，2022

参考書

カミングアウト・レターズ ： 子どもと親、生徒と教師の往復書簡／Ryoji，砂川秀樹 編,Ryoji,砂川，秀樹，1966−,：太郎次郎社エディタス，2007−12

今日の助産 ： マタニティサイクルの助産診断・実践過程／北川眞理子，内山和美編集,北川，真理子,内山，和美,生田，克夫,：南江堂，2019

ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図／佐世正勝，石村由利子編,佐世，正勝,石村，由利子,：医学書院，2021

:萬書房

その他，講義の進行の伴い，参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は．周産看護学演習と同時受講することを前提として計画され，後期の周産看護学実習上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。他の看護専門科目て学習した看護理論看護過程の考え方などを十分理解した上で参加すること。

履修上の注意事項

この科目は、学生に問題を投げかけ，学生がそれについて意見を出し合う時間を多く持つ予定である。コミュニケーション能力と意見を積極的で述べる能力が必要な科目である。

備考

個人情報の保護については、自分自身のみならず、患者情報、講義で利用した写真等も含め十分に配慮すること。

参照ホームページ

WebClass の周産看護学のコースに適宜資料をアップする。授業前に確認し、DLして授業に臨むこと。

連絡先（メールアドレス）

松﨑　政代:matsuzaki.masayo@tmd.ac.jp

小笹　由香:yuka.bec@tmd.ac.jp

廣山　奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松﨑　政代:毎週火曜日 PM.0：00−PM.4：00　3 号館　19 階　松﨑教授室

小笹　由香:平日 10：00−17：00　3 号館 17 階　ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ看護学研究室

事前にメールでアポイント取ってください。

廣山　奈津子:平日　AM10:00 −PM4:00 3 号館 15 階 リプロダクティブヘルス看護学分野 研究室2

メールでアポイントメントを取ってから来てください。

時間割番号	012044A				
科目名	周産看護学Ⅰ			科目ID	MN-333500-L
担当教員	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子[MATSUZAKI Masayo, OZASA Yuka, HIROYAMA Natsuko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Perinatal Nursing　Ⅰ

【科目責任者】松﨑　政代

主な講義場所

保健衛生学講義室2(3号館8階)

授業の目的、概要等

妊娠・分娩・産褥・新生児の生理機能や看護について異常時の医学的、看護学的視点から講義をする。

授業の到達目標

1)女性の生殖機能から妊娠について考察できる。(①)

2)妊娠・分娩期の正常・異常について理解し、それに対する看護を述べられる。(②、③、④)

3) 新生児の生理、適応、異常とアセスメント項目について説明できる(⑤、⑥、⑧)

4)産褥期の進行性変化として、母乳分泌の生理機能をもとに看護・保健指導を考えられる。(⑦)

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅰ	女性生殖機能	石川　智則	【到達目標】1) 【学習方法】講義・グループ討論 【その他】リフレクションペーパー
2	4/8	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅰ	妊娠(正常・異常)	齊藤　和毅	【到達目標】2) 【学習方法】講義・グループ討論 【その他】リフレクションペーパー
3	4/15	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅰ	不妊・出生前診断	辰巳　嵩征	【到達目標】2) 【学習方法】講義・グループ討論 【その他】リフレクションペーパー
4	4/16	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅰ	分娩(正常・異常)	宮坂　尚幸	【到達目標】2) 【学習方法】講義・グループ討論 【その他】リフレクションペーパー
5	4/23	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅰ	新生児の生理・適応	杉江　学	【到達目標】3) 【学習方法】講義・グループ討論 【その他】リフレクションペーパー
6	4/24	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅰ	新生児の看護	廣山　奈津子	【到達目標】3) 【学習方法】講義 【その他】リフレクションペーパー
7	5/8	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅰ	母乳栄養	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	【到達目標】4) 【学習方法】講義 【その他】リフレクションペーパー
8	5/30	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅰ	新生児の異常・NICU の看護	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	【到達目標】3) 【学習方法】講義 【その他】リフレクションペーパー

授業方法

・講義

・グループワーク・リフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング

成績評価の方法

毎回の授業でのレスポンスシート、学期末試験で評価する。また、欠席、遅刻早退は、交通機関などの遅延、その他の理由がある場合には考慮する。

90点以上でA＋、80点以上でA,70点以上でB、60点以上でCとする。

成績評価の基準

60 点以上を合格とする。

90 点以上でA＋, 80 点以上A, 70 点以上B, 60 点以上Cとする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。また、この科目の基盤として、他領域で学ん

だ看護過程の展開や関連図についての知識が必要である。再度、その点について復習をしておくこと。また、関連する臨床のガイドラインなどにも目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

2／3 の出席をしていること。

ZOOM 講義でも同様であるが、ネットにアクセスし、画面にて顔を出していることが条件となる。

教科書

母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護　第 7 版／渡邊浩子, 板倉敦夫, 松﨑政代編集,渡邊, 浩子,板倉, 敦夫,松﨑, 政代,:メヂカルフレンド社, 2022

マタニティサイクルにおける母子の健康と看護　第 7 版／渡邊, 浩子,板倉, 敦夫,松﨑, 政代,:メヂカルフレンド社, 2022

:南江堂, 2019

:社

参考書

今日の助産 : マタニティサイクルの助産診断・実践過程／北川眞理子, 内山和美編集,北川, 真理子,内山, 和美,生田, 克夫,:南江堂, 2019

ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図／佐世正勝, 石村由利子編,佐世, 正勝,石村, 由利子,:医学書院, 2021

その他, 講義の進行の伴い, 参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は. 周産看護学演習と同時受講することを前提として計画され, 後期の周産看護学実習上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。他の看護専門科目て学習した看護理論看護過程の考え方などを十分理解した上で参加していただきたい。

履修上の注意事項

この科目は、学生に問題を投げかけ, 学生がそれについて意見を出し合う時間を多く持つ予定である。コミュニケーション能力と意見を積極的で述べる能力が必要な科目である。

備考

個人情報の保護については、自身のみならず、患者情報、講義で用いた写真、資料などは、SNS 等で拡散しないなど使用や保管は十分に配慮すること。

参照ホームページ

WebClass の周産看護学のコースに適宜資料をアップする。授業前に確認し、DL して授業に臨むこと。

連絡先(メールアドレス)

松﨑　政代:matsuzaki.masayo@tmd.ac.jp

小笹　由香:yuka.bec@tmd.ac.jp

廣山　奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松﨑　政代:毎週火曜日 PM.0:00–PM.4:00　3 号館　19 階　松﨑教授室

小笹　由香:平日 10:00–17:00　3 号館 17 階　ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ看護学研究室

事前にメールでアポイント取ってください。

廣山　奈津子:平日　AM10:00 –PM4:00 3 号館 15 階 リプロダクティブヘルス看護学分野 研究室2

メールでアポイントメントを取ってから来てください。

時間割番号	012045A				
科目名	周産看護学Ⅱ			科目ID	MN-333600-L
担当教員	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子[MATSUZAKI Masayo, OZASA Yuka, HIROYAMA Natsuko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Perinatal Nursing Ⅱ

【科目責任者】松﨑　政代

主な講義場所

保健衛生学講義室2(3号館8階)

授業の目的、概要等

妊娠・分娩・産褥の周産期を中心とした母性機能の理解とその看護に焦点を置き、各期の観察と看護、保健指導等について理解する。

授業の到達目標

1)妊娠・分娩・産褥の特徴と観察の視点を述べられる。(①、③、④、⑤)

2)妊娠・分娩・産褥の保健指導内容を述べられる。(②、⑥)

3)看護の展開に必要な妊娠・分娩・産褥の看護を記述できる。(⑦、⑧)

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅱ	妊婦の観察と看護アセスメント 性感染症	松﨑　政代	【到達目標】1)【学習方法】講義【その他】グループワークやリフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング
2	4/8	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅱ	妊婦の看護・保健指導、妊娠・出産と家族支援・	松﨑　政代	【到達目標】2)【学習方法】講義【その他】グループワークやリフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング
3	4/17	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅱ	産婦の看護　(分娩第1～4期の看護)	松﨑　政代	【到達目標】1)【学習方法】講義【その他】グループワークやリフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング
4	4/17	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅱ	異常産婦の看護(帝王切開術の看護)	小笹　由香	【到達目標】1)【学習方法】講義【その他】グループワークやリフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング
5	5/8	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅱ	褥婦の看護ケア(正常・異常)	小笹　由香	【到達目標】1)【学習方法】講義【その他】グループワークやリフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング
6	5/27	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅱ	麻酔分娩の看護	田辺　けい子	【到達目標】2)【学習方法】講義【その他】グループワークやリフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング
7	5/27	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅱ	産褥期の看護計画	廣山　奈津子	【到達目標】3)【学習方法】講義【その他】グループワークやリフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング
8	6/5	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	周産看護学Ⅱ	産後の女性への退院支援	廣山　奈津子	【到達目標】3)【学習方法】講義【その他】グループワークやリフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング

授業方法

講義

グループワークやリフレクションペーパーを用いたアクティブラーニング

授業内容

妊娠・分娩・産褥・新生児の周産期を中心とした母性機能の理解とその看護に焦点を置き、各期の観察と看護、保健指導等について講義する。

成績評価の方法

成績評価方法　毎回の授業でのレスポンスシート、学期末試験で評価する。また、欠席、遅刻早退は、交通機関などの遅延などやその他の理由があれば考慮する。

90点以上でA＋、80点以上でA,70点以上でB、60点以上でCとする。

成績評価の基準

60 点以上を合格とする。

90 点以上でA＋, 80 点以上A, 70 点以上B, 60 点以上Cとする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。また、この科目の基盤として、他領域で学んだ看護過程の展開や関連図についての知識が必要である。再度、その点について復習をしておくこと。また、関連する臨床のガイドラインなどにも目を通しておくことが望ましい。

試験の受験資格

2／3 の出席をしていること。

教科書

母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護　第7版／渡邊浩子, 板倉敦夫, 松﨑政代編集,渡邊, 浩子,板倉, 敦夫,松﨑, 政代,:メヂカルフレンド社, 2022

マタニティサイクルにおける母子の健康と看護　第 7 版／渡邊, 浩子,板倉, 敦夫,松﨑, 政代,:メヂカルフレンド社, 2022

参考書

エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問 92／堀内成子総編集 ; 飯田真理子 [ほか] 分担編集,堀内, 成子,飯田, 真理子,中村, 幸代,永森, 久美子,八重, ゆかり,:南江堂, 2015

今日の助産 : マタニティサイクルの助産診断・実践過程／北川眞理子, 内山和美編集,北川, 真理子,内山, 和美,生田, 克夫,:南江堂, 2019

その他, 講義の進行の伴い, 参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は, 周産看護学演習と同時に受講することを前提として計画され, 後期の周産看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。他の看護専門科目で学習した看護理論, 看護過程の考え方などを十分理解した上で参加していただきたい。

履修上の注意事項

講義では, 学生に問題を投げかけ, 学生がそれについて意見を出し合う時間を多く持つ予定である。自分の意見を積極的に述べ, 他者に論理的に説明する能力を高める努力をしてほしい。

備考

個人情報の保護については、自分自身のみならず、患者情報、講義で用いた写真などに関して十分配慮すること。

参照ホームページ

WebClass の周産看護学のコースに適宜資料をアップする。授業前に確認し、DL して授業に臨むこと。

連絡先(メールアドレス)

松﨑　政代:matsuzaki.masayo@tmd.ac.jp

小笹　由香:yuka.bec@tmd.ac.jp

廣山　奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松﨑　政代:毎週火曜日 PM.0:00-PM.4:00　3 号館　19 階　松﨑教授室

小笹　由香:平日 10:00-17:00　3 号館 17 階　ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ看護学研究室

事前にメールでアポイント取ってください。

廣山　奈津子:平日　AM10:00 -PM4:00 3 号館 15 階 リプロダクティブヘルス看護学分野 研究室2

メールでアポイントメントを取ってから来てください。

時間割番号	012046A				
科目名	周産看護学演習			科目ID	MN-353700-S
担当教員	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子[MATSUZAKI Masayo, OZASA Yuka, HIROYAMA Natsuko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Maternal and Infant Nursing

【科目責任者】松﨑　政代

主な講義場所

保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室2（3号館17階）ほか

対面不可の状況の場合は ZOOM で同期とする。

ただし、対面でないと出来ない演習も含まれているため，その場合は延期となる可能性もある。

授業の目的、概要等

この科目では，周産看護学で学んだ基礎知識を，実際の看護展開に活用できるよう，複数の周産期の女性事例に関する看護計画立案を通して周産看護学領域に特有の看護の思考過程を習得する。また、周産看護学領域に特有の援助技術を実習室における技術演習、ロールプレイを通して習得する。

授業の到達目標

1) 模擬分娩により、具体的な分娩を理解できる。(①)

2) 性と生殖と健康、周産看護学Ⅰ Ⅱで学んだことを活かし、ペーパークライエントのアセスメント、看護計画が立案できる。(④、⑤)

3) ケアの手技の理解、実演ができる。(②、③)

4) 模擬クライエントに対する退院支援(保健指導)のロールプレイができる。(⑥、⑦)

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/24	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 2	周産看護学演習	模擬分娩	中根　直子, 河合　蘭	【到達目標】1) 【学習方法】 グループワークなど
2	5/20	13:30-15:10	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	周産看護学演習	褥婦・新生児の看護・沐浴ビデオ・モデル学習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	【到達目標】3) 【学習方法】 技術演習、グループワークなど
3	5/20	15:25-17:05	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3	周産看護学演習	褥婦・新生児の看護・沐浴ビデオ・モデル学習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	【到達目標】3) 【学習方法】 技術演習、グループワークなど
4	5/30	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 2	周産看護学演習	産褥事例の看護計画 GW ①	廣山　奈津子	【到達目標】2) 【学習方法】 グループワーク、グループ発表、技術テスト、ロールプレイなど
5	6/5	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 2	周産看護学演習	産褥事例の看護計画 GW ②	廣山　奈津子	【到達目標】2) 【学習方法】グループワーク、グループ発表、技術テスト、ロールプレイなど
6	6/26	13:30-15:10	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 5	周産看護学演習	産後の生活及び育児に関わる看護(ロールプレイ)	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子, 瀬戸　菜月	【到達目標】4) 【学習方法】グループワーク、グループ発表、技術テスト、ロールプレイなど
7	6/26	15:25-17:05	看護学実習室 1, 看護学実習室 2, 看護学実習室 5	周産看護学演習	産後の生活及び育児に関わる看護(ロールプレイ)	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子, 瀬戸　菜月	【到達目標】4) 【学習方法】グループワーク、グループ発表、技術テスト、ロールプレイなど

8	6/26	17:15-18:55	看護学実習室 2	周産看護学 演習	実習オリエンテーション	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	

授業方法

グループワーク、グループ発表、技術テスト、ロールプレイなど

授業内容

実習に出て用いる思考および技術の基礎の練習。テストに向けての練習は WebClass にアップした技術デモの視聴や実習室での実演で準備すること。

成績評価の方法

評価方法の詳細は授業内で別途提示する

レポート, 技術テスト,ロールプレイから総合的に評価する。出席を重視する。全出席の場合は加点、欠席は減点対象となる。

・レポート点【10%】:表紙、見出し、段落ごとに整理、根拠として適切な文献を使用すること 自分の意見・考察を分けて延べ、指定文字数、文献リストの書き方にも留意する。

・技術演習テスト【45%(妊産婦 15 褥婦 15 新生児 15)】:各項目とも合否どちらかとする。 Web Class に up する映像を視聴し、事前練習してテストに臨むこと。特別な事情がない限り、視聴履歴がないことも減点対象とする。

・看護過程&ロールプレイ【40%】:準備/発表内容/態度、看護過程記録の期限内提出と内容で評価する。

成績評価の基準

総合で 60 点以上であること。

90 点以上で A+, 80 点以上 A, 70 点以上 B, 60 点以上 C とする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。

他領域で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提なので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門職のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。

教科書

母性看護技術 = Practice to maternal nursing／荒木奈緒, 中込さと子, 小林康江編,荒木, 奈緒,中込, さと子,小林, 康江,:メディカ出版, 2019

母性看護学Ⅱ:マタニティサイクル : 母と子そして家族へのよりよい看護実践／大平光子 [ほか] 編集,大平, 光子,井上, 尚美,大月, 恵理子,佐々木, くみ子,林, ひろみ,:南江堂, 2018

参考書

WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／[編],戸田律子／訳,:農山漁村文化協会, 1999

出産革命のヒロインたち : アメリカのお産が変わったとき／マーゴット・エドワーズ, メアリー・ウォルドルフ 著,河合蘭 訳,:メディカ出版, 1997

母乳育児支援スタンダード／日本ラクテーション・コンサルタント協会編,日本ラクテーション・コンサルタント協会,:医学書院, 2015

今日の助産 : マタニティサイクルの助産診断・実践過程／北川眞理子, 内山和美編集,北川, 真理子,内山, 和美,生田, 克夫,:南江堂, 2019

マタニティアセスメントガイド／吉沢豊予子, 鈴木幸子編著,吉沢, 豊予子,鈴木, 幸子,:真興交易医書出版部, 2019

写真でわかる助産技術 : 妊産婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美恵子, 村上睦子 監修,:インターメディカ, 2012

マタニティ診断ガイドブック／日本助産診断実践学会編集 ; 齋藤益子 [ほか] 執筆,日本助産診断実践学会,齋藤, 益子,:医学書院, 2020

母性Ⅰ／前原澄子 編,前原, 澄子, 1936-2019,:中央法規出版, 2011

母性Ⅱ／前原澄子 編,前原, 澄子, 1936-2019,:中央法規出版, 2011

佐世正勝、石村由利子:ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図、医学書院, 2016.

・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2012.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ, 中央法規, 2011.

・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ, 中央法規, 2011.

・横尾京子, 中込さと子:ナーシング・グラフィカ 31 母性看護学ー母性看護技術, メディカ出版, 2007.

・WHO, (戸田律子訳):WHOの59カ条 お産のケア実践ガイド, 農文協, 1997.

・Doenges,M.E.&Moorhouse,M.F.(柴山森二郎監訳):看護診断にもとづく母性・新生児看護ケアプラン, 医学書院, 1998.

・ Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳):健康増進のためのウェルネス看護診断, 南江堂

・ 松原まなみ, 山西みな子:母乳育児の看護学 考え方とケアの実際, メディカ出版, 2003.

・ 鈴木幸子, 吉沢豊予子:新版 マタニティアセスメントガイド, 新興交易医書出版部, 2003.

・ 末原紀美代:正常産のケア指針, MCメディカ出版, 2002.

・ 進　純郎:周産期の臨床手技106, MCメディカ出版, 2002.
・ 堀内成子:産褥・退院支援ガイドブック, MCメディカ出版, 2003.
・ 長谷川充子:周産期の保健指導とケアQ&A, MCメディカ出版, 2003.
・ レズリー・ページ:新助産学, メディカ出版, 2002.

他科目との関連

この科目は, 周産看護学と同時に受講することを前提として計画され, 後期の周産看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を周産看護学のケアの特徴に沿って活用していくため, 既習の知識・技術を十分理解した上で参加していただきたい。また, この科目は, 周産看護学実習に参加するための取得必須科目である。

履修上の注意事項

演習は実際に練習することがメインであるため, 欠席すると同じレベルの補習はできないので注意すること。

備考

個人情報保護法および専門職としての守秘義務等に鑑み, 自分が知り得た情報の扱いには気をつけること。

参照ホームページ

WebClass の周産看護学演習のコースに適宜資料をアップする。
Youtube にも下記について up している。
赤ちゃんの沐浴(1 か月まで):https://www.youtube.com/watch?v=T2P9cS1M9ds
赤ちゃんのおむつ換え:https://www.youtube.com/watch?v=Nham8QzkuXY
赤ちゃんの全身観察:https://www.youtube.com/watch?v=IworWl6_gFo&t=2s

連絡先(メールアドレス)

松﨑　政代:matsuzaki.masayo@tmd.ac.jp
小笹　由香:yuka.bec@tmd.ac.jp
廣山　奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松﨑　政代:毎週火曜日 PM.0:00-PM.4:00　3 号館　19 階　松﨑教授室
小笹　由香:平日 10:00-17:00　3 号館 17 階　ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ看護学研究室
事前にメールでアポイント取ってください。
廣山　奈津子:平日　AM10:00 -PM4:00 3 号館 15 階 リプロダクティブヘルス看護学分野 研究室2
メールでアポイントメントを取ってから来てください。

時間割番号	012047A				
科目名	周産看護学実習			科目ID	MN-373800-E
担当教員	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子[MATSUZAKI Masayo, OZASA Yuka, HIROYAMA Natsuko]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Maternal and Infant Nursing

【科目責任者】松﨑　政代

主な講義場所

看護学実習室2、5(3号館17階)、TMDU 病院、賛育会病院ほか

授業の目的、概要等

この科目では，周産看護学で学んだ基礎知識を，実際の看護展開に活用できるよう，周産期の女性に関する看護計画立案と実践を通して母性看護学領域に特有の看護の思考過程および基礎技術を習得する。

授業の到達目標

周産看護学で学習した知識を基礎として，母子の健康をアセスメントし看護援助の計画・立案が行え，周産看護学の対象と看護援助の特徴をふまえた看護技術を習得し，周産看護学実習を行う上で必要な看護実践能力を養うことを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/6	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	周産看護学実習	技術テスト練習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
2	10/7	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	周産看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
3	10/8	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
4	10/9	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
5	10/10	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
6	10/14	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
7	10/15	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
8	10/16	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
9	10/17	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	周産看護学実習	まとめの会	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
10	10/20	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	周産看護学実習	技術テスト練習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
11	10/21	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	周産看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
12	10/22	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
13	10/23	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
14	10/24	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照
15	10/27	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑　政代, 小笹　由香, 廣山　奈津子	詳細については実習要項参照

16	10/28	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
17	10/29	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
18	10/30	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
19	10/31	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	周産看護学実習	まとめの会	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
20	11/25	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	周産看護学実習	技術テスト練習・オリエンテーション	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
21	11/26	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	周産看護学実習	技術テスト練習・技術テスト	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
22	11/27	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
23	11/28	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
24	12/1	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
25	12/2	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
26	12/3	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
27	12/4	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
28	12/5	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	周産看護学実習	まとめの会	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
29	12/8	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	技術テスト練習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
30	12/9	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
31	12/11	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
32	12/12	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
33	12/15	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
34	12/16	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
35	12/17	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
36	12/18	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野), 外部病院等	周産看護学実習	産科領域での看護実習	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照
37	12/19	08:00-16:00	その他(保・リプロダクティブヘルス看護学分野)	周産看護学実習	まとめの会	松﨑 政代, 小笹 由香, 廣山 奈津子	詳細については実習要項参照

授業方法

病院での受持に対する看護過程の展開実習および見学実習。

授業内容

受持への看護過程を展開し、指導者とともに看護を提供する。

成績評価の方法

実習初日技術テスト 4 種目中 3 種目不合格であった場合は、患者の安全が担保できないため、その時点で落第とする。
病棟に出てからの評価は以下の通りである。
臨床での思考, 態度, 技術の側面から総合的に評価する。

A. 看護の思考過程　40%

情報収集、アセスメント、看護問題・課題の抽出、目標、具体策の設定、看護計画の評価などを実習記録と実習内容からそれぞれ 5 段階で評価する。

B. 看護技術　25%

観察技術、援助技術などを実習内容からそれぞれ 5 段階で評価する。

C. 実習態度・意欲　35%

積極性、責任感、チームワーク、社会性など専門職としての態度、行動をそれぞれ 5 段階で評価し、ABC の合計をもって総合評価する。

出席を重視する。技術テストをクリアしていた場合でも、3/4 以上の出席がなければ落第とする。

成績評価の基準

90 点以上で A＋, 80 点以上 A, 70 点以上 B, 60 点以上 C とする。

準備学習等についての具体的な指示

周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはをテキストで予習をしておくこと。
他領域で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提なので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門職のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。

試験の受験資格

性と生殖と健康と看護、周産看護学Ⅰ、Ⅱ、演習を修了していること。

モジュールの単位判定

3／4 の出席があること。

教科書

母性看護技術 = Practice to maternal nursing／荒木奈緒, 中込さと子, 小林康江編,荒木, 奈緒,中込, さと子,小林, 康江,:メディカ出版, 2019
母性／前原澄子 編,前原, 澄子, 1936-2019,:中央法規出版, 2011
母性Ⅱ／前原澄子 編,:中央法規出版, 2011
エビデンスをもとに答える妊産婦・授乳婦の疑問 92／堀内成子 総編集,飯田真理子, 中村幸代, 永森久美子, 八重ゆかり 分担編集,堀内, 成子, 1955-,飯田, 真理子,中村, 幸代,永森, 久美子,:南江堂, 2015
マタニティアセスメントガイド／吉沢豊予子, 鈴木幸子編著,吉沢, 豊予子,鈴木, 幸子,:真興交易医書出版部, 2019
・ナーシンググラフィカ 母性看護実践の基本 母性看護学①, メディカ出版, 2019.
・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ, 中央法規, 2011.
・前原澄子:新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ, 中央法規, 2011.
・横尾京子, 中込さと子:ナーシング・グラフィカ 31 母性看護学ー母性看護技術, メディカ出版, 2007.
・WHO, (戸田律子訳):WHOの59カ条 お産のケア実践ガイド, 農文協, 1997.
・北山眞理子ら:今日の助産, 南江堂, 2013.
・Doenges,M.E.&Moorhouse,M.F.(柴山森二郎監訳):看護診断にもとづく母性・新生児看護ケアプラン, 医学書院, 1998.
・ Karen M Stolte,(小西恵美子・太田勝正訳):健康増進のためのウェルネス看護診断, 南江堂
・ 松原まなみ, 山西みな子:母乳育児の看護学 考え方とケアの実際, メディカ出版, 2003.
・ 鈴木幸子, 吉沢豊予子:新版 マタニティアセスメントガイド, 新興交易医書出版部, 2016.
・ 末原紀美代:正常産のケア指針, MCメディカ出版, 2002.
・ 進 純郎:周産期の臨床手技106, MCメディカ出版, 2002.
・ 堀内成子:産褥・退院支援ガイドブック, MCメディカ出版, 2003.
・ 長谷川充子:周産期の保健指導とケアQ&A, MCメディカ出版, 2003.

参考書

WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／〔編〕,戸田律子／訳,:農山漁村文化協会, 1999
ウエルネスからみた母性看護過程+病態関連図／佐世正勝, 石村由利子編,佐世, 正勝,石村, 由利子,:医学書院, 2016
母乳育児の看護学 : 考え方とケアの実際／松原まなみ, 山西みな子 著,:メディカ出版, 2003
母乳育児支援スタンダード 2 版／日本ラクテーション・コンサルタント協会編,日本ラクテーション・コンサルタント協会,:医学書院, 2015

マタニティアセスメントガイド／吉沢豊予子，鈴木幸子編著,吉沢，豊予子,鈴木，幸子,：真興交易医書出版部，2019
写真でわかる助産技術：妊産婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美恵子，村上睦子 監修,：インターメディカ，2012
その他，実習の進行に伴い参考文献を提示する。

他科目との関連

この科目は，周産看護学と同時に受講することを前提として計画され，後期の周産看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を周産看護学のケアの特徴に沿って活用していくため，既習の知識・技術を十分理解した上で参加していただきたい。また，この科目は，周産看護学実習に参加するための取得必須科目である。

履修上の注意事項

演習が主体であるため，欠席すると補習はできないので注意してほしい。

備考

個人情報の保護については、患者情報の記録への取り扱いに注意し病棟外での会話を慎むこと、また患者のみならず自分自身の情報についても安全のために注意して扱うこと。

参照ホームページ

赤ちゃんの沐浴(1 か月まで):https://www.youtube.com/watch?v=T2P9cS1M9ds
赤ちゃんのおむつ換え:https://www.youtube.com/watch?v=Nham8QzkuXY
赤ちゃんの全身観察:https://www.youtube.com/watch?v=IworWl6_gFo&t=2s

連絡先(メールアドレス)

松﨑　政代:matsuzaki.masayo@tmd.ac.jp
小笹　由香:yuka.bec@tmd.ac.jp
廣山　奈津子:nhiro.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松﨑　政代:毎週火曜日 PM0:00-PM4:00　3 号館　19 階　松﨑教授室
小笹　由香:平日 10:00-17:00　3 号館 17 階　ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ看護学研究室
事前にメールでアポイント取ってください。
廣山　奈津子:平日　AM10:00 -PM4:00 3 号館 15 階 リプロダクティブヘルス看護学分野 研究室2
メールでアポイントメントを取ってから来てください。

時間割番号	012110				
科目名	高齢者の健康と看護			科目ID	MN-334300-L
担当教員	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 網中 眞由美, 村山 紀子[OGATA Yasuko, SASAKI Miki, YUMOTO Yoshie, AMINAKA Mayumi, MURAYAMA Noriko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Health and Nursing for the Elderly

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所

・対面または遠隔授業(同期型または非同期型)で行う

・対面の場合は、保健衛生学講義室2(3号館8階)ほか

授業の目的、概要等

「高齢者の健康と看護」は、「老年看護学」の基盤となる知識を学び、それらの知識を高齢者への看護に展開していく準備として位置づけられる科目である。老化に伴う身体的・精神的変化、社会経済的な変化について理解するとともに、高齢患者への看護を展開していく上で必要な視点や知識等を学習する。これらの内容を、講義・グループワーク・課題発表(学生によるプレゼンテーション)等を活用したアクティブラーニングを通じて学習する。

授業の到達目標

1)老年期にある人と家族の特徴を理解し説明できる。

2)老化に伴う身体的・精神的変化、社会経済的な変化について理解し説明できる。

3)高齢患者への看護を展開していく上で必要な知識や看護の視点について、認知症や医療関連感染等の例を通じて、理解し説明できる。

4)多くの人生経験を有する高齢者を尊重する態度を培い、そうした態度を示すことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/1	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	高齢者の健康と看護	高齢者を理解するための基本的概念について学ぶ。 高齢者の視点を理解し、看護の基本姿勢を養う。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～4) 【学習方法】対面講義 【その他】Webclass の資料予習
2	4/1	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	高齢者の健康と看護	課題①オリエンテーション、グループワークのオリエンテーション/役割分担/グループワーク	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～4) 【学習方法】グループワーク 【その他】Webclass の資料予習
3	4/14	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	高齢者の健康と看護	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する(1)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)4) 【学習方法】課題発表 【その他】Webclass の資料予習
4	4/14	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	高齢者の健康と看護	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する(2)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)4) 【学習方法】課題発表 【その他】Webclass の資料予習
5	4/21	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	高齢者の健康と看護	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する(3)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)4) 【学習方法】課題発表 【その他】Webclass の資料予習
6	4/21	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	高齢者の健康と看護	認知症の病態および症状とその基本的支援方法を学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 村山 紀子	【到達目標】1)～4) 【学習方法】対面講義、グループワーク 【その他】Webclass の資料予習
7	4/25	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	高齢者の健康と看護	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する(4)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)4) 【学習方法】課題発表 【その他】Webclass の資料予習
8	5/9	08:50-10:30	保健衛生学	高齢者の健	高齢者看護における医療関連	緒方 泰子,	【到達目標】1)～4)

			科講義室2	康と看護	感染について学ぶ。	佐々木 美樹, 湯本 淑江, 網中 眞由美	【学習方法】対面講義、グループワーク 【その他】Webclass の資料予習

授業方法

講義形式の授業に加え、学生間でのグループワーク、プレゼンテーションやディスカッション等のアクティブラーニングを学生自らが行う。

授業内容

授業明細の通り

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

2)リフレクションペーパー

3)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

4)期末テスト

成績評価の基準

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況(20%)

・出席とは、リフレクションペーパーを含む、対面授業への参加・遠隔授業への参加を指す。(試験の受験資格参照)

2)リフレクションペーパー(10%)(遅延状況、内容に応じて減点する)

3)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度(20%)

・同期型授業では、原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加度合いを評価する。

4)期末テスト(50%)

・テキストや配布資料等に記載された英語(単語や文章)を試験に引用するため、よく理解しておく必要がある。

※上記1)～4)の配分を基本に総合的に評価する。提出期限を守らない場合、減点の対象となる。繰り返し提出期限を過ぎる場合は、成績評価の対象としない。総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

・授業中に提示された課題について、グループ毎に取り組み(グループワーク)、学習成果を発表する機会を設けている。

・課題についての事前準備学習(情報収集、資料作成など)が必要となる。

・学習の資料には、下記参考書、授業を通じて配布した資料などを用いるとよい。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2／3 以上出席していること。

※出席とは、「対面授業あるいは遠隔授業(同期型)」の場合:①授業の最初から最後まで参加している場合であって、②リフレクションペーパーの提出が必要な講義においてはリフレクションペーパーを提出した場合をいう。「遠隔授業(非同期型)」の場合:WebClass で授業を受講し確認テストが提出された場合であって、②リフレクションペーパーの提出が必要な講義においてはリフレクションペーパーを提出した場合を出席とする。

教科書

最新 老年看護学 第 4 版 2025 年版／水谷信子,水野敏子,高山成子,三重野英子,會田信子,深堀浩樹,水谷信子 監修,水野敏子 監修,高山成子 監修,三重野英子 編集,會田信子 編集,深堀浩樹 編集:2025

参考書

実践!高齢者のフィジカルアセスメント : 手技と事例で学ぶ : 老化を理解して、異常を見逃さない! : オールカラー : 病院・在宅・訪問で使える／角濱春美 著,大西基喜 医学監修,:メディカ出版, 2017

Ham's primary care geriatrics : a case-based approach Seventh Edition／[edited by] Richard J. Ham ... [et al.],Ham, Richard J.,Sloane, Philip D.,Warshaw, Gregg A.,Potter, Jane F.,Flaherty, Ellen,:Elsevier/Saunders, 2021

高齢者の健康と障害／堀内ふき, 諏訪さゆり, 山本恵子 編:メディカ出版, 2023.1

根拠と事故防止からみた老年看護技術／亀井智子 編集,:医学書院, 2016

認知症ケアガイドブック = GUIDEBOOK FOR DEMENTIA CARE／日本看護協会 編集,日本看護協会,:照林社, 2016

老年看護学技術 : 最後までその人らしく生きることを支援する／真田弘美, 正木治恵編集,真田, 弘美,正木, 治恵,:南江堂, 2020

高齢者看護の実践／堀内ふき,諏訪さゆり,山本恵子, 編:メディカ出版, 2023.1

ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程 : 生活機能に焦点をあてたアセスメント／奥宮暁子 編著:医歯薬出版, 2019.12

老年看護学概論 :「老いを生きる」を支えることとは／正木治恵, 真田弘美 編集:南江堂, 2023.3

他科目との関連

対象別看護として高齢者を対象としているため，病態学，生理学などの基礎的な医学知識や基盤・成人看護学における内容をふまえながら，高齢者の特徴等にもとづく看護学の授業を展開する。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。　2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。　3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。　4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。　5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

備考

・授業内では，グループワークを実施し，その実施結果のプレゼンテーションを行う。積極的に参加すること。

・オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

・2024 年度の科目評価において特段改善意見が寄せられなかったため、前年度と同様の方法で授業を行う。

連絡先(メールアドレス)

緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19F

佐々木　美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp　3 号館 15F

湯本　淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

佐々木　美樹:オフィスアワーは特に定めないが，事前にアポイントをとった上で訪問すること。

湯本　淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012048A				
科目名	老年看護学			科目ID	MN-333900-L
担当教員	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江[OGATA Yasuko, SASAKI Miki, YUMOTO Yoshie]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Gerontological Nursing

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所

・対面または遠隔授業(同期型または非同期型)で行う

・対面の場合は、保健衛生学講義室2(3号館8階)ほか

授業の目的、概要等

高齢者の心身・社会経済的な変化に関する理解を基盤として、老年期に発症しやすい健康障害・機能障害とそれらに対する基本的な支援技術を習得する。老年看護学の背景となる日本社会における保健・医療・福祉の動向を知り, 医療チームの一員として多角的な視野をもって看護を提供するための基本的な態度を養う。グループワーク等を活用したアクティブラーニングとして行う。

授業の到達目標

1)高齢者の健康障害とそれに伴う諸問題、およびそれらに対する基本的な支援について理解し説明できる。

2)高齢者と家族に対する看護援助の基本を理解し説明できる。

3)高齢者の健康状態を維持するための保健・福祉・医療の活動、看護の役割について理解し説明できる。

4)多くの人生経験を有する高齢者を尊重する態度を示すことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/12	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(1)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～4) 学習方法】グループワーク 【その他】Webclass の資料予習
2	5/12	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者をケアする介護職と看護職の連携のあり方を学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 望月 太敦	【到達目標】1)～4) 【学習方法】対面講義 【その他】Webclass の資料確認
3	5/19	08:50-10:30	遠隔授業(非同期型)	老年看護学	薬物動態・静態の加齢変化、高齢者に与薬する薬物の特徴、薬剤管理の基本的知識について学ぶ	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～4) 【学習方法】非同期動画 【その他】Webclass の資料予習、講義後の小テストあり
4	5/19	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(2)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～4) 【学習方法】グループワーク 【その他】Webclass の資料予習
5	5/26	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ(1)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～3) 【学習方法】課題発表 【その他】Webclass の資料予習
6	5/26	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	老年看護学	老年症候群・高齢者の転倒やせん妄の実際と予防ケア、身体抑制の方法や身体抑制回避・解除に向けた取り組みについて学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 和田 奈美子	【到達目標】1)～4) 【学習方法】対面講義 【その他】Webclass の資料確認
7	6/2	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ(2)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～3) 【学習方法】課題発表 【その他】Webclass の資料予習
8	6/2	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護	緒方 泰子, 佐々木 美樹,	【到達目標】1)～4) 【学習方法】グループワーク

					過程を展開する(3)。	湯本 淑江	【その他】Webclass の資料予習
9	6/9	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ(3)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～3) 【学習方法】課題発表 【その他】Webclass の資料予習
10	6/9	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	老年看護学	退院支援、地域と病院の連携、看護の継続などの実態及びこれらに関する高齢者における課題について学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 落合 祐子	【到達目標】1)～4) 【学習方法】対面講義 【その他】Webclass の資料確認
11	6/16	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者・ケアに関連する課題とケアの基本を学ぶ(4)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～3) 【学習方法】課題発表 【その他】Webclass の資料予習
12	6/16	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者ケアにおけるリスク管理	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～4) 【学習方法】対面講義 【その他】Webclass の資料確認
13	6/17	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢者と終末期について学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～4) 【学習方法】対面講義 【その他】Webclass の資料予習
14	6/17	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	老年看護学	認知症の看護	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 浅野 朱里	【到達目標】1)～4) 【学習方法】対面講義 【その他】Webclass の資料予習
15	6/26	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(4)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～4) 【学習方法】課題発表 【その他】Webclass の資料予習
16	6/26	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する(5)。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)～4) 【学習方法】課題発表 【その他】Webclass の資料予習

授業方法

講義形式の授業に加え、学生間でのグループワークやプレゼンテーション、モデルケースを使用しての看護展開といったアクティブラーニングを学生自らが行う。

授業内容

授業明細の通り

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

2)リフレクションペーパー

3)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

4)期末テスト

成績評価の基準

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況(20%)

・出席とは、リフレクションペーパーを含む、対面授業への参加・遠隔授業への参加を指す。(試験の受験資格参照)

2)リフレクションペーパー(10%)(遅延状況、内容に応じて減点する)

3)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度(10%)

・同期型授業では、原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加度合いを評価する。

4)期末テスト(60%)

・テキストや配布資料等に記載された英語(単語や文章)を試験に引用するため、よく理解しておく必要がある。

※上記1)～4)の配分を基本に総合的に評価する。提出期限を守らない場合、減点の対象となる。繰り返し提出期限を過ぎる場合は、成績評価の対象としない。総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

・授業中に提示された課題について、グループ毎に取り組み(グループワーク)、学習成果を発表する機会を設けている。

・課題についての事前準備学習(情報収集、資料作成など)が必要となる。課題には、老年医学等の英文の専門書を用いて行うものも含まれる。

・学習の資料には、下記参考書、授業を通じて配布した資料などを用いるとよい。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2／3 以上出席していること。

※出席とは、「対面授業あるいは遠隔授業(同期型)」の場合:①授業の最初から最後まで参加している場合であって、②リフレクションペーパーの提出が必要な講義においてはリフレクションペーパーを提出した場合をいう。「遠隔授業(非同期型)」の場合:WebClass での確認テストが提出された場合を出席とする。

教科書

最新 老年看護学 第 4 版 2025 年版／水谷信子,水野敏子,高山成子,三重野英子,會田信子,深堀浩樹,水谷信子 監修,水野敏子 監修,高山成子 監修,三重野英子 編集,會田信子 編集,深堀浩樹 編集:2025

参考書

実践!高齢者のフィジカルアセスメント : 手技と事例で学ぶ : 老化を理解して、異常を見逃さない! : オールカラー : 病院・在宅・訪問で使える／角濱春美 著,大西基喜 医学監修,:メディカ出版, 2017

Ham's primary care geriatrics : a case-based approach Seventh Edition／[edited by] Richard J. Ham ... [et al.],Ham, Richard J.,Sloane, Philip D.,Warshaw, Gregg A.,Potter, Jane F.,Flaherty, Ellen,:Elsevier/Saunders, 2021

高齢者の健康と障害／堀内ふき, 諏訪さゆり, 山本恵子 編:メディカ出版, 2023.1

根拠と事故防止からみた老年看護技術／亀井智子 編集,:医学書院, 2016

認知症ケアガイドブック = GUIDEBOOK FOR DEMENTIA CARE／日本看護協会 編集,日本看護協会,:照林社, 2016

老年看護学技術 : 最後までその人らしく生きることを支援する／真田弘美, 正木治恵編集,真田, 弘美,正木, 治恵,:南江堂, 2020

高齢者看護の実践／堀内ふき, 諏訪さゆり, 山本恵子 編:メディカ出版, 2023.1

ウェルネスの視点にもとづく老年看護過程 : 生活機能に焦点をあてたアセスメント／奥宮暁子 編著:医歯薬出版, 2019.12

老年看護学概論 :「老いを生きる」を支えることとは／正木治恵, 真田弘美 編集:南江堂, 2023.3

他科目との関連

対象別看護として高齢者を対象としているため, 病態学, 生理学などの基礎的な医学知識や基盤・成人看護学における内容をふまえながら, 高齢者の特徴等にもとづく看護学の授業を展開する。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。　2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。　3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。　4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。　5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

備考

・グループワークを実施し, その実施結果のプレゼンテーションを行う。積極的に参加すること。

・オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

・2024 年度の授業評価を踏まえた対応:①従来通り、グループワーク課題に取り組む時間を授業時間内に確保する。②グループワーク課題に関する準備は Webclass 等を活用し、効果的に学習が進むよう工夫をする。

連絡先(メールアドレス)

緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19F

佐々木　美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp　3 号館 15F

湯本　淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

佐々木　美樹:オフィスアワーは特に定めないが, 事前にアポイントをとった上で訪問すること。

湯本　淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012049				
科目名	老年看護学演習			科目ID	MN-352000-S
担当教員	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 雨宮 輝美, 松下 真由子, 原 大貴, 落合 祐子, 萱場 桃子[OGATA Yasuko, SASAKI Miki, YUMOTO Yoshie, Terumi Amemiya, MATSUSHITA Mayuko, HARA Taiki, OCHIAI Yuko, KAYABA Momoko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Seminar of Gerontological Nursing

【科目責任者】緒方 泰子

主な講義場所

・対面または遠隔授業（同期型または非同期型）

・対面の場合は，保健衛生学講義室2（3号館8階）、看護学実習室1（3号館 17 階）ほか

授業の目的、概要等

高齢社会を迎え、老年看護における独自の看護の役割と機能を果たすため、身体的・精神的・社会的な看護ケアの専門的な知識や技術が求められている。特に、老年期の特徴を踏まえて高齢者の心身の健康状態を適切にアセスメントし、必要な看護やケアを提供することは、看護職者の役割として重要である。老年看護学の実践に必要な基礎的なアセスメントの知識・技術について、演習を通じて習得する。また、患者の立場を経験することを通じて、対象の立場に立った看護やケアを提供していく重要な視点について学ぶ。演習、グループワーク等を活用したアクティブラーニングとして行う。

授業の到達目標

1）老年期にある対象の健康障害・機能障害をアセスメントするための基本技術を習得する。

2）老年期にある対象の身体的・精神的・社会的側面の知識に基づき、1）の基本技術を実施できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/7	08:50-10:30	看護学実習室 1	老年看護学演習	ﾌｨｼﾞｶﾙｱｾｽﾒﾝﾄとは何か 査定の基本技術・生活状況・精神状態（認知機能・うつ）、体調のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1）2） 【学習方法】プレゼンテーション、演習
2	4/7	10:45-12:25	看護学実習室 1	老年看護学演習	腹部・呼吸器のアセスメント	湯本 淑江, 緒方 泰子, 佐々木 美樹	【到達目標】1）2） 【学習方法】講義・演習
3	4/15	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 1	老年看護学演習	皮膚のアセスメント	松下 真由子, 佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江	【到達目標】1）2） 【学習方法】講義・演習
4	4/15	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 1	老年看護学演習	爪のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1）2） 【学習方法】講義・演習
5	5/13	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 1	老年看護学演習	片麻痺のある高齢者患者への移乗介助、歩行介助、車椅子走行の介助を学ぶ。	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 原 大貴	【到達目標】1）2） 【学習方法】講義・演習
6	5/13	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 1	老年看護学演習	摂食・嚥下のアセスメント	雨宮 輝美, 緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1）2） 【学習方法】講義・演習
7	6/3	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 2	老年看護学演習	睡眠のアセスメント	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1）2） 【学習方法】講義・演習
8	6/3	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 2	老年看護学演習	疾患を有する高齢者の看護ケア GW	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1）2） 【学習方法】講義・演習

9	6/23	08:50-10:30	看護学実習室1	老年看護学演習	臨床判断能力試験	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)2) 【学習方法】試験
10	6/23	10:45-12:25	看護学実習室1	老年看護学演習	臨床判断能力試験	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】1)2) 【学習方法】試験

授業方法

講義、演習、グループワーク等

(老年期にある対象を理解した上で、看護援助の知識に基づいた技術を講義、演習、グループワーク等を通じて養う。)

授業内容

授業明細の通り

成績評価の方法

以下の項目により評価を行う。

1)出席状況・授業への参加態度

※出席とは対面授業または遠隔授業への参加をさす。

Zoom での出席は、最初から最後までのログが確認できた場合とする。

※原則、Zoom のカメラはオンとし、顔が映るように設定する。

2)課題の提出・内容

※期限内の提出、内容の完成度

3)技術テスト

※的確に実施できた場合

4)期末テスト(筆記試験)

成績評価の基準

以下の項目について総合的に評価を行う

1)出席状況・授業への参加態度(20%)

・出席とは、リフレクションペーパーを含む、対面授業への参加・遠隔授業への参加を指す。(試験の受験資格参照)

2)リフレクションペーパー(10%)(遅延状況、内容に応じて減点する)

3)技術テスト(20%)

※的確に実施できた場合

4)期末テスト(筆記試験)(50%)

※上記1)～4)の配分を基本に総合的に評価する。提出期限を守らない場合、減点の対象となる。繰り返し提出期限を過ぎる場合は、成績評価の対象としない。総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

1)講義・演習内容について、テキストの当該個所を事前学習しておくこと。テキストに掲載されていない講義内容は授業中に資料として配布するが、関連する内容について他の書籍等で確認しておくとなおよい。

2)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。

3)演習着については、随時指定する。

4)技術テストに関しては、事前にオリエンテーションを行う。期限までに必要な課題を提出し、テストに臨むこと。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2/3 以上出席していること。

※出席とは、「対面授業あるいは遠隔授業(同期型)」の場合:①授業の最初から最後まで参加している場合であって、②リフレクションペーパーの提出が必要な講義においてはリフレクションペーパーを提出した場合をいう。「遠隔授業(非同期型)」の場合:WebClass での確認テストが提出された場合を出席とする。

教科書

フィジカルアセスメント完全ガイド = Physical Assessment Ultimate Guide／藤崎郁 執筆,伴信太郎 医学監修・実技指導,:学研メディカル秀潤社, 2017

参考書

実践!高齢者のフィジカルアセスメント : 手技と事例で学ぶ : 老化を理解して、異常を見逃さない! : オールカラー : 病院・在宅・訪問で使える／角濱春美 著,大西基喜 医学監修,:メディカ出版, 2017

根拠と事故防止からみた老年看護技術／亀井智子編集,亀井, 智子,:医学書院, 2020

生活機能からみた老年看護過程+病態・生活機能関連図 第 4 版／山田律子, 内ケ島伸也編集,山田, 律子,内ヶ島, 伸也,秋下, 雅弘,:医学

書院, 2020
高齢者看護の実践／堀内ふき, 諏訪さゆり, 山本恵子 編:メディカ出版, 2023.1

他科目との関連

老年看護学をふまえて、演習を行う。学習内容、看護技術は基盤看護学からの積み上げとなる。また他科目と連動する内容もあるため指定教科書・参考書に限らず、広く学習されたい。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)原則として欠席は認めない 4)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

備考

・授業内では、グループワークを実施し、その結果のプレゼンテーションを行うこともある。積極的に参加すること。
・オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
・2024 年度の授業評価を踏まえ、実技により重点を置く内容となるよう工夫した。

連絡先(メールアドレス)

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F
佐々木 美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp 3 号館 15F
湯本 淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
佐々木 美樹:オフィスアワーは特に定めないが, 事前にアポイントをとった上で訪問すること。
湯本 淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012050				
科目名	リハビリテーション看護学			科目ID	MN-392100-L
担当教員	佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江, 酒井 朋子, 仙 みづえ, 岡安 健, 室岡 陽子, 新田 淳子, 畑中 美穂, 大矢 靖子[SASAKI Miki, OGATA Yasuko, YUMOTO Yoshie, SAKAI Tomoko, SEN Mizue, Takeshi Okayasu, MUROOKA Yoko, NITTA Atsuko, HATANAKA Miho, OYA Yasuko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Rehabilitation Nursing

【科目責任者】佐々木美樹

主な講義場所

・保健衛生学講義室2(3号館8階)、実習室1

授業の目的、概要等

リハビリテーションに関する概念や理論、リハビリテーションに関わる多職種の役割・機能・具体的活動について学ぶとともに、リハビリテーションにおける多職種連携や看護の役割について理解する。更に、リハビリテーションに関する基本的な技術や看護について、講義や演習等のアクティブラーニングを通して修得する。

授業の到達目標

1)リハビリテーション看護学の位置づけを明確にするとともに、リハビリテーションの概念を人間の基本的生活を保障するための人権思想や、ノーマライゼーション、QOLの観点から説明できる。

2)リハビリテーション看護の概念、対象、方法を学び、リハビリテーションチームにおける看護、他の専門職種の役割・機能と連携によるチームアプローチを理解する。

3)リハビリテーション分野における活動として、理学療法、作業療法、言語療法の基本を理解し説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/14	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション医学総論	リハビリテーション医学総論、運動器・脳血管疾患のリハビリテーション、廃用症候群	酒井 朋子, 佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】おもに講義
2	4/14	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	リハビリテーションに関わる職種:言語聴覚士	言語療法とは何か、言語聴覚士の役割・機能、言語障害の種類と評価法、言語訓練(失語症、構音障害)	大矢 靖子, 佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】講義、演習
3	4/21	15:25-17:05	看護学実習室1	リハビリテーションに関わる職種:理学療法士	理学療法とは何か、理学療法の役割・機能、機能障害における評価法、機能回復訓練と補助具による支援	岡安 健, 佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】講義、演習
4	5/12	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護の実際(1)	回復期リハビリテーション病棟における看護	仙 みづえ, 佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】おもに講義
5	5/12	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護の実際(2)	脊椎損傷を持つ患者へのリハビリテーション看護	室岡 陽子, 佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】おもに講義
6	5/26	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	リハビリテーションにおける多職種連携	リハビリテーションにおける多職種連携、実際の活動例	畑中 美穂, 佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】おもに講義
7	6/9	13:30-15:10	看護学実習室1	リハビリテーションに関わる職種:	作業療法とは何か、作業療法士の役割・機能、	新田 淳子, 佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】講義、演習

				作業療法士	作業療法の種類と評価法、作業療法訓練		【その他】必要物品あり
8	6/9	15:25-17:05	看護学実習室1	リハビリテーションにおける多職種連携と看護の役割	高齢者へのリハビリテーション看護・多職種連携	佐々木 美樹, 緒方 泰子, 湯本 淑江	【到達目標】1)2)3) 【学習方法】グループワーク、プレゼンテーション

授業方法

対面にて授業を実施

講義、演習、グループワーク、プレゼンテーションなど

成績評価の方法

以下の項目により評価を行う。

1)出席状況・授業への参加態度

2)リフレクションレポート

3)授業に関連した課題レポート

課題レポートは、講義内容に関連した分野の研究論文(英文)をもとに作成する。研究論文(英文)は後日提示する。

※総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

成績評価の基準

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況・授業への参加態度(10%)

全出席、積極的な授業参加で 10 点満点とする。

2)リフレクションレポート(40%)

第 1 回目から 7 回目までの授業に対し、決められた期日内に提出で 40 点満点とし、遅延状況、記載内容＊に応じて減点される。

＊授業内容から学んだことや考えたことが記されていることを基準に評価する。

3)授業に関連した課題レポート(50%)

遅延なく提出で 10 点、課題レポートの内容で 40 点とし、合計 50 点満点とする。

内容に関する 40 点は、以下の基準に基づき評価し、記載内容に応じて減点される。

・課題内容が適切に記されていること

・論理的かつ明確に記されていること

・指定された形式がまもられていること

・誤字脱字がないこと

準備学習等についての具体的な指示

・講義内容について予習をしておくこと。テーマごとに専門の講師が講義を行う予定なので、基礎知識があると質問がしやすいという利点がある。

・後期の老年看護学実習においてリハビリテーションが必要な患者を受け持つ機会もあるため、実習の前にリハビリテーションの知識を深めておくことでより良い実習に向けた準備となる。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2／3 以上出席していること。

参考書

リハビリテーション看護(改訂第 3 版) : 障害のある人の可能性とともに歩む／酒井 郁子 編集,金城 利雄 編集,深堀 浩樹 編集,酒井 郁子,金城 利雄,深堀 浩樹,:南江堂, 2021-01-19

他科目との関連

解剖学、生理学、疾病論などの医学知識、基礎看護学、ライフサイクル別看護学、在宅看護学、地域看護学の教科目のみならず、社会福祉学、保健医療制度論などの分野と関係づけていくことが必要である。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)実技を学ぶ際の服装、準備物品については随時指示する。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

備考

・授業内では, グループワークを実施し、その結果のプレゼンテーションを行う。積極的に参加すること。

・オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
・2024 年度の科目評価において特段改善意見が寄せられなかったが、グループワーク等のアクティブラーニングに加え、疑問点等への丁寧な対応を継続する。

連絡先(メールアドレス)

佐々木 美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp 3 号館 15F
緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F
湯本 淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

佐々木 美樹:オフィスアワーは特に定めないが，事前にアポイントをとった上で訪問すること。
緒方 泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
湯本 淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012051A				
科目名	成人・老年看護学実習Ⅱ			科目ID	MN-374000-E
担当教員	緒方　泰子, 佐々木　美樹, 湯本　淑江[OGATA Yasuko, SASAKI Miki, YUMOTO Yoshie]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	3	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Gerontological Nursing Practicum

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所

実習病院、実習施設（具体的にはオリエンテーションで説明する）

授業の目的、概要等

老年期にある人と家族の特徴を理解し，対象の個別性や状況に応じた看護の必要性を十分に考慮した上で，看護実践を展開する。

各学生は患者 1 名を担当し、看護計画を立て看護過程を展開する、実践をリフレクションしながら学習する（アクティブラーニング）。

授業の到達目標

（1）老年期にある人とその家族（以下，対象者とする）の身体的・心理的・社会的側面を統合し，全体像をとらえ，看護過程を展開する。

1）情報収集

①対象者の身体的側面の情報を収集する。（健康障害の経過，治療，予後など）

②対象者の心理的側面の情報を収集する。（生きがいなど対象者が大切にしていることも含める）

③家族的背景およびソーシャルサポートなどの社会的側面の情報を収集する。

2）アセスメント

①対象者の日常生活全般における動作や活動の障害および精神機能のレベルを分析する。

②対象者の自立と依存のバランスを考え，自己決定やセルフケア能力のレベルを明らかにする。

③対象者の潜在している能力や機能を的確に判断する。

④対象者の特徴を統合し，全体像を図示し，説明する。

⑤看護問題について，個別性を反映した適切な表現で記述する。

3）計画立案

①看護問題に対し，長期的・短期的目標を設定する。

②状況に合わせて，看護上の問題の優先順位をつける。

③対象者の個別性を考慮し，実施可能な看護援助を記述する。

④スタッフとの連携を図るため，計画を説明し共有する。

4）計画の実施

①対象者の安全・安楽を考慮し，的確な技術で実施する。

②看護援助に対する対象者の反応に応じて，計画を修正する。

③実施した看護援助の状況を，スタッフに説明することができる。

5）評価

①目標への達成度の評価を記述する。

②評価に基づき，看護計画を修正する。

（2）保健・医療・福祉のスタッフの役割・活動内容を理解し，看護の役割，活動内容について考える。

1）対象者に関わる保健・医療・福祉職の活動内容を把握する。

2）看護と介護を比較し，共通点，相違点を考える。

3）看護の役割・活動の課題と展望を考える。

（3）高齢者の専門医療機関（老人病院）や施設の特徴を理解する。

一般病院と高齢者の専門医療機関や施設について，基本的なシステムの違いを知るとともに，ケアに関連してどのような課題があるのかを整理する。

*各実習期間を通じて上記目標が達成される。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-5	9/16	08:50-18:55	看護学実習室1	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】演習 【その他】実習要項参照
6-10	9/17	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
11-15	9/18	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
16-20	9/19	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
21-25	9/22	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
26-30	9/24	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
31-35	9/25	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
36-40	9/26	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
41-45	9/29	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
46-50	9/30	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
51-55	10/1	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
56-60	10/2	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
61-65	10/3	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
66-70	11/4	08:50-18:55	看護学実習室1	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
71-75	11/5	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】演習 【その他】実習要項参照
76-80	11/6	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習

			看護学分野)				【その他】実習要項参照
81-85	11/7	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
86-90	11/10	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
91-95	11/11	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
96-100	11/12	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
101-105	11/13	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
106-110	11/14	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
111-115	11/17	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
116-120	11/18	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
121-125	11/19	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
126-130	11/20	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照
131-135	11/21	08:50-18:55	その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	【到達目標】実習要項参照 【学習方法】実習 【その他】実習要項参照

授業方法

・病院や高齢者施設等における実習、グループワークなどのアクティブラーニングを学生自らが行う。

・原則、対面で行うが、学習効果を高める目的や感染症流行等により遠隔講義システムを用いる場合には、授業期間前・中に別途指示する。

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

1)出席状況

2)実習・中間カンファレンス・最終カンファレンスへの出席および取組み態度

3)看護計画等の記録物の内容

4)課題レポート

成績評価の基準

1)出席状況・実習への取組態度　30%

　*必要出席日数は本学試験規則に準じ、全実習日数の 3/4 以上。

2)看護計画等の記録物の内容・提出期限の順守　50%

＊日々の記録・実施、看護計画の立案・評価、老人保健施設実習のレポートほか

3)課題レポートの内容・提出期限の順守　20%

・上記1)～4)の配分を基本に総合的に評価する。

・提出期限を守らない場合、減点の対象となる。繰り返し提出期限を過ぎる場合は、成績評価の対象としない。

・総合得点が 60 点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習初日の学内演習で、受け持ち患者が概ね決定するため、関連する疾患などを自己学習する必要がある。老年期の患者は疾患が多いため、前期の講義などで疾病、薬剤、検査、アセスメントなどの基礎知識を復習しておくことで実習が順調に進む。学習の資料には、下記の参考書や前期の「老年看護学」授業資料などを用いるとよい。

試験の受験資格

実習科目のため試験は設けない

参考書

ユマニチュード入門／本田美和子, イヴ・ジネスト, ロゼット・マレスコッティ 著,:医学書院, 2014

図解・症状からみる老いと病気とからだ／高橋龍太郎 著,:中央法規出版, 2002

高齢者の看護技術 : カラー写真で学ぶ／大塚眞理子 編著,:医歯薬出版, 2012

エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図／阿部俊子 監, 山本則子, 五十嵐歩 編:中央法規出版, 2023.8

高齢者排尿障害マニュアル : より適切な対応をめざして／老人泌尿器科学会 編,:メディカルレビュー社, 2002

高齢者介護施設の褥瘡ケアガイドライン／高齢者施設における褥瘡ケアガイドライン作成委員会 編,:中央法規出版

整形外科／加藤光宝 編,:中央法規出版, 2011

高次脳機能障害学／石合純夫 著,:医歯薬出版, 2012

老年看護学 2　健康障害をもつ高齢者の看護／亀井智子編:メヂカルフレンド社, 2016.12

高齢者看護の実践／堀内ふき, 諏訪さゆり, 山本恵子 編:メディカ出版, 2023.1

履修上の注意事項

実習要項や WebClass に掲載される資料等の内容をよく理解すること。

備考

x(旧ツイッター)、LINE、インスタグラム等のソーシャルメディアへの投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

2024 年度の授業評価結果を踏まえ、2025 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。

実習期間外を含め、上記時間割日程に含まれていない日程であっても実習を行う可能性がある。

連絡先(メールアドレス)

緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19F

佐々木　美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp　3 号館 15F

湯本　淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

佐々木　美樹:オフィスアワーは特に定めないが, 事前にアポイントをとった上で訪問すること。

湯本　淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012370				
科目名	公衆衛生看護学Ⅱ			科目ID	MN-334700-L
担当教員	月野木 ルミ, 天野 和恵, 榎本 涼子[TSUKINOKI Rumi, AMANO Kazue, ENOMOTO Ryoko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Community Health NursingⅡ

【科目責任者】:月野木 ルミ

主な講義場所

・保健衛生学講義室 2(3 号館 8 階)ほか

・遠隔授業(Zoom 同期型)ほか

授業の目的、概要等

地域看護・公衆衛生看護の対象を、個人、家族や集団、地区組織の枠組みで理解する。その基礎となる家族看護学等の理論と支援の実際を講義およびグループワークなどを活用したアクティブラーニングを通して学ぶ。

授業の到達目標

1)「1～8 回」家族看護学等の理論体系と実際の家族支援、集団・地域支援について理解する。

2)「3～4,8 回」乳幼児から高齢者までを対象とする地域看護・公衆衛生看護の場面においてみられる多様な家族像を理解し、その家族の健康課題を把握し, 看護の支援の方法を理解する。また、家族アセスメントの方法を理解する。

3)「1,5～7 回」地区組織活動の考え方、地域における集団支援、地域づくりにおける実際について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	13:30-17:05	保健衛生学科講義室 4	公衆衛生看護学Ⅱ	個人、家族に対する支援概念と家庭訪問	月野木 ルミ	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】対面講義、グループワーク、課題発表、 【その他】課題レポート
3-4	4/25	13:30-17:05	保健衛生学科講義室 2	公衆衛生看護学Ⅱ	母子保健活動における支援		【到達目標】1)、2) 【学習方法】対面講義、事例検討、グループ討論、課題発表 【その他】小レポート
5	5/16	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	公衆衛生看護学Ⅱ	地区組織活動の実際 : 文京区社会福祉協議会	浦田 愛	【到達目標】1)、3) 【学習方法】遠隔講義 【その他】小レポート
6	5/16	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	公衆衛生看護学Ⅱ	特別区保健師の行う母子保健活動の実際:乳幼児健康診査、家庭訪問など	天野 和恵	【到達目標】1)、3) 【学習方法】遠隔講義 【その他】小レポート
7	6/6	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	公衆衛生看護学Ⅱ	中核市保健師の行う精神保健支援の実際	田渕 紗也香	【到達目標】1)、3) 【学習方法】遠隔講義 【その他】小レポート
8	6/6	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	公衆衛生看護学Ⅱ	地域のおける集団・組織支援の概論とまとめ	月野木 ルミ	【到達目標】1)、2) 【学習方法】遠隔講義、グループワーク 【その他】課題レポート

授業方法

講義形式の授業に加え、グループワーク、グループ討論などのアクティブラーニングを取り入れるほか、事例や統計資料を活用した学習展開を学生が主体的に行う。

授業内容

授業は以下の方法で行う。

1.講義:事前または講義開始時に示す資料を基づく講義(対面・遠隔同期型)を行う。

2.グループワーク:グループに分かれ事前または授業中に示す課題について討議し、その結果を学生間で共有する。また学習成果をまと

めて、個人、グループ単位で提出する。
3.課題レポート:事前に示す課題について、資料収集・整理の上、考察を加え提出する。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。
1)出席状況
・対面授業への出欠、Zoom ログイン記録から確認する参加状況。
2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度
・授業中の取り組みや反応を評価するため、原則 Zoom のカメラはオンとする。
・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加状況を評価する。
3)課題レポート
・レポートの期限内提出状況・内容により評価する。

成績評価の基準

1)出席状況(欠席、遅刻等を減点)
2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度や(30%)
3)課題レポート(70%)
上記 1)～3)の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料や教科書の該当箇所(参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。

試験の受験資格

本科目では定期試験は実施しない。

教科書

公衆衛生看護学／上野昌江, 和泉京子編集,上野, 昌江,和泉, 京子,:中央法規出版, 2021
(DVD)地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション(丸善出版株式会社)

参考書

家族看護学 : 理論と実践 第5版／鈴木和子, 渡辺裕子, 佐藤律子著,鈴木, 和子(看護学),渡辺, 裕子,佐藤, 律子,:日本看護協会出版会, 2019
家族生活力量モデル:アセスメントスケールの活用法／家族ケア研究会 編著:医学書院, 2002
家族看護学:理論とアセスメント／Marilyn M. Friedman 著、野嶋佐由美 監訳:へるす出版, 1993
地域看護学講座2 家族ケア(第 2 版)／島内節 編:医学書院, 1999
国民衛生の動向 2024/2025／一般財団法人 厚生労働統計協会:一般財団法人 厚生労働統計協会, 2024
保健師業務要覧／井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編,井伊, 久美子,勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951-,:日本看護協会出版会, 2023
公衆衛生看護学／和泉, 京子,上野, 昌江,和泉京子, 上野昌江 編集:中央法規出版, 2025.1

他科目との関連

本科目は公衆衛生看護学Ⅰのほかに母性看護、小児看護、成人看護、老年看護の発達段階別看護領域すべてに関連する。関連科目の学習を振り返りつつ、家族看護、地域の視点で統合することが必要である。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

備考

2024 年度の科目評価において授業内容については特段改善意見が寄せられなかったため、前年度と同様の授業編成とする。

連絡先(メールアドレス)

月野木 ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月野木 ルミ:メールにてアポイントを取ること。 3 号館 19 階

時間割番号	012054A				
科目名	在宅看護学Ⅱ			科目ID	MN-334100-L
担当教員	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 中島 朋子, 岡田 英恵, 中山 優季, 戸原 玄, 木村 琢磨, 石山 麗子, 大田 章子, 坂野 朋未[FUKUI Sakiko, KANNO Yusuke, HIROOKA Kayo, NAKAJIMA Tomoko, OKADA Hanae, NAKAYAMA Yuki, TOHARA Haruka, KIMURA Takuma, ISHIYAMA Reiko, OTA Akiko, SAKANO Tomomi]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Home Care Nursing Ⅱ

【科目責任者】福井 小紀子

主な講義場所

講義室 2

授業の目的、概要等

在宅看護を支える制度や社会情勢の動向を捉え、施設と地域の連携、看看連携、多職種連携、ケアや病院マネジメントの実際から看護の役割を理解する。

授業の到達目標

この科目では、広く保健医療福祉の制度や社会情勢の動向を考慮したうえで、施設と地域の連携、看護職連携、他職種連携等のケアコーディネートの理論と実践を理解し、看護職の役割と実際を説明できることが求められる。

なお、授業に臨むにあたっては、当該日に扱う内容に関連していると考える既習科目の資料やテキストを用いて復習しておくことが求められる。さらに、それらについて地域で生活する人々の視点で自身の考えを整理するため、教科書に目を通して確認しておくことが望ましい。

①在宅ケアを支える保険医療福祉の仕組みについて既習の知識から説明できる。
②病院における入退院支援について説明できる。
③ケアマネジメントの理論と実際について説明できる。
④地域・在宅看護と多職種連携について説明できる。
⑤難病療養者の呼吸管理について説明できる。
⑥摂食嚥下の援助について説明できる。
⑦訪問診療医からみた在宅医療の現状と看護職への期待について説明できる。
⑧医療法人・社会福祉法人の立場からみた地域包括支援ケアについて説明できる。
⑨病院組織マネジメントからみた看護職について説明できる。
⑩看護職による起業について説明できる。
⑪地域包括ケアシステムにおける看護職の役割について説明できる。
⑫在宅看護研究最前線について説明できる。
⑬地域・在宅の場の新たな広がりについて説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/3	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学Ⅱ	在宅療養者のいる家族の理解と健康課題	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未	【到達目標】① 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
2	4/3	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学Ⅱ	在宅療養者を支える看護①	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 中島 朋子, 坂野 朋未	【到達目標】① 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
3	4/10	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学Ⅱ	在宅療養者を支える看護②	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未,	【到達目標】④⑪ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
4	4/10	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学Ⅱ	療養の場の移行に伴う看護(病院における入退院支援)	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 岡田 英恵, 坂野 朋未	【到達目標】②④ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー

5	4/17	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅における医療管理を必要とする人と看護（人工呼吸療法）	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 中山 優季, 坂野 朋未	【到達目標】⑤ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
6	4/17	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅における医療管理を必要とする人と看護（人工呼吸療法）	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 中山 優季, 坂野 朋未	【到達目標】⑤ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
7	4/24	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅療養者の食事・栄養を支えるケア（摂食嚥下の援助）	福井 小紀子, 戸原 玄, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未	【到達目標】⑥ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
8	4/24	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅療養者の食事・栄養を支えるケア（摂食嚥下の援助）	福井 小紀子, 戸原 玄, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未	【到達目標】⑥ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
9	5/8	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	症状・疾患・治療に応じた地域・在宅看護（認知症）	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 五十嵐 歩	【到達目標】④ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
10	5/8	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	地域包括ケアシステムにおける多職種連携（医療機関との連携）	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 木村 琢磨, 坂野 朋未	【到達目標】④⑦ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
11	5/15	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	地域包括ケアシステムにおける多職種連携（ケアマネジメントとの理論と実践）	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 石山 麗子, 坂野 朋未	【到達目標】③④ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
12	5/15	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	地域包括ケアシステムにおける多職種連携（医療法人・社会福祉法人等）	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 大田 章子, 坂野 朋未	【到達目標】④⑧⑨ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
13	5/27	13:30-15:10	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	地域包括ケアシステムにおける多職種連携（地域包括支援センター）	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 新堀 季之	【到達目標】④⑪⑬ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
14	5/27	15:25-17:05	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	地域包括ケアシステムにおける在宅看護（産学連携による新事業）	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未	【到達目標】④⑩ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
15	5/29	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅看護の研究成果に基づく制度設計、研究活動の実際	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未	【到達目標】⑫ 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー

授業方法

授業は以下のように行う。

1) 授業には、授業明細に示された範囲について事前に予習をしてから臨むことが必要である。

2)講義:講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。基本的なことで、教科書を見れば簡単にわかるようなことは自習に任せる。必要に応じてグループディスカッションなどのアクティブラーニングを取り入れ、理解を深める。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげておくので授業前に必ず目を通しておく。

3)リアクションペーパー:Webclass に提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

授業内容な授業スケジュールに示してある。

各回の授業では、授業内容の解説、討議、リアクションペーパーで示された内容についての質疑応答を行う。

成績評価の方法

在宅看護学Ⅱは、以下の 3 つの項目で評価を行う。なお、重要項目のうち、専門分野では英単語を用いることが想定されるものについては、英文による問題もありうる。

1) 定期試験:60%;全体で 6 割以上の得点を必須とする。授業全般のうち、重要事項について知識と応用を問う問題を出題する。試験は、授業中に示した症例または同レベル程度のものを理解し、説明できることが必要となる。
2) リアクションペーパー:20%;提示された締め切り日までに提出すること。締め切りを過ぎた場合には未提出の扱いとする。
3)出席状況:20%

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60 点未満:不合格、60－69 点:C、70－79 点:B、80－89 点:A、90 点:A+)により評価を行う。なお、リアクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

達成目標や授業内容の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業に臨むことが求められる。WebClass にあらかじめ授業資料や課題、学習に必要情報をアップロードするので、各自ダウンロード等し、講義までに目を通しておくこと。

授業前に習得が必要な課題については、事前課題として提示するため、WebClass の該当項目を定期的に確認すること。課題に取り組んでいる際に生じた疑問については、自身の見解を整理し、解決すべき点を明確にして授業に参加すること。

介護保険等の法制度に関しては、2 年次「保健医療福祉制度論」の学習内容を振り返り、参考書等の関連資料に目を通しておくこと。

在宅看護過程については、教科書1の第Ⅰ・Ⅱ章をよく読んでおくこと。

試験の受験資格

次のすべてが、前期の定期試験ならびに追・再試験を受験する資格となる。

授業日程の3分の2以上の出席が認められた者に試験受験資格を与える。授業参加状況は、授業中の態度とリアクションペーパーに記載された内容等で確認する。

なお、Zoom の場合は、出席は講義の最初から最後まで参加しているログが確認できた場合とする。

授業で課題が提示された場合は期日までに提出すること。

教科書

地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28
地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

参考書

写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川, 真喜子,:インターメディカ, 2020
:インターメディカ

他科目との関連

2年次に学習した在宅看護学Ⅰをさらに発展させ、訪問看護における看護過程やケアマネジメントを学ぶことにより、在宅看護学実習での療養者への支援の展開につながる科目である。

備考

2024 年度の授業内容の構成を見直した。

連絡先(メールアドレス)

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp
坂野 朋未:sakano.tomomi@tmd.ac.jp
廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp
菅野 雄介:ykanno.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井 小紀子:毎週木曜日 PM13:00-16:10 3 号館 19 階福井教授室
廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
3 号館 18 階 在宅・緩和ケア看護学分野
菅野 雄介:毎週月曜日 12-13 時、3 号館 19 階在宅・緩和ケア看護学分野研究室

時間割番号	012055				
科目名	在宅看護学演習			科目ID	MN-352600-S
担当教員	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未[FUKUI Sakiko, KANNO Yusuke, HIROOKA Kayo, SAKANO Tomomi]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	3	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Home Care Nursing

【科目責任者】福井 小紀子

主な講義場所

講義室 2、実習室 1、実習室 2、実習室 3

授業の目的、概要等

療養者の状態が多様化する在宅看護の現状に対応するよう、訪問看護における援助技術、および具体的な看護の展開を学ぶ。

授業の到達目標

この科目では、保健医療福祉の領域、特に地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々への看護で必要とされるフィジカルアセスメント、呼吸管理、コミュニケーション技術、リハビリテーション技術、摂食嚥下、褥瘡等に関する技術の根拠と実際について理解し、個別の状況に合わせたケアの実際と具体的看護援助の方法を説明できることが求められる。

なお、授業に臨むにあたっては、当該日に扱う看護技術についての既習科目での資料やテキストを用いて復習しておくことが求められる。さらに、教科書に目を通し、看護のポイントを整理しておくことが望ましい。

①演習を通じて在宅での援助技術のポイントを整理し説明できる。

②在宅療養者への看護問題の設定及び計画立案ができる。

③在宅療養者への看護計画を実践できる。

④在宅療養者への看護計画への実践を踏まえて看護計画の評価・修正ができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/23	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 4	在宅看護学演習	オリエンテーション・看護過程事例 (事例の提示、記録様式・フェイスシート等の説明も含む)	福井 小紀子, 廣岡 佳代, 菅野 雄介, 坂野 朋未	【到達目標】① 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
2	5/23	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 4	在宅看護学演習	看護過程・演習	福井 小紀子, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】① 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
3	5/30	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 4	在宅看護学演習	看護過程・演習	福井 小紀子, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】② 【学習方法】講義、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
4	5/30	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 4	在宅看護学演習	看護過程・演習	福井 小紀子, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】② 【学習方法】講義、グループ討議、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
5	6/13	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 4	在宅看護学演習	看護過程・演習	福井 小紀子, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】③ 【学習方法】講義、グループ討議、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
6	6/13	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 2, 看護学実習室 2, 看護学実習室 4	在宅看護学演習	看護過程・演習	福井 小紀子, 菅野 雄介, 坂野 朋未,	【到達目標】③ 【学習方法】講義、グループ討議、全体討論

						廣岡 佳代	【事後学習】リアクションペーパー
7	6/20	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2, 看護学実習室4	在宅看護学演習	看護過程・演習	福井 小紀子, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】④ 【学習方法】講義、グループ討議、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー
8	6/20	10:45-12:25	保健衛生学科講義室2, 看護学実習室2, 看護学実習室4	在宅看護学演習	看護過程・演習	福井 小紀子, 菅野 雄介, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】①、④ 【学習方法】講義、グループ討議、全体討論 【事後学習】リアクションペーパー

授業方法

授業は以下のように行う。

1)授業には、授業明細に示された範囲について事前に予習をしてから臨むことが必要である。

2)講義:演習の前に講義を行う。講義は、各回の中で重要なこと、発展的なことを中心に行う。基本的なことで、教科書を見れば簡単にわかるようなことは自習に任せる。講義の資料については、講義前に PDF を Webclass にあげておくので授業前に必ず目を通しておく。

3)演習:数人のグループに分かれてグループワーク及びロールプレイを行う。グループメンバー一個々が積極的に参加し、役割を遂行できるよう互いに協力し合う。

4)リアクションペーパー:Webclass に提示する項目に、授業終了後回答、送信してもらう。講義への関心、講義内容の理解については、講義内容の改善に役立てる。また、学んだことの概要や、講義への感想・意見を整理することは、復習や自己の課題を見出す助けとなる。

授業内容

授業内容な授業スケジュールに示してある。

各回の授業では、授業内容の解説、討議、リアクションペーパーで示された内容についての質疑応答を行う。

成績評価の方法

1)演習課題:60%:グループで討議した内容について、グループごとに課題を提出する。グループメンバー全員で確認のうえで提出されたものとする。提示された締め切り日までに提出すること。締め切りを過ぎた場合には未提出の扱いとする。

2)演習参加姿勢:20%

3)出席状況:20%

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60 点未満:不合格、60ー69 点:C、70ー79 点:B、80ー89 点:A、90 点:A+)により評価を行う。なお、リアクションペーパーにおいて、授業で提供した内容以上の深い学びや、重要な指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

達成目標や授業内容の中に具体的に示されている項目について、準備してから授業に臨むことが求められる。WebClass にあらかじめ授業資料や課題、学習に必要情報をアップロードするので、各自ダウンロード等し、講義までに目を通しておくこと。

授業前に習得が必要な課題については、事前課題として提示するため、WebClass の該当項目を定期的に確認すること。課題に取り組んでいる際に生じた疑問については、自身の見解を整理し、解決すべき点を明確にして授業に参加すること。

教科書

地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 第 6 版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

参考書

写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川, 真喜子,:インターメディカ, 2020

他科目との関連

既習科目はすべて関連するが、特に、在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、各分野の演習については、本科目の基礎となるものであるため十分に復習し、活用する。

履修上の注意事項

在宅看護学演習はグループで行うことが多いため、出席が必要となる。 授業資料はすべて著作物であるため、著作権の関係上、SNS 等での流出等がないよう細心の注意をする。 授業日程等は変更の可能性があるため、WebClass、メール等を確認すること。

備考

2024 年度の授業内容の構成を見直した。

連絡先(メールアドレス)

福井　小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

坂野　朋未:sakano.tomomi@tmd.ac.jp

廣岡　佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

菅野　雄介:ykanno.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井　小紀子:毎週木曜日 PM13:00-16:10　3 号館 19 階福井教授室

廣岡　佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

3 号館 18 階　在宅・緩和ケア看護学分野

菅野　雄介:毎週月曜日 12-13 時、3 号館 19 階在宅・緩和ケア看護学分野研究室

時間割番号	012056				
科目名	在宅看護学実習			科目ID	MN-372700-E
担当教員	福井 小紀子, 菅野 雄介, 廣岡 佳代, 坂野 朋未, 石井 馨子[FUKUI Sakiko, KANNO Yusuke, HIROOKA Kayo, SAKANO Tomomi, ISHII Keiko]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	3	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Home Care Nursing

【科目責任者】福井 小紀子

主な講義場所

教室、配置された実習場

授業の目的、概要等

在宅療養者と家族に対する在宅ケアの実際と展開方法を知り、その地域包括ケアシステムにおいて活動する看護職の役割を学ぶ。

授業の到達目標

この科目では、地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々とその家族への在宅ケアの実際と看護展開を学ぶため、3つの場で実習し、看護職の役割を説明できることが求められる。

なお、実習に臨むにあたっては、既習科目での資料やテキストを用いて知識と看護技術の確認をしておくことが求められる。

1) 入退院支援実習

① 在宅療養を基盤とする療養者の病院入院中の退院に向けての準備の実際を説明できる。

② 退院時に支援が必要となる療養者の在宅療養上の課題を挙げて説明することができる。

③ 退院に向けての支援活動に関わる多職種の役割を説明することができる。

④ 施設間連携、多職種連携における看護職の位置づけ、および療養者支援における看護の役割を理解できる。

2) 地域包括支援実習

① 介護保険制度を含む保険医療福祉制度に関連する制度の仕組みを説明することができる。

② 地域包括支援に関する具体的ケア提供の方法を説明することができる。

③ 療養者を取り巻く関係施設や各専門職との連携、マネジメントについて説明することができる。

3) 訪問看護実習

① 訪問看護利用者とその家族の療養上の問題をアセスメントすることができる。

② 訪問看護利用者と家族に必要な看護を見出し、看護計画を立案できる。

③ 同行訪問と事例検討により在宅での看護提供の実際を説明することができる。

④ 在宅療養に必要な社会資源の活用および多職種連携について説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/6	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室3	在宅看護学実習オリエンテーション	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
2	10/7	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
3	10/9	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
4	10/10	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照

5	10/14	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
6	10/15	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
7	10/16	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
8	10/17	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室3	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
9	10/20	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室3	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
10	10/21	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
11	10/23	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
12	10/24	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
13	10/27	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
14	10/28	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
15	10/30	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
16	10/31	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室3	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
17	11/25	08:00-17:00	看護学実習室3,	在宅看護	詳細につ	福井 小紀子, 菅野 雄介,	【到達目標】1)、2)、3)

			その他(保・在宅ケア看護学分野)	学実習	いては実習要項参照	石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
18	11/27	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
19	11/28	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
20	12/1	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
21	12/2	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
22	12/4	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
23	12/5	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室3	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
24	12/8	08:00-17:00	看護学実習室1, 看護学実習室3	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
25	12/9	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
26	12/11	08:00-17:00	看護学実習室3, その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
27	12/12	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
28	12/15	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
29	12/16	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分	在宅看護学実習	詳細については実	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未,	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面

			野)		習要項参照	廣岡 佳代	授業 【その他】詳細については実習要項参照
30	12/18	08:00-17:00	その他(保・在宅ケア看護学分野)	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
31	12/19	08:00-17:00	看護学実習室3, 看護学実習室5	在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	福井 小紀子, 菅野 雄介, 石井 馨子, 坂野 朋未, 廣岡 佳代	【到達目標】1)、2)、3) 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照

授業方法

実習は以下のように行う。実習方法の詳細については、実習要項参照のこと。

1)訪問看護実習:訪問看護ステーションにて4日間の実習を行う。実習施設の事例を通して、訪問看護の実際を学ぶ。1例の訪問看護計画を立案する。

2)地域包括支援実習:地域包括支援センターにて1日の実習を行う。実習中は、担当者(主任ケアマネジャー、保健師・看護師、社会福祉士等)の活動の見学を通して学ぶ。併設施設での活動についても積極的に見学し、実地指導者と相談の上事業等にも参加する。

3)入退院支援実習:実地指導者の業務に合わせて、入退院に関する活動見学と受持実習を行う。退院に向けた支援計画を立案する。

4)カンファレンス等:実習施設で実施されるミーティングやカンファレンスには積極的に参加する。各実習の最終日には学生主体のカンファレンスを実地指導や、教員参加のもと開催し、自身の学びと意見と述べる。

5)実習記録:日々の実習目標や学びを記載する記録、看護過程展開に関する記録、レポート等、実習に必要な記録用紙は、あらかじめWebclassに提示する。実習記録は実習後の評価面接までを期日にすべて提出する。

6)実習初日は学内オリエンテーション、最終日は学内カンファレンスを実施する。

授業内容

＊ 詳細については実習要項参照

成績評価の方法

在宅看護学実習は、以下の項目で評価を行う。

1)出席:原則、全日程の出席が認められた者を評価対象とすることを前提に、出席日数が全実習日数の 3/4 に満たない場合は評価の対象とならない。なお、体調不良等やむを得ない理由による欠席の扱いについては、事情に応じてレポート等での対応を行うこともある。

2)実習への取り組みの姿勢と態度:20%;日々の実習目標や学びを記した日誌を毎日提出する。提出された内容と実地指導者より得られた情報から評価する。

3)カンファレンスへの参加状況:20%;カンファレンス開催に向けての準備や当日の発言内容から評価する。

4)実習記録内容:40%;実習目標に照らし合わせて評価する。

5)学内カンファレンス:20%;実習全体の振り返り、学びの発表資料及び参加姿勢を評価する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計(60点未満:不合格、60ー69点:C、70ー79点:B、80ー89点:A、90点:A+)により評価を行う。実習の達成目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところで合格とする。

なお、レポートにおいて、実習で学んだことを中心に、文献等を用いて考察を深め、提供した実習内容以上の学びがあった場合には、最終評価において加点されることがある。欠席については、減点の対象になることがある。

準備学習等についての具体的な指示

在宅看護学Ⅰ、Ⅱ、演習の学習で用いた資料を見直し、保健医療福祉の制度や様々な場で働く看護の役割、看護技術について復習して、実習に臨むことが求められる。看護過程の展開については、授業で用いた資料や教科書に示されていてる事例を用いて、自身で看護過程の展開をし直し、理解が曖昧な部分について確認しておくことが望ましい。WebClassにあらかじめ実習で用いるアセスメント用紙をアップロードするので、有効活用する。

実習室を使用して看護技術の練習を希望する場合は、教員へ申し出ること。

教科書

地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 第6版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実践 第6版／河原 加代子 著・文・その他,河原 加代子,:医学書院, 2022-02-28

参考書

写真でわかる訪問看護アドバンス : 訪問看護の世界を写真と動画で学ぶ!／押川真喜子監修,押川, 真喜子,:インターメディカ, 2020

履修上の注意事項

在宅看護学実習は実地での学びを中心とするため、出席が必要となる。

備考

エックス等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア（ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど）に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

2024 年度の実習内容の構成を見直した。

連絡先（メールアドレス）

福井　小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

坂野　朋未:sakano.tomomi@tmd.ac.jp

廣岡　佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

菅野　雄介:ykanno.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

福井　小紀子:毎週木曜日 PM13:00-16:10　3 号館 19 階福井教授室

廣岡　佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

3 号館 18 階　在宅・緩和ケア看護学分野

菅野　雄介:毎週月曜日 12-13 時、3 号館 19 階在宅・緩和ケア看護学分野研究室

第４学年

2025時間割表（看護学専攻第4学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

・・・保健師コースを選択する者のみが履修する科

・・・保健師コースを選択しない者が履修する科目

	日付	曜日	祝日情報	日程備考	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期1	4月1日	火																																								
前期1	4月2日	水											卒業論文Ⅱ	(1)	必修																											
前期1	4月3日	木																																							
前期1	4月4日	金																																							
前期1	4月5日	土																																							
前期1	4月6日	日																																							
前期2	4月7日	月			（自）インディペンデントスタディC	国際保健看護学Ⅱ	(1)	必修		同期型			産業保健学	(1)	必修		同期型																									
前期2	4月8日	火																			看護マネジメント学	(1)	必修		登校	講義室4		看護マネジメント学	(2)	必修		登校	講義室4							
前期2	4月9日	水				実践看護英語Ⅲ	(1)	自由		同期型			卒業論文Ⅱ	(2)	必修																									
前期2	4月10日	木				クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	(1)	必修		登校	講義室4		地域保健看護学演習Ⅰ	(1)	選択		登校	講義室4		地域保健看護学演習Ⅰ	(2)	選択		登校	講義室4															
前期2	4月11日	金											国際保健看護学Ⅱ	(2)	必修		同期型																							
前期2	4月12日	土																																							
前期2	4月13日	日																																							
前期3	4月14日	月			（自）インディペンデントスタディC	産業保健学	(2)	必修		同期型			産業保健学	(3)	必修		同期型			地域保健看護学Ⅲ	(1)	選択		同期型			地域保健看護学Ⅲ	(2)	選択		同期型									
前期3	4月15日	火																																							
前期3	4月16日	水											卒業論文Ⅱ	(3)	必修																									
前期3	4月17日	木				クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	(2)	必修		登校	講義室4		地域保健看護学演習Ⅰ	(3)	選択		登校	講義室4		地域保健看護学演習Ⅰ	(4)	選択		登校	講義室4															
前期3	4月18日	金				実践看護英語Ⅲ	(2)	自由		登校	講義室2																													
前期3	4月19日	土																																							
前期3	4月20日	日																																							
前期4	4月21日	月		AM北区合同オリ	（自）インディペンデントスタディC	産業保健学	(4)	必修		同期型			産業保健学	(5)	必修		同期型			地域保健看護学Ⅲ	(3)	選択		同期型			地域保健看護学Ⅲ	(4)	選択		同期型									
前期4	4月22日	火																			看護マネジメント学	(3)	必修		登校	講義室4		看護マネジメント学	(4)	必修		登校	講義室4							
前期4	4月23日	水											卒業論文Ⅱ	(4)	必修																							海外研修オリエンテーション	(1)					
前期4	4月24日	木		AM　足立区合同オリ		地域保健看護学実習	(1)	選択	足立区オリ				地域保健看護学実習	(2)	選択	足立区オリ				地域保健看護学Ⅲ	(5)	選択		同期型			地域保健看護学Ⅲ	(6)	選択		同期型									
前期4	4月25日	金																						登校	講義室4						登校	講義室4							
前期4	4月26日	土																																							
前期4	4月27日	日																																							
前期5	4月28日	月																																							
前期5	4月29日	火	昭和の日																																							
前期5	4月30日	水		AM　葛飾合同オリ	（自）インディペンデントスタディC	実践看護英語Ⅲ	(3)	自由		同期型																																
前期5	5月1日	木																																			実践看護英語Ⅲ	(4)	自由		同期型		
前期5	5月2日	金											国際保健看護学Ⅱ	(3)	必修		登校	講義室4																			実践看護英語Ⅲ	(5)	自由		登校	講義室2	
前期5	5月3日	土	憲法記念日																																							
前期5	5月4日	日	みどりの日																																							
前期6	5月5日	月	こどもの日																																							
前期6	5月6日	火	振替休日																																							
前期6	5月7日	水			（自）インディペンデントスタディC								卒業論文Ⅱ	(5)	必修																									
前期6	5月8日	木				クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	(3)	必修		登校	講義室4		クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	(4)	必修		登校	講義室4		地域保健看護学演習Ⅰ	(5)	選択		登校	講義室4	実習室2,3,4	地域保健看護学演習Ⅰ	(6)	選択		登校	講義室4	実習室2,3,4							
前期6	5月9日	金																																			実践看護英語Ⅲ	(6)	自由		登校	講義室2	
前期6	5月10日	土																																							
前期6	5月11日	日																																							
前期7	5月12日	月			（自）インディペンデントスタディC	保健統計学	(1)	必修		登校		情報検索室	保健統計学	(2)	必修		登校		情報検索室	地域保健看護学Ⅲ	(7)	選択		登校	講義室4		地域保健看護学Ⅲ	(8)	選択		登校	講義室4								
前期7	5月13日	火				国際保健看護学Ⅱ	(4)	必修		登校	講義室4		国際保健看護学Ⅱ	(5)	必修		登校	講義室4																					
前期7	5月14日	水											卒業論文Ⅱ	(6)	必修																									
前期7	5月15日	木				クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	(5)	必修		登校	講義室4		地域保健看護学演習Ⅰ	(7)	選択		登校	講義室4		地域保健看護学演習Ⅰ	(8)	選択		登校	講義室4															
前期7	5月16日	金				実践看護英語Ⅲ	(7)	自由		登校	講義室2																													
前期7	5月17日	土																																							
前期7	5月18日	日																																							
前期8	5月19日	月			（自）インディペンデントスタディC	産業保健学	(6)	必修		同期型			産業保健学	(7)	必修		同期型			地域保健看護学Ⅲ	(9)	選択		同期型			地域保健看護学Ⅲ	(10)	選択		同期型									
前期8	5月20日	火				国際保健看護学Ⅱ	(6)	必修		登校	講義室4		国際保健看護学Ⅱ	(7)	必修		登校	講義室4		看護マネジメント学	(5)	必修		登校	講義室4		看護マネジメント学	(6)	必修		登校	講義室4								
前期8	5月21日	水											卒業論文Ⅱ	(7)	必修																									
前期8	5月22日	木				クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	(6)	必修		登校	講義室4		地域保健看護学演習Ⅰ	(9)	選択		登校	講義室1		地域保健看護学演習Ⅰ	(10)	選択		登校	講義室1		地域保健看護学演習Ⅰ	(11)	選択		登校	講義室1								
前期8	5月23日	金											産業保健学	(8)	必修		登校	講義室4																					

2025時間割表（看護学専攻第4学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

・・・保健師コースを選択する者のみが履修する科

・・・保健師コースを選択しない者が履修する科目

	日付	曜日	祝日情報	日程備考	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期8	5月24日	土																																							
前期8	5月25日	日																																							
前期9	5月26日	月			（自）インディペンデントスタディC	保健統計学	(3)	必修		登校		情報検索室	保健統計学	(4)	必修		登校		情報検索室	地域保健看護学III	(11)	選択		登校	講義室4																		
前期9	5月27日	火																		看護マネジメント学	(7)	必修		登校	講義室4		看護マネジメント学	(8)	必修		登校	講義室4									
前期9	5月28日	水											卒業論文II	(8)	必修																										
前期9	5月29日	木				クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	(7)	必修		登校	講義室4		地域保健看護学演習I	(12)	選択		登校	講義室4		地域保健看護学演習I	(13)	選択		登校	講義室4																
前期9	5月30日	金																																			実践看護英語III	(8)	自由		登校	講義室2	
前期9	5月31日	土																																							
前期9	6月1日	日																																							
前期10	6月2日	月			（自）インディペンデントスタディC	保健統計学	(5)	必修		登校		情報検索室	保健統計学	(6)	必修		登校		情報検索室	地域保健看護学III	(12)	選択		登校	講義室4		地域保健看護学III	(13)	選択		登校	講義室4									
前期10	6月3日	火				国際保健看護学II	(8)	必修		登校	講義室4		国際保健看護学II	(9)	必修		登校	講義室4																						
前期10	6月4日	水											卒業論文II	(9)	必修																										
前期10	6月5日	木				クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	(8)	必修		登校	講義室4		地域保健看護学演習I（予備日）	(1)				講義室4		地域保健看護学演習I（予備日）	(2)			登校	講義室4		地域保健看護学演習I（予備日）	(3)			登校	講義室4									
前期10	6月6日	金				実践看護英語III	(9)	自由		登校	講義室2																										実践看護英語III	(10)	自由		登校	講義室2	
前期10	6月7日	土																																							
前期10	6月8日	日																																							
前期11	6月9日	月			（自）インディペンデントスタディC	保健統計学	(7)	必修		登校		情報検索室	保健統計学	(8)	必修		登校		情報検索室	地域保健看護学III	(14)	選択		登校	講義室4		地域保健看護学III	(15)	選択		登校	講義室4									
前期11	6月10日	火																		看護の統合と実践実習	(1)	必修	オリエンテーション	登校	講義室4														
前期11	6月11日	水											卒業論文II	(10)	必修																										
前期11	6月12日	木																		地域保健看護学演習I	(14)	選択		登校	講義室4		地域保健看護学演習I	(15)	選択		登校	講義室4									
前期11	6月13日	金																																							
前期11	6月14日	土																																							
前期11	6月15日	日																																							
前期12	6月16日	月																																							
前期12	6月17日	火				前期定期試験	(1)						前期定期試験	(2)						前期定期試験	(3)						前期定期試験	(4)						前期定期試験	(5)					
前期12	6月18日	水				前期定期試験	(6)						前期定期試験	(7)						前期定期試験	(8)						前期定期試験	(9)						前期定期試験	(10)					
前期12	6月19日	木				前期定期試験	(11)						前期定期試験	(12)						前期定期試験	(13)						前期定期試験	(14)						前期定期試験	(15)					
前期12	6月20日	金				前期定期試験	(16)						前期定期試験	(17)						前期定期試験	(18)						前期定期試験	(19)						前期定期試験	(20)					
前期12	6月21日	土																																							
前期12	6月22日	日																																							
前期13	6月23日	月																																							
前期13	6月24日	火				看護の統合と実践実習	(2)	必修	チーム医療入門				看護の統合と実践実習	(3)	必修	チーム医療入門				看護の統合と実践実習	(4)	必修	チーム医療入門				看護の統合と実践実習	(5)	必修	チーム医療入門				看護の統合と実践実習	(6)	必修	チーム医療入門			
前期13	6月25日	水				看護の統合と実践実習	(7)	必修	チーム医療入門				看護の統合と実践実習	(8)	必修	チーム医療入門				看護の統合と実践実習	(9)	必修	チーム医療入門				看護の統合と実践実習	(10)	必修	チーム医療入門				看護の統合と実践実習	(11)	必修	チーム医療入門			
前期13	6月26日	木				看護の統合と実践実習	(12)	必修	講義室4,5			実習室3, 4	看護の統合と実践実習	(13)	必修	講義室4,5			実習室3, 4	看護の統合と実践実習	(14)	必修	講義室4,5			実習室3, 4	看護の統合と実践実習	(15)	必修	講義室4,5			実習室3, 4	看護の統合と実践実習	(16)	必修	講義室4,5			実習室3, 4
前期13	6月27日	金				看護の統合と実践実習	(17)	必修	講義室4,5			実習室1～4	看護の統合と実践実習	(18)	必修	講義室4,5			実習室1～4	看護の統合と実践実習	(19)	必修	講義室4,5			実習室1～4	看護の統合と実践実習	(20)	必修	講義室4,5			実習室1～4	看護の統合と実践実習	(21)	必修	講義室4,5			実習室1～4
前期13	6月28日	土																																							
前期13	6月29日	日																																							
前期14	6月30日	月				看護の統合と実践実習	(22)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(23)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(24)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(25)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(26)	必修				実習室1～4
前期14	7月1日	火				看護の統合と実践実習	(27)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(28)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(29)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(30)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(31)	必修				実習室1～4
前期14	7月2日	水				看護の統合と実践実習	(32)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(33)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(34)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(35)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(36)	必修				実習室1～4
前期14	7月3日	木				看護の統合と実践実習	(37)	必修				実習室2～4	看護の統合と実践実習	(38)	必修				実習室2～4	看護の統合と実践実習	(39)	必修				実習室2～4	看護の統合と実践実習	(40)	必修				実習室2～4	看護の統合と実践実習	(41)	必修				実習室2～4
前期14	7月4日	金				看護の統合と実践実習	(42)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(43)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(44)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(45)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(46)	必修				実習室1～4
前期14	7月5日	土																																							
前期14	7月6日	日																																							
前期15	7月7日	月				看護の統合と実践実習	(47)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(48)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(49)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(50)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(51)	必修				実習室1～4
前期15	7月8日	火				看護の統合と実践実習	(52)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(53)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(54)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(55)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(56)	必修				実習室1～4
前期15	7月9日	水				看護の統合と実践実習	(57)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(58)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(59)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(60)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(61)	必修				実習室1～4
前期15	7月10日	木				看護の統合と実践実習	(62)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(63)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(64)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(65)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(66)	必修				実習室1～4
前期15	7月11日	金				看護の統合と実践実習	(67)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(68)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(69)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(70)	必修				実習室1～4									
前期15	7月12日	土																																							
前期15	7月13日	日																																							
前期16	7月14日	月																																							
前期16	7月15日	火				看護の統合と実践実習	(71)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(72)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(73)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(74)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(75)	必修				実習室1～4
前期16	7月16日	水				看護の統合と実践実習	(76)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(77)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(78)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(79)	必修				実習室1～4	看護の統合と実践実習	(80)	必修				実習室1～4

2025時間割表（看護学専攻第4学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

・・・保健師コースを選択する者のみが履修する科

・・・保健師コースを選択しない者が履修する科目

	日付	曜日	祝日情報	日程備考	その他	1限（8:50～10:30）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55）※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
前期16	7月17日	木				看護の統合と実践実習	(81)	必修		非同期型			看護の統合と実践実習	(82)	必修		非同期型			看護の統合と実践実習	(83)	必修		非同期型			看護の統合と実践実習	(84)	必修		非同期型			看護の統合と実践実習	(85)	必修		非同期型		
前期16	7月18日	金				看護の統合と実践実習	(86)	必修		同期型			看護の統合と実践実習	(87)	必修		同期型			看護の統合と実践実習	(88)	必修		同期型			看護の統合と実践実習	(89)	必修		同期型			看護の統合と実践実習	(90)	必修		同期型		
前期16	7月19日	土																																							
前期16	7月20日	日																																							
前期17	7月21日	月	海の日																																						
前期17	7月22日	火																																							
前期17	7月23日	水																																							
前期17	7月24日	木																																							
前期17	7月25日	金																																							
前期17	7月26日	土																																							
前期17	7月27日	日																																							
前期18	7月28日	月																																							
前期18	7月29日	火																																							
前期18	7月30日	水																																							
前期18	7月31日	木				オープンキャンパス	(1)						オープンキャンパス	(2)						オープンキャンパス	(3)						オープンキャンパス	(4)						オープンキャンパス	(5)					
前期18	8月1日	金				オープンキャンパス	(6)						オープンキャンパス	(7)						オープンキャンパス	(8)						オープンキャンパス	(9)						オープンキャンパス	(10)					
前期18	8月2日	土																																							
前期18	8月3日	日																																							
前期19	8月4日	月																																							
前期19	8月5日	火																																							
前期19	8月6日	水																																							
前期19	8月7日	木																																							
前期19	8月8日	金																																							
前期19	8月9日	土																																							
前期19	8月10日	日																																							
前期20	8月11日	月	山の日																																						
前期20	8月12日	火																																							
前期20	8月13日	水																																							
前期20	8月14日	木																																							
前期20	8月15日	金																																							
前期20	8月16日	土																																							
前期20	8月17日	日																																							
前期21	8月18日	月																																							
前期21	8月19日	火																																							
前期21	8月20日	水																																							
前期21	8月21日	木																																							
前期21	8月22日	金																																							
前期21	8月23日	土																																							
前期21	8月24日	日																																							
前期22	8月25日	月																																							
前期22	8月26日	火																																							
前期22	8月27日	水																																							
前期22	8月28日	木																																							
前期22	8月29日	金																																							
前期22	8月30日	土																																							
前期22	8月31日	日																																							
後期1	9月1日	月			（自）インディペンデントスタディC	国際看護学実習	(1)	選択		登校		M&Dタワー共用講義室1	国際看護学実習	(2)	選択		登校		M&Dタワー共用講義室1	国際看護学実習	(3)	選択		登校		M&Dタワー共用講義室1	国際看護学実習	(4)	選択		登校		M&Dタワー共用講義室1							
後期1	9月2日	火				国際看護学実習	(5)	選択	1限～4限	登校		M&Dタワー共用講義室1	（予備）地域保健看護学演習 II	(1)			登校		M&Dタワー共用講義室2	（予備）地域保健看護学演習 II	(2)			登校		M&Dタワー共用講義室2	（予備）地域保健看護学演習 II	(3)			登校		M&Dタワー共用講義室2							
後期1	9月3日	水				卒業論文 II	(11)	必修					卒業論文 II	(12)	必修					卒業論文 II	(13)	必修					卒業論文 II	(14)	必修					卒業論文 II	(15)	必修				
後期1	9月4日	木				国際看護学実習	(6)	選択		登校		M&Dタワー共用講義室1	国際看護学実習	(7)	選択		登校		M&Dタワー共用講義室1	国際看護学実習	(8)	選択		登校		M&Dタワー共用講義室1	国際看護学実習	(9)	選択		登校		M&Dタワー共用講義室1							
後期1	9月5日	金											成人・老年看護学実習III オリエンテーション	(1)			同期型																							
後期1	9月6日	土																																							
後期1	9月7日	日																																							
後期2	9月8日	月			（自）イ	臨地実習	(1)						臨地実習	(2)						臨地実習	(3)						臨地実習	(4)						臨地実習	(5)					

2025時間割表（看護学専攻第4学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

・・・保健師コースを選択する者のみが履修する科目

・・・保健師コースを選択しない者が履修する科目

	日付	曜日	祝日情報	日程備考	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期2	9月9日	火			インディペンデントスタディC	地域保健看護学演習 II	(1)	選択			講義室4		地域保健看護学演習 II	(2)	選択			講義室4		地域保健看護学演習 II	(3)	選択			講義室4		地域保健看護学演習 II	(4)	選択			講義室4		臨地実習	(6)					
後期2	9月10日	水				卒業論文 II	(16)	必修					卒業論文 II	(17)	必修					卒業論文 II	(18)	必修					卒業論文 II	(19)	必修					卒業論文 II	(20)	必修				
後期2	9月11日	木				臨地実習	(7)						臨地実習	(8)						臨地実習	(9)						臨地実習	(10)						臨地実習	(11)					
後期2	9月12日	金				臨地実習・地域保健看護学実習	(1)		オリエンテーション	登校	講義室1		臨地実習・地域保健看護学実習	(2)		オリエンテーション	登校	講義室1		臨地実習・地域保健看護学実習	(3)		オリエンテーション	登校	講義室1		臨地実習・地域保健看護学実習	(4)		オリエンテーション	登校	講義室1		臨地実習・地域保健看護学実習	(5)		オリエンテーション	登校	講義室1	
後期2	9月13日	土																																						
後期2	9月14日	日																																						
後期3	9月15日	月	敬老の日																																					
後期3	9月16日	火			インディペンデントスタディC	地域保健看護学演習 II	(5)	選択			講義室1		地域保健看護学演習 II	(6)	選択			講義室1		地域保健看護学演習 II	(7)	選択			講義室1		地域保健看護学演習 II	(8)	選択			講義室1		臨地実習	(12)					
後期3	9月17日	水				卒業論文 II	(21)	必修					卒業論文 II	(22)	必修					卒業論文 II	(23)	必修					卒業論文 II	(24)	必修					卒業論文 II	(25)	必修				
後期3	9月18日	木				臨地実習	(13)						臨地実習	(14)						臨地実習	(15)						臨地実習	(16)						臨地実習	(17)					
後期3	9月19日	金				臨地実習	(18)						臨地実習	(19)						臨地実習	(20)						臨地実習	(21)						臨地実習	(22)					
後期3	9月20日	土																																						
後期3	9月21日	日																																						
後期4	9月22日	月				臨地実習	(23)						臨地実習	(24)						臨地実習	(25)						臨地実習	(26)						臨地実習	(27)					
後期4	9月23日	火	秋分の日																																					
後期4	9月24日	水			インディペンデントスタディC	卒業論文 II	(26)	必修					卒業論文 II	(27)	必修					卒業論文 II	(28)	必修					卒業論文 II	(29)	必修					卒業論文 II	(30)	必修				
後期4	9月25日	木				臨地実習	(28)						臨地実習	(29)						臨地実習	(30)						臨地実習	(31)						臨地実習	(32)					
後期4	9月26日	金				臨地実習	(33)						臨地実習	(34)						臨地実習	(35)						臨地実習	(36)						臨地実習	(37)					
後期4	9月27日	土																																						
後期4	9月28日	日																																						
後期5	9月29日	月			（自）インディペンデントスタディC	臨地実習	(38)						臨地実習	(39)						臨地実習	(40)						臨地実習	(41)						臨地実習	(42)					
後期5	9月30日	火				臨地実習	(43)						臨地実習	(44)						臨地実習	(45)						臨地実習	(46)						臨地実習	(47)					
後期5	10月1日	水				卒業論文 II	(31)	必修					卒業論文 II	(32)	必修					卒業論文 II	(33)	必修					卒業論文 II	(34)	必修					卒業論文 II	(35)	必修				
後期5	10月2日	木				国際看護学実習	(10)	選択		登校	講義室4		国際看護学実習	(11)	選択		登校	講義室4		国際看護学実習	(12)	選択		登校	講義室4		国際看護学実習	(13)	選択		登校	講義室4		臨地実習	(48)					
後期5	10月3日	金				臨地実習	(49)						臨地実習	(50)						臨地実習	(51)						臨地実習	(52)						臨地実習	(53)					
後期5	10月4日	土																																						
後期5	10月5日	日																																						
後期6	10月6日	月			（自）インディペンデントスタディC	臨地実習	(54)						臨地実習	(55)						臨地実習	(56)						臨地実習	(57)						臨地実習	(58)					
後期6	10月7日	火				臨地実習	(59)						臨地実習	(60)						臨地実習	(61)						臨地実習	(62)						臨地実習	(63)					
後期6	10月8日	水				卒業論文 II	(36)	必修					卒業論文 II	(37)	必修					卒業論文 II	(38)	必修					卒業論文 II	(39)	必修					卒業論文 II	(40)	必修				
後期6	10月9日	木				臨地実習	(64)						臨地実習	(65)						臨地実習	(66)						臨地実習	(67)						臨地実習	(68)					
後期6	10月10日	金				臨地実習	(69)						臨地実習	(70)						臨地実習	(71)						臨地実習	(72)						臨地実習	(73)					
後期6	10月11日	土																																						
後期6	10月12日	日																																						
後期7	10月13日	月	スポーツの日																																					
後期7	10月14日	火			（自）インディペンデントスタディC	臨地実習	(74)						臨地実習	(75)						臨地実習	(76)						臨地実習	(77)						臨地実習	(78)					
後期7	10月15日	水				卒業論文 II	(41)	必修					卒業論文 II	(42)	必修					卒業論文 II	(43)	必修					卒業論文 II	(44)	必修					卒業論文 II	(45)	必修				
後期7	10月16日	木				臨地実習	(79)						臨地実習	(80)						臨地実習	(81)						臨地実習	(82)						AI実践演習	(1)		同期型			
後期7	10月17日	金				臨地実習	(83)						臨地実習	(84)						臨地実習	(85)						臨地実習	(86)						臨地実習	(87)					
後期7	10月18日	土																																						
後期7	10月19日	日																																						
後期8	10月20日	月			（自）インディペンデントスタディC	臨地実習	(88)						臨地実習	(89)						臨地実習	(90)						臨地実習	(91)						Learning Medical English	(1)	自由		登校	講義室5	
後期8	10月21日	火				臨地実習	(92)						臨地実習	(93)						臨地実習	(94)						臨地実習	(95)						臨地実習	(96)					
後期8	10月22日	水				卒業論文 II	(46)	必修					卒業論文 II	(47)	必修					卒業論文 II	(48)	必修					卒業論文 II	(49)	必修					卒業論文 II	(50)	必修				
後期8	10月23日	木				臨地実習	(97)						臨地実習	(98)						臨地実習	(99)						臨地実習	(100)						臨地実習	(101)					
後期8	10月24日	金				臨地実習	(102)						臨地実習	(103)						臨地実習	(104)						臨地実習	(105)						臨地実習	(106)					
後期8	10月25日	土																																						
後期8	10月26日	日																																						
後期9	10月27日	月			（自）インディペンデントスタディC	臨地実習	(107)						臨地実習	(108)						臨地実習	(109)						臨地実習	(110)						Learning Medical English	(2)	自由		登校	講義室5	
後期9	10月28日	火				臨地実習	(111)						臨地実習	(112)						臨地実習	(113)						臨地実習	(114)						臨地実習	(115)					
後期9	10月29日	水				卒業論文 II	(51)	必修					卒業論文 II	(52)	必修					卒業論文 II	(53)	必修					卒業論文 II	(54)	必修					卒業論文 II	(55)	必修				
後期9	10月30日	木				臨地実習	(116)						臨地実習	(117)						臨地実習	(118)						臨地実習	(119)						AI実践演習	(2)		同期型			
後期9	10月31日	金				臨地実習	(120)						臨地実習	(121)						臨地実習	(122)						臨地実習	(123)						臨地実習	(124)					
後期9	11月1日	土																																						

2025時間割表（看護学専攻第4学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

・・・保健師コースを選択する者のみが履修する科

・・・保健師コースを選択しない者が履修する科目

	日付	曜日	祝日情報	日程備考	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期9	11月2日	日																																								
後期10	11月3日	月	文化の日																																							
後期10	11月4日	火			（自）インディペンデントスタディC	臨地実習	(125)						臨地実習	(126)						臨地実習	(127)						臨地実習	(128)						臨地実習	(129)					
後期10	11月5日	水				卒業論文 II	(56)	必修					卒業論文 II	(57)	必修					卒業論文 II	(58)	必修					卒業論文 II	(59)	必修					卒業論文 II	(60)	必修				
後期10	11月6日	木				臨地実習	(130)						臨地実習	(131)						臨地実習	(132)						臨地実習	(133)						AI実践演習	(3)			同期型		
後期10	11月7日	金				臨地実習	(134)						臨地実習	(135)						臨地実習	(136)						臨地実習	(137)						臨地実習	(138)					
後期10	11月8日	土																																							
後期10	11月9日	日																																							
後期11	11月10日	月			（自）インディペンデントスタディC	臨地実習	(139)						臨地実習	(140)						臨地実習	(141)						臨地実習	(142)						Learning Medical English	(3)	自由		登校	講義室5	
後期11	11月11日	火				臨地実習	(143)						臨地実習	(144)						臨地実習	(145)						臨地実習	(146)						臨地実習	(147)					
後期11	11月12日	水				卒業論文 II	(61)	必修					卒業論文 II	(62)	必修					卒業論文 II	(63)	必修					卒業論文 II	(64)	必修					卒業論文 II	(65)	必修				
後期11	11月13日	木				臨地実習	(148)						臨地実習	(149)						臨地実習	(150)						臨地実習	(151)						臨地実習	(152)					
後期11	11月14日	金				臨地実習	(153)						臨地実習	(154)						臨地実習	(155)						臨地実習	(156)						臨地実習	(157)					
後期11	11月15日	土																																							
後期11	11月16日	日																																							
後期12	11月17日	月			（自）インディペンデントスタディC	臨地実習	(158)						臨地実習	(159)						臨地実習	(160)						臨地実習	(161)						Learning Medical English	(4)	自由		登校	講義室5	
後期12	11月18日	火				臨地実習	(162)						臨地実習	(163)						臨地実習	(164)						臨地実習	(165)						臨地実習	(166)					
後期12	11月19日	水				卒業論文 II	(66)	必修					卒業論文 II	(67)	必修					卒業論文 II	(68)	必修					卒業論文 II	(69)	必修					卒業論文 II	(70)	必修				
後期12	11月20日	木				臨地実習	(167)						臨地実習	(168)						臨地実習	(169)						臨地実習	(170)						臨地実習	(171)					
後期12	11月21日	金				臨地実習	(172)						臨地実習	(173)						臨地実習	(174)						臨地実習	(175)						臨地実習	(176)					
後期12	11月22日	土																																							
後期12	11月23日	日	秋分の日																																							
後期13	11月24日	月	振替休日																																							
後期13	11月25日	火			（自）インディペンデントスタ	臨地実習	(177)						臨地実習	(178)						臨地実習	(179)						臨地実習	(180)						臨地実習	(181)					
後期13	11月26日	水				卒業論文 II	(71)	必修					卒業論文 II	(72)	必修					卒業論文 II	(73)	必修					卒業論文 II	(74)	必修					卒業論文 II	(75)	必修				
後期13	11月27日	木				地域保健看護学実習	(3)	選択	報告会,講義室2,3,4	登校			地域保健看護学実習	(4)	選択	報告会,講義室2,3,4	登校			地域保健看護学演習 II	(9)	選択	報告会,講義室2,3,4	登校			地域保健看護学演習 II	(10)	選択	報告会,講義室2,3,4	登校			AI実践演習	(4)			同期型		
後期13	11月28日	金				臨地実習	(182)						臨地実習	(183)						臨地実習	(184)						臨地実習	(185)						臨地実習	(186)					
後期13	11月29日	土																																							
後期13	11月30日	日																																							
後期14	12月1日	月			（自）インディペンデントスタディC																						Learning Medical English	(5)	自由		登校	講義室5		Learning Medical English	(6)	自由		登校	講義室5	
後期14	12月2日	火																																							
後期14	12月3日	水				卒業論文 II	(76)	必修					卒業論文 II	(77)	必修					卒業論文 II	(78)	必修					卒業論文 II	(79)	必修					卒業論文 II	(80)	必修				
後期14	12月4日	木																																					AI実践演習	(5)			同期型		
後期14	12月5日	金																																							
後期14	12月6日	土																																							
後期14	12月7日	日																																							
後期15	12月8日	月			（自）インディペンデントスタディC																																				Learning Medical English	(7)	自由		登校	講義室5	
後期15	12月9日	火																																							
後期15	12月10日	水				卒業論文 II	(81)	必修	発表会(講義室1,2,3)	登校			卒業論文 II	(82)	必修	発表会(講義室1,2,3)	登校			卒業論文 II	(83)	必修	発表会(講義室1,2,3)	登校			卒業論文 II	(84)	必修	発表会(講義室1,2,3)	登校			卒業論文 II	(85)	必修	発表会(講義室1,2,3)	登校		
後期15	12月11日	木																																					AI実践演習	(6)			同期型		
後期15	12月12日	金																																							
後期15	12月13日	土																																							
後期15	12月14日	日																																							
後期16	12月15日	月			（自）インディペンデントスタディC																																				Learning Medical English	(8)	自由		登校	講義室5	
後期16	12月16日	火																																							
後期16	12月17日	水				卒業論文 II	(86)	必修					卒業論文 II	(87)	必修					卒業論文 II	(88)	必修					卒業論文 II	(89)	必修					卒業論文 II	(90)	必修				
後期16	12月18日	木																																					AI実践演習	(7)			同期型		
後期16	12月19日	金																																							
後期16	12月20日	土																																							
後期16	12月21日	日																																							
後期17	12月22日	月																																							
後期17	12月23日	火																																							
後期17	12月24日	水																																							
後期17	12月25日	木																																							

2025時間割表（看護学専攻第4学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

・・・保健師コースを選択する者のみが履修する科

・・・保健師コースを選択しない者が履修する科目

	日付	曜日	祝日情報	日程備考	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期17	12月26日	金																																								
後期17	12月27日	土																																								
後期17	12月28日	日																																								
後期18	12月29日	月																																								
後期18	12月30日	火																																								
後期18	12月31日	水																																								
後期18	1月1日	木	元日																																							
後期18	1月2日	金																																								
後期18	1月3日	土																																								
後期18	1月4日	日																																								
後期19	1月5日	月																																								
後期19	1月6日	火																																								
後期19	1月7日	水																																								
後期19	1月8日	木																																					AI実践演習	(8)			同期型		
後期19	1月9日	金																																								
後期19	1月10日	土																																								
後期19	1月11日	日																																								
後期20	1月12日	月	成人の日																																							
後期20	1月13日	火																																								
後期20	1月14日	水																																								
後期20	1月15日	木																																								
後期20	1月16日	金																																								
後期20	1月17日	土																																								
後期20	1月18日	日																																								
後期21	1月19日	月																																								
後期21	1月20日	火																																								
後期21	1月21日	水																																								
後期21	1月22日	木																																								
後期21	1月23日	金																																								
後期21	1月24日	土																																								
後期21	1月25日	日																																								
後期22	1月26日	月																																								
後期22	1月27日	火																																								
後期22	1月28日	水																																								
後期22	1月29日	木																																								
後期22	1月30日	金																																								
後期22	1月31日	土																																								
後期22	2月1日	日																																								
後期23	2月2日	月																																								
後期23	2月3日	火																																								
後期23	2月4日	水																																								
後期23	2月5日	木																																								
後期23	2月6日	金																																								
後期23	2月7日	土																																								
後期23	2月8日	日																																								
後期24	2月9日	月																																								
後期24	2月10日	火																																								
後期24	2月11日	水	建国記念の日																																							
後期24	2月12日	木																																								
後期24	2月13日	金																																								
後期24	2月14日	土																																								
後期24	2月15日	日																																								
後期25	2月16日	月																																								
後期25	2月17日	火																																								

2025時間割表（看護学専攻第4学年）

※授業形態「同期型」だが講義室の記載がある場合…移動時間が無い学生のために確保した講義室です。自宅等で受けても大丈夫です。

・・・保健師コースを選択する者のみが履修する科

・・・保健師コースを選択しない者が履修する科目

	日付	曜日	祝日情報	日程備考	その他	1限（8:50～10:30） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	2限（10:45～12:25） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	3限（13:30～15:10） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	4限（15:25～17:05） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等	5限（17:15～18:55） ※10 分の休憩を含み100 分	回数	必修選択区分	備考	授業形態	講義室	実習室等
後期25	2月18日	水																																								
後期25	2月19日	木																																								
後期25	2月20日	金																																								
後期25	2月21日	土																																								
後期25	2月22日	日																																								
後期26	2月23日	月	天皇誕生日																																							
後期26	2月24日	火																																								
後期26	2月25日	水																																								
後期26	2月26日	木																																								
後期26	2月27日	金																																								
後期26	2月28日	土																																								
後期26	3月1日	日																																								
後期27	3月2日	月																																								
後期27	3月3日	火																																								
後期27	3月4日	水																																								
後期27	3月5日	木																																								
後期27	3月6日	金																																								
後期27	3月7日	土																																								
後期27	3月8日	日																																								
後期28	3月9日	月																																								
後期28	3月10日	火																																								
後期28	3月11日	水																																								
後期28	3月12日	木																																								
後期28	3月13日	金																																								
後期28	3月14日	土																																								
後期28	3月15日	日																																								
後期29	3月16日	月																																								
後期29	3月17日	火																																								
後期29	3月18日	水																																								
後期29	3月19日	木																																								
後期29	3月20日	金	春分の日																																								
後期29	3月21日	土																																								
後期29	3月22日	日																																								
後期30	3月23日	月																																								
後期30	3月24日	火																																								
後期30	3月25日	水																																								
後期30	3月26日	木																																								
後期30	3月27日	金																																								
後期30	3月28日	土																																								
後期30	3月29日	日																																								
	3月30日	月																																								
	3月31日	火																																								

時間割番号	012058				
科目名	保健統計学			科目ID	MN-430200-L
担当教員	佐々木 美樹, 寺本 妙子, 緒方 泰子, 湯本 淑江[SASAKI Miki, TERAMOTO Taeko, OGATA Yasuko, YUMOTO Yoshie]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Health Statistics

【科目責任者】佐々木 美樹

【科目担当者】寺本 妙子

授業の目的、概要等

本科目では保健統計学の基礎を学ぶ。客観的指標であるデータの収集, 処理・分析, 結果の解釈という一連の流れを理解し, 科学的根拠として捉えられる数量的表現の理解を目指す。演習も取り入れ, 実際にパソコン上でデータ処理を試みる。

授業の到達目標

1) 記述統計学の基本用語を説明できる。度数分布表, ヒストグラムの作成や統計量(平均値, 標準偏差)の算出が適切にできる。
2) 相関, 回帰, 確率分布について説明できる。2 つの変数について散布図を描き, 相関係数と回帰式を算出することができる。
3) 母集団と標本について説明し, 母集団平均を推定することができる。
4) 統計的仮説検定について説明し, 2 つの平均値の差の検定(t検定)を適切に実行することができる。
5) ノンパラメトリック検定について説明し, クロス集計, 及び $\chi 2$ 検定を適切に実行することができる。
6) 分散分析について説明し, 一元配置分散分析, 及び二元配置分散分析を適切に実行することができる。
7) 人口動態統計について説明し, 人口動態データの分析, 及び解釈を適切におこなうことができる。
8) 量的研究のデザインに適したデータの処理, 統計的分析について説明し, 結果の解釈を適切におこなうことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	5/12	08:50-10:30	情報検索室1	保健統計の概要(Ⅰ)	尺度, 記述統計学(度数分布, 代表値, 散布度), データ処理の演習	寺本 妙子	【到達目標】1) 【学習方法】演習 【事後学習】ワークシートを完成させ期日までに提出する。
2	5/12	10:45-12:25	情報検索室1	保健統計の概要(Ⅱ)	相関, 回帰, 確率分布, データ処理の演習	寺本 妙子	【到達目標】2) 【学習方法】演習 【事後学習】ワークシートを完成させ期日までに提出する。
3	5/26	08:50-10:30	情報検索室1	母集団統計値	母集団と標本, 母集団平均の推定	寺本 妙子	【到達目標】3) 【学習方法】演習 【事後学習】ワークシートを完成させ期日までに提出する。
4	5/26	10:45-12:25	情報検索室1	仮説検定(Ⅰ)	統計的仮説検定, 平均値の差の検定	寺本 妙子	【到達目標】4) 【学習方法】演習 【事後学習】ワークシートを完成させ期日までに提出する。
5	6/2	08:50-10:30	情報検索室1	仮説検定(Ⅱ)	ノンパラメトリック検定	寺本 妙子	【到達目標】5) 【学習方法】演習 【事後学習】ワークシートを完成させ期日までに提出する。
6	6/2	10:45-12:25	情報検索室1	分散分析	一元配置分散分析, 二元配置分散分析, 多重比較	寺本 妙子	【到達目標】6) 【学習方法】演習 【事後学習】ワークシートを完成させ期日までに提出する。
7	6/9	08:50-10:30	情報検索室1	演習(Ⅰ)	人口統計, データ処理の演習	寺本 妙子	【到達目標】7) 【学習方法】演習
8	6/9	10:45-12:25	情報検索室1	演習(Ⅱ)	量的研究のデザイン, データ処理の演習	寺本 妙子	【到達目標】8) 【学習方法】演習

授業方法

対面で実施する。知識とスキルに関する情報伝達を講義形式でおこない, その後の演習において, 実際にパソコン上でデータの分析を行う。演習および質疑応答も交え, アクティブラーニングを実施する。

授業内容

授業は対面でおこない、講義と演習を中心に進める。毎回の演習では課題用ワークシートを活用し，パソコンでデータ処理に取り組む（Microsoft Excel 使用）。課題は毎回提出し，到達目標の達成を目指す。

成績評価の方法

課題（ワークシート）の提出 4 割，定期試験 6 割とする。ワークシートは 1 回の提出につき 5 点の配点とする（全回提出で 40 点となる：5 点×8 回=40 点）。例えば，2 回未提出で試験が 60 点だった場合，課題は 30 点（5 点×6 回提出=30 点），試験は 36 点と換算し（60 点×6 割=36 点），合計 66 点となる。

なお，定期試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

筆記試験，課題（ワークシート）で採点し，60 点以上を合格とする。具体的には，次の基準に従う。A+：卓越して到達目標に達している，A：優れて到達目標に達している，B：十分に到達目標に達している，C：概ね到達目標に達している。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容は，参考書（別記）を参照して構成されているので，該当箇所を事前学習しておくことを勧める。

試験の受験資格

試験の受験資格として 2/3 以上の出席を要する。

参考書

やさしい保健統計学　改訂第 5 版増補 = Health statistics made simple／縣　俊彦（著）：南江堂，2019

ナースのための統計学　第 2 版／高木廣文（著）：医学書院，2009

備考

2024 年度の授業評価を踏まえ、受講者の習熟度を考慮しつつ、引き続き練習問題や課題を用いて知識の定着を促す工夫をする。

連絡先（メールアドレス）

佐々木　美樹：m-sasaki.gh@tmd.ac.jp　3 号館 15F

緒方　泰子：yogata.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19F

湯本　淑江：yumoto.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

佐々木　美樹：オフィスアワーは特に定めないが，事前にアポイントをとった上で訪問すること。

緒方　泰子：オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

湯本　淑江：オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012104				
科目名	国際保健看護学Ⅱ			科目ID	MN-433100-L
担当教員	近藤　暁子[KONDO Akiko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:International Health Nursing Ⅱ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所　ZOOM・講義室 4

授業の目的、概要等

国内外の様々な人々の健康問題及び看護について考えてディスカッションする。異文化や LGBTQ+など違う価値観を持つ人々を理解し、医療/健康問題及び異文化について理解を深める。模擬患者を想定した留学生と日本語以外でコミュニケーションをとる演習、実際日本の病院で外国人患者の対応を行っている講師の話を聞き、国内の外国人患者への対応方法について学ぶ。海外の講師、海外で活動経験のある講師の話を聞き、自身も海外で活躍できることをイメージする。

授業の到達目標

1.　幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

諸外国の医療や看護の現状を理解し、各国・地域の歴史・社会システムの変遷との関連から、人々のかかえる健康問題や医療・保健・看護問題の本質は何であるかを考えることができる。日本語が話せない患者に対して基本的な対応ができる。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

日本国内における外国人の医療/健康問題についての考えを述べることができる。

3. 問題提起・解決能力の修得

外国人患者の受け入れの状況を知り、対応方法・問題に対して取り組むべき姿勢を身に付ける。

4. 自己学習能力・創造性の形成

「国際保健看護学」の講義で学んだことを将来どのように生かしていきたいか、今後の自己課題と達成方法について述べることができる。

5. 国際性の形成

今後自身が海外で活動することをイメージできる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/7	08:50-10:30	遠隔授業(同期型)	概論	国内外の健康課題と看護	近藤　暁子	諸外国の医療や看護の現状を理解し、各国・地域の歴史・社会システムの変遷との関連から、人々のかかえる健康問題や医療・保健・看護問題の本質は何であるかを考えることができる。
2	4/11	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	海外の状況を知る	Educational system / Insurance system in the United States (米国の教育・保険制度)	Ann L. Eckhardt, 近藤　暁子	英語による講義・諸外国の医療や看護の現状を理解する。
3	5/2	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 4	海外の状況を知る	アメリカで看護師になる　～日米での看護師経験から学んだこと～	石橋　タミ	今後自身が海外で活動することをイメージできる。
4	5/13	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 4	海外の状況を知る	政府開発援助(Official Development Assistance ;ODA)での国際協力	野口　眞貴子	諸外国の医療や看護の現状を理解する。
5	5/13	10:45-12:25	保健衛生学科講義室 4	海外の状況を知る	日本のODAプロジェクトの実際(母子保健プロジェクト)	野口　眞貴子	諸外国の医療や看護の現状を理解する。
6	5/20	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 4	医療人としての豊かな感性と人間性の形成	国際医療部の活動について	岡田　卓也, 近藤　暁子	外国人患者の受け入れの状況を知り、対応方法・問題に対して取り組むべき姿勢を身に付ける。

7	5/20	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	幅広い教養と高い専門知識・技術の修得	LGBTQ+の人々への看護	近藤 暁子	英語による講義(大学院生平井寛季)・人々のかかえる健康問題や医療・保健・看護問題の本質は何であるかを考えることができる。
8	6/3	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	外国人患者対応演習	外国人患者への対応演習	近藤 暁子	日本語が話せない患者に対して基本的な対応ができる。
9	6/3	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	外国人患者対応演習	外国人患者への対応演習	近藤 暁子	日本語が話せない患者に対して基本的な対応ができる。

授業方法

1) 本科目は講義、グループディスカッション、演習を交えて行う。

2) 本科目はアクティブラーニング方式で行い、講義でも教員が一方的に話すのではなく、学生の発言や意見交換を推奨する。回答内容は評価に影響しないので、積極的に自分の意見を述べるようにすること。なお、自発的な発言者がない場合はランダムに指名し、発言を求めることがある。

3) 模擬患者とのコミュニケーション演習では、留学生が日本語が話せない患者を演じ、日本語以外を使用して情報収集、アセスメント、看護計画を立案する。

授業開始時の出欠確認と講義の感想(英語)について WebClass への提出を持って、その日の出席とする。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

参加度(30%)、毎回の講義の感想(20%)、模擬患者演習(30%)、最終レポート(20%)

1) 参加度(30%):出席状況、授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認めない。

2) 毎回の講義の感想 (20%):講義の翌日 24 時までに WebClass に講義の感想を提出する。その回の目標が達成できているかどうか評価する。

3) 模擬患者演習 (30%):グループごとに情報収集、アセスメント、看護計画内容をまとめ、感想は個別に書いて提出する。

4) 最終レポート(20%):「国際保健看護学 Ⅱ」の講義で学んだことを将来どのように生かしていきたいか、今後の自己課題と達成方法について(英語で A4 1 ページ以内にまとめる)。

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 60 点以上の場合合格とする。

出席については、ZOOM の場合は、ZOOM の履歴及び点呼時返答も確認する。ネット環境などやむを得ず、ZOOM の接続や返答ができなかった場合には原則翌日までに教員にメールで連絡すること。

合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

WHO http://www.who.int/en/ と JICA https://www.jica.go.jp/ の役割について学習して来ること。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

参考書

国際看護学入門第 2 版／日本国際看護学会編集, 医学書院, 2020

State of the World's Nursing 2020 世界の看護 2020／国立国際医療研究センター国際医療協力局訳. http://kyokuhp.ncgm.go.jp/library/other_doc/2020/Sekainokango2020_light_n.pdf

国際看護学 : グローバル・ナーシングに向けての展開／南裕子 監修,新川加奈子, 大野夏代, 神原咲子 編集,:中山書店, 2013

ワークショップ版・世界がもし 100 人の村だったら 第 4 版／100 人村教材編集委員会:開発教育協会, 2014

知って考えて実践する国際看護／近藤麻理 著,:医学書院, 2011

他科目との関連

国際保健看護学 I、国際保健福祉、実践看護英語

履修上の注意事項

本科目において異文化感受性能力を向上させることを目標とするため、授業の初回及び最終日に異文化感受性能力に関する調査を実施する。また LGBT に関する意識調査も行う。しかし、その回答内容は成績とは無関係である。 やむを得ず欠席する場合は教員に連絡すること。 ZOOM での接続は時間がかかる場合があるので、5 分前には接続すること。

備考

■英語での講義でない場合でもリアクションペーパーを英語で書くというのが果たして意味があるのだろうかと感じた。→英語の苦手意識が強い学生さんが多いようなので、英語に慣れていただいた方が良いと思います。

■グループワークの際に英語が苦手な人も参加しやすいように配慮する。→学生間で協力し合って進めていただきたいと思います。

■リアクションペーパーと提出課題の感想がかぶっていることがいくつかあったため、改善してほしい。→リアクションペーペーはその日に学んだことを書いていただき、最終課題は学んだことをもとに「将来どのように生かしていきたいか、今後の自己課題と達成方法について」書いていただければと思います。

■リフレクションペーパーは英語で書く場合、時数制限の上限をもう少し増やしてほしい。→字数制限を多く設定します。

連絡先(メールアドレス)

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

時間割番号	012060				
科目名	産業保健学			科目ID	MN-430500-L
担当教員	森田　久美子，中野　愛子，長谷川　梢，長谷川　梢[MORITA Kumiko, NAKANO Aiko, HASEGAWA Kozue, HASEGAWA Kozue]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Occupational Health Nursing

【科目責任者】森田久美子

主な講義場所　遠隔授業（同期型）　※最終回のみ対面授業

授業の目的、概要等

働く人の健康指導と健康管理，並びに職業起因性障害や災害の予防に関する指導と管理のあり方は保健師にとって必須の事項であり，その考え方や実践の方法を身につけることを前提とした産業保健活動の理論を究明する。

授業の到達目標

産業に関わる看護師・保健師は産業医やコ・メディカルスタッフと協働して，そこに勤務する職業人としての個人に対する健康の保持・増進の支援や集団に対する公衆衛生活動を要求される。そしてその業務の遂行には，保健師としての倫理観と人格が求められ，保健・医療・福祉・文化・行政などの学際的な幅広い知識や技能に基づいた問題解決能力を身につける上での基本的な概念を修得させる必要がある。

産業という個々の管理社会とそれを取り囲む外環境とが調和され，社会的に対応できない個人や企業を生ぜしめないような予防的保健活動と健康増進活動の意義を認識させ，自由な発想で個人や社会の痛みを理解でき，望ましい保健分野における社会機構を考えられる基礎学力を身につけることを目標とする。

＜各回の到達目標＞

1）産業保健の概要を理解し、現在問題となっていること、改善すべき点について説明できる。

2）産業保健の理念、歴史、法律について説明できる。

3）産業看護活動の具体的内容について説明できる。

4）労働者の心の健康支援について具体例をあげながら説明できる。

5）労働災害について説明できる。

6）衛生管理、人事労務管理について説明できる。また、事例演習に積極的に参加し、発言できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/7	10:45-12:25	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「産業保健学総論」 地域保健における産業保健の位置づけ、現状、最新のトピック等について学ぶ。	森田　久美子	【到達目標】 1）【学習方法】同期型（ZOOM）
2	4/14	08:50-10:30	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「産業保健・看護の理念と歴史、法律」 産業保健・看護の歴史、産業看護の定義・職務、関連法規、企業に求められる健康管理について学ぶ。	森田　久美子，中野　愛子	【到達目標】 2）【学習方法】同期型（ZOOM）
3	4/14	10:45-12:25	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「産業看護活動」 産業看護活動の実際、ハラスメント、自殺対策等について学ぶ。	森田　久美子，中野　愛子	【到達目標】 3）【学習方法】同期型（ZOOM）
4	4/21	08:50-10:30	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「労働者の心の健康支援1」 疲労、職場のストレス、精神疾患と労働災害について学ぶ。	森田　久美子，中野　愛子	【到達目標】 4）【学習方法】同期型（ZOOM）
5	4/21	10:45-12:25	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「労働者の心の健康支援2」 予防、復職支援、事例学習、諸外国の産業看護活動について学ぶ。	森田　久美子，中野　愛子	【到達目標】 4）【学習方法】同期型（ZOOM）
6	5/19	08:50-10:30	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「衛生管理、人事労務管理1」 関連法令に基づく衛生施策の立て方、人事労務管理の基本的な考え方、人事労務問題への対応について学ぶ。	森田　久美子，長谷川　梢	【到達目標】 5）【学習方法】同期型（ZOOM）

7	5/19	10:45-12:25	遠隔授業（同期型）	産業保健学	「人事労務管理2」 事例演習（判例検討）	森田 久美子, 長谷川 梢	【到達目標】 6）【学習方法】同期型（ZOOM）
8	5/23	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	産業保健学	「労働災害」 職業性疾病、作業関連疾患、労働災害、女性労働者の支援について学ぶ。	森田 久美子	【到達目標】 7）【学習方法】対面

授業方法

・同期授業

ZOOM にて実施する。講義では、適宜ブレイクアウトルームに分かれてグループでディスカッション、アクティブラーニングを行う。ディスカッションをもとに内容をまとめ、グループごとに発表をしてもらうので積極的に参加すること。

授業内容

公衆衛生学に裏付けられた個人および集団の健康保持・増進をメインテーマとして，働く人々が快適な職場環境で健康を損なうことなく，仕事を自分に適合させて肉体的・精神的・社会的に良好な状態を維持増進させる上での基礎知識を系統的に付与する。

そのためには，健康な人も健康に障害を持った人も，労働という営みの中で，保健指導を進める上での最重要課題を取り上げて事例を列挙しながら，産業保健の理念・歴史・健康管理体制・労働者の実態・労働内容・労働環境・産業疲労・業務上疾病（職業性疾患）・産業災害とその対策や予防方法などについて理解を深める。

成績評価の方法

学期末定期試験 70%，討論課題 10%、講義後レポート 20%などにより評価する。なお、定期試験の一部に英語の問題を出題する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。試験問題は、授業の到達目標に達しているかを評価し、そのことが確認されたところ（100 点満点で 60 点以上が目安）で合格とする。なお、リアクションペーパーでの、重要な質問や、誤りの指摘などがあった場合には、最終評価において加点されることがある。

準備学習等についての具体的な指示

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書等などで予習をしてくることが望ましい。

試験の受験資格

同期型の授業に 2/3 以上出席し、かつ講義に関連する課題を全て提出したものに定期試験の受験資格を与える。

なお、特別に勘案すべき事情があり指示を達成できない場合には、その事情とともに締切期日が過ぎる前に科目責任者にメールで連絡をすること。なお、緊急の場合には電話で連絡しても良いが、その後メールすること。連絡ができないような特別な事情がある場合にはその限りではない。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には、事情に応じてレポートなどで対応することとする。

参考書

眞野喜洋，遠藤立一（監著）：健康管理者のための公衆衛生学，圭文社，東京

眞野喜洋（監著）：スタンダード公衆衛生学，文光堂，東京

松田正巳他：対象別地域看護活動、医学書院

平山朝子，宮地文子（編集）：産業保健指導論，公衆衛生看護大学体系＃6，日本看護協会出版会，東京

（財）厚生統計協会：国民衛生の動向，厚生の指標臨時増刊，（財）厚生統計協会，東京

森　晃爾（編集）：産業保健ハンドブック，労働調査会，東京

中央労働災害防止協会：労働衛生のしおり，東京

成人地域看護活動（地域看護学講座 No7），医学書院

など産業保健に関する書籍はすべて参考となるが，購入の折にはできるだけ新しい数値の乗った統計データを有するものから選ぶこと。

他科目との関連

地域保健看護学とは密接な関係にあり，クロス・オーバーする領域が多い。 母性，成人老人，精神の各保健学，看護学とも関連性が高い。 基礎学力としての生理学，薬理学，病理学などの知識は講義の理解を深める上で重要である。

履修上の注意事項

産業保健学は他領域とそれぞれ深く係る学際性の高い分野なので，日頃からマスメディアの医療が関与する社会ニュースなどにも関心を持つことが望ましい。

備考 ・前年度からの改善点

講義資料は事前に配布し、講義前に予習するように周知する。

連絡先（メールアドレス） 森田 久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー 森田 久美子:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012062				
科目名	卒業論文Ⅱ			科目ID	MN-460700-S
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Thesis Ⅱ

【科目責任者】看護学専攻主任　田中 真琴

【担当教員】看護先進科学専攻教授・准教授・講師・助教全員

主な講義場所

所属分野の研究室等（配置分野の教員の指示に従う）

所属分野の決定を受けた後，所属分野の教員に研究指導場所等の確認を取ること。

授業の目的、概要等

選択したテーマに沿って、指導教員から個々に具体的な研究指導を受ける。

指導教員のもとで研究を行い、論文にまとめる。

別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』を参照のこと。

授業の到達目標

看護・保健に関する研究のプロセスを経験することを通じて、論文の読み方、研究の進め方、論文のまとめ方、発表の仕方等の基本的知識・技術等を習得することを目的とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/2	10:45-12:25	各研究室			田中　真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
2	4/9	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中　真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
3	4/16	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中　真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
4	4/23	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中　真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
5	5/7	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中　真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
6	5/14	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中　真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
7	5/21	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中　真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
8	5/28	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中　真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
9	6/4	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中　真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
10	6/11	10:45-12:25	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過	田中　真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加

					程をすすめる		し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
11-15	9/3	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
16-20	9/10	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
21-25	9/17	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
26-30	9/24	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
31-35	10/1	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
36-40	10/8	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
41-45	10/15	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
46-50	10/22	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
51-55	10/29	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
56-60	11/5	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
61-65	11/12	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
66-70	11/19	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
71-75	11/26	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
76-80	12/3	08:50-18:55	各研究室	卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する
81	12/10	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2,保健衛生学科講義室1	卒論発表会	卒論発表会	田中 真琴	本科目の到達目標・学生による発表会
82	12/10	10:45-12:25	保健衛生学	卒論発表会	卒論発表会	田中 真琴	本科目の到達目標・学生による発表会

			科講義室2, 保健衛生学 科講義室1				
83	12/10	13:30-15:10	保健衛生学 科講義室2, 保健衛生学 科講義室1	卒論発表会	卒論発表会	田中 真琴	本科目の到達目標・学生による発表会
84-85	12/10	15:25-18:55	保健衛生学 科講義室2, 保健衛生学 科講義室1	卒論発表会	卒論発表会	田中 真琴	本科目の到達目標・学生による発表会
86-90	12/17	08:50-18:55	未定, 各研究室	卒論まとめ	卒論まとめ	田中 真琴	本科目の到達目標・各研究室でのゼミに参加し、学生によるプレゼンテーション、ゼミメンバーでのディスカッション等により学習する

授業方法

同期授業/非同期授業も含め、所属分野の方針にしたがって研究を行う。ゼミ形式など双方向型の授業形態とし、学生のプレゼンテーション、ディスカッションに基づくアクティブラーニングする。

授業内容

・所属分野の教員の指導のもと、学生が主体的に研究活動を行う。

・日時:授業開始から卒論発表会までの間の時間割に提示された日時を基本とするが、各所属分野ごとに曜日や時間を変更して行うことがあるため、各所属分野で提示された日時に従うこと。

・所属分野毎に定めたスケジュールによる。

成績評価の方法

別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』の評価及び単位認定を参照のこと。

研究指導を担当した各分野長が、研究発表までの過程を評価し、最終的に専攻主任が成績を認定する。

研究発表までの取り組み状況、卒業研究論文(本文および抄録)と卒業研究発表で評価する。

1)研究活動への取り組み状況

・各所属分野でのゼミに 2/3 以上出席しない場合は、卒業研究論文の提出を認めない

2)卒業研究論文

・卒業研究論文本文と抄録を提出する。

・形 式 :別紙(卒業論文フォーム)の規定に従う。

・期限までに提出のない者には単位を認定しない。

3)卒業研究発表

・1人につき発表5分, 討論4分程度。

・Power Point を使用した口頭発表を行う。

成績評価の基準

所属分野の指導教員(分野長)が研究発表、卒業研究論文提出までの過程(以下 1)2)3))を、総合的に評価する。

1)研究活動への取り組み状況

2)卒業研究論文

3)卒業研究発表

評価基準は以下のとおりとする。

90～100 点: 科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した

80～89 点: 当該科目の到達目標を全て達成した

70～79 点: 当該科目の到達目標を概ね達成した

60～69 点: 当該科目の到達目標のうち最低限を達成した

0～59 点: 当該科目の到達目標を達成していない

※別に定める『医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項』の評価基準を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示

卒業論文Ⅰで学習した研究概説、研究倫理、文献検索方法について復習をしておくこと。

試験の受験資格

試験は実施しない

教科書

特に指定しない。

参考書

APA 論文作成マニュアル／アメリカ心理学会,前田, 樹海, 1965-,江藤, 裕之, 1963-,アメリカ心理学会 著,前田樹海, 江藤裕之 訳:医学書院, 2023.2

看護研究 : 原理と方法／D.F.ポーリット, C.T.ベック 著,近藤潤子 監訳,後藤桂子, 新道幸恵, 松岡惠, 高木廣文, 羽山由美子 訳.:医学書院, 2010

大学院のシラバス「看護学研究法特論」で挙げた書籍も参考にすることを推奨する。

他科目との関連

全ての科目で学んだことを応用するため、全ての科目と関連する。

備考

・保健衛生学科看護学の各分野に配属され、当該分野において、教授・准教授・講師・助教が指導教員（研究指導の責任者）となり、教員全員が指導にあたる。

・指導する学生数は原則として教授4名、准教授3名、講師2名、助教１名とする。

・分野配属は、学生の希望調査に基づき行われるが、各分野の受け入れ人数を鑑み、3年次前期までの成績（GPA）順で希望が優先される。

・各分野のゼミ開催日時は、時間割に記載された曜日や時間と異なる場合があるため、配属された分野のスケジュールを確認すること。これまでの授業評価を踏まえ、状況が許す限り、対面でのゼミを取り入れる等、学生が相談しやすい体制をつくる。不明点等があれば、適宜、配属分野の教員に相談すること。

連絡先（メールアドレス）

田中 真琴 : tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴 : オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012460				
科目名	AI 実践演習			科目 ID	MN-493600-S
担当教員	角　勇樹[SUMI Yuki]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：AI Practice Exercise

【科目責任者】角　勇樹

主な講義場所

Zoom による同期および非同期

授業の目的、概要等

各種モデルについての基本的概念を習得する。

プログラミングを行い、実行することにより AI について active learning を行う。

授業の到達目標

1) AI について様々な基本的概念を理解する

2) 実践して経験する

3) 応用として個々のニーズに応じたカスタマイズができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/16	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	Tkinter,Pillow による画像処理	IDE(Integrated Development Environment, 統合開発環境）の構築、Python 基本的文法、Tkinter の使い方、PIL の使い方	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習にてアニメ作成
2	10/30	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	オブジェクト指向とイベント処理	Python 基本的文法、Tkinter の使い方、PIL の使い方、オブジェクト指向とイベント処理、Nuitka による windows application 作成	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習にて電卓作成
3	11/6	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	ウインドウと画像処理	Tkinter,Pillow による画像処理、Nuitka による windows application 作成	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習にて画像編集ソフトの作成
4	11/27	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	深層学習 1	Backpropagation(逆誤差伝搬)、誤差関数、畳み込み(convolution neural network)、Max pooling、データ一拡張、k 分割交差検証、過学習、Dropout、GitHub、Web	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習(MNIST 画像分類)、Web 実装
5	12/4	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	深層学習 2	Batch normalization、残差ネットワーク（Residual network)、転移学習、GradCam	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習(転移学習による画像分類、eXception,GradCam)
6	12/11	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	深層学習 3	U-network　Segmentation	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習(犬と猫の Segmentation、YOLO による real time object detection)
7	12/18	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	深層学習 4	Transformer　GPT　BERT	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習(GPT2 による学習)

8	1/8	17:15–18:55	遠隔授業 (同期型)	深層学習 5	ChatGPT　LangChain	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習(ChatGPT、　LangChain)

授業方法

基本的概念を同期および非同期授業にて学習し、例として提示されたプログラムを改変して提示された課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

授業内容

課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

成績評価の方法

複数の課題提出内容により成績判定を行う

成績評価の基準

課題提出内容を相対評価し、成績をつける。課題提出を行わなかった場合、提出内容が要求水準を満たさないことが続いた場合には単位認定を行わない。

準備学習等についての具体的な指示

「医療と AI・ビッグデータ入門」を履修している必要がある。

Python について基本的な事項は理解していること。

試験の受験資格

課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

他科目との関連

「医療と AI・ビッグデータ入門」、「医療と AI・ビッグデータ応用」と　関連がある

履修上の注意事項

「医療と AI・ビッグデータ入門」を履修している必要がある。

連絡先(メールアドレス)

角　勇樹　:　ysumi.pulm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

角　勇樹　:　毎週 月-金 曜日 AM.9:00–PM.17:00　3 号館 16 階 呼吸器・神経系解析学教授室

(来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	012081				
科目名	Learning Medical English			科目ID	MN-492500-L
担当教員	大川 龍之介, 副島 友莉恵, 赤座 実穂, 太田 悠介[OKAWA Ryunosuke, SOEJIMA Yurie, AKAZA Miho, OTA Yusuke]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Learning Medical English

【科目責任者】大川 龍之介

主な講義場所

別途シラバスに記載。

授業の目的、概要等

現在、多くの人々が海外旅行し、多くの物資が世界中に運ばれ、多量の情報がインターネットで流れ、国際化が進んでいる。また明日を担う本学の看護学生、臨床検査学生は、世界を舞台にして活躍することが期待されている。そのためには、単なる日常英会話能力だけでなく、臨床の現場で用いる用語や患者との接遇に用いる用語など、医療における英語の知識を学ばなければならない。さらに、英語の文献を読む力、国際学会での英語のプレゼンテーション能力も身に着ける必要である。

本科目では前半では採血、検体検査、生理機能検査に関連した英語、患者への接遇について、後半では、国際誌の読み方、国際学会でのプレゼンテーションの仕方について学ぶ。募集の上限は看護、検査合わせて 12 名である。応募者が多い場合には書類、面接などにより選抜する。

授業の到達目標

本科目の到達目標は臨床の現場、国際誌、国際学会でのプレゼンテーションで用いる様々な医学英語を学び活用できることにある。学生は教科書にある基本的な英単語や語句を理解し記憶する事が求められる。

1)採血に関する英単語, 必要な会話ができる
2)血液検査に関する英単語, 必要な会話ができる
3)尿・糞便検査に関する英単語, 必要な会話ができる
4)生理機能検査に関する英単語, 必要な会話ができる
5)検体採取に関する英単語, 必要な会話ができる
6)文献の読み方について説明できる
7)国際学会での発表の仕方を説明できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/20	17:15-18:55	保健衛生学科講義室5	第1, 2章 やさしい英語, 役立つ英語, 血液検査	大川 龍之介	【到達目標】1), 2) 【学習方法】同期型講義 【事前学習】WebClass 講義スライド, 教科書
2	10/27	17:15-18:55	保健衛生学科講義室5	第3, 4章 尿検査, 便検査 採血に関するプレゼンテーション(アクティブラーニング)	大川 龍之介	【到達目標】2), 3) 【学習方法】同期型講義 【事前学習】WebClass 講義スライド, 教科書
3	11/10	17:15-18:55	保健衛生学科講義室5	第5～7章 生理機能検査①	赤座 実穂	【到達目標】4) 【学習方法】同期型講義 【事前学習】WebClass 講義スライド, 教科書
4	11/17	17:15-18:55	保健衛生学科講義室5	第8～11章 生理機能検査②	赤座 実穂	【到達目標】5) 【学習方法】同期型講義 【事前学習】WebClass 講義スライド, 教科書
5-6	12/1	15:25-18:55	保健衛生学科講義室5	第Ⅱ編 論文の読み方②	太田 悠介	【到達目標】6) 【学習方法】同期型講義 【事前学習】WebClass 講義スライド, 教科書
7	12/8	17:15-18:55	保健衛生学科講義室5	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション①	副島 友莉恵	【到達目標】7) 【学習方法】同期型講義 【事前学習】WebClass 講義スライド, 教科書
8	12/15	17:15-18:55	保健衛生学科講義室5	第Ⅱ編 国際学会でのプレゼンテーション②	副島 友莉恵	【到達目標】7) 【学習方法】同期型講義 【事前学習】WebClass 講義スライド, 教科書

授業方法

zoom または対面による講義形式。

授業内容

4 名の教員によるオムニバス形式

成績評価の方法

講義参加状況、小試験またはプレゼンテーションの成績、講義時の積極性により評価する。

1)講義の参加状況 10 点

2)小試験またはプレゼンテーションなどの成績 80 点

3)講義時の積極性 10 点

成績評価の基準

1), 2), 3)の合計が 60 点に達した場合に合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

毎回、授業前に、教科書の章を予習すること。また各担当教員の二回目の授業の最初に前回学習分の理解度を知るための小試験を行うので、復習をしておくこと。

試験の受験資格

授業に3分の2以上出席した者。

教科書

臨床検査技師のための医学英語 : 実用会話・文献の読み方／奈良信雄, 西元慶治著,奈良, 信雄,西元, 慶治,Petersen, Mark,:医歯薬出版, 2019

参考書

特に指定しない。

履修上の注意事項

3 回以上欠席の場合は不可とするので出席に注意すること。

備考

科目終了後に科目についてのアンケートを WebClass で実施する。

2024 年度の授業評価結果を踏まえ、2025 年度も引き続き、丁寧に指導・教育できる体制を整える。

連絡先(メールアドレス)

大川 龍之介:ohkawa.alc@tmd.ac.jp

太田 悠介:y-ota.micr@tmd.ac.jp

副島 友莉恵:soejima.mp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

大川 龍之介:特定の日時を確保できないためメールでアポイントメントを取ってください.

太田 悠介:随時(必ず事前に連絡を入れること)

副島 友莉恵:オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールで連絡すること。

3 号館 16 階

時間割番号	012088				
科目名	実践看護英語Ⅲ			科目ID	MN-492700-L
担当教員	近藤 暁子, 新津 晃右, Kor Patrick, Diana De, Jonathan Corliss, [KONDO Akiko, NIITU Kousuke, DIANA De , Corliss Jonathan]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practicum of English for NursingⅢ

【科目責任者】近藤暁子

主な講義場所

ZOOM、講義室 2

授業の目的、概要等

異文化や看護、健康、医療に関連する概念について英語で学ぶ。オンライン学習システムを使用して海外の学生と交流する。様々な文化についての記事を読み、海外の学生、留学生やクラスメートと英語でディスカッションを行う。日本の文化を理解し、日本文化以外を持つ対象に説明したり、ディスカッションする。また、日本の医療システムを理解し、海外の医療システムとの違いを理解する。これらの学習を通して異文化の理解とともにコミュニケーション能力を向上させ、国際性を高めることを目的とする。

授業の到達目標

1. 幅広い教養と高い専門知識・技術の修得

異文化を理解し、看護への応用について考察できる。日本文化/医療システムについて理解を深め、説明できる。

2. 医療人としての豊かな感性と人間性の形成

文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。

3. 問題提起・解決能力の修得

ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。

4. 自己学習能力・創造性の形成

ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。

5. 国際性の形成

海外の教員、学生及び留学生と建設的なディスカッションを行うことで、英語でのコミュニケーションに慣れ、雰囲気に影響されず、自ら躊躇なく発言できるようなコミュニケーション能力を身に付ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/9	08:50-10:30	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Orientation	近藤 暁子, 新津 晃右	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
2	4/18	08:50-10:30	保健衛生学科講義室 2	異文化理解	virtual empathy museum (VEM)	近藤 暁子	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
3	4/30	08:50-10:30	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Supporting the older people with cognitive impairment: Research and Education	Kor Patrick	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
4	5/1	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	異文化理解	Cultural Safety: Promoting Diversity in SIM-based	Diana De, 近藤 暁子	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システ

					Learning		ムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
5	5/2	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Group discussion about VEM	近藤 暁子	ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。
6	5/9	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Focus group discussion about activity with UK students	近藤 暁子	ディスカッションを通して他者との意見の違いを理解し、自分の意見を述べ建設的な議論ができる。
7	5/16	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	自文化理解	Presentation and discussion about Japanese culture and medical system	近藤 暁子	異文化を理解し、看護への応用について考察できる。日本文化/医療システムについて理解を深め、説明できる。
8	5/30	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Cultures of Death and Dying	Jonathan Corliss, 近藤 暁子	ディスカッションを通して新たな視点を自身のアイデンティティーに取り入れて表現できる。
9	6/6	08:50-10:30	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Presentation about what they learned in this course.	近藤 暁子	文化の異なる海外の大学の学生、外国人講師、留学生とのディスカッションを通して様々な文化、社会的視点、健康問題、医療システムについて類似点や相違点を理解し、英語で理解したことを述べることができる。
10	6/6	17:15-18:55	保健衛生学科講義室2	異文化理解	Cultures of Nursing	近藤 暁子, Jonathan Corliss	海外の教員、学生及び留学生と建設的なディスカッションを行うことで、英語でのコミュニケーションに慣れ、躊躇なく行えるようなコミュニケーション能力を身に付ける。

授業方法

講義と演習すべて英語で実施する。

講義室、オンラインを併用し、海外の学生や教員、留学生と交流する。

授業内容

1) オンラインシステムを使用して英国の大学の学生と交流する。

2) ワシントン大学の教員の米国看護事情について講義およびディスカッションを行う。

3) 香港の教員の講義およびディスカッションを行う。

4) 英国の教員の講義により文化的安全性について学ぶ。

5) ネイティブの英語教員、留学生、クラスメートと指定したトピックについてディスカッションする。

6)文化/医療システムのプレゼンテーションを行ってディスカッションする。

成績評価の方法

全体的参加度:30%、Virtual Empathy Museum の presentation and discussion:30%、自文化/医療システムのプレゼンテーション:20%、final presentation: 20%

1) 参加度:授業中に積極的に発言する態度などを評価する。遅刻・早退は 2 回で 1 回の欠席とする。45 分以上遅れた場合はその授業へ出席とは認められない(30%)。

2) Virtual Empathy Museum を視聴してグループでポスターを作成し、英国の大学の学生とオンラインを通じてライブでディスカッションする(30%)。

3)日本の医療/文化に関する内容を調べて留学生に対して発表して質疑応答する(30%)

4) 自文化プレゼンテーション:日本の文化の 1 つを取り上げ、英語でプレゼンテーションし、留学生とディスカッションョンを行う(20%)。

成績評価の基準

出席日数が 3 分の 2 以上あることを前提とした上で、上記合計点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格である。

準備学習等についての具体的な指示

原則として TOEFL450 点以上を受講要件とする。

試験の受験資格

試験は行わないが、単位認定には 2/3 の出席を要件とする。

教科書

Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed／Margaret M. Andrews & Joyceen S. Boyle：LWW, 2015

WebClass にて配布

参考書

Margaret M. Andrews, Joyceen S. Boyle Transcultural Concepts in Nursing Care 7th ed 2016 Wolters Kluwer

他科目との関連

国際保健看護学Ⅰ,国際保健看護学Ⅱ, 国際保健福祉

履修上の注意事項

ZOOM 使用時講義中は原則画面を ON にすること。 指定された記事を読んで分からない単語を調べてくること。

備考

昨年度の学生評価より

■zoom ではなくて対面を増やすべきだと思う。⇒対面の日を増やしました。

■話しやすい環境づくり

■グループワークの時に発言する生徒としない生徒の差が顕著だったため、そのような

グループが多い場合は進行役の生徒を決めても良いのではと思った⇒進行訳の学生を決めたり、留学生にサポートしてもらいます。

■グループに分かれてのディスカッションで、これから行われることを知っているのが

一部の人のみに限られていたのが分かりにくかった。事前にディスカッションの内容

などについて伝えてもらえれば事前に調べたりなど準備ができて良いと思う。

⇒事前に課題をお伝えするようにします。

■出席確認方法が不明瞭な他、たまに一方向すぎるときがあり、参加している感じがし

ませんでした。

⇒こちらもいろいろ皆さんが発言しやすい方法を考えますが、皆さんからも授業中に積極的な発言や他の学生が発言しやすい雰囲気づくりに協力お願いします。

連絡先(メールアドレス)

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

時間割番号	012084				
科目名	国際保健福祉 D			科目 ID	MN-492600-Z
担当教員	近藤 暁子, 谷口 麻希, 川上 明希, 廣岡 佳代, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志[KONDO Akiko, TANIGUCHI Maki, KAWAKAMI Aki, HIROOKA Kayo, OZASA Yuka, YUMOTO Yoshie, YAGO Satoshi]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名：Global Health and welfare D

【科目責任者】国際看護開発学　近藤暁子

主な講義場所

海外短期研修プログラム　研修機関先

＜夏期＞

・ ウーロンゴン大学(オーストラリア)
・ マヒドン大学(タイ)
・ 台湾国防医学院

＜春期＞

・ ワシントン大学(米国)

授業の目的、概要等

諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、異文化社会での健康問題や、異なる保健医療システムを知ると共に 日本との相違を認識・体感し、グローバルな視点で看護の対象となる人々や、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性および国際感覚を養う。

授業の到達目標

1)研修国の保健医療福祉制度や事情および看護職の役割・活動状況について理解する。

2)1)で理解した内容について言語化し、研修報告書を作成する。

2)海外研修報告会において、1)で理解した内容および研修国での経験等について、第三者に適切に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/23	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設, 保健福祉施設, 教育機関における見学・講義・実習等)	谷口 麻希, 近藤 暁子, 川上 明希, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志, 廣岡 佳代	実施されるプログラムの内容を理解し、参加のための準備を開始する。
2	11/5	17:15-18:55	遠隔授業(同期型)	国際保健福祉	海外研修報告会	谷口 麻希, 近藤 暁子, 川上 明希, 小笹 由香, 湯本 淑江, 矢郷 哲志, 廣岡 佳代	海外研修を通じた体験学習を行う。

授業方法

事前研修への参加、海外研修を通じた体験学習、海外研修報告会への参加(プレゼンテーションの実施等)

授業内容

諸外国の教育機関、医療施設、保健福祉施設、老健施設における見学・講義・実習・保健活動・グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション等

成績評価の方法

・ 研修前の準備、事前学修への参加・活動状況
・ 研修期間中の見学・講義・実習・他活動等への参加状況
・ 研修報告会における発表状況
・ 研修報告書

成績評価の基準

事前学習、英語によるコミュニケーション、英語によるプレゼンテーション、異文化理解、研修国の保健医療制度・サービスの理解、保健医療福祉に関する実践的知識の習得、保健医療福祉に関する研究知識の習得、事後報告について、5 段階評価とする。

上記合計点が 100～60 点が合格、59～0 点が不合格である。

準備学習等についての具体的な指示

・実践看護英語 I/II/III を受講することを参加要件とする（事前に受講していない場合は必ず事後に受講すること）。
・渡航国や自国の政情や社会情勢、文化、保健医療福祉事情、教育制度等の情報を事前に十分得て、事前に研修計画をすること
・学内における英語運用力向上のための講義やイベント等に積極的に参加し、研修で困らないように、語学力の向上に努めること
・派遣前オリエンテーションへ参加し、危機管理など情報収集すること

試験の受験資格

試験は行わない

構成ユニット

海外短期研修プログラムへの参加となる。
参加プログラムごとに数回実施される事前研修に必ず参加する。
海外研修へ参加し積極的に活動に取り組む。帰国後に開催予定の海外研修報告会に参加し、発表を行う。

他科目との関連

国際保健福祉，実践看護英語，国際保健看護学 I/II

履修上の注意事項

・ 4 月 23 日に開催される合同オリエンテーションに参加すること ・ 海外短期研修プログラムへの参加には、成績・語学力、及び面接評価による選考があることを理解し、十分準備をしておくこと（プログラムにより参加要件を確認すること） ・ 実践看護英語 I/II/III を受講することが必須である ・ 渡航前準備として、危機管理の観点から、所定の手続きを速やかに行うこと ・ 集団行動を伴う海外研修のため、担当教員により定められたスケジュールに則って行動すること

備考

本科目履修後のお願い
・ 研修参加後は、大学説明会等への参加や、下級生・後輩学生への情報提供等、積極的に大学の教育に協力すること
保健衛生学科 海外研修ガイダンスでの発表、オープンキャンパス 他
・ 本学の海外協定校等からの交換留学生のサポート、また海外からの研究者・教育者・実践者等との国際交流を推進するボランティアとして積極的に活動すること
学生評価に基づく改善点
■ワクチン接種など、昨年度も必要だったものなどは早めに連絡してほしかった。実習の忙しい時期に慌てて行うことになってしまった。
→直前にならないと予定が決まらないことも少なからずあり、申し訳ありません。
■プログラム参加者は指導教員と参加が認められた学生のみで良いと思った。
→そのようにします。
■アメリカの学部の看護学生との交流ができたらもっと面白かったと思う。
→で看護の学生はとても忙しいようなのですが、きるだけ交流できるようお願いします。

連絡先（メールアドレス）

近藤 暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp
谷口 麻希:taniguchi.maki@tmd.ac.jp
川上 明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp 3 号館 17F
小笹 由香:yuka.bec@tmd.ac.jp
矢郷 哲志:sycfn@tmd.ac.jp 3 号館 18F
湯本 淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F
廣岡 佳代:hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤 暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。
国際看護開発学教授室（3 号館 18 階）
谷口 麻希:毎週水曜日 AM9:30-10:30 医学部3号館 18 階 精神保健看護学分野 研究室2
川上 明希:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
小笹 由香:平日 10:00-17:00 3 号館 17 階 ﾘﾌﾟﾛﾀﾞｸﾃｨﾌﾞﾍﾙｽ看護学研究室
事前にメールでアポイント取ってください。
湯本 淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
廣岡 佳代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。
3 号館 18 階 在宅・緩和ケア看護学分野

時間割番号	012102				
科目名	インディペンデントスタディ C			科目 ID	MN-493000-S
担当教員	田中　真琴[TANAKA Makoto]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Independent study C

【科目責任者】田中　真琴

【担当教員】専攻主任、学年担任

授業の目的、概要等

人口の高齢化、自然災害、新型感染症パンデミック等、変化し続ける医療や看護を取り巻く状況に応じて、看護実践や研究を発展させ続けていくために、適切な方法で情報を探求しそれらを分析・統合して新たな知見を得ることは、看護職者に求められる重要や役割の一つである。学生自らが、受け入れ先組織・企業等を探し、受け入れ先と授業内容を作り上げ、得られた情報を分析・統合して、将来の状況変化に対応しながら、クリエイティブで柔軟な思考力に基づいて看護実践や研究を発展させていくために必要な知識やスキルの習得や向上を目指す。

授業の到達目標

1. 学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等を探し、適切な学習計画を立てることができる。
2. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合するための知識・スキルを獲得する。
3. 学生が興味・関心を寄せる課題に関する新たな知見を得たり課題を解決したりしていくために、受け入れ先における学習経験を通じて得られた情報を分析・統合した結果を説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/14	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題1	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
2	5/12	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題2	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
3	6/9	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題3	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
4	6/30	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題4	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
5	9/8	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題5	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
6	10/6	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題6	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加1	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
7	11/10	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題7	適切な情報が得られる組織や企業等にお	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活

					ける活動への参加にもとづく情報の分析・統合		動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する
8	12/1	13:30-15:10	未定	学生が興味・関心を寄せる課題8	適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加にもとづく情報の分析・統合・まとめ	田中　真琴	目標1.2.3・プロジェクトやインターン参加計画学生プレゼン、企業等での参加活動、学内での報告等　＊授業日程は仮であり、個別に設定する

授業方法

各学生が興味・関心を寄せる課題に基づいて、学生自らが担当教員と相談の上、個別に具体的な学習目標・学習計画を作成し、主体的に学習する。

1. 履修登録後は、以下のように行う。
   ①履修を希望する学生は、インデペンデントスタディとして取り組みたい課題について、科目担当教員(学年担任、専攻主任)と相談し、その課題の指導に適する指導教員を決める。(指導教員は原則、看護学専攻の専任教員とする。)
   ②当該学生は、インデペンデントスタディ学習計画書(様式)(学習目標・学習内容・学習スケジュール等を含む)を作成し、その内容について、受け入れ先機関および指導教員の助言・指導を受ける。学習計画書の内容・期間は、1単位に相当するものであること。
   ③作成されたインデペンデントスタディ学習計画書について、科目担当教員(学年担任)が内容等を確認し当該科目として十分であると認められた場合に受講開始となる。
2. 授業方法
   ①インデペンデントスタディ学習計画書にしたがって、受け入れ先組織・企業等において、学生が興味・関心を寄せる課題に関する学習を進める。
   ②学習終了後、学んだ内容について情報を分析・統合し、報告書を作成し、科目担当教員(学年担任、専攻主任)へ提出する。

※本科目では、受け入れ先組織・企業等を探す際に、ベンチャー・スタートアップを利用することも可能である。
ベンチャー・スタートアップにリストアップされた会社に関するエントリーシートを学生が閲覧し、自らの関心と合致する企業があれば、ベンチャー・スタートアップ担当教員、科目担当教員(学年担任、専攻主任)等と相談の上、ベンチャー・スタートアップのルールに則って当該企業に連絡する。受入れ先組織・企業等候補の担当者と面談などを行った後、両者の合意が得られた場合マッチング成立となる。

授業内容

学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織や企業等における活動への参加、得られた情報の分析・統合
(例:医療・介護施設、企業、ベンチャー企業、ボランティア活動など)

成績評価の方法

以下の点について成績評価を行う。
1)参加状況・活動計画の立案状況(40%)
2)受入れ先組織等での活動状況(10%)
3)活動報告会での発表、報告書の提出状況・内容:学習目標の到達状況(50%)
＊受け入れ先からの詳細なフィードバックを得ることが難しいため報告会等で評価に重点をおく

成績評価の基準

60点未満:不可、60-69:C、70-79:B、80-89:A、90点以上:A＋

準備学習等についての具体的な指示

・各学生が興味・関心を寄せる課題について適切な情報が得られる組織・企業等について、各自で情報を探索しておくこと。
・学習計画書の作成と計画内容の実現に必要な受入れ先等に関する情報収集を適切に行う。
・各学生が興味・関心を寄せる課題に関する知識やスキルの習得に努める。
・学外組織において学習を行うことから、本学学生および看護を学ぶ者として適確な行動をとれるよう、コミュニケーション力、社会人としての行動や態度等に関する知識やスキルを身に着けておくこと。
・学外組織で学習を行うことから、学習計画に則って学習が進んでいることを、適宜、指導教員に報告する行動を身に着けておくこと。

試験の受験資格

試験は実施しない。

教科書

なし

参考書

なし

他科目との関連

学生が興味・関心を寄せる課題によって関連の深い科目は異なる。

履修上の注意事項

1)学生が興味・関心を寄せる課題にもとづく科目であるため、他の科目とは異なり、内容も受入れ先も受講者ごとに異なる。 2)受入れ先組織・企業等から重要な情報(個人情報を含む)の持ち出しをしないこと。 3)学習は、学生自らが指導教員と共に立てた学習計画に則って進めること。 4)受入れ先での学習期間中は、指導教員に進捗状況や学習上の困難等を、適宜報告・相談すること。 5)受入れ先担当者、指導教員や科目担当教員の指示に従って、学習を進めること。授業日時・内容(順序等)は変更することがある。

備考

授業スケジュール(授業明細)は、科目の特性上、仮での記載しており、実際とは異なる。

履修者と日程調整を行い、保健衛生学科講義室 1～4、実習室 1～5 などで対面、あるいは zoom で実施するかを決定する。

前年度授業評価アンケート好評のため大きな変更はない

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴 : tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

オフィスアワー

田中 真琴 : オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012077				
科目名	地域保健看護学Ⅲ			科目ID	MN-492100-L
担当教員	月野木 ルミ, 山口 忍, 小倉 朗子, 野村 政子, 菊池 宏幸, 綾部 明江, 清水 洋子, 田渕 紗也香, 柳瀬 裕貴 [TSUKINOKI Rumi, YAMAGUCHI Shinobu, Akiko Ogura, NOMURA Masako, KIKUCHI Hiroyuki, AYABE Akie, SHIMIZU Yoko, TABUCHI Sayaka, YANASE Hiroki]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Community Health NursingⅢ

【科目責任者】:月野木 ルミ

主な講義場所

・遠隔授業(Zoom 同期型)/ハイフレックス

・保健衛生学講義室 4(3 号館 7 階)ほか

授業の目的、概要等

地域で生活している人々に対する保健看護活動について学ぶ。成人高齢者と母子・心身障害児及び, 感染症・災害・健康危機管理における, 地域保健システムとヘルスニーズのアセスメント, 保健看護活動の展開方法, 評価の視点を講義およびグループワークなどを活用したアクティブラーニングを含む一連の講義から習得する。

授業の到達目標

1)「1～15 回」成人高齢者・母子・心身障害児及び, 感染症・災害・健康危機管理における保健看護活動の目的と基盤になる地域保健システムについて理解する。

2)「7～8 回」地域における看護管理活動の展開方法と評価について理解する。

3)「2 回」地域における災害・健康危機管理時の保健看護活動の展開と評価ついて理解する。

4)「3～4 回」地区組織活動の目的、展開について理解する。

5)「5, 6, 14,15 回」地域における母子の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。

6)「1, 9, 11,13 回」地域における成人、高齢者、難病者の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。

7)「10 回」地域における感染症に対する保健看護活動の展開方法と評価ついて理解する。

8)「12 回」心身障害児の保健看護活動の展開方法と評価について理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/14	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	精神保健活動の展開	田渕 紗也香	【到達目標】1)、6) 【学習方法】遠隔講義
2	4/14	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	地域における感染症対策の目的と疫学		【到達目標】1)、3) 【学習方法】遠隔講義、
3-4	4/21	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	地区組織活動の目的、展開	綾部 明江	【到達目標】1)、4) 【学習方法】遠隔講義、集合学習
5-6	4/24	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	母子保健看護活動の目的と保健医療福祉システム 母子保健活動の展開(妊産婦への保健看護活動)	清水 洋子	【到達目標】1)、5) 【学習方法】遠隔講義、集合学習 【その他】感想レポート
7-8	5/12	13:30-17:05	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	地域における看護管理活動	菊池 宏幸	【到達目標】1)、2) 【学習方法】ハイフレックス講義 【その他】感想レポート
9	5/19	13:30-15:10	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	難病者保健看護活動の展開	小倉 朗子	【到達目標】1)、6) 【学習方法】遠隔講義
10	5/19	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	地域保健看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核, 感染症, エイズに対する保健活動の展開)	柳瀬 裕貴	【到達目標】1)、7) 【学習方法】遠隔講義、集合学習、グループワーク
11	5/26	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学Ⅲ	高齢者保健看護活動(介護予防、高齢者への虐待予防活動)	月野木 ルミ	【到達目標】1)、6) 【学習方法】対面講義 【その他】課題レポート

12	6/2	13:30-15:10	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	心身障害児療育と保健指導	野村 政子	【到達目標】1)、8) 【学習方法】ハイフレックス講義、集合学習 【その他】感想レポート
13	6/2	15:25-17:05	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	成人高齢者保健看護活動の展開(健康診査、健康相談)	山口 忍	【到達目標】1)、6) 【学習方法】ハイフレックス講義
14-15	6/9	13:30-17:05	保健衛生学科講義室4	地域保健看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(乳幼児健診, 相談, 学級) 母子保健活動の展開(ハイリスク母子への活動)	清水 洋子	【到達目標】1)、5) 【学習方法】ハイフレックス講義、集合学習 【その他】感想レポート

授業方法

講義形式の授業に加え、グループワーク、グループ討論などのアクティブラーニングを取り入れるほか、事例や統計資料を活用した学習展開を学生が主体的に行う。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

・対面授業への出欠、Zoom ログイン記録から確認する参加状況。

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

・授業中の取り組みや反応を評価するため、原則 Zoom のカメラはオンとする。

・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加状況を評価する。

4)課題レポート

・レポートの期限内提出状況・内容により評価する。

3)定期試験

※教科書や配布資料等に記載された英語(単語や文章)、授業内容に関連する過去の国家試験問題も出題範囲とする。

成績評価の基準

1)出席状況(欠席、遅刻等を減点)

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度(15%)

3)課題レポート(15%)

4)期末テスト(70%)

上記 1)～4)の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおき、グループ討議時には、積極的に参加すること。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。

試験の受験資格

本学試験規則に準じ、授業に 2／3 以上出席していること。

教科書

公衆衛生看護学 第 3 版／上野昌江, 和泉京子編集,上野, 昌江,和泉, 京子,:中央法規出版, 2021

国民衛生の動向 2024/2025(第 71 巻第 9 号)／一般財団法人 厚生労働統計 協会:厚生労働統計協会, 2024

Educational Video Online (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第 4 巻 新潟県中越沖地震にみる災害看護活動／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2007

Educational Video Online (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第 1 巻 公衆衛生看護活動における健康教育／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2013

Educational Video Online 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2007・2008/2013・1014

参考書

最新保健学講座 3 公衆衛生看護活動論 1 ライフステージの特性と保健活動／金川克子 編:メヂカルフレンド社, 2015

最新保健学講座 4 公衆衛生看護活動論 2 心身の健康問題と保健活動／金川克子 編:メヂカルフレンド社, 2015

新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度 2 公衆衛生学／佐々木明子、井原一成 編集:メヂカルフレンド社, 2016

公衆衛生看護学概論 第 6 版 (標準保健師講座)／標, 美奈子,:医学書院, 2022

新体系 看護学全書 統合分野 看護の統合と実践 災害看護学／辺見弘 監修、小井土雄一、山西文子 編:メヂカルフレンド社, 2013
最新 保健学講座 7 保健医療福祉行政論／野村陽子 編:メヂカルフレンド社, 2015
新版 保健師業務要覧 第 4 版 2024 年版／井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編,井伊, 久美子, 勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951−,:日本看護協会出版会, 2024
最新 公衆衛生看護学 第 3 版 2024 年版 各論 1／宮崎, 美砂子,北山, 三津子,春山, 早苗,田村, 須賀子,宮﨑美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子 編集:日本看護協会出版会, 2024.2
最新 公衆衛生看護学 第 3 版 2024 年版 各論 2／宮崎, 美砂子,北山, 三津子,春山, 早苗,田村, 須賀子,宮﨑美砂子, 北山三津子, 春山早苗, 田村須賀子 編集:日本看護協会出版会, 2024.2
公衆衛生看護学／和泉, 京子,上野, 昌江,和泉京子, 上野昌江 編集:中央法規出版, 2025.1

他科目との関連

成人看護学, 老年看護学, 母性看護学, 小児看護学, 疫学, 保健統計学, 保健医療福祉制度論などの科目の応用を必要とする。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。 5)授業日時・内容(順序等)・方法は変更することがある。

備考

2024 年度の科目評価において授業内容については特段改善意見が寄せられなかったため、前年度と同様の授業編成とする。

連絡先(メールアドレス)

月野木 ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月野木 ルミ:メールにてアポイントを取ること。 3 号館 19 階

時間割番号	012111				
科目名	地域保健看護学演習Ⅰ			科目ID	MN-492300-S
担当教員	月野木 ルミ, 森田 久美子, 鹿島田 祐子[TSUKINOKI Rumi, MORITA Kumiko, KASHIMADA Yuko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Community Health Nursing Ⅰ

【科目責任者】:月野木 ルミ

主な講義場所

・保健衛生学講義室 4(3 号館 7 階)

・実習室 2～4(3 号館 17 階)

授業の目的、概要等

地域保健活動の目的、内容に実際を理解し、地域診断に基づく健康課題の明確化と施策化について演習を通して学び考察する。また、地域住民に対する健康教育の展開を演習を通して理解する。

授業の到達目標

1)「1～4, 7～15 回目」地域の人々の生活, 地域保健システム, 地域の社会資源など地域特性について理解する。

2)「1～4, 7～15 回目」地域診断の目的と展開方法, 評価方法を学ぶ。

3)「1～4, 7～15 回目」特定の地域を設定し、グループで地域診断を展開する。

4)「1～4, 7～15 回目」グループで展開した地域診断のプロセス、結果を発表し、討議を通して理解を深める。

5)「5～6 回目」家庭訪問、乳幼児健康診断における各種計測・問診などによる情報収集、アセスメント、相談対応・保健指導といった保健師の支援方法を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/10	10:45-15:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学演習Ⅰ	わが国の地域保健看護活動, 展開の指針	月野木 ルミ	【到達目標】1)、2)、3)、4) 【学習方法】対面講義、グループワーク,PBL
3-4	4/17	10:45-15:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学演習Ⅰ	地域診断演習	森田 久美子, 月野木 ルミ, 鹿島田 祐子	【到達目標】1)、2)、3)、4) 【学習方法】対面講義、グループワーク,PBL
5-6	5/8	13:30-17:05	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 2, 看護学実習室 3, 看護学実習室 4	地域保健看護学演習Ⅰ	地域診断演習 家庭訪問演習 乳幼児健診演習	森田 久美子, 月野木 ルミ	【到達目標】5) 【学習方法】対面講義、グループワーク, 演習
7-8	5/15	10:45-15:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学演習Ⅰ	地域診断演習 地域保健看護学実習オリエンテーション	月野木 ルミ, 森田 久美子, 鹿島田 祐子	【到達目標】1)、2)、3)、4) 【学習方法】対面講義、グループワーク,PBL 【その他】オリエンテーション
9-11	5/22	10:45-17:05	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習Ⅰ	地域診断演習	月野木 ルミ	【到達目標】1)、2)、3)、4) 【学習方法】対面講義、グループワーク,PBL
12-13	5/29	10:45-15:10	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学演習Ⅰ	地域診断演習(グループ別指導)	月野木 ルミ, 森田 久美子	【到達目標】1)、2)、3)、4) 【学習方法】対面講義、グループワーク,PBL
14-15	6/12	13:30-17:05	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学演習Ⅰ	地域診断演習発表会	月野木 ルミ, 森田 久美子	【到達目標】1)、2)、3)、4) 【学習方法】対面講義、課題発表、成果共有

授業方法

事前課題に基づくグループ討議、グループワークによる調査学習、学習成果のプレゼンテーションおよびロールプレイ等アクティブラーニングを積極的に用いた演習を行う。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

・対面授業への出欠、Zoom ログイン記録から確認する参加状況。

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

・授業中の取り組みや反応を評価するため、原則 Zoom のカメラはオンとする。

・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加状況を評価する。

3)課題レポート

・レポートの期限内提出状況・内容により評価する。

成績評価の基準

1)出席状況(欠席、遅刻を減点する)

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度、発表(30%)

3)課題レポート(70%)

上記 1)～3)の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いて振り返ることが望ましい。

実習自治体の HP や資料を確認する。また、地区踏査や保健師からの意見を収集する。

試験の受験資格

本科目では定期試験は実施しない。

教科書

公衆衛生看護学／上野昌江, 和泉京子編集,上野, 昌江,和泉, 京子,:中央法規出版, 2021

国民衛生の動向 2024/2025)／厚生統計協会 編:厚生労働統計協会, 2024

Educational Video Online (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第 2 巻 家庭訪問の展開とコミュニケーション技術／錦織正子他監修:丸善出版株式会社, 2007

Educational Video Online (DVD)続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第 2 巻 公衆衛生看護学活動における健康相談／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2013

Educational Video Online (DVD)続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第 3 巻 公衆衛生看護学活動における地区組織活動・自主グループ／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2014

教科書 6 (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第 4 巻 公衆衛生看護学活動における地域診断、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2014

教科書 7 (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2007

教科書 8 【教材用】母子健康手帳 はいはい(C) H31 年度版、株式会社母子保健事業団、2019

教科書 9 (DVD) 新・地域看護活動とヘルスプロモーション 第 1 巻 地域ケアシステム、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2019

参考書

コミュニティアズパートナー:地域看護学の理論と実際／エリザベス・T. アンダーソン、ジュディス・マクファーレイン 編、金川克子、早川和生 監訳:医学書院, 2007

最新 保健学講座 5 公衆衛生看護管理論／平野かよ子 編:メヂカルフレンド社, 2015

地域看護診断／金川克子、田高悦子 編:東京大学出版会, 2011

保健師業務要覧／井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編,井伊, 久美子,勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951-,:日本看護協会出版会, 2023

Community As Partner: Theory And Practice in Nursing(8th Edition)／Elizabeth T. Anderson、Judith McFarlane 著:Wolters Kluwer, 2018

最新保健学講座 別巻 1 健康教育論／宮坂忠夫 編:メヂカルフレンド社, 2013

地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド : 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案／佐伯和子編著,佐伯, 和子,:医歯薬出版, 2018

公衆衛生看護学 第3版／上野 昌江 編集,和泉 京子 編集,上野 昌江,和泉 京子,:中央法規出版, 2021-12-13

五訂版 GIS と地理空間情報: ArcGIS 10.7 と ArcGIS Pro 2.3 の活用／橋本 雄一:古今書院, 2019

Arc GIS 10 で地域分析入門／大場 亨:成文堂, 2019

参考書 10 河端瑞貴 経済・政策分析のための GIS 入門 2:空間統計ツールと応用: ArcGIS Pro 対応 古今書院 2018 年

他科目との関連

公衆衛生看護学で学んだ知識を学生各自が総合的に活用する必要がある。また，この科目は地域保健看護学実習を行う上で必須の知識と技術を学ぶための科目である。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。 5)授業日時・内容(順序等)・方法および場所は変更することがある。

備考

実習に関する情報を個人の SNS 等に載せない。

2024 年度の科目評価(旧地域保健看護学演習)においてわかりにくさの指摘があった課題内容や取り組み方法等の説明手法について、より整理しわかりやすい形で周知するように授業内で使用する資料などを改善した。

連絡先(メールアドレス)

月野木 ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

森田 久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月野木 ルミ:メールにてアポイントを取ること。 3 号館 19 階

森田 久美子:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012112				
科目名	地域保健看護学演習Ⅱ			科目ID	MN-492400-S
担当教員	月野木 ルミ, 森田 久美子[TSUKINOKI Rumi, MORITA Kumiko]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Seminar of Community Health Nursing Ⅱ

【科目責任者】:月野木 ルミ

主な講義場所

・保健衛生学講義室 4(3 号館 7 階)ほか

授業の目的、概要等

地域保健看護活動の目的、内容の実際を学ぶ。また、地域診断に基づく健康課題の明確化と施策化の展開手法を学ぶ。また、地域保健活動における健康教育の展開について演習を通して学習する。

授業の到達目標

1)「1～8 回目」実習自治体における地域保健活動の目的、根拠法令、内容について理解する。

2)「1～8 回目」実習自治体における地域診断に基づく健康課題を明確化し、施策化の展開方法を理解する。

3)「1～8 回目」実習自治体における健康教育の企画、実施、評価方法について理解する。

4)「9-10 回目」発表討議を通して、様々な自治体における地域保健活動の展開について考察する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	9/9	08:50-17:05	保健衛生学科講義室 4	地域保健看護学演習Ⅱ	地域診断演習	月野木 ルミ, 森田 久美子	【到達目標】1)、2)、3) 【学習 方法】対面講義、グループワーク,PBL
5-8	9/16	08:50-17:05	保健衛生学科講義室 1	地域保健看護学演習Ⅱ	地域診断演習	月野木 ルミ, 森田 久美子	【到達目標】1)、2)、3) 【学習 方法】対面講義、グループワーク,PBL
9-10	11/27	13:30-17:05	保健衛生学科講義室 4, 保健衛生学科講義室 2, 保健衛生学科講義室 3	地域保健看護学演習Ⅱ	実習発表会	月野木 ルミ, 森田 久美子	【到達目標】4) 【学習 方法】対面講義、成果発表

授業方法

事前課題に基づくグループ討議、グループワークによる調査学習、学習成果のプレゼンテーションおよびロールプレイ等アクティブラーニングを積極的に用いた演習を行う。

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

・対面授業への出欠。

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度

・授業中の取り組みや反応を評価するため、原則 Zoom のカメラはオンとする。

・授業中の発言状況、グループワーク・資料の作成・プレゼンテーションへの責任ある参加状況を評価する。

3)課題レポート

・レポートの期限内提出状況・内容により評価する。

成績評価の基準

1)出席状況(欠席、遅刻を減点する)

2)課題への取り組み姿勢・授業への参加態度、発表(30%)

3)課題レポート(70%)

上記 1)～3)の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いて振り返ることが望ましい。

試験の受験資格

本科目では定期試験は実施しない。

教科書

公衆衛生看護学／上野昌江, 和泉京子編集,上野, 昌江,和泉, 京子,:中央法規出版, 2021

国民衛生の動向 2024/2025／厚生統計協会 編:厚生労働統計協会, 2024

Educational Video Online (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション 第2巻 家庭訪問の展開とコミュニケーション技術／錦織正子他監修:丸善出版株式会社, 2007

Educational Video Online (DVD)続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第2巻 公衆衛生看護学活動における健康相談／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2013

Educational Video Online (DVD)続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第3巻 公衆衛生看護学活動における地区組織活動・自主グループ／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2014

教科書6 (DVD) 続・地域看護活動とヘルスプロモーション 第4巻 公衆衛生看護学活動における地域診断、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2014

教科書7 (DVD) 地域看護活動とヘルスプロモーション/続・地域看護活動とヘルスプロモーション、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2007

教科書8 【教材用】母子健康手帳 はいはい(C) H31年度版、株式会社母子保健事業団、2019

教科書9 (DVD) 新・地域看護活動とヘルスプロモーション 第1巻 地域ケアシステム、佐々木明子他監修、丸善出版株式会社、2019

参考書

コミュニティアズパートナー:地域看護学の理論と実際／エリザベス・T. アンダーソン、ジュディス・マクファーレイン 編、金川克子、早川和生 監訳:医学書院, 2007

最新 保健学講座5 公衆衛生看護管理論／平野かよ子 編:メヂカルフレンド社, 2015

地域看護診断／金川克子、田高悦子 編:東京大学出版会, 2011

保健師業務要覧／井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編,井伊, 久美子,勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951-,:日本看護協会出版会, 2023

Community As Partner: Theory And Practice in Nursing(8th Edition)／Elizabeth T. Anderson、Judith McFarlane 著:Wolters Kluwer, 2018

最新保健学講座 別巻1 健康教育論／宮坂忠夫 編:メヂカルフレンド社, 2013

地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド : 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案／佐伯和子編著,佐伯, 和子,:医歯薬出版, 2018

公衆衛生看護学 第3版／上野 昌江 編集,和泉 京子 編集,上野 昌江,和泉 京子,:中央法規出版, 2021-12-13

五訂版 GISと地理空間情報: ArcGIS 10.7とArcGIS Pro 2.3の活用／橋本 雄一:古今書院, 2019

Arc GIS 10で地域分析入門／大場 亨:成文堂, 2019

参考書10 河端瑞貴 経済・政策分析のための GIS 入門 2:空間統計ツールと応用: ArcGIS Pro 対応 古今書院 2018年

他科目との関連

地域保健看護学で学んだ知識を学生各自が総合的に活用する必要がある。また, この科目は地域保健看護学実習を行う上で必須の知識と技術を学ぶための科目である。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。 2)授業中にスクリーン、Zoom 等の画面を撮影することを禁止する。 3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。 4)WebClass やメールを通じた資料配布・連絡を行う場合があるので、担当教員の指示に従い確認すること。 5)授業日時・内容(順序等)・方法および場所は変更することがある。 6) 実習スケジュールに応じて、一部学生の演習日時を変更があるため、担当教員の指示に従い確認する。

備考

2024 年度の科目評価(旧地域保健看護学演習)においてわかりにくさの指摘があった課題内容や取り組み方法等の説明手法について、より整理しわかりやすい形で周知するように授業内で使用する資料などを改善した。

連絡先(メールアドレス)

月野木 ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

森田 久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月野木 ルミ:メールにてアポイントを取ること。 3号館19階

森田 久美子:10:00-17:00 3号館15階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012079A				
科目名	地域保健看護学実習			科目ID	MN-493200-E
担当教員	月野木 ルミ, 森田 久美子[TSUKINOKI Rumi, MORITA Kumiko]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	4	単位数	4
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of Community Health Nursing

【科目責任者】:月野木 ルミ

主な講義場所

・各実習施設

・保健衛生学講義室 1(3 号館 18 階)

・保健衛生学講義室 2(3 号館 8 階)

・保健衛生学講義室 3(3 号館 8 階)

・保健衛生学講義室 4(3 号館 7 階)

・実習室 3、4(3 号館 17 階)

授業の目的、概要等

【保健所・保健センター】

地域保健活動の第一線機関である保健所・保健センターの役割と機能を理解する。また, 地域保健看護活動の意義と保健師の役割を理解する。地域特性をふまえて健康問題をとらえることの必要性を理解し, 家庭や地域社会で生活する人々に対する保健・医療・福祉活動を学ぶ。また, 地域保健における看護管理の機能について理解する。

さらに, グループワークやフィールドワークなどのアクティブラーニングを用いて地域保健看護活動の計画・実践・評価の一連の過程を学習し, 地域保健看護活動の展開と方法と専門性を理解する。

【学校】

学校教育における保健活動の目的と保健教育, 保健管理および養護教諭の活動について学ぶ。

学校保健と地域保健の関係と, 看護専門職としての役割について理解を深める。

【産業】

企業における産業保健の取り組みならびに保健師の役割と業務について学ぶ。

産業保健と地域保健の連携と, 看護専門職としての役割について理解を深める。

授業の到達目標

【保健所・保健センター】

1)地域保健活動の実践機関としての保健所の機能と活動の展開法について理解する。

2)保健所・保健センター等の保健師の役割を理解する。

3)地域診断をもとに, 地域特性を反映した地域保健看護活動の計画・実施・評価の方法を理解する。

4)個人・家族・集団の健康課題に応じた地域保健看護活動の展開方法と技術を理解する。

5)健康教育の実施の方法を理解する。

6) 住民のニーズに応じた関係機関, 他職種との連携・チームワークの方法を理解する。

7) 地域保健看護活動の今日的動向と法的根拠を理解する。

8) 地域保健における看護管理の機能について理解する。

【学校】

9)学校教育における保健活動の体系と活動の実際について, 理解を深める。

10)養護教諭の活動について, 理解を深める。

11)地域の関係機関との連携について学ぶ。

【産業】

12)企業における保健活動の体系と活動の実際について, 理解を深める。

13)産業保健師の活動について理解を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/24	08:50-12:25	遠隔授業(同期	地域保健看護学実	地域保健看護学実習(施設実施オリエンテーション):	森田 久美子, 月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】遠隔講義(実習施設オリ)、実習

			型)	習	詳細については実習要項参照		【その他】事前手続き、課題、実習記録作成
3-7	9/12	08:50-18:55	保健衛生学科講義室1	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習全体オリエンテーション:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】対面講義、グループワーク、PBL 【その他】事前課題、実習記録作成
8-12	9/16	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
13-17	9/18	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
18-22	9/19	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
23-27	9/22	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
28-32	9/25	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
33-37	9/26	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
38-42	9/29	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
43-47	9/30	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
48-52	10/2	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
53-57	10/3	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
58-62	10/6	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
63-67	10/7	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
68-72	10/9	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
73-77	10/10	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
78-82	10/14	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】

				習			事前課題、実習記録作成
83-87	10/16	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
88-92	10/17	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
93-97	10/20	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
98-102	10/21	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
103-107	10/23	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
108-112	10/24	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
113-117	10/27	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
118-122	10/28	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
123-127	10/30	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
128-132	10/31	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
133-137	11/4	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
138-142	11/6	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
143-147	11/7	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
148-152	11/10	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
153-157	11/11	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
158-162	11/13	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子,月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成

163-167	11/14	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子, 月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
168-172	11/17	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子, 月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
173-177	11/18	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子, 月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
178-182	11/20	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子, 月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
183-187	11/21	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子, 月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成
188-192	11/25	08:50-18:55	その他	地域保健看護学実習	地域保健看護学実習:詳細については実習要項参照	森田 久美子, 月野木 ルミ	【到達目標】1)～13) 【学習方法】実習、グループワーク、PBL、課題発表 【その他】事前課題、実習記録作成

授業方法

実習中は、グループワークによる調査学習、フィールドワーク(地域診断、地区踏査)およびロールプレイ・模擬実践などの実技演習などのアクティブラーニングを行う。

また、カンファレンスにおける学生間、臨地指導者及び教員・学生間でディスカッションにより理解を深めるとともに、学習成果のプレゼンテーションを通して学びの共有を図る。

授業内容

詳細については実習要項参照

成績評価の方法

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況

・臨地実習日程のみならず、学内外オリエンテーション、報告会、事前準備、記録作成・指導についての参加状況。

2)実習への取り組み姿勢・参加態度

・実習前後含む期間中の積極性、グループワークや・資料作成などのグループ共同作業、報告会での発表などの参加状況を評価する。

3)実習記録物の内容

・記録物の期限内提出状況・内容により評価する。

成績評価の基準

1)出席状況(欠席、遅刻の減点)

2)実習への取り組み姿勢・参加態度(20%)

3)実習記録物の内容(個人 30%、グループ(40%)

4) 報告会(10%)

上記 1)～4)の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行い、100 点満点中 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習開始前に地域保健看護関連の本・資料等を熟読し、知識の整理・確認を行い、実習地でのプレゼンテーションやグループ討議に備えること。

試験の受験資格

本科目では定期試験は実施しない。

教科書

(DVD)新・地域看護活動とヘルスプロモーション 第 1 巻 地域ケアシステム／佐々木明子他監修:丸善出版株式会社, 2019

(DVD)新・地域看護活動とヘルスプロモーション 第 4 巻 学校保健／青柳千春監修:丸善出版株式会社, 2019

参考書

保健師業務要覧／井伊久美子, 勝又浜子, 森永裕美子, 荒木田美香子, 坂本真理子, 村嶋幸代 編,井伊, 久美子,勝又, 浜子,森永, 裕美子,荒木田, 美香子,坂本, 真理子, 看護学,村嶋, 幸代, 1951-,:日本看護協会出版会, 2023

国民衛生の動向 2024/2025／一般財団法人 厚生労働統計協会:一般財団法人 厚生労働統計協会, 2024

公衆衛生看護学／上野昌江, 和泉京子編集,上野, 昌江,和泉, 京子,:中央法規出版, 2021

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

2024 年度の科目評価においてわかりにくさの指摘があった指導内容や実習記録内容について整理し、統一されたわかりやすい内容になるように改善した。

連絡先(メールアドレス)

月野木 ルミ:r-tsukinoki.phn@tmd.ac.jp

森田 久美子:morita.phn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月野木 ルミ:メールにてアポイントを取ること。 3 号館 19 階

森田 久美子:10:00-17:00 3 号館 15 階地域健康増進看護学研究室

時間割番号	012114				
科目名	クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング			科目ID	MN-433400-L
担当教員	田中 真琴, 緒方 泰子, 近藤 暁子, 福井 小紀子, 松﨑 政代, 佐々木 吉子, 柏木 聖代[TANAKA Makoto, OGATA Yasuko, KONDO Akiko, FUKUI Sakiko, MATSUZAKI Masayo, SASAKI Yoshiko, KASHIWAGI Masayo]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Critical thinking

【科目責任者】田中 真琴

すべて日本語で行う

主な講義場所

保健衛生学科講義室 4

授業の目的、概要等

本科目は、クリティカルシンキングに関する講義、グループワーク等によるクリティカルシンキング演習、ディスカッション、発表などを通して、看護専門職者として必要な批判的思考力、論理的思考力、統合的思考力、創造的思考力を向上させるための統合的実践科目である。

目的は以下 2 点

1.クリティカルシンキングの技術(考えや議論を解釈・分析・評価する能力) を身につける。

2.既習の知識を活用し、臨床の複雑な状況において適切に判断できる能力を培う。

授業の到達目標

1)クリティカルシンキングとは何か、クリティカルシンキングにおける重要要素を理解する。

2)クリエイティブシンキングとは何かを理解する。

3)科学的根拠とは何か、エビデンスを吟味するとはどういうことか、看護におけるエビデンス活用がわかる。

4)科学論文をクリティカルに読むことができる。

5)事例を題材に臨床の様々な情報を活用しクリティカルシンキングを実践し、複雑な状況から問題を的確に見出し、解決に向かわせるための看護の展開方法等、具体的方略を考えることができる。

6)科学的思考の限界を述べ、クリエイティブシンキングを看護実践にどのように活用するか考察することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/10	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	クリティカルシンキングとは？	ガイダンス クリティカル・シンキング(CT)とは？CT の技術	田中 真琴	1)2)3)5)6)・講義、グループ討議
2	4/17	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	メタ認知とクリティカルシンキング	身近なテーマでクリティカルシンキングを理解する	緒方 泰子	1)2)5)6)・講義、グループ討議・課題あり
3	5/8	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	クリティカルシンキングの実践:エビデンスの吟味	研究論文を題材にクリティカルシンキングを実践する	近藤 暁子	3)4)6)・講義、グループ討議・課題あり
4	5/8	10:45-12:25	保健衛生学科講義室4	クリティカルシンキングの実践:コミュニケーションスキル	身近なテーマでクリティカルシンキングを理解する	福井 小紀子	1)2)5)6)・講義、グループ討議・課題あり
5	5/15	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	クリティカルシンキングの実践:事例を分析する。クリエイティブシンキング	産婦人科に関わるケースを読み解く クリエイティブシンキングとは。クリエイティブシンキングを用いて女性のケアを考える。	松﨑 政代	1)2)5)6)・講義、グループ討議・課題あり
6	5/22	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	クリティカルシンキングの実践: 看護判断1	重症患者とその家族へのケアにおけるクリティカルシンキング	佐々木 吉子	1)2)5)6)・工具、グループ討議・課題あり
7	5/29	08:50-10:30	保健衛生学科講義室4	クリティカルシンキングの実践: 看護判断2	人生の最終段階における医療・ケアにおけるクリティカルシンキング	柏木 聖代	1)2)5)6)・工具、グループ討議・課題あり

8	6/5	08:50–10:30	保健衛生学科講義室4	クリティカルシンキングの実践: 看護判断3	倫理的に悩ましい事例におけるクリティカルシンキング	田中 真琴	1)2)5)6)・講義、グループ討議、発表・課題あり

授業方法

全ての回は同期授業(対面授業)で行う。クリティカルシンキングに関する講義、グループワーク等による演習、ディスカッション、発表などを通して学ぶ。

具体的な方法は、各回で説明される。2-8 回では、課題提出が求められる。

講義や課題の内容についての質問は、各回の担当教員に質問すること。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

参加状況と課題の取り組み状況により評価する。

出席、遅刻は講義室にある出席管理システムのログで把握する。不適切な参加状況とみなした場合(1 コマ 30 分以上の不在)は欠席とみなす。

授業参加状況 30%、第 2-8 回での課題(小テスト・小レポートなど)の内容 70%

出席していない回の課題提出は原則認めない。

提出期限過ぎの提出は原則認めない。

成績評価の基準

3 分の 2 以上(6 コマ以上)の出席が必要。

上記方法により採点し 60 点未満不合格、60-69 点 C、70-79 点 B、80-89 点 A、90-100 点 A+

準備学習等についての具体的な指示

Web class に講義資料や課題をアップロードするので各自ダウンロードすること。講義当日までに目を通すこと。事前課題がある場合は、講義までに取り組むこと。事後課題がある場合は、指示の期日までに取り組むこと。

試験の受験資格

筆記試験は行わない

参考書

クリティカル進化 (シンカー) 論 : 『OL 進化論』で学ぶ思考の技法／道田, 泰司,宮元, 博章,秋月, りす,道田泰司, 宮元博章ぶん ; 秋月りすまんが:北大路書房, 1999.4

クリティカルシンキング : あなたの思考をガイドする 40 の原則／Zechmeister, Eugene B, 1944-,Johnson, James E, 1939-,宮元, 博章, 1963-,E.B.ゼックミスタ, J.E.ジョンソン 著,宮元博章 [ほか]訳:北大路書房, 1996.9

クリティカルシンキング／Zechmeister, Eugene B, 1944-,Johnson, James E, 1939-,宮元, 博章, 1963-,E.B.ゼックミスタ, J.E.ジョンソン 著,宮元博章 [ほか]訳:北大路書房, 1997.9

クリエイティブ・シンキング入門／Michalko, Michael, 1940-,白川, 司,マイケル・マハルコ 著,白川司 訳:ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2013.8

デザイン思考が世界を変える : イノベーションを導く新しい考え方／Brown, Tim,千葉, 敏生,ティム・ブラウン 著,千葉敏生 訳:早川書房, 2019.11

他科目との関連

既習の科目で得た学びは、すべて活用する

履修上の注意事項

授業日程、内容は変更することがある。 WebClass クリティカルシンキングのコースに適宜資料をアップしたり連絡するので、確認すること。

備考

相談がある場合は事前にメールでアポイントを取り、研究室を訪ねてきてください。

田中真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

田中 真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp 3 号館 19F

緒方 泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp 3 号館 19F

松﨑 政代:matsuzaki.masayo@tmd.ac.jp

福井 小紀子:fukuisakiko.chn@tmd.ac.jp

佐々木　吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp　3 号館 19 階

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

柏木　聖代:kashiwagi.fnls@tmd.ac.jp　3 号館 18 階ヘルスサービスリサーチ看護学教授室

オフィスアワー

田中　真琴:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

松﨑　政代:毎週火曜日 PM.0:00-PM.4:00　3 号館　19 階　松﨑教授室

福井　小紀子:毎週木曜日 PM13:00-16:10　3 号館 19 階福井教授室

佐々木　吉子:平日　AM.9:30-PM.5:30 3 号館 19 階　災害・クリティカルケア看護学分野教授室

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

柏木　聖代:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012115				
科目名	看護マネジメント学			科目ID	MN-433500-L
担当教員	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 井出 恵伊子, 竹内 幹[OGATA Yasuko, SASAKI Miki, YUMOTO Yoshie, IDE Eiko, TAKEUCHI Kan]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Nursing Management

【科目責任者】緒方泰子

主な講義場所

保健衛生学科 講義室 4(3 号館 7 階)で行う。 Zoom による同期型授業を行う場合には、随時連絡する。

授業の目的、概要等

看護職者には、看護サービスを適切に提供するだけではなく、マネジャーやリーダーとして、質の高い安全な看護サービスが適切に提供されるようにマネジメントすることが求められる。本科目では、受講者が、これまで学んだ看護専門職として必要とされる知識等を基盤としながら、看護領域において、リーダーやマネジャー役割の実践に必要な知識、考え方、スキル、態度等を修得することを目的とする。授業では、マネジメントの基本知識、マネジメントに応用可能な経営学や行動経済学等の基礎知識等、組織文化、看護マネジメント実践の具体例について、講義やアクティブラーニング等を通じて学習する。

授業の到達目標

1)看護領域におけるマネジメント実践において必要となる、知識・考え方・スキル・態度等(経営学・行動経済学等を含む)について、具体例を示しながら説明することができる。

2)自身がマネジャー役割を担う際やマネジメントが必要な場面において、どのように、1)の知識・スキル・概念等を適用することができるかを説明することができる。

3)自身が将来、マネジャーやリーダーとしての役割を発揮できるようになるために、今から何にどのように取り組んでおくと良いかについて説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/8	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	オリエンテーション	授業概要、事前課題・事後課題等について	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	到達目標1)2)3)
2	4/8	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 4	行動経済学と看護マネジメント①	行動経済学の基礎と看護マネジメントへの応用	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 竹内 幹	到達目標1)2)3)
3	4/22	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	経営学とマネジメント	看護職に役立つ経営学の知識・経営指標	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 井出 恵伊子	到達目標1)2)3)
4	4/22	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 4	行動経済学と看護マネジメント②	ゲーム理論の看護マネジメントへの応用	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江, 竹内 幹	到達目標1)2)3)
5	5/20	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	看護組織とマネジメント①	組織文化と職場環境	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	到達目標1)2)3)
6	5/20	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 4	看護組織とマネジメント②	看護組織におけるマネジメントとマネジャー育成	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	到達目標1)2)3)
7	5/27	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	看護マネジメント実践①	ミドルマネジメントの実際	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	到達目標2)3)
8	5/27	15:25-17:05	保健衛生学科講義室 4	看護マネジメント実践②	トップマネジメントの実際	緒方 泰子, 佐々木 美樹, 湯本 淑江	到達目標2)3)

授業方法

1)講義形式の授業に加え、グループワークやプレゼンテーション、ディスカッション等のアクティブラーニングを行う。積極的な参加が期待される。

2)学習効果を高めるため、以下のように事前課題・事後課題を設定している。

①事前課題:講義によっては授業前に課題を課す場合がある。課題に関する指示に従って、期日までに提出した上で、授業に臨むこと。

②事後課題(リフレクションレポート):各回の授業後に、授業を通じて学んだこと・考察したこと等に関する事後課題を課している。

※本科目は、対面で行うが、感染症流行等のやむを得ない状況によりZoomによって講義を行う際には、原則、同期型授業として行う。

授業内容　授業明細の通り

成績評価の方法

以下の項目により評価を行う。

1)出席状況・授業への参加態度

2)事前課題

3)事後課題

4)授業に関連した課題レポート

成績評価の基準

以下の項目について総合的に評価を行う。

1)出席状況・授業への参加態度(10%)

全出席、積極的な授業参加で10点満点とする。

2)事前課題(20%)＊1

3)事後課題(リフレクションレポート)(20%)＊1

＊1　決められた期日内の提出で20点満点とし、遅延状況、記載内容＊2に応じて減点される。

＊2　指定された内容が記載されていることを基準に評価する。

4)授業に関連した課題レポート(50%)

遅延なく提出で10点、課題レポートの内容で40点とし、合計50点満点とする。

内容に関する40点は、以下の基準に基づき評価し、記載内容に応じて減点される。

・課題内容が適切に記されていること

・論理的かつ明確に記されていること

・指定された形式等がまもられていること

・誤字脱字がないこと

※総合得点が60点以上の者を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

本科目では、マネジメントに有用な経営学や行動経済学などの基礎知識に関する講義を含むため、指示された事前課題に取り組むとともに、関連する書籍を読み、理解を深めておく。

試験の受験資格

最終レポートを受理する要件は、以下のとおりである。

1. 全8回の授業のうち5回以上出席し、指示された事前課題と事後課題を期限までに提出する。Zoomによる講義の場合、最初から最後まで参加したログが確認できた場合を出席とする。

2. 授業中のグループワークやディスカッション等へ、積極的に参加している(自身の考えを述べる、他の参加者の発表を聴き意見を述べる等)。

教科書　必要に応じて提示する。

他科目との関連　既習の看護の専門科目、看護の統合と実践、保健医療福祉制度論との関連が深い。

履修上の注意事項

1)原則として、授業中の入退室は認めない。　2)授業中にスクリーン、Zoom等の画面を撮影することを禁止する。　3)講義資料等を、受講登録者以外に配布・公開することを禁止する。　4)WebClass やメール等を通じて資料配布・連絡を行う場合がある(公開可能な場合のみ)。担当教員の支持に従い確認すること。　5)授業日時・内容(順序等)・方法等は変更することがある。教務係や担当教員からの連絡を確認すること。

備考　本科目は、2025年度より開始される科目であるため、授業評価の実績はない。「授業評価に基づく改善」は非該当。

連絡先(メールアドレス)

緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　3号館19F

佐々木　美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp　3号館15F

湯本　淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp　3号館19F

オフィスアワー

緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

佐々木　美樹:オフィスアワーは特に定めないが，事前にアポイントをとった上で訪問すること。

湯本　淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

時間割番号	012070				
科目名	看護の統合と実践実習			科目ID	MN-471400-E
担当教員	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子[SASAKI Yoshiko, IMAZU Yoko, FUJIMURA Maiko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	4	単位数	3
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Practice of integration of acquaintances for Nursing Practice

【科目責任者】佐々木 吉子

主な講義場所

東京科学大学病院 病棟、集中治療部、ER センター、外来、3 号館 17 階看護学実習室、

授業の目的、概要等

本科目では、病院機能全体において看護職が果たす役割を総合的な体験・実践を通して理解することを目的とする。そのため、病棟、外来や専門診療部門における看護職の機能や役割について学ぶとともに、医療安全のための行動や、チーム医療における多職種との連携や協働に看護職が果たす役割について、見学、シャドウイング、ミーティングへの参加などを通して理解する。また、既習の知識や技術を基盤として、病棟におけるパートナーシップ・ナーシングや、クリティカルケア部門における重症患者のケアのマネジメント、外来患者の療養生活の支援を経験し、優先性を考慮した多重課題への対応や、チームにおける協働について学び、口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の学生と相互の専門性の学び合いも行う。さらに、災害やグローバル化に伴って生じる諸問題に注目し、看護職として果たすべき役割について理解するとともに、シミュレーションを通して、必要な知識とスキルを修得する。以上を通して、現場の看護職に求められる知識・技術・態度についてあらためて考察し、自らの課題を見出し、総合的な看護実践能力を高める。

授業の到達目標

1)病棟(夜勤を含む)、外来や専門診療部門における看護職の役割について理解し、説明することができる。

2)病院組織における、医療安全のための行動や、チーム医療における多職種との連携や協働に看護職が果たす役割について理解し、説明することができる。

3)既習の知識や技術を基盤として、病棟におけるパートナーシップ・ナーシングや、クリティカルケア部門での重症患者のケア・マネジメント、外来患者の療養生活 の支援について見学、または一部経験することを通して、優先性を考慮した多重課題への対応やチームにおける協働について学び、これらの要点について説明することができる。

4)これまでに修得した知識や技術に基づき、口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の学生と相互の専門性の学び合いを行う。

5)災害やグローバル化に伴って生じる諸問題について、病院での備えや実践内容を理解し、有事に看護職として果たすべき役割について検討し、シミュレーションを通して対応に必要な知識とスキルを修得することができる。

6)まとめの会において各自の学びを共有し、病院機能全体における看護職の多様な役割や、現場の看護職に求められる知識・技術・態度についてあらためて考察し、自らの課題を述べることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	6/10	13:30-15:10	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践実習オリエンテーション	ガイダンス、実習参加に関する注意事項	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・2・3・4・5、学習方法:グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習
2	6/24	08:00-16:00	遠隔授業(同期型)	チーム医療入門	他学科・他大学学生とのグループワーク	今津 陽子, 藤村 麻衣子, 坂野 朋未, 田中 真琴	到達目標:2、学習方法:グループワーク、事前・事後学習:事例に関する学習、実習記録用紙
3	6/25	08:00-16:00	遠隔授業(同期型)	チーム医療入門	他学科・他大学学生とのグループワーク	今津 陽子, 藤村 麻衣子, 田中 真琴, 坂野 朋未	到達目標:2、学習方法:グループワーク、事前・事後学習:事例に関する学習、実習記録用紙
4	6/26	08:00-16:00	保健衛生学科講義室 4, 保健衛生学科講義室 5	看護の統合と実践実習	医療安全実習・在宅療養支援実習(中央診療部門)	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙

5	6/27	08:00–16:00	保健衛生学科講義室4, 保健衛生学科講義室5, 看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	災害看護実習(病院の災害対策)	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
6	6/30	08:00–16:00	看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	クリティカルケア実習(BLS 演習)・共同実習(口腔保健衛生学専攻／歯科衛生学演習)のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
7	7/1	08:00–16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	多重課題実習・在宅療養支援実習・クリティカル看護実習のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
8	7/2	08:00–16:00	看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	看護管理実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
9	7/3	08:00–16:00	看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	多重課題実習・在宅療養支援実習・クリティカル看護実習のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
10	7/4	08:00–16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	共同実習(口腔保健衛生学専攻)・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子, 吉田 直美, 鈴木 瞳	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
11	7/7	08:00–16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	クリティカルケア実習(BLS 演習)・共同実習(口腔保健衛生学専攻／歯科衛生学演習)のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
12	7/8	08:00–16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	多重課題実習・在宅療養支援実習・クリティカル看護実習のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
13	7/9	08:00–16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	看護管理実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
14	7/10	08:00–16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	多重課題・在宅療養支援実習・クリティカル看護実習のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙

15	7/11	08:00–16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	共同実習(口腔保健衛生学専攻／歯科衛生学演習)・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子, 吉田 直美, 鈴木 瞳	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
16	7/14	08:00–16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	災害看護学実習(Psycological First Aid 演習)	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子, 宮本 有紀, 谷口 麻希, 松長 麻美, 塩澤 拓亮	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
17	7/15	08:00–16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	災害看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
18	7/16	08:00–16:00	看護学実習室1, 看護学実習室2, 看護学実習室3, 看護学実習室4	看護の統合と実践実習	医療安全実習	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
19	7/17	08:50–10:30	遠隔授業(非同期型)	看護の統合と実践実習	災害看護実習・課題学習日のいずれか	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:1・3・4、学習方法:見学、シミュレーション、グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙
20	7/18	08:00–16:00	遠隔授業(同期型)	看護の統合と実践実習	実習発表会	佐々木 吉子, 今津 陽子, 藤村 麻衣子	到達目標:5、学習方法:グループディスカッション、事前・事後学習:実習に関する目標設定および事前学習、実習記録用紙

授業方法

本実習は、以下の内容について、学内および本学大学病院における講義、演習、シミュレーション、現場見学、シャドーイング、グループディスカッションを組み合わせたハイブリッド実習を行う。

1. チーム医療入門
2. 医療安全実習
3. 看護管理実習
4. 多重課題実習
5. 夜勤実習
6. 在宅療養支援実習
7. 災害看護実習
8. クリティカルケア看護実習
9. 口腔保健衛生学専攻学生との相互学習
9. 実習発表会

授業内容

1.チーム医療入門

他学部・他学科学生と合同で事例を用いた演習を中心とした学習を行なう。

2.医療安全実習

病院組織における医療安全のための行動の理解のために、大学病院の医療安全担当看護師による実践的な講義・演習と病棟における見学実習を行なう。

3.看護管理実習

1) 病棟の特徴と看護師長と日勤帯リーダーのコミュニケーションについてオリエンテーションを受ける。

2) 日勤帯のリーダーのシャドウイングを行なう。

4.多重課題実習

多重課題への対応を安全に効果的に行うために、パートナーシップ・ナーシングなどの看護体制の見学や複数の患者を受け持つスタッフナースのシャドウイングを通して学ぶ。

5.夜勤実習

1) 夜勤帯の看護師のシャドウイングを行なう。

2) 1)のシャドウイングから交代制勤務に従事する上での体調の管理方法を実践・考察する。

6.在宅療養支援実習

外来患者が在宅で療養生活を送るうえで必要な支援について、中央診療部門看護師のシャドウイングを通して学ぶ。

7.クリティカルケア実習(ICU、ER センター、学内シミュレーション)

クリティカルな状況におけるシミュレーション実習と ICU、ER センターにおける見学実習を行う。

8.災害看護実習

災害発生時の看護に関する実践的な講義・演習(シミュレーション教育を含む)と大学病院における見学実習を行なう。

9.口腔保健衛生学専攻学生と、互いの専門性について学び合いを行う。

10.実習報告会

看護の統合と実践実習における学習内容を学生・教員・実習指導者・看護管理者に対して発表する。

成績評価の方法

本科目の評価は、出席状況、事前課題、実習記録、参加姿勢、実習発表会での発表、最終レポートにより総合的に評価する。

最終レポートは、実習での経験を振り返り、病院機能全体における看護職の多様な役割や、現場の看護職に求められる知識・技術・態度について、自らのキャリア・プランに照らして自身の課題を述べる。レポートには任意のタイトルを設定し、1200 字程度で記載する。2025 年 8 月 1 日(金)13:00 までに、WebClass より提出する。

成績評価の基準

1)出席状況 20%(全出席で 20 点満点、1 回欠席するごとに 2 点、遅刻するごとに 1 点減点する)

2)事前課題 10%(全回遅延なく提出で 10 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

3)実習記録 30%(全回遅延なく提出で 30 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

4)参加姿勢 10%(授業中の態度、発言等の積極性、グループへの貢献などを、10 点満点で評価する)

5) 実習発表会 10%(発表内容、積極性、グループへの貢献などを、10 点満点で評価する)

6)最終レポート 20%(遅延なく提出で 20 点満点、遅延状況、記載内容＊に応じて減点する)

＊事前課題、実習記録、最終レポートの記載内容の評価は以下の基準に照らして行う。

A(100%):実習内容を発展させ、課題に対して期待を超える記述ができている。最終レポートについては、課題に応じたテーマが設定され、明瞭かつ一貫性・論理的が保たれており、文字数など規定に沿っている。

B(80%):授業内容を理解し、目標に相応する意見や考察が記載できている。

C(60%):課題に対して、容認可能な記述ができている。

D(40%):課題に対しての記述ができていない。授業内容と関係が薄いか、不適切な記述となっている。

E(0%):未提出

以上の評価指標に基づき、合計点が 60 点以上の場合に合格とし、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

看護の統合と実践実習の詳細は 6 月 10 日(火)3 限の看護の統合と実践実習オリエンテーション時に、実習要項を用いて説明する。

試験の受験資格

6/10(火)3 限のオリエンテーションへの出席を実習参加の要件とする。

教科書

授業資料の作成に用いた書籍・資料は参考資料として必要に応じて提示する。

他科目との関連

本科目は統合科目として位置づけられており、既習のすべての科目と関連がある。その中でも、看護の統合と実践、災害看護学、クリティカルケア看護学との関連が深い。

備考

＊内容については実習協力施設等の都合により変更される可能性がある。

＊詳細については実習要項参照のこと。

ソーシャルメディアへの投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(フェイスブック、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すこと

ができないので、情報の取り扱いに注意すること。
連絡先（メールアドレス） 佐々木　吉子:y-sasaki.dn@tmd.ac.jp　3 号館 19 階 今津　陽子:imazu.dn@tmd.ac.jp　3 号館 18 階
オフィスアワー 佐々木　吉子:平日　AM.9:30-PM.5:30 3 号館 19 階　災害・クリティカルケア看護学分野教授室 今津　陽子:平日　AM.10:00-PM.5:00 3 号館 18 階　災害・クリティカルケア看護学分野准教授室

時間割番号	012116				
科目名	成人・老年看護学実習Ⅲ			科目ID	MN-493300-E
担当教員	田中 真琴, 緒方 泰子, 佐々木 美樹, 川上 明希, 湯本 淑江, 川本 祐子[TANAKA Makoto, OGATA Yasuko, SASAKI Miki, KAWAKAMI Aki, YUMOTO Yoshie, KAWAMOTO Yuko]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	4	単位数	2
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Adult Health Nursing Clinical Practicum Ⅲ

【科目責任者】田中 真琴

主な講義場所

本学病院の実習病棟および実習室、講義室(詳細は実習要項や後日配布される実習資料等を参照)

授業の目的、概要等

さまざまな健康段階にある成人・老年期の入院患者に対し、既習の知識・技術の統合あるいは新たな学習により、必要な看護を指導者とともに実践し、臨床の実際に即した看護実践能力を培う。チーム医療における看護の役割・責任・倫理について臨床場面から考察を深め、看護師としてメンバーシップを発揮する上での社会人基礎力を修得する。看護専門職として成長を続けるために必要な自己課題に向き合う。

授業の到達目標

1)看護チームの一員となり、メンバー看護師とともに複数の患者を受け持ちながら、看護活動(日々の看護援助、看護チームの中での連携などを含む)ができる。

2)これまでの実習経験を応用し、自立した実践や主体的な学習に取り組むことができる。

3)保健・医療・福祉その他の関連職種とのチームアプローチや看護チーム内の連携の場面に参加し、看護の調整的な機能や連携機能を理解する。

4)看護実践の場における多重課題に対応することができる。

5)看護の実務がイメージでき、看護実践場面における療養環境・医療安全・倫理的課題に着目し、対応策の検討や看護が行える。

6)看護専門職としてふさわしい態度を身につける。

7)既習の理論・概念および文献を応用し、看護実践に応用することができる

8)実習での学びをカンファレンスや発表会の場で共有し、一人ひとりの理解を拡張・深化させることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-5	10/16	08:50-17:50	保健衛生学科講義室1	成人・老年看護学実習Ⅲ	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 田中 真琴, 佐々木 美樹, 川上 明希, 湯本 淑江, 川本 祐子	【到達目標】1)～8) 【学習方法】学内オリエンテーション, 技術演習, 臨地実習, 非同期授業 【その他】詳細については実習要項参照
6-10	10/17	08:50-17:50	その他(保・成人看護学分野), その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅲ	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 田中 真琴, 佐々木 美樹, 川上 明希, 湯本 淑江, 川本 祐子	【到達目標】1)～8) 【学習方法】臨地実習 【その他】詳細については実習要項参照
11-15	10/20	08:50-17:50	その他(保・成人看護学分野), その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅲ	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 田中 真琴, 佐々木 美樹, 川上 明希, 湯本 淑江, 川本 祐子	【到達目標】1)～8) 【学習方法】臨地実習 【その他】詳細については実習要項参照
16-20	10/21	08:50-17:50	その他(保・成人看護学分野), その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅲ	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 田中 真琴, 佐々木 美樹, 川上 明希, 湯本 淑江, 川本 祐子	【到達目標】1)～8) 【学習方法】臨地実習 【その他】詳細については実習要項参照
21-25	10/23	08:50-17:50	その他(保・成人看護	成人・老年看	詳細については	緒方 泰子, 田中 真琴,	【到達目標】1)～8)

			学分野), その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	護学実習Ⅲ	実習要項参照	佐々木 美樹, 川上 明希, 湯本 淑江, 川本 祐子	【学習方法】臨地実習 【その他】詳細については実習要項参照
26-30	10/24	08:50-17:50	その他(保・成人看護学分野), その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅲ	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 田中 真琴, 佐々木 美樹, 川上 明希, 湯本 淑江, 川本 祐子	【到達目標】1)～8) 【学習方法】臨地実習 【その他】詳細については実習要項参照
31-35	10/27	08:50-17:50	その他(保・成人看護学分野), その他(保・看護管理・高齢社会看護学分野)	成人・老年看護学実習Ⅲ	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 田中 真琴, 佐々木 美樹, 川上 明希, 湯本 淑江, 川本 祐子	【到達目標】6)～8) 【学習方法】学内実習 【その他】詳細については実習要項参照
36-40	10/28	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4	成人・老年看護学実習Ⅲ	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 田中 真琴, 佐々木 美樹, 川上 明希, 湯本 淑江, 川本 祐子	【到達目標】6)～8) 【学習方法】学内実習 【その他】詳細については実習要項参照

授業方法

病棟での臨地実習および学内実習における、情報収集・アセスメント・実践・評価・リフレクション・ディスカッションを組み合わせたアクティブラーニング(詳細は実習要項参照)

授業内容

各種オリエンテーション、病棟実習における複数患者の受け持ちと看護実践・評価、看護助手実習、カンファレンス、グループディスカッション、まとめの会など(詳細は実習要項参照)

成績評価の方法

1)実習への出席状況　30%

2) 実習への取り組み　70%(目標の達成状況、実習記録、発表、レポートも含む)

成績評価の基準

成績評価の方法に示す項目について総合的に評価し、総合得点が 60 点以上のものを合格とする(90 点以上:A+、80-89 点:A、70-79 点:B、60-69 点:C、60 点未満:不合格)。なお。4 分の 3 以上の出席がない場合には、単位認定できない。

準備学習等についての具体的な指示

社会人基礎力やチームにおけるメンバーシップについて予習して臨むこと。

受け持ち患者の看護実践に必要な知識(疾患や治療、病態、看護支援方法、基礎看護技術等)について予習・復習して臨むこと。

試験の受験資格

実習科目のため試験は実施しない。

教科書

指定なし

参考書

・「社会人基礎力」経済産業省　https://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/

・「我が国産業における人材力強化に向けた研究会」(人材力研究会) 報告書　平成30年3月　経済産業省　中小企業庁
https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/kenkyukai/jinzaikyoka/2018/180314jinzaikyokakondankai.pdf

履修上の注意事項

実習要項や WebClass に掲載される資料・動画の内容をよく理解すること。

備考

・健康管理を含め、医療専門職として適切な姿勢・行動がとれることを重視する。

・実習要項を精読したうえで実習に臨むこと。

・患者の個人情報を取り扱うため、実習記録や実習資料の記載・保管・廃棄を適切に行うこと。

・ソーシャルメディア等への投稿に対する注意事項について

実習で知りえた患者の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(エックス、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることに繋がり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

参照ホームページ

WebClass に実習要項や実習記録の様式等を掲載する。

連絡先(メールアドレス)

田中　真琴:tanaka.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

緒方　泰子:yogata.gh@tmd.ac.jp　 3 号館 19F

川上　明希:akikawakami.cc@tmd.ac.jp　3 号館 17F

佐々木　美樹:m-sasaki.gh@tmd.ac.jp　3 号館 15F

湯本　淑江:yumoto.gh@tmd.ac.jp　3 号館 19F

川本　祐子:kawamoto.cc@tmd.ac.jp　3 号館 19F

オフィスアワー

田中　真琴:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

緒方　泰子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

川上　明希:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

佐々木　美樹:オフィスアワーは特に定めないが，事前にアポイントをとった上で訪問すること。

湯本　淑江:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

川本　祐子:オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントを取った上で訪問すること。

時間割番号	012117				
科目名	緩和ケア看護学実習			科目ID	MN-493400-E
担当教員	廣岡　佳代[HIROOKA Kayo]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Palliative Care Nursing Practicum

【科目責任者】廣岡　佳代

授業の目的、概要等

・がんの集学的治療を受ける患者に対し、治療による有害事象や QOL への影響を理解することを通じて、患者とその家族が直面する身体的、心理的、社会的、スピリチュアルな苦悩を全人的視点で理解する。

・緩和ケア病棟、緩和ケアチーム、がん看護相談外来での実習を通じて、患者と家族のニーズに応じたホリスティックなケアを提供するための看護スキルを学び、緩和ケアの重要性とその実践方法を深く理解することを目指す。

授業の到達目標

1. がん患者の身体的、心理的、社会的、スピリチュアルな側面からの苦悩を理解し、全人的視点で患者とその家族のニーズを把握する能力を養う。

2. 緩和ケアの理念を理解し、患者の QOL 向上を目指した全人的ケアを実践するための看護展開を学ぶ。

3. がん治療に伴う有害事象や症状管理についての知識を深め、患者の苦痛を軽減するための具体的な看護介入を考えることができる。

4. 倫理的な意思決定や療養の場の選択における患者・家族の意思決定支援に向けたコミュニケーションと看護の役割について学ぶ。

5. 緩和ケア病棟や緩和ケアチーム、がん看護相談外来におけるチーム医療の中で、かかわる患者・家族の持つ苦悩を理解する。また、各部署における看護師としての役割と責任を理解し、他職種との連携を通じて効果的なケアを提供する方法を考察する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-5	9/22	08:50-17:50	その他(保・がんエンドオブライフケア看護学分野)	緩和ケア看護学実習	詳細については実習要項参照	廣岡　佳代	【到達目標】1～5 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
6-10	9/23	08:50-17:50	その他(保・がんエンドオブライフケア看護学分野)	緩和ケア看護学実習		廣岡　佳代	【到達目標】1～5 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
11-15	9/24	08:50-17:50	その他(保・がんエンドオブライフケア看護学分野)	緩和ケア看護学実習		廣岡　佳代	【到達目標】1～5 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
16-20	9/25	08:50-17:50	その他(保・がんエンドオブライフケア看護学分野)	緩和ケア看護学実習		廣岡　佳代	【到達目標】1～5 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照
21-25	9/26	08:50-17:50	その他(保・がんエンドオブライフケア看護学分野)	緩和ケア看護学実習		廣岡　佳代	【到達目標】1～5 【学習方法】臨地実習, 非同期授業, 対面授業 【その他】詳細については実習要項参照

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

健康管理含め、医療専門職として適切な姿勢、行動がとれることを重視する。

下記項目について総合的に評価する。

1)実習:身だしなみ・態度・言葉遣い、患者・家族の全人的理解、病態や治療、緩和ケアの理解、実習記録、チームへの貢献状況

2)まとめの会:積極性やチームへの貢献状況

3)出席状況や課題提出状況

成績評価の基準

1. 出席時間

1) 単位認定は、原則として実習時間の 4 分の 3 以上の出席を最低限の条件とする。

(上記条件においては、対象となる実習時間は課題学習日を除いた 5 日間とし、4 日以上の出席が必要である)

2) 遅刻および早退は、時間の長さにかかわらず原則として 2 回で 1 日の欠席とする。

2. 評価方法

1) 出席点 50 点

2) 実践内容 各部署における日々の実践と日々の学びの報告書 25%

3) 最終レポート 25%

準備学習等についての具体的な指示

緩和ケアに必要な疾患と看護については特に予習・既習内容を復習して臨むこと。

連絡先(メールアドレス)

廣岡 佳代 : hirooka.kayo.chn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

廣岡 佳代 : オフィスアワーは特に定めないが、事前にアポイントをとった上で訪問すること。

3 号館 18 階 在宅・緩和ケア看護学分野

時間割番号	012118				
科目名	国際看護学実習			科目ID	MN-493500-E
担当教員	近藤 暁子[KONDO Akiko]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名: International Nursing Practice

【科目責任者】近藤 暁子

主な講義場所

国際医療部、地球ひろば、M&D タワー2階 共用講義室 1

授業の目的、概要等

模擬患者とコミュニケーションをとり、情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行い、異文化を持つ対象の理解および看護援助について考える。病院における外国人患者の対応方法についてシャドウイングを通して学ぶ。地球ひろばにおいて国際支援に関する看護師の役割を学ぶ。

授業の到達目標

1. 病院を受診した外国人患者に対し、適切なコミュニケーションの手段を使用し、患者のニーズを理解する方法を学ぶ。
2. 模擬患者を使用して日本語の話せない患者と英語等でコミュニケーションをとり、異文化を持つ対象の看護問題やニーズを把握する感性を身に付け、看護計画が立案できる。
3. 看護の視点から、国際的な様々な課題を捉え、各自が貢献できることを明確にする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1-4	9/1	08:50-17:05	共用講義室 1
5-8	9/2	08:50-17:05	共用講義室 1
9-12	9/4	08:50-17:05	共用講義室 1
13-16	10/2	08:50-17:05	保健衛生学科講義室 4

授業方法

1. オリエンテーション

2025 年 7 月(WebClass およびメール)

実習の詳細、実習場所、評価方法について実習要綱を提示する。

国際医療部の日程調整の連絡を行う。日程が決まったら WebClass に提示する。

2. 実習日程:2025 年 9 月 1、2、4 日、5～26 日のうち 1 日間、10 月 2 日半日(合計 4.5 日間)

9 月 1 日、2、4(午後の一部)、10 月 2 日は講義室を使用する。講義室には各自 PC を持参すること。

9 月 4 日は 10～14:30 まで JICA 地球ひろばを訪問、その後大学で振り返りを行う。

9 月 5～26 日の間(仮日程として 9 月 8、9、11、16、18、22、25 日とするが変更の可能性あり)に学生 2 名ずつ 1 日間 国際医療部でシャドウイングを行う。

授業内容

1. 模擬患者の留学生とコミュにケーション演習を行、事例を通して情報収集、アセスメント、看護計画の立案を行い、留学生からフィードバックを受ける。
2. JICA 地球ひろばにおいて、世界の健康問題と看護師の役割を考える。
3. 国際医療部において外国人患者に対応しているスタッフ(医師又は通訳)のシャドウイングを通して、コミュニケーションの方法、必要な支援、外来や病棟の看護師の役割を学ぶ。

成績評価の方法

1. 出席時間

1) 単位認定は、原則として実習時間の 4 分の 3 以上の出席を最低限の条件とする。

(上記条件においては、対象となる実習時間は 4.5 日間であり、3.5 日以上の出席が必要である)

体調不良により欠席の場合は診断書を提出のこと。

2) 遅刻および早退は、時間の長さにかかわらず原則として 2 回で 1 日の欠席とする。

2. 実習評価

1)実践内容 コミュニケーション演習 10%

事例演習　20％

地球ひろば　20%

国際医療部シャドウイング実習　40%

2)最終レポート　10%

提出期限に遅れた場合は遅れた日数により減点する。

成績評価の基準

上記の成績評価の方法に示す各項目の成績の合計により評価を行う。

合計点が 90 点以上で A+,80～89 点で A,70～79 点で B,60～69 点で C とする。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

試験はないが実習時間の 4 分の 3 以上の出席を最低限の単位認定の条件とする。

他科目との関連

国際保健看護学Ⅰ/Ⅱ

連絡先(メールアドレス)

近藤　暁子:akondo.ind@tmd.ac.jp

オフィスアワー

近藤　暁子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

国際看護開発学教授室(3 号館 18 階)

＜全学科共通自由科目＞

Health Sciences Leadership Program

全学共通自由科目である、

- ・Moral and Political Philosophy for Medicine
- ・Biosocial Research Topics
- ・Applied Critical Thinking for Health Sciences
- ・Fundamentals of Global Health
- ・Leadership
- ・Negotiation
- ・Design Thinking

についての履修要項は時間割や応募方法などと併せて専用 Web ページで公開を行っています。
ご覧頂く場合は以下の Web ページにアクセス頂けます様お願いいたします。

【URL】

https://www.tmdu-global.jp/programs/hslp/syllabus/

【QR コード】

※「オンライン異文化交流」については 2025 年度は休講予定です。
開講することになりましたら、担当部署よりお知らせします。

時間割番号	012320				
科目名	医療と AI・ビッグデータ応用			科目 ID	MN-495200-L
担当教員	中林 潤, 清水 秀幸, 須藤 毅顕, 曹 日丹, 田畑 寛治[NAKABAYASHI Jun, SHIMIZU Hideyuki, SUDO Takeaki, CAO Ridan, TABATA Kanji]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

英文名:Advanced AI and Big Data in Health Sciences

【科目責任者】中林 潤

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2－1)

主な講義場所 同期型遠隔授業

授業の目的、概要等

AI・データサイエンスの価値を理解し、将来的に医療分野におけるデータサイエンスを活用した AI 技術研究を自らあるいは企業などと共同で推進するために必要な実践力を身に付ける

授業の到達目標

・データサイエンスを実践するために必要な数理モデルの理論的背景を概説できる
・データサイエンスを実践するために必要な AI モデルの理論的背景を概説できる
・データサイエンスを実践するために必要な前処理を行うことができる
・AI の基本的なモデルのプログラムを作成できる
・教師あり機械学習と教師なし機械学習の違いを説明できる
・機械学習を活用し、課題解決につなげることができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	4/24	10:45-11:30	遠隔授業(同期型)	データセットの読み込み	データセットの読み込みと画像データの理解	須藤 毅顕	"keras のデータセットを読み込むことができる MNIST の構成を理解し説明できる"
2	4/24	11:40-12:25	遠隔授業(同期型)	データセットの可視化と加工	画像データの可視化と学習の前処理	須藤 毅顕	"MNIST の画像を図示することができる 'モデルに入力するデータの前処理ができる"
3	5/8	10:45-11:30	遠隔授業(同期型)	データセットの可視化と加工 2	画像データの可視化と学習の前処理	須藤 毅顕	"MNIST の画像を図示することができる 'モデルに入力するデータの前処理ができる"
4	5/8	11:40-12:25	遠隔授業(同期型)	MLP(Multi layer perceptron)①	MLP 推論の基本的概念	須藤 毅顕	"MLP の概念を説明できる 'MLP の学習を実施できる"
5	5/15	10:45-11:30	遠隔授業(同期型)	MLP②	学習の基本的概念	須藤 毅顕	学習過程を理解し、MLP のモデルを改変できる
6	5/15	11:40-12:25	遠隔授業(同期型)	CNN(Convolutional Neural Network)	CNN の基本的概念	須藤 毅顕	CNN の概念を説明できる
7	5/29	10:45-11:30	遠隔授業(同期型)	CNN②	CNN の基本的演習	須藤 毅顕	"学習結果を可視化することができる '学習済みのモデルを評価できる"
8	6/19	10:45-11:30	遠隔授業(同期型)	データ拡張	画像処理におけるデータ拡張の基本的概念と基本演習	須藤 毅顕	"データ拡張の概念を説明できる ' データ拡張を実施できる"
9	6/19	11:40-12:25	遠隔授業(同期型)	画像分類(グループ演習)	CIFAR10 を用いたグループ演習	須藤 毅顕	"CIFAR10 の構成を理解し説明できる 'CIFAR10 を用いてデータの前処理、MLP、CNN が実践できる"
10	7/3	10:45-11:30	遠隔授業(同期型)	自然言語処理と ChatGPT	自然言語処理の概論と ChatGPT の導入	須藤 毅顕	"自然言語処理の基本的概念を説明できる 'ChatGPT を使い方を説明

							出来る″
11	7/3	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	言語モデル–生成 AI 概論(講義)	言語モデルの基本的概念（講義）	清水 秀幸	言語モデルの基本的概念を説明できる
12	7/10	10:45–11:30	遠隔授業（同期型）	自然言語処理演習(NLP)①	Transformers の pipeline による基本演習	須藤 毅顕	Transformers を用いて NLP の推論を実行できる
13	7/10	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	自然言語処理演習②	Transformers の Tokenizer による基本演習	須藤 毅顕	Transformers を用いて NLP の学習を実行できる
14	7/17	10:45–11:30	遠隔授業（同期型）	教師なし機械学習–次元削減	次元削減の概論と基本演習	須藤 毅顕	教師なし学習の次元削減について概念を説明できる
15	7/17	11:40–12:25	遠隔授業（同期型）	教師なし機械学習–クラスタリング	クラスタリングの概論と基本演習	須藤 毅顕	教師なし学習のクラスタリングについて概念を説明できる

授業方法

・講義と Python を用いたプログラミング演習を Zoom で行う。

・本科目の 1 コマでグループ演習を予定している。グループ演習は、非同期で受講する場合は 1 人で取り組んでも差し支えない。

なお、昨年の学生の授業評価を踏まえて、授業の録画はできる限り授業当日のうちにアップロードし、1 週間の学習期間を確実に確保できるようにする。

授業内容

・AI 総論(医療 AI、最新 AI 技術

・データの読み込み（MNIST、load_data()、配列操作）

・データセットの理解と加工（繰り返し、one–hot encoding）

・多層パーセプトロン①（重み、ニューロン、活性化関数）

・多層パーセプトロン②（学習、エポック、正解率と誤差）

・多層パーセプトロン③（損失関数、誤差逆伝播法）

・畳み込みニューラルネットワーク①（畳み込み、プーリング）

・その他応用演習

成績評価の方法

・本科目は課題の提出をもって出席とみなす。

・課題が提出されない場合は、当該授業を欠席したこととして扱うのみならず、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。

・「N2 教務係等からのお知らせ 2025」の「N2 2025「医療と AI・ビッグデータ応用」授業評価」に回答していることを最終評価の条件とする

成績評価の基準

本科目では試験を実施せず、各講義および演習後の課題によって成績評価を行う。

すべての課題を期限内に提出した場合は、基本的に 80 点以上となる。

（但し白紙もしくは白紙相当の課題内容は対象外とする）

準備学習等についての具体的な指示　・webclass にあげている動画教材を活用して予習・復習に役立てること。

試験の受験資格　試験は実施しないが、成績評価には講義の 2/3 の出席(課題提出)が必要である。

参考書

・Python で体感! 医療と AI はじめの一歩／宮野 悟, 中林 潤, 木下 淳博, 須藤 毅顕:羊土社

・東京大学のデータサイエンティスト育成講座 : Python で手を動かして学ぶデータ分析／中山浩太郎 監修,塚本邦尊, 山田典一, 大澤文孝 著,中山, 浩太郎,塚本, 邦尊,山田, 典一,大沢, 文孝, 1973–,:マイナビ出版, 2019

・データサイエンスの基礎／濵田悦生著 ; 狩野裕編,濵田, 悦生,狩野, 裕,講談社サイエンティフィク,:講談社, 2019

・Python3 スキルアップ教科書/辻真吾、小林秀幸、鈴木庸氏、細川康博/技術評論社

・新しい人工知能の教科書/多田智史、石井一夫/翔泳社

・医療 AI とディープラーニングシリーズ　医用画像ディープラーニング入門 /藤田広志/オーム社

・Python によるディープラーニング Francois Chollet/マイナビ出版

備考　課題は WebClass 上での提出のみを採点対象とし、授業担当者への個別メールでの対応は原則受け付けない

連絡先(メールアドレス)　中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp　須藤 毅顕:t–sudo.ioe@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林 潤:月曜～金曜　A.M.10:00 – P.M. 05:00　国府台キャンパス 4 階 教官研究室—9

須藤 毅顕:毎週火曜日 AM.11:00–PM.5:00 湯島キャンパス 1 号館東 3 階 教育メディア開発学分野研究室

時間割番号	012460				
科目名	AI 実践演習			科目 ID	MN-493600-S
担当教員	角　勇樹[SUMI Yuki]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

AI 実践演習

英文名：AI Practice Exercise

【科目責任者】角　勇樹

主な講義場所

Zoom による同期および非同期

授業の目的、概要等

各種モデルについての基本的概念を習得する。

プログラミングを行い、実行することにより AI について active learning を行う。

授業の到達目標

1) AI について様々な基本的概念を理解する

2) 実践して経験する

3) 応用として個々のニーズに応じたカスタマイズができる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1	10/16	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	Tkinter,Pillow による画像処理	IDE(Integrated Development Environment, 統合開発環境) の構築、Python 基本的文法、Tkinter の使い方、PIL の使い方	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習にてアニメ作成
2	10/30	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	オブジェクト指向とイベント処理	Python 基本的文法、Tkinter の使い方、PIL の使い方、オブジェクト指向とイベント処理、Nuitka による windows application 作成	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習にて電卓作成
3	11/6	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	ウインドウと画像処理	Tkinter,Pillow による画像処理、Nuitka による windows application 作成	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習にて画像編集ソフトの作成
4	11/27	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	深層学習 1	Backpropagation(逆誤差伝搬)、誤差関数、畳み込み(convolution neural network)、Max pooling、データー拡張、k 分割交差検証、過学習、Dropout、GitHub、Web	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習(MNIST 画像分類)、Web 実装
5	12/4	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	深層学習 2	Batch normalization、残差ネットワーク (Residual network)、転移学習、GradCam	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習(転移学習による画像分類、eXception,GradCam)
6	12/11	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	深層学習 3	U-network　Segmentation	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習(犬と猫の Segmentation、YOLO による real time object detection)
7	12/18	17:15-18:55	遠隔授業（同期型）	深層学習 4	Transformer　GPT　BERT	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習(GPT2 による学習)

8	1/8	17:15-18:55	遠隔授業 (同期型)	深層学習 5	ChatGPT　LangChain	角　勇樹	【到達目標】1),2),3) 【学習方法】講義の後、グループ議論、演習(ChatGPT、LangChain)

授業方法

基本的概念を同期および非同期授業にて学習し、例として提示されたプログラムを改変して提示された課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

授業内容

課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

成績評価の方法

複数の課題提出内容により成績判定を行う

成績評価の基準

課題提出内容を相対評価し、成績をつける。課題提出を行わなかった場合、提出内容が要求水準を満たさないことが続いた場合には単位認定を行わない。

準備学習等についての具体的な指示

「医療と AI・ビッグデータ入門」を履修している必要がある。
Python について基本的な事項は理解していること。

試験の受験資格

課題提出により成績判定を行うので、自主的にプログラミングし課題を提出すること

他科目との関連

「医療と AI・ビッグデータ入門」、「医療と AI・ビッグデータ応用」と　関連がある

履修上の注意事項

「医療と AI・ビッグデータ入門」を履修している必要がある。

連絡先(メールアドレス)

ysumi.pulm@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週 月-金 曜日 AM.9:00-PM.17:00 3 号館 16 階 呼吸器・神経系解析学教授室
(来室の前にメールで予約してください)

時間割番号	012450				
科目名	アントレプレナー教育(アントレプレナーシップ入門)			科目ID	MN-494300-L
担当教員	竹内 勝之, 飯田 頼嗣, 土肥 栄祐, 板越 正彦, 表 孝憲, 奥 真也, 内海 潤[TAKEUCHI Katsuyuki, IIDA Yoritsugu, DOHI Eisuke, ITAGOSHI Masahiko, OMOTE Takanori, OKU Shinya, UTSUMI Jun]				
開講時期	2025 年度通年	対象年次	2～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				

水曜日:3 講 (5 限 13:30～14:15 6 限 14:25～15:10)

全学科専攻対象

2025 年度の対象学年は 2 年次、3年次

履修登録の案内は後日行う

授業の目的、概要等

本科目の狙いは大きく二点ある。ひとつは起業あるいは新規事業開発で実績のある医療専門職や研究者にリアルな活動をお話いただき、履修者の皆さんに将来のキャリアの参考にしていただく機会を提供すること。もうひとつは、ビジネスにも医療活動にも研究にも共通して役に立つ汎用的なスキル(トランスファラブルスキル)の基本を学んでいただく機会を提供することである。

授業の到達目標

将来のキャリアパスのひとつとして、起業や新規事業開発についても興味を持ってもらうこと、そして、アントレプレナーの能力要件のひとつであるトランスファラブルスキルの基礎を身に着けてもらうこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	12/10	13:30-14:15		アントレプレナーのキャリア 1	土肥 栄祐, 奥 真也, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
2	12/10	14:25-15:10		アントレプレナーのキャリア 1	土肥 栄祐, 奥 真也, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
3	12/17	13:30-14:15		アントレプレナーのキャリア 2	土肥 栄祐, 竹内 勝之
4	12/17	14:25-15:10		アントレプレナーのキャリア 2	土肥 栄祐, 竹内 勝之
5	1/7	13:30-14:15		アントレプレナーのキャリア 3	土肥 栄祐, 竹内 勝之
6	1/7	14:25-15:10		アントレプレナーのキャリア 3	土肥 栄祐, 竹内 勝之
7	1/14	13:30-14:15		イノベーション論(仮)	板越 正彦, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
8	1/14	14:25-15:10		イノベーション論(仮)	板越 正彦, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
9	1/21	13:30-14:15		プロジェクトマネジメント	板越 正彦, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
10	1/21	14:25-15:10		プロジェクトマネジメント	板越 正彦, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
11	1/28	13:30-14:15		ビジネスコミュニケーション	表 孝憲, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
12	1/28	14:25-15:10		ビジネスコミュニケーション	表 孝憲, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
13	2/4	13:30-14:15		イノベーションとアントレプレナー	内海 潤, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
14	2/4	14:25-15:10		イノベーションとアントレプレナー	内海 潤, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
15	2/11	13:30-14:15		医療イノベーションを生む「DEI+Justice」	内海 潤, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之
16	2/11	14:25-15:10		医療イノベーションを生む「DEI+Justice」	内海 潤, 飯田 頼嗣, 竹内 勝之

授業方法

講義とディスカッションを併行する。(対面)

授業内容

第1回～第3回は起業や新規事業開発で実績のある医療専門職・研究者の方をゲストにお招きし、アントレプレナーとしてのリアルな話題を提供し、キャリアについてディスカッションを行う。

第 4 回～第 8 回はプロジェクトマネジメント、リーダーシップ、ビジネスコミュニケーションの他、医療産業動向なども講義する。

成績評価の方法

レポート 40% ・ その他(出席)60%

準備学習等についての具体的な指示

予習は必要ない。

第 4 回以降は、トランスファラブルスキルの基本を扱うので、復習時間を確保のうえ次の授業に臨むこと。

教科書

講義資料を配布するので、教科書は定めない。

参考書

授業時間内で紹介する。

他科目との関連

なし

履修上の注意事項

インタラクティブな授業内容もあるので、出席を重視する。

備考

キーワード：アントレプレナーシップ、トランスファラブルスキル

連絡先（メールアドレス）

竹内　勝之:takeuchi.k.mds@tmd.ac.jp

オフィスアワー

竹内　勝之:随時。但し事前にメールで予約。

問合せ先　医療・創薬イノベーション教育開発機構　竹内勝之　E-mail：takeuchi.k.mds@tmd.ac.jp

時間割番号	012470				
科目名	疫学基礎			科目ID	MN-494400-L
担当教員	藤原　武男, 谷　友香子[FUJIWARA Takeo, TANI Yukako]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

全て日本語で行う

主な講義場所

アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館)

授業の目的、概要等

授業目的

疫学の基礎を理解する。

概要

疫学の基礎を理解し、臨床研究論文を適切に解釈し執筆するための土台をつくる。

授業の到達目標

臨床疫学研究を実施するにあたり必要となる疫学の知識を身に着ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	5/7	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	疫学概論	谷　友香子
2	5/14	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	疾患の測定、感度と特異度	谷　友香子
3	5/21	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	疫学研究のデザイン、生態学的研究	谷　友香子
4	5/28	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	交絡因子、妥当性と信頼性	谷　友香子
5	6/4	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	サンプリング、横断研究	谷　友香子
6	6/11	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	コホート研究、ケースコントロール研究	谷　友香子
7	6/18	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	ランダム化比較試験、バイアス	谷　友香子
8	6/25	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	Critical Appraisal	谷　友香子

授業方法

科目担当者の講義による。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

8回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。また、事前に動画視聴などが必要な授業があるので、注意すること。

参考書

日本疫学会, はじめて学ぶやさしい疫学　第 3 版. 南江堂; 2018.

木原正博. 疫学 -医学的研究と実践のサイエンス. メディカルサイエンスインターナショナル. 2010

Gordis L. Epidemiology. 6th edition. Philadelphia: Elservier; 2018

履修上の注意事項

講義への出席は必須である。また、課されたレポート等は必ず提出すること。

連絡先(メールアドレス)

藤原　武男:fujiwara.hlth@tmd.ac.jp

谷　友香子:fujiwara.hlth@tmd.ac.jp

オフィスアワー

谷　友香子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

時間割番号	012480				
科目名	生物統計学基礎			科目ID	MN-494500-L
担当教員	高橋　邦彦, 安齋　達彦[TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

全て日本語で行う

主な講義場所

アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館)(オンライン参加も可能)

授業の目的、概要等

授業目的

生物統計学の基礎を復習し理解する。

概要

生物統計学の基本的な解析手法についての復習および理解を深め, 臨床疫学研究における適用について学習する。

授業の到達目標

問題に応じて適切な統計手法を選択, 適用できるとともに, 解析結果を解釈できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	4/22	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	生物統計学概論	高橋　邦彦, 安齋　達彦
2	5/13	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	平均の比較	高橋　邦彦, 安齋　達彦
3	5/20	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	頻度の比較	高橋　邦彦, 安齋　達彦
4	5/27	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	分散分析, 検定の多重性, 多重比較	高橋　邦彦, 安齋　達彦
5	6/3	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	相関と回帰	高橋　邦彦, 安齋　達彦
6	6/10	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	交絡調整のための多変量解析1:共分散分析, 重回帰分析	高橋　邦彦, 安齋　達彦
7	6/17	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	交絡調整のための多変量解析 2:Mantel-Haenszel, ロジスティック回帰分析	高橋　邦彦, 安齋　達彦
8	6/24	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	生存時間解析:Kaplan-Meier 法, ログランク検定, Cox 比例ハザードモデル	高橋　邦彦, 安齋　達彦

授業方法

科目担当者の講義による。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

成績評価は提出レポート内容(50%)と参加状況(50%)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。

参考書

・古川俊之(監修), 丹後俊郎(著). 医学への統計学. 第3版. 朝倉書店. 2013.

・Pagano M, Gauvreau K. Principles of Biostatistics. 2nd ed. CRC Press. 2000.

連絡先(メールアドレス)

高橋　邦彦:biostat.dsc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高橋　邦彦:平日・随時。ただし事前にメールで日時相談。

M&D データ科学センター生物統計学分野(E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp)

時間割番号	012490				
科目名	生物統計学応用Ⅰ			科目ID	MN-494600-L
担当教員	高橋 邦彦, 安齋 達彦, 星野 崇宏, 服部 聡, 野間 久史[TAKAHASHI Kunihiko, ANZAI Tatsuhiko, HOSHINO Takahiro, HATTORI Satoshi, NOMA Hisashi]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

全て日本語で行う

主な講義場所

アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館)(オンライン参加も可能)

授業の目的、概要等

授業目的

生物統計学の発展的な内容であるベイズ統計学およびメタアナリシスについて理解する。

概要

生物統計学を応用した発展的な課題として，ベイズ統計学およびメタアナリシスの基本的事項と実践について学習する。

授業の到達目標

ベイズ統計学を適用した推論，および少数例のメタアナリシスの実践を行うことができるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/17	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	ベイズ統計学の基礎1	高橋 邦彦
2	9/24	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	ベイズ統計学の基礎2	安齋 達彦
3	10/1	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	空間疫学研究におけるベイズ統計学の応用	高橋 邦彦
4	10/8	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	ベイズアプローチによる因果効果推定と疫学への応用	星野 崇宏
5	10/15	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	メタアナリシスの基礎1	高橋 邦彦
6	10/22	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	メタアナリシスの基礎2	高橋 邦彦
7	11/5	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	メタアナリシスの実践1:ネットワークメタアナリシス	野間 久史
8	11/12	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	メタアナリシスの実践2:診断法のメタアナリシス	服部 聡

授業方法

科目担当者の講義による。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

成績評価は提出レポート内容(50%)と参加状況(50%)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。

参考書

・Lesaffre E, Lawson AB. Bayesian Biostatistics. Wiley. 2012.

・Spiegelhalter DJ, Abrams KR, Myles JP. Bayesian Approaches to Clinical Trials and Health-Care Evaluation.Wiley. 2004.

・丹後俊郎, 横山徹爾, 高橋邦彦. 空間疫学への招待. 朝倉書店. 2007.

・丹後俊郎. 新版メタアナリシス入門. 朝倉書店. 2016.

・Borenstein M, et al. Introduction to Meta-Analysis. 2nd ed. Wiley. 2021.

連絡先(メールアドレス)

高橋 邦彦:biostat.dsc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

高橋 邦彦:平日・随時。ただし事前にメールで日時相談。

M&D データ科学センター生物統計学分野(E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp)

時間割番号	012500				
科目名	生物統計学応用Ⅱ			科目ID	MN-494700-L
担当教員	髙橋　邦彦, 清水　秀幸, 安齋　達彦, 漆原　尚巳[TAKAHASHI Kunihiko, SHIMIZU Hideyuki, ANZAI Tatsuhiko, URUSHIHARA Hisashi]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

全て日本語で行う

主な講義場所

アクティブラーニング教室(M&D タワー4 階図書館本館)(オンライン参加も可能)

授業の目的、概要等

授業目的

生物統計学の発展的な課題である薬剤疫学及び医療分野における AI の活用について理解する。

概要

生物統計学を応用した発展的な課題として，薬剤疫学および医療分野における AI の活用について，その基本的事項と実践について学習する。

授業の到達目標

薬剤疫学を適用した医薬品のリスク評価および医療分野における AI 分析結果の評価を行うことができるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/16	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	薬剤疫学の研究デザインと評価指標(1)	髙橋　邦彦
2	9/30	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	薬剤疫学の研究デザインと評価指標(2)	髙橋　邦彦
3	10/7	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	薬剤のリスクマネージメントとシグナル検出	安齋　達彦
4	10/14	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	薬剤疫学研究の実践	漆原　尚巳
5	10/21	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	医療 AI のための基礎(1)	髙橋　邦彦, 安齋　達彦
6	11/4	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	医療 AI のための基礎(2)	髙橋　邦彦, 安齋　達彦
7	11/11	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	医療 AI の実践(1)	清水　秀幸
8	11/18	18:00-19:30	アクティブラーニング教室, ライブ	医療 AI の実践(2)	清水　秀幸

授業方法

科目担当者の講義による。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

成績評価は提出レポート内容(50%)と参加状況(50%)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。

参考書

・くすりの適正使用協議会. 実例で学ぶ薬剤疫学の第一歩. レーダー出版センター. 2008.

・佐藤俊哉, 山口拓洋, 石黒智恵子(編). これからの薬剤疫学. 朝倉書店. 2021.

・景山茂, 久保田潔(編). 薬剤疫学の基礎と実践. 改訂第 3 版. ライフサイエンス出版. 2021.

・Naqa I, Murphy M (eds). Machine and Deep Learning in Oncology, Medical Physics and Radiology. Springer. 2022.

連絡先(メールアドレス)

髙橋　邦彦:biostat.dsc@tmd.ac.jp

清水　秀幸:h_shimizu.dsc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

髙橋　邦彦:平日・随時。ただし事前にメールで日時相談。

M&D データ科学センター生物統計学分野(E-mail: biostat.dsc@tmd.ac.jp)

清水　秀幸:平日であれば随時可能。事前にメールで日時を相談してください。

時間割番号	012510				
科目名	臨床試験方法論基礎			科目ID	MN-494800-L
担当教員	平川 晃弘[HIRAKAWA Akihiro]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

全て日本語で行う。

主な講義場所

遠隔講義(ZOOM)

授業の目的、概要等

授業目的

エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項を学習する。

概要

エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項(試験デザイン、ランダム化、盲検化、エンドポイント、解析対象集団、サンプルサイズ設計等)を体系的に学習する。

授業の到達目標

研究目的や実施可能性を踏まえて、適切な臨床試験をデザインできるようになる。臨床試験の論文からそのエビデンスレベルを読み解けるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/26	18:00-19:30	ライブ	臨床研究概論と様々な試験デザイン	平川 晃弘
2	7/1	18:00-19:30	ライブ	優越性試験と非劣性試験	平川 晃弘
3	7/3	18:00-19:30	ライブ	ランダム化と盲検化	平川 晃弘
4	7/8	18:00-19:30	ライブ	連続型・二値型エンドポイントとそのデータ解析法	平川 晃弘
5	7/10	18:00-19:30	ライブ	時間イベント型(生存時間)エンドポイントとそのデータ解析法	平川 晃弘
6	7/22	18:00-19:30	ライブ	解析対象集団と欠測データの処理(経時データ解析の基礎を含む)	平川 晃弘
7	7/24	18:00-19:30	ライブ	サンプルサイズ設計の考え方	平川 晃弘
8	7/29	18:00-19:30	ライブ	Innovative clinical trial methodology 入門	平川 晃弘

授業方法

科目担当者の講義による。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

8 回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

臨床試験方法論の基礎から学習するカリキュラムのため事前学習は必要としないが、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針や ICH E9(臨床試験のための統計的原則)を理解していることが望ましい。

教科書

臨床試験方法論:エビデンス創出のための試験デザインと統計解析／平川晃弘:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2025

臨床試験方法論:エビデンス創出のための試験デザインと統計解析(メディカル・サイエンス・インターナショナル)に沿って講義を進める。

連絡先(メールアドレス)

a-hirakawa.crc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

随時(事前にアポイントを取ること)、8 号館北 4 階

時間割番号	012520				
科目名	臨床試験方法論応用			科目ID	MN-494900-L
担当教員	平川 晃弘, 佐藤 宏征[HIRAKAWA Akihiro, SATO Hiroyuki]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

全て日本語で行う。

主な講義場所

遠隔講義(ZOOM)

授業の目的、概要等

授業目的

エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項を学習する。

概要

エビデンス創出に必要な臨床試験方法論の基本的考え方と臨床試験の計画と解析に必要な統計的事項(試験デザイン、ランダム化、盲検化、エンドポイント、解析対象集団、サンプルサイズ設計等)を体系的に学習する。

授業の到達目標

研究目的や実施可能性を踏まえて、適切な臨床試験をデザインできるようになる。臨床試験の論文からそのエビデンスレベルを読み解けるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	10/2	18:00-19:30	ライブ	中間解析と群逐次デザイン	平川 晃弘, 佐藤 宏征
2	10/9	18:00-19:30	ライブ	アダプティブ臨床試験デザイン	平川 晃弘, 佐藤 宏征
3	10/16	18:00-19:30	ライブ	ベイズ流臨床試験デザイン	平川 晃弘, 佐藤 宏征
4	10/23	18:00-19:30	ライブ	がん臨床試験デザイン	平川 晃弘, 佐藤 宏征
5	10/30	18:00-19:30	ライブ	マスタープロトコル試験	平川 晃弘, 佐藤 宏征
6	11/6	18:00-19:30	ライブ	診断性能試験(ROC 解析による診断能評価)	平川 晃弘, 佐藤 宏征
7	11/20	18:00-19:30	ライブ	予後・治療効果予測アルゴリズムの構築と検証法	平川 晃弘, 佐藤 宏征
8	11/27	18:00-19:30	ライブ	これからの臨床試験(最近の話題)	平川 晃弘, 佐藤 宏征

授業方法

科目担当者の講義による。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

8 回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

臨床試験方法論(基礎)を必ず受講すること。

教科書

臨床試験方法論:エビデンス創出のための試験デザインと統計解析／平川晃弘:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2025

臨床試験方法論:エビデンス創出のための試験デザインと統計解析(メディカル・サイエンス・インターナショナル)に沿って講義を行う。

連絡先(メールアドレス)

平川 晃弘:a-hirakawa.crc@tmd.ac.jp

佐藤 宏征:h-sato.crc@tmd.ac.jp

オフィスアワー

平川 晃弘:随時(事前にアポイントを取ること)、8 号館北 4 階

時間割番号	012530				
科目名	口腔疫学基礎			科目ID	MN-495000-L
担当教員	相田 潤, 松山 祐輔, 木野 志保, 石丸 美穂[AIDA Jun, MATSUYAMA Yusuke, KINO Shiho, ISHIMARU Miho]				
開講時期	2025 年度前期	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

全て日本語で行う

主な講義場所

Zoom

授業の目的、概要等

授業目的

歯科疫学の基礎を理解する。

概要

歯科口腔疾患の疫学の基礎を理解する。国際的なコンテクストを理解して論文がかける土台をつくる。

授業の到達目標

歯科・口腔保健分野で臨床疫学研究を実施するにあたり、基礎的な素養を身に着ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	6/30	18:00-19:30	ライブ	論文のコンテクスト:歯科の記述疫学やEBMの理解	相田 潤
2	7/2	18:00-19:30	ライブ	観察研究を口腔保健領域の研究から理解する	相田 潤
3	7/7	18:00-19:30	オンデマンド	社会疫学を口腔保健領域の研究から理解する	木野 志保
4	7/9	18:00-19:30	オンデマンド	口腔保健分野のリアルワールドデータの解析	石丸 美穂
5	7/23	18:00-19:30	ライブ	口腔と全身の健康の関連とその批判	相田 潤
6	7/28	18:00-19:30	オンデマンド	既存データを利用した歯科疫学研究	松山 祐輔
7	7/30	18:00-19:30	ライブ	研究デザインを明確にした研究計画の立案	相田 潤, 松山 祐輔
8	8/4	18:00-19:30	ライブ	研究計画発表	相田 潤, 松山 祐輔, 木野 志保, 石丸 美穂

授業方法

科目担当者の講義による。

授業内容

別表のとおり。

成績評価の方法

8回のうち5回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50点)と参加状況(50点)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。また、事前に動画視聴などが必要な授業があるので、注意すること。

履修上の注意事項

講義への出席は必須である。また、課されたレポート等は必ず提出すること。

連絡先(メールアドレス)

相田 潤:aida.ohp@tmd.ac.jp

松山 祐輔:matsuyama.ohp@tmd.ac.jp

木野 志保:shiho.kino.ohp@tmd.ac.jp

石丸 美穂:ishimaru.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

相田 潤:歯科公衆衛生学分野 教授 相田潤

aida.ohp@tmd.ac.jp

毎週火曜日 PM.4:30-5:30 歯科棟北 10階 歯科公衆衛生学分野

松山 祐輔:オフィスアワーは特に定めないが, 事前にメールで連絡してから訪問すること。

木野 志保:毎週火曜日 10:00～17:00 1号館西8階 口腔疾患予防学分野・教授室

石丸 美穂:毎週木曜日 AM10:00-PM5:00 1号館3階 統合教育機構

時間割番号	012540				
科目名	疫学応用			科目ID	MN-495100-L
担当教員	相田 潤, 谷 友香子, 伊角 彩, 土井 理美, 松山 祐輔, 木野 志保, 石丸 美穂[AIDA Jun, TANI Yukako, ISUMI Aya, DOI Satomi, MATSUYAMA Yusuke, KINO Shiho, ISHIMARU Miho]				
開講時期	2025 年度後期	対象年次	1～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

全て日本語で行う

主な講義場所　Zoom、図書館情報検索室 1(M&D タワー4 階)

授業の目的、概要等

授業目的

疫学の発展的な内容を理解する。

概要

疫学の発展的な内容を理解するために、統計ソフトを用いた解析の実際や発展的な内容を学習する。

授業の到達目標　疫学研究を実施するにあたり、発展的な知識や実践的な技術を身に着ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1	9/19	18:00-19:30	情報検索室 1	傾向スコアを利用した解析1	谷 友香子
2	9/26	18:00-19:30	情報検索室 1	傾向スコアを利用した解析2	谷 友香子
3	10/3	18:00-19:30	ライブ	媒介分析と Structural Equation Modeling	伊角 彩, 土井 理美
4	10/10	18:00-19:30	オンデマンド	マルチレベル分析	木野 志保
5	10/17	18:00-19:30	オンデマンド	欠損値補完1	相田 潤
6	10/24	18:00-19:30	情報検索室 1	欠損値補完2	相田 潤, 松山 祐輔
7	11/7	18:00-19:30	オンデマンド	因果推論(DAG、IV、RD、DID など)1	松山 祐輔
8	11/21	18:00-19:30	オンデマンド	因果推論(DAG、IV、RD、DID など)2	木野 志保, 石丸 美穂

授業方法　科目担当者の講義による。

授業内容　別表のとおり。

成績評価の方法

8回のうち 5 回以上の出席が必要で、成績評価は提出レポート内容(50 点)と参加状況(50 点)を総合して評価する。

準備学習等についての具体的な指示

講義概要に示す各担当教員の講義内容について、下記に示す参考書や文献などを参照して事前に予習することを勧める。また、事前に動画視聴などが必要な授業があるので、注意すること。

参考書　Szklo M, Nieto FJ. 木原正博、木原雅子訳. アドバンスト分析疫学. メディカルサイエンスインターナショナル. 2020

履修上の注意事項　講義への出席は必須である。また、課されたレポート等は必ず提出すること。

連絡先(メールアドレス)

相田 潤:aida.ohp@tmd.ac.jp

谷 友香子:fujiwara.hlth@tmd.ac.jp

土井 理美:doi.hlth@tmd.ac.jp

松山 祐輔:matsuyama.ohp@tmd.ac.jp

木野 志保:shiho.kino.ohp@tmd.ac.jp

石丸 美穂:ishimaru.ohp@tmd.ac.jp

オフィスアワー

相田 潤:歯科公衆衛生学分野 教授 相田潤

aida.ohp@tmd.ac.jp

毎週火曜日 PM.4:30-5:30 歯科棟北 10 階 歯科公衆衛生学分野

谷 友香子:オフィスアワーは特に定めないが、事前連絡してから訪問すること。

松山 祐輔:オフィスアワーは特に定めないが, 事前にメールで連絡してから訪問すること。

木野 志保:毎週火曜日 10:00～17:00 1 号館西 8 階 口腔疾患予防学分野・教授室

石丸 美穂:毎週木曜日 AM10:00-PM5:00 1 号館 3 階 統合教育機構

学生周知事項

湯島地区 学生周知事項（教育要項 2025 年度版）

1 連絡・通知

告示、通知、連絡（試験関係、休講情報、講義室変更、奨学金関係、健康診断、授業料の納付、呼び出し等）は，Web Class（電子掲示板）や大学メールアドレスへの配信、Slack への投稿で行います。

特に大学メールアドレスへのメーリングリストを用いた配信は、プライベートなメールアドレスの使用とは異なりますので。１日に１回はメールを確認するように心がけ、見落として不利益を被らないよう十分注意してください。

2 電話等による学生の呼び出し等

電話等による学生の呼び出しは、緊急かつ重大な場合を除いて一切行わないので、各関係者（保護者等を含みます）に説明しておいて下さい。

3 学生証

学生証は、本学の学生である旨を証明するものです。

入学時に交付したものを４年間使用しますので、紛失・破損等のないよう大切に取り扱って下さい。

また、定期試験受験時，通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう、常に携帯するようにして下さい。

（１）再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は、速やかに教務課 湯島学位審査グループ（１号館西１階）に申し出て、再交付の手続きを行って下さい。

再交付には費用がかかりますので注意してください。また再交付まで約１ヶ月近くの期間を要します。

（２）返却

卒業、退学、除籍、又は有効期間が経過した場合は、速やかに学生証を湯島学位審査グループに返却して下さい。なお、返却できない場合は費用を負担することになります。

4 証明書等

証明書等は湯島教務室 保健衛生教務グループにて発行するものと、自動発行機にて発行するものがあります。

（１）保健衛生教務グループで発行するもの（受付時間：８：３０～１７：１５）

次に掲げるものは、保健衛生教務グループで発行しますので証明書交付願を提出して下さい。（交付は、原則として，提出のあった日の２日後（休日を含まない）となります。）

①成績証明書

②卒業見込証明書（英文）　※ただし最終学年の在学者のみ申請可能

③在学証明書（英文）

④通学証明書（交通機関から請求された場合に限る。）

バス及び鉄道の通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅又は大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入して下さい。

⑤実習用定期

卒業研究等により本学以外の地に通学する場合は、実習用定期の発行が可能な為、必要が生じた者は、保健衛生教務グループに申し出てください。

なお、鉄道会社の許可を受けるまでに１ヶ月程度要しますので留意してください。(例：４月から必要な場合は、２月中に手続きをとること。)

※その他：上記以外の証明書等については、個別に保健衛生教務グループに相談して下さい。

（２）自動発行機（利用時間：月～金　８：３０～２１：００）

在学証明書・卒業見込み証明書（第４学年在籍者のみ）は、学生談話室（５号館４階）に設置されている[自動発行機]にて発行します。

（問い合わせ先）教務課 湯島学位審査グループ（03-5803-5074）

5 学生旅客運賃割引証（学割証）

（１）概要

学生が課外活動又は帰省などでＪＲ線を利用する場合、乗車区間が片道 100km を超えるときに旅客運賃の割引（２割）を受けることができるものです。

この制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので、計画的に使用すること。(年間使用限度：１０枚／人)

（２）注意事項

次に掲げる行為があったときは、普通運賃の２倍の追徴金を取られるばかりでなく本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので、乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。

①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき

②名義人が乗車券を購入し、これを他人に使用させたとき

③使用有効期間を経過したものを使用したとき

（３）学割証の発行

学割証は、学生談話室（５号館４階）に設置されている「自動発行機」にて発行します。

（利用時間：８：３０～２１：００）
（問い合わせ先）湯島学生支援室 学生支援総括グループ（03-5803-5077）

6 住所・氏名等の変更

本人又は保証人等の住所・本籍又は氏名等（電話番号を含む。）に変更が生じた場合は、速やかに保健衛生教務グループに申し出て所定の手続きをとって下さい。

この手続きを怠った場合、大学から本人又は保護者等に緊急に連絡する必要が生じても連絡が取れないので注意して下さい。

7 休学、復学、退学、公欠、欠席

（1）休学

傷病や家庭の事情等を事由として、2か月以上休学する場合は、「休学願」を保健衛生教務グループに提出し、学長の許可を受けて下さい。（最大申請期間は1年以内の月末となります。）
なお、傷病を事由とした休学を願い出る場合は、医師の診断書の添付が必要となります。
休学を許可される期間は，通算して3年（36か月）を超えることができません。
※休学を願い出る場合は2か月以上前までに保健衛生教務グループに連絡を行うこと。

（2）復学

休学している学生が、復学をする場合は許可を受けた休学期間が満了する場合は自動復学となります。
ただし、傷病を事由とした休学をしている場合は期間満了の場合も自動復学とはならず、「復学願」の提出が必要となります。（医師の診断書と保健管理センター発行の復学に関する意見書を添付する必要があります。）
また、休学許可期間の途中に復学を希望する場合は、その事由を問わず、「復学願」を保健衛生教務グループに提出し、学長の許可を受けて下さい。
※復学を願い出る場合は2か月以上前までに保健衛生教務グループに連絡を行うこと。

（3）退学

本学を退学しようとする場合は、「退学願」を保健衛生教務グループに提出し、学長の許可を受けて下さい。
※復学を願い出る場合は2か月以上前までに保健衛生教務グループに連絡を行うこと。

（4）公欠

「東京科学大学における公欠の制度に関する要項」で公欠として認められる事由に該当し授業等を欠席する（した）場合は「公欠届」を保健衛生教務グループに提出して下さい。
公欠として認められる事由と必要添付書類及び届出時期は次の通りです。

公欠事由	公欠として認められる期間の目安		必要添付書類	届出時期の目安
(1) 学校保健安全法施行規則（昭和 33 年 6 月 13 日文部省令第 18 号。以下「施行規則」という。）第 18 条に規定する感染症に罹患した場合、又は感染しているおそれがある場合	施行規則第 19 条に規定する出席停止の期間の基準のとおり（右記診断書等に記載されている出席停止の期間のとおり）		診断書等	公欠事由該当期間終了後 1 週間以内
(2) 親族（配偶者及び 2 親等以内の親族に限る。以下同じ。）が死亡した場合	配偶者及び 1 親等（父母・子）	連続する 7 日以内（休日を含む。）	会葬礼状等	公欠事由該当期間終了後 1 週間以内
	2 親等（祖父母・兄弟・姉妹・孫）	連続する 3 日以内（休日を含む。）		
(3) 裁判員制度による裁判員若しくは裁判員候補者又は検察審査会制度による検察審査員若しくは補充員に選任された場合	裁判所または検察審査会事務局からの通知書その他事実が確認できる書類に記載のある期間		裁判所又は検察審査会からの通知書等	書類到着後から公欠事由期間開始前まで
(4) 被災等により通学が困難と学長が認めた場合	学長が必要と認めた期間		罹災証明書等	公欠事由発生後、相当の期間内

（5）欠席届

公欠に該当しない事由により、授業等を欠席した場合は「授業欠席届」を席期間の最終日から原則として 5 日以内に保健衛生教務グループに提出することができます。ただし、公欠届の提出と同等の配慮を行うかについては科目責任者の判断によります。

8 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

湯島地区において、台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講・試験の延長を決定した場合は、大学ホームページ「学生生活」トップページのお知らせ欄に掲載します。

（参考 URL）https://www.tmd.ac.jp/faculties/kyukou/

9 実習要件となる検査、ワクチン接種

保健衛生学科の教育課程の中には臨地実習（附属病院をはじめ、近隣の医療機関等、臨床の現場で行う実習）が含まれます。こうした実習に参加するために、医学部、歯学部では実習要件を設定しています。

（参考 URL）https://www.tmd.ac.jp/hsc/74_59cdef94be987/

※保健衛生学科の各専攻別（学年別）の細かな要件については、

看護学専攻　　：看護学専攻における臨地実習履修要件

検査技術学専攻：検査技術学専攻第 3 学年における臨地実習履修要件

を参照のこと。

必要となる検査やワクチン接種の機会は全て大学で用意されています。期間内に参加できない場合は外部の医療機関にて実費対応をする必要が生じますので、検査や健康診断、ワクチン接種の案内を見逃さず、必ず参加する様にしてください。

10 ロッカーの貸与

各人にロッカー（学部在籍中は，同じロッカーを使用）を貸与します。
私物は講義室等に置かず、全てロッカーに保管して下さい。
教室及びロッカー室内での盗難が多発しているので、貴重品等の管理は厳重にして下さい。
また、各人の責による備品等の破損については、各人の負担により現状に復して下さい。

11 授業中（大学行事や課外授業を含む）の本人及び賠償責任が伴う事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」（学研災）及び「医学生教育研究賠償責任保険」（医学賠）の対象となります。

なお、針刺し事故が起こった場合は、湯島学生支援室 学生支援総括グループ（5 号館 3 階：03-5803-5077）へ連絡のうえ指示を受けてください。

ただし、他人に対する針刺し事故については上記の「医学賠」保険の対象となります。

12 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。
・遺失または拾得した建物の防災センターまたは守衛所

13 各種事務手続きの窓口一覧

① 湯島地区の教務事務・・湯島教務室 保健衛生教務グループ　（3 号館 6 階　：03-5803-5119）
② 授業料の納入・・・・・経理課 資金管理グループ　（1 号館西 3 階：03-5803-5042）
③ 奨学金・授業料免除・・湯島学生支援室 学生支援総括グループ（5 号館 3 階　：03-5803-5077）
④ 学生証発行・・・・・・教務課 湯島学位審査グループ　（1 号館西 1 階：03-5803-5074）
⑤ 大学メール・・・・・・情報基盤課 IT サポート第 2 グループ
（M&D タワー3 階:03-5803-5599）
⑥ 図書館の利用・・・・・図書館利用支援課 御茶ノ水図書館グループ
（M&D タワー3 階:03-5803-5596）
⑦ 針刺し事故・・・・・・湯島学生支援室 学生支援総括グループ（5 号館 3 階　：03-5803-5077）

講義室一覧

講義室等一覧

【５号館】
福利厚生給与課　職員健康管理グループ　（３階）
湯島学生支援室　学生支援総括グループ　（３階）
湯島学生支援室　湯島保健管理センターグループ　（２階）
生協食堂　（１階）
生協購買図書部　（地下１階）

【３号館】
保健衛生学科講義室１　（18階）
看護実習室１・２・３・４・５　（17階）
保健衛生学科講義室２・３　（８階）
検査学実習室１・２・３　（８階）
保健衛生学科自習室　（８階）
保健衛生学科講義室４・５　（７階）
保健衛生教務グループ　（６階）
※保健衛生教務グループは2025年4～5月頃に1号館へ引っ越し予定です。

【Ｍ＆Ｄタワー】
鈴木章夫記念講堂（２階）
図書館　（３階）
情報基盤課　ITサポート第2グループ（３階）
情報検索室１・２（４階）
共用講義室１・２（２階）

【１号館】
教務課　保健衛生教務グループ　（１階）
教務課　学位審査グループ　（１階）
経理課　資金管理グループ　（３階）
グリルセインツ（９階）

参　考

主な関係規則一覧

【全学規則】

・東京科学大学学則

・東京科学大学学修規程

・東京科学大学の学部における学修に関する細則

・東京科学大学における休学に関する規程

・東京科学大学における公欠の制度に関する要項

・東京科学大学におけるＧＰＡ制度に関する要項

・東京科学大学学生の懲戒等に関する規程

【部局内規】

・東京科学大学医学部専門科目学修内規

・東京科学大学の医学部及び歯学部の復学に関する内規

東京科学大学 規則等検索システム
https://sprb.legal-square.com/HAS-Shohin/page/SJLogin.jsf
（東京科学大学から統合して間もない為、現時点で全ての規則等の掲載はありませんが、今後順次公開される予定です。）

保健衛生学科（看護学専攻）教育課程表

2025年度以降入学者（2025年度においては主に1年次学生に対応）

区分		科目名	単位数			履修学年												備考
			必修科目	選択科目	自由科目	第１学年			第2学年			第3学年			第4学年			
						前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	
専門基礎分野		解剖学	3				○											
		生理学	3						○									
		生化学	2				○											
		薬理学 I	1							○								
		薬理学 II	1							○								
		病理学	1				○											
		微生物学	1				○											
		栄養学	1				○											
		疫学	1									○						
		病態学	5								○							
		憲法			2				○			○			○			※3
		英語 II			1～4						○			○			○	※3　※4
		System-based medical terminology I	1									○						
		Nurse-Patient Communication	1												○			
		IMRAD Format Presentation in English			1									○			○	※3
		Diagnostic Procedures in English			1												○	
		アカデミック・リテラシー	1				○											
専門共通分野		AI・データサイエンスのための数学	2				○											
		医療とAI・ビッグデータ入門	2				○											
		医療とAI・ビッグデータ応用	1								○							
		国際保健看護学 I	1				○											
		国際保健看護学 II	1												○			
		産業保健学	1												○			
		保健医療福祉制度論	2							○								
		看護制度論	1				○											
		健康教育学演習	1						○									
		卒業論文 I	1											○				
		卒業論文 II	2											○			○	
		実践看護英語 I			1				○									
		実践看護英語 II			1							○						
		実践看護英語 III			1										○			
		国際保健福祉 A			1			○										
		国際保健福祉 B			1						○							
		国際保健福祉 C			1									○				
		国際保健福祉 D			1												○	
		インディペンデントスタディ A			1						○							
		インディペンデントスタディ B			1									○				
		インディペンデントスタディ C			1												○	
専門領域別分野	基礎看護学	人間の健康と看護	1				○											
		基盤看護学 I	1						○									
		基盤看護学 II	1								○							
		基盤看護学演習 I	2						○									
		基盤看護学演習 II	1							○								
		基盤看護学実習 I	1					○										
		基盤看護学実習 II	2								○							
		フィジカルアセスメント	1						○									
	成人看護学	成人の健康と看護	2						○									
		成人看護学	2							○								
		クリティカルケア看護学	1									○						
		成人看護学演習	1									○						
		成人・老年看護学実習 I	3										○					
		緩和ケア看護学	1									○						
	精神看護学	心の健康と看護 I	2						○									
		心の健康と看護 II	1							○								
		精神看護学演習	1									○						
		精神看護学実習	2										○					
	小児看護学	小児の健康と看護	1						○									
		小児看護学 I	1							○								
		小児看護学 II	1									○						
		小児看護学演習	1									○						
		小児看護学実習	2										○					
	母性看護学	性と生殖と健康と看護	1									○						
		周産看護学 I	1									○						
		周産看護学 II	1									○						
		周産看護学演習	1									○						
		周産看護学実習	2										○					
	老年看護学	高齢者の健康と看護	1									○						
		老年看護学	2									○						
		老年看護学演習	1									○						
		リハビリテーション看護学		1								○						※2
		成人・老年看護学実習 II	3										○					
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学 I	1						○									
		公衆衛生看護学 II	1									○						
		公衆衛生看護学 III		2											○			※1
		公衆衛生看護学演習		3													○	※1
		公衆衛生看護学実習		4													○	※1
	在宅看護学	在宅看護学 I	2							○								
		在宅看護学 II	2									○						
		在宅看護学演習	1									○						
		在宅看護学実習	2										○					
	看護の統合と実践	看護の統合と実践	1				○											
		多職種連携 I	0.5			○												
		多職種連携 II	0.5						○									
		災害看護学	1							○								
		クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	1												○			
		看護マネジメント学	1												○			
		看護の統合と実践実習	3														○	
		成人・老年看護学実習 III		2													○	※2
		総合看護学実習		1													○	※2
合計			99	13	15～18													

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※１の３科目を選択すること。
　保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※２の３科目を選択すること。
・※３　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。
・※４　英語 II（A）・（B）・（C）・（D）　各１単位

保健衛生学科（看護学専攻）教育課程表

2023年度以降入学者（2025年度においては主に2年次、3年次学生に対応）

区分		科目名	単位数			履修学年												備考
			必修科目	選択科目	自由科目	第１学年			第2学年			第3学年			第4学年			
						前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	
専門基礎分野		解剖学	3				○											
		生理学	3						○									
		生化学	2				○											
		薬理学 I	1							○								
		薬理学 II	1							○								
		病理学	1				○											
		微生物学	1				○											
		栄養学	1				○											
		疫学	1									○						
		病態学	5								○							
		憲法			2	○			○			○			○			※3
		英語 II			1～4						○			○			○	※3　※4
		System-based medical terminology I	1									○						
		Nurse-Patient Communication	1												○			
		IMRAD Format Presentation in English			1									○			○	※3
		Diagnostic Procedures in English			1												○	
		アカデミック・リテラシー	1				○											
専門共通分野		AI・データサイエンスのための数学	2				○											
		医療とAI・ビッグデータ入門	2				○											
		国際保健看護学 I	1				○											
		国際保健看護学 II	1												○			
		産業保健学	1												○			
		保健医療福祉制度論	2							○								
		看護制度論	1				○											
		健康教育学演習	1						○									
		卒業論文 I	1											○				
		卒業論文 II	2											○			○	
		実践看護英語 I			1				○									
		実践看護英語 II			1							○						
		実践看護英語 III			1										○			
		国際保健福祉 A			1			○										
		国際保健福祉 B			1						○							
		国際保健福祉 C			1									○				
		国際保健福祉 D			1												○	
		インディペンデントスタディ A			1						○							
		インディペンデントスタディ B			1									○				
		インディペンデントスタディ C			1												○	
専門領域別分野		人間の健康と看護	1				○											
	基礎看護学	基盤看護学 I	1						○									
		基盤看護学 II	1								○							
		基盤看護学演習 I	2						○									
		基盤看護学演習 II	1							○								
		基盤看護学実習 I	1					○										
		基盤看護学実習 II	2								○							
		フィジカルアセスメント	1						○									
	成人看護学	成人の健康と看護	2						○									
		成人看護学	2							○								
		クリティカルケア看護学	1									○						
		成人看護学演習	1									○						
		成人・老年看護学実習 I	3										○					
		緩和ケア看護学	1									○						
	精神看護学	心の健康と看護 I	2						○									
		心の健康と看護 II	1							○								
		精神看護学演習	1									○						
		精神看護学実習	2										○					
	小児看護学	小児の健康と看護	1						○									
		小児看護学 I	1							○								
		小児看護学 II	1									○						
		小児看護学演習	1									○						
		小児看護学実習	2										○					
	母性看護学	性と生殖と健康と看護	1									○						
		周産看護学 I	1									○						
		周産看護学 II	1									○						
		周産看護学演習	1									○						
		周産看護学実習	2										○					
	老年看護学	高齢者の健康と看護	1									○						
		老年看護学	2									○						
		老年看護学演習	1									○						
		リハビリテーション看護学		1								○						※2
		成人・老年看護学実習 II	3										○					
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学 I	1						○									
		公衆衛生看護学 II	1									○						
		公衆衛生看護学 III		2											○			※1
		公衆衛生看護学演習		3													○	※1
		公衆衛生看護学実習		4													○	※1
	在宅看護学	在宅看護学 I	2							○								
		在宅看護学 II	2									○						
		在宅看護学演習	1									○						
		在宅看護学実習	2										○					
	看護の統合と実践	看護の統合と実践	1				○											
		多職種連携 I	0.5			○												
		多職種連携 II	0.5						○									
		災害看護学	1							○								
		クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	1												○			
		看護マネジメント学	1												○			
		看護の統合と実践実習	3														○	
		成人・老年看護学実習 III		2													○	※2
		総合看護学実習		1													○	※2
合計			98	13	15～18													

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※１の３科目を選択すること。
　保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※２の３科目を選択すること。
・※3　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。
・※4　英語 II（A）・（B）・（C）・（D）　各１単位

保健衛生学科（看護学専攻）教育課程表

2022年度入学者（2025年度においては主に4年次学生に対応）

区分		科目名	単位数			履修学年												備考
			必修科目	選択科目	自由科目	第１学年			第2学年			第3学年			第4学年			
						前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	
専門基礎分野		解剖学	3				○											
		生理学	3						○									
		生化学	2						○									
		薬理学 I	1							○								
		薬理学 II	1							○								
		病理学	1						○									
		微生物学	1				○											
		栄養学	1							○								
		疫学	1									○						
		病態学	5								○							
		Global Nursing Communication I	1						○									
		Global Nursing Communication II	1									○						
		専門基礎合同演習	1						○									
専門共通分野		保健統計学	1												○			
		医療情報学	1							○								
		国際保健看護学 I	1				○											
		国際保健看護学 II	1												○			
		産業保健学	1												○			
		保健医療福祉制度論	2							○								
		看護制度論	1				○											
		健康教育学演習	1						○									
		卒業論文 I	1											○				
		卒業論文 II	2														○	
		癒しのケア論	1			○												
		AI 実践演習			1					○						○		※5
		Learning Medical English			1					○			○			○		※5
		実践看護英語 I			1				○									
		実践看護英語 II			1							○						
		実践看護英語III			1										○			
		国際保健福祉 A			1			○										
		国際保健福祉 B			1						○							
		国際保健福祉 C			1									○				
		国際保健福祉 D			1												○	
		インディペンデントスタディ A			1						○							
		インディペンデントスタディ B			1									○				
		インディペンデントスタディ C			1												○	
専門領域別分野	基礎看護学	人間の健康と看護	1			○												
		基盤看護学 I	1						○									
		基盤看護学 II	1								○							
		基盤看護学演習 I	2						○									
		基盤看護学演習 II	1							○								
		基盤看護学実習 I	1			○												
		基盤看護学実習 II	2							○								
		フィジカルアセスメント	1						○									
	成人看護学	成人の健康と看護	2						○									
		成人看護学	2							○								
		クリティカルケア看護学	1									○						
		成人看護学演習	1									○						
		成人・老年看護学実習 I	3										○					
		緩和ケア看護学 I	1									○						
		緩和ケア看護学 II		1								○						※3
	精神看護学	心の健康と看護 I	2						○									
		心の健康と看護 II	1									○						
		精神看護学演習	1									○						
		精神看護学実習	2										○					
	小児看護学	小児の健康と看護	1						○									
		小児看護学 I	1							○								
		小児看護学 II	1									○						
		小児看護学演習	1									○						
		小児看護学実習	2										○					
	母性看護学	性と生殖と健康と看護	1									○						
		周産看護学 I	1									○						
		周産看護学 II	1									○						
		周産看護学演習	1									○						
		周産看護学実習	2										○					
	老年看護学	高齢者の健康と看護	1									○						
		老年看護学	2									○						
		老年看護学演習	1									○						
		リハビリテーション看護学		1								○						※3
		成人・老年看護学実習 II	3										○					
	地域保健看護学	地域保健看護学 I	1						○									
		地域保健看護学 II	1									○						
		地域保健看護学III		2											○			※1
		地域保健看護学演習 I		2											○			※1
		地域保健看護学演習 II		1											○			※1
		地域保健看護学実習		4													○	※1
	在宅看護学	在宅看護学 I	2							○								
		在宅看護学 II	2									○						
		在宅看護学演習	1									○						
		在宅看護学実習	2										○					
	看護の統合と実践	看護の統合と実践 I	1				○											
		看護の統合と実践 II	1						○									
		災害看護学	1							○								
		クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング	1												○			
		看護マネジメント学	1												○			
		看護の統合と実践実習	3														○	
		成人・老年看護学実習III		2													○	※2
		緩和ケア看護学実習		1													○	※4
		国際看護学実習		1													○	※4
合計			97	15	12													

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※１の４科目を選択すること。
　保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※２の科目を選択し、※３の２科目の中から１科目、※４の２科目の中から１科目選択すること。
・※５　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

保健衛生学科（看護学専攻）教育課程表

2021年度入学者

区分		科目名	単位数			履修学年												備考
			必修科目	選択科目	自由科目	第１学年			第2学年			第3学年			第4学年			
						前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	前期	後期	通年	
専門基礎分野		解剖学	3				○											
		生理学	3						○									
		生化学	2						○									
		薬理学 I	1							○								
		薬理学 II	1							○								
		病理学	1						○									
		微生物学	1				○											
		栄養学	1							○								
		疫学	1									○						
		病態学	5								○							
		Global Nursing Communication I	1						○									
		Global Nursing Communication II	1									○						
		専門基礎合同演習	1						○									
専門共通分野		保健統計学	1												○			
		医療情報学	1							○								
		国際保健看護学	2												○			
		産業保健学	1												○			
		保健医療福祉制度論	2						○									
		健康教育学演習	1												○			
		卒業論文 I	1									○						
		卒業論文 II	2														○	
		AI 実践演習			1					○						○		※4
		Learning Medical English			1					○			○			○		※4
		実践看護英語 I			1				○									
		実践看護英語 II			1							○						
		実践看護英語 III			1										○			
		国際保健福祉 A			1			○										
		国際保健福祉 B			1						○							
		国際保健福祉 C			1									○				
		国際保健福祉 D			1												○	
		インディペンデントスタディ A			1						○							
		インディペンデントスタディ B			1									○				
		インディペンデントスタディ C			1												○	
専門領域別分野	基礎看護学	基礎看護学 I	1			○												
		基礎看護学 II	1						○									
		基礎看護学 III	1							○								
		基礎看護学演習 I	2						○									
		基礎看護学演習 II	1							○								
		基礎看護学実習 I	1			○												
		基礎看護学実習 II	2							○								
	成人看護学	成人看護学 I	2						○									
		成人看護学 II	2							○								
		成人看護学 III	1									○						
		成人看護学演習	1									○						
		成人看護学実習	3										○					
	精神看護学	精神看護学	2							○								
		地域精神看護学	1									○						
		精神看護学演習	1									○						
		精神看護学実習	2										○					
		看護心理学		1			○			○								※3　※4
	小児看護学	小児看護学 I	1						○									
		小児看護学 II	1									○						
		小児看護学演習 I	1							○								
		小児看護学演習 II	1									○						
		小児看護学実習	2										○					
	母性看護学	母性看護学 I	1									○						
		母性看護学 II	1									○						
		母性看護学 III	1									○						
		母性看護学演習	1									○						
		母性看護学実習	2										○					
	老年看護学	老年看護学	3									○						
		老年看護学演習	1									○						
		リハビリテーション看護学		1								○						※3
		老年看護学実習	3										○					
	地域保健看護学	地域保健看護学 I	1							○								
		地域保健看護学 II	1									○						
		地域保健看護学 III		2											○			※1
		地域保健看護学演習		1											○			※1
		地域保健看護学実習		3													○	※1
	在宅看護学	在宅看護学 I	1							○								
		在宅看護学 II	1									○						
		在宅看護学演習	1									○						
		緩和ケア看護学 I	1												○			
		緩和ケア看護学 II		1											○			※3
		在宅看護学実習	2										○					
	看護の統合と実践	看護の統合と実践 I	2				○											
		看護の統合と実践 II	2												○			
		看護の統合と実践実習	3												○			
		総合実習 I		2													○	※2
		総合実習 II		1													○	※2
合計			91	12	12													

・保健師国家試験受験資格取得を選択する者は、※１の３科目を選択すること。
　保健師国家試験受験資格取得を選択しない者は、※２の科目を選択し、※３の３科目の中から１科目選択すること。
・※4　履修学年が複数年にわたっている授業科目では、そのいずれかの学年で履修することができる。

＜標題紙見本＞

医学部保健衛生学科レポート

学　　部　医学部

学　　科　保健衛生学科（看護学専攻）

科 目 名　「産業保健学」

標　　題　「産業の場における看護職の五管理」

↑

感想の場合は、“感想「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」”と書く。

提出月日　令和〇〇年〇月〇日

専　　攻　看護学専攻

学　　年　〇学年

学籍番号　〇〇〇〇〇〇〇〇

氏　　名　山田　花子

山田　花子

産業保健の根幹を成す、産業の場で看護職が行う五管理について、その概要と業務の具体的事項を述べる。

・ 産業の場における看護職の五管理について

１． 産業保健と五管理

２． 作業環境管理

３． 作業管理

４． 健康管理

５． 労働衛生教育

６． 総括管理

７． まとめ

８． 参考文献

――――――――――――――――――――――――以下省略――――――――――――――――――――――――

※作成要領

１．レポート本文はワープロ打ちとする。

２．フォーマットはＡ４版・MS 明朝体・10.5 サイズとし、横 44 文字、縦 32 行で印字する。

３．すべてのページの１行目右上に氏名を記載し、最終行下欄にページ番号を付す。

※レポート本文のページ数、図、表、写真等の使用・貼付等については、担当教員の指示に従う。

４．表題紙は、別様とする。

５．書き出しは 2 行目 2 コマ目から始める。

６．英数文字は半角とする。

６．最後に引用文献及び参考文献の記載を記載する。

※書式は、「お茶の水醫學雑誌」に準ずる。

＜書き方例＞

引用文献

論文の場合

1）宮崎美砂子，春山早苗：最新地域看護学. 各論２. 日本看護協会出版会；2006：81-88.

著書の一部の場合

2）鈴木太郎，山田華子：糖尿病性神経障害，小島次郎編　糖尿病，大学出版，東京，1986. pp975-982.

平成 23 年度（2011 年度）～令和 3 年度（2021 年度）入学者に適用

看護学専攻における臨地実習履修要件

平成１２年１１月　７日
保健衛生学科教育委員会
平成１７年　３月１５日改正
保健衛生学科教育委員会
平成２０年１２月２４日改正
保健衛生学科教育委員会
平成２３年　１月　５日改正
保健衛生学科教育委員会
令和　５年　１月　４日改正
保健衛生学科教育委員会
令和　６年１０月　９日改正
保健衛生学科運営会議

１．臨地実習科目と関連する講義・演習・実習科目の履修及び単位取得について

臨地実習のうち、別表に掲げるものは、病院等において実際の患者に接して行なわれるものであり、あらかじめ、それぞれの実習を行うに十分な基礎知識を持つことが必要であることから、当該臨地実習に関連する講義･演習を履修､履修開始前に試験が実施される科目である場合は~~の~~試験に合格したものでなければ、これを履修することができない。

(別表) 2011 年度～2021 年度入学者

臨地実習名	関連する講義･演習科目名
基礎看護学実習Ⅰ	人間科学、社会学、心理学、哲学、基礎看護学Ⅰ
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学Ⅰ･Ⅱ・Ⅲ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ
成人看護学実習	成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学演習
精神看護学実習	精神看護学、地域精神看護学、精神看護学演習
小児看護学実習	小児看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学演習Ⅰ・Ⅱ
母性看護学実習	母性看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、母性看護学演習
老年看護学実習	老年看護学、老年看護学演習
地域保健看護学実習	地域保健看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、地域保健看護学演習
在宅看護学実習	在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学演習
看護の統合と実践実習	3 年次までの必修科目すべて
総合実習Ⅰ	3 年次までの必修科目すべて
総合実習Ⅱ	3 年次までの必修科目すべて

※関連する講義・演習・実習科目には履修の順序が設定されているため留意すること。
※詳細は教育要項を確認すること。

２．実習要件となる検査、ワクチン接種との関係性について

2017 年 6 月 27 日の教育戦略会議決定に基づき、本学では以下が実施済みであることが臨地実習への参加要件となる。

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または non-responder (計 6 回ワクチン接種をしても陽性とならない)である
・T スポット®. TB 検査を実施済である
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

看護学専攻においては、当該決定を基本的な臨地実習への参加要件としつつ、臨地実習を行う学年に応じて次の様に参加要件の特例を適用する。

【1 年次に実施する臨地実習参加要件】

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または 1 年次抗体価検査で陰性だった場合は最低 2 回のワクチン接種が完了している
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

【2 年次に実施する臨地実習参加要件】

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または 1 年次抗体価検査で陰性だった場合は最低 3 回のワクチン接種が完了していて、2 年次の抗体検査実施済みである。
・T スポット®. TB 検査を実施済である
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

【3 年次に実施する臨地実習参加要件】

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または 2 年次抗体検査で陰性だった場合は計 6 回のワクチン接種を完了している。
・T スポット®. TB 検査を実施済である
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

【4 年次に実施する臨地実習参加要件】※2017 年 6 月 27 日の教育戦略会議決定と同様

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または non-responder (計 6 回ワクチン接種をしても陽性とならない)である
・T スポット®. TB 検査を実施済である
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

この要件は令和３年度入学者までの適用とし、令和４年度入学者からの要件は別途定める。

令和 4 年度（2022 年度）以降入学者に適用

看護学専攻における臨地実習履修要件

令和　５年　１月　４日
保健衛生学科教育委員会
令和　６年１０月　９日改正
保健衛生学科運営会議

１．臨地実習科目と関連する講義・演習・実習科目の履修及び単位取得について

臨地実習のうち、別表に掲げるものは、病院等において実際の患者に接して行なわれるものであり、あらかじめ、それぞれの実習を行うに十分な基礎知識を持つことが必要であることから、当該臨地実習に関連する講義･演習を履修､履修開始前に試験が実施される科目である場合は試験に合格したものでなければ、これを履修することができない。

(別表) 2022 年度～2023 年度入学者

臨地実習名	関連する講義･演習・実習科目名
基盤看護学実習Ⅰ	（2022 年度入学者）人間の健康と看護、看護制度論、癒しのケア論 （2023 年度入学者）人間の健康と看護、看護制度論
基盤看護学実習Ⅱ	人間の健康と看護、基盤看護学Ⅰ・Ⅱ、基盤看護学演習Ⅰ、基盤看護学実習Ⅰ
成人・老年看護学実習Ⅰ	成人の健康と看護、成人看護学、クリティカルケア看護学、成人看護学演習
精神看護学実習	心の健康と看護Ⅰ・Ⅱ、精神看護学演習
小児看護学実習	小児の健康と看護、小児看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学演習
周産看護学実習	性と生殖と健康と看護、周産看護学Ⅰ・Ⅱ、周産看護学演習
成人・老年看護学実習Ⅱ	高齢者の健康と看護、老年看護学、老年看護学演習
（2022 年度入学者） 地域保健看護学実習 （2023 年度以降入学者） 公衆衛生看護学実習	（2022 年度入学者）地域保健看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、地域保健看護学演習Ⅰ・Ⅱ （2023 年度以降入学者）公衆衛生看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生看護学演習
在宅看護学実習	在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学演習
看護の統合と実践実習	3 年次までの必修科目すべて
総合実習Ⅰ	3 年次までの必修科目すべて
総合実習Ⅱ	3 年次までの必修科目すべて

※関連する講義・演習・実習科目には履修の順序が設定されているため留意すること。
※詳細は教育要項を確認すること。

２．実習要件となる検査、ワクチン接種との関係性について

2017 年 6 月 27 日の教育戦略会議決定に基づき、本学では以下が実施済みであることが臨地実習への参加要件となる。

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または non-responder (計 6 回ワクチン接種をしても陽性とならない)である
・T スポット®. TB 検査を実施済である
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

看護学専攻においては、当該決定を基本的な臨地実習への参加要件としつつ、臨地実習を行う学年に応じて次の様に参加要件の特例を適用する。

【1 年次に実施する臨地実習参加要件】

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または 1 年次抗体価検査で陰性だった場合は最低 2 回のワクチン接種が完了している
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

【2 年次に実施する臨地実習参加要件】

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または 1 年次抗体価検査で陰性だった場合は最低 3 回のワクチン接種が完了していて、2 年次の抗体検査実施済みである。
・T スポット®. TB 検査を実施済である
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

【3 年次に実施する臨地実習参加要件】

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または 2 年次抗体検査で陰性だった場合は計 6 回のワクチン接種を完了している。
・T スポット®. TB 検査を実施済である
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

【4 年次に実施する臨地実習参加要件】※2017 年 6 月 27 日の教育戦略会議決定と同様

・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
・B 型肝炎抗体価が陽性または non-responder (計 6 回ワクチン接種をしても陽性とならない)である
・T スポット®. TB 検査を実施済である
・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項

平成１１年　７月１４日承認
平成１２年１２月１３日改正
保健衛生学科教育委員会
平成１４年　２月１３日改正
保健衛生学科運営会議
平成２７年　３月１１日改正
保健衛生学科運営会議
平成２９年　２月　８日改正
保健衛生学科運営会議

（趣　旨）

１　東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻（以下「看護学専攻」という。）における「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の実施については，この要項に定めるところによる。

（授業目的）

２　看護・保健に関する研究を実践することにより，論文の読み方，研究の進め方，論文のまとめ方，口頭発表の仕方の基本を修得させることを目的とする。

（指導教員）

３　指導は，看護先進科学専攻の教授，准教授、講師、及び助教以上（以下「指導教員」という。）が行う。

４　一人の指導教員が指導を行う学生数の上限は，原則として次のとおりとする。

(1) 教授一人に対し　学生４名
(2) 准教授一人に対し学生３名
(3) 講師一人に対し　学生２名

５　看護学専攻卒業論文小委員会（以下「委員会」という。）は，学生より提出された研究テーマ等を考慮し，指導教員を決定する。

（卒業論文）

６　卒業論文は，別紙により６ページ以内で作成し，提出期限までに指定された場所に提出しなければならない。

（卒業論文発表会）

７　口頭発表の場として卒業論文発表会（以下「発表会」という。）を行う。

８　発表会は委員会が主催し，卒業論文委員（学生より選出）が開催する。

９　発表会の開催日時は，毎年６月末日までに掲示により連絡する。

10　発表時間は，１人５分間とし，質疑応答は２分間とする。なお，発表開始から４分経過時及び５分経過時に合図し，発表時間超過者については質疑応答時間で調整する。

11　発表会用にスライドを作成する場合は，１枚あたり１０行未満の文章で，見やすく作成する。

（評価及び単位認定）

12　「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の評価及び単位認定は次のとおりとする。

(1)「卒業論文 Ⅰ」
　指導教員が講義により評価し，科目の責任者が単位認定を行う。
(2)「卒業論文Ⅱ」
　指導教員が論文及び発表を８：２の比率で評価し，看護学専攻主任が単位認定を行う。

13　「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の単位は，次に該当する者には認定しない。

(1)「卒業論文Ⅰ」の出席が３分の２に満たない者
(2) 期限提出までに論文を提出できない者
(3) その他，卒論単位認定に支障があると判定された者

（評価基準）

14　論文の評価基準は，次のとおりとする。

(1) 論文に取り組む姿勢

(2) 論文内容

① 研究目的

② 研究方法

③ 論文内容の論理性と明確性

④ 考察の論理性と明確性

（実施）

15　この要項は，平成２７年度３年次在学者より実施する。

附　則

この要項は平成２７年４月１日から施行する。

附　則

この要項は平成２９年４月１日から施行する。

（別　紙）

卒　業　論　文　フ　ォ　ー　ム

1　卒業論文のフォーム
卒業論文のフォームは,以下のとおりとする。

(1) はじめに
(2) 方法 ※ 倫理的配慮あるいは倫理的手続きに関する記述を含む
(3) 結果
(4) 考察
(5) 引用文献（参考文献と分けて記載する）

2　引用文献の書き方
書式は,「バンクーバー方式」または「APA方式」に準ずる。

＜バンクーバー方式＞

① 文献については、本文中に文献リスト番号（上付き：例[1)]）をつけ,表示する。
② 文献リストは本文中に引用された順に列記する。
③ 文献リストの記述方法

1) 田村園子. 諸外国の看護教育の動向. 国際看護学研究. 2012; 90(9):1456-61.

2) Smidt AC, Lai JS, Cella D, Patel S, Mancini AJ, Chamlin SL. Development and validation of nursing care for adolescents with skin disease. Archives of Dermatology Nursing. 2010; 146(8): 865-9.

④ 文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが[10)-12)]、実施している対象者は多かった。

＜APA方式＞

① 文献については,本文中に著者名,発行年次を括弧表示する。
② 文献リストは著者名のアルファベット順に列記する。但し,共著者は３名まで表記する。
③ 文献リストの記述方法

1) 田村園子 (2012) :諸外国の看護教育の動向, 国際看護学研究, 90(9), 1456-1461.

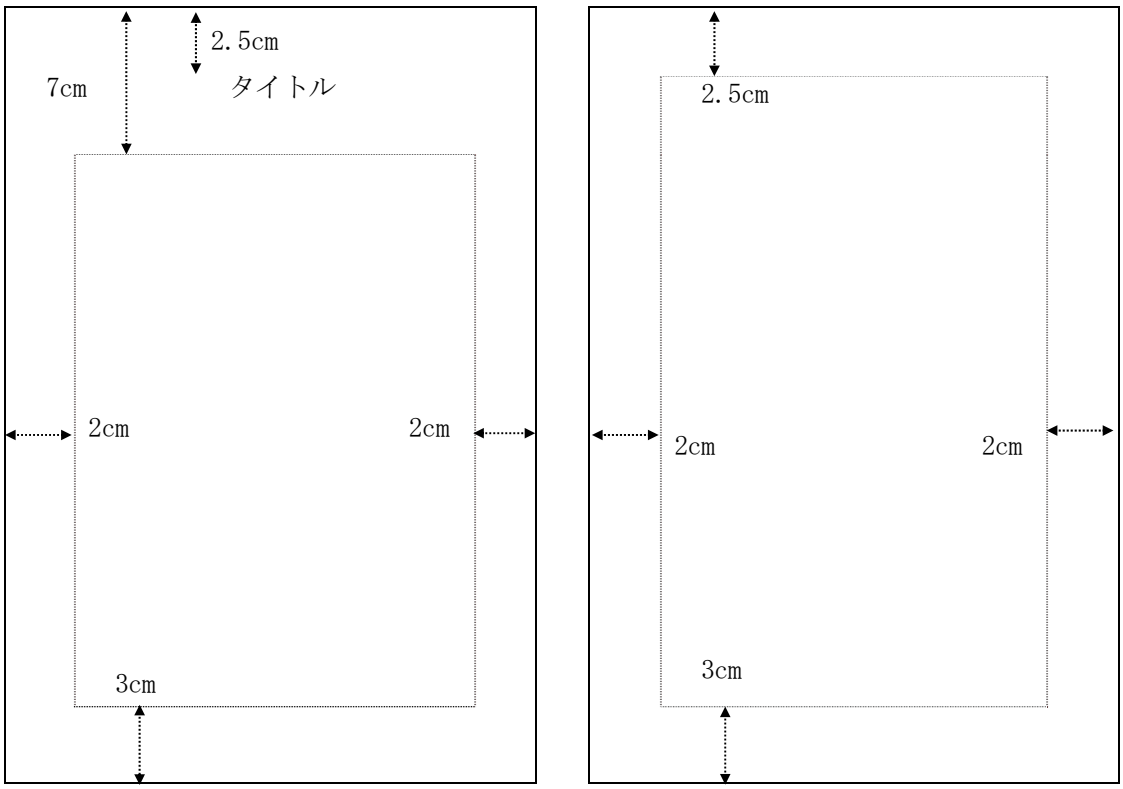
2) Voos K., Ross G., Ward M.., et al. (2011): Effects of implementing family-centered rounds (FCRs) in a neonatal intensive care unit (NICU), J. Matern. Fetal Neonatal Med., 24(11), 1-4.

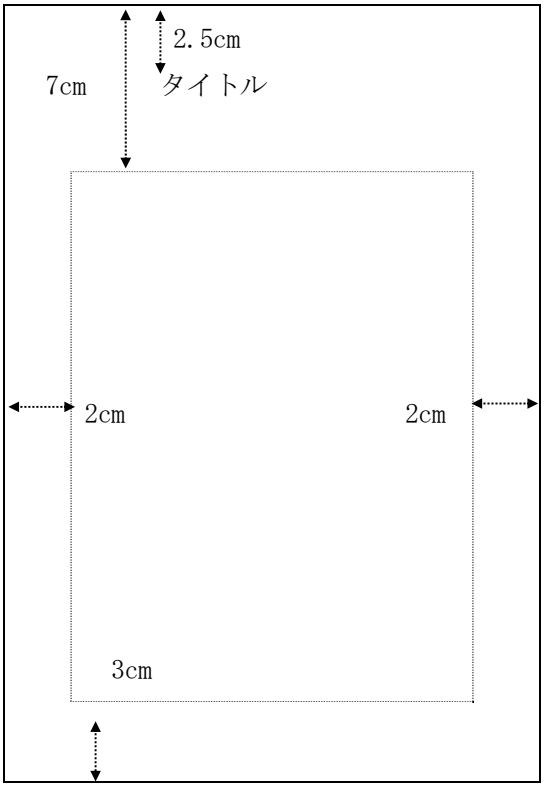
④ 文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが（田村, 2012: Smidt et al., 2010）、実施している対象者は多かった。

3　卒業論文の書式

- A4用紙に6ページ以内とし,片面に印字する。
- 字の大きさ及びフォントは,10～11ポイントで明朝体とする。ページ設定は2段組とし, 文字数：全角46,行数：38,字送り：10.5ポイント,行送り：18ポイントとする。
- 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は一切認めない。
- 全ページ余白は上2.5cm,下3cm,左右それぞれ2cmとする。
- ただし,1ページ目は上2.5cmからタイトル,その下余白に氏名・指導者名を記載する。
- 本文は7cm下から書き始める。
- 指導教員には大学院生は含まない。



4　卒業論文抄録の書式

・　A4用紙に1枚とする。
・　字の大きさ,フォントおよびページ設定は卒業論文に準ずる。
・　タイトル,氏名,指導教員名を上7cmの余白部分に書き,以下目的,方法,結果,考察を記載する。
・　提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は一切認めない。